

# 練馬区高齢者基礎調査等 報告書

令和2年（2020年）3月



# 目 次

I 高齢者基礎調査	1
I-1 調査概要	3
I-2 調査結果の詳細	7
1 回答者の基本属性	7
(1) 調査票の記入者	7
(2) 性別	8
(3) 年齢	9
(4) 居住地区	10
(5) 世帯の状況	11
(6) 暮らし向き	19
2 住まい	22
(1) 住居形態	22
(2) 住まいで改修したいところ	23
(3) 将来の住まいに関する不安	24
(4) ケア付き住まい	25
3 日常生活の状況	28
(1) 日常生活で困った場合の相談先	28
(2) 将来の不安	29
(3) 老後を楽しく生きていくために必要なもの	30
(4) 健康や保健福祉の情報の入手方法	32
(5) パソコン等の情報通信機器の使用状況	33
(6) 今後力を入れてほしい高齢者施策	35
(7) 成年後見制度	36
4 医療・在宅療養	40
(1) かかりつけ医等の状況	40
(2) 医療の受診状況	41
(3) 認知症の診断状況	42
(4) 在宅療養	43
(5) 人生の最終段階における医療・ケア	47
5 健康・介護予防	52
(1) 健康	52
(2) 介護予防の取組	60
6 社会参加	66
(1) 高齢者だと思ふ年齢	66
(2) 就労状況	67
(3) 運動やスポーツの取組状況	70
(4) 外出状況	71
7 地域活動と地域とのつながり	81
(1) 地域活動への参加状況	81
(2) 地域活動をする上で今後必要なもの	86
(3) 手助け	87
8 地域包括支援センター	89
(1) 地域包括支援センターの認知度	89
(2) 地域包括支援センターに期待する役割	90
(3) 高齢者の虐待	91
(4) 認知症	93

9	介護	96
	(1) 要介護認定の状況	96
	(2) 介護保険サービス	99
	(3) 支給限度額に対する介護サービスの利用	107
	(4) ケアマネジャーに対する満足度	109
	(5) 介護保険サービスの利用による変化	111
	(6) 介護保険料と介護サービスの利用料	114
	(7) 高齢者保健福祉施策や介護保険に関する主な意見・要望（自由回答）	118
10	特別養護老人ホーム入所申込みの状況	121
	(1) 現在の生活場所	121
	(2) 医療処置の状況	122
	(3) 特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間	123
	(4) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ	123
	(5) 特別養護老人ホームの申込み状況	125
	(6) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況	128
	(7) 入所申込み後に欲しい情報（連絡）	131
	(8) 入所申込みをした特別養護老人ホームを選択した理由	132
	(9) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由	133
	(10) 特別養護老人ホームに期待すること	134
	(11) 区外の特別養護老人ホームの入所申込み状況	135
	(12) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応	136
	(13) サービス等の充実による在宅生活の継続希望	138
	(14) ショートステイの利用状況	140
11	入所施設の状況	142
	(1) 入所期間	142
	(2) 入所前の住居の状況	142
	(3) 施設への入所前後での要介護度の変化	143
	(4) 施設入所者の特別養護老人ホームへの申込み状況	143
	(5) 入所施設の状況	145
12	家族介護の状況	153
	(1) 主な介護者	153
	(2) 主な家族介護者の属性	153
	(3) 介護期間	156
	(4) 介護者の就労状況	157
	(5) 介護以外の負担の状況	158
	(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方	159
	(7) 家族介護者の負担や困りごと	160
	(8) 介護をされていてつらい時の相談先	161
	(9) 介護者が希望する自身の将来の姿	162
	(10) 在宅介護を継続する上で介護者自身が受けたい支援	163
	(11) 施設に申し込んだ理由（主な家族介護者）	164
	(12) 家族介護者が施設に期待すること	165
13	介護サービス事業所調査	166
	(1) 事業所の概要	166
	(2) 従業員数	168
	(3) 利用者数	169
	(4) 居宅介護支援事業所の考え	171
	(5) 苦情対応	184
	(6) サービスの質の向上	185
	(7) 事業所の運営	187

(8) 新しい総合事業 .....	196
(9) 地域との関わり .....	198
(10) 人材の確保・育成 .....	201
(11) 平成30年介護保険制度改正による影響 .....	219
(12) 介護保険および高齢者保健福祉施策について、利用者から寄せられた主な意見（自由回答） .....	220
(13) 介護保険制度に対する主な要望・意見（自由回答） .....	220
<b>II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 .....</b>	<b>221</b>
1 回答者の基本属性 .....	223
(1) 調査票の記入者 .....	223
(2) 性別 .....	223
(3) 年齢 .....	224
(4) 居住地区 .....	224
(5) 世帯の状況 .....	225
(6) 介護・介助の必要性 .....	226
(7) 住居形態 .....	227
(8) 暮らし向き .....	227
2 日常生活の状況 .....	228
(1) からだを動かすこと .....	228
(2) 食べること .....	234
(3) 毎日の生活 .....	241
3 地域活動と地域のつながり .....	248
(1) 地域づくりの推進 .....	248
(2) 地域活動への参加状況 .....	249
(3) たすけあい .....	256
(4) 相談相手 .....	260
(5) 友人・知人との交流 .....	261
4 健康 .....	263
(1) 健康状態 .....	263
(2) 幸福度 .....	263
(3) うつ傾向 .....	264
(4) 飲酒の状況 .....	265
(5) 喫煙の状況 .....	266
(6) 現在治療中・後遺症のある病気 .....	267
5 認知症の相談窓口 .....	268
(1) 認知症の症状がある人の有無 .....	268
(2) 認知症に関する窓口の認知度 .....	268
<b>III 在宅介護実態調査 .....</b>	<b>269</b>
III-1 調査概要 .....	271
III-2 調査結果の詳細 .....	273
1 本人の基本属性 .....	273
(1) 年齢 .....	273
(2) 性別 .....	273
(3) 二次判定結果（要介護度） .....	274
(4) 障害高齢者の日常生活自立度 .....	274
(5) 認知症高齢者の日常生活自立度 .....	275
(6) 世帯類型 .....	275
2 主な介護者の基本属性 .....	276
(1) 主な介護者の本人との続柄 .....	276

(2) 主な介護者の年齢 .....	276
(3) 主な介護者の性別 .....	277
(4) 主な介護者による介護の頻度 .....	277
(5) 主な介護者が行っている介護等 .....	279
(6) 主な介護者の勤務形態 .....	280
(7) 介護のための離職の有無 .....	281
3 サービスの利用状況 .....	282
(1) 介護保険サービスの利用状況 .....	282
(2) 介護保険サービスを利用していない理由 .....	283
(3) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（複数回答） .....	283
(4) 訪問診療の利用状況 .....	284
(5) 通所系サービスの利用回数 .....	285
(6) 訪問系サービスの利用回数 .....	285
(7) 短期系サービスの利用回数 .....	286
(8) サービス利用の組み合わせ .....	286
4 主な介護者が不安に感じる介護 .....	289
5 主な介護者の働き方と就労継続見込み .....	294
(1) 主な介護者の働き方の調整状況 .....	294
(2) 仕事と介護の両立に効果のある支援 .....	295
(3) 主な介護者の就労継続の見込み .....	295
6 今後のサービス利用の意向 .....	298
(1) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス .....	298
(2) 施設等の検討状況 .....	299
7 現在のサービスの利用状況と今後のサービス利用の意向 .....	305
(1) 現在のサービスの利用状況 .....	305
(2) 3年後に利用したい在宅サービス .....	306
(3) 3年後に利用したい施設サービス .....	307
<b>IV 施設整備調査 .....</b>	<b>309</b>
IV-1. 調査概要 .....	311
IV-2. 調査結果の詳細 .....	312
1 特別養護老人ホーム .....	312
2 ショートステイ .....	314
3 介護老人保健施設 .....	315
4 介護付き有料老人ホーム .....	316
5 サービス付き高齢者向け住宅 .....	317
6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 .....	318
7 夜間対応型訪問介護 .....	320
8 地域密着型通所介護 .....	322
9 （介護予防）認知症対応型通所介護 .....	325
10 （介護予防）小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護 .....	328
11 （介護予防）認知症対応型共同生活介護 .....	331
<b>V 参考資料 .....</b>	<b>335</b>

I

# 高齡者基礎調查



## I-1. 調査概要

### 1 調査の目的

令和3年度を計画の始期とする第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、以下の調査を実施した。

調査種別	調査の目的
①高齢者一般調査	生活状況、介護予防、社会参加等に関する実態や意向を把握するための基礎資料を得る。
②要支援・要介護認定者調査	介護サービスの利用状況・利用意向等の把握により、今後の介護サービス量を推計するための基礎資料を得る。
③これから高齢期を迎える方の調査	高齢者の保健福祉施策の10年後を見据え、生活状況、介護予防、社会参加等に関する実態や意向を把握するための基礎資料を得る。 ※調査票は、①高齢者一般調査と同様
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	特別養護老人ホーム入所待機者の生活状況、今後の入所意向等の把握により、今後の施設整備、居宅サービス量を推計するための基礎資料を得る。
⑤介護サービス事業所調査	介護サービス事業の現状、介護人材の育成・確保の状況、介護保険制度の見直し等に関する要望等を把握するための基礎資料を得る。
⑥施設入所者調査	施設入所者の生活状況、今後の生活場所の意向等の把握により、今後の施設整備、居宅サービス量を推計するための基礎資料を得る。
⑦介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	日頃の生活状況や健康状態等の把握により、効果的な介護予防政策の立案と効果評価、計画策定の充実を図るための基礎資料を得る。

### 2 調査方法

いずれの調査も、郵送法（郵送配付・郵送回収）にて実施した。

※⑥施設入所者調査は、施設宛てに定員数分の調査票および返信用封筒を送付し、郵送回収した。

### 3 調査期間

調査種別	調査期間
①高齢者一般調査	令和元年11月27日～令和元年12月20日
②要支援・要介護認定者調査	
③これから高齢期を迎える方の調査	
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	
⑤介護サービス事業所調査	
⑥施設入所者調査	令和元年11月28日～令和2年1月10日
⑦介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和元年11月27日～令和元年12月20日



## 4 調査対象

○調査基準日を令和元年11月1日として、抽出等を行った。

○各調査の調査対象者は、④特別養護老人ホーム入所待機者調査、⑤介護サービス事業所調査、⑥施設入所者調査を除き住民基本台帳から無作為抽出した。

○無作為抽出は、調査間での対象者の重複を避け、所定の人数を抽出した。

調査種別	調査対象
①高齢者一般調査	介護保険の認定を受けていない65歳以上の区民から無作為に2,500人を抽出した（総合事業対象者を含まない）。
②要支援・要介護認定者調査	介護保険の認定を受けている65歳以上の区民から無作為に5,000人を抽出した（総合事業対象者を含む）。
③これから高齢期を迎える方の調査	介護保険の認定を受けていない55～64歳の区民から無作為に800人を抽出した。
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	特別養護老人ホーム入所待機者の方全員1,535人を対象とした。
⑤介護サービス事業所調査	介護サービスを提供している区内の全事業所1,004事業所を対象とした。
⑥施設入所者調査	有料老人ホーム（特定施設のみ）、サービス付き高齢者向け住宅、認知症高齢者グループホーム、都市型軽費老人ホームに入所している65歳以上の区民を対象とした。
⑦介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	介護保険の認定を受けていない65歳以上の区民および介護保険の要支援1・2の認定を受けている65歳以上の区民から無作為に4,400人を抽出した（総合事業対象者を含む）。

## 5 回収状況

調査種別	発送数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率	
①高齢者一般調査	2,500	1,447	57.9%	1,447	57.9%	
②要支援・要介護認定者調査	5,000	2,357	47.1%	要支援	927	57.9%
				要介護	1,185	34.9%
③これから高齢期を迎える方の調査	800	359	44.9%	358	44.8%	
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	1,535	742	48.3%	559	36.4%	
13ポイント以上	309	133	43.0%	99	32.0%	
12ポイント以下	1,226	609	49.7%	460	37.5%	
⑤介護サービス事業所調査	1,004	514	51.2%	514	51.2%	
⑥施設入所者調査	—	614	—	573	—	
⑦介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	4,400	3,114	70.8%	3,114	70.8%	

※ ②要支援・要介護認定者調査は、要支援認定者1,600人、要介護認定者3,400人に発送した

※ ⑥施設入所者調査は、調査対象の区内118施設へ調査票を送付し、入所している練馬区民への配付および回収について、施設へ協力を依頼して調査した

## 6 報告書を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の「－」は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 複数の回答選択肢を1つにまとめて分析する場合（例えば、「とてもよい」と「まあよい」を合算し、「よい」として分析する場合）、回答選択肢ごとの比率を合計した数値と、1つにまとめた比率の数値が異なる場合がある。これは四捨五入する際に生じた差異である。
- 質問において、性別、年齢別、要介護度別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- 図・表中では、各対象の調査名を下記のように記載する。

調査種別	記載名
①高齢者一般調査	高齢者一般
②要支援・要介護認定者調査	要支援認定者
	要介護認定者
③これから高齢期を迎える方の調査	これから高齢期
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	【特養入所待機者】 全体
練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数 13 ポイント以上	13 ポイント以上
練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数 12 ポイント以下	12 ポイント以下
⑤介護サービス事業所調査	介護サービス事業所
⑥施設入所者調査	施設入所者

- クロス集計の図・表中では、居住地区の住所表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
旭丘1～2丁目、小竹町1～2丁目、栄町、羽沢1～3丁目、豊玉上1～2丁目、豊玉中1～4丁目、豊玉南1～3丁目、豊玉北1～6丁目、中村1～3丁目、中村南1～3丁目、中村北1～4丁目、桜台1～6丁目、練馬1～4丁目、向山1～4丁目、貫井1～5丁目	練馬
錦1～2丁目、氷川台1～4丁目、平和台1～4丁目、早宮1～4丁目、春日町1～6丁目、高松1～6丁目、北町1～8丁目、田柄1～5丁目、光が丘1～7丁目、旭町1～3丁目、土支田1～4丁目	光が丘
富士見台1～4丁目、南田中1～5丁目、高野台1～5丁目、谷原1～6丁目、三原台1～3丁目、石神井町1～8丁目、石神井台1～8丁目、下石神井1～6丁目、関町北1～5丁目、関町南1～4丁目、上石神井南町、立野町、上石神井1～4丁目、関町東1～2丁目	石神井
東大泉1～7丁目、西大泉1～6丁目、南大泉1～6丁目、大泉町1～6丁目、大泉学園町1～9丁目、西大泉町	大泉

○クロス集計の図・表中では、サービス種別の選択肢表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
居宅介護支援、居宅療養管理指導	居宅介護支援
訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション	訪問系
通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護※	通所系
介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、短期入所生活介護、短期入所療養介護	入所系
定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者グループホーム	地域密着型サービス
福祉用具貸与・販売	福祉用具貸与・販売
特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護

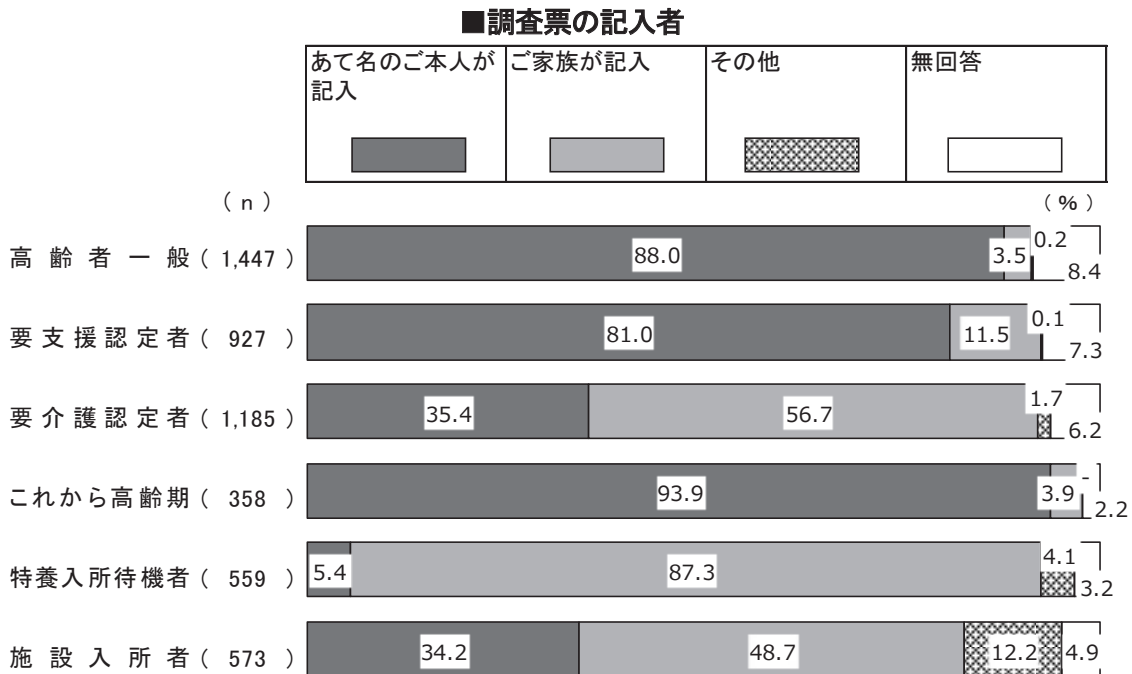
※ サービス分類としては地域密着型サービスだが、通所系として集計した

## I-2. 調査結果の詳細

### 1 回答者の基本属性

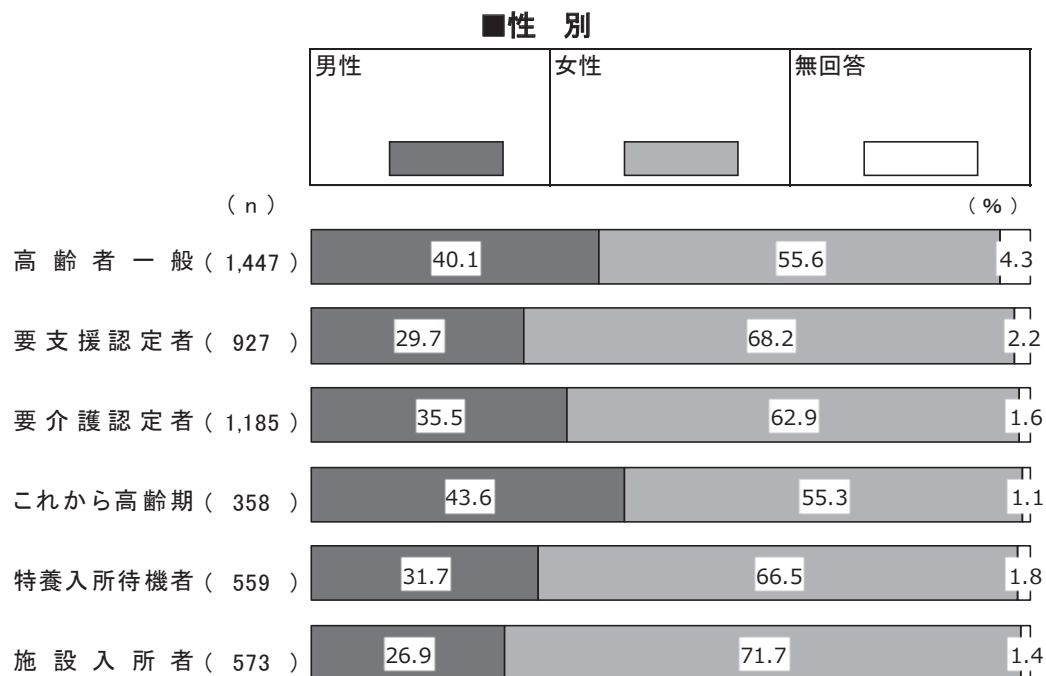
#### (1) 調査票の記入者

- 調査票の記入者は、高齢者一般、これから高齢期ともに「あて名のご本人が記入」が最も高く、高齢者一般が88.0%、これから高齢期が93.9%と9割前後となっている。
- 要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」が最も高く81.0%、「ご家族が記入」は11.5%となっている。
- 要介護認定者では、「ご家族が記入」が最も高く56.7%、「あて名のご本人が記入」は35.4%となっている。
- 特養入所待機者では、「ご家族が記入」が最も高く87.3%、「あて名のご本人が記入」は5.4%となっている。
- 施設入所者では、「あて名のご本人が記入」が34.2%、「ご家族が記入」が48.7%となっている。



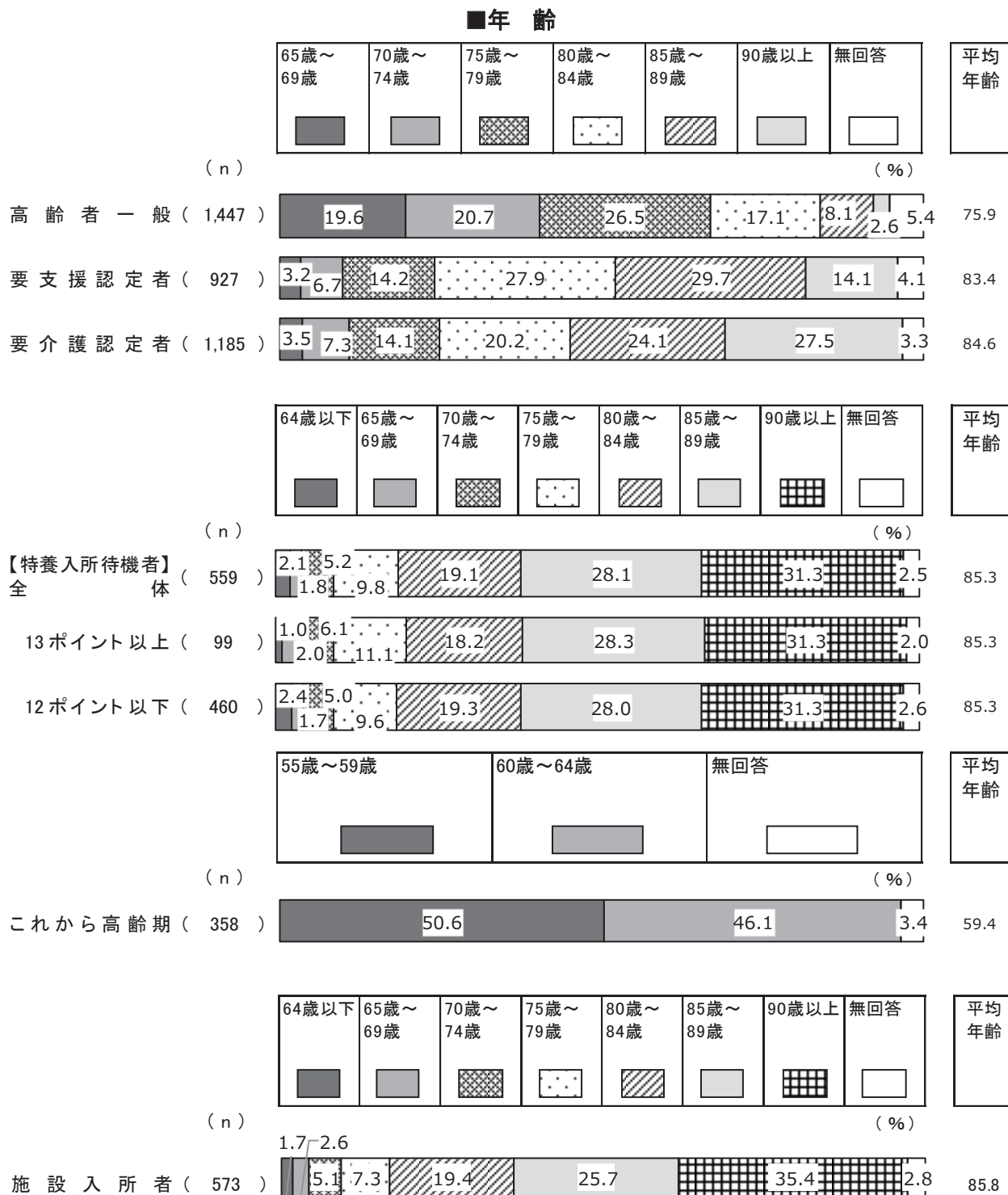
## (2) 性別

- 高齢者一般では「男性」が40.1%、「女性」が55.6%、これから高齢期では「男性」が43.6%、「女性」が55.3%となっている。
- 要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者でも、「女性」の割合が高く、それぞれ6～7割超となっている。



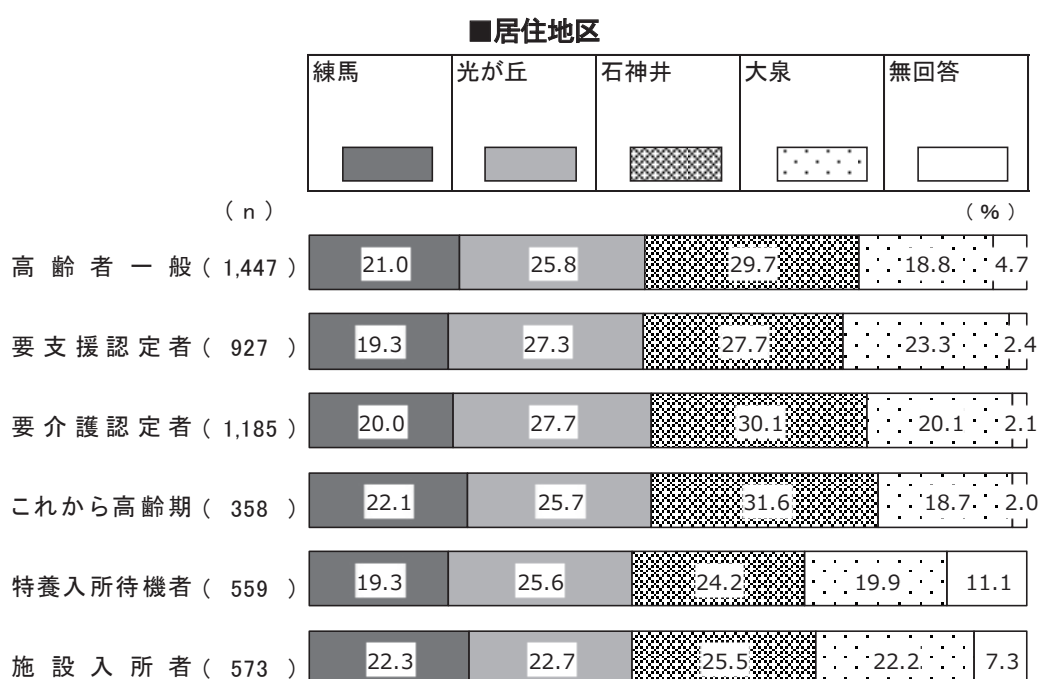
### (3) 年齢

- 高齢者一般では前期高齢者が約4割、後期高齢者が5割半ばで、平均年齢は75.9歳となっている。
- 要支援認定者では前期高齢者が約1割、後期高齢者が8割半ばで、平均年齢は83.4歳となっている。
- 要介護認定者では前期高齢者が約1割、後期高齢者が8割半ばで、「90歳以上」が3割近くとなっている。平均年齢は84.6歳となっている。
- 特養入所待機者では後期高齢者が9割近くで平均年齢は85.3歳であった。
- これから高齢期では、「55歳～59歳」が50.6%、「60歳～64歳」が46.1%で、平均年齢は59.4歳となっている。
- 施設入所者では後期高齢者が9割近くで、平均年齢は85.8歳となっている。



#### (4) 居住地区

- 高齢者一般では、「練馬」が21.0%、「光が丘」が25.8%、「石神井」が29.7%、「大泉」が18.8%となっている。
- 要支援認定者では、「練馬」が19.3%、「光が丘」が27.3%、「石神井」が27.7%、「大泉」が23.3%となっている。
- 要介護認定者では、「練馬」が20.0%、「光が丘」が27.7%、「石神井」が30.1%、「大泉」が20.1%となっている。
- これから高齢期では、「練馬」が22.1%、「光が丘」が25.7%、「石神井」が31.6%、「大泉」が18.7%となっている。
- 特養入所待機者では、「練馬」が19.3%、「光が丘」が25.6%、「石神井」が24.2%、「大泉」が19.9%となっている。
- 施設入所者では、「練馬」が22.3%、「光が丘」が22.7%、「石神井」が25.5%、「大泉」が22.2%となっている。



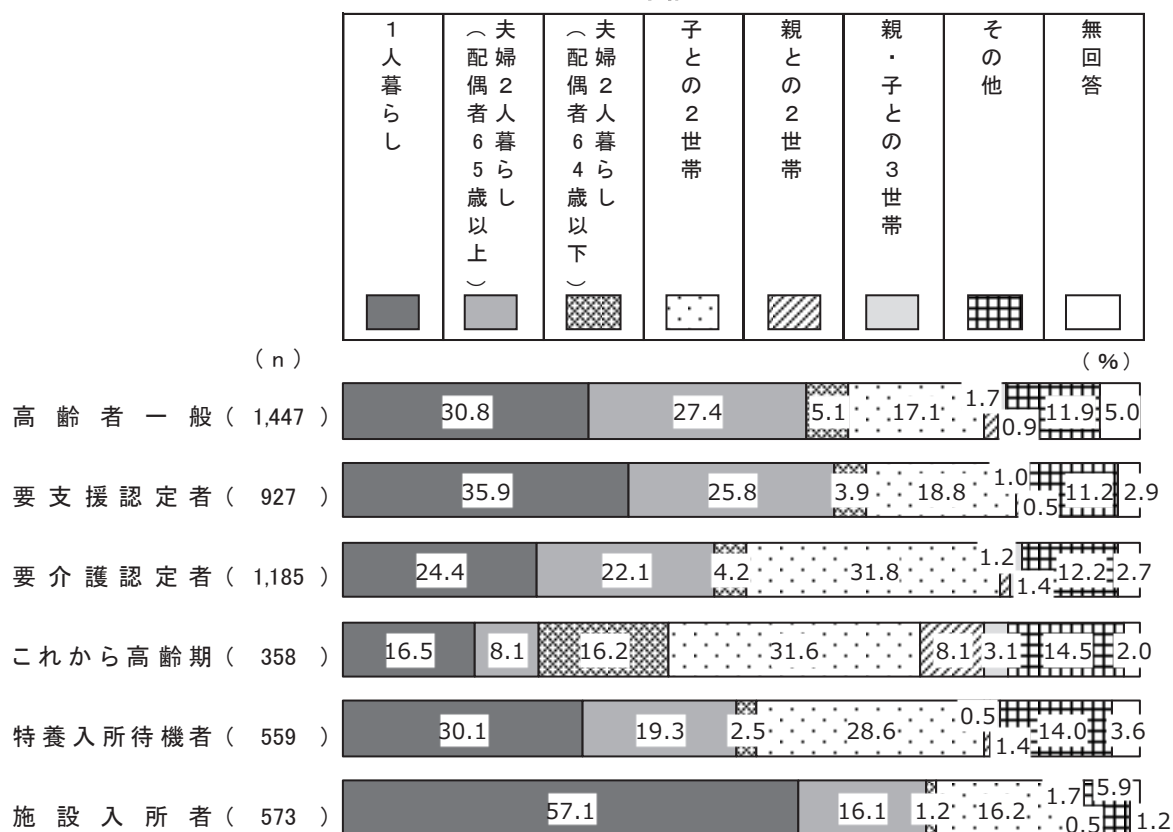
※ 施設入所者は、入所施設の所在地を表している

## (5) 世帯の状況

### ① 世帯構成

- 高齢者一般では、「1人暮らし」が30.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が27.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.1%、「子との2世帯」が17.1%、「親との2世帯」が1.7%、「親・子との3世帯」が0.9%となっている。
- 要支援認定者では、「1人暮らし」が35.9%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が25.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.9%、「子との2世帯」が18.8%、「親との2世帯」が1.0%、「親・子との3世帯」が0.5%となっている。
- 要介護認定者では、「1人暮らし」が24.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が22.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.2%、「子との2世帯」が31.8%、「親との2世帯」が1.2%、「親・子との3世帯」が1.4%となっている。
- これから高齢期では、「1人暮らし」が16.5%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が8.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が16.2%、「子との2世帯」が31.6%、「親との2世帯」が8.1%、「親・子との3世帯」が3.1%となっている。
- 特養入所待機者では、「1人暮らし」が30.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が19.3%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が2.5%、「子との2世帯」が28.6%、「親との2世帯」が0.5%、「親・子との3世帯」が1.4%となっている。
- 施設入所者では、「1人暮らし」が57.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が16.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が1.2%、「子との2世帯」が16.2%、「親との2世帯」が1.7%、「親・子との3世帯」が0.5%となっている。

■世帯構成



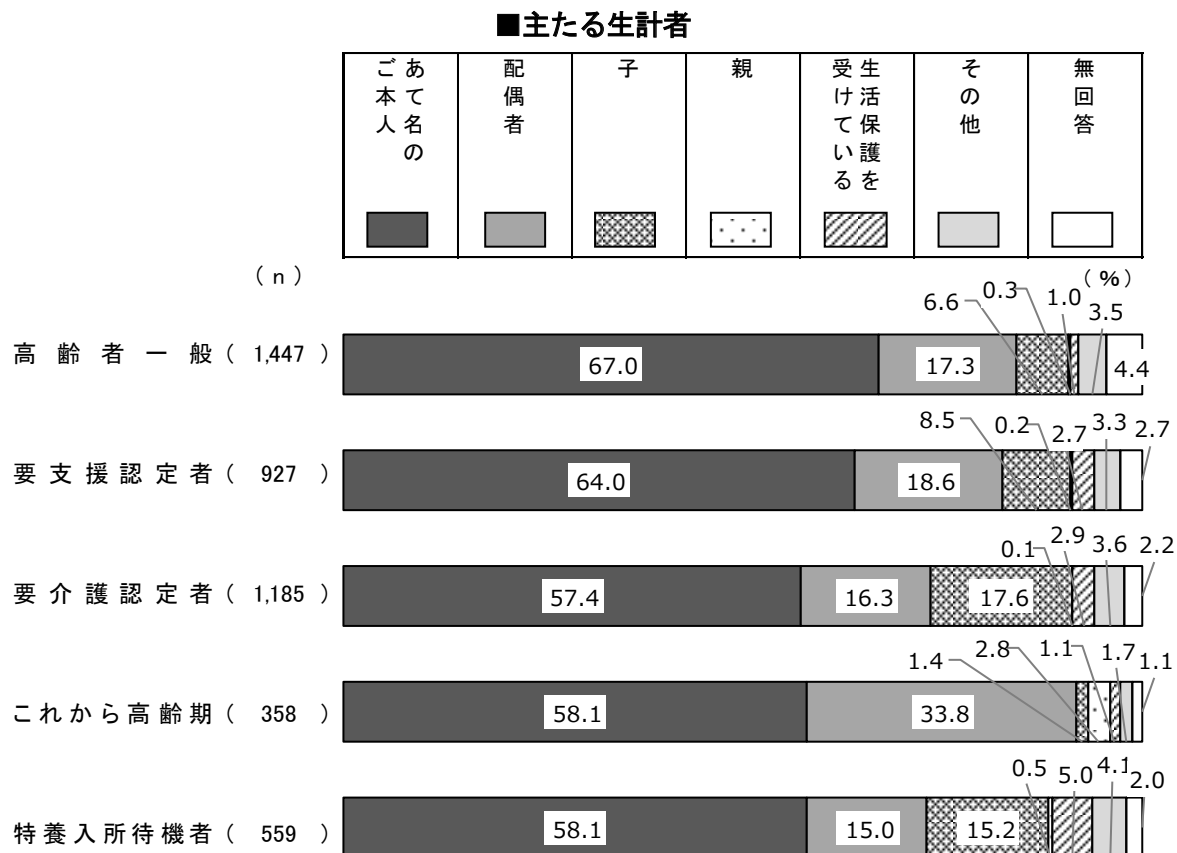
※ 施設入所者は、施設への入所前の世帯構成を表している



## ② 主たる生計者

○主たる生計者は、いずれの調査でも「あて名のご本人」が最も高く、6割近くから7割近くとなっている。

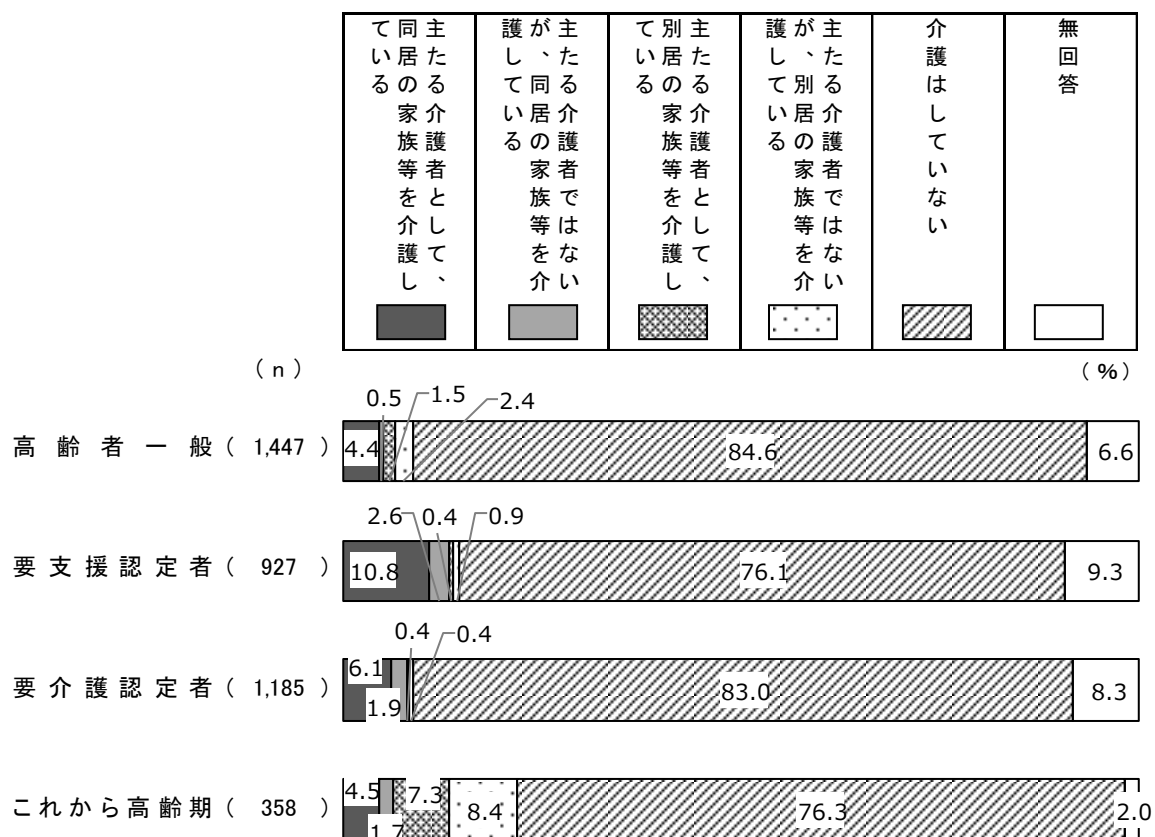
○これから高齢期では、「配偶者」が3割超となっている。



### ③ 介護の有無

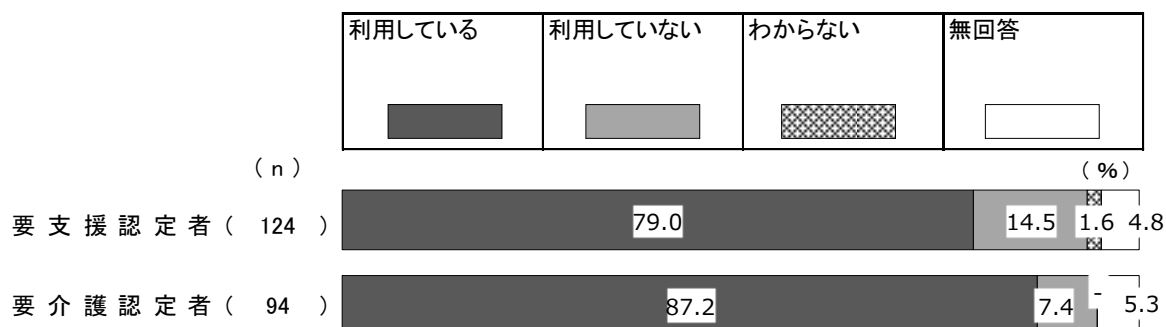
○いずれの調査でも「介護はしていない」が最も高く、7割半ばから8割半ばとなっている。

#### ■介護の有無



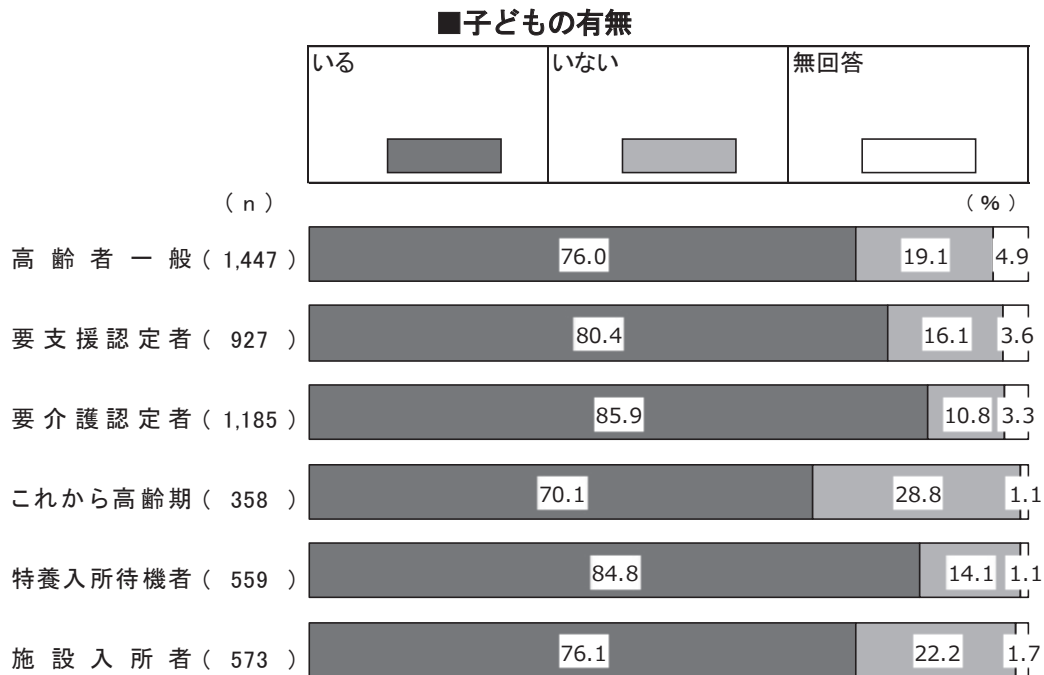
○同居の家族等を介護していると回答した人で、介護保険サービスを「利用している」のは、要支援認定者で約8割、要介護認定者で9割近くとなっている。

#### ■介護保険サービスの利用状況



#### ④ 子どもの有無

- 子どもが「いる」と回答したのは、高齢者一般、施設入所者では7割半ば、要支援認定者では約8割、要介護認定者および特養入所待機者では8割半ばとなっている。
- これから高齢期は、子どもは「いない」が3割近くとなっている。



#### 【高齢者一般】 【要支援・要介護認定者】

- 年代別にみると、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者ともに『前期高齢者』は子どもが「いない」が2割半ばから3割超で、『後期高齢者』と比べて高い。

#### ■子どもの有無

##### <高齢者一般：年代別>

	n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
高齢者一般	1,447	76.0	19.1	4.9
前期高齢者(65-74歳)	583	73.1	26.6	0.3
後期高齢者(75歳以上)	786	83.7	15.0	1.3

##### <要支援・要介護認定者：年代別>

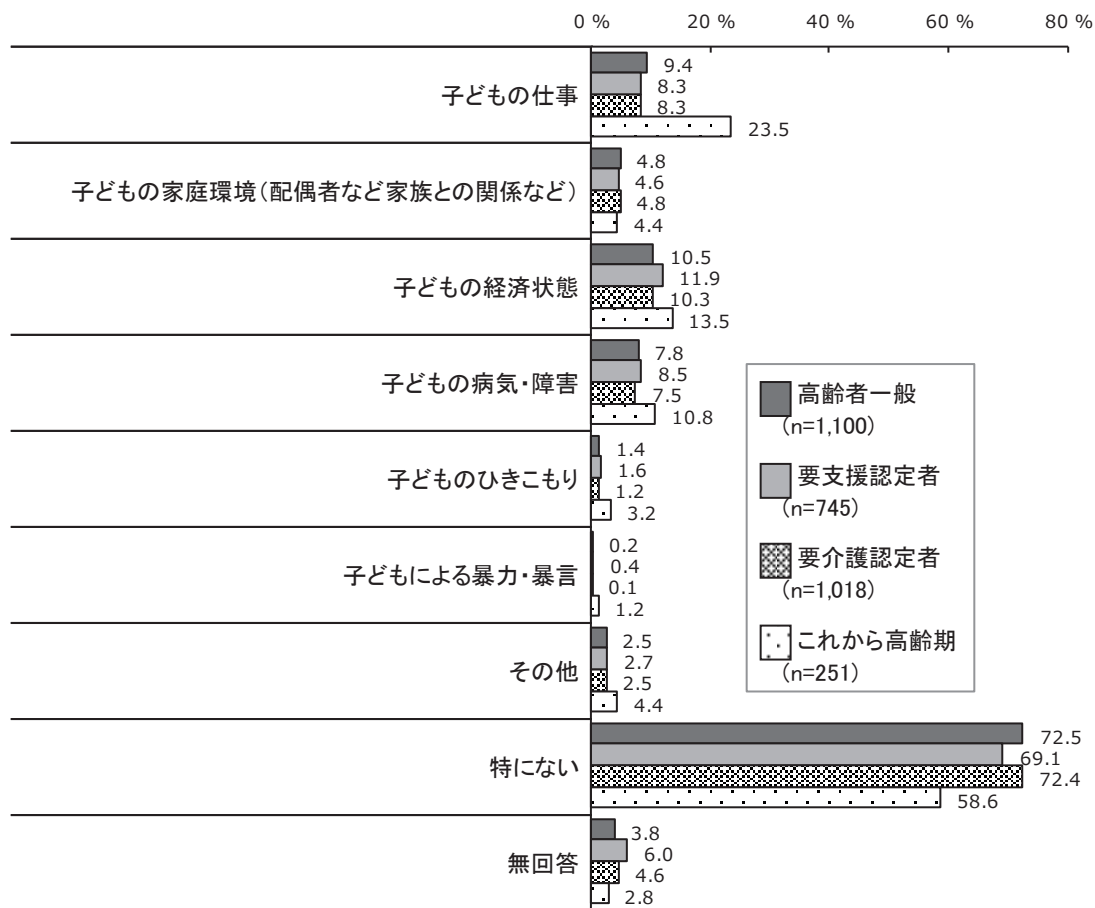
	n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
要支援認定者	927	80.4	16.1	3.6
前期高齢者(65-74歳)	92	66.3	33.7	-
後期高齢者(75歳以上)	797	82.9	14.7	2.4
要介護認定者	1,185	85.9	10.8	3.3
前期高齢者(65-74歳)	128	71.9	25.0	3.1
後期高齢者(75歳以上)	1,018	88.9	9.0	2.1

### ⑤ 子どもに関する心配事

○子どもが「いる」と回答した人の子どもに関する心配事は、いずれの調査でも「特にない」が最も高く、6割近くから7割超となっている。

○心配事としては、いずれの調査でも「子どもの経済状態」「子どもの仕事」「子どもの病気・障害」が上位に挙がっている。これから高齢期では、「子どもの仕事」が2割超と他の調査と比べて高い。

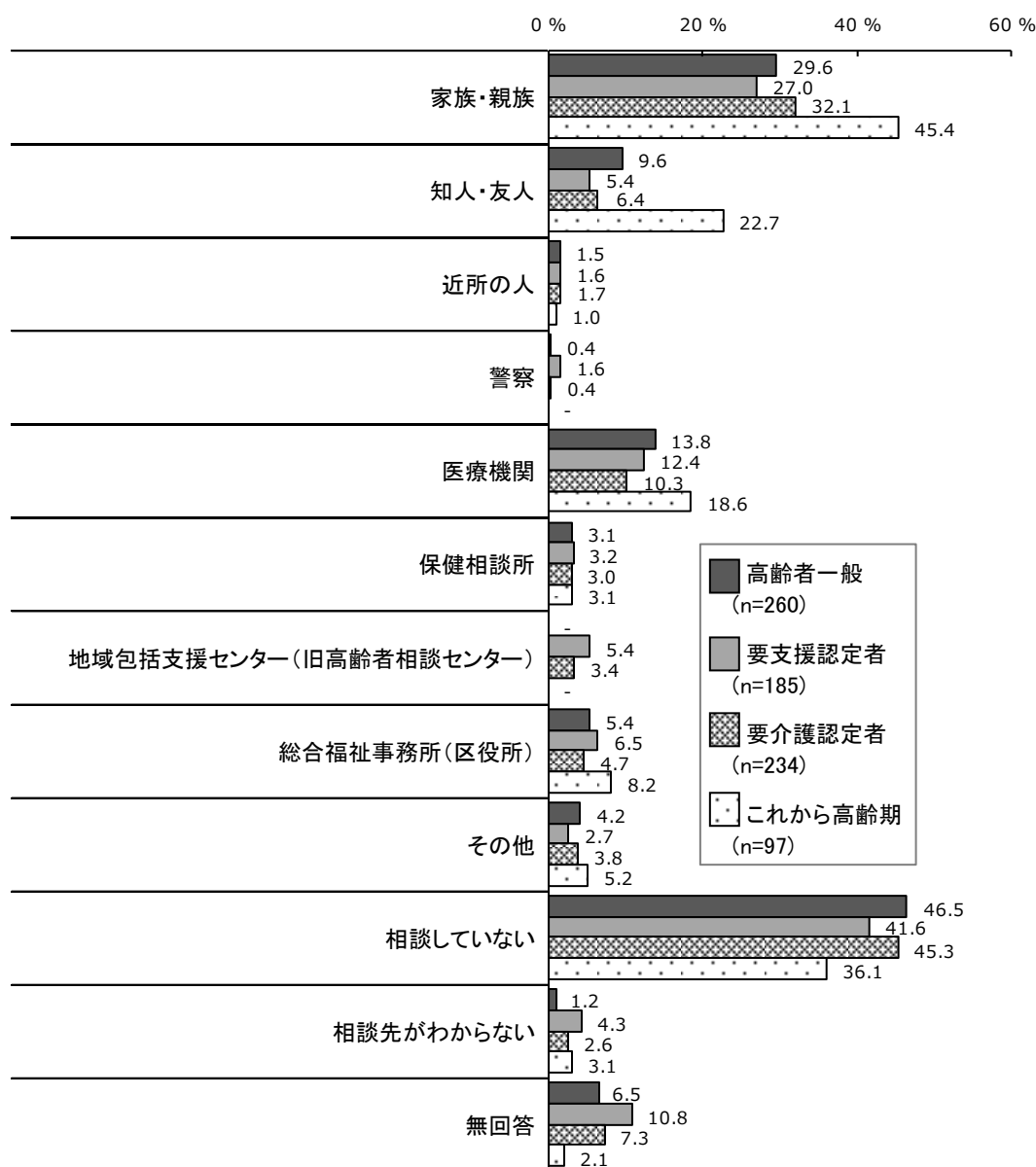
■子どもに関する心配事（複数回答）



### ⑥ 子どもに関する心配事の相談状況

- 何らかの子どもに関する心配事があると回答した人の相談状況は、高齢者一般では「相談していない」が46.5%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く29.6%、「医療機関」(13.8%)、「知人・友人」(9.6%)となっている。
- 要支援認定者では、「相談していない」が41.6%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く27.0%、「医療機関」(12.4%)となっている。
- 要介護認定者では、「相談していない」が45.3%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く32.1%、「医療機関」(10.3%)となっている。
- これから高齢期では、「相談していない」が36.1%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く45.4%、「知人・友人」(22.7%)、「医療機関」(18.6%)となっている。

■子どもに関する心配事の相談状況（複数回答）



### ⑦ ひきこもりの子どもの年齢

○子どもに関する心配事として「子どものひきこもり」と回答した人（高齢者一般で15人、要支援認定者、要介護認定者でそれぞれ12人、これから高齢期で8人）に、ひきこもりの子どもの年齢を聞いた。

#### ■ひきこもりの子どもの年齢

	n	(件)						
		30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
高齢者一般	15	1	4	5	5	0	0	0
要支援認定者	12	1	0	3	7	1	0	0
要介護認定者	12	0	1	5	4	0	0	2
これから高齢期	8	4	4	0	0	0	0	0

### ⑧ ひきこもりの期間

○子どもに関する心配事として「子どものひきこもり」と回答した人に、ひきこもりの期間を聞いた。

#### ■ひきこもりの期間

	n	(件)						
		6か月未満	16か月未満	31年以上	53年以上	150年以上	10年以上	無回答
高齢者一般	15	0	0	0	4	4	7	0
要支援認定者	12	0	0	2	0	2	8	0
要介護認定者	12	2	0	2	1	2	4	1
これから高齢期	8	1	0	2	1	3	1	0

### ⑨ ひきこもりになったきっかけ

○子どもに関する心配事として「子どものひきこもり」と回答した人に、ひきこもりになったきっかけを聞いた。

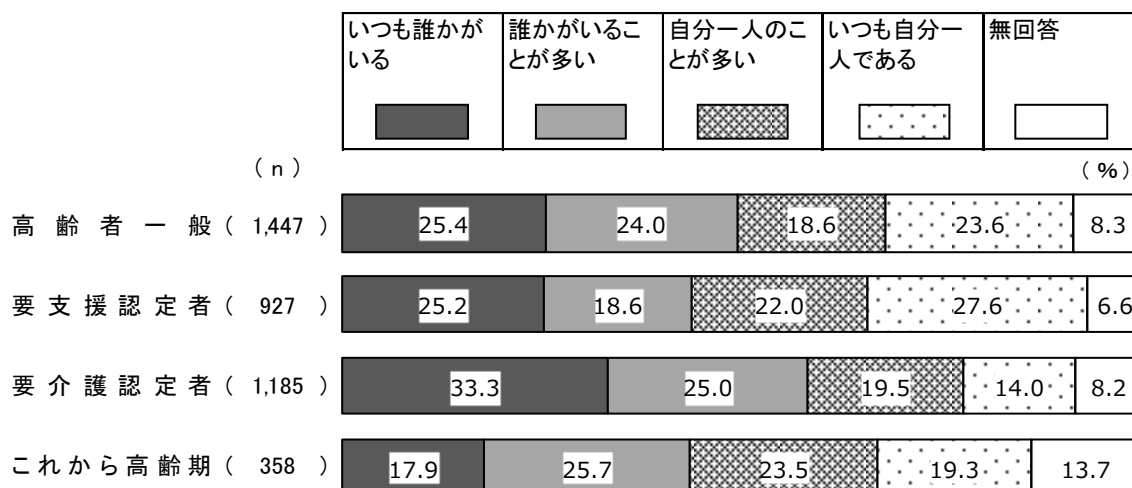
#### ■ひきこもりになったきっかけ（複数回答）

	n	(件)									
		登校（小学生～大学生等時の）不	就職できなかったこと	失業・退職したこと	家族等の介護のために離職したこと	健康上の問題	家族間の問題	事故・犯罪被害	その他	無回答	
高齢者一般	15	3	2	5	1	5	0	0	5	0	
要支援認定者	12	3	1	5	0	6	1	1	1	0	
要介護認定者	12	4	2	3	1	4	0	0	2	0	
これから高齢期	8	3	1	3	0	0	0	0	1	0	

### ⑩ 日中独居の状況

- 高齢者一般では、「いつも自分一人である」(23.6%)と「自分一人のことが多い」(18.6%)を合わせた“日中独居”は4割超となっている。
- 要支援認定者では、“日中独居”は5割近くとなっている。
- 要介護認定者では、「いつも誰かがいる」が33.3%で最も高い。“日中独居”は3割超であった。
- これから高齢期では、“日中独居”は4割超となっている。

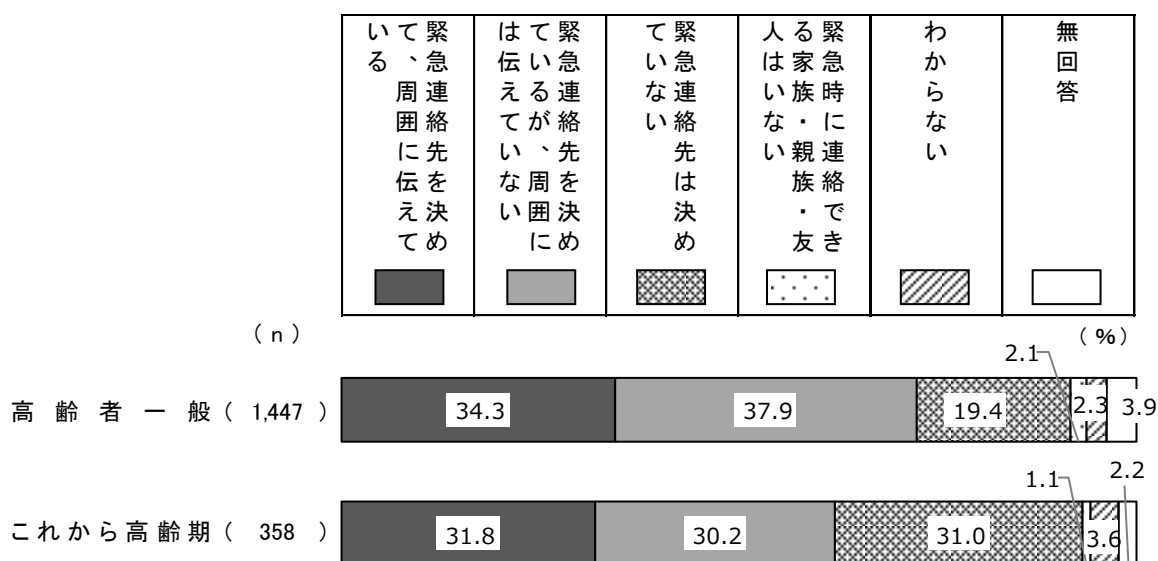
■日中独居の状況



### ⑪ 緊急連絡先の有無

- 高齢者一般では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が34.3%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が37.9%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は約2割となっている。
- これから高齢期では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が31.8%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が30.2%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は3割超となっている。

■緊急連絡先の有無

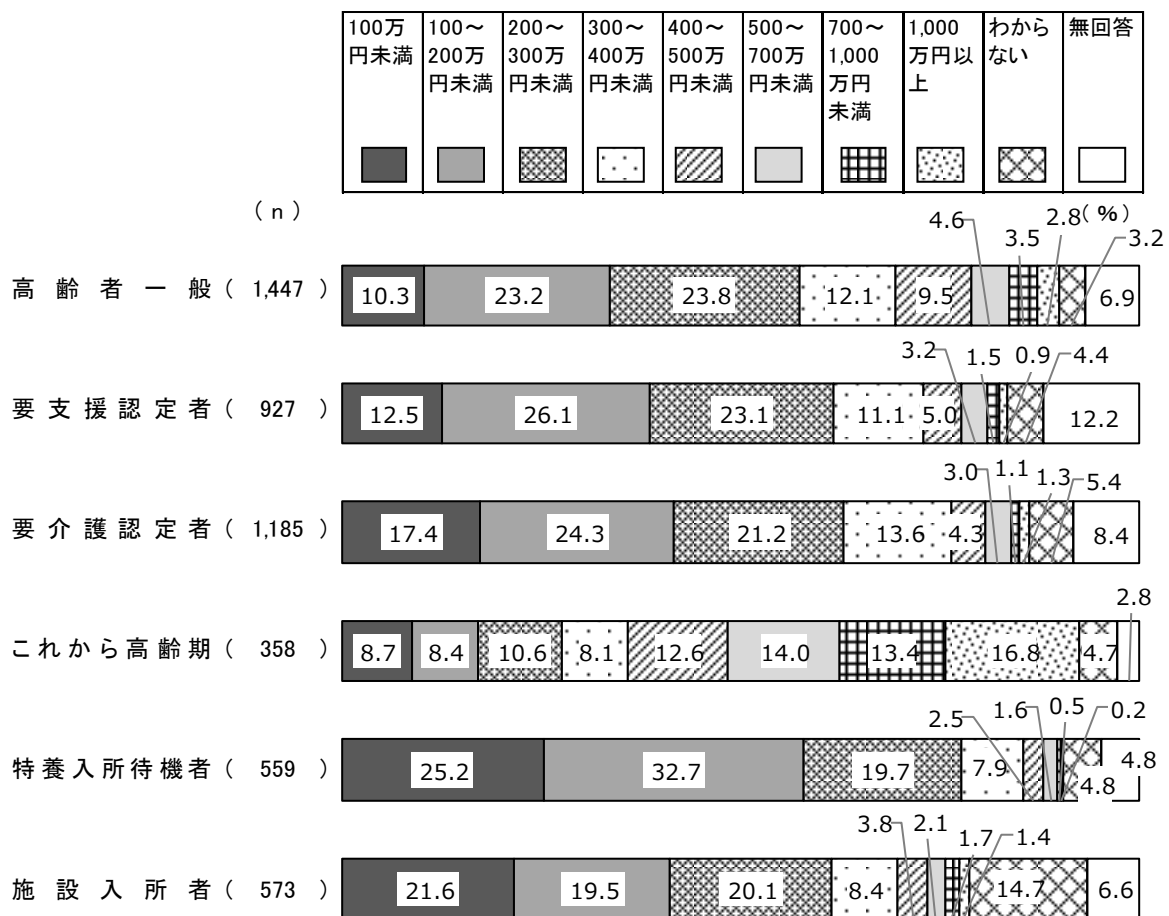


## (6) 暮らし向き

### ① 世帯の年収

- 高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者では、“300万円未満”（「100万円未満」～「200～300万円未満」の合計）が6割近くから6割超となっている。
- これから高齢期では、“500万円以上”（「500～700万円未満」～「1,000万円以上」の合計）が4割半ばとなっている。
- 特養入所待機者では、「100万円未満」が25.2%、「100～200万円未満」が32.7%、「200～300万円未満」が19.7%で、“300万円未満”が8割近くとなっている。
- 施設入所者では、「100万円未満」が21.6%、「100～200万円未満」が19.5%、「200～300万円未満」が20.1%で、“300万円未満”が6割超となっている。

■世帯の年収



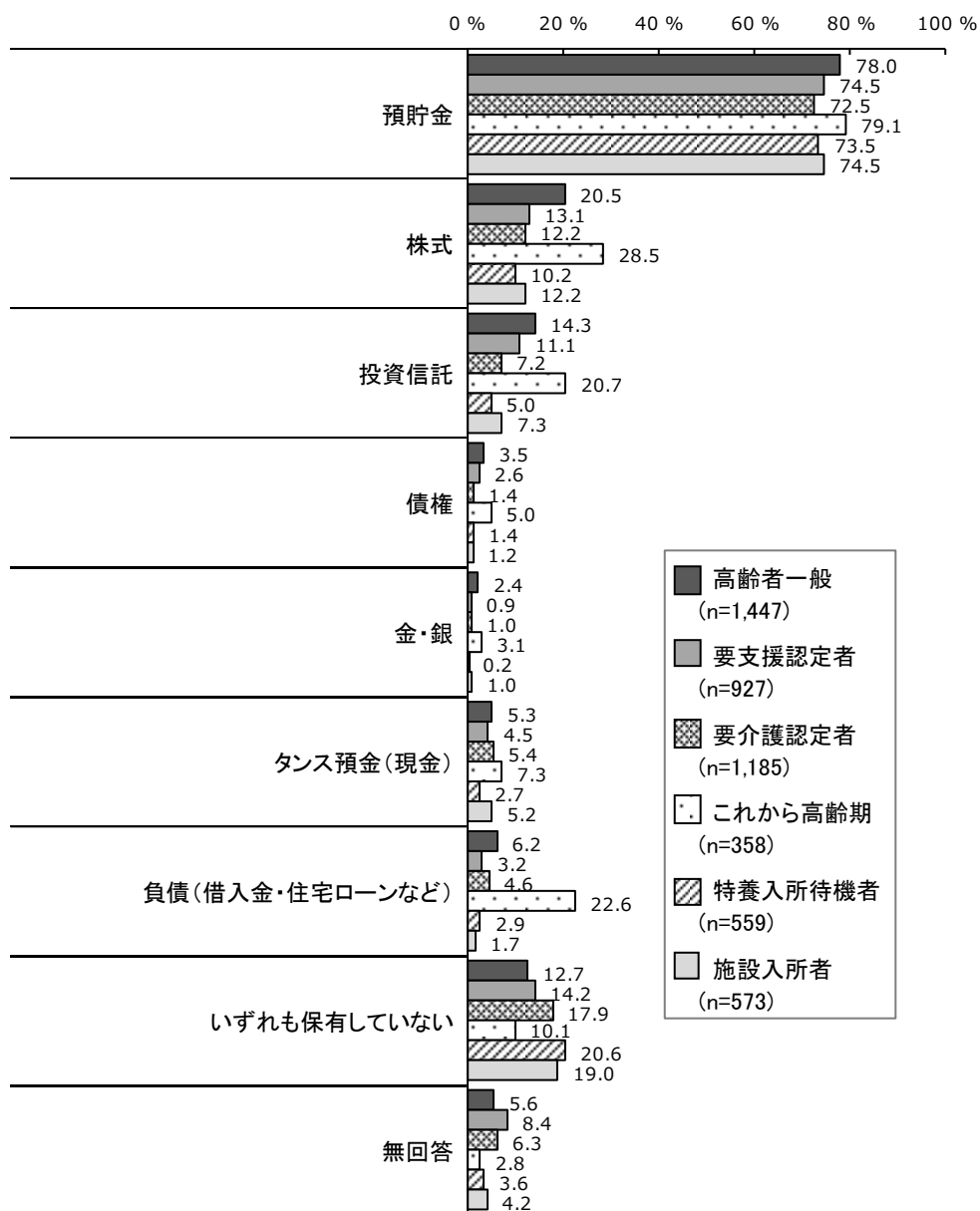


## ② 金融資産の保有状況

○いずれの対象者でも「預貯金」が最も高い（高齢者一般は78.0%、要支援認定者は74.5%、要介護認定者は72.5%、これから高齢期は79.1%、特養入所待機者は73.5%、施設入所者は74.5%）。

○特養入所待機者、施設入所者では、「いずれも保有していない」が約2割と続いている。

### ■金融資産の保有状況（複数回答）

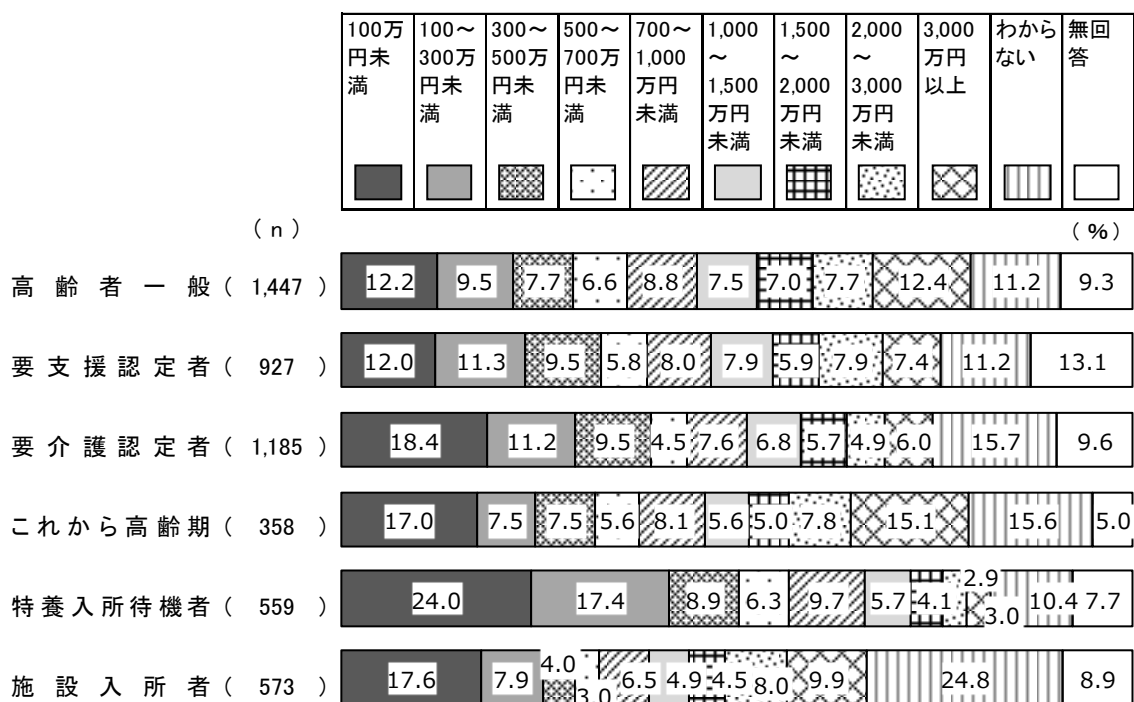


### ③ 世帯の預貯金

○預貯金額が「100万円未満」の世帯は、高齢者一般と要支援認定者で1割超、要介護認定者とこれから高齢期、施設入所者で2割近く、特養入所待機者で2割半ばとなっている。

○特養入所待機者では、“300万円未満”が4割超となっている。

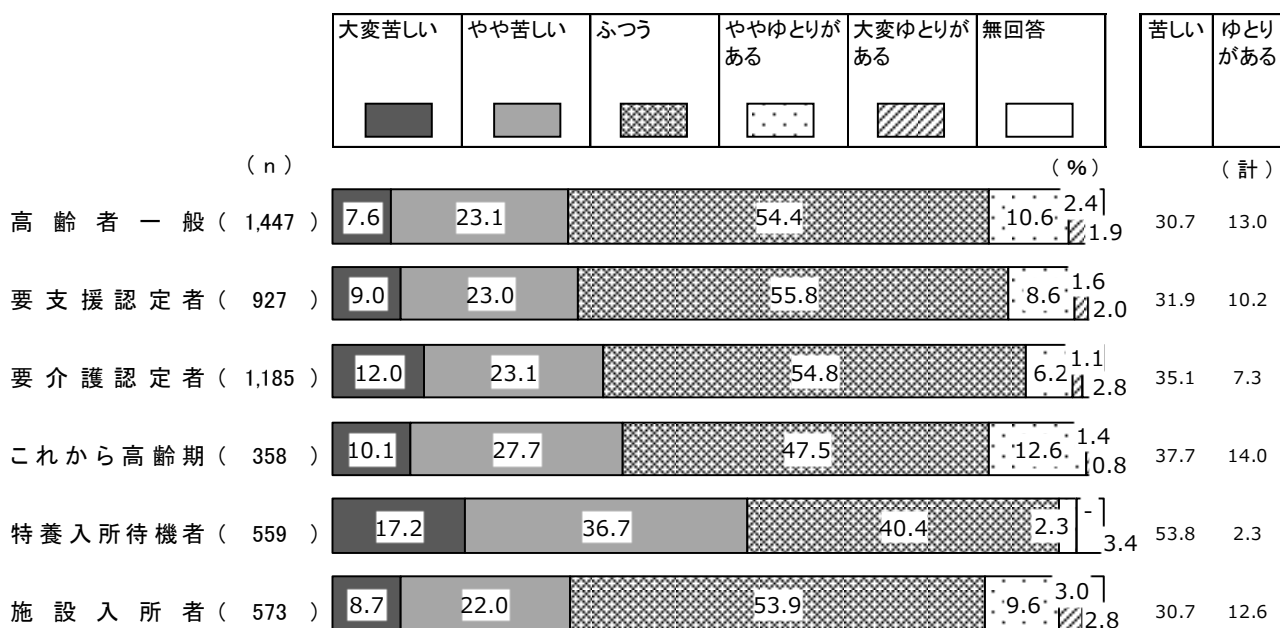
■世帯の預貯金



### ④ 暮らし向きを感じ方

○「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”と回答した人は、高齢者一般が30.7%、要支援認定者が31.9%、要介護認定者が35.1%、これから高齢期が37.7%、特養入所待機者が53.8%、施設入所者が30.7%となっている。

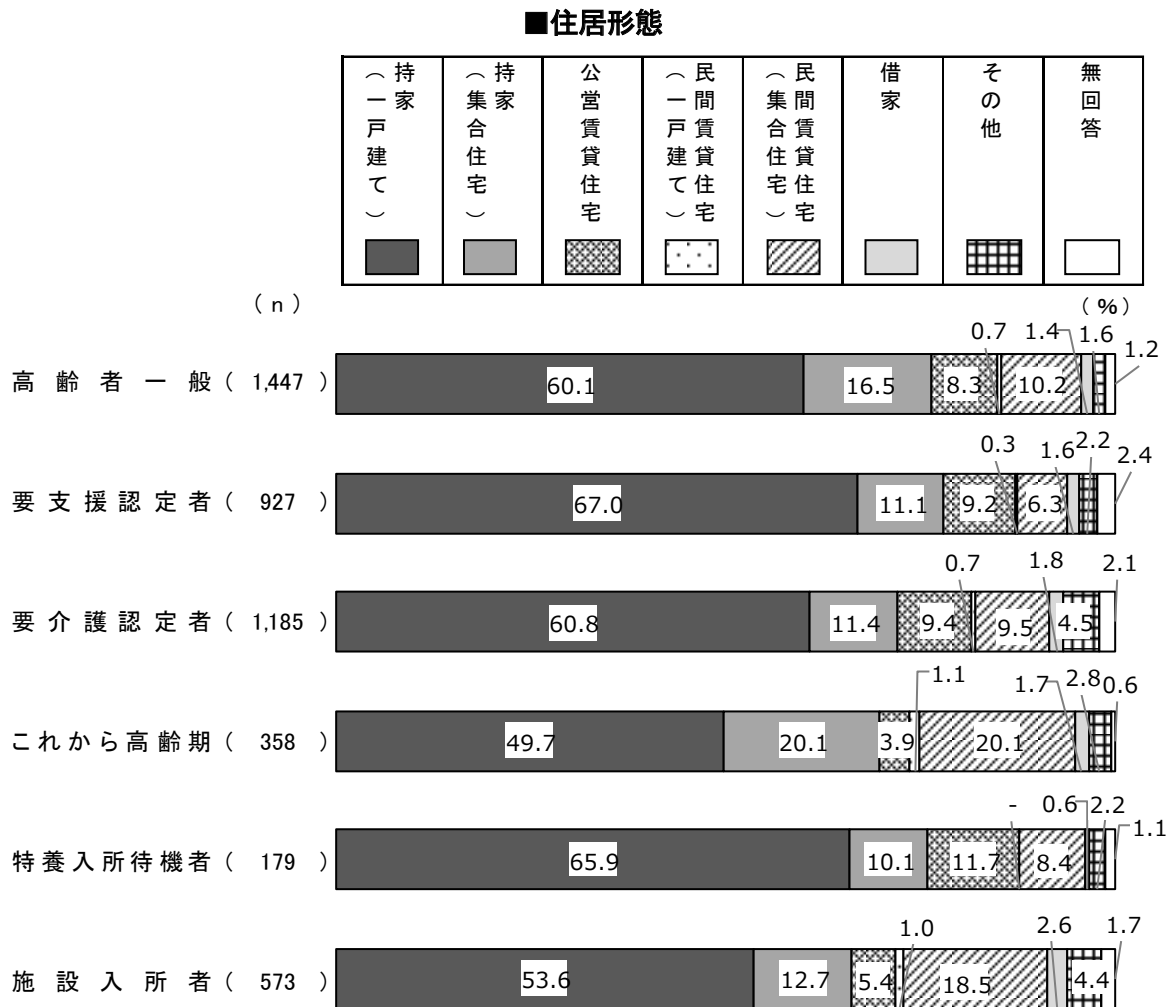
■暮らし向きを感じ方



## 2 住まい

### (1) 住居形態

- いずれの調査でも、「持家(一戸建て)」が最も高く、高齢者一般で60.1%、要支援認定者で67.0%、要介護認定者で60.8%、これから高齢期で49.7%、特養入所待機者で65.9%となっている。
- 施設入所者では、入所前の住居として「持家(一戸建て)」が53.6%となっている。
- これから高齢期では、「持家(集合住宅)」と「民間賃貸住宅(集合住宅)」がそれぞれ約2割となっている。



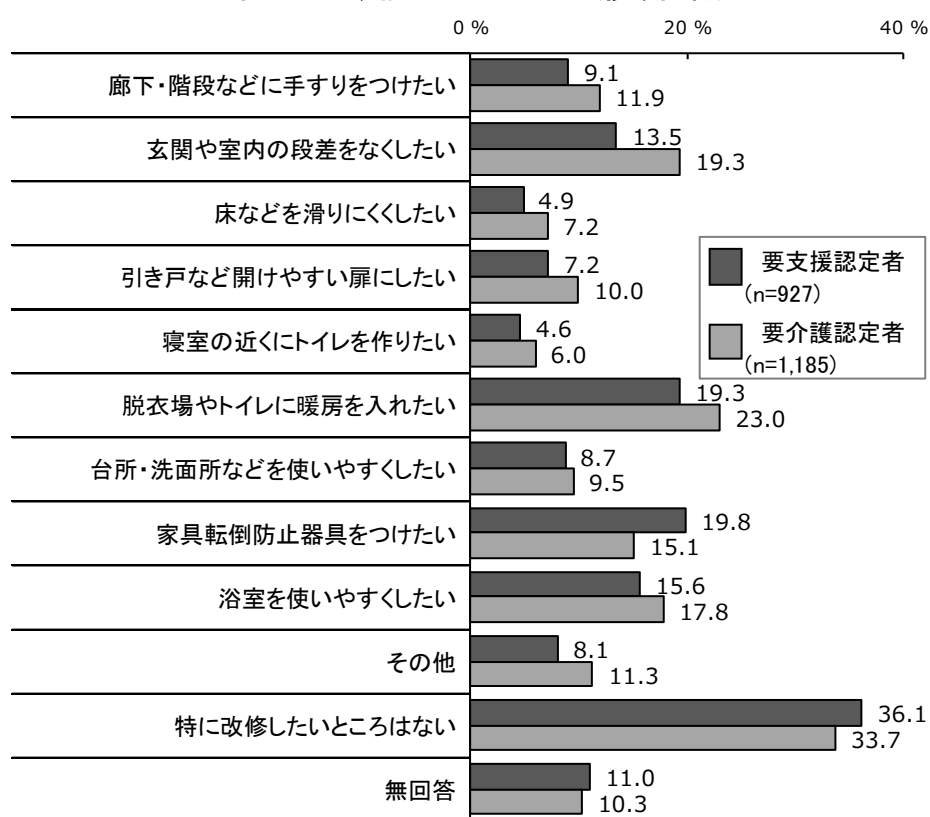
※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が「自宅」の人に聞いた

※ 施設入所者は、施設入所前の住居形態について聞いた

## (2) 住まいで改修したいところ

- 「特に改修したいところはない」は、要支援認定者で 36.1%、要介護認定者で 33.7%となっている。
- 改修したいところとして、要支援認定者では「家具転倒防止器具をつけたい」(19.8%)、「脱衣場やトイレに暖房を入れたい」(19.3%)が上位に挙がっている。要介護認定者では、「脱衣場やトイレに暖房を入れたい」(23.0%)、「玄関や室内の段差をなくしたい」(19.3%)、「浴室を使いやすいしたい」(17.8%)が上位に挙がっている。

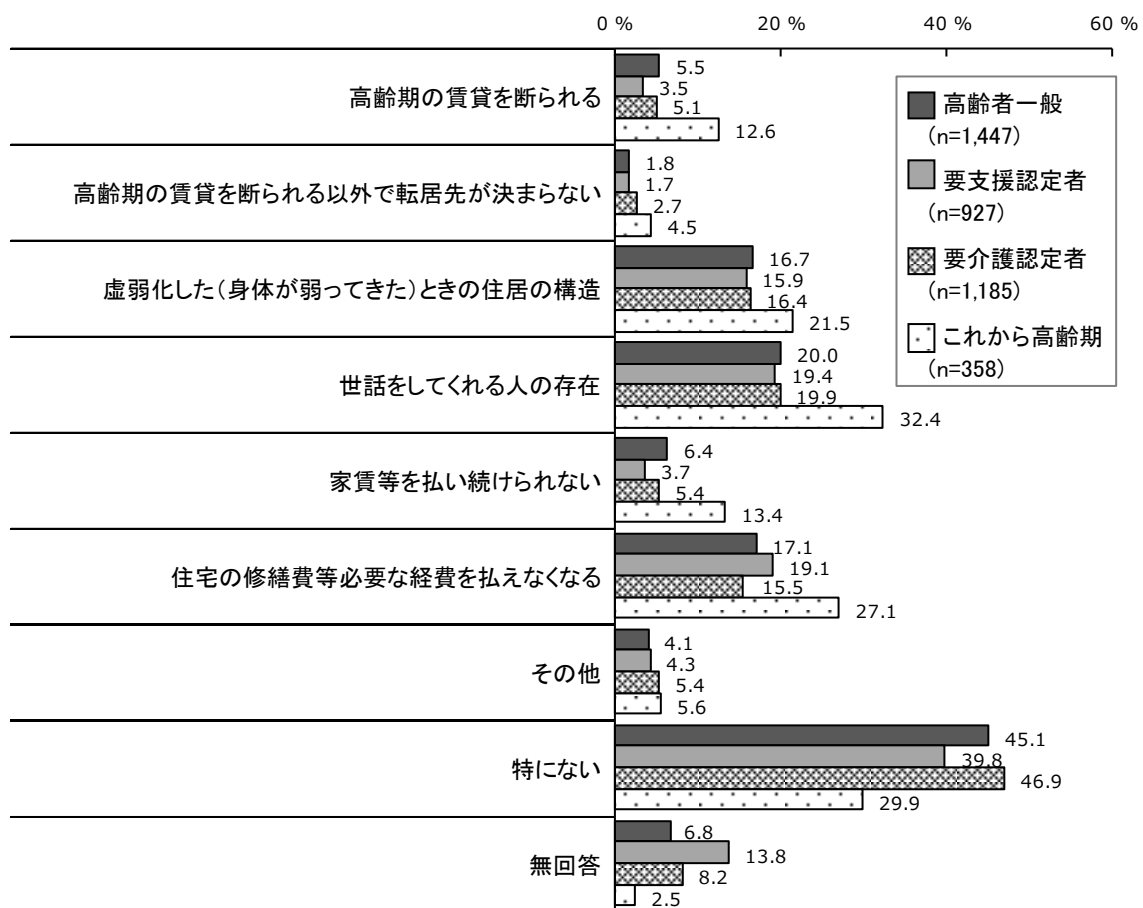
■住まいで改修したいところ（複数回答）



### (3) 将来の住まいに関する不安

- 高齢者一般では、「特にない」が45.1%となっている。住まいに関する不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(20.0%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(17.1%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(16.7%)が上位に挙がっている。
- 要支援認定者では、「特にない」が39.8%となっている。不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(19.4%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(19.1%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(15.9%)と続いている。
- 要介護認定者では、「特にない」が46.9%となっている。不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(19.9%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(16.4%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(15.5%)と続いている。
- これから高齢期では、「特にない」が29.9%となっている。不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(32.4%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(27.1%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(21.5%)と続いている。

■将来の住まいに関する不安(複数回答)

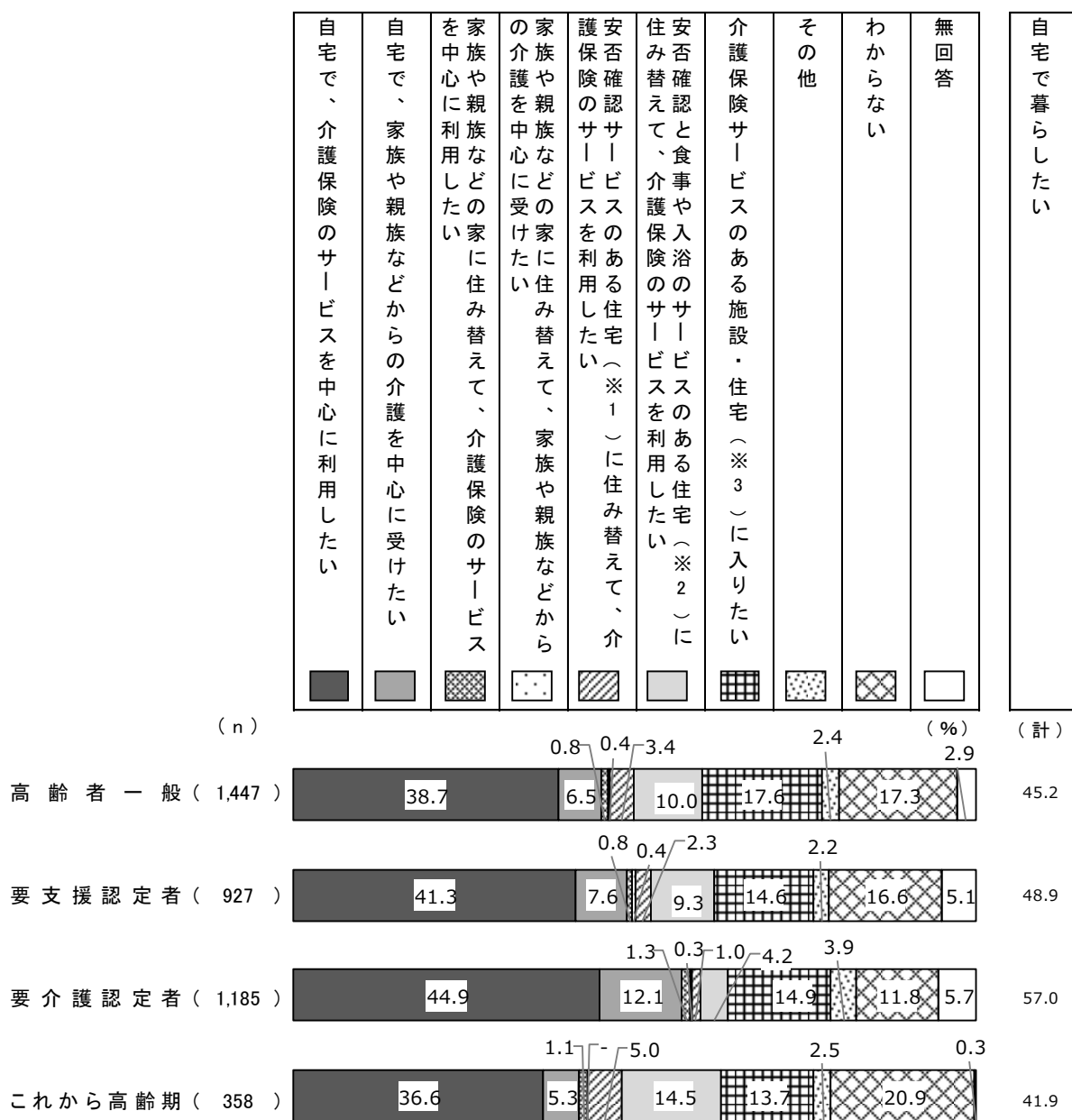


#### (4) ケア付き住まい

##### ① 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

- いずれの調査においても、「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く、3割半ばから4割半ばとなっている。
- “自宅で暮らしたい”（「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」と「自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい」の合計）は、高齢者一般で45.2%、要支援認定者で48.9%、要介護認定者で57.0%、これから高齢期で41.9%となっている。
- これから高齢期では、「安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅（サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム）に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい」が14.5%、「介護保険サービスのある施設・住宅（特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム）に入りたい」が13.7%となっている。

■介護が必要になった場合に希望する暮らし方



※1 シルバーピア

※2 サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム

※3 特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム

**【高齢者一般】**

○住まい形態別にみると、『持家』と回答した人は、“自宅で暮らしたい”が約5割で、『持家』以外と回答した人と比べて高い。

**■介護が必要になった場合に希望する暮らし方<高齢者一般：住まい形態別>**

	n	(%)(計)										
		自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい	自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい	家族や親族などからの介護を中心に受けたい	介護保険のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認サービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	介護保険サービスの施設・住宅に入りたい	その他	わからない
高齢者一般	1,447	38.7	6.5	0.8	0.4	3.4	10.0	17.6	2.4	17.3	2.9	45.2
持家	1,108	42.1	7.8	0.5	0.4	2.3	9.7	18.9	2.0	15.0	1.4	49.8
賃貸住宅等	298	29.9	2.3	2.3	0.7	7.4	10.7	13.8	3.0	26.5	3.4	32.2
その他	23	17.4	4.3	-	-	4.3	17.4	17.4	17.4	17.4	4.3	21.7

○世帯構成別にみると、『1人暮らし』と回答した人は、“自宅で暮らしたい”が3割半ばで、『1人暮らし』以外の世帯構成と回答した人と比べて低い。

**■介護が必要になった場合に希望する暮らし方<高齢者一般：世帯構成別>**

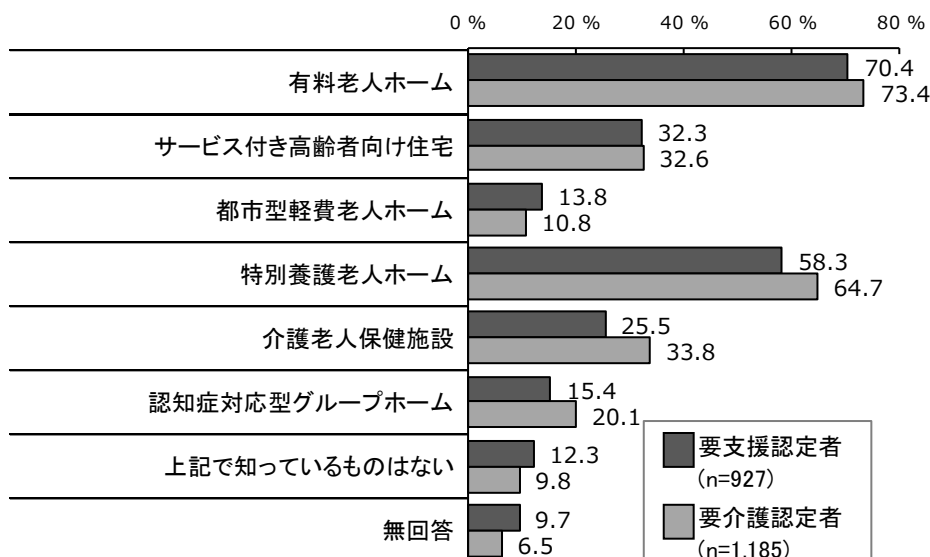
	n	(%)(計)										
		自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい	自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい	家族や親族などからの介護を中心に受けたい	介護保険のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認サービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	介護保険サービスの施設・住宅に入りたい	その他	わからない
高齢者一般	1,447	38.7	6.5	0.8	0.4	3.4	10.0	17.6	2.4	17.3	2.9	45.2
1人暮らし	445	34.2	2.0	1.1	1.1	6.3	12.4	17.1	3.4	19.3	3.1	36.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	397	42.1	8.6	0.5	-	2.3	9.6	18.6	1.5	14.6	2.3	50.6
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	74	45.9	9.5	1.4	-	-	5.4	21.6	-	16.2	-	55.4
子との2世帯	248	40.3	9.3	0.4	0.4	1.6	6.9	19.8	2.4	15.7	3.2	49.6
その他	210	36.2	8.1	1.0	-	2.4	10.0	15.7	2.9	21.0	2.9	44.3

## ② 高齢者向け住宅・施設の認知度

○高齢者向け住宅・施設の認知度は、要支援認定者では「有料老人ホーム」が70.4%で最も高く、「特別養護老人ホーム」(58.3%)、「サービス付き高齢者向け住宅」(32.3%)、「介護老人保健施設」(25.5%)、「認知症対応型グループホーム」(15.4%)、「都市型軽費老人ホーム」(13.8%)と続いている。

○要介護認定者では、「有料老人ホーム」が73.4%で最も高く、「特別養護老人ホーム」(64.7%)、「介護老人保健施設」(33.8%)、「サービス付き高齢者向け住宅」(32.6%)、「認知症対応型グループホーム」(20.1%)、「都市型軽費老人ホーム」(10.8%)と続いている。

■高齢者向け住宅・施設の認知度（複数回答）



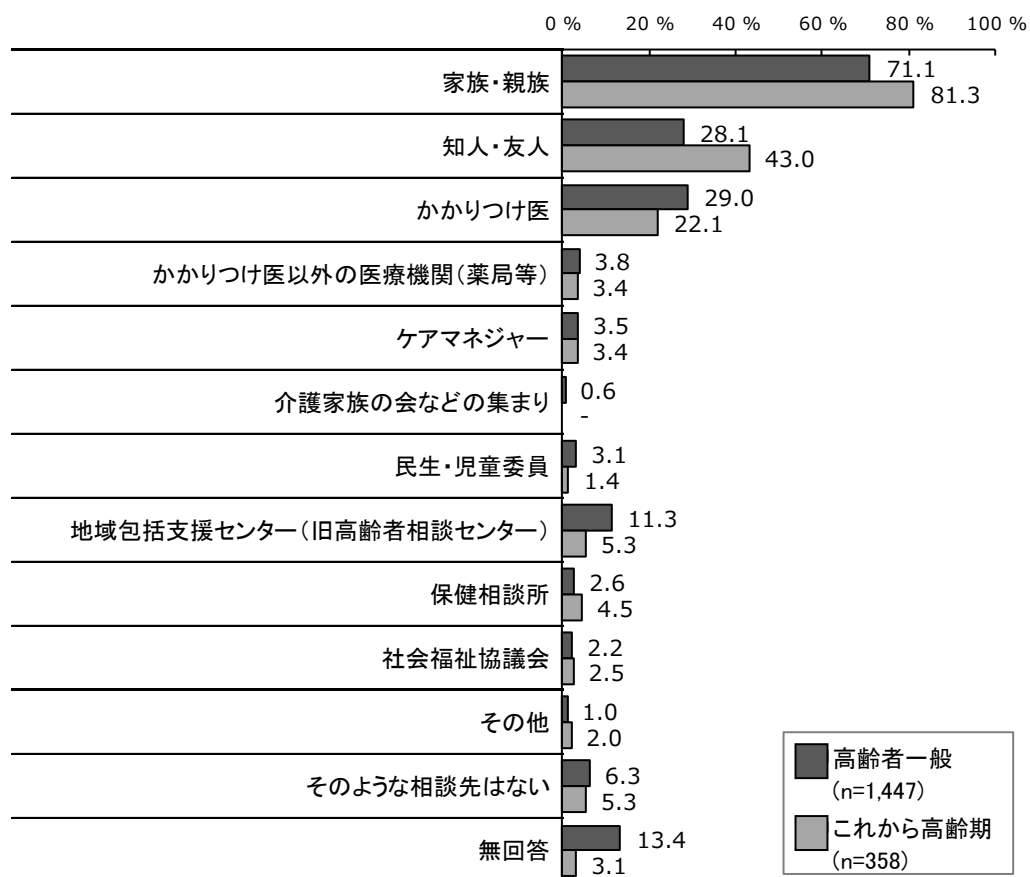


### 3 日常生活の状況

#### (1) 日常生活で困った場合の相談先

○いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で71.1%、これから高齢期で81.3%となっている。

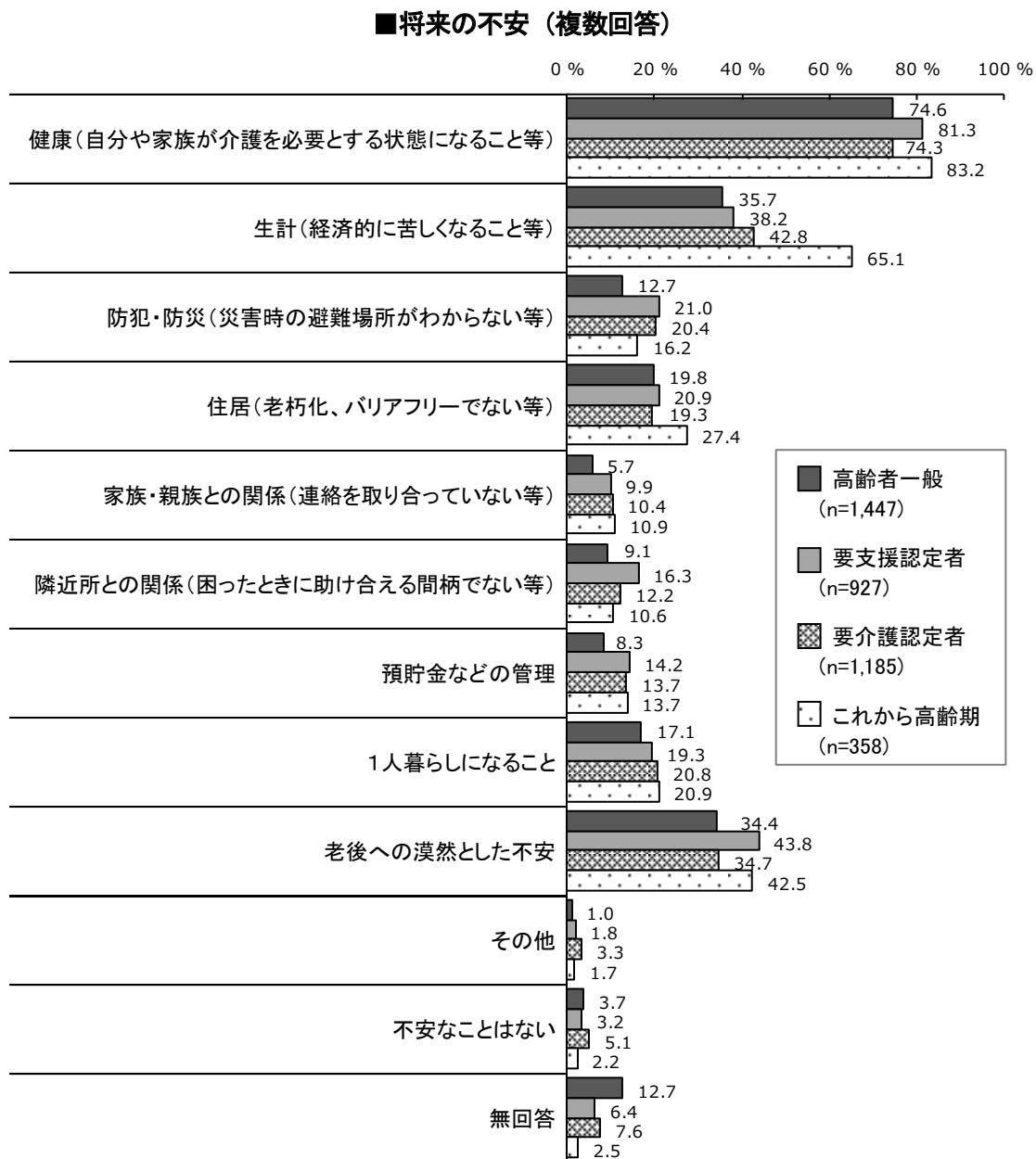
■日常生活で困った場合の相談先（複数回答）



## (2) 将来の不安

○いずれの調査でも、「健康（自分や家族が介護を必要とする状態になること等）」が最も高く、7割半ばから8割超となっている。

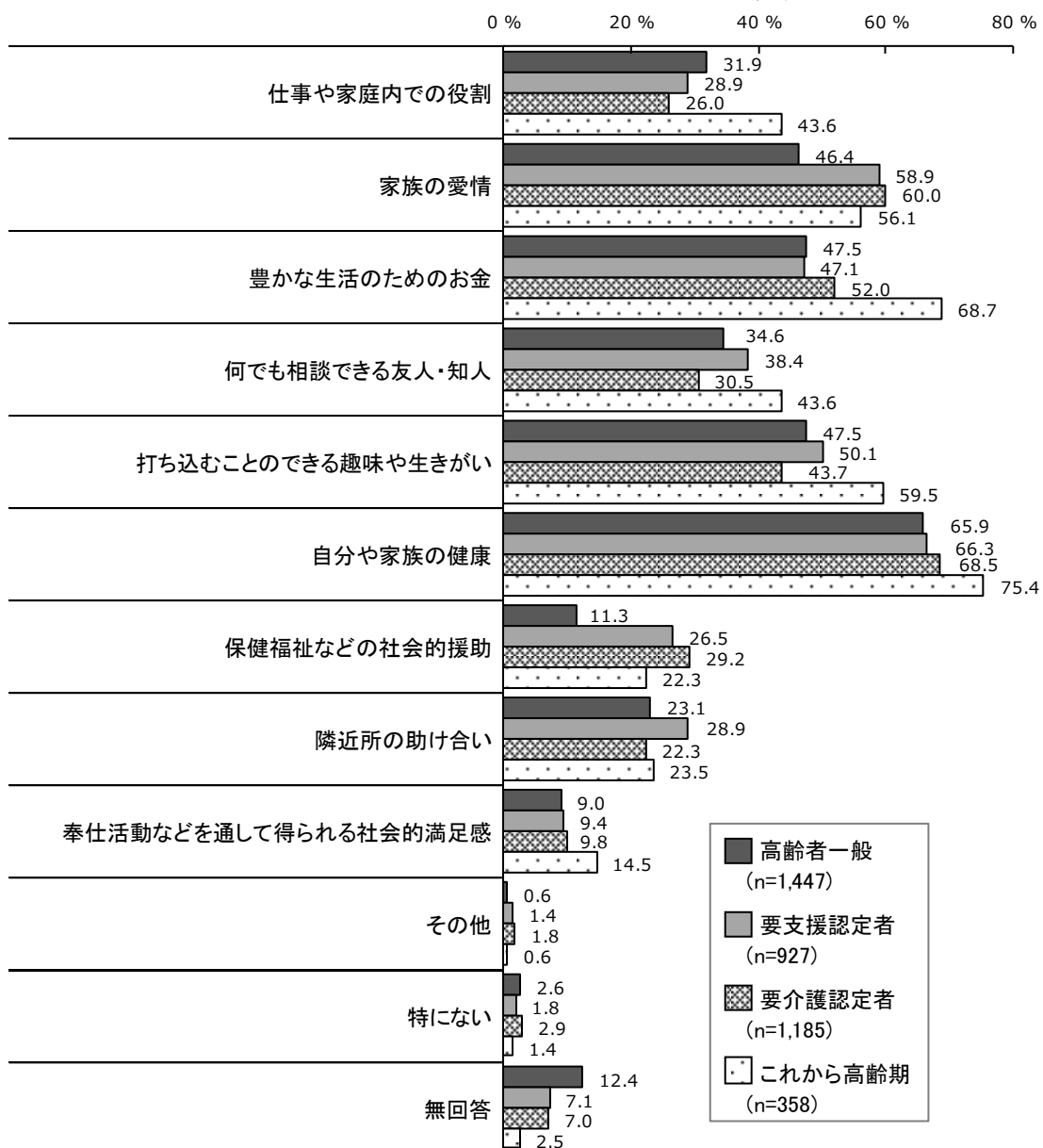
○次いで、「生計（経済的に苦しくなること等）」「老後への漠然とした不安」が上位に挙がっている。



### (3) 老後を楽しく生きていくために必要なもの

- 高齢者一般では、「自分や家族の健康」が65.9%で最も高く、「打ち込むことのできる趣味や生きがい」「豊かな生活のためのお金」（ともに47.5%）、「家族の愛情」（46.4%）と続いている。
- 要支援認定者では、「自分や家族の健康」が66.3%で最も高く、「家族の愛情」（58.9%）、「打ち込むことのできる趣味や生きがい」（50.1%）、「豊かな生活のためのお金」（47.1%）と続いている。
- 要介護認定者では、「自分や家族の健康」が68.5%で最も高く、「家族の愛情」（60.0%）、「豊かな生活のためのお金」（52.0%）、「打ち込むことのできる趣味や生きがい」（43.7%）と続いている。
- これから高齢期では、「自分や家族の健康」が75.4%で最も高く、「豊かな生活のためのお金」（68.7%）、「打ち込むことのできる趣味や生きがい」（59.5%）、「家族の愛情」（56.1%）と続いている。

■老後を楽しく生きていくために必要なもの（複数回答）



**【参考：過去の調査結果との比較】**

○平成13年度調査、平成28年度調査と同様に、「自分や家族の健康」が最も高い。

**■老後を楽しく生きていくために必要なもの（複数回答）＜高齢者一般：経年比較＞**

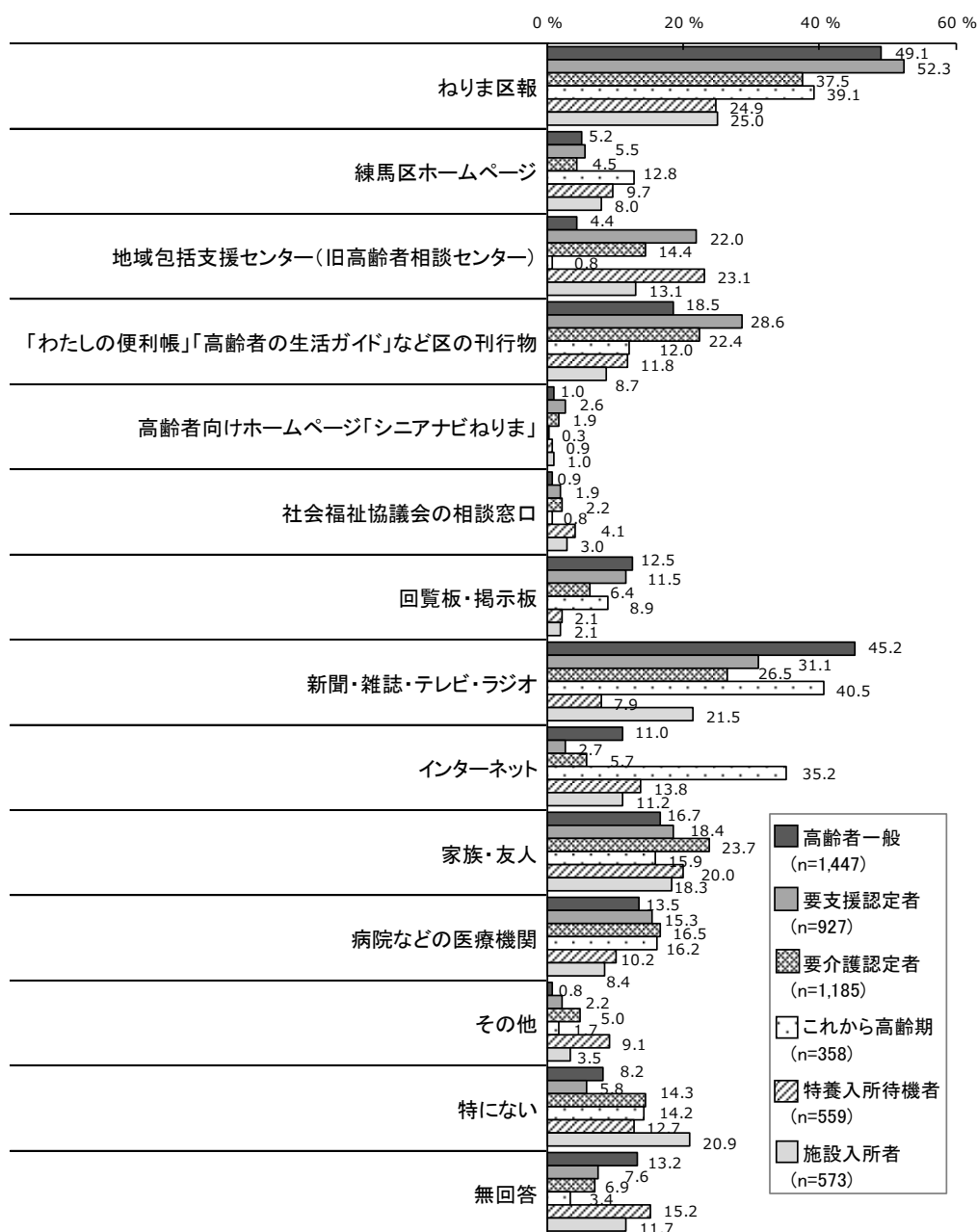
	n	自分や家族の健康	豊かな生活のためのお金	打ち込むことのできる趣味や生きがい	家族の愛情	友人・知人	何でも相談できる	仕事や家庭内での役割	隣近所の助け合い	保健福祉などの社会的援助	奉仕活動などを通して得られる社会的満足感	その他	特になし	無回答
令和元年度	1,447	65.9	47.5	47.5	46.4	34.6	31.9	23.1	11.3	9.0	0.6	2.6	12.4	
平成28年度	1,434	64.3	49.0	48.7	49.6	35.8	29.4	22.0	15.0	9.2	1.2	1.7	11.4	
平成13年度	2,008	79.4	43.9	53.3	57.3	36.6	27.1	31.5	33.4	17.0	1.5	2.0	2.0	

※ 平成13年度調査は、住民基本台帳から介護保険の認定を受けている者を含む65歳以上の高齢者を無作為に抽出して調査を行っている（回答者の構成比は、＜男性45.4%、女性53.4%＞＜前期高齢者64.1%、後期高齢者34.9%＞＜1人暮らし世帯10.8%、同居世帯48.3%、夫婦のみ世帯36.3%＞）。そのため、平成13年度は身体状況を聞く設問で「交通機関を使い不自由なく一人で外出できる」「多少不自由だが交通機関を使い外出できる」と回答した者（2,008人）のみ、平成28年度は『バスや電車を使って一人で外出しているか（自家用車含む）』を聞く設問で「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した者（1,434人）のみを対象とした

#### (4) 健康や保健福祉の情報の入手方法

- 高齢者一般では、「ねりま区報」が最も高く 49.1%、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(45.2%)となっている。
- 要支援認定者では、「ねりま区報」が最も高く 52.3%、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(31.1%)、「わたしの便利帳」「高齢者の生活ガイド」など区の刊行物(28.6%)となっている。
- 要介護認定者では、「ねりま区報」が最も高く 37.5%、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(26.5%)、「家族・友人」(23.7%)、「わたしの便利帳」「高齢者の生活ガイド」など区の刊行物(22.4%)と続いている。また「特にない」は 14.3%となっている。
- これから高齢期では、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(40.5%)、「ねりま区報」(39.1%)が上位に挙げられている。また「特にない」は 14.2%となっている。
- 特養入所待機者では、「ねりま区報」(24.9%)、「地域包括支援センター」(23.1%)が上位に挙げられている。
- 施設入所者では、「ねりま区報」(25.0%)、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(21.5%)が上位に挙げられている。また「特にない」は 20.9%となっている。

■健康や保健福祉の情報の入手方法 (○は3つまで)



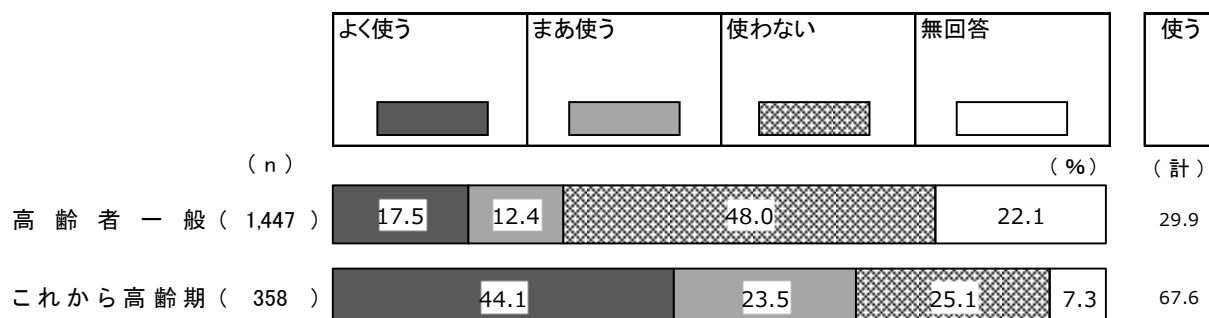
## (5) パソコン等の情報通信機器の使用状況

○「携帯電話」は、高齢者一般、これから高齢期ともに4割以上が使用している。

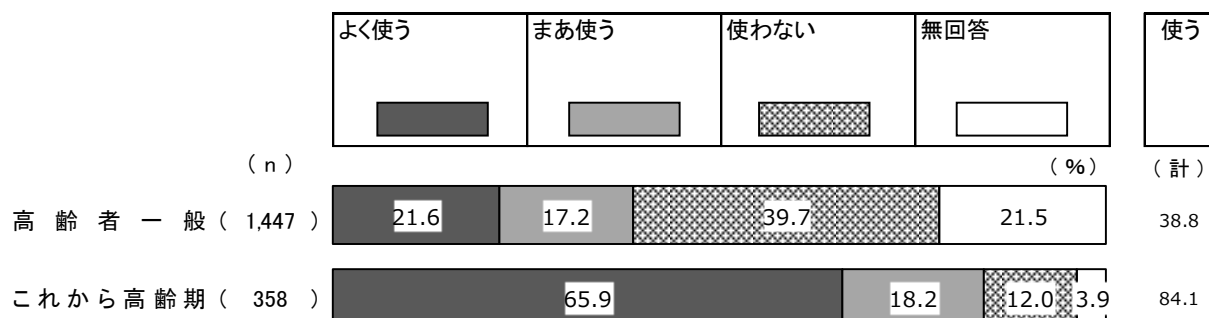
○これから高齢期でスマートフォンを“使う”（「よく使う」と「まあ使う」の合計）は8割半ば（高齢者一般は4割近く）となっている。

### ■パソコン等の情報通信機器の使用状況

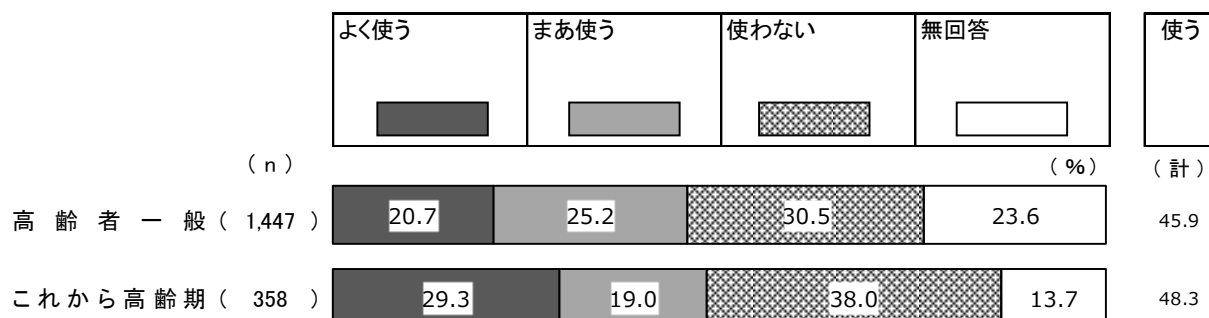
#### ①パソコン



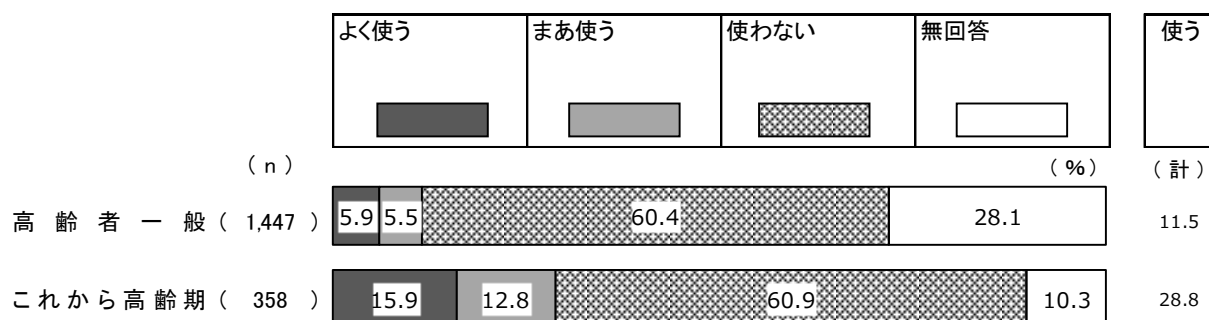
#### ②スマートフォン



#### ③携帯電話



#### ④タブレット型端末



## 【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』の情報通信機器の使用率は、『後期高齢者』と比べて高い。

### ■パソコン等の情報通信機器の使用状況<高齢者一般：年代別>

#### ①パソコン

	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,447	17.5	12.4	48.0	22.1	29.9
前期高齢者(65歳-74歳)	583	27.8	16.1	42.7	13.4	43.9
後期高齢者(75歳以上)	786	10.3	9.9	53.1	26.7	20.2

#### ②スマートフォン

	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,447	21.6	17.2	39.7	21.5	38.8
前期高齢者(65歳-74歳)	583	36.7	22.5	28.5	12.3	59.2
後期高齢者(75歳以上)	786	10.6	13.7	49.1	26.6	24.3

#### ③携帯電話

	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,447	20.7	25.2	30.5	23.6	45.9
前期高齢者(65歳-74歳)	583	24.2	23.5	32.4	19.9	47.7
後期高齢者(75歳以上)	786	18.4	26.8	29.5	25.2	45.3

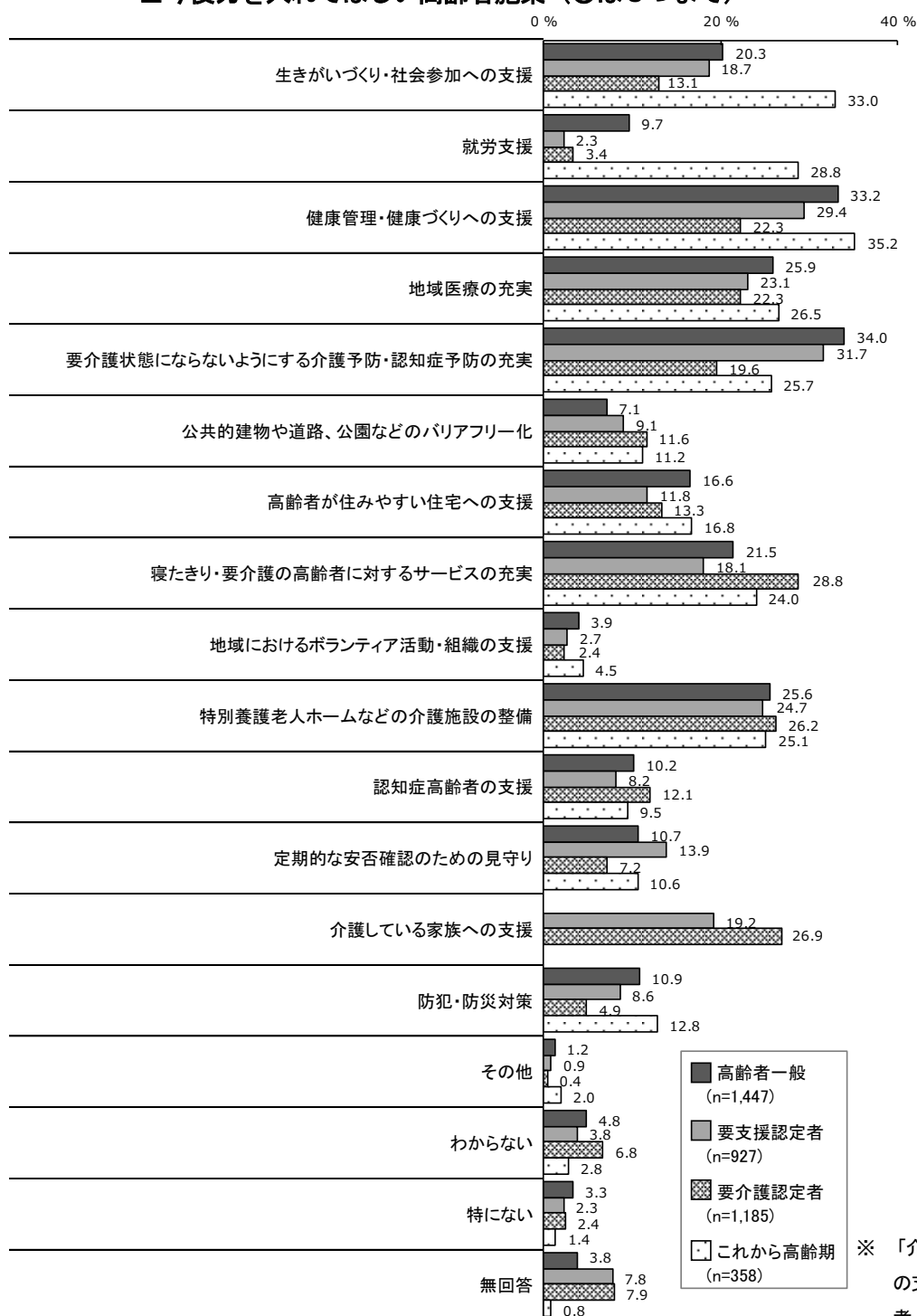
#### ④タブレット型端末

	n	(%)				(計)
		よく使う	まあ使う	使わない	無回答	使う
高齢者一般	1,447	5.9	5.5	60.4	28.1	11.5
前期高齢者(65歳-74歳)	583	9.3	8.6	62.1	20.1	17.8
後期高齢者(75歳以上)	786	3.1	3.7	60.3	33.0	6.7

## (6) 今後力を入れてほしい高齢者施策

- 高齢者一般では、「要介護状態にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(34.0%)、「健康管理・健康づくりへの支援」(33.2%)が上位に挙がっている。
- 要支援認定者では、「要介護状態にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(31.7%)、「健康管理・健康づくりへの支援」(29.4%)が上位に挙がっている。
- 要介護認定者では、「寝たきり・要介護の高齢者に対するサービスの充実」(28.8%)、「介護している家族への支援」(26.9%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設の整備」(26.2%)が上位に挙がっている。
- これから高齢期では、「健康管理・健康づくりへの支援」(35.2%)、「生きがいがづくり・社会参加への支援」(33.0%)が上位に挙がっている。

■今後力を入れてほしい高齢者施策 (〇は3つまで)



※ 「介護している家族への支援」は要支援認定者・要介護認定者のみ聞いている

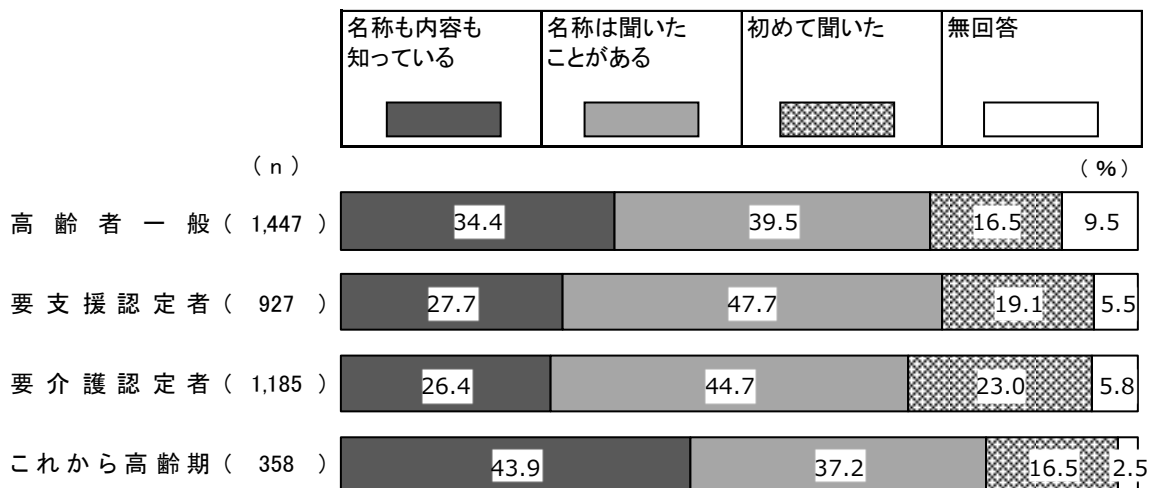


## (7) 成年後見制度

### ① 成年後見制度の認知度

- 「名称も内容も知っている」は、高齢者一般で34.4%、要支援認定者で27.7%、要介護認定者で26.4%、これから高齢期で43.9%となっている。
- 「初めて聞いた」は、高齢者一般で16.5%、要支援認定者で19.1%、要介護認定者で23.0%、これから高齢期で16.5%となっている。

■成年後見制度の認知度



### 【高齢者一般】 【要支援・要介護認定者】

- 年代別にみると、『前期高齢者』で「名称も内容も知っている」は高齢者一般、要支援認定者で4割近く、要介護認定者で3割半ばで、それぞれ『後期高齢者』と比べて認知度が高い。

### ■成年後見制度の認知度<高齢者一般：年代別> <要支援・要介護認定者：年代別>

	n	名称も内容も知っている	名称は聞いたことがある	初めて聞いた	無回答
高齢者一般	1,447	34.4	39.5	16.5	9.5
前期高齢者(65歳-74歳)	583	37.9	41.5	15.1	5.5
後期高齢者(75歳以上)	786	32.2	39.1	17.2	11.6

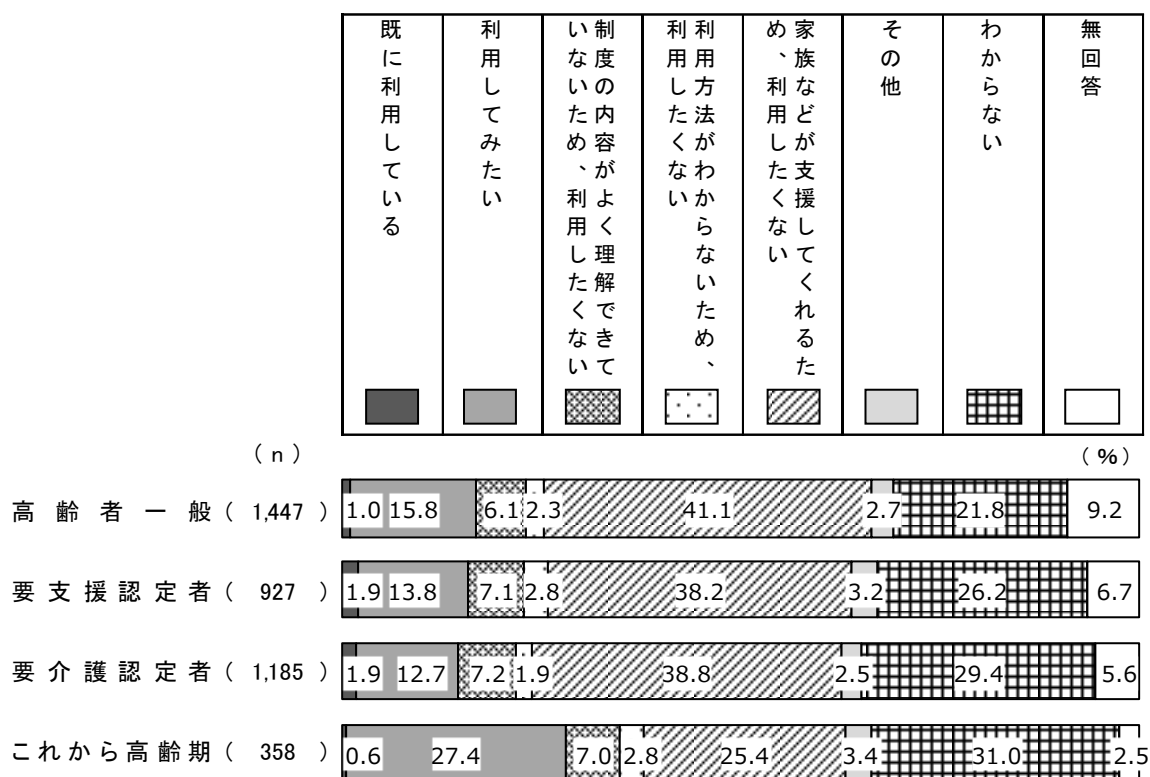
	n	名称も内容も知っている	名称は聞いたことがある	初めて聞いた	無回答
要支援認定者	927	27.7	47.7	19.1	5.5
前期高齢者(65歳-74歳)	92	37.0	37.0	22.8	3.3
後期高齢者(75歳以上)	797	27.0	48.7	18.7	5.6
要介護認定者	1,185	26.4	44.7	23.0	5.8
前期高齢者(65歳-74歳)	128	35.9	40.6	16.4	7.0
後期高齢者(75歳以上)	1,018	25.0	45.2	24.5	5.3

## ② 成年後見制度の利用意向

○高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者では、「家族などが支援してくれるため、利用したくない」が4割前後で最も高い。

○これから高齢期では、「利用してみたい」が27.4%となっている。

### ■成年後見制度の利用意向



### 【高齢者一般】 【要支援・要介護認定者】

○子どもの有無別にみると、子どもは『いない』と回答した人は、子どもが『いる』と回答した人と比べて利用意向（「利用してみたい」の割合）が高い。

### ■成年後見制度の利用意向<高齢者一般：子どもの有無別>

	n	既に利用している	利用してみたい	制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない	利用方法がわからないため、利用したくない	家族などが支援してくれないため、利用したくない	その他	わからない	無回答
高齢者一般	1,447	1.0	15.8	6.1	2.3	41.1	2.7	21.8	9.2
いる	1,100	1.1	13.9	5.2	2.1	47.6	1.9	19.7	8.5
いない	276	1.1	24.6	8.3	3.6	15.2	6.5	31.5	9.1

○子どもの有無別にみると、要支援認定者では子どもは『いない』と回答した人は「利用してみたい」が2割半ばで子どもが『いる』と回答した人と比べて利用意向が高い。

■成年後見制度の利用意向<要介護認定者：子どもの有無別>

(%)

	n	既に利用している	利用してみたい	制度の内容がよく理解できていないため、利用しにくい	利用方法がわからないため、	家族などが支援できないため、	その他	わからない	無回答
要支援認定者	927	1.9	13.8	7.1	2.8	38.2	3.2	26.2	6.7
いる	745	1.2	11.4	6.3	2.6	43.9	2.7	26.8	5.1
いない	149	5.4	27.5	12.1	2.7	14.1	6.0	20.8	11.4
要介護認定者	1,185	1.9	12.7	7.2	1.9	38.8	2.5	29.4	5.6
いる	1,018	1.5	11.6	7.1	2.0	42.3	2.3	28.9	4.4
いない	128	3.9	21.9	8.6	1.6	14.1	4.7	35.9	9.4

### ③ 後見人等の職種等

○成年後見制度を既に利用していると回答した人（高齢者一般は15人、要支援認定者は18人、要介護認定者は22人、これから高齢期は2人）に、後見人等の職種・関係性を聞いた。

#### ■後見人等の職種等

		(件)						
	n	親族	弁護士	司法書士	社会福祉士	法人	その他	無回答
高齢者一般	15	9	1	1	0	0	2	2
要支援認定者	18	10	1	3	1	0	0	3
要介護認定者	22	13	1	2	2	0	3	1
これから高齢期	2	2	0	0	0	0	0	0

### ④ 成年後見制度を利用するようになった理由

○成年後見制度を既に利用していると回答した人に、制度を利用するようになった理由を聞いた。

#### ■利用するようになった理由

		(件)								
	n	預貯金等の管理・解約	不動産に関する手続き	医療・介護サービス等の手続き	相続の手続き	保険金の手続き	権利侵害から親族を守るため	詐欺被害による虐待等の	その他	無回答
高齢者一般	15	6	0	1	1	1	0	3	3	
要支援認定者	18	6	1	1	4	1	0	0	5	
要介護認定者	22	11	1	2	0	0	1	3	4	
これから高齢期	2	2	0	0	0	0	0	0	0	

### ⑤ 成年後見制度利用の成果

○成年後見制度を既に利用していると回答した人に、利用したことで課題や不安が解消したかを聞いた。

#### ■利用の成果

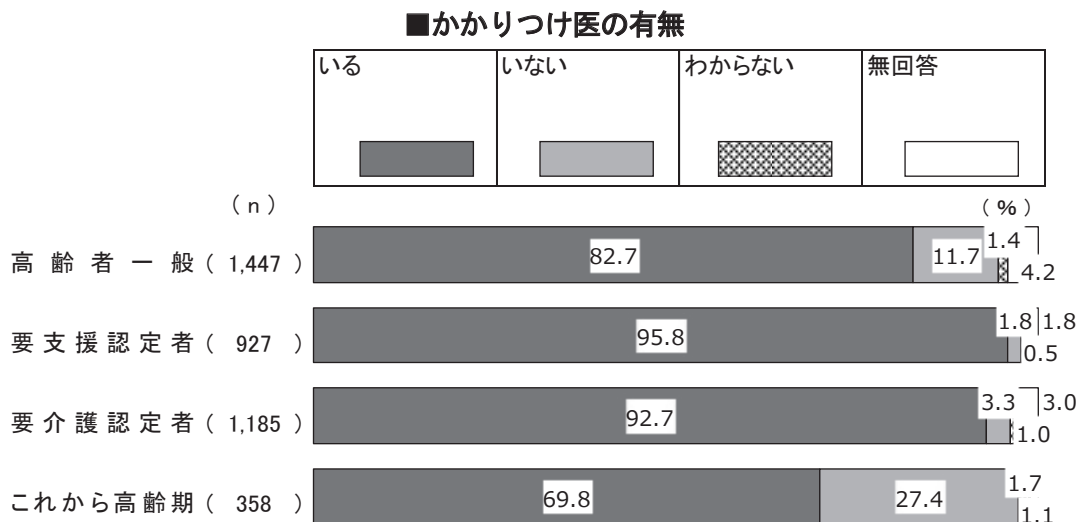
		(件)				
	n	解消した	おおむね解消した	あまり解消していない	解消していない	無回答
高齢者一般	15	6	2	3	0	4
要支援認定者	18	3	5	2	3	5
要介護認定者	22	8	6	3	1	4
これから高齢期	2	0	2	0	0	0

## 4 医療・在宅療養

### (1) かかりつけ医等の状況

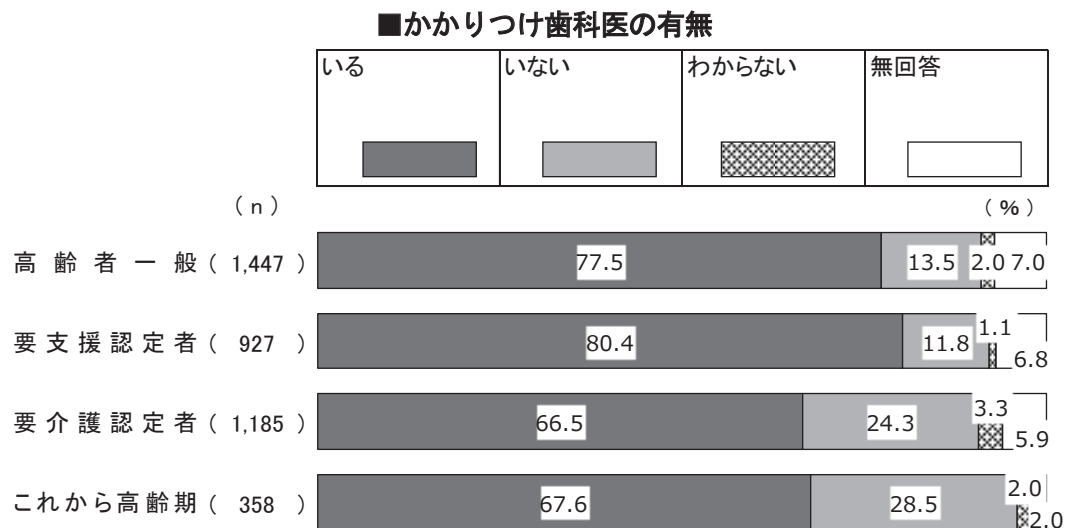
#### ① かかりつけ医の有無

○かかりつけ医が「いる」人は、高齢者一般では 82.7%、要支援認定者では 95.8%、要介護認定者では 92.7%、これから高齢期では 69.8%となっている。



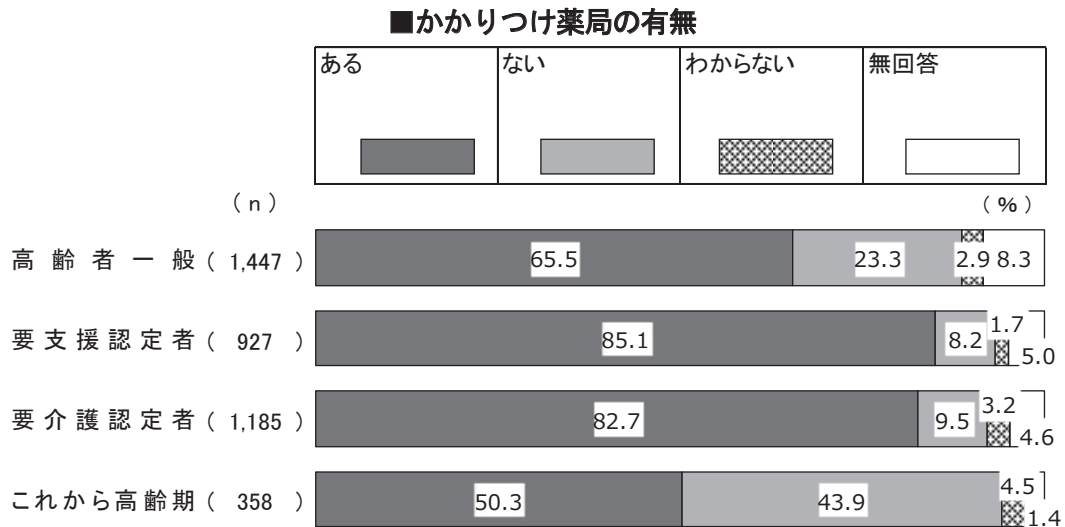
#### ② かかりつけ歯科医の有無

○かかりつけ歯科医が「いる」人は、高齢者一般では 77.5%、要支援認定者では 80.4%、要介護認定者では 66.5%、これから高齢期では 67.6%となっている。



### ③ かかりつけ薬局の有無

○かかりつけ薬局が「ある」人は、高齢者一般で 65.5%、要支援認定者で 85.1%、要介護認定者で 82.7%、これから高齢期で 50.3%となっている。

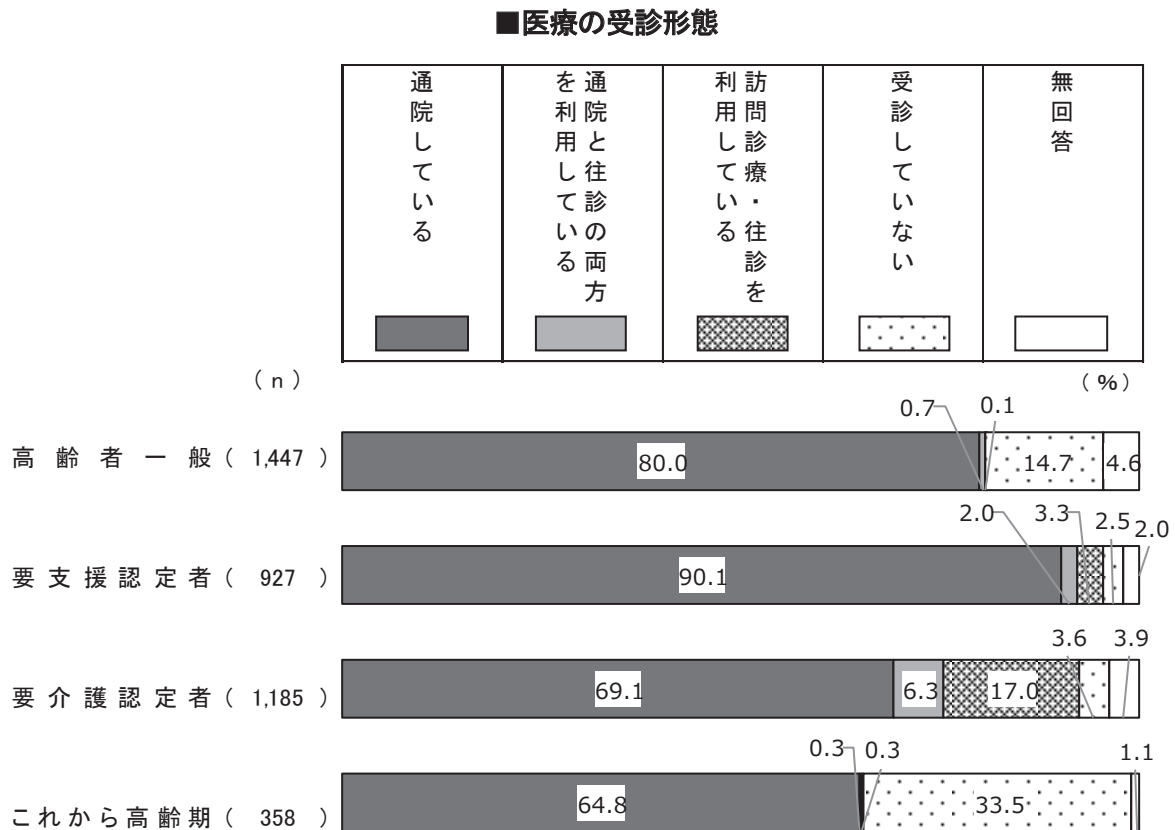


## (2) 医療の受診状況

### ① 医療の受診形態

○「通院している」「通院と往診の両方を利用している」「訪問診療・往診を利用している」と回答した“何らかの方法で医療を受診している”人は、高齢者一般で約 8 割、要支援認定者で 9 割半ば、要介護認定者で 9 割超、これから高齢期で 6 割半ばとなっている。

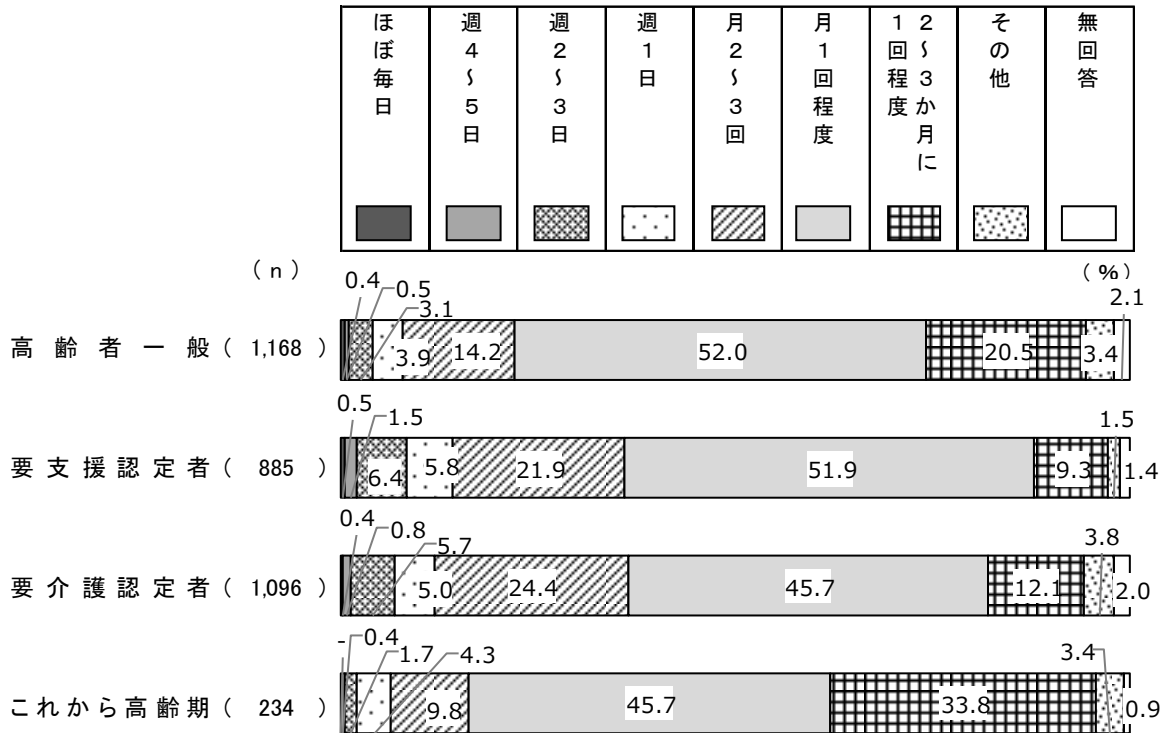
○「受診していない」は、高齢者一般で 1 割半ば、これから高齢期で 3 割超となっている。



② 医療機関の受診頻度

○ “何らかの方法で医療を受診している” 人の医療機関の受診頻度は、いずれの調査においても、「月1回程度」が最も高く、「月2～3回」と回答した人も含めると、“月1～3回”が5割半ばから7割超となっている。

■ 医療機関の受診頻度

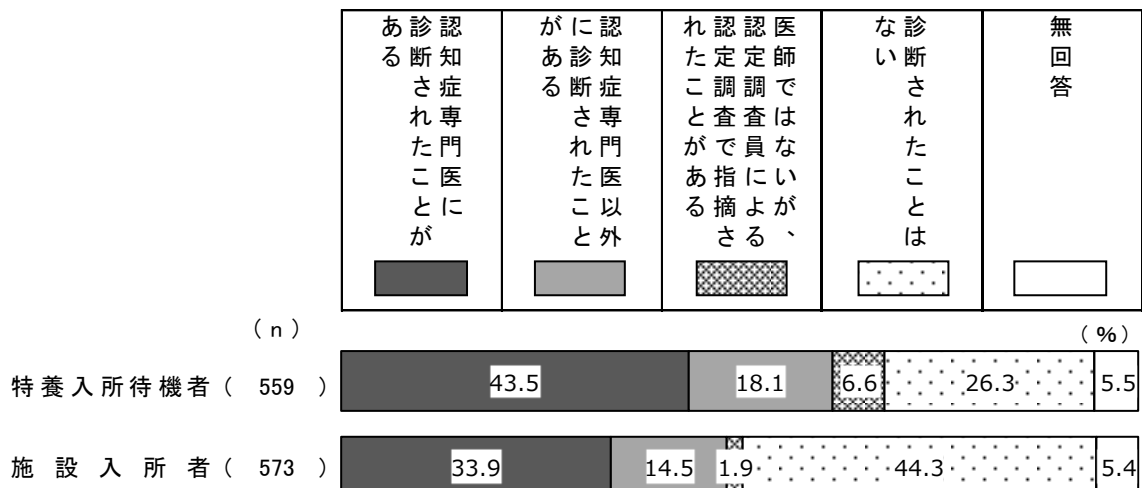


(3) 認知症の診断状況

○ 特養入所待機者では、「認知症専門医に診断されたことがある」が43.5%、「認知症専門医以外に診断されたことがある」が18.1%、「医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある」が6.6%、「診断されたことはない」が26.3%となっている。

○ 施設入所者では、「認知症専門医に診断されたことがある」が33.9%、「認知症専門医以外に診断されたことがある」が14.5%、「医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある」が1.9%、「診断されたことはない」が44.3%となっている。

■ 認知症の診断状況

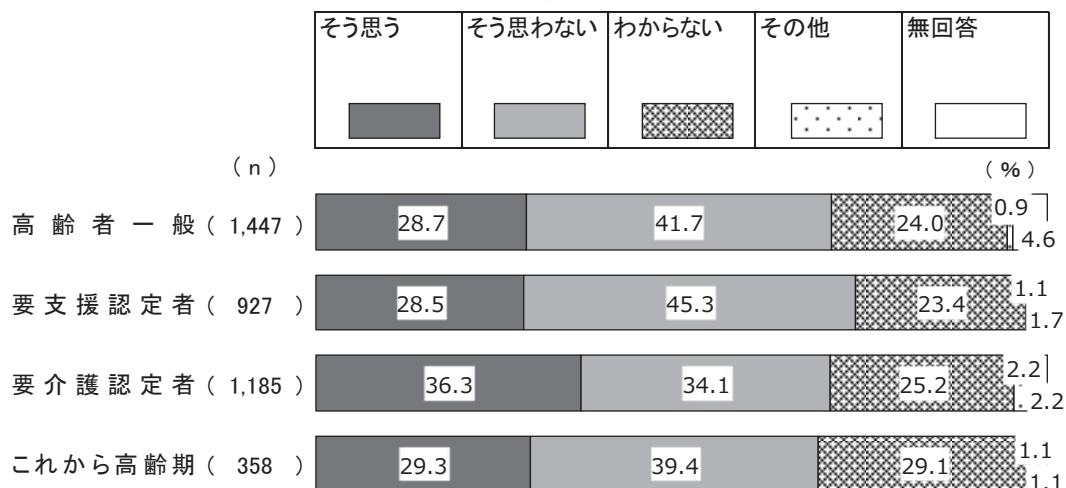


#### (4) 在宅療養

##### ① 在宅療養の希望

○脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいかどうか聞いたところ、高齢者一般、要支援認定者、これから高齢期では「そう思わない（在宅療養したくない）」が「そう思う（在宅療養したい）」を上回っている。要介護認定者では、「そう思う」（36.3%）と「そう思わない」（34.1%）が同程度となっている。

■在宅療養の希望



##### 【経年比較】

○平成28年度の調査結果と比較しても、差はみられない。

##### ■在宅療養の希望

###### <要支援認定者：経年比較>

	n	そう思う	そう思わない	わからない	その他	無回答
令和元年度	927	28.5	45.3	23.4	1.1	1.7
平成28年度	895	29.2	41.1	25.9	1.6	2.2

###### <要介護認定者：経年比較>

	n	そう思う	そう思わない	わからない	その他	無回答
令和元年度	1,185	36.3	34.1	25.2	2.2	2.2
平成28年度	1,578	34.8	33.0	28.5	1.4	2.3

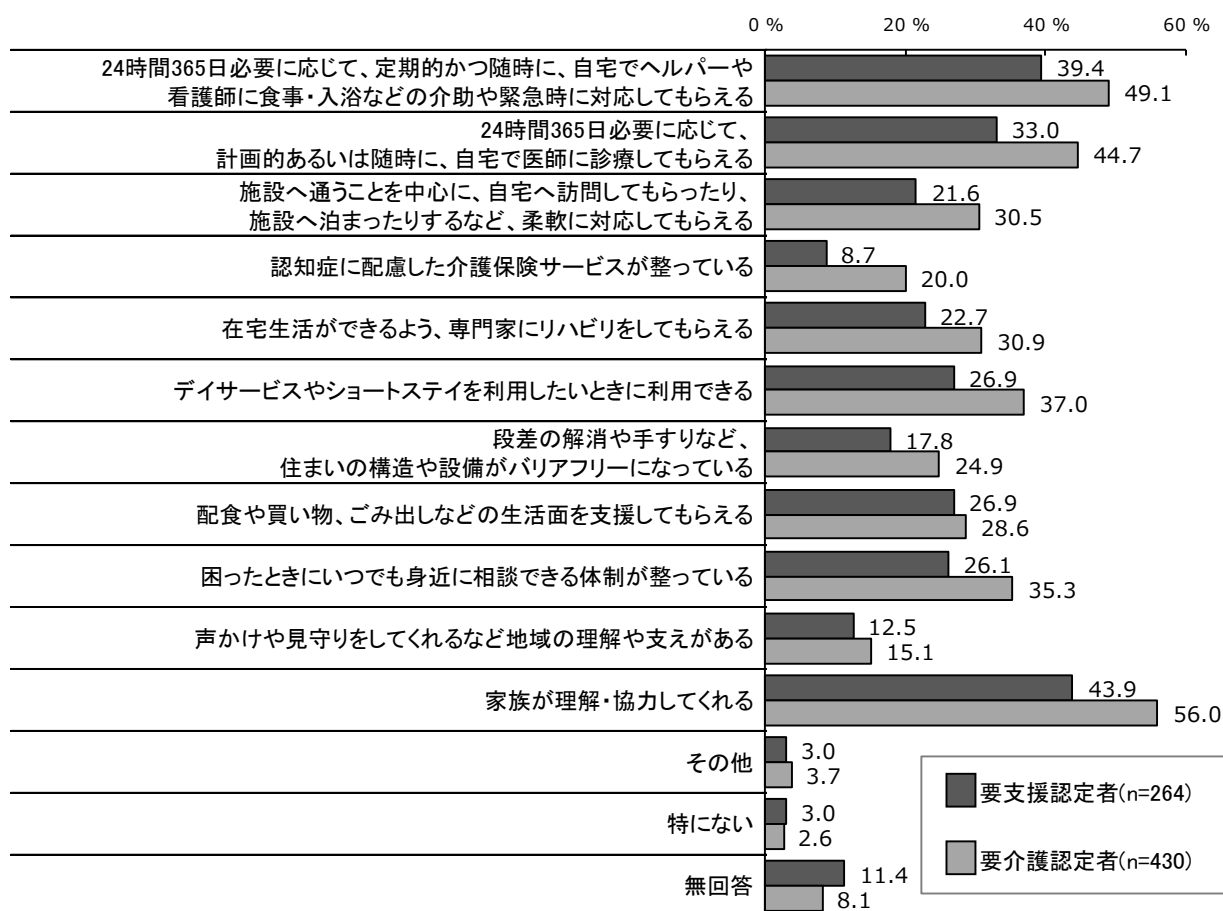


## ② 在宅療養生活を継続するために必要なこと

○在宅療養の希望で「そう思う（在宅療養したい）」と回答した人の在宅療養生活を継続するために必要なことは、要支援認定者では「家族が理解・協力してくれる」（43.9%）、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」（39.4%）、「24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえる」（33.0%）が上位に挙がっている。

○要介護認定者では、「家族が理解・協力してくれる」（56.0%）、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」（49.1%）、「24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえる」（44.7%）が上位に挙がっている。

■在宅療養生活を継続するために必要なこと（複数回答）

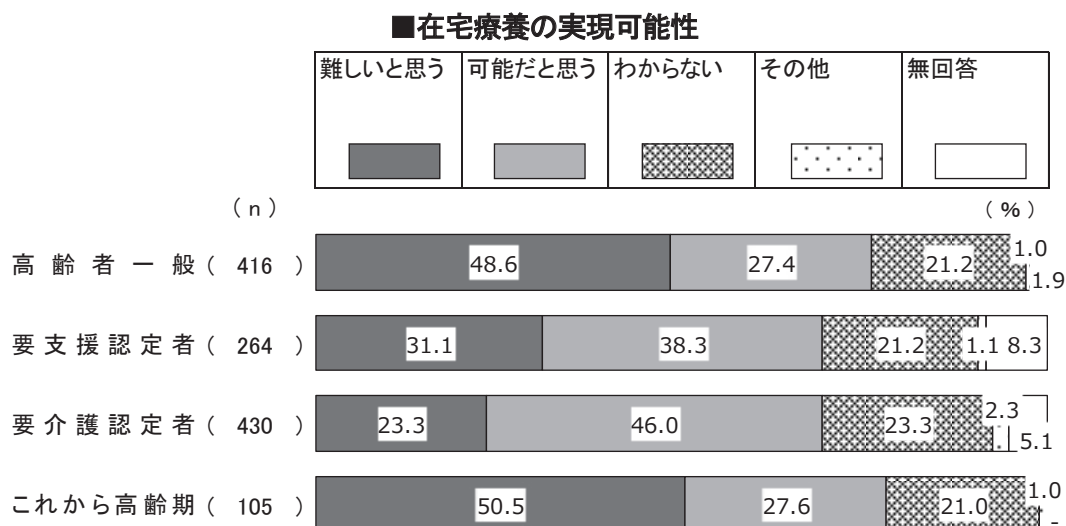


### ③ 在宅療養の実現可能性

○在宅療養の希望で「そう思う（在宅療養したい）」と回答した人の在宅療養の実現可能性は、高齢者一般、これから高齢期ともに「難しいと思う」が「可能だと思う」を上回っている。

○要支援認定者では、「可能だと思う」（38.3%）が「難しいと思う」（31.1%）を上回っている。

○要介護認定者では、「可能だと思う」（46.0%）が「難しいと思う」（23.3%）を上回っている。



#### 【経年比較】

○平成28年度の調査結果と比較しても、差はみられない。

#### ■在宅療養の実現可能性

##### <要支援認定者：経年比較>

	n	難しいと思う (%)	可能だと思う (%)	わからない (%)	その他 (%)	無回答 (%)
令和元年度	264	31.1	38.3	21.2	1.1	8.3
平成28年度	261	31.4	35.6	25.3	0.8	6.9

##### <要介護認定者：経年比較>

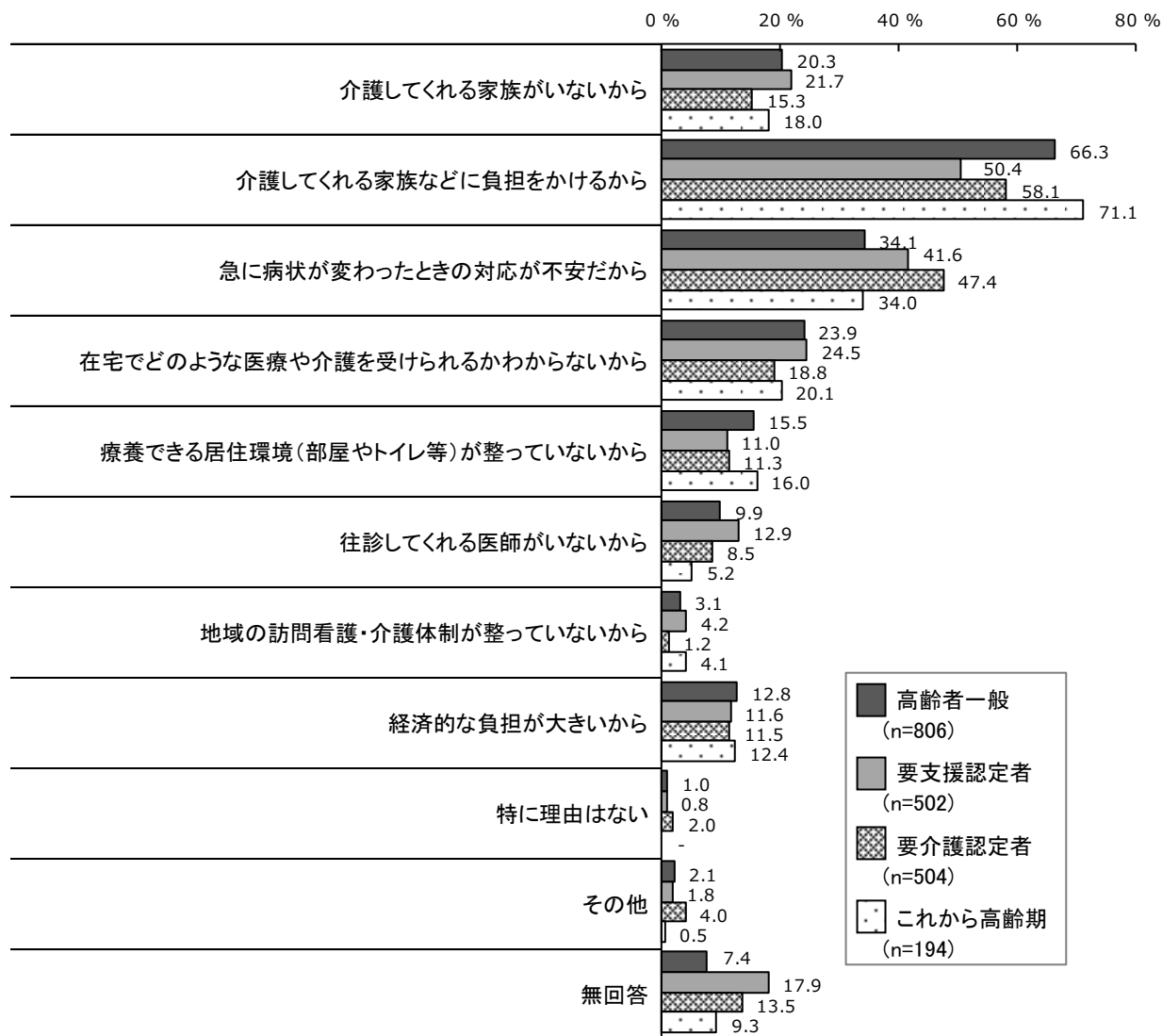
	n	難しいと思う (%)	可能だと思う (%)	わからない (%)	その他 (%)	無回答 (%)
令和元年度	430	23.3	46.0	23.3	2.3	5.1
平成28年度	549	27.5	45.0	17.3	0.7	9.5

#### ④ 在宅療養が難しいと思う理由

○在宅療養の希望で「そう思わない（在宅療養したくない）」あるいは在宅療養の実現が「難しいと思う」と回答した人の実現が難しい理由は、いずれの調査においても、「介護してくれる家族などに負担をかけるから」が最も高い。

○要介護認定者では、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が47.4%と高くなっている。

■在宅療養が難しいと思う理由（○は3つまで）

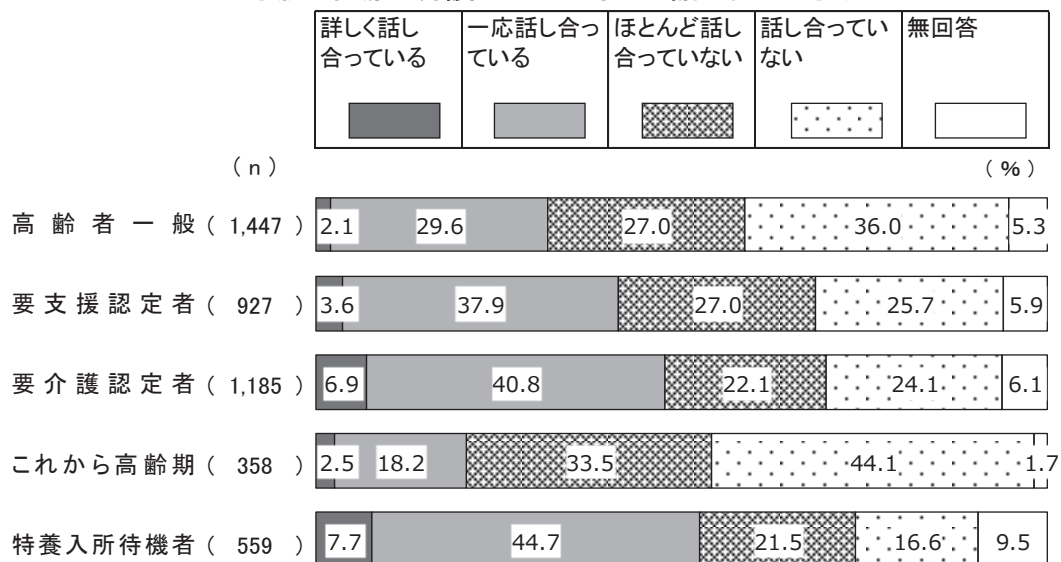


## (5) 人生の最終段階における医療・ケア

### ① 家族や医療・介護スタッフ等との話し合いの状況

○人生の最終段階における受けたい医療・介護、受けたくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っているか聞いたところ、“話し合っている”（「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の合計）は、高齢者一般で3割超、要支援認定者で4割超、要介護認定者で5割近く、これから高齢期で約2割、特養入所待機者で5割超となっており、要介護認定を受けている人や施設入所の必要性がある人は話し合う傾向がみられる。

■家族や医療・介護スタッフ等との話し合いの状況



### 【高齢者一般】

○年代別にみると、『後期高齢者』は“話し合っている”が全体と比べて高い。

■家族や医療・介護スタッフ等との話し合いの状況<高齢者一般：年代別>

	n	(%)					(計)	
		話し合っている	一応話し合っている	ほとんど話し合っていない	話し合っていない	無回答	話し合っている	話し合っていない
高齢者一般	1,447	2.1	29.6	27.0	36.0	5.3	31.7	63.0
前期高齢者(65-74歳)	583	1.7	25.4	26.4	43.2	3.3	27.1	69.6
後期高齢者(75歳以上)	786	2.3	33.7	26.8	30.9	6.2	36.0	57.8

## 【要支援・要介護認定者】

○年代別にみると、要支援認定者の『前期高齢者』は“話し合っている”が全体と比べて低い。

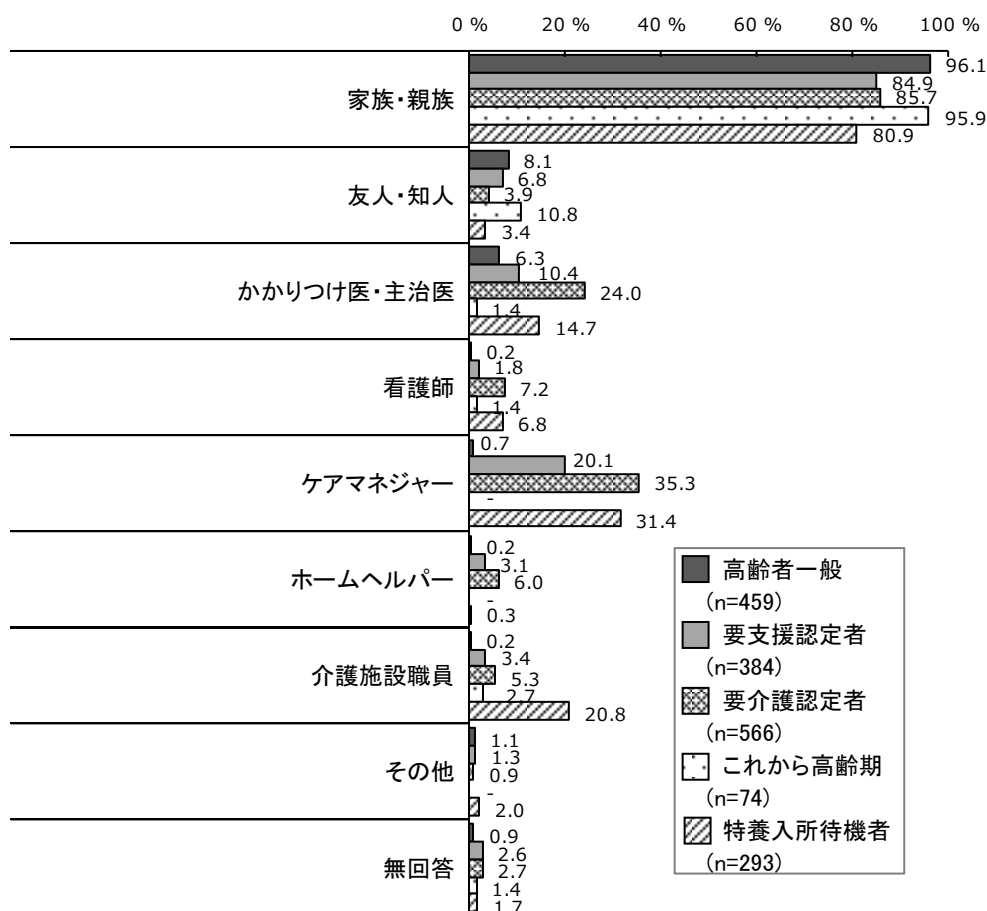
## ■家族や医療・介護スタッフ等との話し合いの状況<要支援・要介護認定者：年代別>

	n	(%)					(計)	
		話し合っている	話し合っている	話し合っていない	話し合っていない	無回答	話し合っている	話し合っていない
要支援認定者	927	3.6	37.9	27.0	25.7	5.9	41.4	52.6
前期高齢者(65-74歳)	92	4.3	26.1	30.4	33.7	5.4	30.4	64.1
後期高齢者(75歳以上)	797	3.6	38.9	26.5	25.0	6.0	42.5	51.4
要介護認定者	1,185	6.9	40.8	22.1	24.1	6.1	47.8	46.2
前期高齢者(65-74歳)	128	1.6	39.1	23.4	32.0	3.9	40.6	55.5
後期高齢者(75歳以上)	1,018	7.9	40.9	21.9	22.9	6.5	48.7	44.8

## ② 話し合っている相手

○“話し合っている”と回答した人の話し合っている相手は、いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で96.1%、要支援認定者で84.9%、要介護認定者で85.7%、これから高齢期で95.9%、特養入所待機者で80.9%となっている。

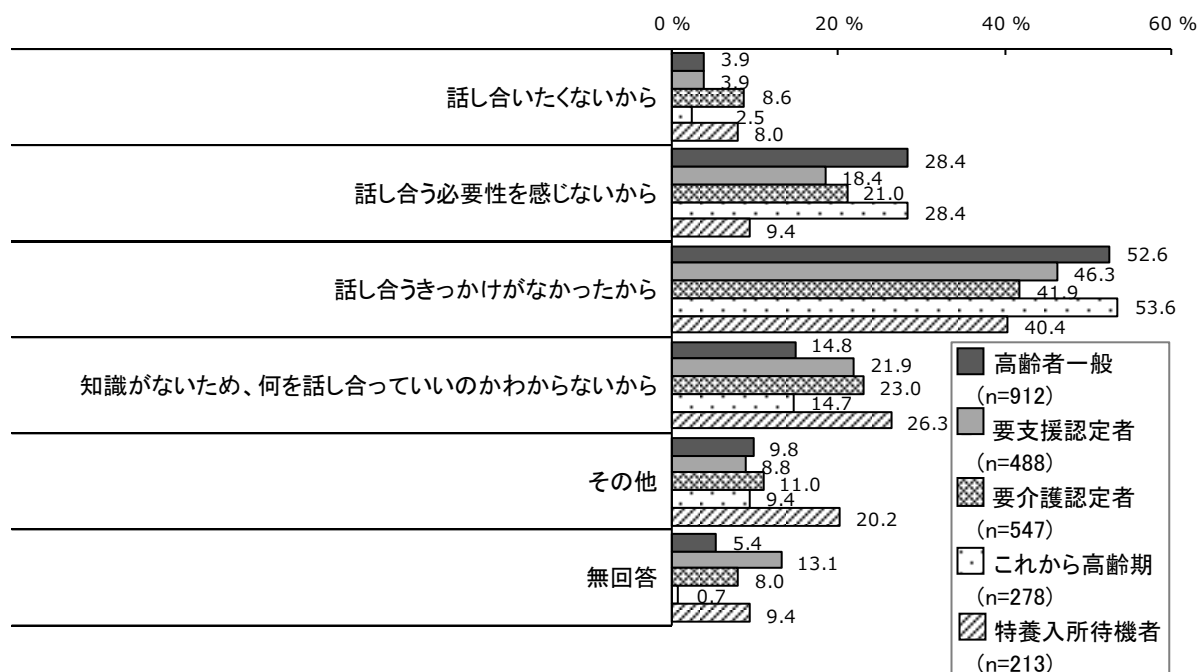
### ■話し合っている相手（複数回答）



### ③ 話し合ったことがない理由

○「ほとんど話し合っていない」「話し合っていない」と回答した人の話し合ったことがない理由は、いずれの調査でも「話し合うきっかけがなかったから」が最も高く、高齢者一般で52.6%、要支援認定者で46.3%、要介護認定者で41.9%、これから高齢期で53.6%、特養入所待機者で40.4%となっている。

■話し合ったことがない理由（複数回答）

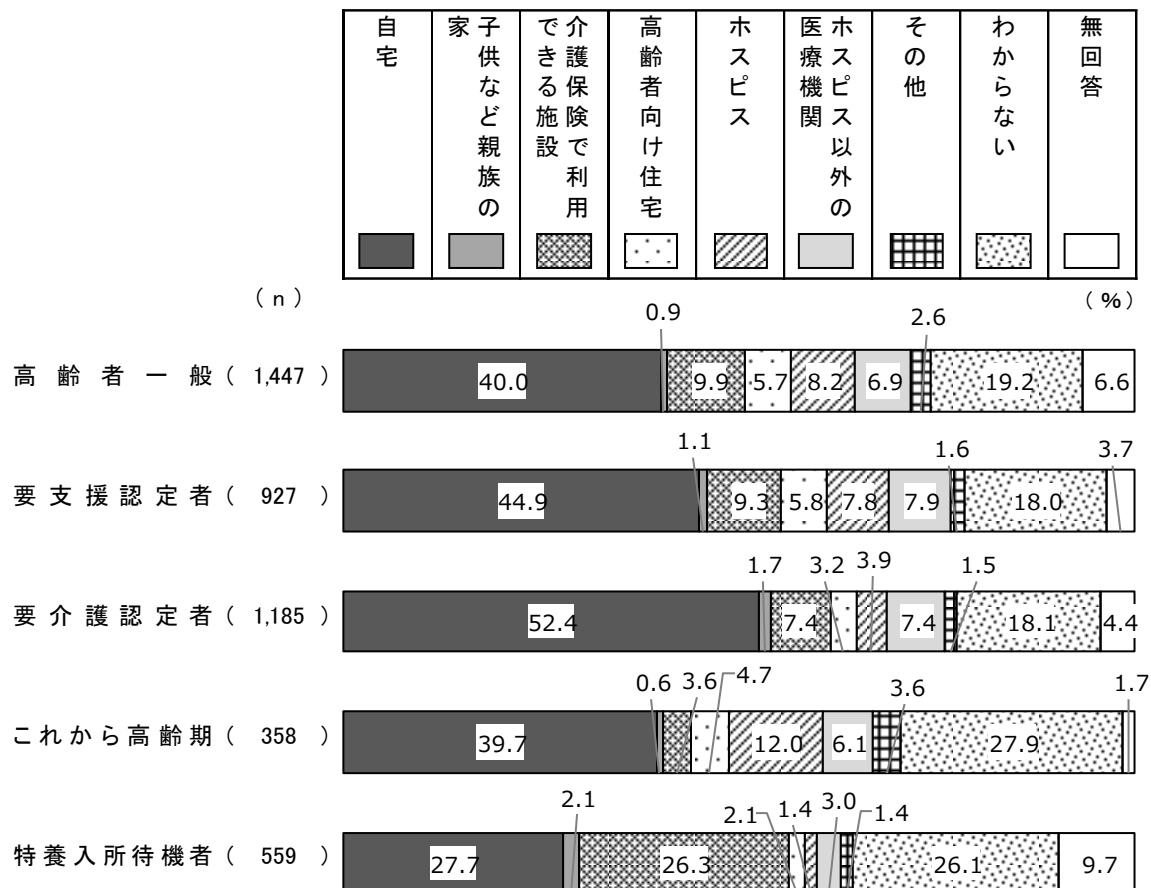


#### ④ 人生の最期を迎えたい場所

○高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者、これから高齢期では、「自宅」が最も高く、それぞれ40.0%、44.9%、52.4%、39.7%となっている。

○特養入所待機者では、「自宅」が27.7%、「介護保険で利用できる施設」が26.3%、「わからない」が26.1%で同程度となっている。

■人生の最期を迎えたい場所



#### 【高齢者一般】

○世帯構成別にみると、『1人暮らし』は、「自宅」が約3割で全体と比べて低い。

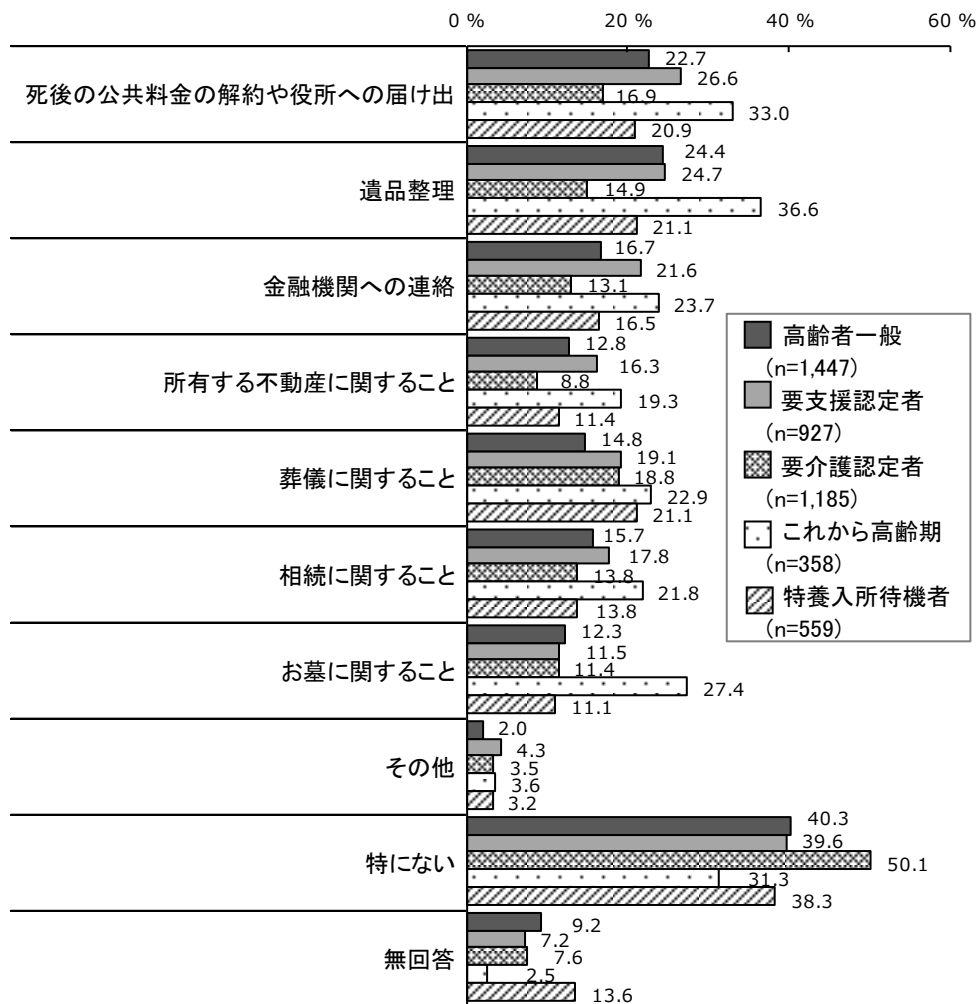
■人生の最期を迎えたい場所<高齢者一般：世帯構成別>

	n	自宅	子供など親族の家	(介護保険施設で利用できるホーム等)	高齢者向け住宅	都市型・高齢者向け住宅	サ高住・有料老人ホーム等の	ホスピス(緩和ケア病棟)	ホスピス以外の医療機関	その他	わからない	無回答
高齢者一般	1,447	40.0	0.9	9.9	5.7	8.2	6.9	2.6	19.2	6.6		
1人暮らし	445	29.7	0.9	11.5	8.5	10.1	7.6	2.5	22.2	7.0		
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	397	46.9	-	8.8	4.8	8.3	5.8	1.5	18.1	5.8		
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	74	44.6	-	5.4	4.1	12.2	4.1	4.1	17.6	8.1		
子との2世帯	248	47.2	2.8	10.9	3.2	6.9	7.3	1.2	16.1	4.4		
その他	210	39.5	1.0	9.5	5.7	4.8	6.7	6.2	19.0	7.6		

⑤ 終末期・死後の手続等で不安なこと

- 高齢者一般では、「特にない」が40.3%となっている。不安なこととしては、「遺品整理」(24.4%)、「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(22.7%)が上位に挙げられている。
- 要支援認定者では、「特にない」が39.6%となっている。不安なこととしては、「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(26.6%)、「遺品整理」(24.7%)、「金融機関への連絡」(21.6%)が上位に挙げられている。
- 要介護認定者では、「特にない」が50.1%となっている。不安なこととしては、「葬儀に関すること」(18.8%)、「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(16.9%)が上位に挙げられている。
- これから高齢期では、「特にない」が31.3%となっている。不安なこととしては、「遺品整理」(36.6%)、「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(33.0%)、「お墓に関すること」(27.4%)が上位に挙げられている。
- 特養入所待機者では、「特にない」が38.3%となっている。不安なこととしては、「遺品整理」「葬儀に関すること」(ともに21.1%)、「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(20.9%)が上位に挙げられている。

■終末期・死後の手続等で不安なこと（複数回答）





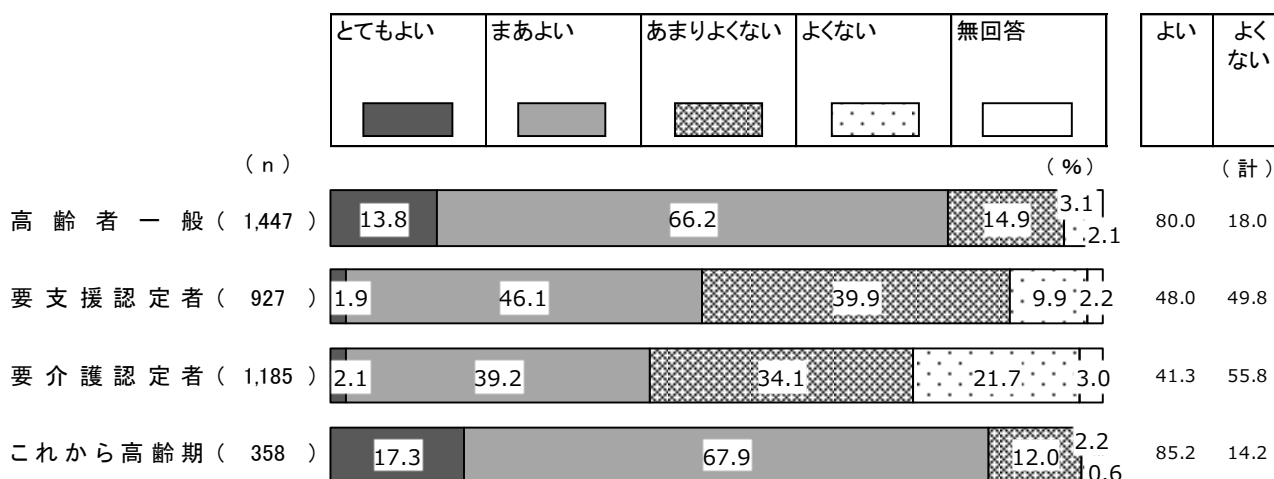
## 5 健康・介護予防

### (1) 健康

#### ① 健康状態

○“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）は、高齢者一般で80.0%、要支援認定者で48.0%、要介護認定者で41.3%、これから高齢期で85.2%となっている。

#### ■健康状態



#### 【高齢者一般】

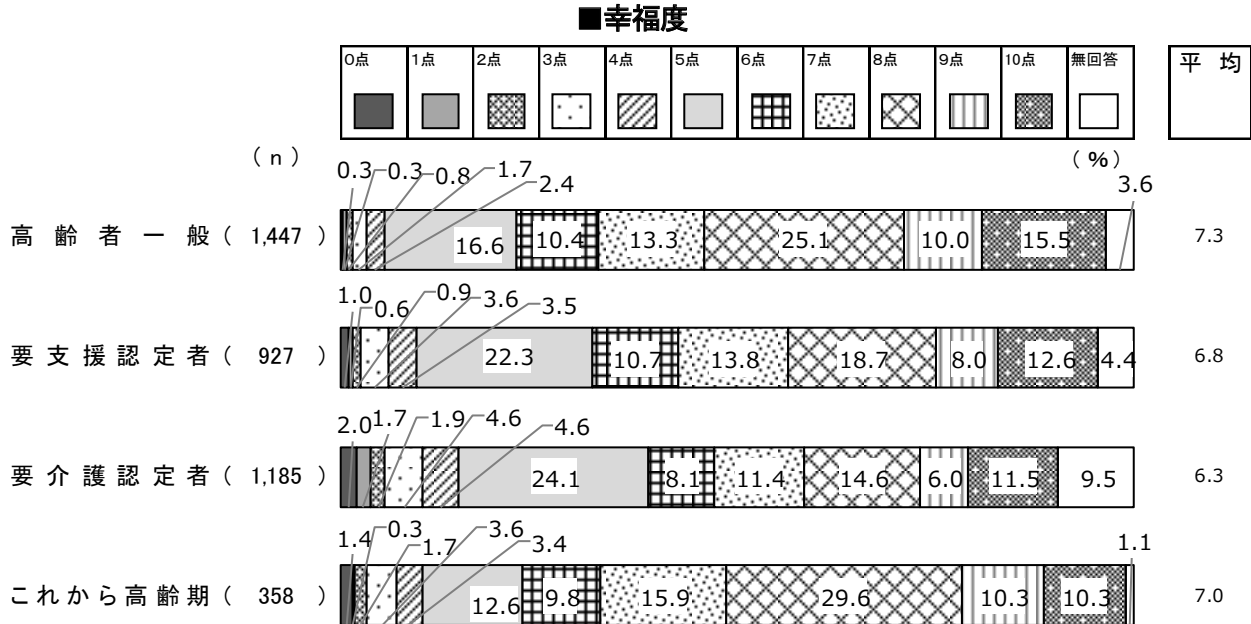
○介護予防の実施有無別にみると、『意識して取り組んでいる』と回答した人は、“よい”が9割近くで、全体や『興味・関心は特にない』と回答した人よりも高い。

#### ■健康状態 <高齢者一般：介護予防実施有無別>

	n	健康状態 (%)					計 (%)	
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	よい	よくない
高齢者一般	1,447	13.8	66.2	14.9	3.1	2.1	80.0	18.0
意識して取り組んでいる	445	19.3	67.6	9.7	2.0	1.3	87.0	11.7
今後取り組みたい	408	11.5	71.3	15.4	0.7	1.0	82.8	16.2
興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	166	10.2	60.8	24.7	3.6	0.6	71.1	28.3
その他	57	8.8	56.1	19.3	12.3	3.5	64.9	31.6
興味・関心は特にない	315	12.7	65.1	14.9	5.7	1.6	77.8	20.6

## ② 幸福度

- 高齢者一般、これから高齢期では「8点」が最も高く、それぞれ25.1%、29.6%となっている。平均点は、それぞれ7.3点、7.0点となっている。
- 要支援認定者では、「5点」が22.3%、「8点」が18.7%となっている。平均点は6.8点となっている。
- 要介護認定者では、「5点」が24.1%で最も高く、平均点は6.3点となっている。



### 【高齢者一般】

- 経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』は平均6.3点、『ややゆとりがある・ゆとりがある』は平均8.3点と、経済状況にゆとりがあると幸福度が高い傾向がみられる。

#### ■幸福度 <高齢者一般：経済状況別>

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
高齢者一般	1,447	0.3	0.3	0.8	1.7	2.4	16.6	10.4	13.3	25.1	10.0	15.5	3.6	7.3
苦しい・大変苦しい	444	0.9	0.9	1.4	4.5	5.2	24.8	14.6	11.3	19.4	5.2	6.8	5.2	6.3
ふつう	787	0.1	-	0.5	0.6	1.3	15.1	9.1	15.4	27.3	10.4	17.5	2.5	7.5
ややゆとりがある・ゆとりがある	188	-	-	0.5	-	1.1	4.8	4.3	10.1	31.4	20.2	26.6	1.1	8.3

- 健康状態別にみると、『とてもよい・よい』は平均7.5点、『あまりよくない・よくない』は平均6.2点と、健康状態が良いと幸福度が高い傾向がみられる。

#### ■幸福度 <高齢者一般：健康状態別>

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
高齢者一般	1,447	0.3	0.3	0.8	1.7	2.4	16.6	10.4	13.3	25.1	10.0	15.5	3.6	7.3
とてもよい・よい	1,157	0.1	0.1	0.6	1.2	1.3	15.5	10.0	12.7	27.5	11.0	17.9	2.2	7.5
あまりよくない・よくない	260	1.5	1.2	1.9	4.2	7.7	23.5	12.3	17.3	16.2	5.8	5.8	2.7	6.2

○外出頻度別にみると、『外出している』は平均7.4点、『自宅に閉じこもりがち』は平均6.2点と、外出頻度が高いと幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 <高齢者一般：外出頻度別>

	n	(%)												平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
高齢者一般	1,447	0.3	0.3	0.8	1.7	2.4	16.6	10.4	13.3	25.1	10.0	15.5	3.6	7.3
外出している	1,190	0.3	0.1	0.7	1.4	2.0	14.8	10.8	13.3	26.3	10.8	16.3	3.3	7.4
どちらともいえない	125	0.8	-	0.8	0.8	1.6	28.0	5.6	17.6	24.0	8.8	10.4	1.6	6.9
自宅に閉じこもりがち	100	1.0	3.0	3.0	5.0	8.0	23.0	10.0	11.0	15.0	4.0	13.0	4.0	6.2

○介護予防の実施有無別にみると、『意識して取り組んでいる』は平均7.7点、『興味・関心は特にない』は平均7.0点と、介護予防に取り組んでいると幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 <高齢者一般：介護予防実施有無別>

	n	(%)														平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答			
高齢者一般	1,447	0.3	0.3	0.8	1.7	2.4	16.6	10.4	13.3	25.1	10.0	15.5	3.6	7.3		
意識して取り組んでいる	445	-	-	0.4	0.7	1.6	12.4	8.8	14.6	28.3	13.0	18.0	2.2	7.7		
今後取り組みたい	408	-	-	0.5	0.7	2.7	16.9	13.7	10.8	29.9	8.1	14.7	2.0	7.3		
興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	166	-	1.2	1.2	5.4	4.8	18.7	9.6	16.9	19.9	7.2	9.6	5.4	6.6		
その他	57	5.3	-	1.8	1.8	5.3	12.3	5.3	8.8	31.6	10.5	15.8	1.8	7.0		
興味・関心は特にない	315	0.6	0.6	1.6	2.5	1.3	23.5	10.2	14.0	18.1	9.8	16.5	1.3	7.0		

【要支援・要介護認定者】

○健康状態別にみると、『とてもよい・よい』は要支援認定者で平均7.6点、要介護認定者で7.2点、『あまりよくない・よくない』は要支援認定者で平均6.0点、要介護認定者で5.6点と、健康状態（主観的）が良いと幸福度が高い傾向がみられる。

■幸福度 <要支援・要介護認定者：健康状態別>

	n	(%)												平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
要支援認定者	927	1.0	0.6	0.9	3.6	3.5	22.3	10.7	13.8	18.7	8.0	12.6	4.4	6.8
とてもよい・よい	445	-	-	-	0.7	2.5	14.4	10.6	13.5	26.7	10.8	18.7	2.2	7.6
あまりよくない・よくない	462	1.9	1.3	1.7	6.3	4.5	30.3	11.3	14.5	11.3	5.4	7.1	4.3	6.0
要介護認定者	1,185	2.0	1.7	1.9	4.6	4.6	24.1	8.1	11.4	14.6	6.0	11.5	9.5	6.3
とてもよい・よい	489	0.4	0.2	0.6	1.4	1.8	20.9	9.2	14.1	21.3	8.0	17.6	4.5	7.2
あまりよくない・よくない	661	3.3	2.9	3.0	7.1	6.8	27.4	7.7	9.8	10.4	4.7	7.0	9.8	5.6

【経年比較】

○平成28年度の調査結果と比較すると、平均は7.3点と同点で大きな差はみられない。

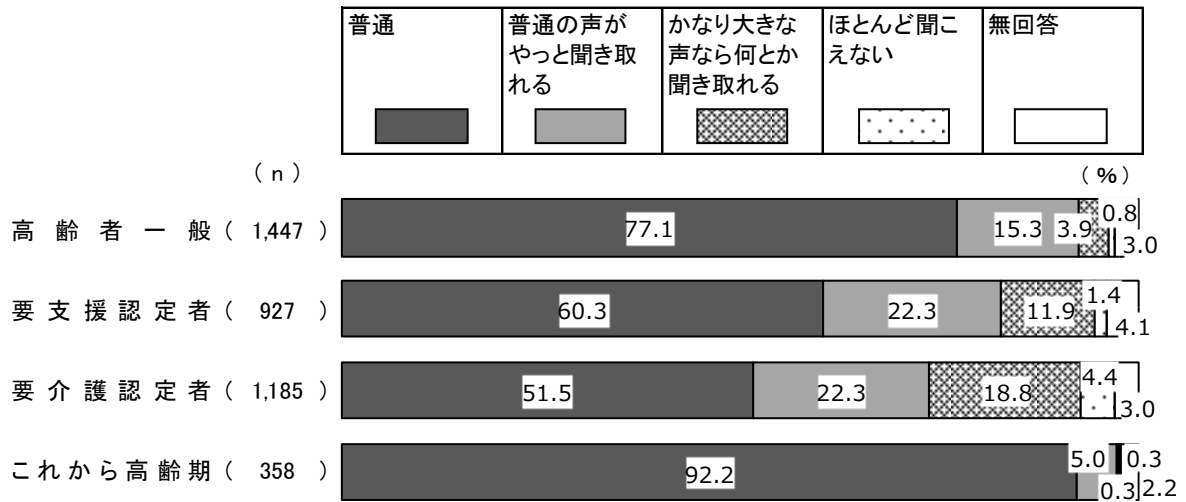
■幸福度<高齢者一般：経年比較>

	n	(%)												平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
令和元年度	1,447	0.3	0.3	0.8	1.7	2.4	16.6	10.4	13.3	25.1	10.0	15.5	3.6	7.3
平成28年度	1,494	0.5	0.5	1.0	2.0	3.3	16.7	8.8	13.3	21.7	11.6	17.0	3.6	7.3

### ③ 耳の聞こえの状態

- 耳の聞こえの状態が「普通」の人は、高齢者一般で 77.1%、要支援認定者で 60.3%、要介護認定者で 51.5%、これから高齢期で 92.2%となっている。
- “聞こえの状態が良くない”（「普通の声がやっと聞き取れる」と「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」と「ほとんど聞こえない」の合計）は、高齢者一般で約 2 割、要支援認定者で 3 割半ば、要介護認定者で 4 割半ば、これから高齢期で 1 割未満となっている。

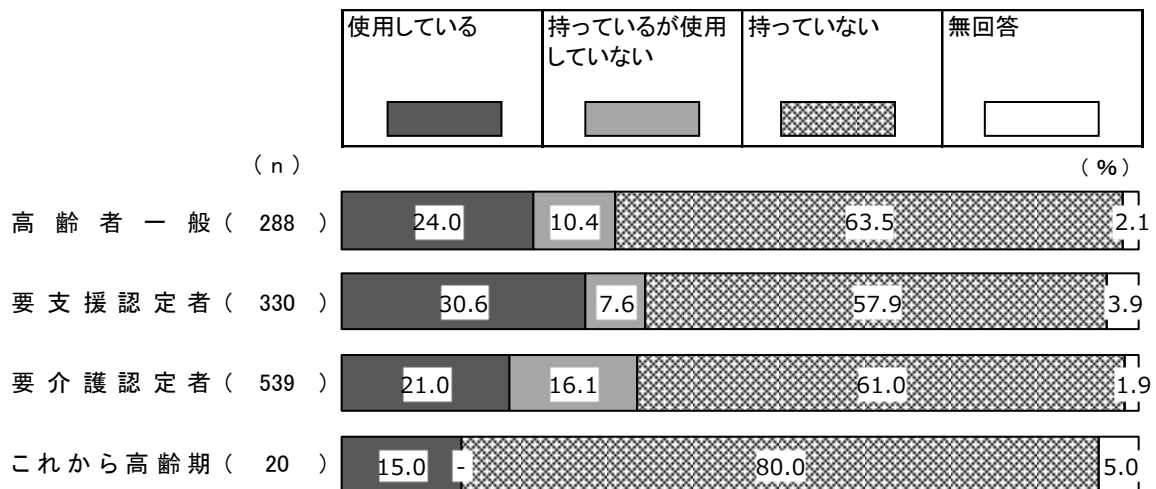
#### ■耳の聞こえの状態



### ④ 補聴器の使用状況

- “聞こえの状態が良くない”人で補聴器を「使用している」人は、高齢者一般で 24.0%、要支援認定者で 30.6%、要介護認定者で 21.0%、これから高齢期で 15.0%となっている。

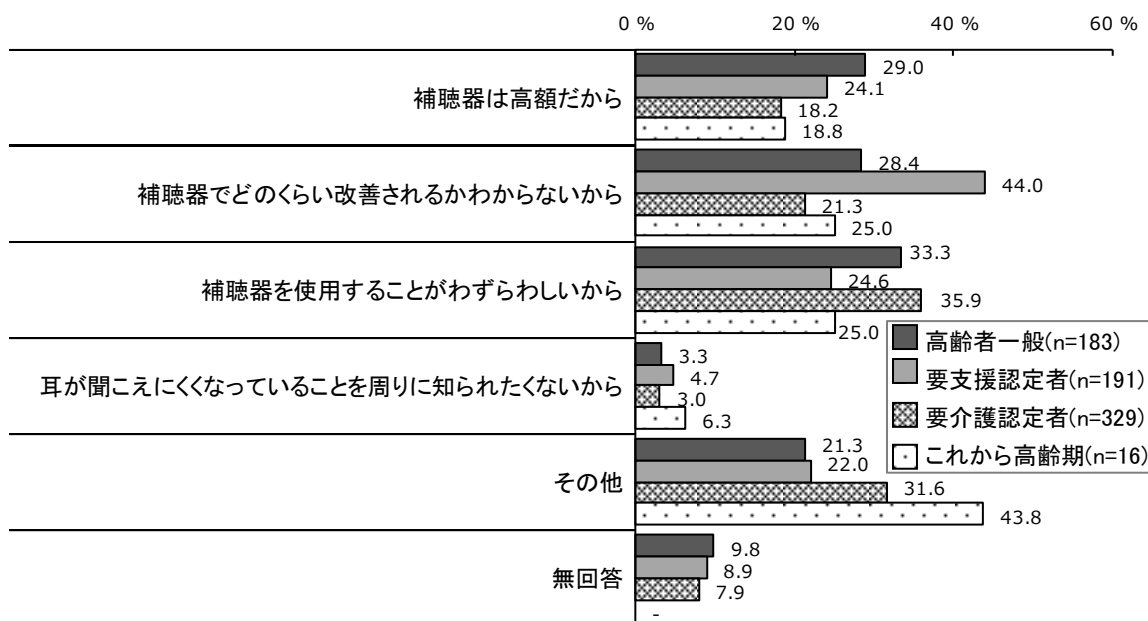
#### ■補聴器の使用状況



### ⑤ 補聴器を持っていない理由

- “聞こえの状態が良くない” 人で補聴器を「持ってない」理由は、高齢者一般では「補聴器を使用することがわずらわしいから」が 33.3%、「補聴器は高額だから」が 29.0%、「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」が 28.4%となっている。
- 要支援認定者では、「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」が 44.0%で最も高く、「補聴器を使用することがわずらわしいから」(24.6%)、「補聴器は高額だから」(24.1%)と続いている。
- 要介護認定者では、「補聴器を使用することがわずらわしいから」が 35.9%で最も高く、「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」(21.3%)、「補聴器は高額だから」(18.2%)と続いている。

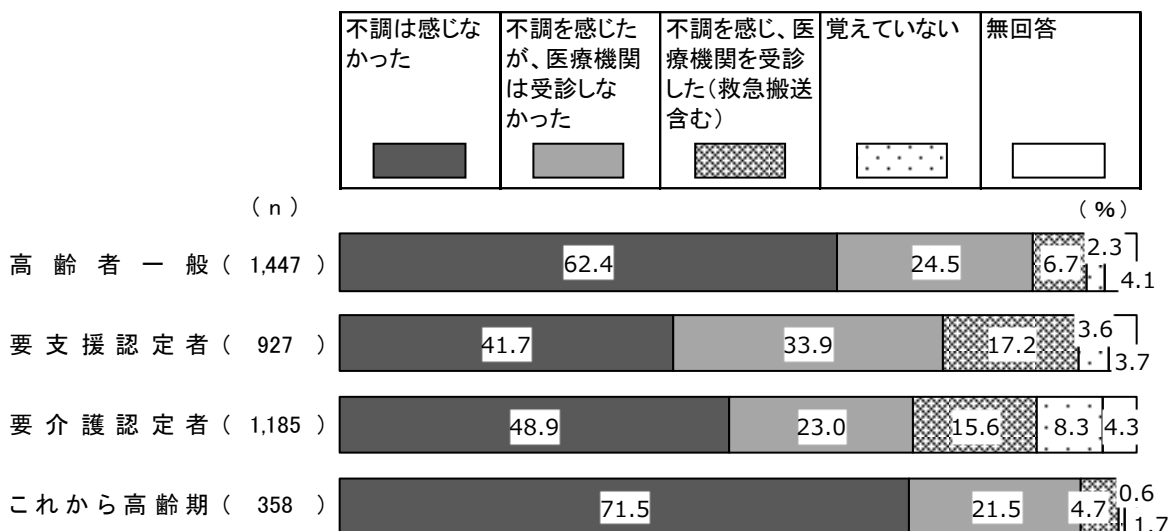
■補聴器を持っていない理由（複数回答）



### ⑥ 夏の暑さによる体調不良

- 2019年夏に、暑さで“体調に不調を感じた”人（「不調を感じたが、医療機関は受診しなかった」と「不調を感じ、医療機関を受診した（救急搬送含む）」の合計）は、高齢者一般で3割超、要支援認定者で約半数、要介護認定者で4割近く、これから高齢期で2割半ばとなっている。

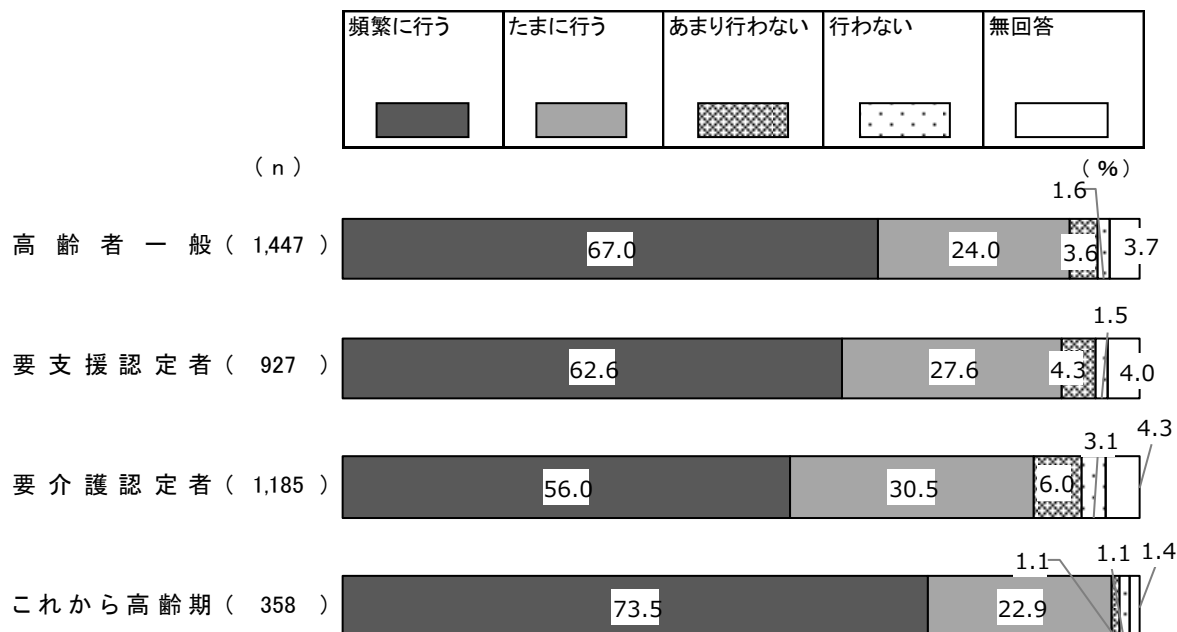
■夏の暑さによる体調不良



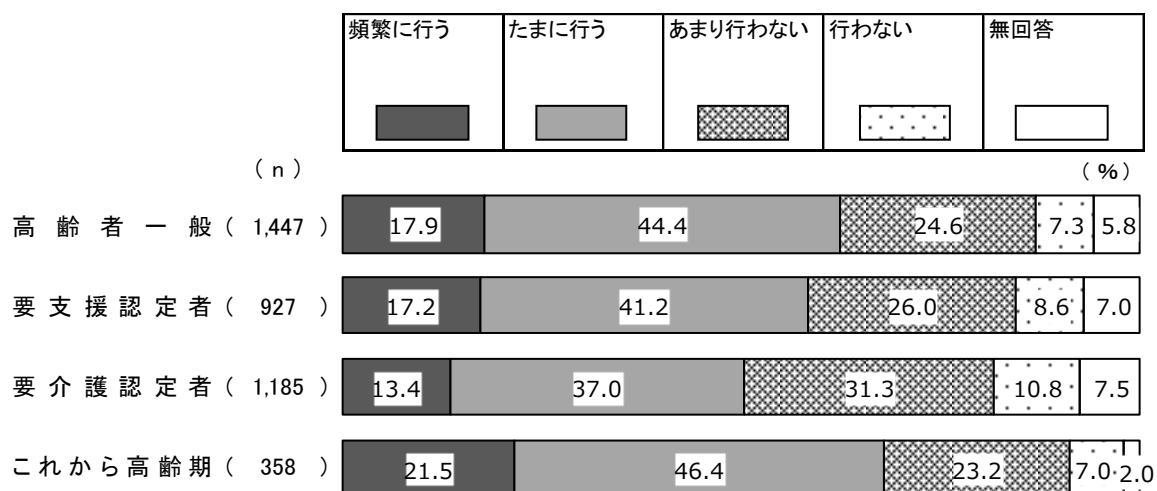
⑦ 熱中症予防・対策の実践状況

○いずれの調査でも、塩分摂取を“行わない”人（「あまり行わない」と「行わない」の合計）が3～4割超となっている。

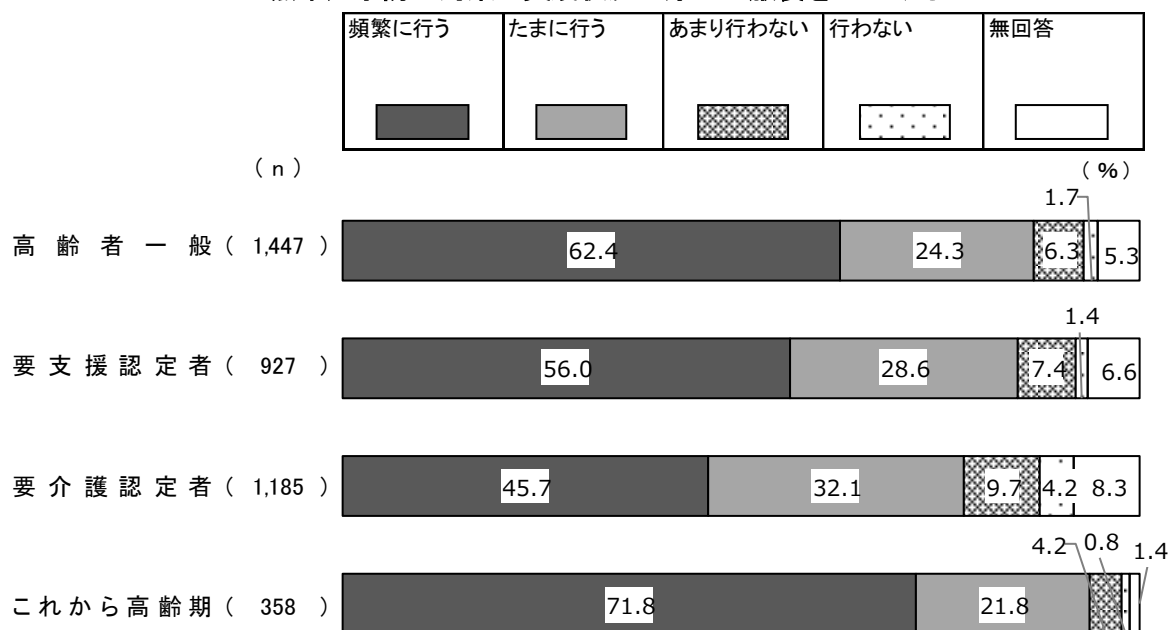
■熱中症予防・対策の実践状況：水分摂取



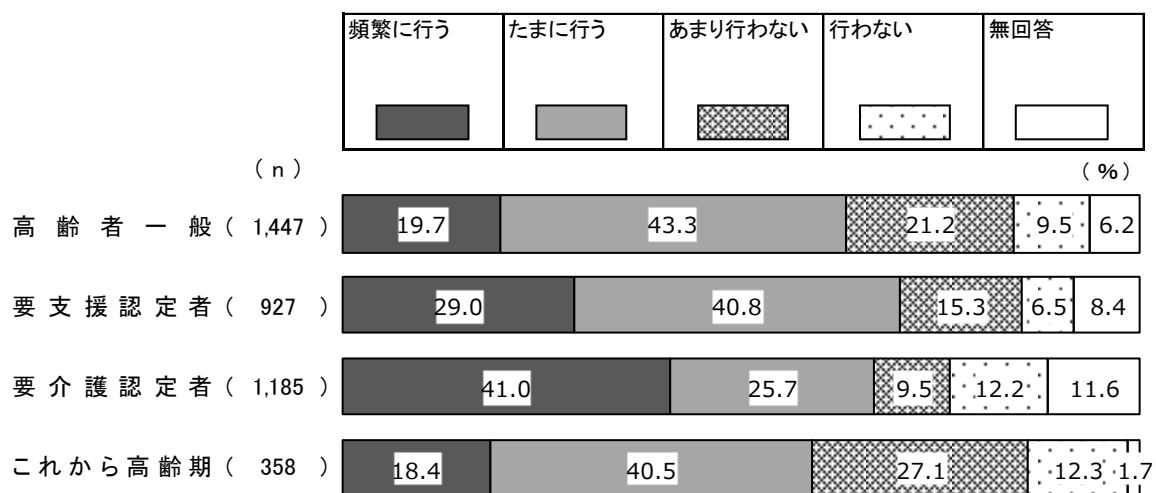
■熱中症予防・対策の実践状況：塩分摂取



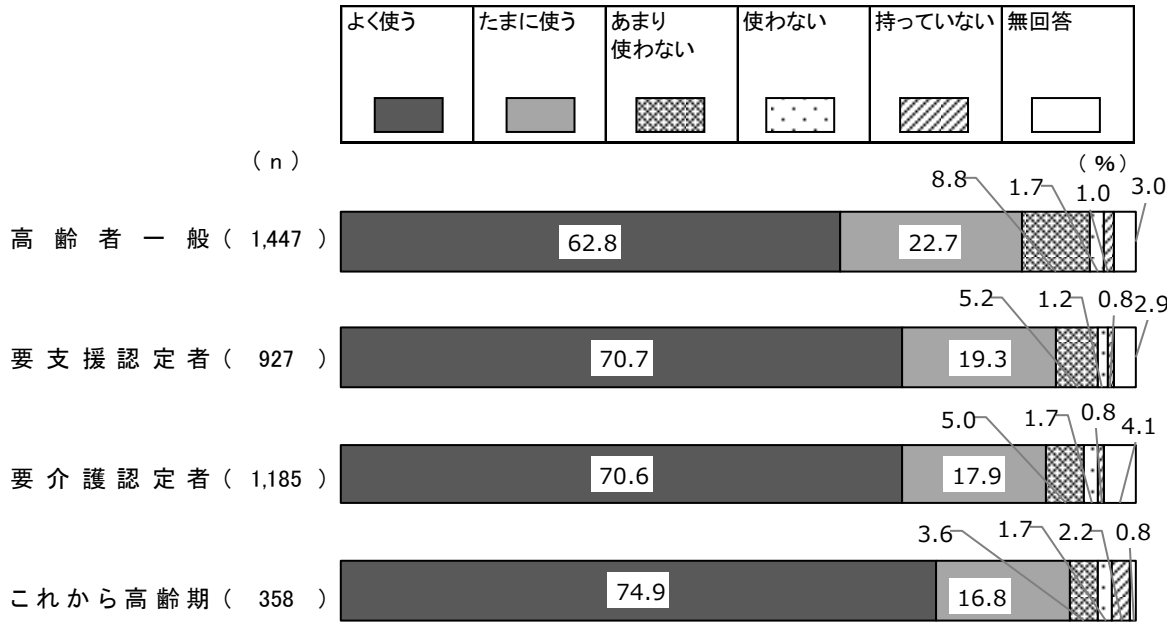
■熱中症予防・対策の実践状況：涼しい服装を心がける



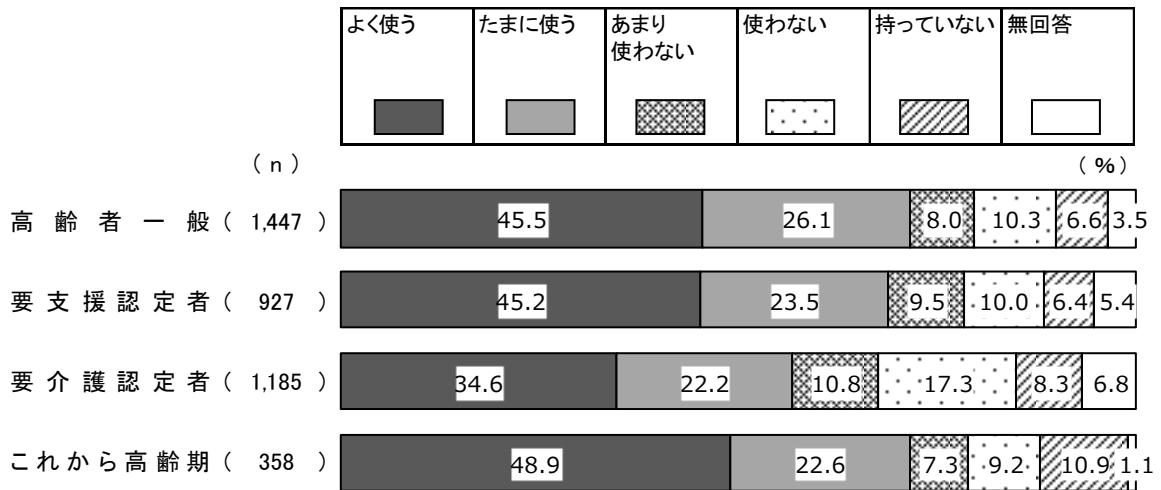
■熱中症予防・対策の実践状況：外出を控える



■熱中症予防・対策の実践状況：クーラーの使用



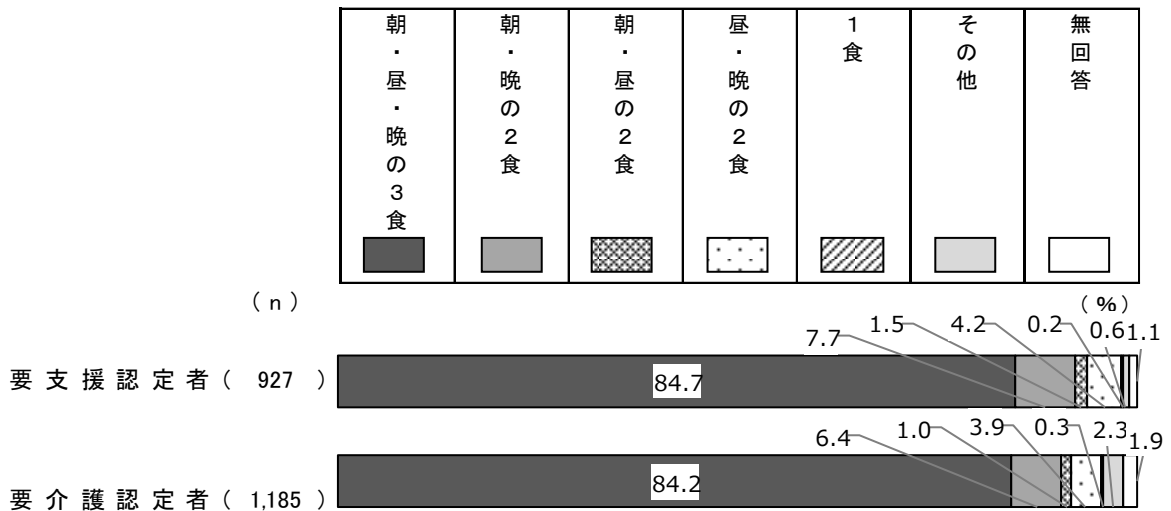
■熱中症予防・対策の実践状況：扇風機の使用



③ 1日の食事の回数

○要支援認定者、要介護認定者ともに、「朝・昼・晩の3食」が8割半ばとなっている。

■1日の食事の回数



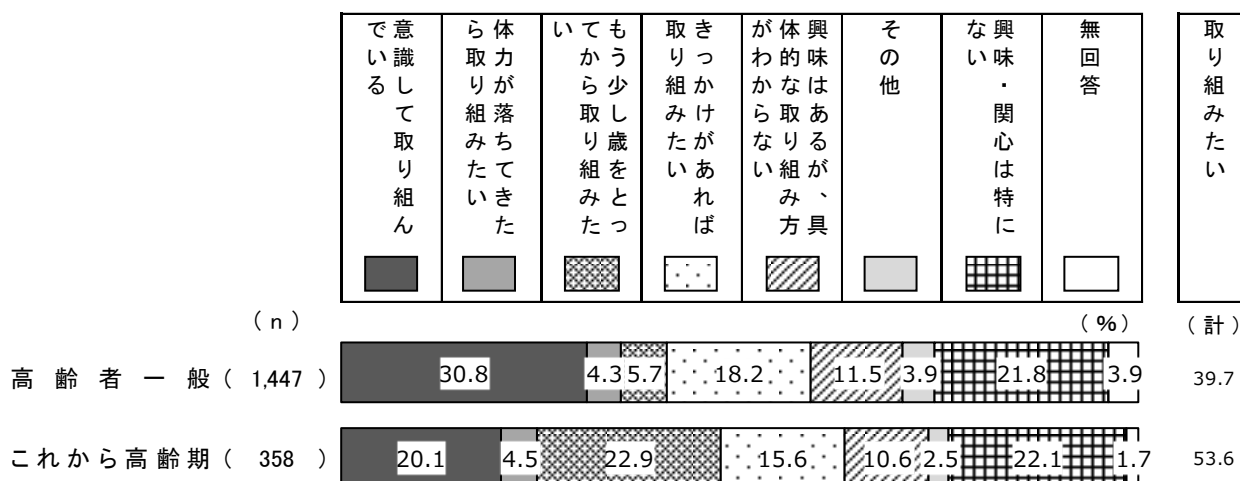


## (2) 介護予防の取組

### ① 介護予防の取組状況 ※

- 「意識して取り組んでいる」は、高齢者一般で30.8%、これから高齢期で20.1%であった。
- “取り組みたい”（「体力が落ちてきたら取り組みたい」「もう少し歳をとってから取り組みたい」「きっかけがあれば取り組みたい」「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」の合計）は、高齢者一般で39.7%、これから高齢期で53.6%となっている。
- 「興味・関心は特にない」は、高齢者一般で21.8%、これから高齢期で22.1%となっている。

#### ■介護予防の取組状況



※ 就労・運動・スポーツや地域行事・趣味サークルなどへの積極的な参加、栄養・口腔衛生教室、認知症予防教室への参加、食事の工夫などの介護予防につながる活動に意識して取り組んでいるかどうかを聞いた

### 【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』で“取り組みたい”が4割超で、『後期高齢者』と比べて高い。

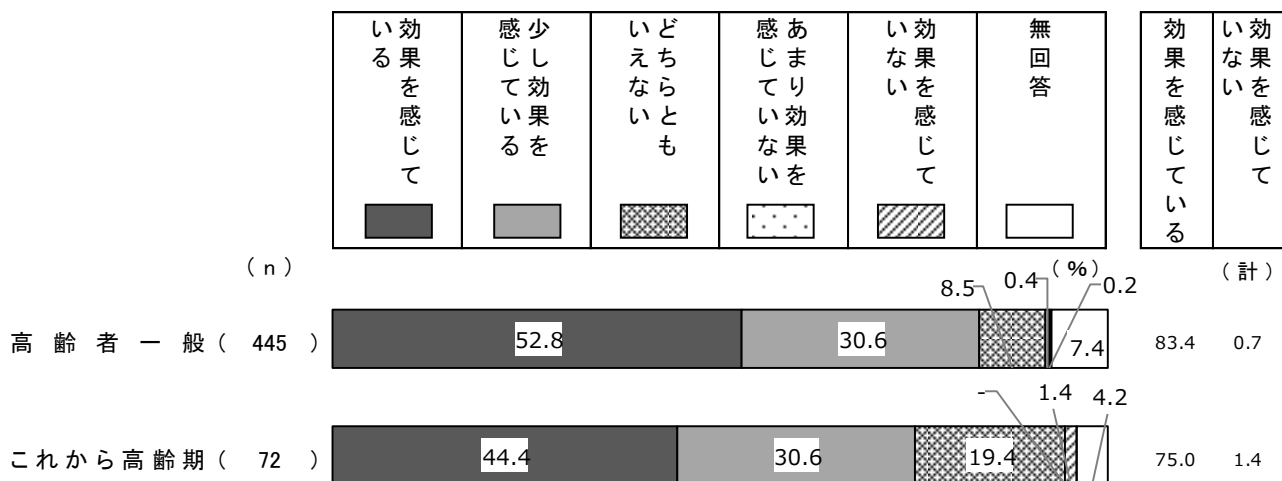
#### ■介護予防の取組状況<高齢者一般：年代別>

	n	意識して取り組んでいる	体力が落ちてきたら取り組みたい	もう少し歳をとってから取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	その他	興味・関心は特にない	無回答	取り組みたい
高齢者一般	1447	30.8	4.3	5.7	18.2	11.5	3.9	21.8	3.9	39.7
前期高齢者(65-74歳)	583	29.0	3.6	9.9	17.3	12.3	3.6	21.8	2.4	43.2
後期高齢者(75歳以上)	786	31.4	4.6	2.7	19.2	11.5	4.2	21.6	4.8	37.9

## ② 介護予防の主観的な効果

○介護予防に意識して取り組んでいると回答した人で、その取組に“効果を感じている”（「効果を感じている」と「少し効果を感じている」の合計）は、高齢者一般で 83.4%、これから高齢期で 75.0%となっている。

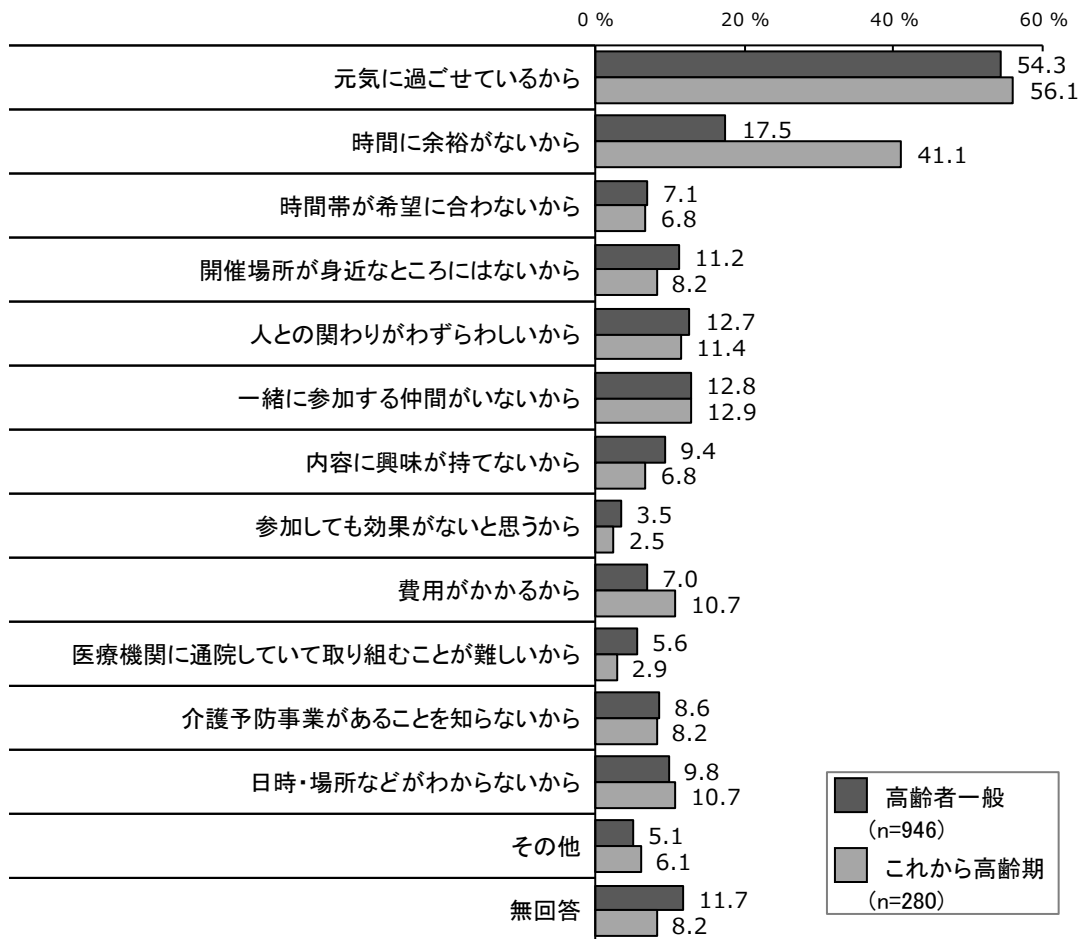
■介護予防の主観的な効果



### ③ 介護予防に取り組んでいない理由

○介護予防に取り組んでいないと回答した人（※）の取り組んでいない理由は、いずれの調査でも、「元気に過ごせているから」（高齢者一般で 54.3%、これから高齢期で 56.1%）が最も高い。これから高齢期は、次いで「時間に余裕がないから」（41.1%）が高くなっている。

■介護予防に取り組んでいない理由（複数回答）



※ ①で「体力が落ちてきたら取り組みたい」「もう少し歳をとってから取り組みたい」「きっかけがあれば取り組みたい」「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」「その他」「興味・関心は特にない」と回答した人

### 【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』では「時間に余裕がないから」、「内容に興味を持ってないから」が、『後期高齢者』と比べて高い。

■介護予防に取り組んでいない理由（複数回答）＜高齢者一般：年代別＞

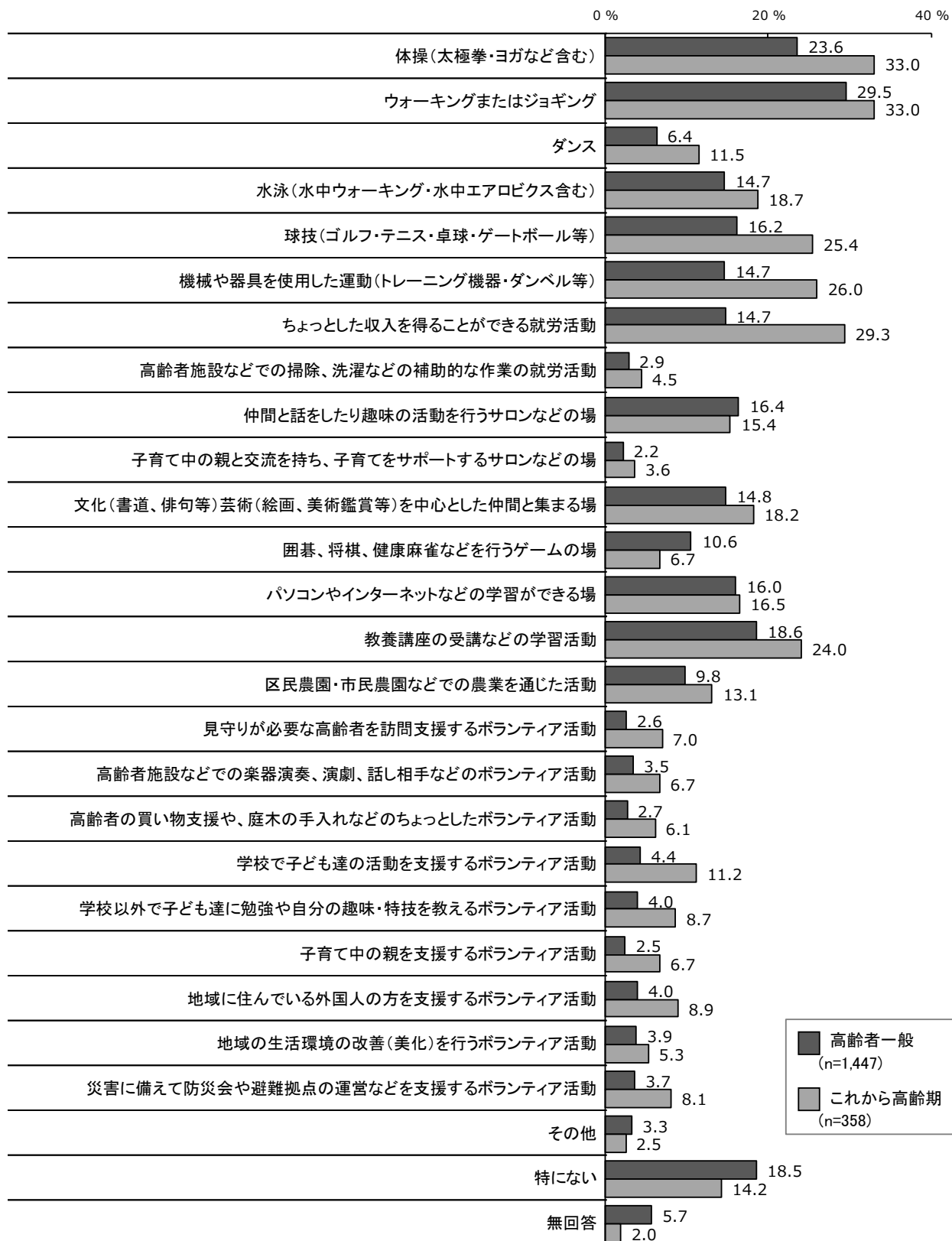
	n	元気に過ごせているから	時間に余裕がないから	一緒に参加する仲間がいないから	人との関わりがわずらわしいから	開催場所が身近なところにはないから	日時・場所などがわからないから	内容に興味を持ってないから	知らないから	介護予防事業があることを知らないから	時間帯が希望に合わないから	費用がかかるから	医療機関に通院することが難しいから	参加しても効果がないと思うから	その他	無回答
高齢者一般	946	54.3	17.5	12.8	12.7	11.2	9.8	9.4	8.6	7.1	7.0	5.6	3.5	5.1	11.7	
前期高齢者(65-74歳)	400	54.5	24.3	12.3	13.5	10.0	11.0	13.0	10.5	8.5	9.0	5.3	4.0	6.0	8.5	
後期高齢者(75歳以上)	501	54.5	12.2	13.2	11.2	12.2	9.0	6.2	7.2	6.0	4.8	6.2	3.2	4.6	14.2	

#### ④ 参加したい活動

○いずれの調査においても、「体操（太極拳・ヨガなど含む）」、「ウォーキングまたはジョギング」が上位に挙がっている。

○これから高齢期では、「ちょっとした収入を得ることができる就労活動」が約3割で、高齢者一般と比べて高い。

#### ■参加したい活動（複数回答）



## 【高齢者一般】

- 性別にみると、『男性』は「球技（ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等）」（約2割）、「囲碁、将棋、健康麻雀などを行うゲームの場」（1割半ば）が『女性』と比べて高い。『女性』は「体操（太極拳・ヨガなど含む）」（約3割）、「仲間と話をしたり趣味の活動を行うサロンなどの場」（約2割）、「文化（書道、俳句等）芸術（絵画、美術鑑賞等）を中心とした仲間と集まる場」（2割近く）が『男性』と比べて高い。
- 年代別にみると、『前期高齢者』は「ウォーキングまたはジョギング」（3割半ば）、「体操（太極拳・ヨガなど含む）」（3割近く）、「教養講座の受講などの学習活動」（2割半ば）、「ちょっとした収入を得ることができる就労活動」（約2割）が『後期高齢者』と比べて高い。

## ■参加したい活動（複数回答）＜高齢者一般：性別・年代別＞

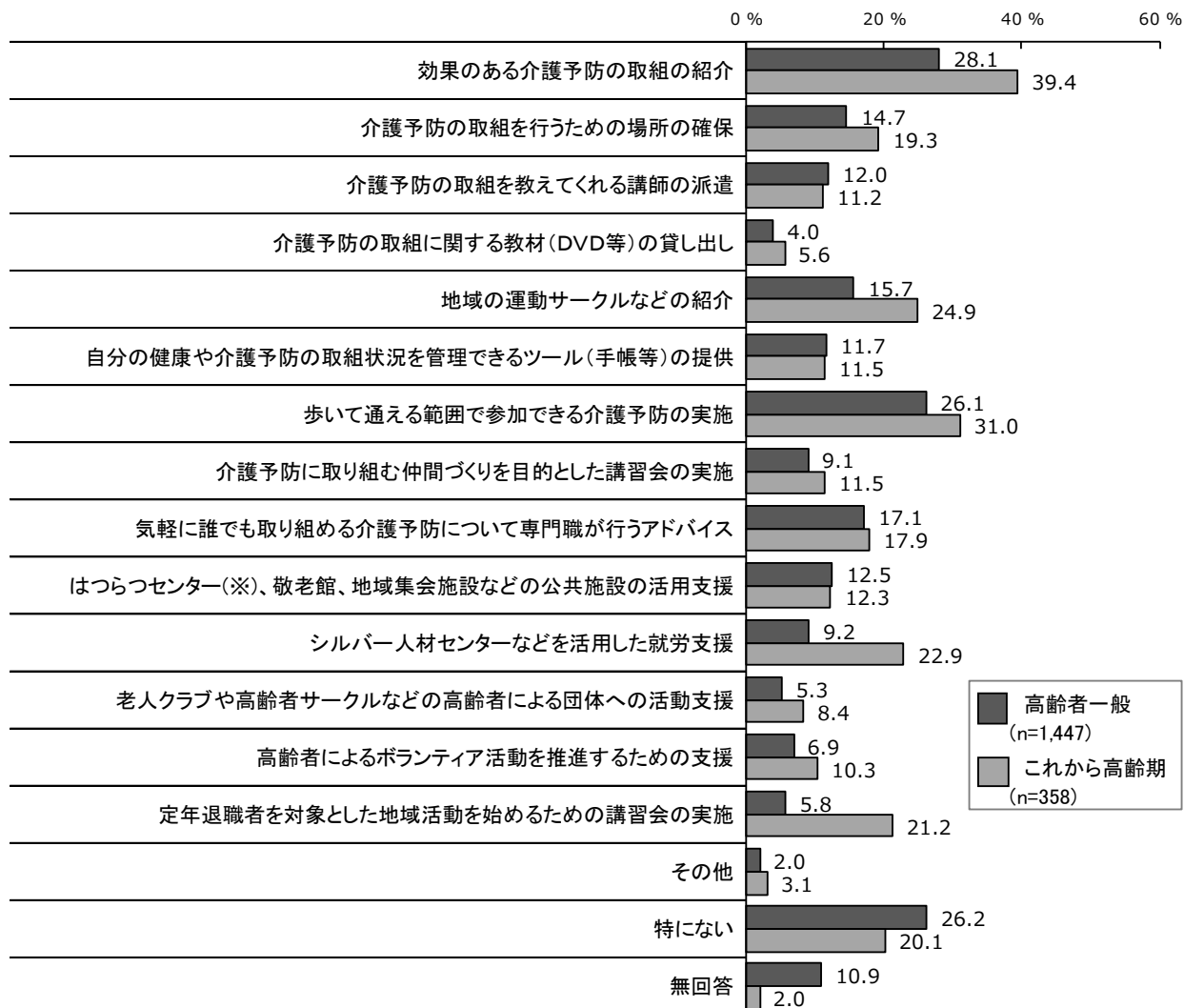
	(%)				
	高齢者 一般	男性	女性	前期 高齢者	後期 高齢者
(n)	1,447	580	805	583	786
ウォーキングまたはジョギング	29.5	32.2	27.8	34.1	26.5
体操(太極拳・ヨガなど含む)	23.6	14.8	29.7	27.1	20.6
教養講座の受講などの学習活動	18.6	16.9	19.4	24.0	14.1
仲間と話をしたり趣味の活動を行うサロンなどの場	16.4	10.7	20.5	19.6	14.1
球技(ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等)	16.2	20.7	12.3	18.5	14.0
パソコンやインターネットなどの学習ができる場	16.0	15.3	16.0	19.7	12.7
文化(書道、俳句等)芸術(絵画、美術鑑賞等)を中心とした仲間と集まる場	14.8	9.7	17.8	16.0	12.8
ちょっとした収入を得ることができる就労活動	14.7	17.4	12.4	20.1	10.6
水泳(水中ウォーキング・水中エアロビクス含む)	14.7	12.9	15.7	17.8	12.3
機械や器具を使用した運動(トレーニング機器・ダンベル等)	14.7	15.7	13.7	18.5	11.7
囲碁、将棋、健康麻雀などを行うゲームの場	10.6	15.7	7.2	10.5	10.9
区民農園・市民農園などでの農業を通じた活動	9.8	12.1	8.0	12.3	7.5
ダンス	6.4	1.9	9.7	8.7	4.8
学校で子ども達の活動を支援するボランティア活動	4.4	5.3	3.4	7.2	1.9
学校以外で子ども達に勉強や自分の趣味・特技を教えるボランティア活動	4.0	4.5	3.6	5.5	2.8
地域に住んでいる外国人の方を支援するボランティア活動	4.0	4.7	3.4	6.3	1.9
地域の生活環境の改善(美化)を行うボランティア活動	3.9	4.8	3.1	4.8	3.1
災害に備えて防災会や避難拠点の運営などを支援するボランティア活動	3.7	5.3	2.5	5.3	2.4
高齢者施設などでの楽器演奏、演劇、話し相手などのボランティア活動	3.5	2.6	4.2	5.5	2.2
高齢者施設などでの掃除、洗濯などの補助的な作業の就労活動	2.9	2.9	2.7	3.1	2.7
高齢者の買い物支援や、庭木の手入れなどのちょっとしたボランティア活動	2.7	2.9	2.6	3.8	2.0
見守りが必要な高齢者を訪問支援するボランティア活動	2.6	1.7	3.4	3.4	1.9
子育て中の親を支援するボランティア活動	2.5	1.4	3.5	4.8	0.8
子育て中の親と交流を持ち、子育てをサポートするサロンなどの場	2.2	0.7	3.4	3.4	1.1
その他	3.3	3.1	3.5	1.7	4.3
特になし	18.5	20.0	18.1	16.0	21.1
無回答	5.7	4.3	6.8	3.8	7.3

### ⑤ 介護予防に取り組むために必要な支援

○高齢者一般では、「効果のある介護予防の取組の紹介」(28.1%)、「歩いて通える範囲で参加できる介護予防の実施」(26.1%)が上位に挙げられている。

○これから高齢期では、「効果のある介護予防の取組の紹介」(39.4%)、「歩いて通える範囲で参加できる介護予防の実施」(31.0%)が上位に挙げられている。

#### ■介護予防に取り組むために必要な支援（複数回答）

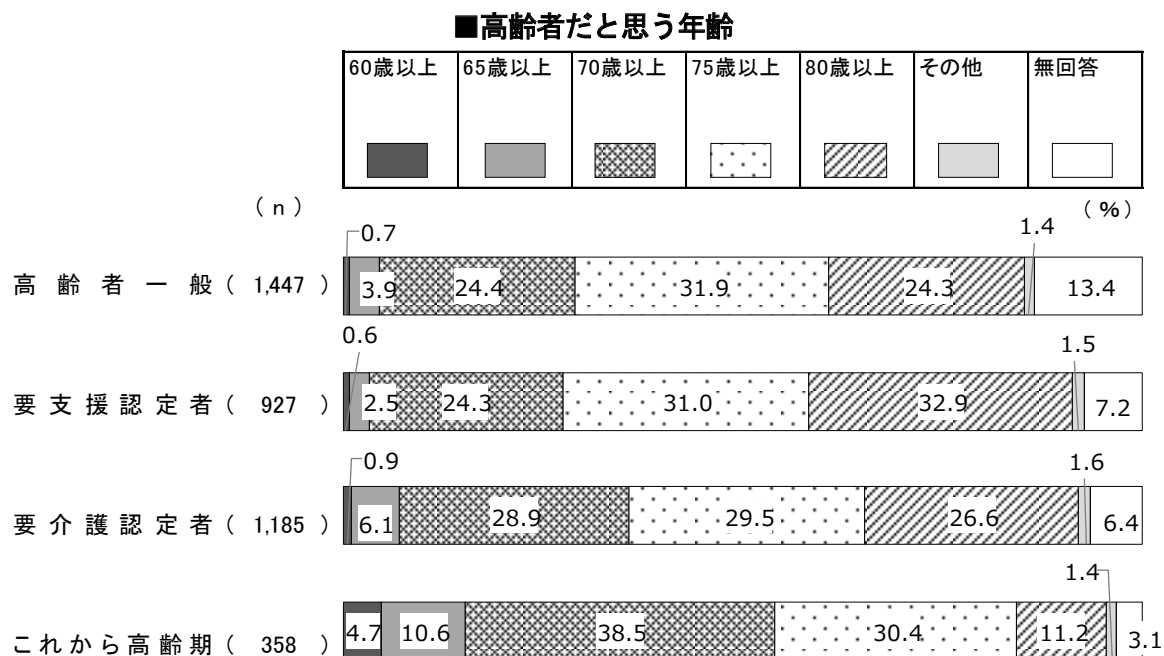


※ 「高齢者センター」は、平成29年4月に「はつらつセンター」に名称を変更した

## 6 社会参加

### (1) 高齢者だと思う年齢

- “75歳以上”（「75歳以上」と「80歳以上」の合計）は、高齢者一般で5割半ば、要支援認定者で6割超、要介護認定者で5割半ば、これから高齢期で4割超となっている。
- これから高齢期では、「70歳以上」が38.5%となっている。



### 【経年比較】

- 平成25年度、平成28年度の調査結果と比較すると、令和元年度の調査結果は「75歳以上」が高齢者一般では5割半ばで、ポイントが高くなっている。

### ■高齢者だと思う年齢

#### <高齢者一般：経年比較>

	n	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	その他	無回答
令和元年度	1,447	0.7	3.9	24.4	56.3	1.4	13.4
平成28年度	1,494	0.3	3.9	30.6	52.2	1.6	11.3
平成25年度	1,583	0.5	7.6	42.1	41.2	6.1	2.5

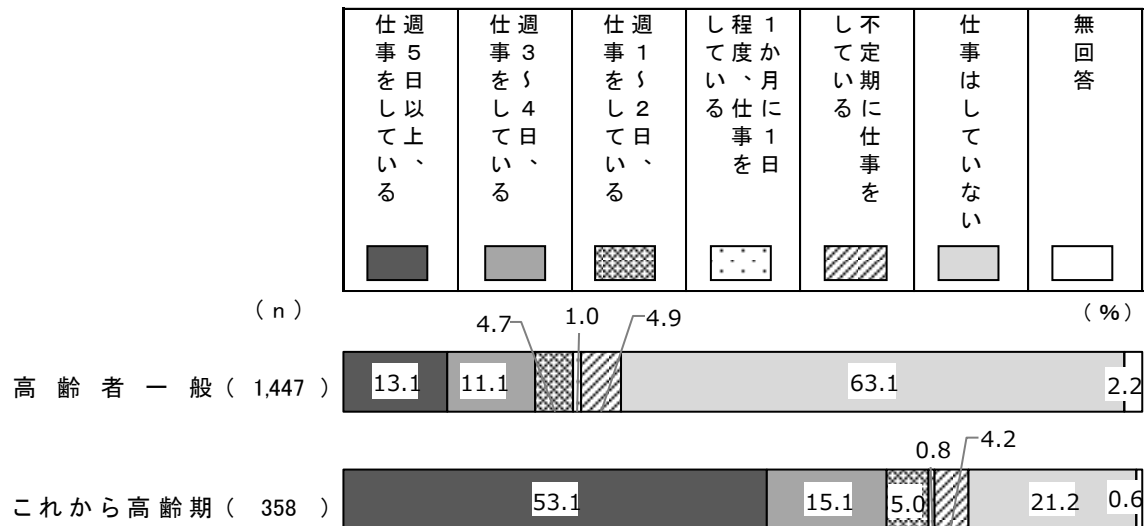
※ 平成25年度の調査は「80歳以上」を聞いていないため、「75歳以上」として再集計を行った

## (2) 就労状況

### ① 就労状況

○ “仕事をしている”（「仕事はしていない」を除く）人は、高齢者一般で34.7%、これから高齢期で78.2%となっている。

#### ■就労状況



#### 【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』は“仕事をしている”人は約5割で、『後期高齢者』と比べて高い。「週5日以上、仕事をしている」人は、『前期高齢者』では約2割となっている。

#### ■就労状況<高齢者一般：年代別>

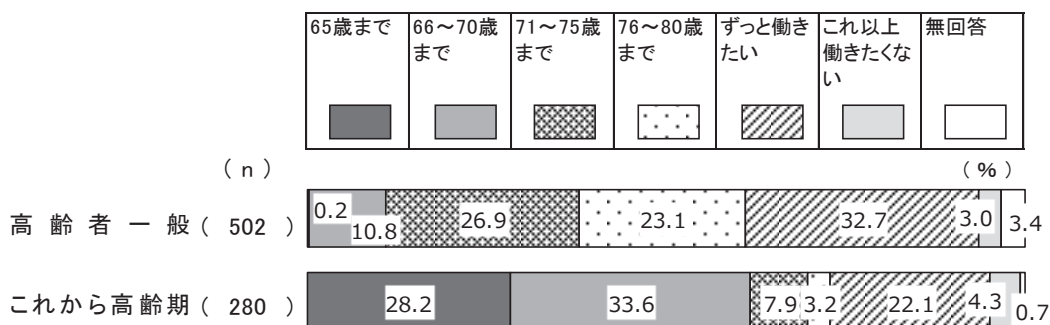
	n	仕週 事5 を日 し以 て上 い、 る	仕週 事3 を日 し4 て日 い、 る	仕週 事1 を日 し2 て日 い、 る	し程 度1 か 月 に 1 日 を	し不 定 期 に 仕 事 を	仕 事 は し て い な い	無 回 答
高齢者一般	1,447	13.1	11.1	4.7	1.0	4.9	63.1	2.2
前期高齢者(65-74歳)	583	19.9	16.0	7.0	1.2	6.0	49.1	0.9
後期高齢者(75歳以上)	786	7.5	7.4	2.9	0.9	3.8	74.3	3.2



## ② 働き続けたい年齢

- “仕事をしている” 人の働き続けたい年齢は、高齢者一般では「ずっと働きたい」が 32.7%、「71～75歳まで」が 26.9%、「76～80歳まで」が 23.1%となっている。
- これから高齢期では、「66～70歳まで」が 33.6%、「65歳まで」が 28.2%となっている。

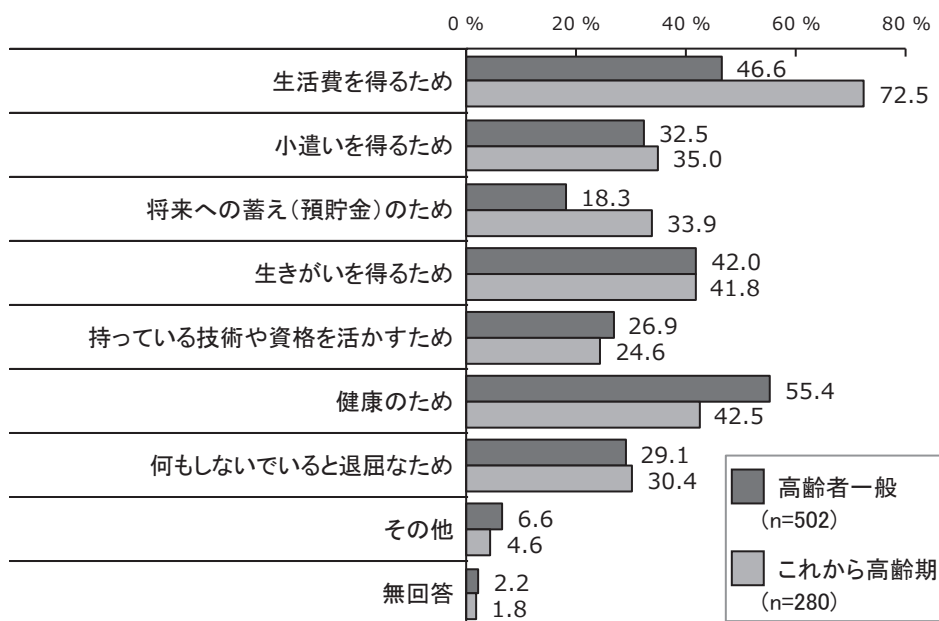
■ 働き続けたい年齢



## ③ 働く理由

- “仕事をしている” 人の働く理由は、高齢者一般では「健康のため」(55.4%)、「生活費を得るため」(46.6%)、「生きがいを得るため」(42.0%)が上位に挙げられている。
- これから高齢期では、「生活費を得るため」(72.5%)、「健康のため」(42.5%)、「生きがいを得るため」(41.8%)が上位に挙げられている。

■ 働く理由 (複数回答)



**【経年比較】**

○平成 25 年度、平成 28 年度の調査結果と比較すると、令和元年度の調査結果は平成 28 年度に引き続き「健康のため」が5割超と最も高くなっている。また、調査を重ねる度に「小遣いを得るため」が高くなっている。

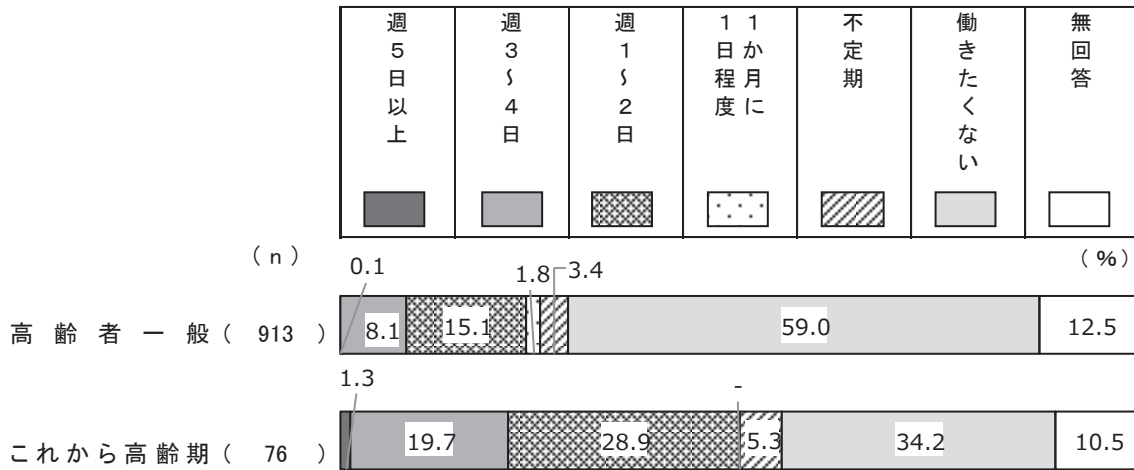
**■働く理由（複数回答）＜高齢者一般：経年比較＞**

	n	健康のため	生活費を得るため	生きがいを得るため	小遣いを得るため	何もしないでいると退屈するため	活かすための技術や資格を	将来への蓄え（預貯金）のため	その他	無回答
令和元年度	502	55.4	46.6	42.0	32.5	29.1	26.9	18.3	6.6	2.2
平成28年度	491	53.0	48.9	43.2	26.7	34.2	24.4	15.7	6.5	2.6
平成25年度	486	43.0	47.1	39.9	20.6	17.7	24.5	16.5	4.5	6.4

**④ 希望する就労の頻度**

○仕事はしていないと回答した人の働きたい頻度は、高齢者一般では、「週1～2日」が15.1%、「週3～4日」が8.1%となっている。また、「働きたくない」が59.0%となっている。  
○これから高齢期では、「週1～2日」が28.9%、「週3～4日」が19.7%となっている。また、「働きたくない」が34.2%となっている。

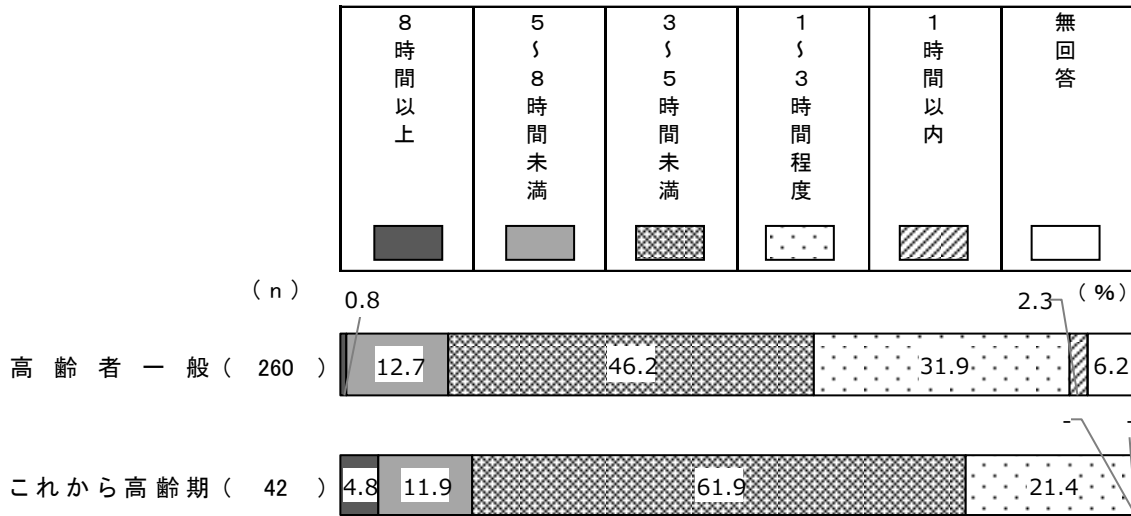
**■希望する就労の頻度**



⑤ 希望する就労時間

○仕事は現在していないが就労意向はあると回答した人の希望する就労時間は、高齢者一般では「3～5時間未満」が46.2%で最も高く、次いで「1～3時間程度」が31.9%となっている。

■希望する就労時間

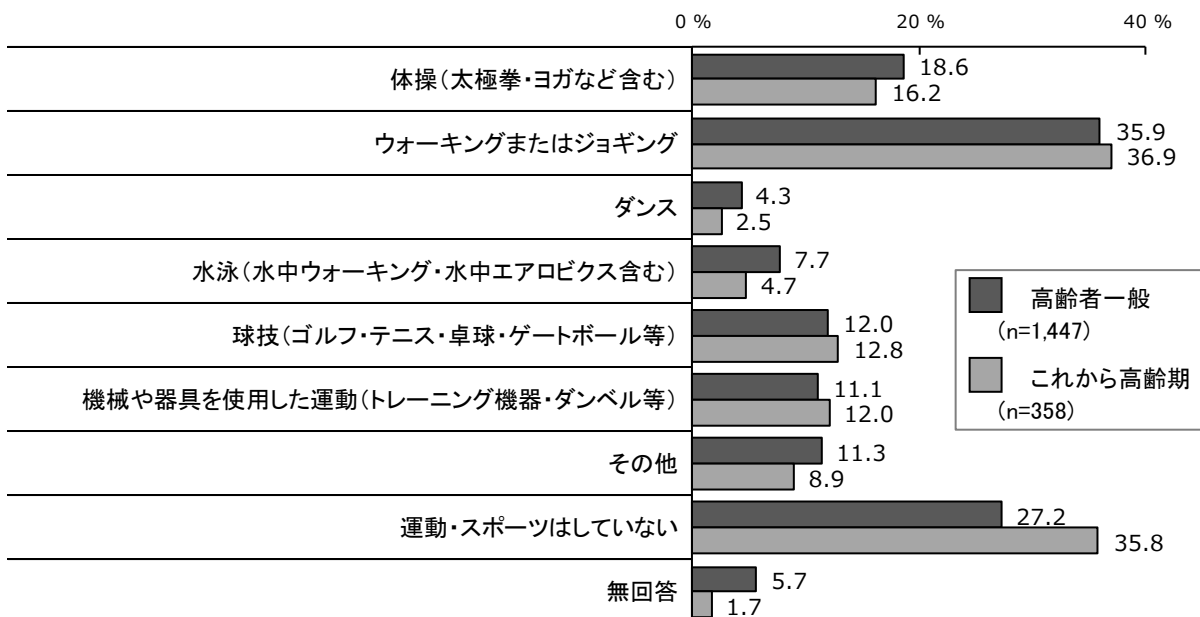


(3) 運動やスポーツの取組状況

① 運動やスポーツの取組状況

○「運動・スポーツはしていない」は高齢者一般で27.2%、これから高齢期で35.8%となっている。  
 ○何らかの運動・スポーツをしていると回答した人の取り組んでいる運動やスポーツは、いずれの調査でも「ウォーキングまたはジョギング」（高齢者一般で35.9%、これから高齢期で36.9%）が最も高く、次いで「体操（太極拳・ヨガなど含む）」（それぞれ18.6%、16.2%）となっている。

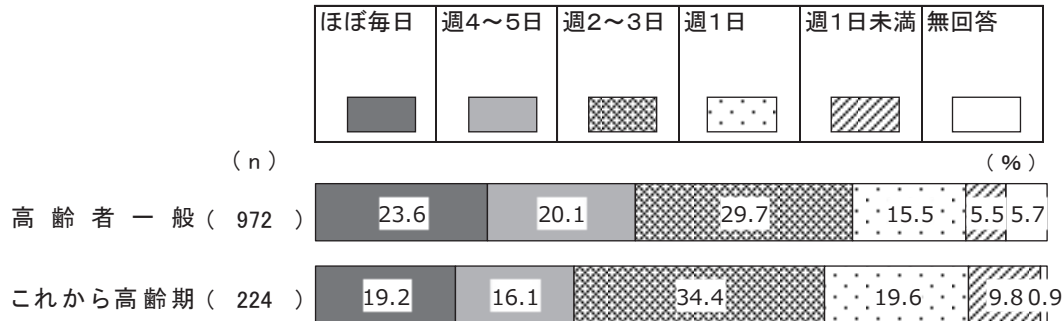
■運動やスポーツの取組状況（複数回答）



## ② 運動やスポーツの取組頻度

- 何らかの運動・スポーツをしていると回答した人の取組頻度は、高齢者一般では、「週2～3日」が最も高く29.7%、「ほぼ毎日」が23.6%、「週4～5日」が20.1%と続いている。
- これから高齢期では、「週2～3日」が最も高く34.4%、「週1日」が19.6%、「ほぼ毎日」が19.2%と続いている。

■運動やスポーツの取組頻度

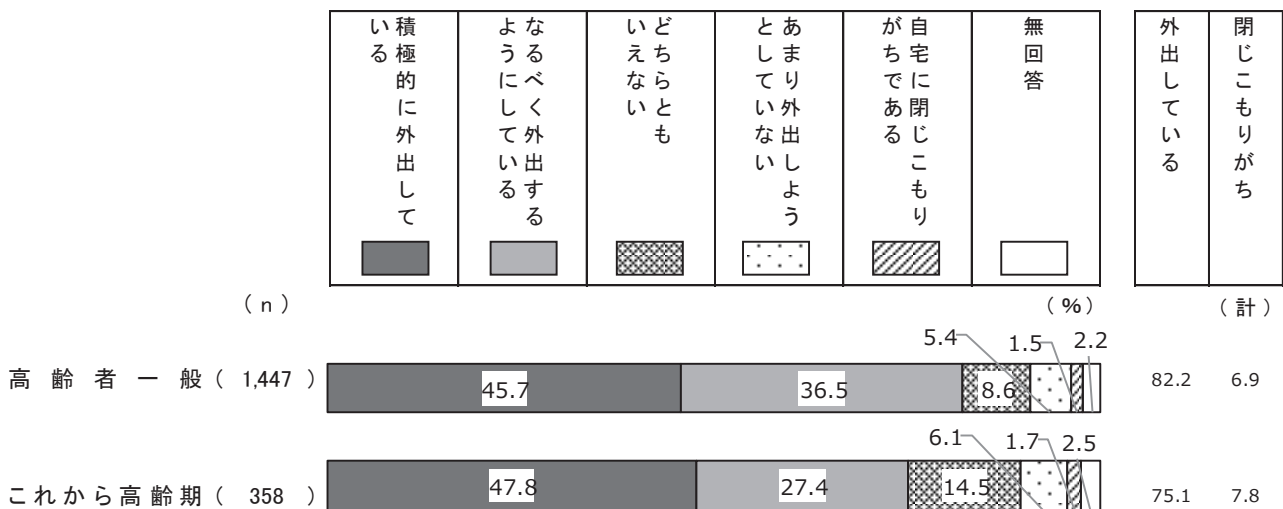


## (4) 外出状況

### ① 外出に対する積極性

- いずれの調査でも「積極的に外出している」が最も高く、高齢者一般で45.7%、これから高齢期で47.8%となっている。
- “閉じこもりがち”（「あまり外出しようとしていない」と「自宅に閉じこもりがちである」の合計）は、高齢者一般で6.9%、これから高齢期で7.8%となっている。

■外出に対する積極性



※ “外出している”は、「積極的に外出している」と「なるべく外出するようにしている」の合計

※ “閉じこもりがち”は、「あまり外出しようとしていない」と「自宅に閉じこもりがちである」の合計

**【高齢者一般】**

○情報機器の利用別にみると、各情報機器を利用している人の方が“外出している”割合が高い（ただし、タブレット型端末はサンプル数が少ないため参考値）。

**■外出に対する積極性<高齢者一般：パソコン利用別>**

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
パソコンを使う	432	53.5	32.2	8.8	4.4	0.7	0.5	85.6	5.1
パソコンを使わない	695	42.3	37.8	9.5	6.2	2.0	2.2	80.1	8.2

**■外出に対する積極性<高齢者一般：スマートフォン利用別>**

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
スマートフォンを使う	561	54.4	31.9	9.1	3.2	0.5	0.9	86.3	3.7
スマートフォンを使わない	575	38.6	40.2	9.4	7.5	2.4	1.9	78.8	9.9

**■外出に対する積極性<高齢者一般：携帯電話利用別>**

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
携帯電話を使う	664	51.5	34.9	7.4	4.4	0.6	1.2	86.4	5.0
携帯電話を使わない	442	38.9	36.7	11.8	7.7	3.2	1.8	75.6	10.9

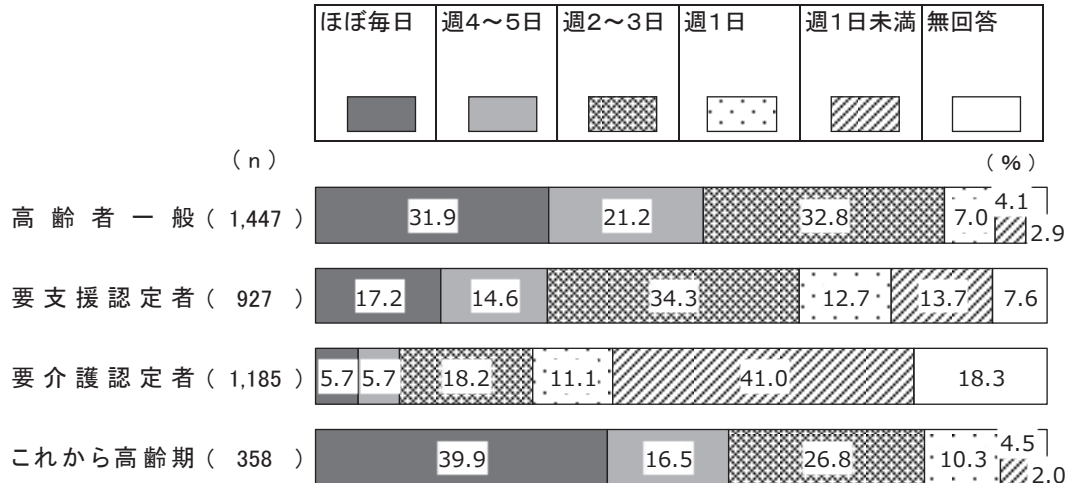
**■外出に対する積極性<高齢者一般：タブレット型端末利用別>**

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
タブレット型端末を使う	166	53.0	31.9	10.8	3.6	0.6	-	84.9	4.2
タブレット型端末を使わない	874	44.3	36.8	9.4	6.1	1.8	1.6	81.1	7.9

### ② 買物で外出する頻度

- “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で93.0%、要支援認定者で78.7%、要介護認定者で40.7%、これから高齢期で93.6%となっている。
- 要介護認定者では「週1日未満」が4割超で、他の調査と比べて高い（高齢者一般は4.1%、要支援認定者は13.7%、これから高齢期は4.5%）。

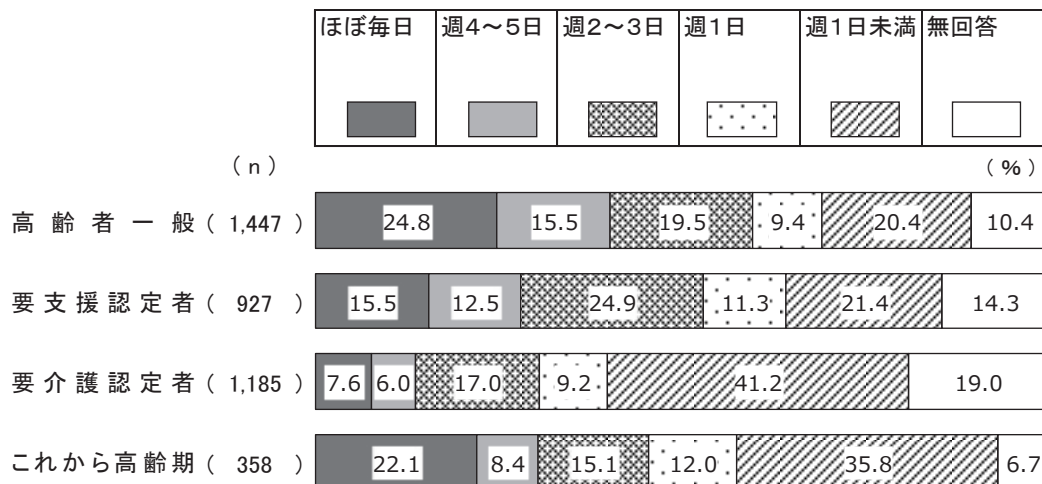
■買物で外出する頻度



### ③ 散歩で外出する頻度

- “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で69.2%、要支援認定者で64.3%、要介護認定者で39.8%、これから高齢期で57.5%となっている。
- 「週1日未満」は、高齢者一般で20.4%、要支援認定者で21.4%、要介護認定者で41.2%、これから高齢期で35.8%となっている。

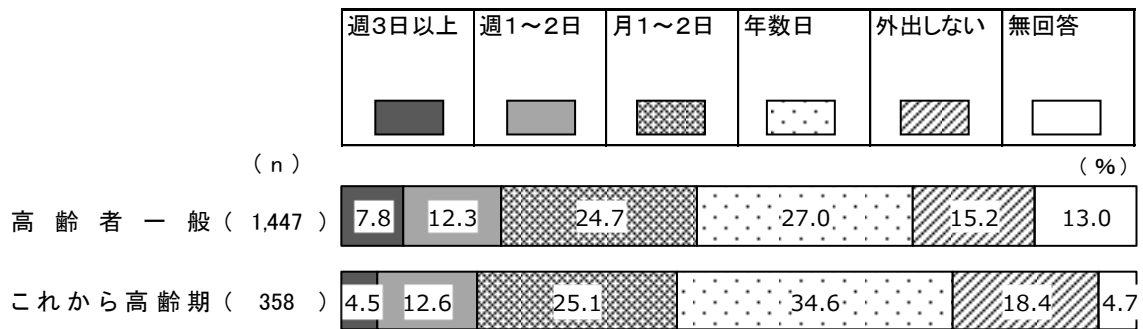
■散歩で外出する頻度



④ 家族・親せきや友人・知人の家を訪れる頻度

- “週1日以上訪れている”人は、高齢者一般で約2割、これから高齢期で2割弱となっている。
- “週1日未満”は、高齢者一般で6割半ば、これから高齢期で8割弱となっている。

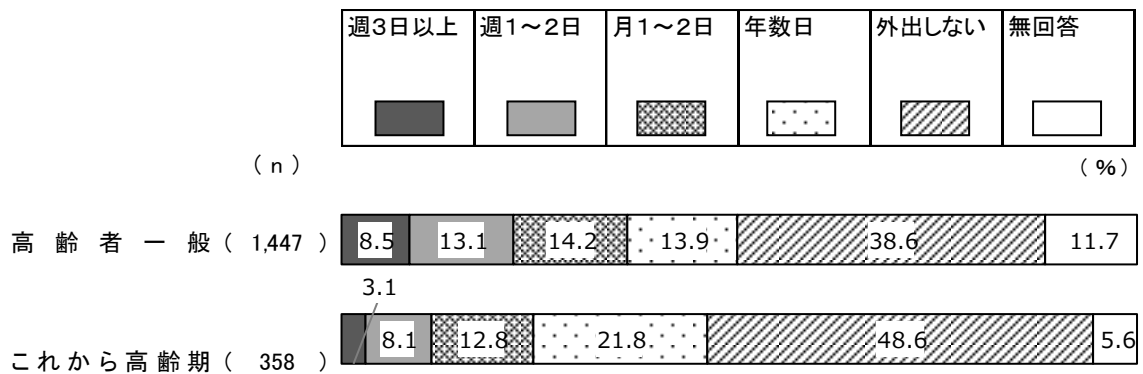
■家族・親せきや友人・知人の家を訪れる頻度



⑤ 図書館、体育館、プールなどの区立施設を訪れる頻度

- “週1日以上訪れている”人は、高齢者一般で21.6%、これから高齢期で11.2%となっている。

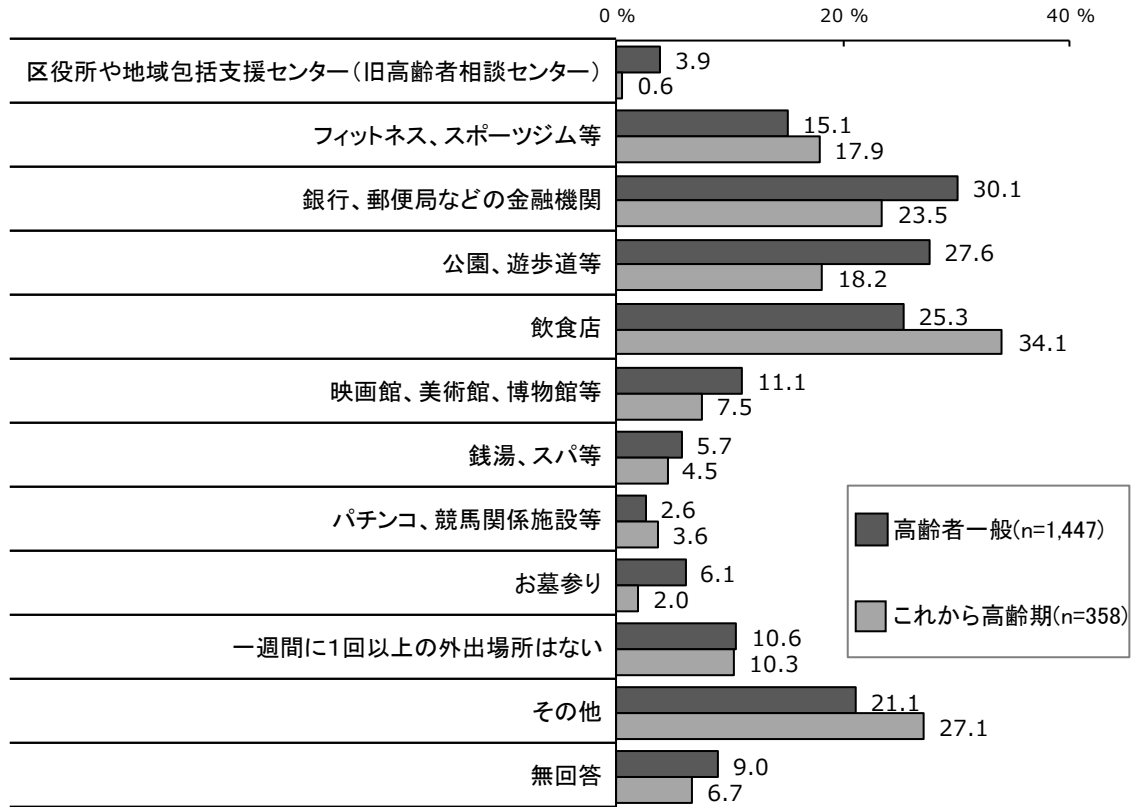
■図書館、体育館、プールなどの区立施設を訪れる頻度



⑥ 一週間に1回以上外出する場所

- 高齢者一般では、「銀行、郵便局などの金融機関」(30.1%)、「公園、遊歩道等」(27.6%)、「飲食店」(25.3%)が上位に挙がっている。「一週間に1回以上の外出場所はない」は約1割となっている。
- これから高齢期では、「飲食店」が34.1%で最も高く、「銀行、郵便局などの金融機関」(23.5%)、「公園、遊歩道等」(18.2%)、「フィットネス、スポーツジム等」(17.9%)と続いている。「一週間に1回以上の外出場所はない」は約1割となっている。

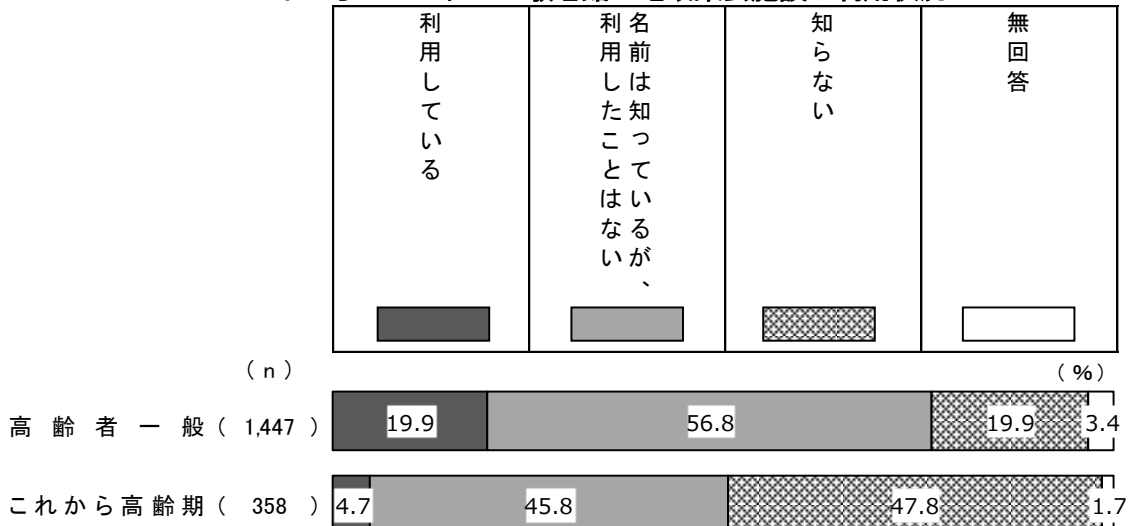
■一週間に1回以上外出する場所（複数回答）



⑦ はつらつセンター・敬老館・地域集会施設の利用状況

- 高齢者一般では、「利用している」が19.9%、「名前は知っているが、利用したことはない」が56.8%、「知らない」が19.9%となっている。
- これから高齢期では、「利用している」が4.7%、「名前は知っているが、利用したことはない」が45.8%、「知らない」が47.8%となっている。

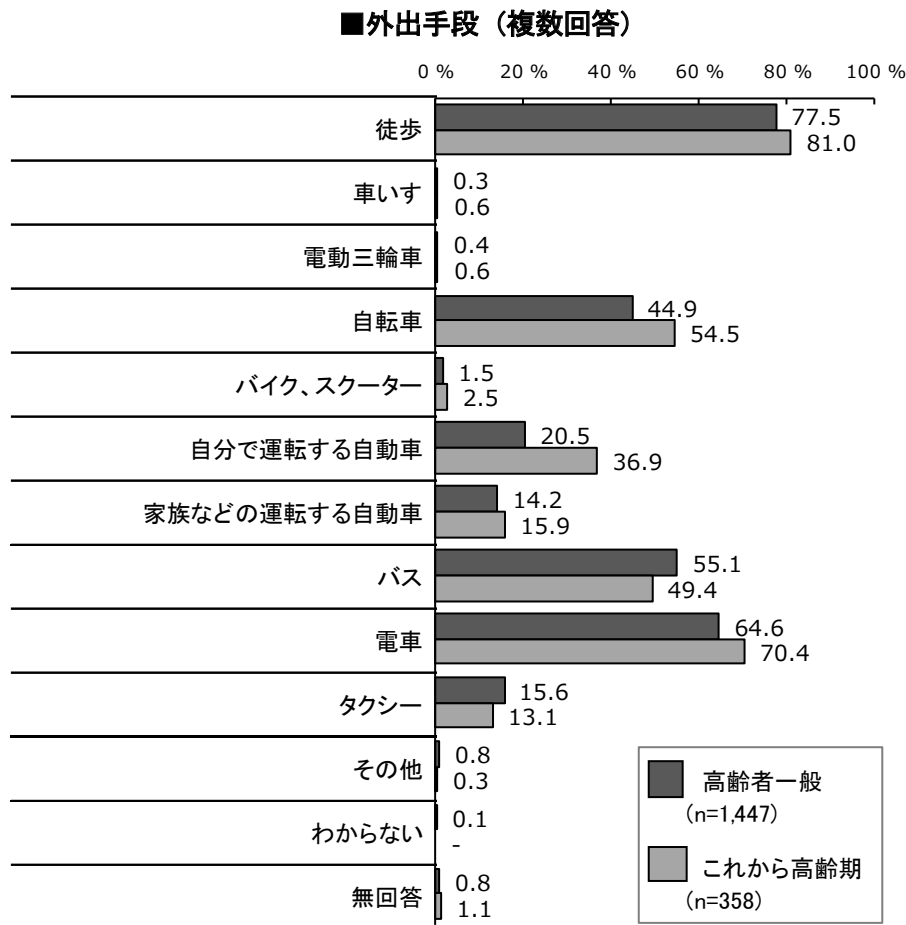
■はつらつセンター・敬老館・地域集会施設の利用状況





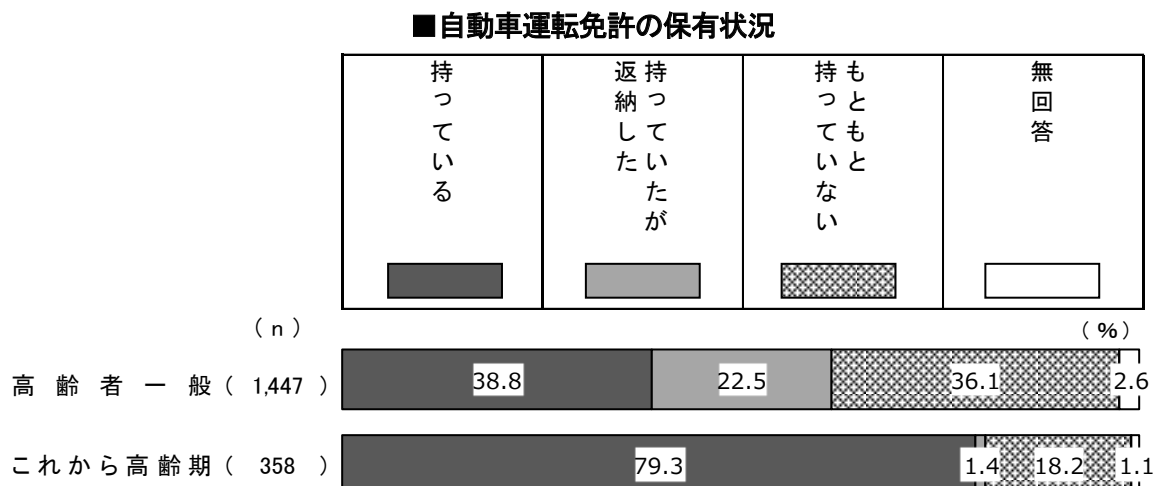
⑧ 外出手段

- 高齢者一般では、「徒歩」が77.5%で最も高く、「電車」(64.6%)、「バス」(55.1%)、「自転車」(44.9%)と続いている。
- これから高齢期では、「徒歩」(81.0%)が最も高く、「電車」(70.4%)、「自転車」(54.5%)と続いている。



⑨ 自動車運転免許の保有状況

- 自動車運転免許を「持っている」人は、高齢者一般で38.8%、これから高齢期で79.3%となっている。
- 自動車運転免許を「持っていたが返納した」人は、高齢者一般で22.5%、これから高齢期で1.4%となっている。



**【高齢者一般】**

○性・年代別にみると、自動車運転免許を「持っている」人は『男性・前期高齢者』で8割超、『男性・後期高齢者』で4割半ばとなっている。

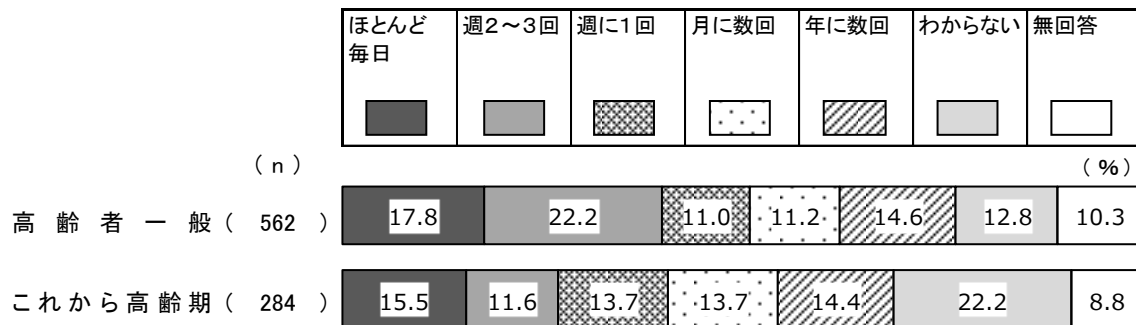
**■自動車運転免許の保有状況<高齢者一般：性・年代別>**

		(%)			
	n	持っている	返納していたが	持ってもいない	無回答
高齢者一般	1,447	38.8	22.5	36.1	2.6
男性・前期高齢者	260	83.8	3.5	11.5	1.2
男性・後期高齢者	312	45.5	41.0	12.8	0.6
女性・前期高齢者	322	42.9	17.1	37.9	2.2
女性・後期高齢者	473	6.8	24.5	64.3	4.4

**⑩ 運転頻度**

○自動車運転免許を「持っている」人の運転頻度は、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が17.8%、「週2～3回」が22.2%、「週に1回」が11.0%で、“週に1回以上”が半数以上となっている。  
 ○これから高齢期では、「ほとんど毎日」が15.5%、「週2～3回」が11.6%、「週に1回」が13.7%で、“週に1回以上”が約4割となっている。

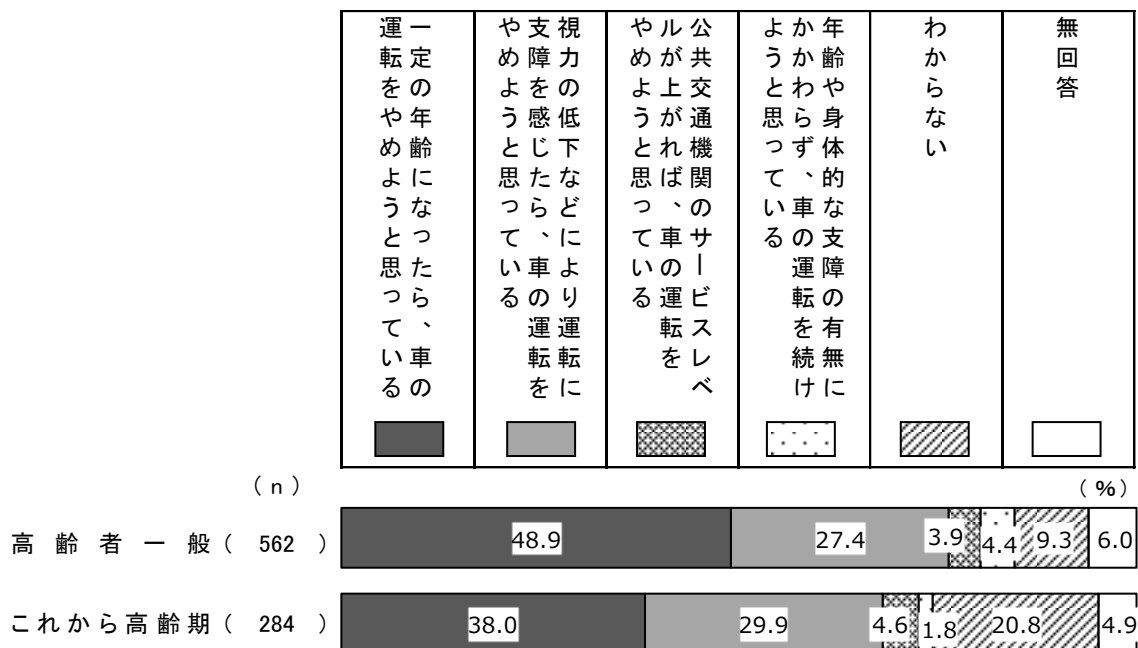
**■運転頻度**



### ⑪ 今後の自動車の運転意向

- 自動車運転免許を「持っている」人の今後の自動車の運転意向は、高齢者一般では「一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」が48.9%、「視力の低下などにより運転に支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている」が27.4%、「公共交通機関のサービスレベルが上がれば、車の運転をやめようと思っている」が3.9%で、何らかのタイミングで運転をやめようと思っている人が約8割となっている。
- これから高齢期では、「一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」が38.0%、「視力の低下などにより運転に支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている」が29.9%、「公共交通機関のサービスレベルが上がれば、車の運転をやめようと思っている」が4.6%で、何らかのタイミングで運転をやめようと思っている人が7割超となっている。

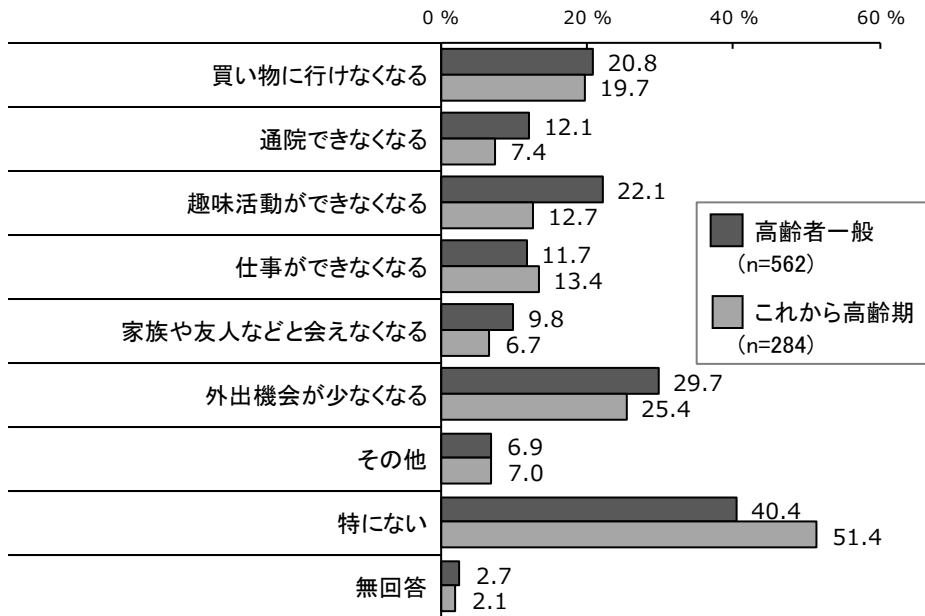
■今後の自動車の運転意向



⑫ 免許返納時に心配なこと

○自動車運転免許を「持っている」人の免許返納時に心配なことを聞いたところ、「特にない」が高齢者一般で約4割、これから高齢期で5割超となっている。心配なこととしては、いずれの調査でも「外出機会が少なくなる」が上位に挙がっている。

■免許返納時に心配なこと（複数回答）

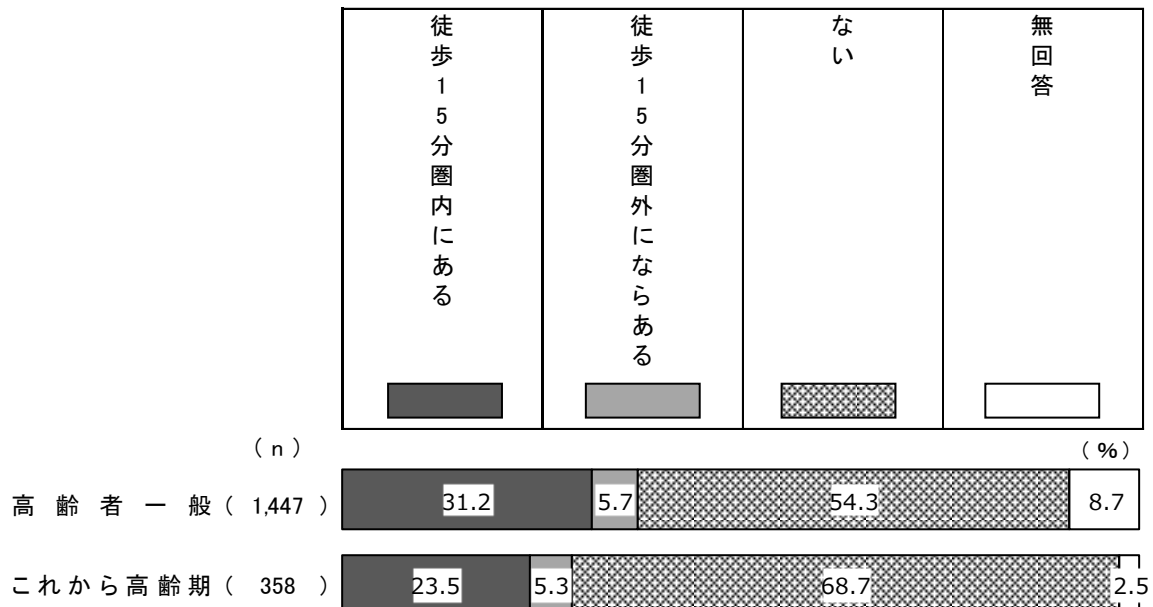


⑬ 日中、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる場所

○高齢者一般では、「徒歩15分圏内にある」が31.2%、「ない」が54.3%となっている。

○これから高齢期では、「徒歩15分圏内にある」が23.5%、「ない」が68.7%となっている。

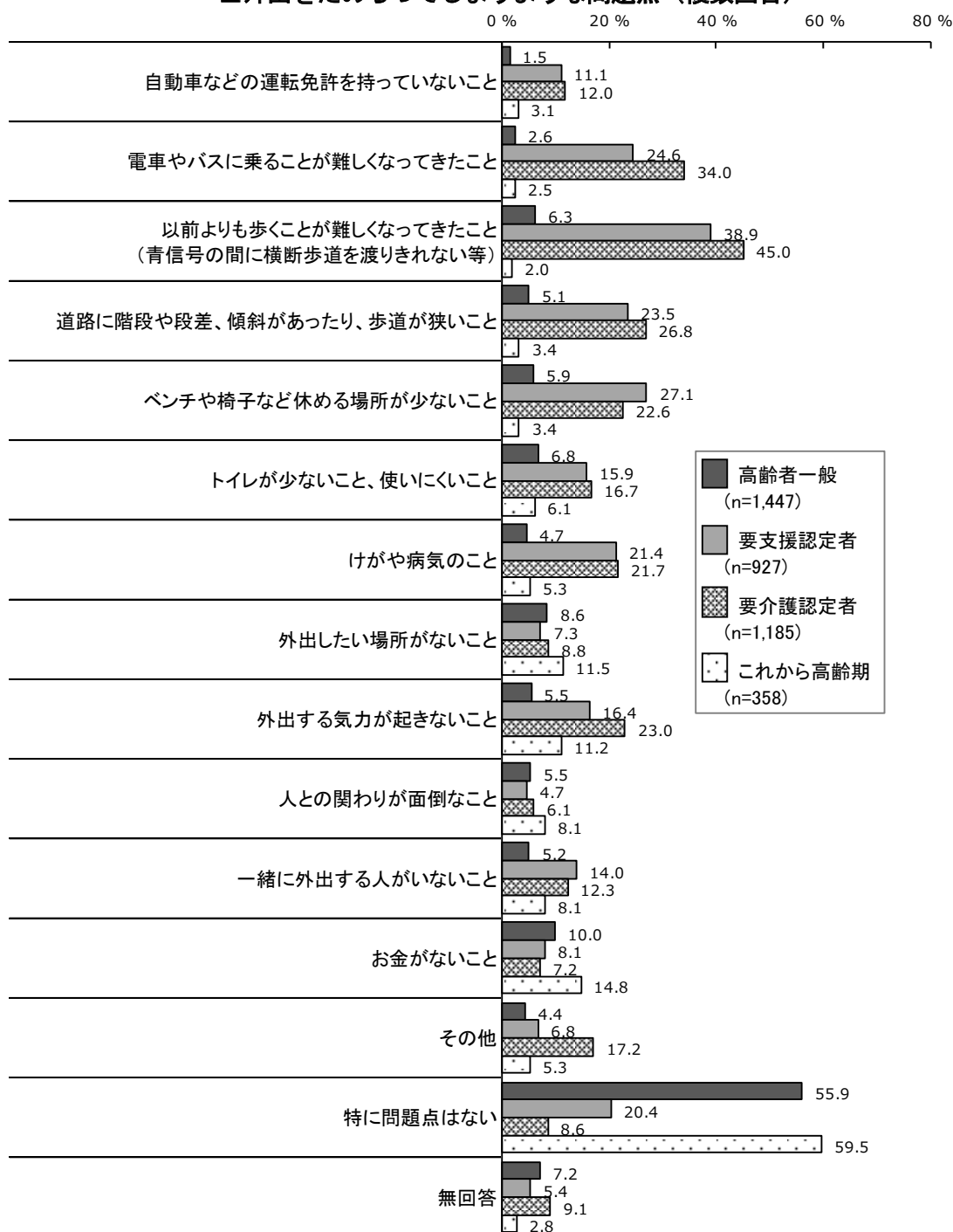
■日中、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる場所



### ⑭ 外出をためらってしまうような問題点

- 高齢者一般、これから高齢期では「特に問題点はない」が最も高く、それぞれ55.9%、59.5%となっている。問題点として、「お金がないこと」が高くなっている。
- 要支援認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと（青信号の間に横断歩道を渡りきれない等）」が38.9%で最も高く、「ベンチや椅子など休める場所が少ないこと」（27.1%）、「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」（24.6%）、「道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと」（23.5%）、「けがや病気のこと」（21.4%）と続いている。
- 要介護認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと（青信号の間に横断歩道を渡りきれない等）」が45.0%で最も高く、「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」（34.0%）、「道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと」（26.8%）、「外出する気力が起きないこと」（23.0%）、「ベンチや椅子など休める場所が少ないこと」（22.6%）、「けがや病気のこと」（21.7%）と続いている。

■外出をためらってしまうような問題点（複数回答）

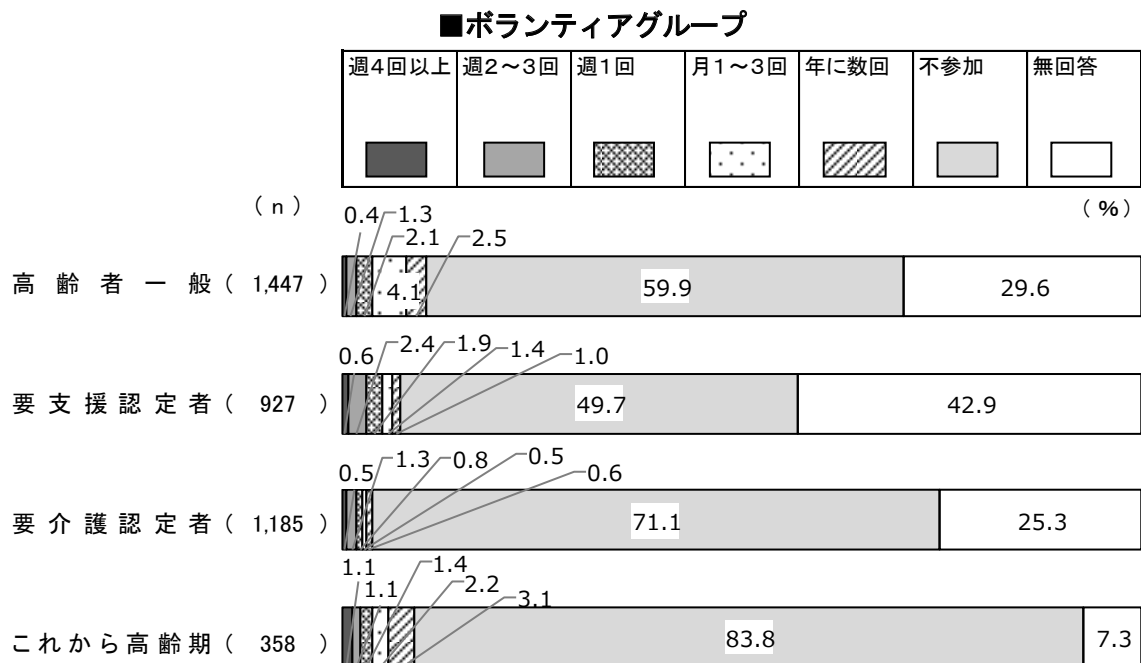


## 7 地域活動と地域とのつながり

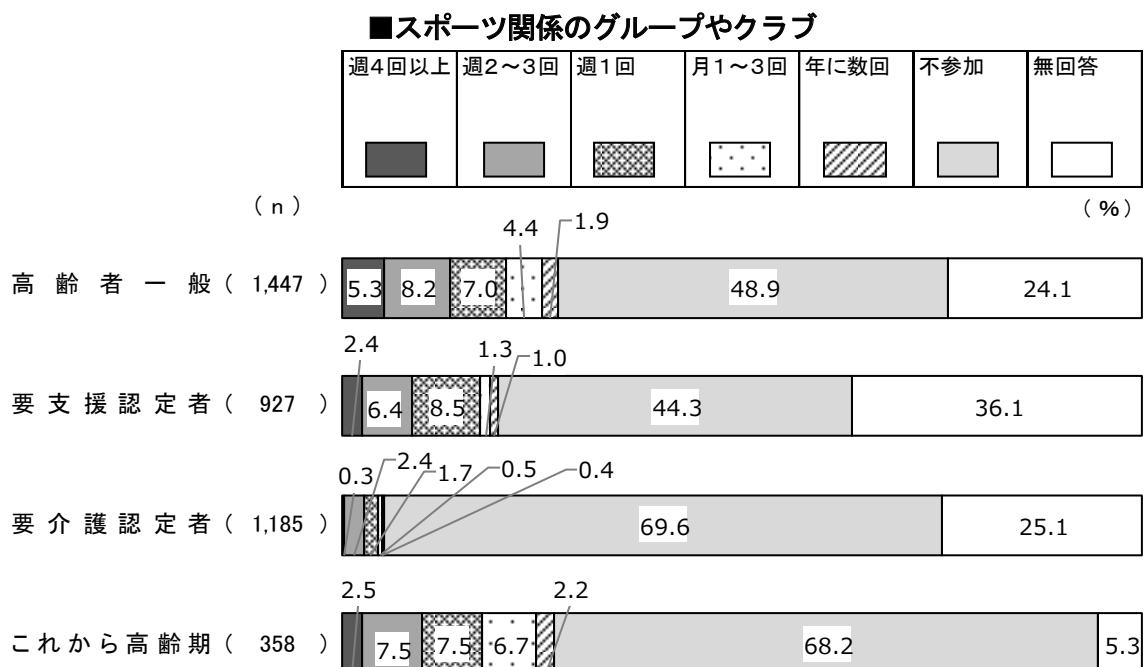
### (1) 地域活動への参加状況

#### ① 地域活動の参加頻度

○高齢者一般では、“参加している”人が約1割となっている。

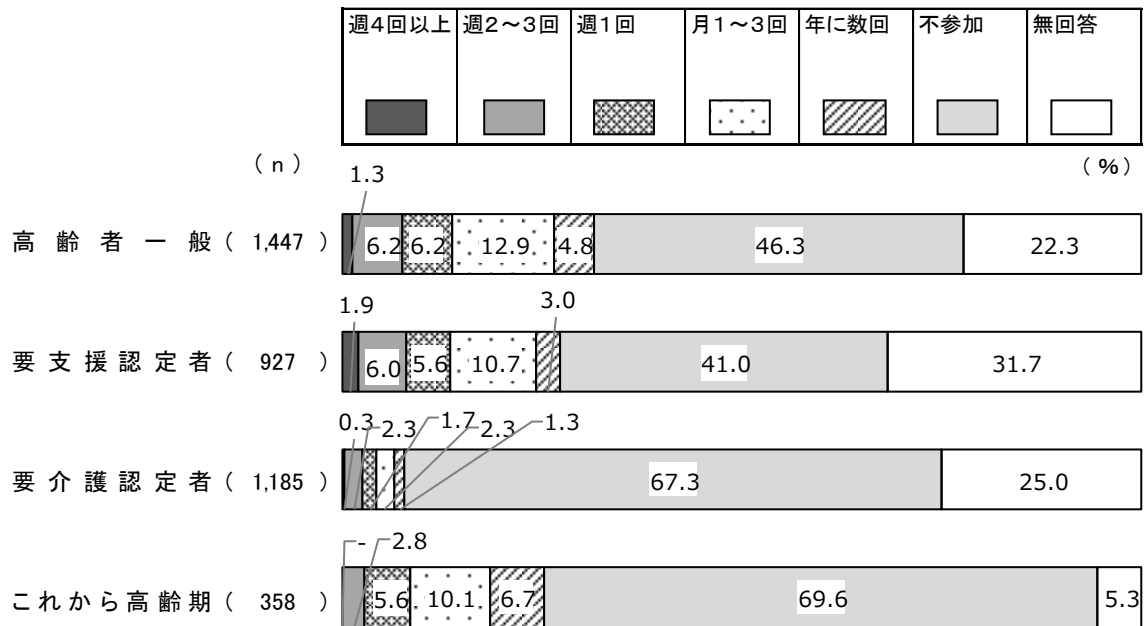


○高齢者一般、これから高齢期では、“参加している”人が2割半ばとなっている。



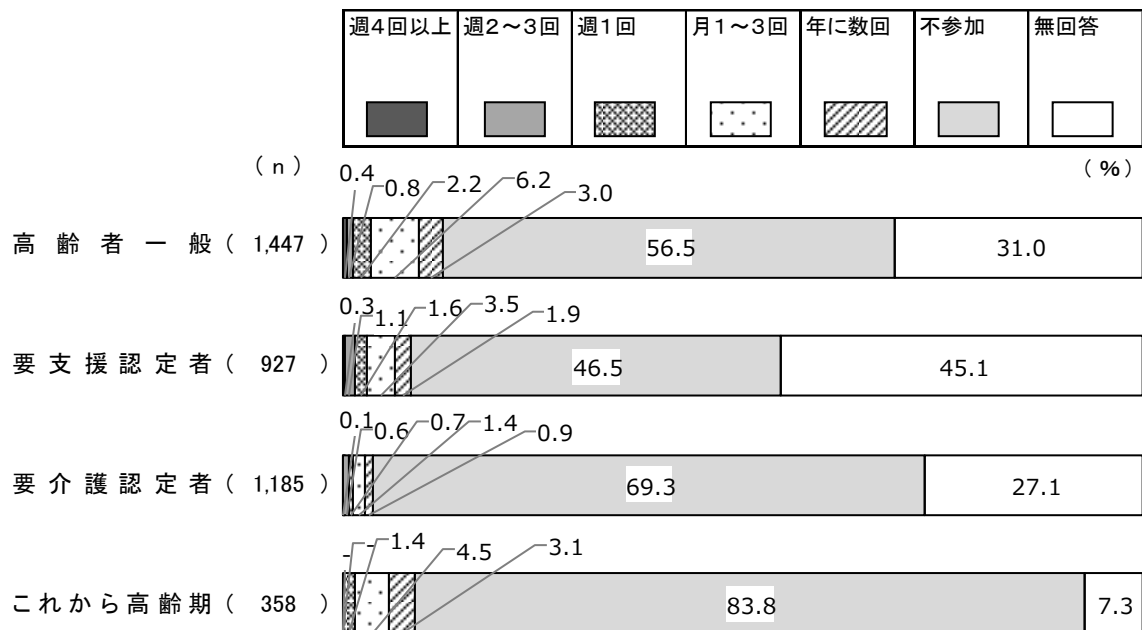
○ “参加している” 人の割合は、高齢者一般では3割超、要支援認定者では3割近く、これから高齢期では2割半ばとなっている。

■趣味関係のグループ



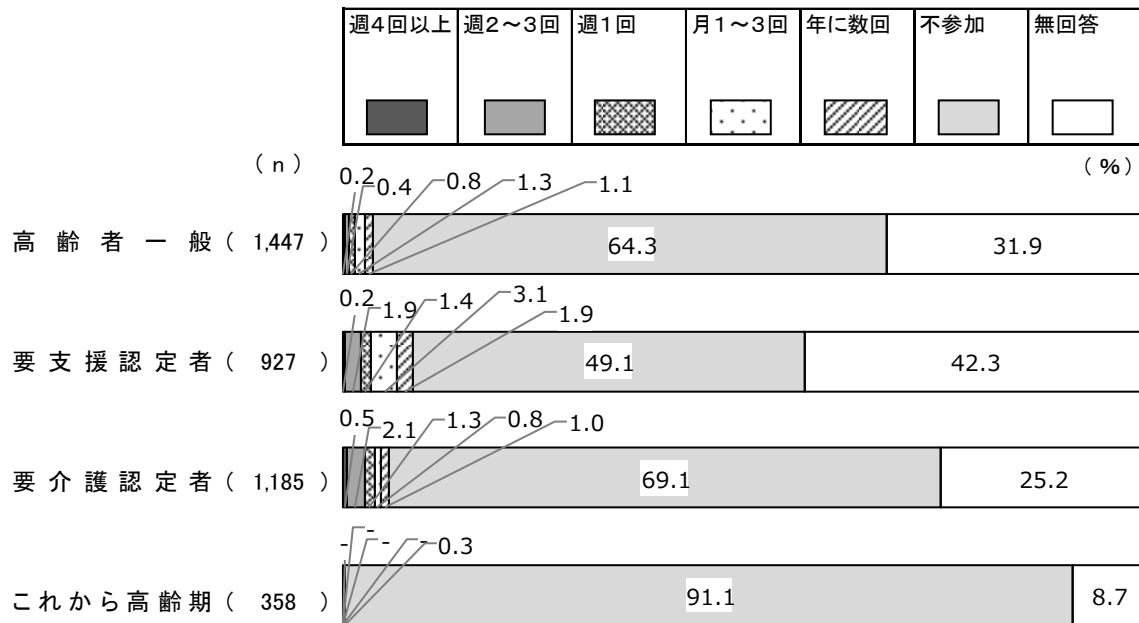
○高齢者一般では、“参加している” 人が1割超となっている。

■学習・教養サークル



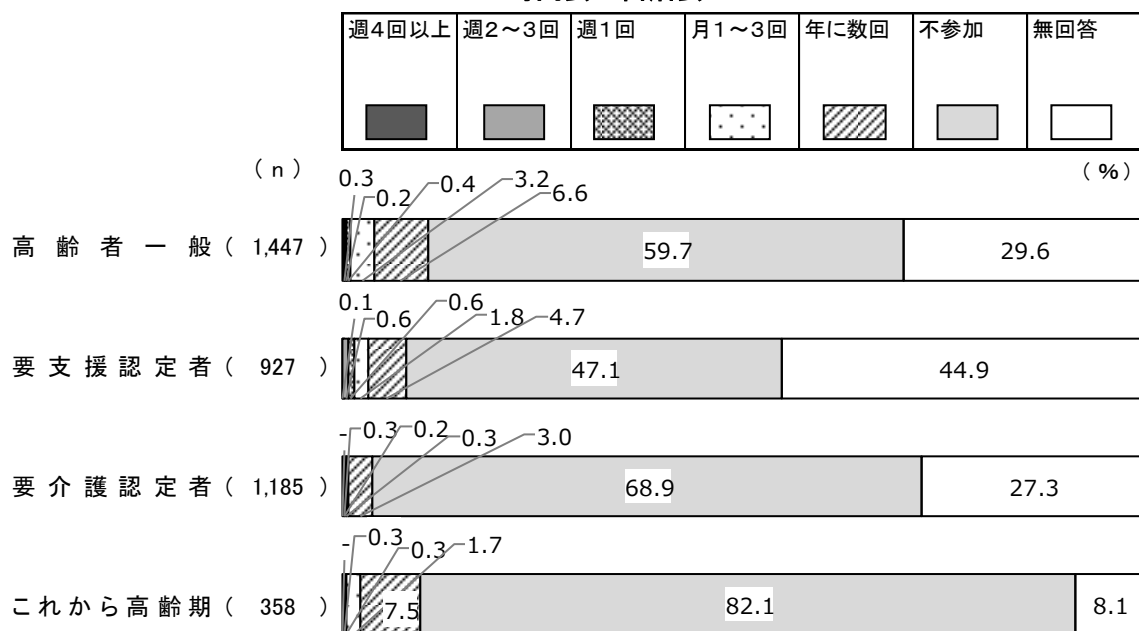
○いずれの調査でも“参加している”人は1割未満となっているが、要支援認定者は他と比べて高くなっている。

### ■老人クラブ



○高齢者一般、これから高齢期では、“参加している”人が約1割となっている。

### ■町内会・自治会

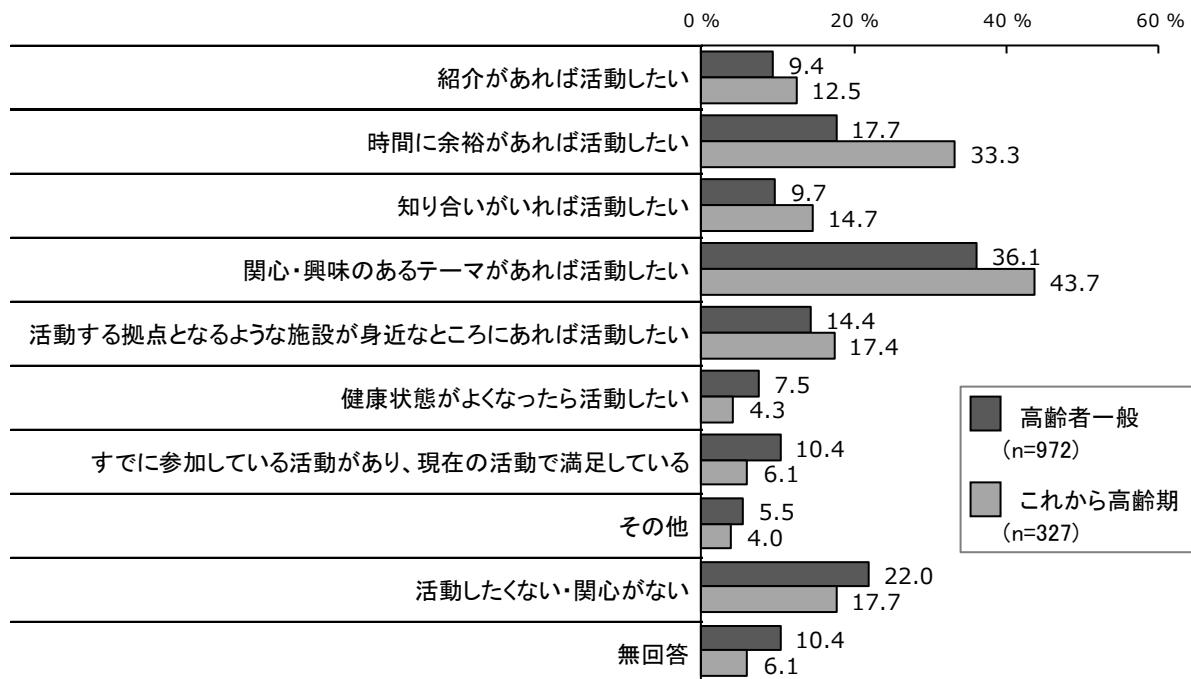




## ② 地域活動に参加するきっかけ

○①で1つでも「参加していない」と回答した人の地域活動に参加するきっかけは、いずれの調査でも、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」が最も高く、高齢者一般で36.1%、これから高齢期で43.7%となっている。次いで「時間に余裕があれば活動したい」、「活動する拠点となるような施設が身近なところがあれば活動したい」が上位に挙げられている。

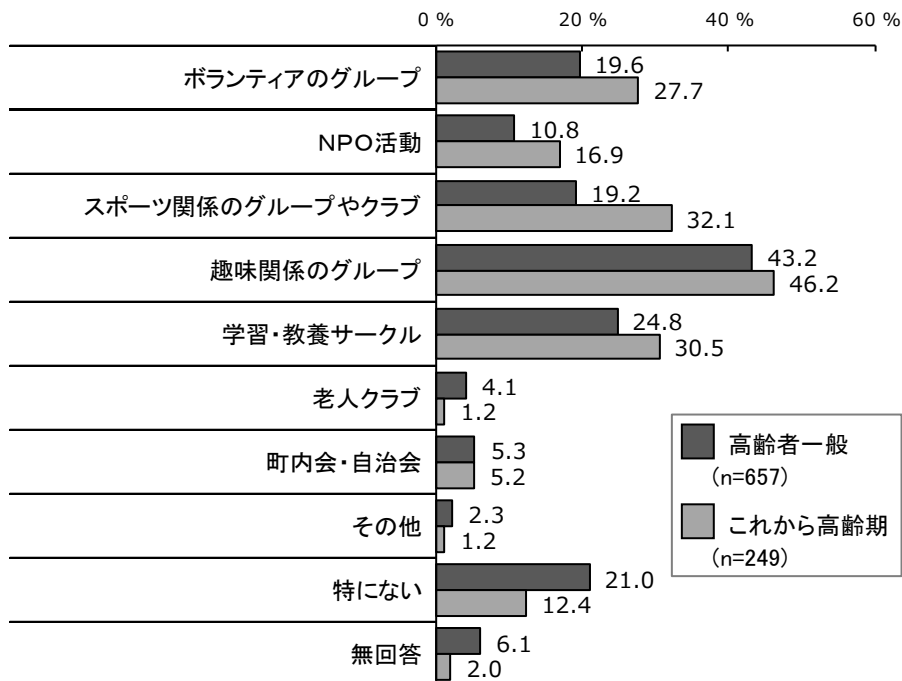
■地域活動に参加するきっかけ（複数回答）



### ③ 活動してみたい地域活動の分野

○地域活動に参加するきっかけがあれば活動したいと回答した人の活動してみたい活動分野は、いずれの調査においても、「趣味関係のグループ」が最も高く、高齢者一般で43.2%、これから高齢期で46.2%となっている。次いで高齢者一般では「学習・教養サークル」、「ボランティアのグループ」、「スポーツ関係のグループやクラブ」が上位に挙げられている。

■活動してみたい地域活動の分野（複数回答）

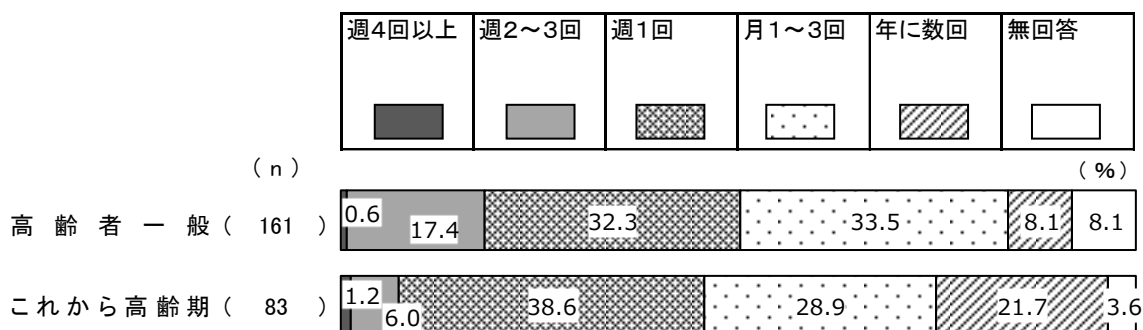


### ④ ボランティア活動・NPO活動への希望する参加頻度

○活動してみたい地域活動の分野を「ボランティアのグループ」「NPO活動」と回答した人の希望する参加頻度は、高齢者一般では「月1～3回」が最も高く33.5%、「週1回」が32.3%、「週2～3回」が17.4%と続いている。

○これから高齢期では、「週1回」が最も高く38.6%、「月1～3回」が28.9%、「年に数回」が21.7%と続いている。

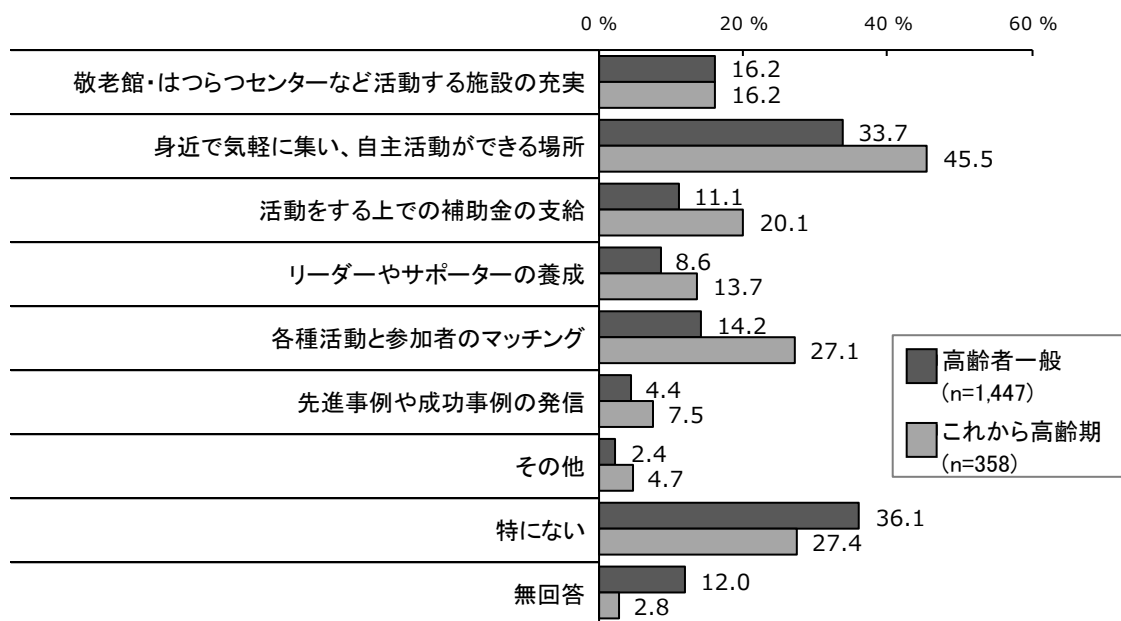
■ボランティア活動・NPO活動への希望する参加頻度



## (2) 地域活動をする上で今後必要なもの

○いずれの調査においても、「身近で気軽に集い、自主活動ができる場所」が最も高く、高齢者一般で33.7%、これから高齢期で45.5%となっている。

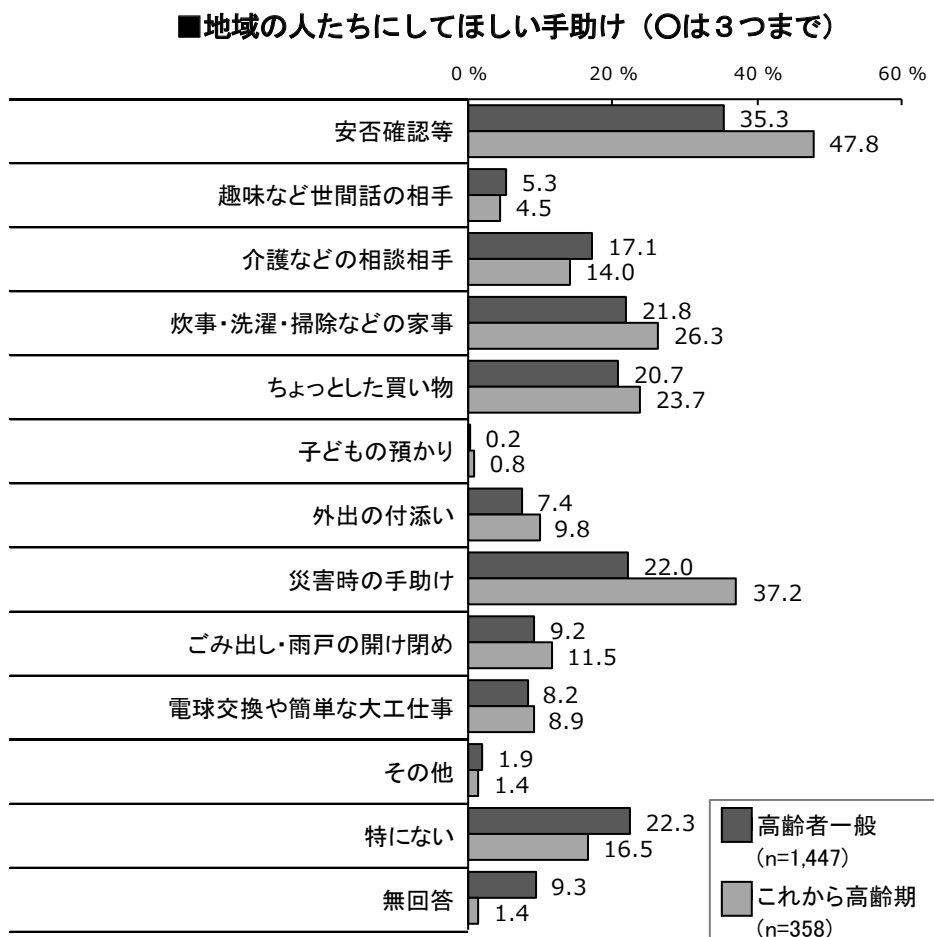
■地域活動をする上で今後必要なもの（複数回答）



### (3) 手助け

#### ① 地域の人たちにしてほしい手助け

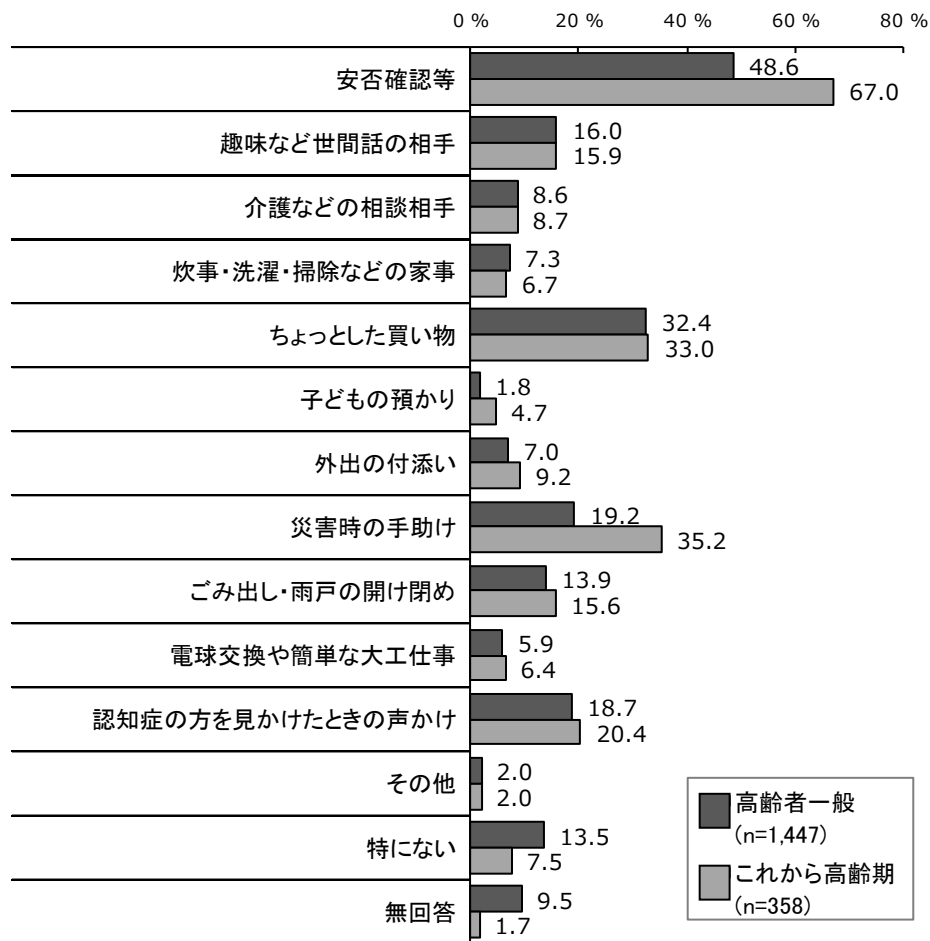
○高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにしてほしい手助けは、高齢者一般、これから高齢期ともに「安否確認等」が最も高く、それぞれ35.3%、47.8%となっている。次いで「災害時の手助け」が高く、それぞれ22.0%、37.2%となっている。



## ② 地域の支え合いとして自身ができること

○高齢者一般、これから高齢期ともに「安否確認等」が最も高く、それぞれ48.6%、67.0%となっている。次いで、高齢者一般では「ちょっとした買い物」、これから高齢期では「災害時の手助け」が高くなっている。

■地域の支え合いとして自身ができること（○は3つまで）



### 【高齢者一般】

○性・年代別にみると、『男性・前期高齢者』は「災害時の手助け」が3割超で全体と比べて高い。  
『女性・前期高齢者』は「安否確認等」が6割超、「ちょっとした買い物」が4割半ばで全体と比べて高い。

■地域の支え合いとして自身ができること（○は3つまで）＜高齢者一般：性・年代別＞

	n	安否確認等	物 ち よ っ と し た 買 い	災 害 時 の 手 助 け	け た と き の 方 を 見 か け	認 知 症 の 方 を 見 か け	相 談 の 相 手	趣 味 な ど の 世 間 話	開 け 閉 め の 雨 戸	ご み 出 し の 手 助 け	手 助 け の 相 談 相 手	介 護 な ど の 相 談 相 手	な ど の 家 事	炊 事 ・ 洗 濯 ・ 掃 除	外 出 の 付 添 い	大 工 の 手 助 け	電 球 交 換 や 簡 単 な 大 工 事	子 ど も の 預 か り	そ の 他	特 に な し	無 回 答
高齢者一般	1,447	48.6	32.4	19.2	18.7	16.0	13.9	8.6	7.3	7.0	5.9	1.8	2.0	13.5	9.5						
男性・前期高齢者	260	52.3	31.9	32.3	17.7	15.0	12.3	5.0	7.3	7.7	15.4	0.8	1.5	11.9	5.8						
男性・後期高齢者	312	44.2	23.7	22.8	11.2	12.5	14.4	9.3	5.8	4.8	10.6	1.3	1.9	20.2	8.7						
女性・前期高齢者	322	62.1	45.3	20.8	22.0	18.6	16.1	11.8	9.0	9.0	0.6	2.8	1.9	7.1	5.3						
女性・後期高齢者	473	42.1	30.2	9.3	20.5	18.2	13.3	7.8	6.6	6.3	1.3	1.9	2.3	14.6	13.5						

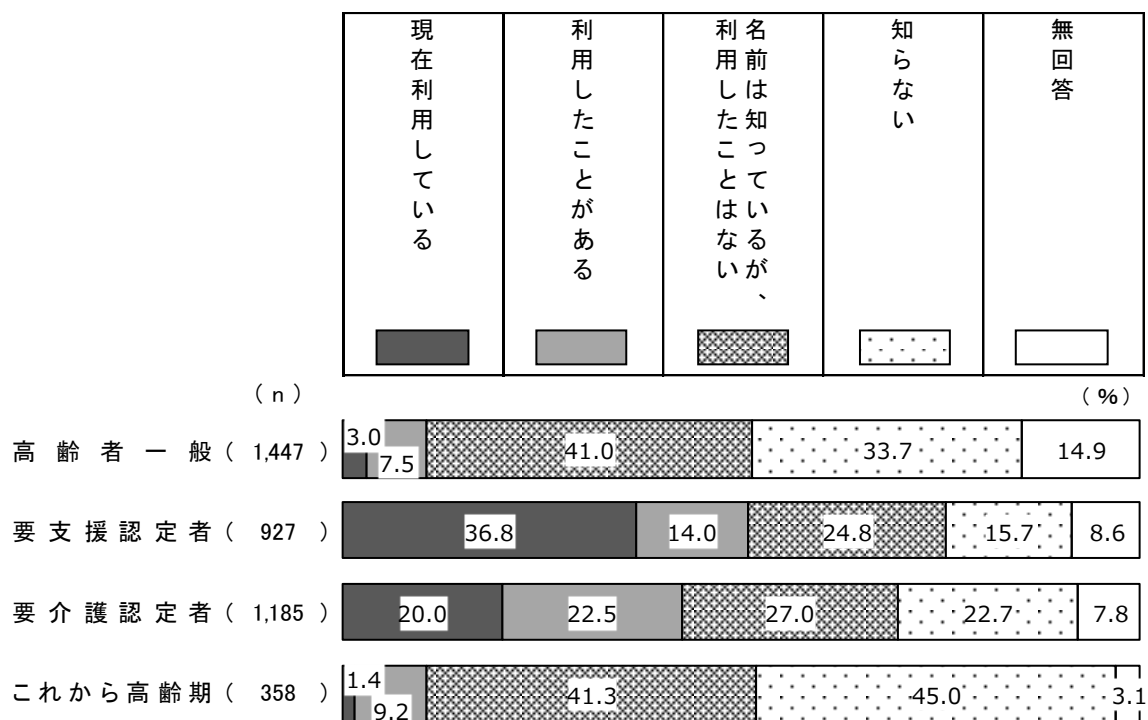
## 8 地域包括支援センター

### (1) 地域包括支援センターの認知度

○地域包括支援センターを「知らない」と回答した人は、高齢者一般で33.7%、要支援認定者で15.7%、要介護認定者で22.7%、これから高齢期で45.0%となっている。

○いずれの調査においても、「現在利用している」「利用したことがある」「名前は知っているが、利用したことはない」を合わせた“知っている”が、「知らない」を上回っている。

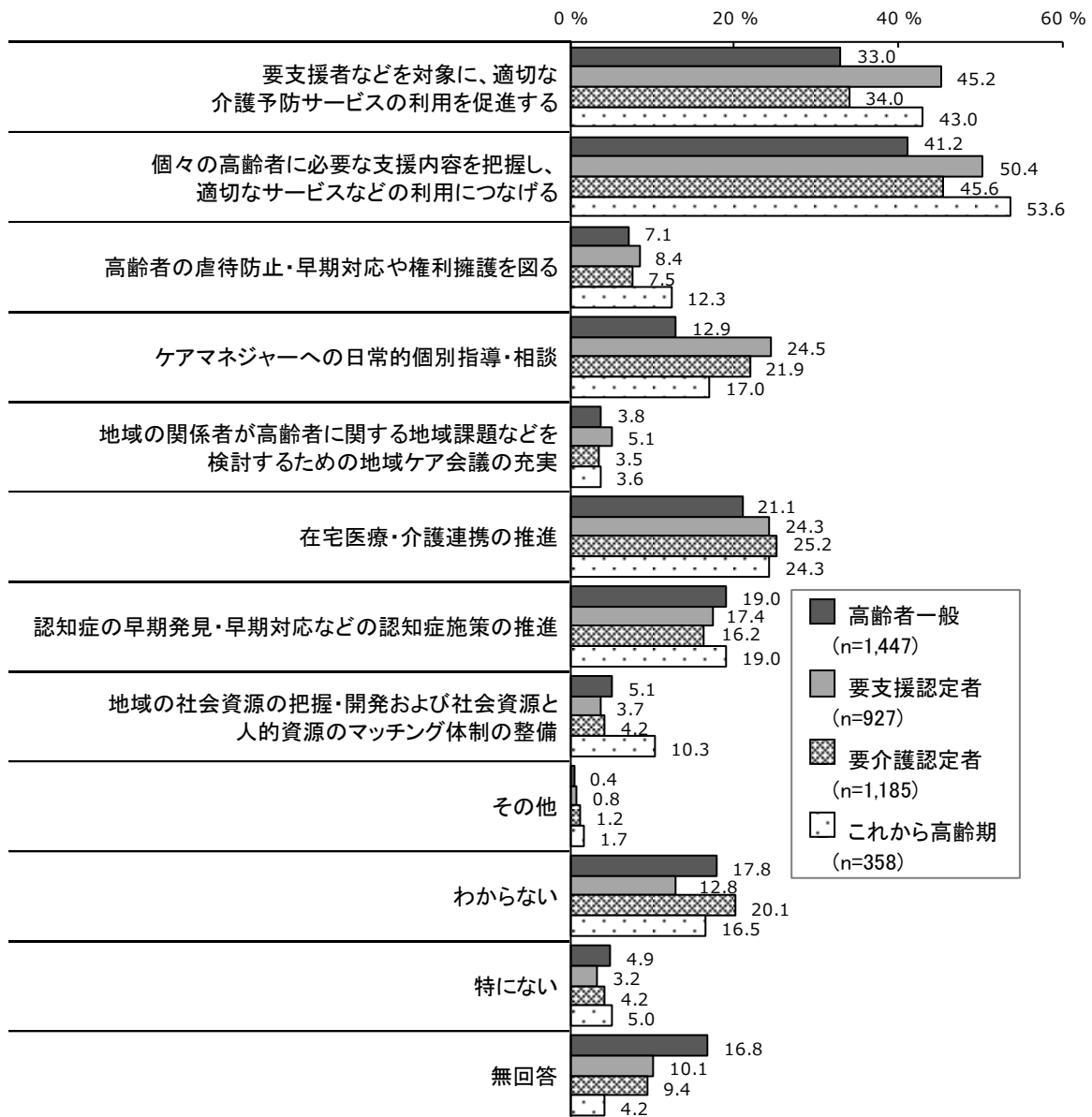
■地域包括支援センターの認知度



## (2) 地域包括支援センターに期待する役割

○いずれの調査においても、「個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる」が最も高く、「要支援者などを対象に、適切な介護予防サービスの利用を促進する」が続いている。

■地域包括支援センターに期待する役割（○は3つまで）

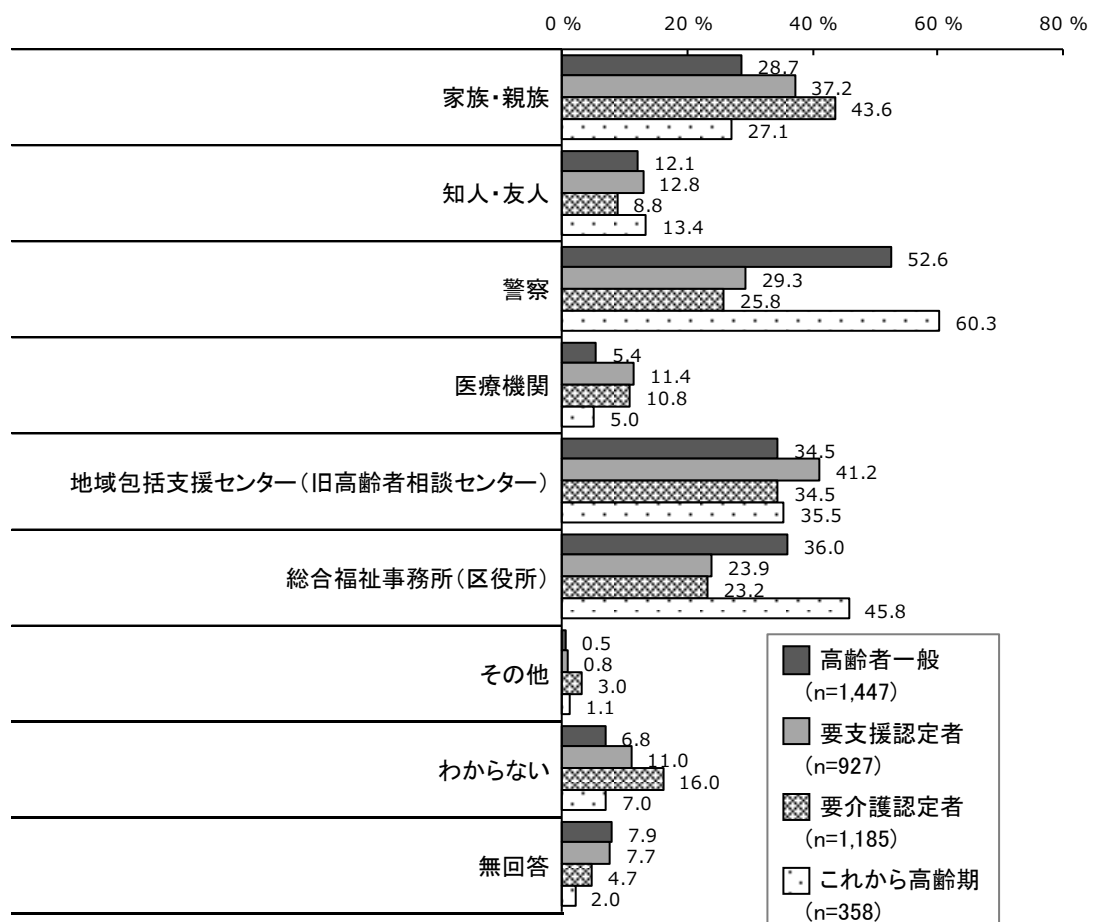


### (3) 高齢者の虐待

#### ① 高齢者虐待の相談先

- 高齢者一般、これから高齢期では、「警察」が最も高く（それぞれ52.6%、60.3%）、次いで「総合福祉事務所（区役所）」（それぞれ36.0%、45.8%）、「地域包括支援センター（旧高齢者相談センター）」（それぞれ34.5%、35.5%）が高くなっている。
- 要支援認定者では、「地域包括支援センター（旧高齢者相談センター）」が41.2%で最も高く、「家族・親族」（37.2%）と続いている。
- 要介護認定者では、「家族・親族」が43.6%で最も高く、「地域包括支援センター（旧高齢者相談センター）」（34.5%）と続いている。

■高齢者虐待の相談先（複数回答）

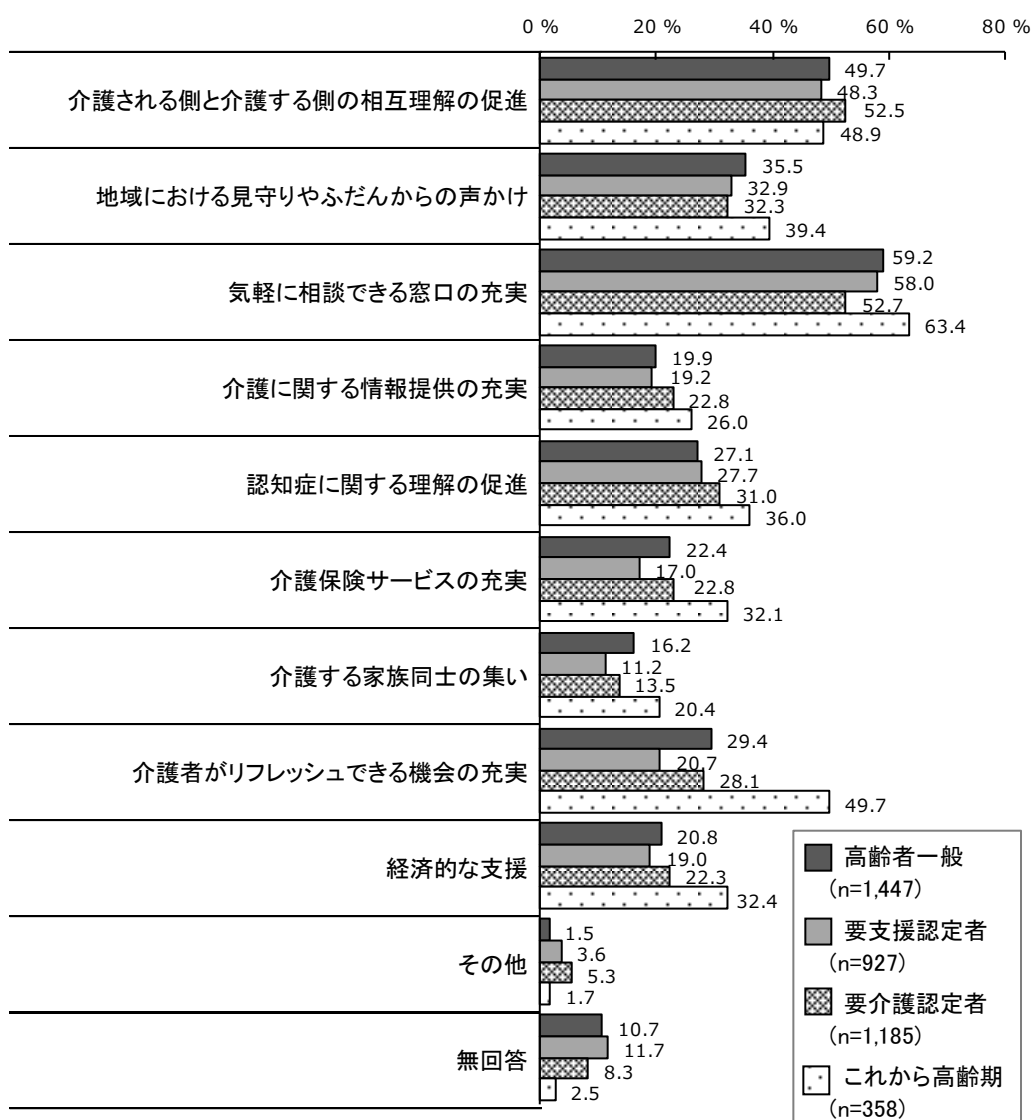




## ② 高齢者虐待を防止するために必要なこと

- 高齢者一般では、「気軽に相談できる窓口の充実」が59.2%で最も高く、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(49.7%)、「地域における見守りやふだんからの声かけ」(35.5%)と続いている。
- 要支援認定者では、「気軽に相談できる窓口の充実」が58.0%で最も高く、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(48.3%)、「地域における見守りやふだんからの声かけ」(32.9%)、「認知症に関する理解の促進」(27.7%)と続いている。
- 要介護認定者では、「気軽に相談できる窓口の充実」が52.7%で最も高く、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(52.5%)と続いている。
- これから高齢期では、「気軽に相談できる窓口の充実」が63.4%で最も高く、「介護者がリフレッシュできる機会の充実」(49.7%)、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(48.9%)と続いている。

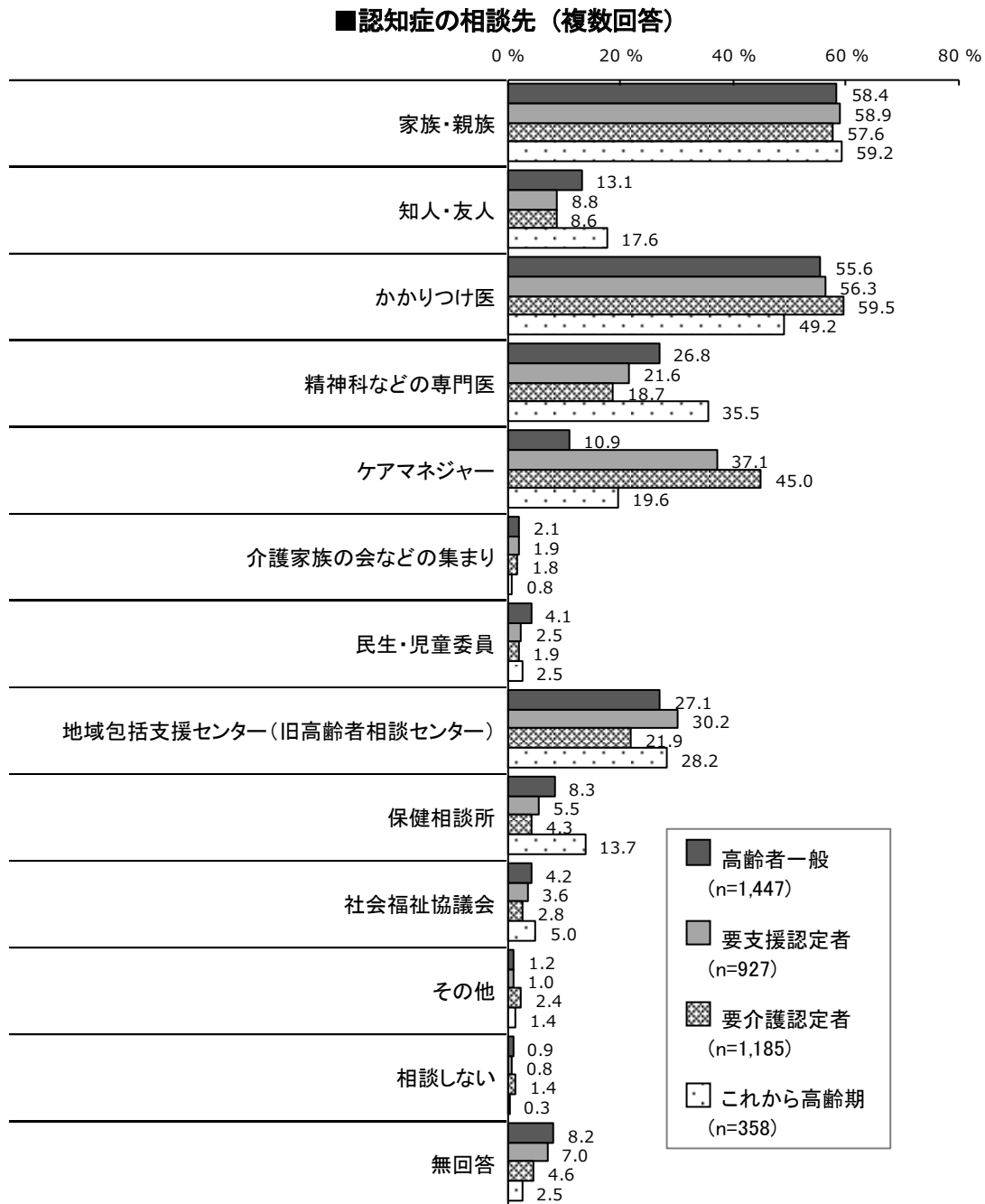
■高齢者虐待を防止するために必要なこと（複数回答）



## (4) 認知症

### ① 認知症の相談先

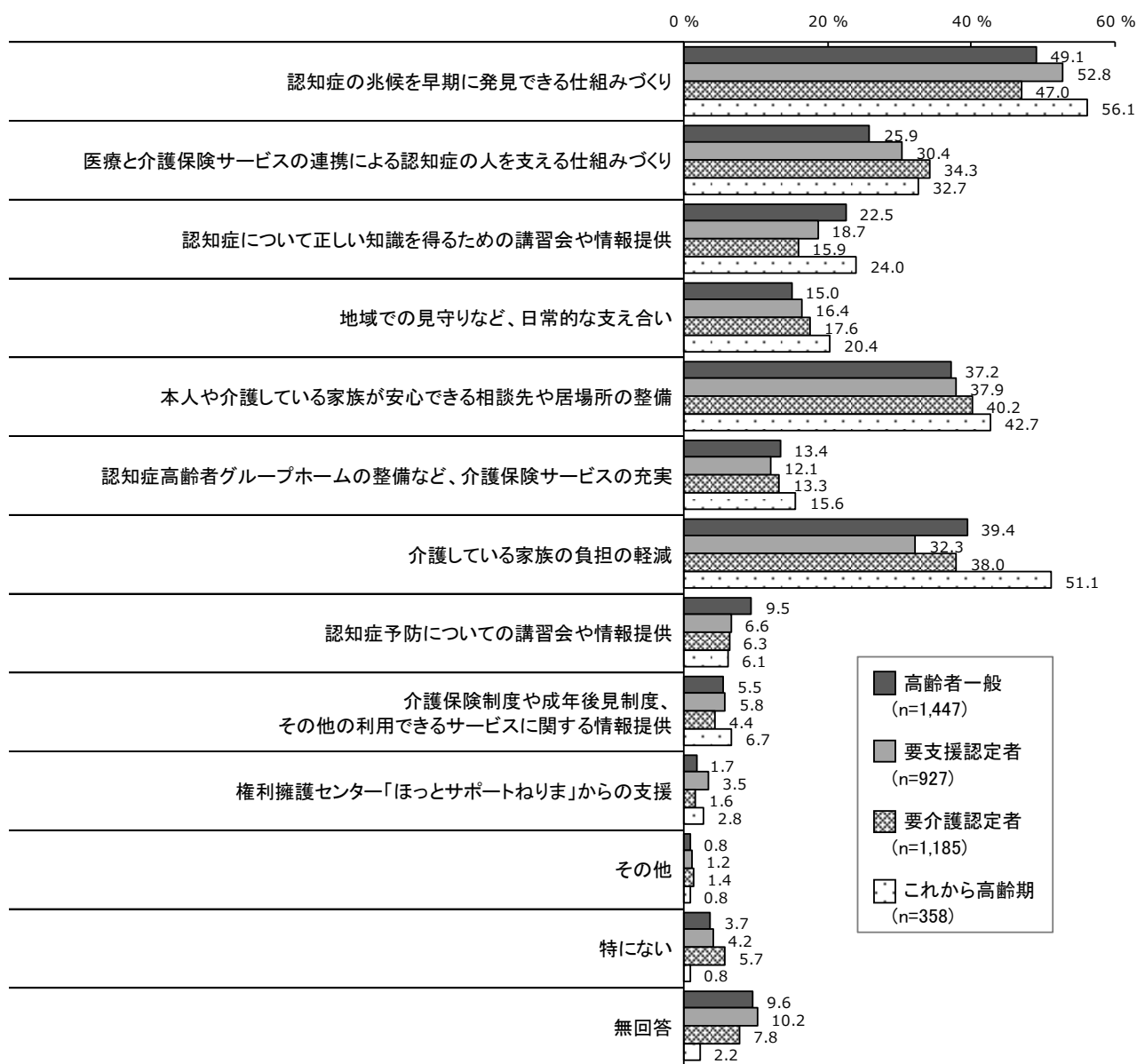
○いずれの調査においても、「家族・親族」、「かかりつけ医」が上位に挙がっている。



## ② 認知症施策で必要なこと

- 高齢者一般では、「認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり」が49.1%で最も高く、「介護している家族の負担の軽減」(39.4%)、「本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備」(37.2%)と続いている。
- 要支援認定者では、「認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり」が52.8%で最も高く、「本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備」(37.9%)、「介護している家族の負担の軽減」(32.3%)、「医療と介護保険サービスの連携による認知症の人を支える仕組みづくり」(30.4%)と続いている。
- 要介護認定者では、「認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり」が47.0%で最も高く、「本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備」(40.2%)、「介護している家族の負担の軽減」(38.0%)、「医療と介護保険サービスの連携による認知症の人を支える仕組みづくり」(34.3%)と続いている。
- これから高齢期では、「認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり」が56.1%で最も高く、「介護している家族の負担の軽減」(51.1%)、「本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備」(42.7%)と続いている。

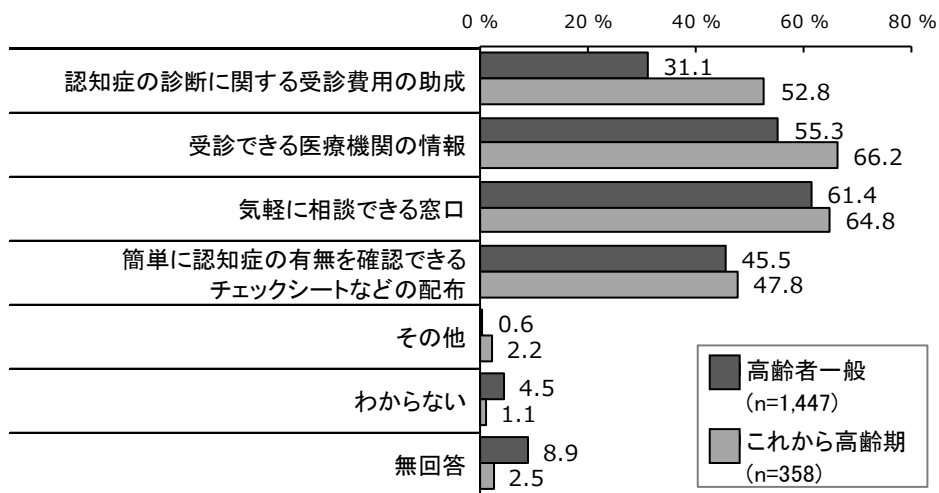
■認知症施策で必要なこと (〇は3つまで)



### ③ 認知症の早期発見の仕組み

- 高齢者一般では、「気軽に相談できる窓口」が61.4%で最も高く、「受診できる医療機関の情報」(55.3%)、「簡単に認知症の有無を確認できるチェックシートなどの配布」(45.5%)と続いている。
- これから高齢期では、「受診できる医療機関の情報」(66.2%)、「気軽に相談できる窓口」(64.8%)が上位に挙がっている。

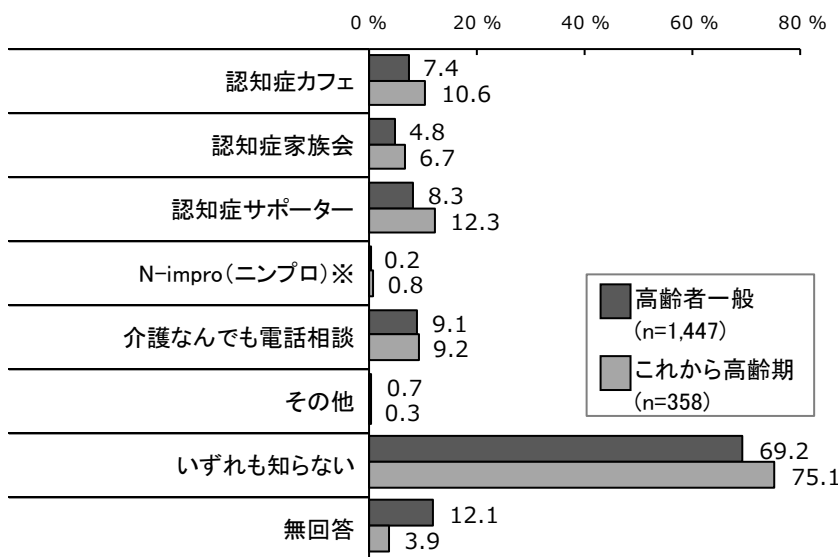
■認知症の早期発見の仕組み（複数回答）



### ④ 認知症の人や介護家族を支える取組の認知度

- いずれの調査においても、「いずれも知らない」が最も高いが、認知されている取り組みについては、高齢者一般では「介護なんでも電話相談」、これから高齢期では「認知症サポーター」が高くなっている。

■認知症の人や介護家族を支える取組の認知度（複数回答）



※ 「N-impro(ニンプロ)」は、認知症の方と接するときの対応について考えるカードゲーム形式の研修プログラムで、区の協働プロジェクトで開発されたもの

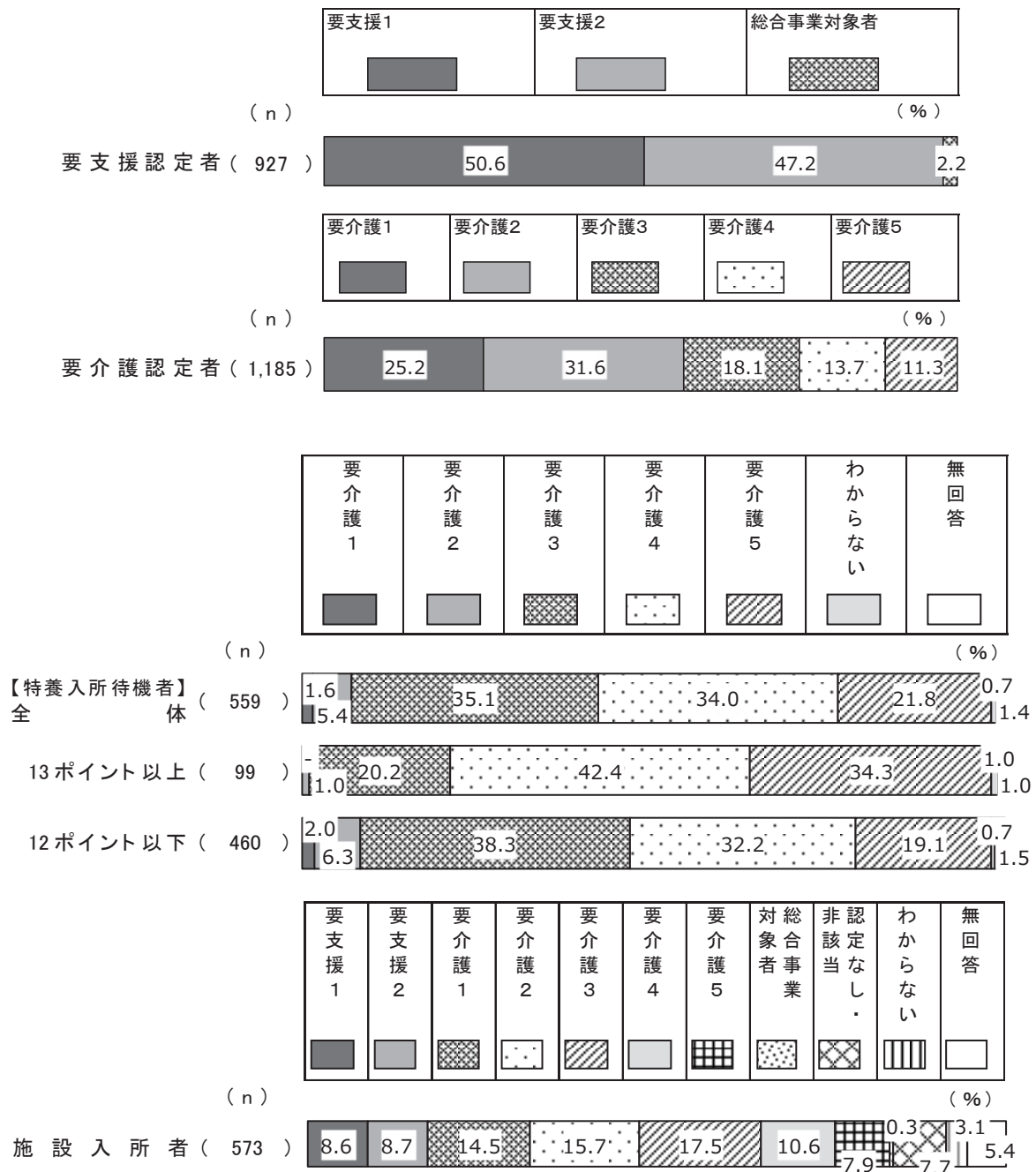
## 9 介護

### (1) 要介護認定の状況

#### ① 要介護度

- 要支援認定者では「総合事業対象者」が2.2%、「要支援1」が50.6%、「要支援2」が47.2%となっている。
- 要介護認定者では「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が56.9%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が43.1%となっている。
- 特養入所待機者では、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が7.0%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が90.9%となっている。
- 施設入所者では、「総合事業対象者」「要支援1」「要支援2」を合わせた“要支援等”が17.6%、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が30.2%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が36.0%となっている。

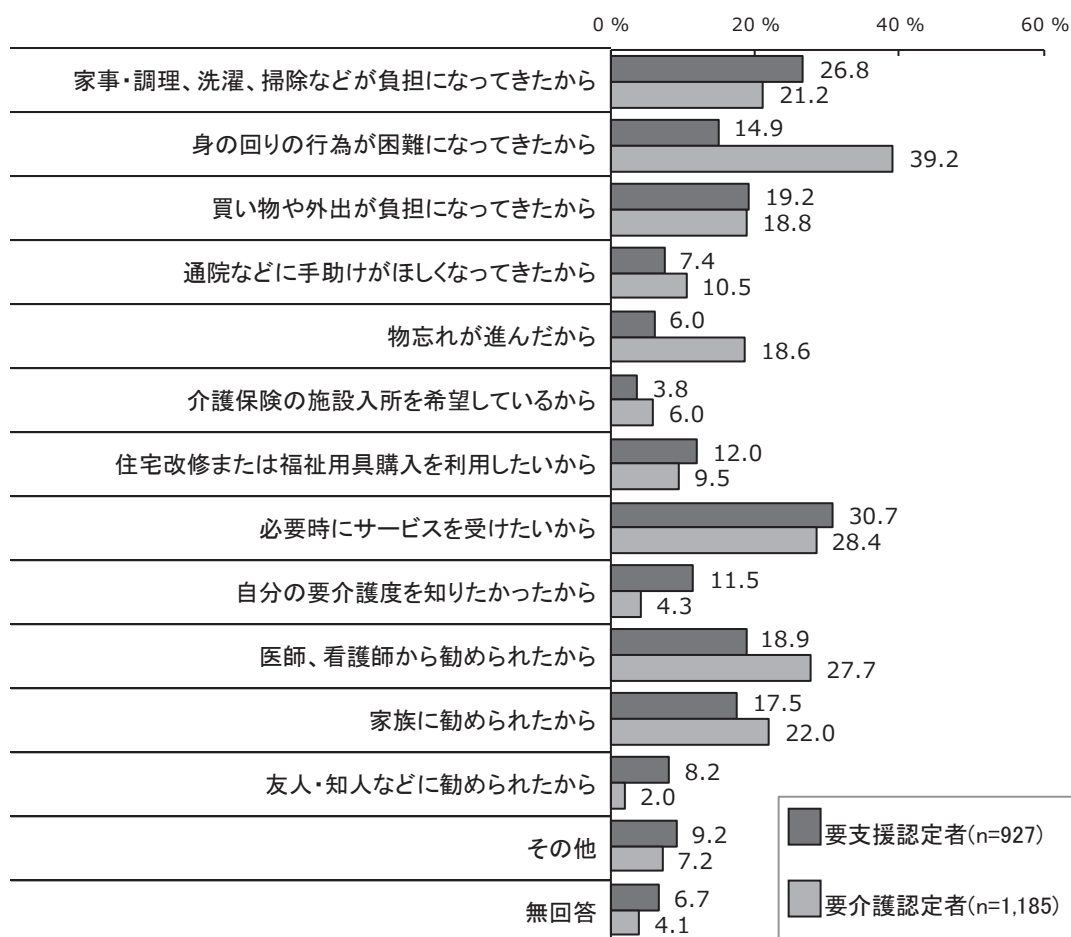
#### ■要介護度



## ② 要介護認定を申請した理由

- 要介護認定を申請した理由は、要支援認定者では「必要時にサービスを受けたいから」が30.7%で最も高く、「家事・調理、洗濯、掃除などが負担になってきたから」（26.8%）、「買い物や外出が負担になってきたから」（19.2%）、「医師、看護師から勧められたから」（18.9%）と続いている。
- 要介護認定者では「身の回りの行為が困難になってきたから」が最も高く39.2%、「必要時にサービスを受けたいから」（28.4%）、「医師、看護師から勧められたから」（27.7%）と続いている。

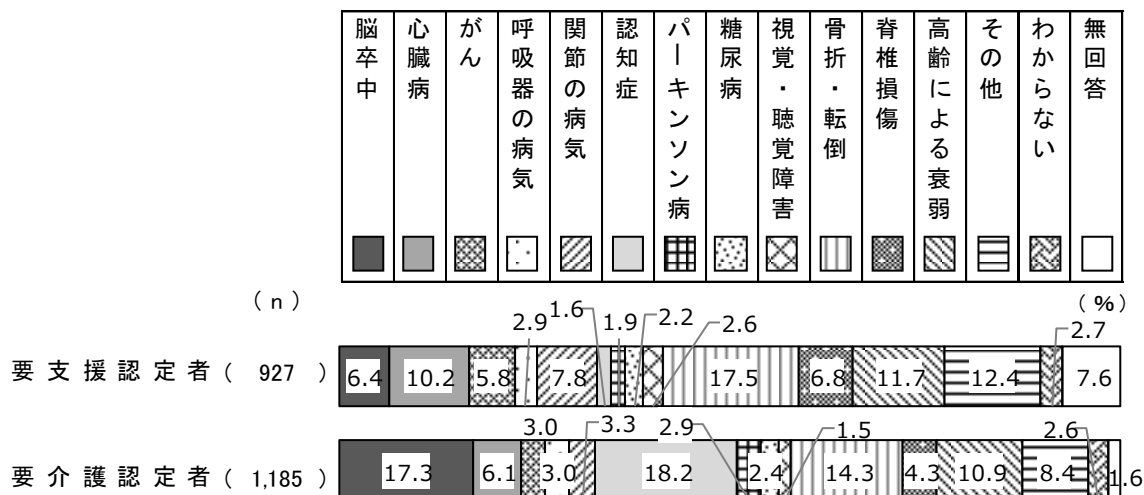
■要介護認定を申請した理由（○は3つまで）



### ③ 要介護認定を申請した主な原因

- 要介護認定を申請した主な原因は、要支援認定者では「骨折・転倒」（17.5%）、「高齢による衰弱」（11.7%）、「心臓病」（10.2%）が上位に挙げられている。
- 要介護認定者では「認知症」（18.2%）、「脳卒中」（17.3%）、「骨折・転倒」（14.3%）が上位に挙げられている。

■要介護認定を申請した主な原因



### 【要支援・要介護認定者】

- 性・年代別にみると、要支援認定者の『男性・前期高齢者』では「脳卒中」が約2割、『女性・前期高齢者』では「がん」が1割半ばで、全体よりも高い。
- 要介護認定者の『男性・前期高齢者』では「脳卒中」が4割近く、『女性・前期高齢者』では「関節の病気」が1割で、全体よりも高い。

■要介護認定を申請した主な原因<要支援・要介護認定者：性・年代別>

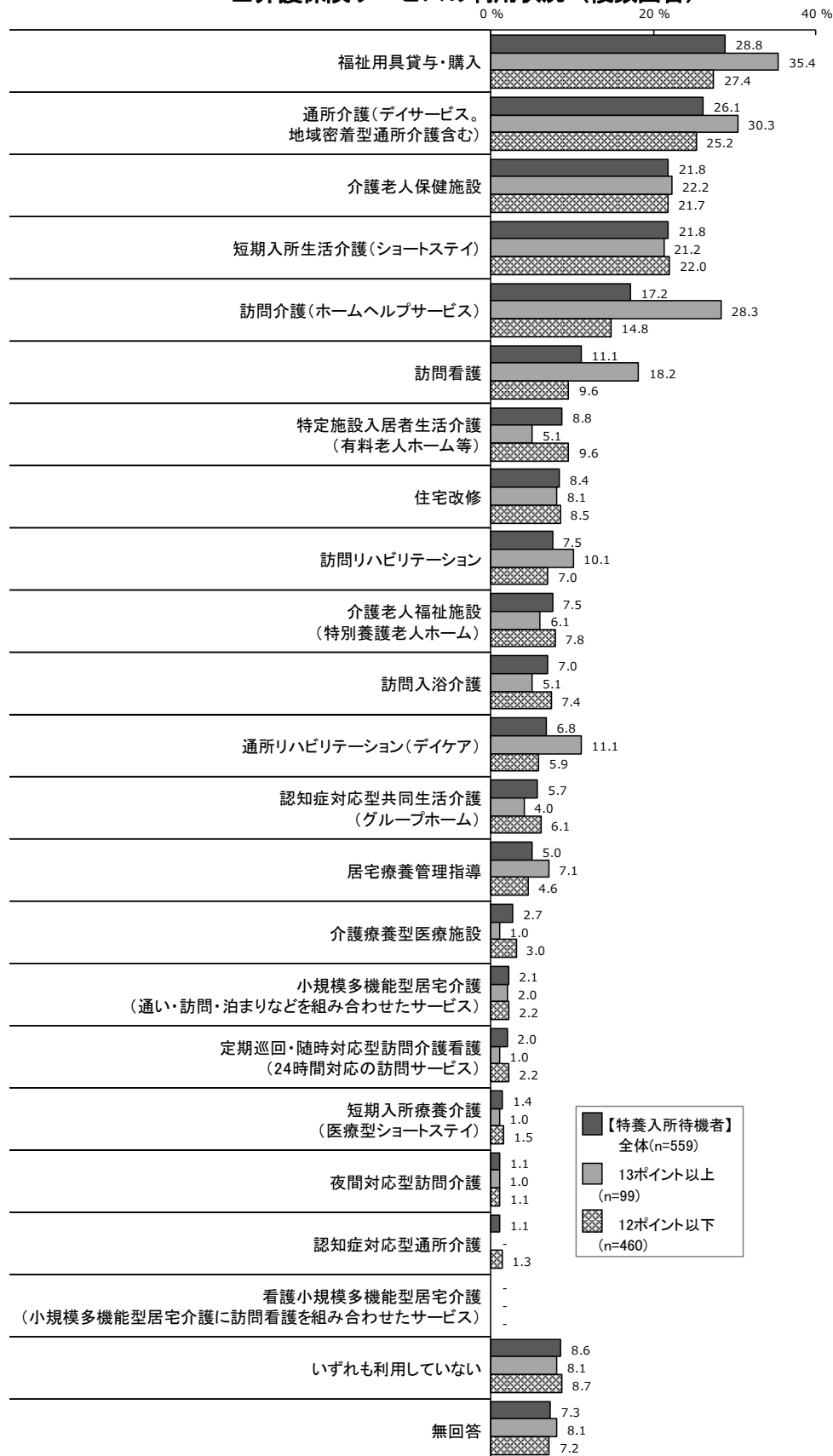
	n	脳卒中	心臓病	がん	呼吸器の病気	関節の病気	認知症	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	わからない	無回答
要支援認定者	927	6.4	10.2	5.8	2.9	7.8	1.6	1.9	2.2	2.6	17.5	6.8	11.7	12.4	2.7	7.6
男性・前期高齢者	31	19.4	9.7	9.7	3.2	6.5	3.2	6.5	-	3.2	3.2	3.2	3.2	12.9	6.5	9.7
男性・後期高齢者	239	6.7	14.2	5.9	4.6	5.4	2.5	2.5	4.2	2.9	13.4	6.7	12.1	7.5	2.9	8.4
女性・前期高齢者	61	9.8	-	14.8	-	13.1	-	1.6	3.3	1.6	19.7	4.9	1.6	19.7	4.9	4.9
女性・後期高齢者	557	4.8	9.9	4.8	2.3	8.3	1.4	1.6	1.3	1.8	19.7	7.0	13.3	13.6	2.3	7.7
要介護認定者	1,185	17.3	6.1	3.0	3.0	3.3	18.2	2.9	2.4	1.5	14.3	4.3	10.9	8.4	2.6	1.6
男性・前期高齢者	68	38.2	4.4	4.4	1.5	1.5	2.9	4.4	7.4	4.4	4.4	11.8	1.5	13.2	-	-
男性・後期高齢者	342	19.6	8.8	4.1	6.7	1.5	12.9	3.8	2.9	1.8	9.4	3.8	12.0	7.6	4.1	1.2
女性・前期高齢者	60	26.7	1.7	3.3	1.7	10.0	6.7	6.7	5.0	-	10.0	1.7	3.3	18.3	3.3	1.7
女性・後期高齢者	674	12.8	5.2	2.4	1.2	3.9	24.0	1.9	1.6	1.3	18.2	4.2	12.2	7.3	2.2	1.6

## (2) 介護保険サービス

### ① 介護保険サービスの利用状況

○特養入所待機者全体では、「福祉用具貸与・購入」(28.8%)、「通所介護(デイサービス。地域密着型通所介護含む)」(26.1%)が上位に挙がっている。

■介護保険サービスの利用状況(複数回答)

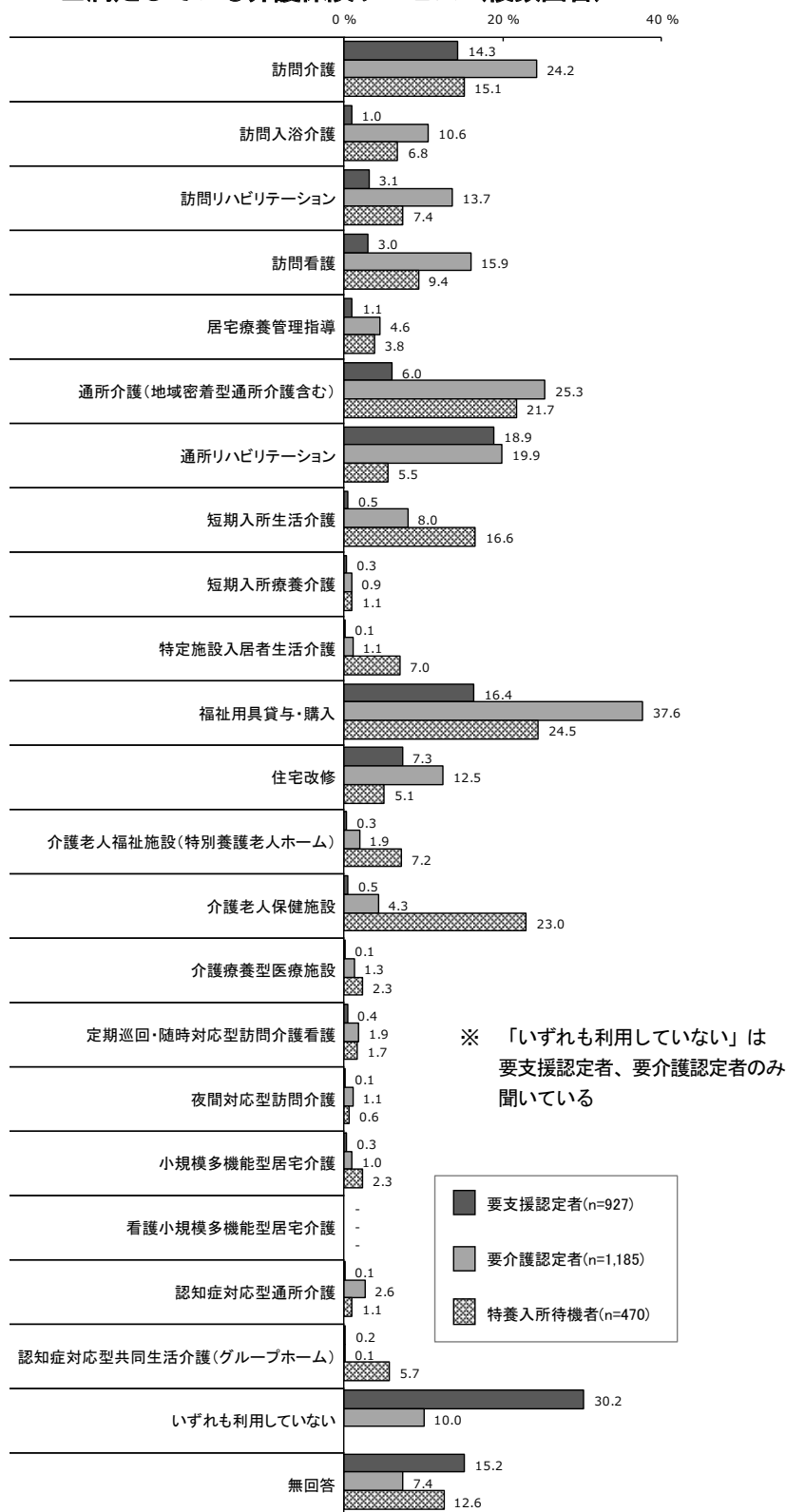




## ② 満足している介護保険サービス

- 要支援認定者の満足している介護保険サービスは、「通所リハビリテーション」(18.9%)、「福祉用具貸与・購入」(16.4%)、「訪問介護」(14.3%)が上位に挙げられている。
- 要介護認定者の満足している介護保険サービスは、「福祉用具貸与・購入」が最も高く37.6%、次いで「通所介護(地域密着型通所介護含む)」(25.3%)、「訪問介護」(24.2%)となっている。
- 介護保険サービスの利用状況で「いずれかの介護保険サービスを利用している」と回答した特養入所待機者の満足している介護保険サービスは、「福祉用具貸与・購入」(24.5%)、「介護老人保健施設」(23.0%)となっている。

■満足している介護保険サービス(複数回答)



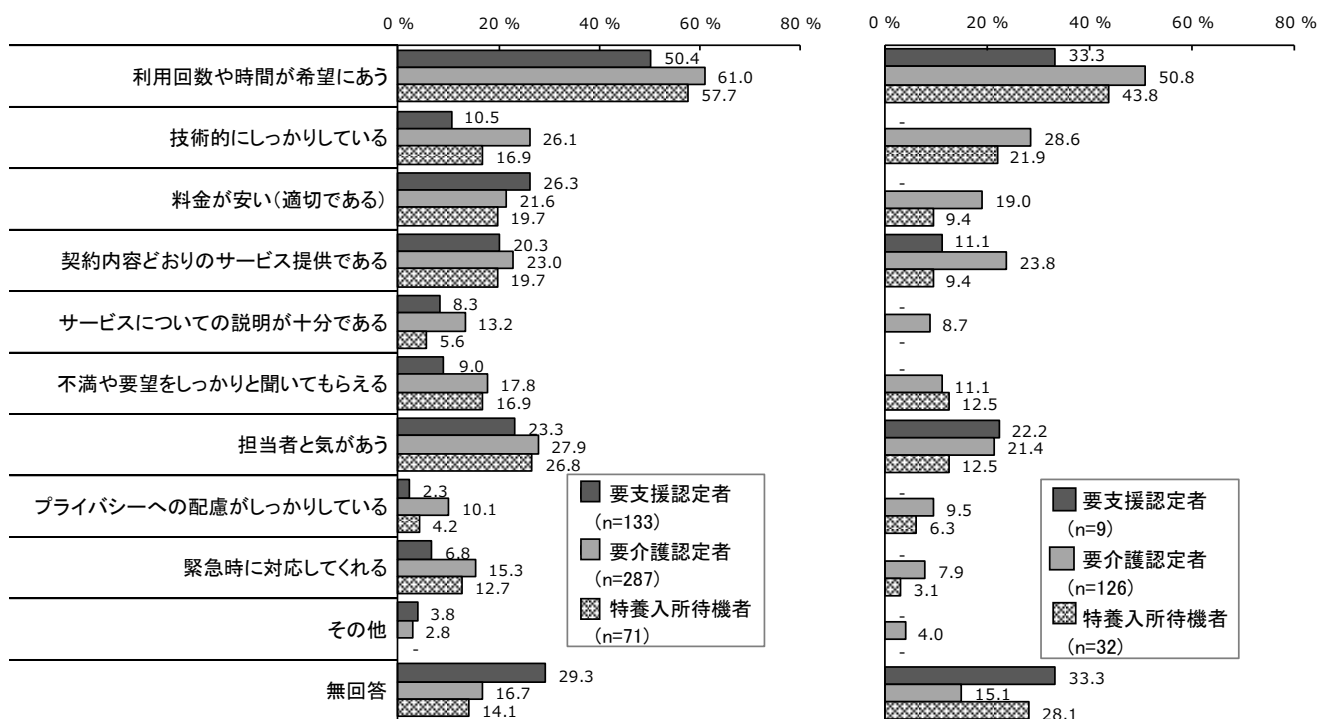
### ③ 満足している理由

- 要支援認定者の満足している介護保険サービスの理由は、“訪問介護”“通所リハビリテーション”では「利用回数や時間が希望にあう」が高い。“訪問リハビリテーション”では「利用回数や時間が希望にあう」「技術的にしっかりしている」が高い。“福祉用具貸与・購入”では「料金が安い（適切である）」が高い。
- 要介護認定者の満足している理由は、“訪問介護”“訪問入浴介護”“通所介護”“通所リハビリテーション”では「利用回数や時間が希望に合う」が高い。“訪問リハビリテーション”“訪問看護”では「利用回数や時間が希望にあう」「技術的にしっかりしている」が高い。“福祉用具貸与・購入”では「料金が安い（適切である）」が高い。“住宅改修”では「技術的にしっかりしている」「料金が安い（適切である）」が高い。
- 特養入所待機者の満足している理由は、“通所介護”では「利用回数や時間が希望にあう」が高い。“介護老人保健施設”では「緊急時に対応してくれる」が高い。

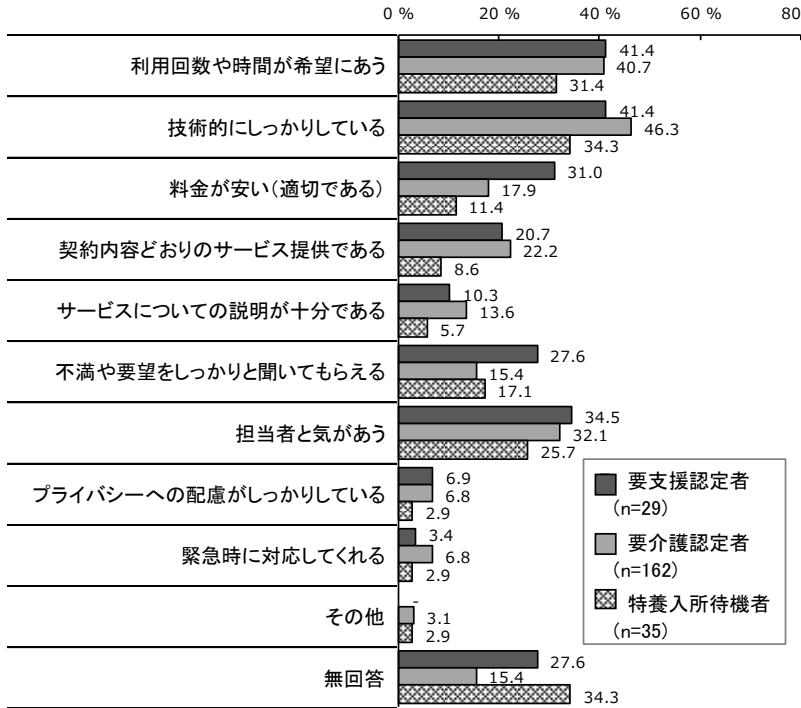
#### ■満足している理由（複数回答）

○訪問介護

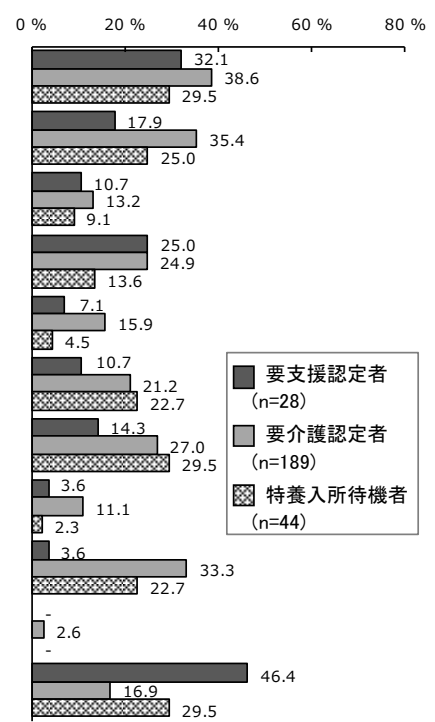
○訪問入浴介護



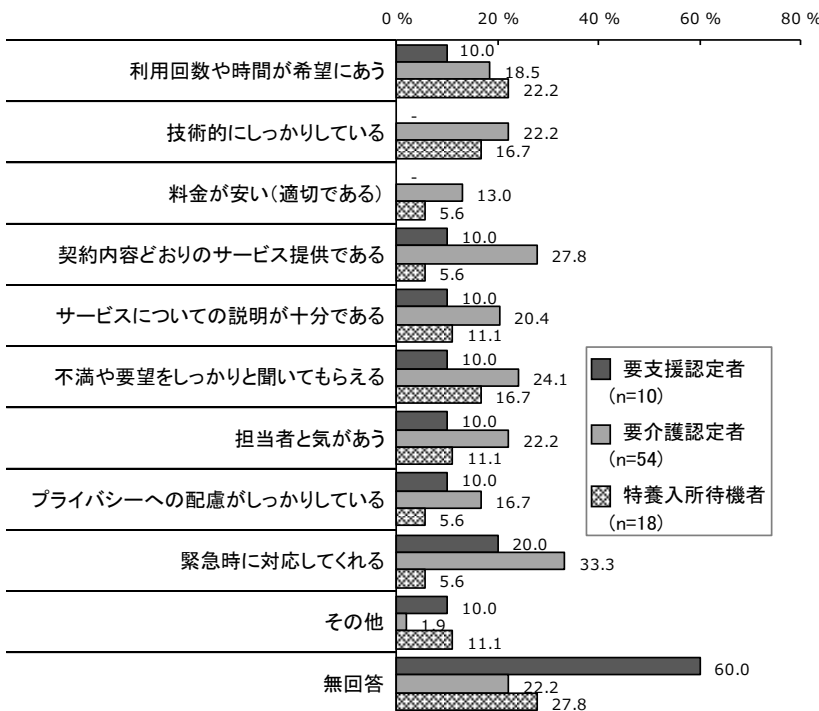
### ○訪問リハビリテーション



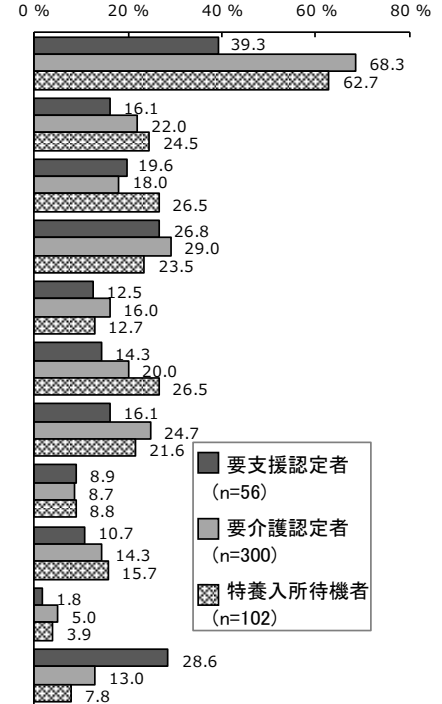
### ○訪問看護



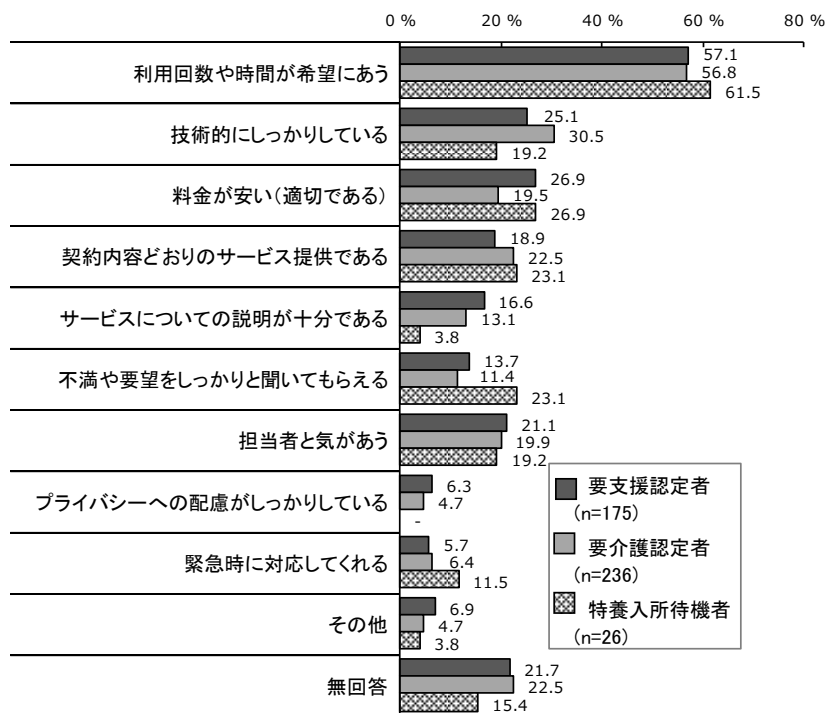
### ○居宅療養管理指導



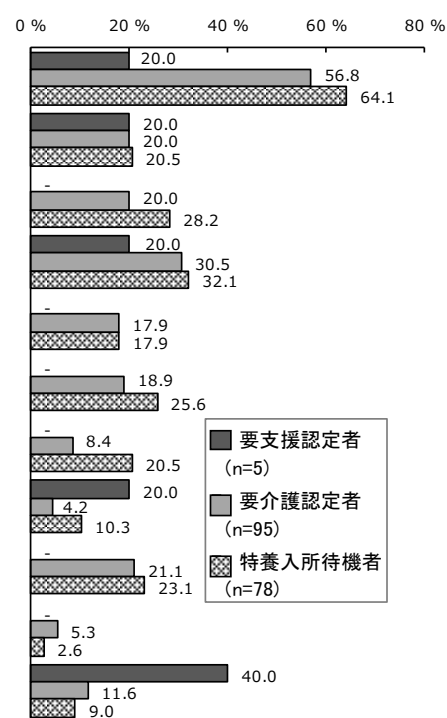
### ○通所介護(地域密着型通所介護含む)



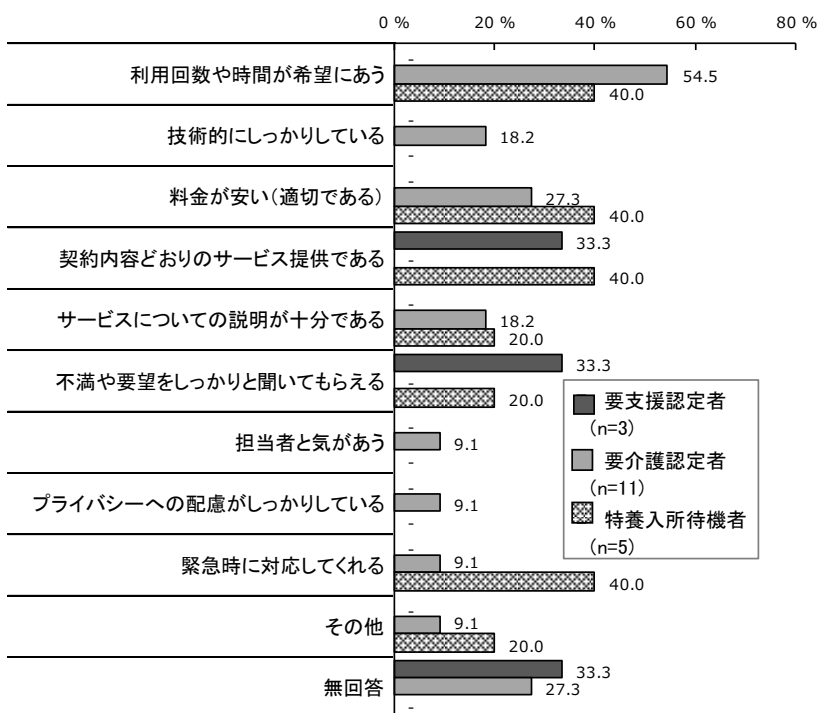
### ○通所リハビリテーション



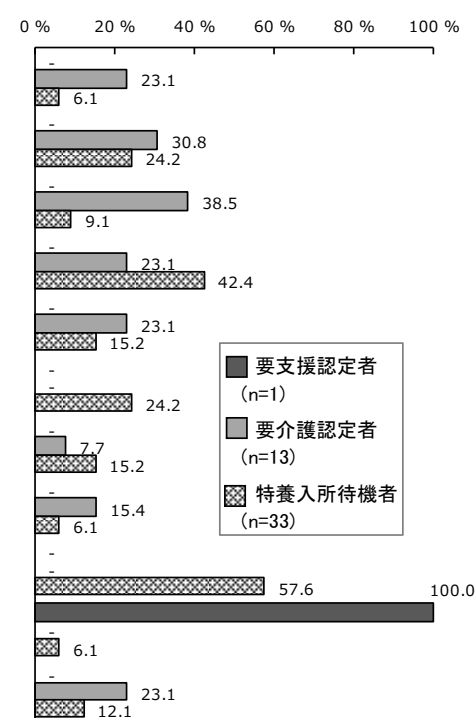
### ○短期入所生活介護



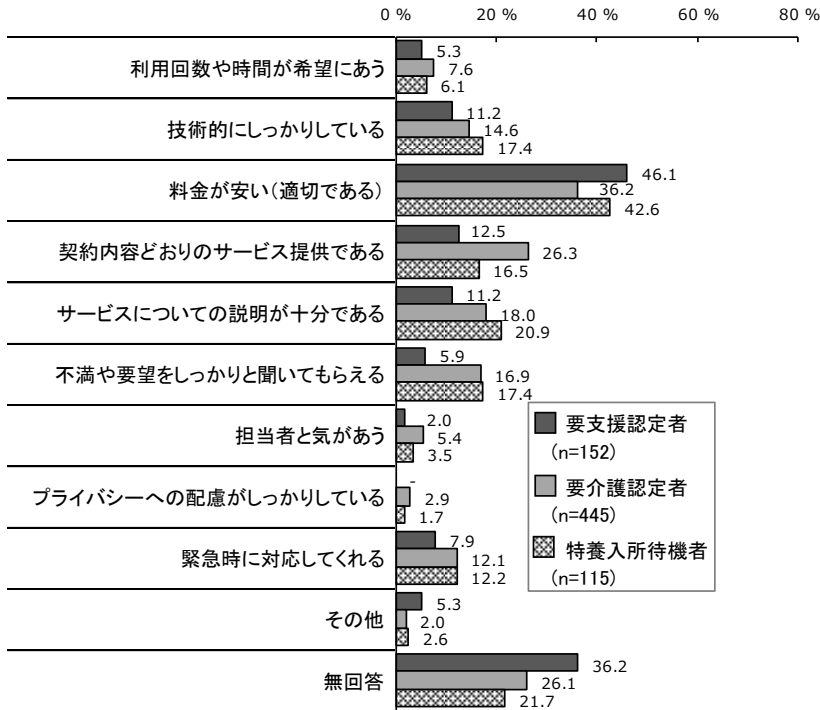
### ○短期入所療養介護



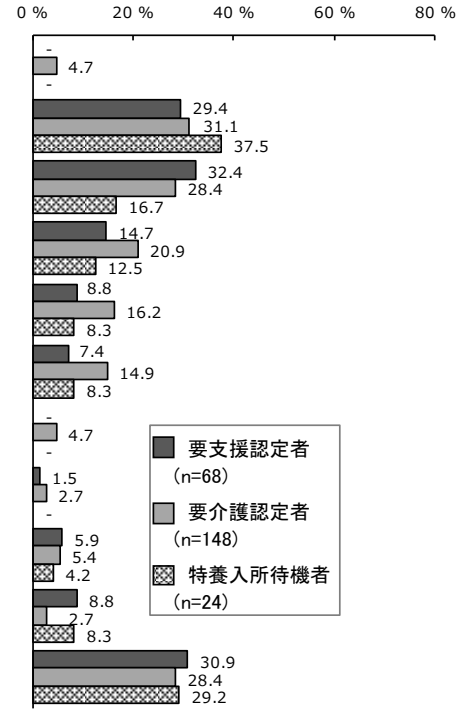
### ○特定施設入居者生活介護



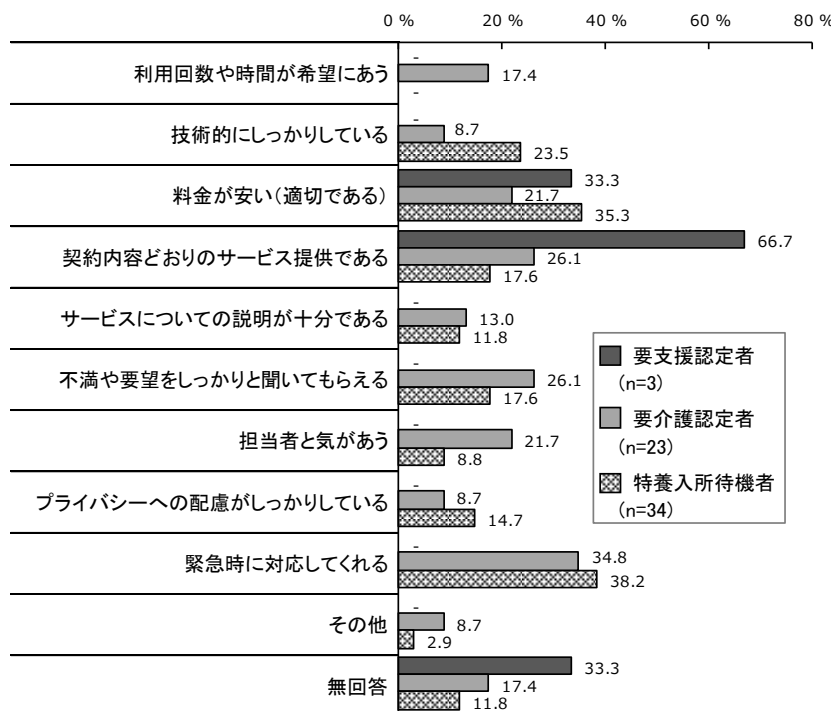
### ○福祉用具貸与・購入



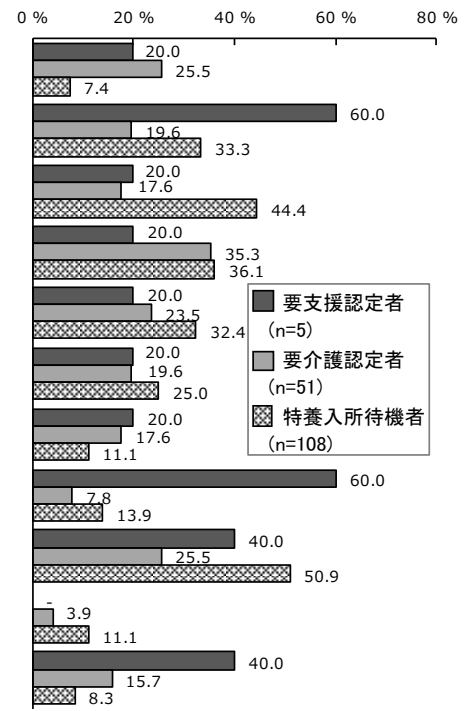
### ○住宅改修



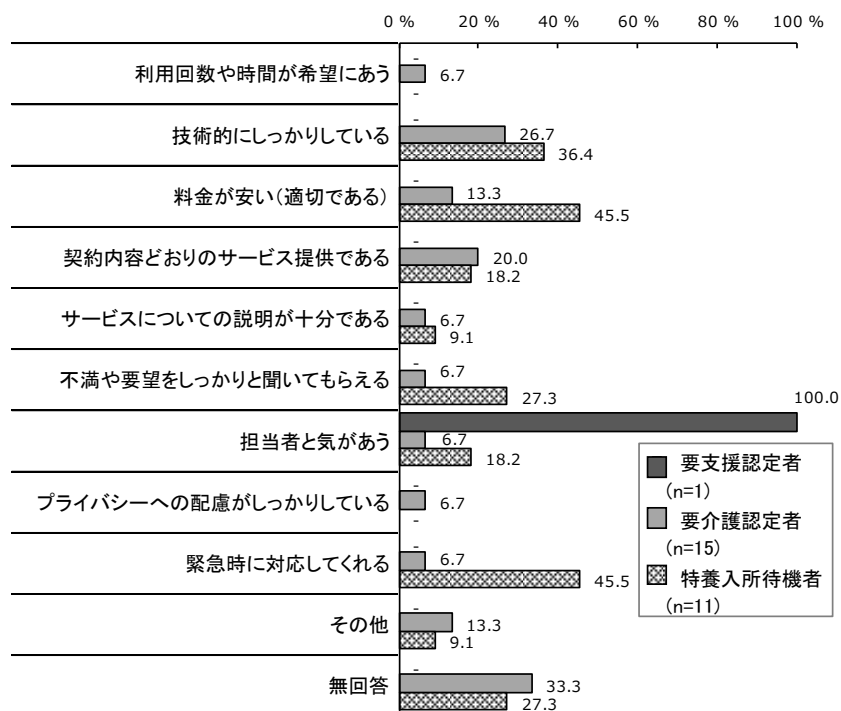
### ○介護老人福祉施設



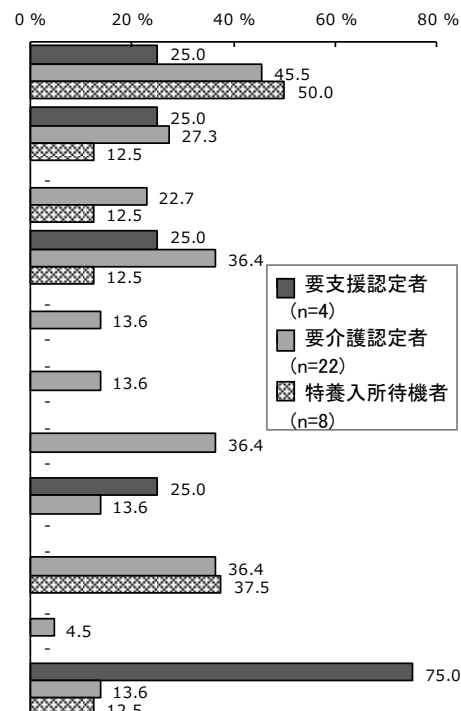
### ○介護老人保健施設



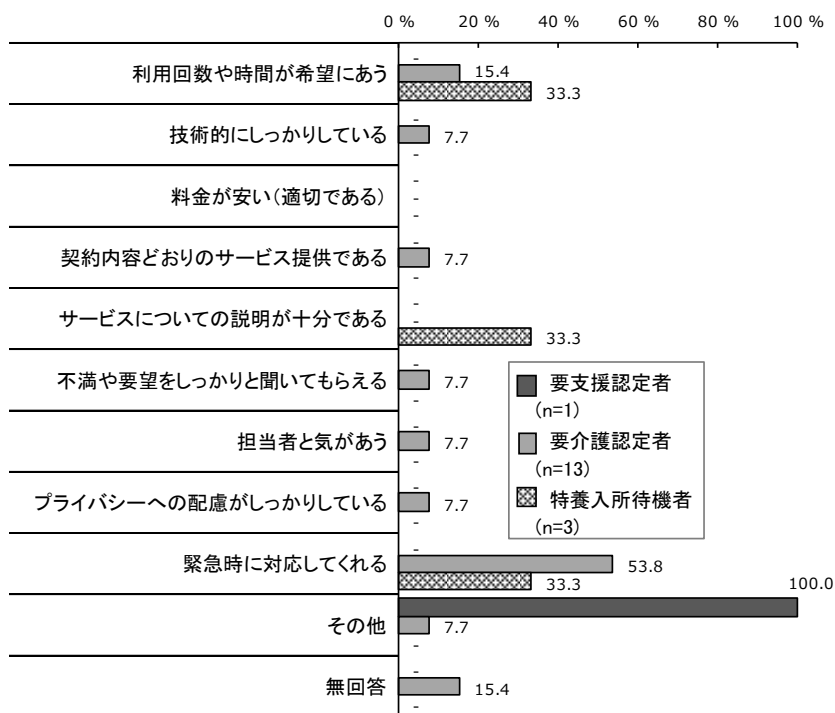
### ○介護療養型医療施設



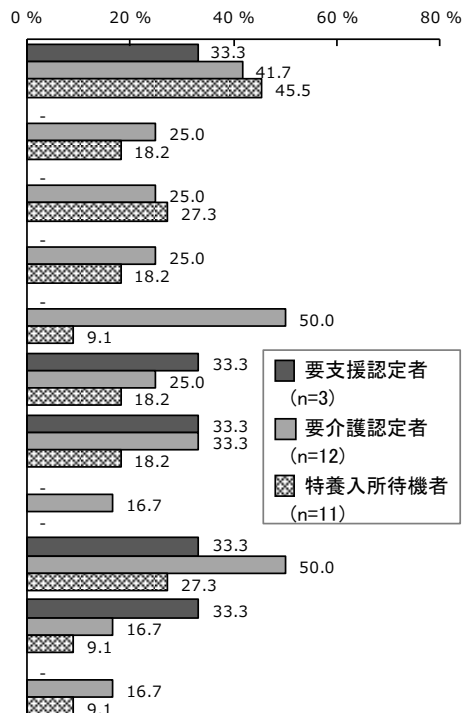
### ○定期巡回・随時対応型訪問介護看護



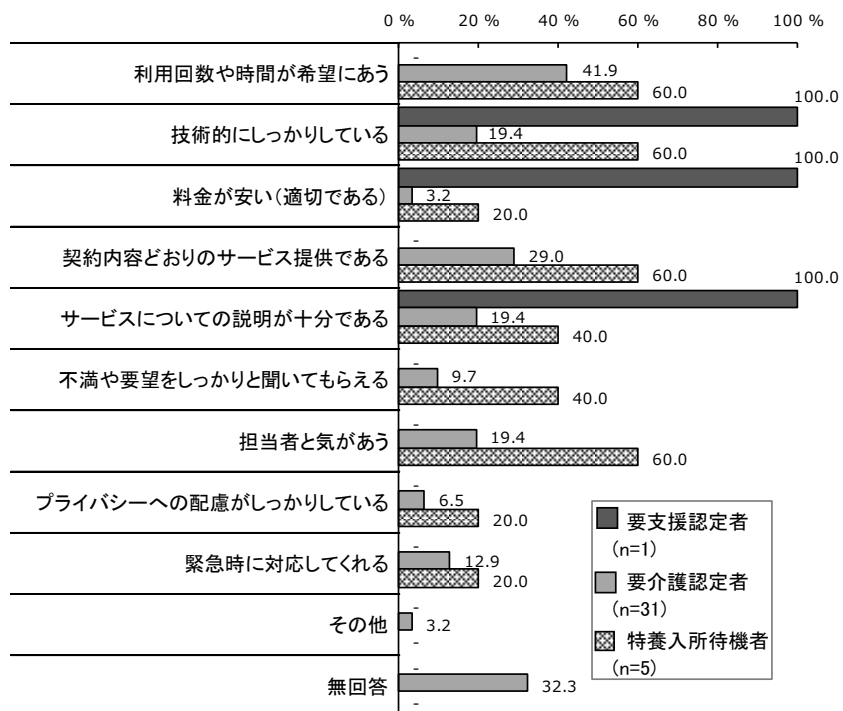
### ○夜間対応型訪問介護



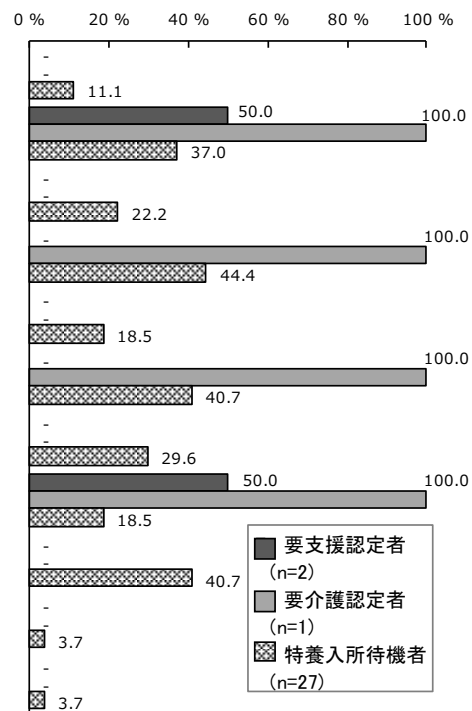
### ○小規模多機能型居宅介護



○認知症対応型通所介護



○認知症高齢者グループホーム



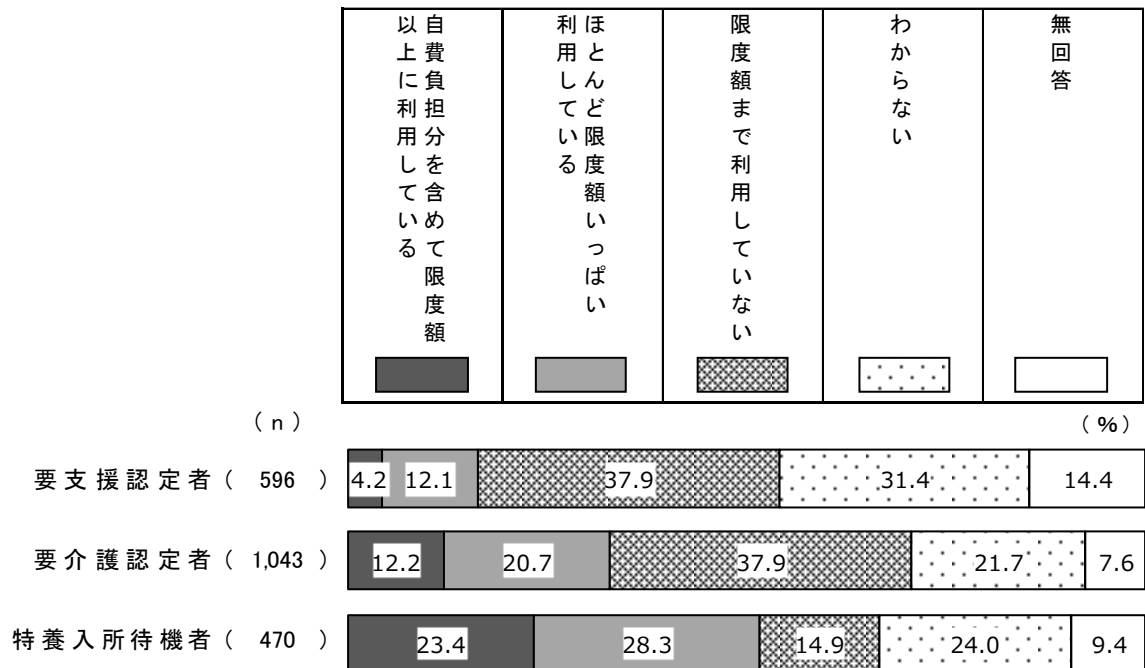
### (3) 支給限度額に対する介護サービスの利用

#### ① 支給限度額に対する介護サービスの利用状況

○ “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人の利用状況は、要支援認定者、要介護認定者ともに「限度額まで利用していない」が最も高い（ともに37.9%）。「わからない」は要支援認定者では31.4%、要介護認定者では21.7%であった。

○特養入所待機者では、“支給限度額まで利用している人”（「自費負担分を含めて限度額以上に利用している」と「ほとんど限度額いっぱい利用している」の合計）が5割を超えている。

■支給限度額に対する介護サービスの利用状況

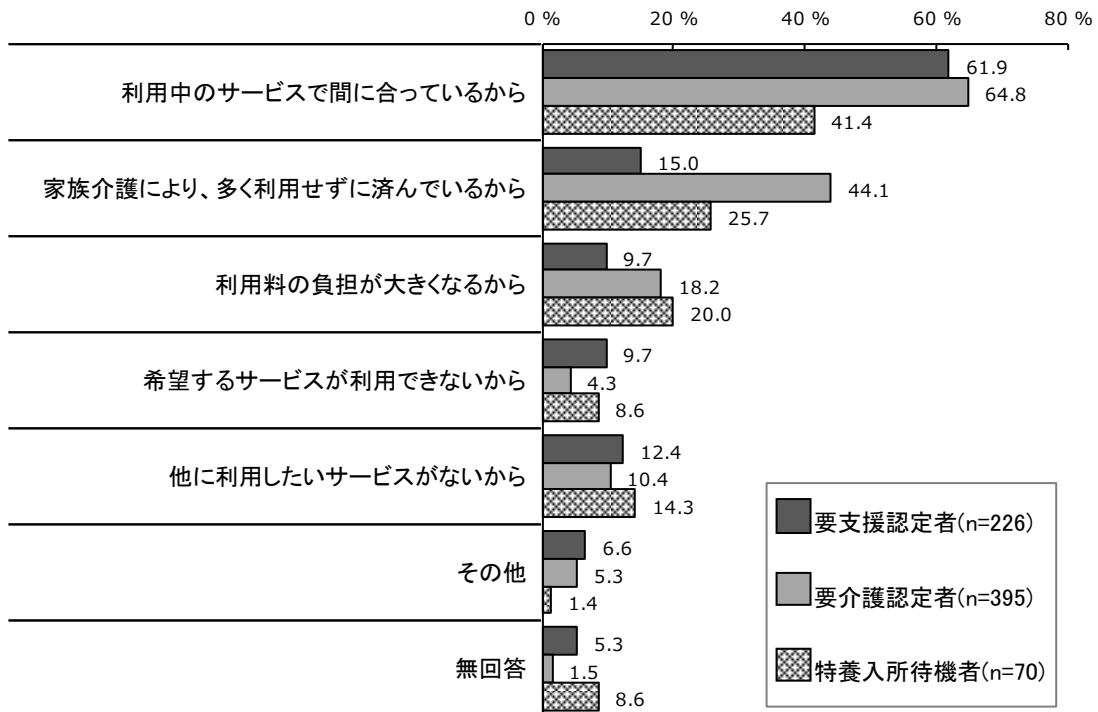




## ② 支給限度額まで利用していない理由

○支給限度額に対する介護サービスの利用状況で「限度額まで利用していない」と回答した人の理由は、要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者ともに「利用中のサービスで間に合っているから」が最も高く、それぞれ61.9%、64.8%、41.4%となっている。

■支給限度額まで利用していない理由（複数回答）

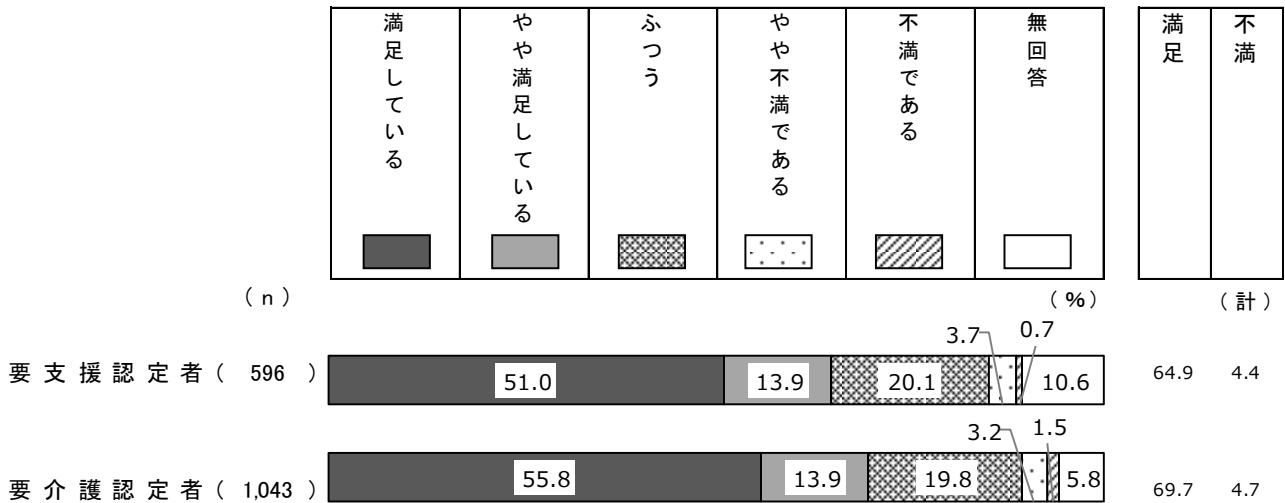


#### (4) ケアマネジャーに対する満足度

##### ① 満足度

○ “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人にケアマネジャーの満足度を聞いたところ、“満足”（「満足している」と「やや満足している」の合計）は要支援認定者では64.9%、要介護認定者では69.7%と、“不満”（「不満である」と「やや不満である」の合計）を大きく上回っている。

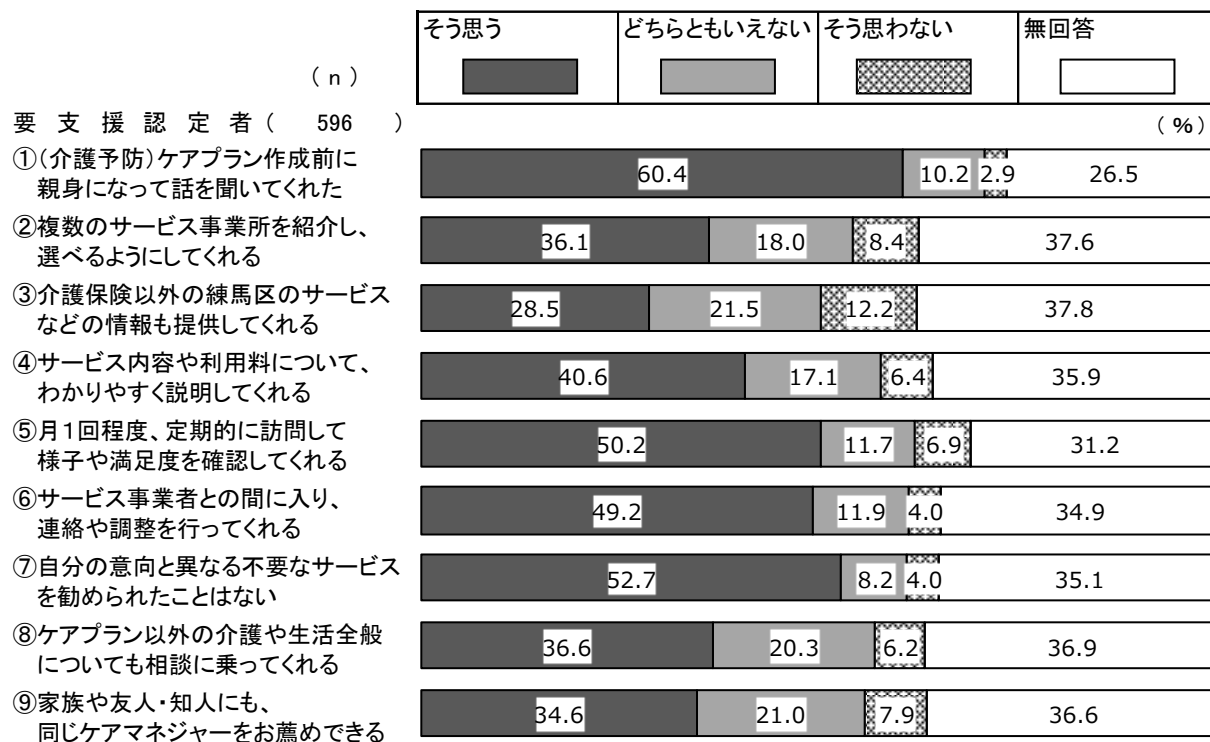
##### ■ 満足度



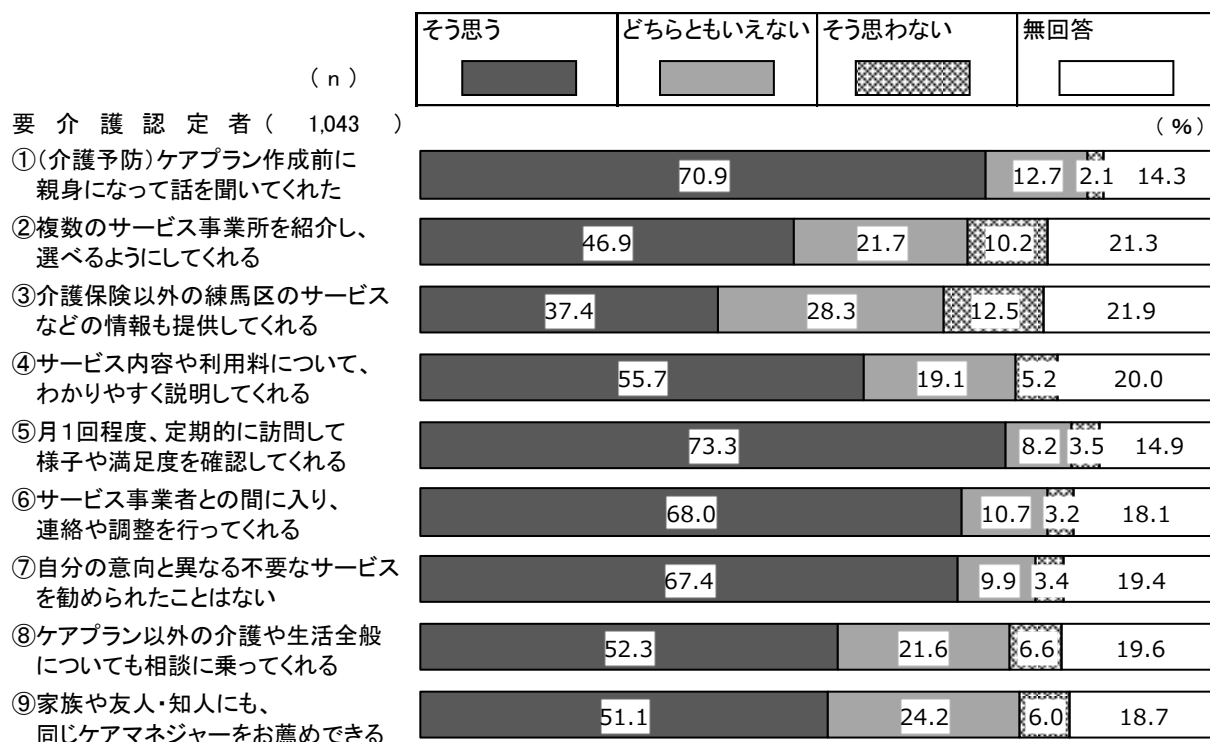
## ② ケアマネジャーへの考え

○ “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人のうち、要支援認定者では『①（介護予防）ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた』が、要介護認定者では『①（介護予防）ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた』『⑤月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる』『⑥サービス事業者との間に入り、連絡や調整を行ってくれる』『⑦自分の意向と異なる不要なサービスを勧められたことはない』は、「そう思う」が6割を超えている。

### ■ケアマネジャーへの考え＜要支援認定者＞



### ■ケアマネジャーへの考え＜要介護認定者＞

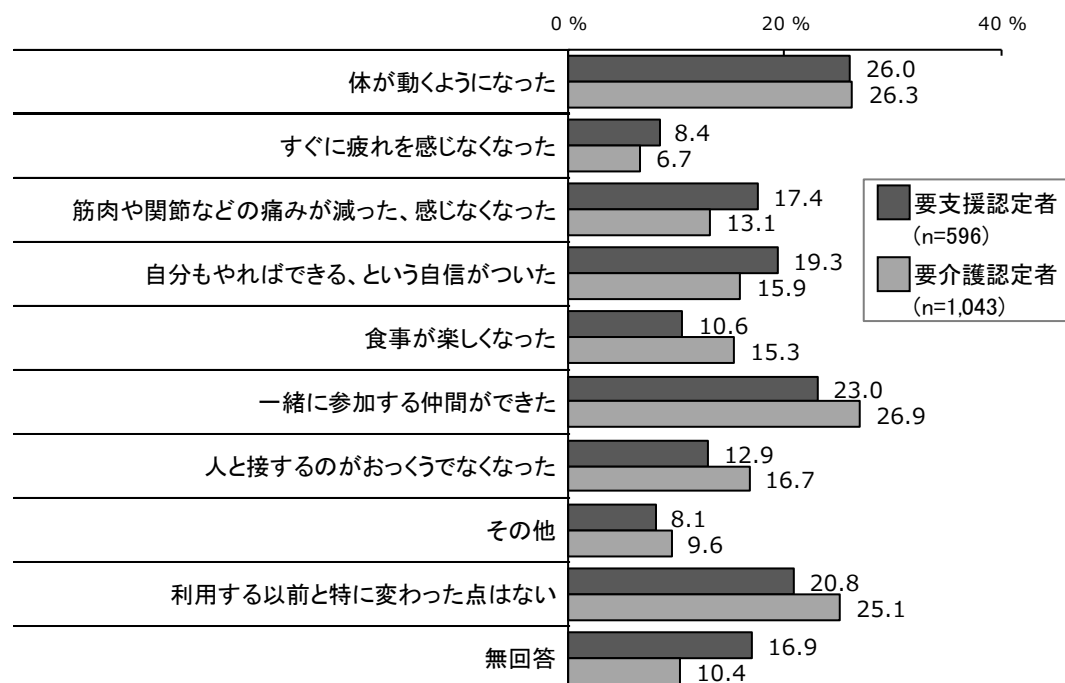


## (5) 介護保険サービスの利用による変化

### ① 介護保険サービス利用後の変化

- “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人の介護保険サービス利用後の変化は、要支援認定者では「体が動くようになった」(26.0%)、「一緒に参加する仲間ができた」(23.0%)が上位に挙がっている。
- 要介護認定者では、「一緒に参加する仲間ができた」(26.9%)、「体が動くようになった」(26.3%)が上位に挙がっている。
- 「利用する以前と特に変わった点はない」は要支援認定者、要介護認定者ともに2割以上であった。

■ 介護保険サービス利用後の変化（複数回答）

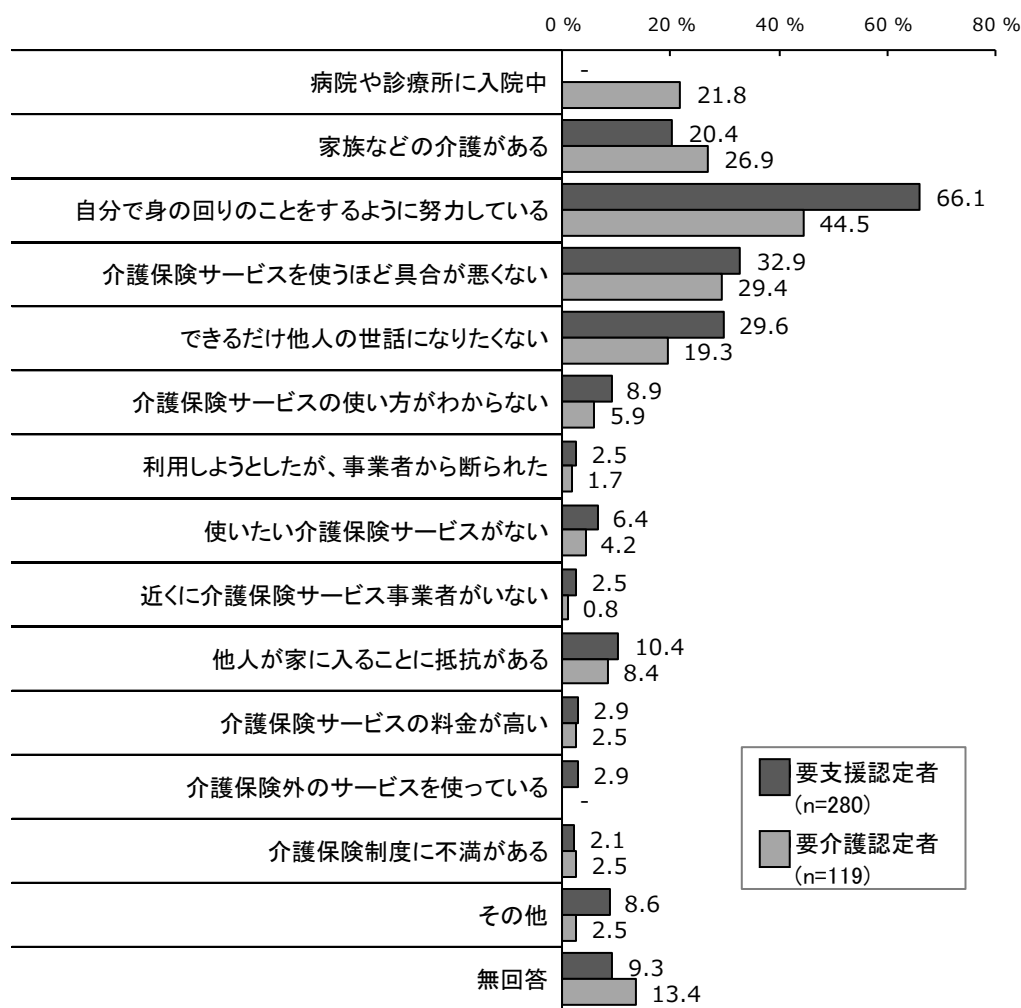


## ② 介護保険サービスを利用していない理由

○満足している介護保険サービスで「いずれも利用していない」と回答した人のサービスを利用していない理由は、要支援認定者では「自分で身の回りのことをするように努力している」が66.1%で最も高く、「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」(32.9%)、「できるだけ他人の世話になりたくない」(29.6%)と続いている。

○要介護認定者では、「自分で身の回りのことをするように努力している」が44.5%で最も高く、「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」(29.4%)、「家族などの介護がある」(26.9%)と続いている。

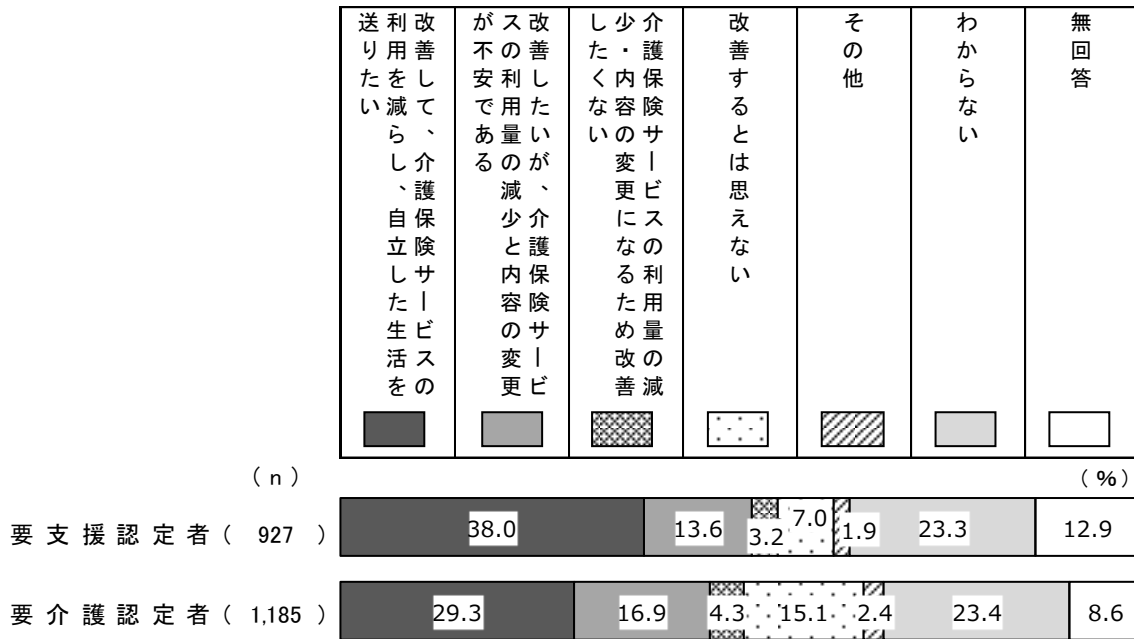
■介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）



③ 要介護度の改善に対する考え

○「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が要支援認定者で38.0%、要介護認定者で29.3%と最も高くなっている。

■要介護度の改善に対する考え



【要支援・要介護認定者】

○年代別にみると、要支援認定者の『前期高齢者』は「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が5割近くで、『後期高齢者』と比べて高い。

■要介護度の改善に対する考え<要支援・要介護認定者：年代別>

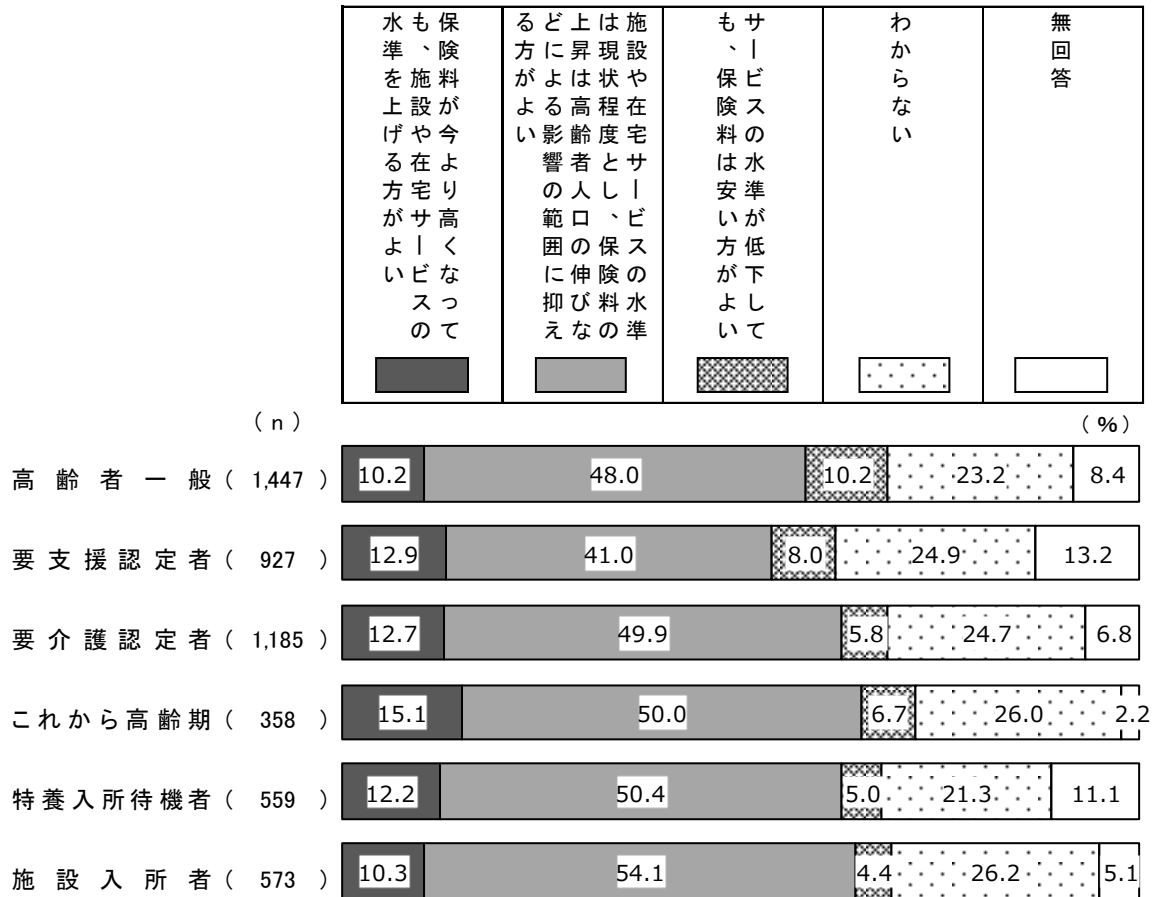
	n	改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	改善したいが、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	改善するとは思えない	その他	わからない	無回答
要支援認定者	927	38.0	13.6	3.2	7.0	1.9	23.3
前期高齢者(65歳-74歳)	92	48.9	15.2	6.5	7.6	2.2	14.1
後期高齢者(75歳以上)	797	37.3	13.6	2.9	7.2	1.9	23.8
要介護認定者	1,185	29.3	16.9	4.3	15.1	2.4	23.4
前期高齢者(65歳-74歳)	128	32.8	21.9	5.5	12.5	3.9	16.4
後期高齢者(75歳以上)	1,018	28.8	16.3	4.1	15.6	2.4	24.3

## (6) 介護保険料と介護サービスの利用料

### ① 介護保険サービスと保険料についての考え

○いずれの調査でも、「施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい」が最も高く、4割超から5割半ばとなっている。

#### ■介護保険サービスと保険料についての考え



### 【高齢者一般】

○経済状況別にみると、『ややゆとりがある・ゆとりがある』は「施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい」が6割近くで、全体と比べて高い。

### ■介護保険サービスと保険料についての考え<高齢者一般：経済状況別>

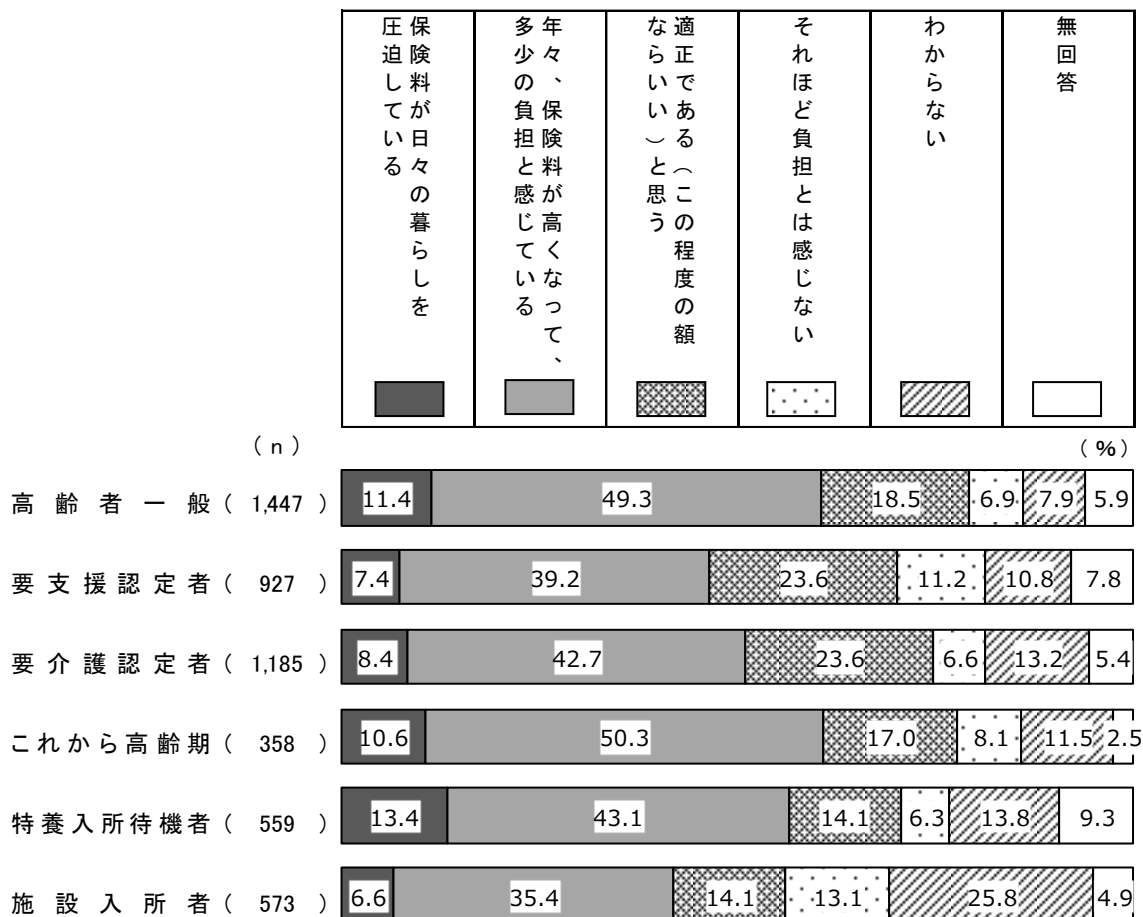
	n	いすて保 ののも 水、料 準施が を設今 上やよ げ在宅 方サく がーな よビっ	困伸料準施 にびのは設 抑な上現や えど昇状在 るには程宅 方よ高度サ がる齢とー よ影者しビ い響人、ス の口保の 範の險水	よてサ いもー 、ビス 保ス 險の 料水 は準 安が い低 方下 がし	わ か ら な い	無 回 答
高齢者一般	1,447	10.2	48.0	10.2	23.2	8.4
苦しい・大変苦しい	444	4.3	45.3	16.0	27.5	7.0
ふつう	787	12.5	48.0	7.9	23.4	8.3
ややゆとりがある・ゆとりがある	188	15.4	58.5	4.8	13.8	7.4

### ② 介護保険料や健康保険料の負担感

○いずれの調査でも、「年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている」が最も高くなっている。

○「保険料が日々の暮らしを圧迫している」は、各調査で1割前後となっている。

### ■介護保険料や健康保険料の負担感





### 【高齢者一般】

○経済状況別にみると、高齢者一般では『苦しい・大変苦しい』は「保険料が日々の暮らしを圧迫している」が2割半ばで、全体と比べて高い。

### ■介護保険料や健康保険料の負担感＜高齢者一般：経済状況別＞

(%)

	n	を 保 険 料 が 日 々 の 暮 ら し を 圧 迫 し て い る	感 じ て い る 多 少 の 負 担 と	年 々 、 保 険 料 が 高 く と	の 適 正 な ら い （ こ の 程 度	な い ほ ど 負 担 と は 感 じ	わ か ら な い	無 回 答
高齢者一般	1,447	11.4	49.3	18.5	6.9	7.9	5.9	
苦しい・大変苦しい	444	26.1	47.5	10.1	2.5	8.1	5.6	
ふつう	787	5.2	53.5	20.2	7.4	8.3	5.5	
ややゆとりがある・ゆとりがある	188	2.1	37.2	33.0	16.5	6.4	4.8	

### 【要支援・要介護認定者】

○経済状況別にみると、要支援認定者の『ややゆとりがある・ゆとりがある』と回答した人は、「それほど負担とは感じない」が3割超で、全体と比べて高い。

○要介護認定者の『苦しい・大変苦しい』と回答した人は、「保険料が日々の暮らしを圧迫している」が2割近くで、全体と比べて高い。

### ■介護保険料や健康保険料の負担感＜要支援・要介護認定者：経済状況別＞

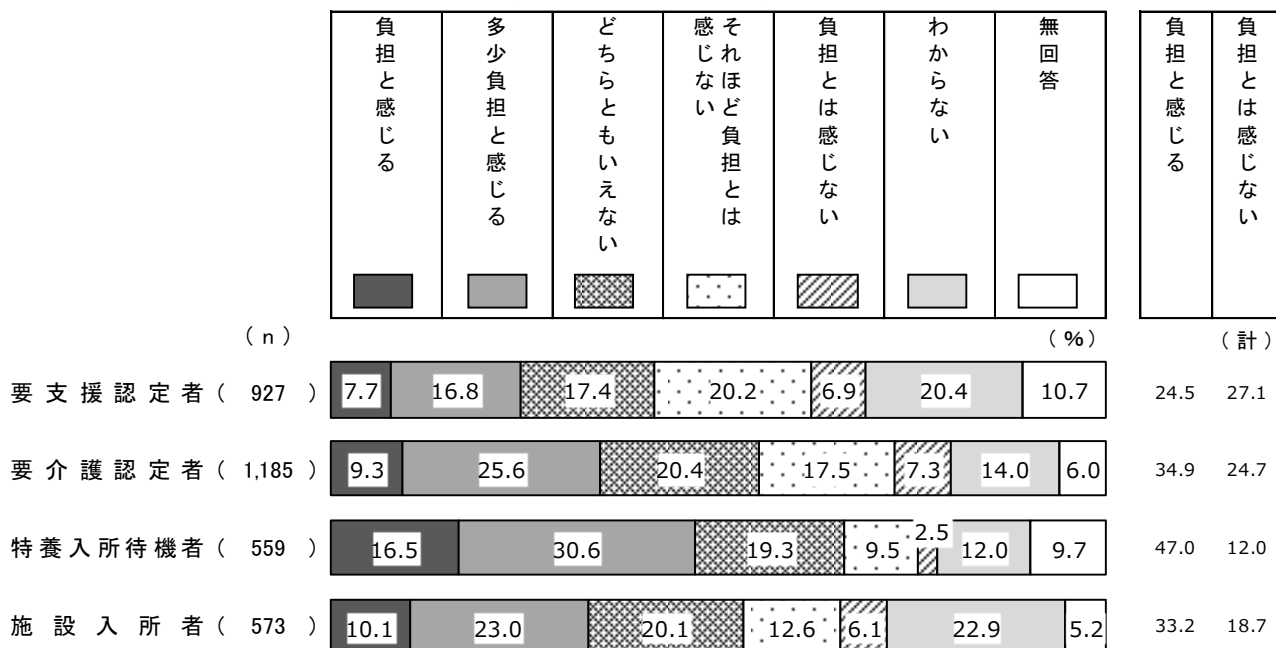
(%)

	n	を 保 険 料 が 日 々 の 暮 ら し を 圧 迫 し て い る	感 じ て い る 多 少 の 負 担 と	年 々 、 保 険 料 が 高 く と	の 適 正 な ら い （ こ の 程 度	な い ほ ど 負 担 と は 感 じ	わ か ら な い	無 回 答
要支援認定者	927	7.4	39.2	23.6	11.2	10.8	7.8	
苦しい・大変苦しい	296	16.2	47.0	14.2	2.7	12.2	7.8	
ふつう	517	3.9	38.1	27.5	12.4	11.4	6.8	
ややゆとりがある・ゆとりがある	95	-	24.2	33.7	31.6	4.2	6.3	
要介護認定者	1,185	8.4	42.7	23.6	6.6	13.2	5.4	
苦しい・大変苦しい	416	18.5	47.4	13.2	2.2	12.7	6.0	
ふつう	649	2.6	41.6	29.7	7.1	14.0	4.9	
ややゆとりがある・ゆとりがある	87	2.3	34.5	33.3	24.1	4.6	1.1	

### ③ 介護サービス利用料の負担感

- 要支援認定者では、“負担と感じる”（「負担と感じる」と「多少負担と感じる」の合計）と“負担とは感じない”（「それほど負担とは感じない」と「負担とは感じない」の合計）が同程度となっている。
- 要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者では、“負担と感じる”が“負担とは感じない”を上回っており、要介護認定者が3割半ば、特養入所待機者が5割弱、施設入所者が3割超となっている。

■介護サービス利用料の負担感



#### 【要支援・要介護認定者】

- 経済状況別にみると、要支援認定者、要介護認定者ともに、『苦しい・大変苦しい』と回答した人は、“負担と感じる”が他の経済状況の人と比べて高い。

■介護サービス利用料の負担感<要支援・要介護認定者：経済状況別>

	n	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	負担と感じる	負担とは感じない
要支援認定者	927	7.7	16.8	17.4	20.2	6.9	20.4	10.7	24.5	27.1
苦しい・大変苦しい	296	14.2	25.0	17.6	9.1	3.4	17.6	13.2	39.2	12.5
ふつう	517	5.4	13.9	18.6	24.0	6.8	22.4	8.9	19.3	30.8
ややゆとりがある・ゆとりがある	95	-	9.5	11.6	33.7	20.0	17.9	7.4	9.5	53.7
要介護認定者	1,185	9.3	25.6	20.4	17.5	7.3	14.0	6.0	34.9	24.7
苦しい・大変苦しい	416	18.8	31.5	18.3	8.2	1.7	14.9	6.7	50.2	9.9
ふつう	649	3.4	23.1	23.0	22.0	9.2	14.3	4.9	26.5	31.3
ややゆとりがある・ゆとりがある	87	4.6	16.1	14.9	33.3	19.5	8.0	3.4	20.7	52.9

## (7) 高齢者保健福祉施策や介護保険に関する主な意見・要望（自由回答）

### (介護保険料／利用者負担)

- ・介護保険料が年々高くなり、年金低額者には負担になっている。老人が多くなっていく現状では止むを得ないことだが、他の支出にまだまだ不要なものがあると思う。[高齢者一般]
- ・高齢者にとっては、保健福祉施策や介護保険は絶対に必需品である。その費用に生活が行き詰まらないようにしてほしい。[高齢者一般]
- ・介護保険制度の利用について負担割合がはっきりしていない、聞きたくても区役所まで行けない。[要支援・要介護認定者]
- ・厚生年金加入期間が短かったため年金支給額が少なく福祉施設等の経費負担に耐えられるかどうか心配。介護保険料の値上げは年金生活者にとって致命的であり、とても心配である。[要介護認定者]
- ・介護保険を利用しない人の保険料納付額の見直し。[これから高齢期]

### (制度等に対する不安／不満)

- ・介護保険の認定や手続きなど、身近に親族がいる場合は動きやすいが、遠方の場合には諸手続などに時間を要して大変。一人暮らしの高齢者には福祉の補助がないと難しい。[高齢者一般]
- ・病気やけがは突然やってくるが、介護保険を利用したい時に認定までに時間がかかると聞く。できる限り早く利用できたら有難い。[高齢者一般]
- ・介護保険制度は道半ばだろうが、あまりにも複雑すぎて理解しにくい。もっと単純化すべきだと思う。介護を受ける側として理解しようにも理解しにくい。[要介護認定者]
- ・息子と二人暮らしだが、家族が1人でもいればヘルパーをお願いしたくても出来ないと聞いた。子供がいても生活していくために会社勤めをしている。会社を退職してでも介護しなくてはいけないのはおかしいと思う。[要介護認定者]
- ・介護保険をもっと多くの人ができるようにしてほしい。[これから高齢期]
- ・仕事しながら高齢の親を看るのは大変なので介護する側のサポートがほしい。中高年の介護離職問題にももう少し目をむけてほしい。[これから高齢期]
- ・福祉施策の窓口をもっと広げて、要介護を必要とした時の手続きを簡潔にしてほしい。公共施設の受付を一本化にしてほしい。[これから高齢期]
- ・区への提出書類が多すぎる。認知症の高齢者には無理。[特養入所待機者]

### (サービス内容)

- ・痰の吸引などが夜間も必要な場合でも、特別養護老人ホームでのショートステイ利用を可能にほしい。[要介護認定者]
- ・退院直後からデイサービスを利用したが、選択の余地がなく決められた所に行った。身体の状態に内容が合わず、止めてしまった。もう少し、本人に寄り添った見方をしてほしい。[要介護認定者]
- ・介護保険を利用し、諦めていた運動機能のリハビリを受けることで、これからもまだまだ大丈夫だという気持ちになれた。一人でも多くの人のリハビリを受けられて自立した生活が送れることを願っている。[要介護認定者]
- ・サービスを受ける側のリクエストより提供する側の都合が最優先されているように感じる。[これから高齢期]
- ・各担当との連絡が家族の就業時間と重なり負担が重い。また、包括の担当者が短期間で変わり、引継がきちんとされていない事もあった。[特養入所待機者]

### (施設整備)

- ・介護保険で利用できる施設（特別養護老人ホーム等）や都市型軽費老人ホーム等の高齢者向け住宅を増やしてほしい。[高齢者一般]
- ・普通で良いので、多くの人ができる介護施設を作してほしい。[高齢者一般]
- ・1人暮らしで年金が少額でも利用できる施設ができることを希望する。[要介護認定者]
- ・家で最期まで過ごしたいと思っているが、できない場合もある。自分の年金支給金額内で施設に入れると心配なく、残りの年月を送ることができる。[要介護認定者]
- ・高齢者に限らず、一人で暮らす人の孤独死を防ぐことを社会全体で取り組んでいく必要性を感じる。介

- ・護士のような資格者や高齢者施設の枠をとり払った“施設づくり”が必要だと思う。[これから高齢期]
- ・2～3年前に特養に申し込んだが、何の連絡もない。待っている間に死亡する場合もあるので、区切りをつけて結果報告がほしい。[特養入所待機者]
- ・もっと養護老人ホームを増やしてほしい。金額ももう少し安いと助かる。多床型を増やしてほしい。[特養入所待機者]
- ・個室入所が困難な状況にあるため、準個室（入口は共用だが、内部が独立している）をもっと増やし、比較的安い費用で利用者数を増やしてほしい。[特養入所待機者]
- ・特養になかなか入りにくい現状では、他の有料老人ホーム等への公的助成を強化すべきだと思う。[特養入所待機者]

### (介護予防)

- ・高齢になっても規則正しい生活、家事、特に食事は大切にしている。しっかり食べてしっかり動く、趣味やボランティアなどで充実した生活を送るという信念で生きている。閉じこもりがちの人と会うと話を聞いたりサークルに誘ったりする。区で色々な良い催しをしているが、こういった人を引っ張り出すのが一番難しい。[高齢者一般]
- ・今後、高齢者が多くなり、支援の手が足りなくなることも考えられる。病気になる前の予防に重点を置いた取組が大切になる。高齢者も甘えることなく元気なら支援にまわるように柔軟な考えで、どんどん新しい道筋を作ってほしい。年をとっても、何か人の役に立ちたい気持ちは、誰もが持っている。それが生きがいになる。行政でどんどん宣伝して、自分でも役に立てることをさせてほしい。[高齢者一般]
- ・高齢者対象（優先）としたイベントを数多く企画して実施してほしい。参加して元気になり、健康維持に役立てる機会を増やしてほしい。[要介護認定者]
- ・身体の衰えを感じる。介護を先延ばしするためにも予防（認知を含めて）のための手助けがほしい。[要介護認定者]
- ・人生100年時代と言われている今、健康状態を維持するためにも、区内（各地域）で気軽に家計の負担も少ないサークル活動などがあると、出掛ける機会も増え、人との交流があることで心身に良い。[要介護認定者]

### (社会参加／元気高齢者)

- ・都内は歩道が少なく、外出が難しい。公園等の小スペースでも休憩所のようなものがあるとよい。[高齢者一般]
- ・介護の仕事をしていたので、今でも清拭やオムツ交換のボランティアなどがあると良いと思う。仕事がないため介護保険を利用して時間をつぶしている。やる事がないため退屈しにぎにジムに行っている。生きがいがない。[要介護認定者]
- ・高齢者で介護を必要としないようにするため、地域での色々な活動、話し合いのできる場所がほしい。練馬の中心には色々あるが、他は少なくて困る。近くに集いの場があれば、近所同士で楽しく健康づくりや生きがい、活動につながると思う。[要介護認定者]
- ・定年後に地域活動に参加しづらい。地元の人と会社員が有効な健康維持や体力維持活動を行えば、医療費の節約につながると思う。[これから高齢期]
- ・いくつになっても生きがいをもって生活できる地域であってほしい。[これから高齢期]

### (在宅療養)

- ・入院後退院してきた時の生活の支援や保障をもっと充実させてほしい。[要介護認定者]
- ・老夫婦2人が通える範囲で相談にのってくれる医師がおらず、受診しても「何も異常はない」と帰された。その後、救急搬送されて詳しい情報が得られるようになった時には既に自宅に戻ることが難しい状態になっていた。家で最期を迎えたいと家族みんなが願っていたが、施設入所となった。[要介護認定者]
- ・1人住まいの身で急病になった時にすぐ近くに身寄りがおらず、誰も呼べなかった場合、病院への付き添い、入院手続きなどすぐに対応してくれるところがあれば、安心して生活できると思う。[要介護認定者]
- ・ショートステイの利用基準が厳しく、気管切開、経管栄養等は受け入れてもらえないのが不安。[要介護認定者]

### (認知症)

- ・認知症予防のゲーム、体操等の企画に力を入れてほしい。[高齢者一般]
- ・自分が認知症初期のような気がする。一人暮らしなので、どうしたらいいか困っている。[高齢者一般]
- ・認知症の母の世話をするのに、理解が足りなかったと反省している。家族に認知症教室への参加を勧めてくれるような仕組みがほしい。家族で看なければと思いついでいる家族も多いと思う。グループホーム、特養など、見学会やお話を聞く機会があればよい。困っている家族を支援してもらいたい。[これから高齢期]

### (地域とのつながり)

- ・一人暮らしの人は隣近所の人に声を掛けてもらえないと暮らしていけない。本人も隣の人と相談ができるように心がけが必要だと思う。遠い親戚より近くの他人が頼りになる。[高齢者一般]
- ・いつも見守ってもらっているという安心感がほしい。玄関先で声をかけてくれる等、ちょっとした心遣いがあると嬉しい。[要介護認定者]

### (情報提供／相談体制)

- ・区の窓口一本化・充実を希望。SNS等の活用も一案かと思う。[高齢者一般]
- ・介護についてもっと知識を得たいので、勉強できる場所を知りたい。[高齢者一般]
- ・介護保険の適用対象・内容など、分かり易いガイダンス書の普及を希望する。近い将来の自分や家族の介護対策を今からどのように準備していけば良いのか、不安を感じる。介護保険は年金から引かれているが、具体的にどの様に活用されているのかよく分かっていないのが現状である。[高齢者一般]
- ・地域集会所などを利用して、何でも質問・相談をしたり、情報交換できるサロンのような会合を定期的に行ってほしい。[要介護認定者]
- ・ホームページを見られない。ネット環境のない高齢者宅ではどうすれば最新情報を届けてもらえるのか。[要介護認定者]
- ・介護保険制度の説明がよく分からず戸惑った。手続きの手順などが簡単に確認できる冊子のようなものがあると良い。[これから高齢期]
- ・今はまだ高齢者福祉と聞いてもあまりピンとこないが、今後もっと年をとっていくと心配ごとが増えていくと思う。すぐに必要性を感じていない人も関心を持つような広報や、介護保険についても分かりやすいパンフレットなど回覧板などで配布してもらえると良い。[これから高齢期]

### (その他)

- ・人材不足のせいか、ケアマネジャーやヘルパー等の質が落ちているように思う。多くの若者（外国人労働者も含めて）が、介護職に従事できるように労働環境を整えてほしい。[高齢者一般]
- ・最近ヘルパーの数が減っていると聞く。新しい人をもっと養成し、魅力ある仕事にしてあげてほしい。[高齢者一般]
- ・昨年まで義母を介護していた。本当に大変で、毎日が自問自答の日々だった。ケアマネジャーがよく理解してくれて、本当に救われた。介護を通して、自分の老後、終活はきちんとしておこうと痛感した。[これから高齢期]

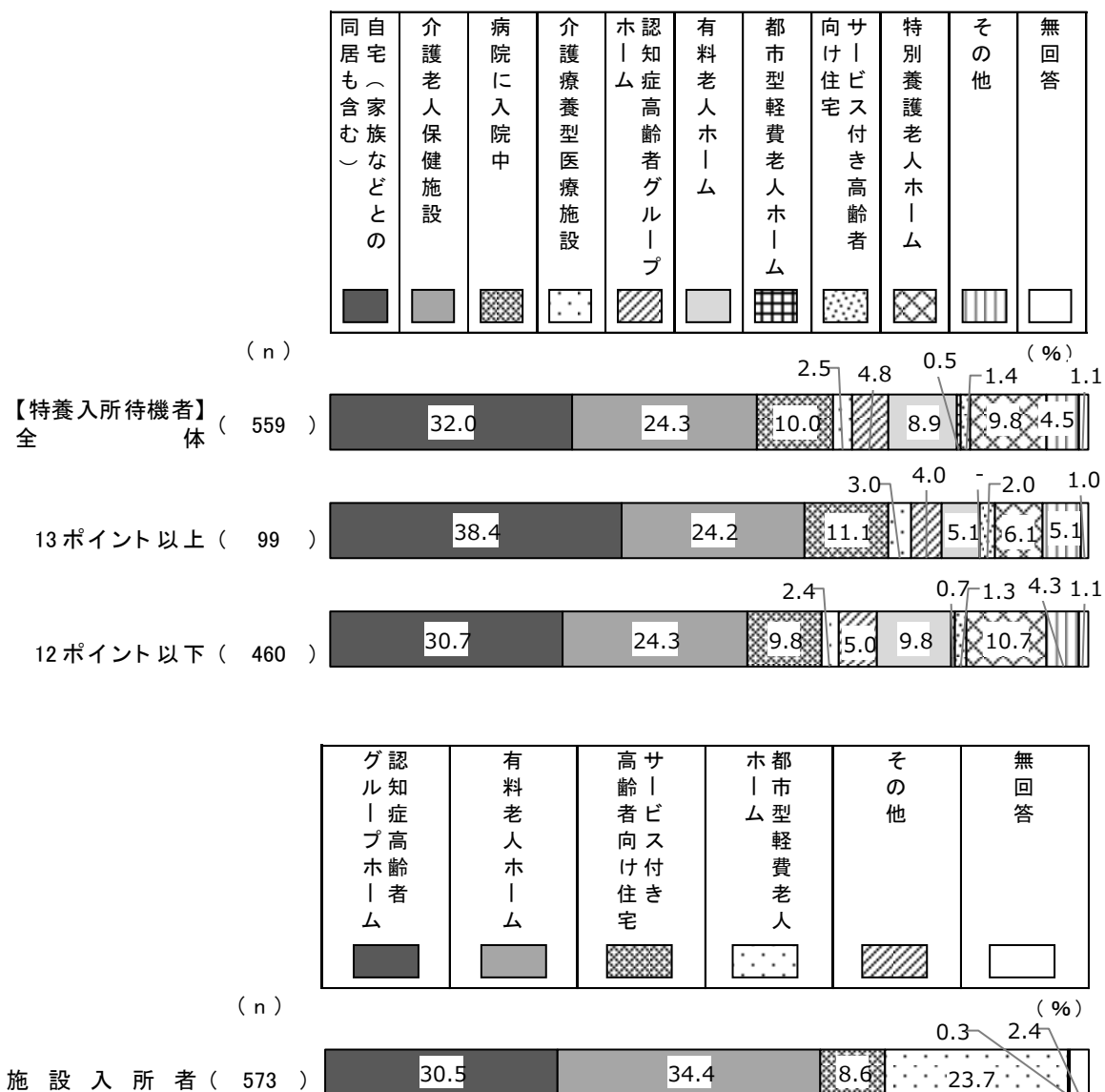
## 10 特別養護老人ホーム入所申込みの状況

### (1) 現在の生活場所

○特養入所待機者では、「自宅（家族などとの同居も含む）」が32.0%で最も高く、「介護老人保健施設」が24.3%と続いている。

○施設入所者では、「有料老人ホーム」が34.4%で最も高く、「認知症高齢者グループホーム」が30.5%、 「都市型軽費老人ホーム」が23.7%と続いている。

#### ■現在の生活場所

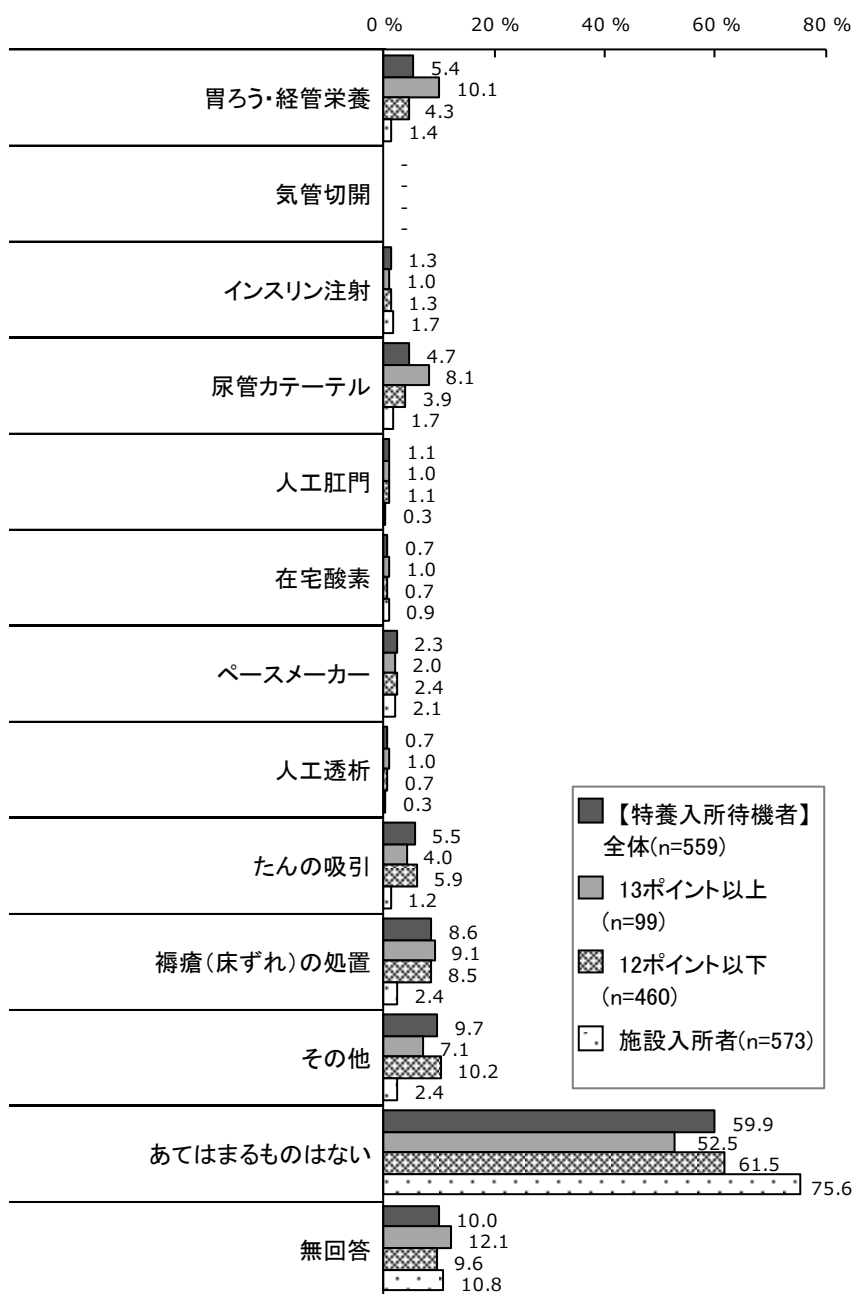


## (2) 医療処置の状況

○医療処置の状況で「あてはまるものはない」が最も高く、特養入所待機者が約6割、施設入所者が7割半ばとなっている。

○医療処置が必要な場合は、「褥瘡(床ずれ)の処置<sup>じよくそう</sup>」(特養入所待機者8.6%、施設入所者2.4%)、「たんの吸引」(特養入所待機者5.5%、施設入所者1.2%)、「胃ろう・経管栄養」(特養入所待機者5.4%、施設入所者1.4%)が上位に挙がっている。

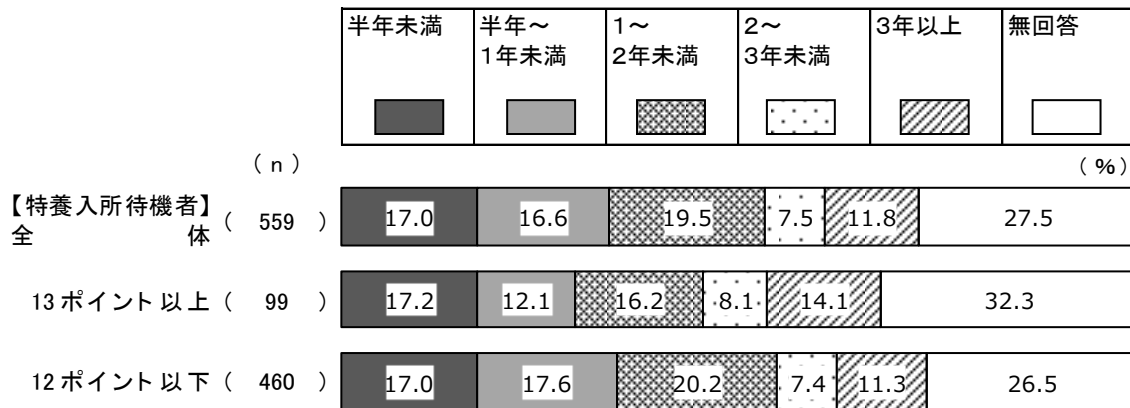
■医療処置の状況(複数回答)



### (3) 特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間

○最初の特別養護老人ホームへの入所申込みからの経過期間は、“1年未満”（「半年未満」と「半年～1年未満」の合計）が3割超となっている。

■特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間



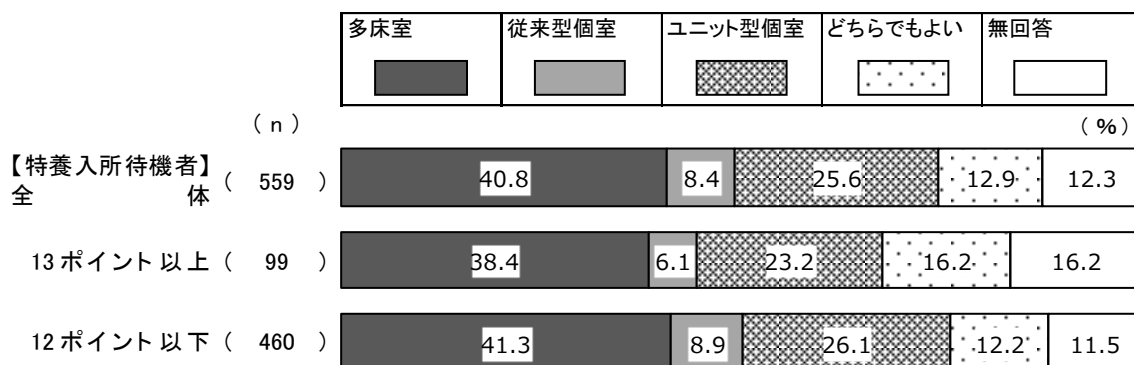
※ 起算点は令和元年12月

### (4) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

#### ① 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

○「多床室」が最も高く40.8%、次いで「ユニット型個室」が25.6%となっている。

■入所したい特別養護老人ホームのタイプ

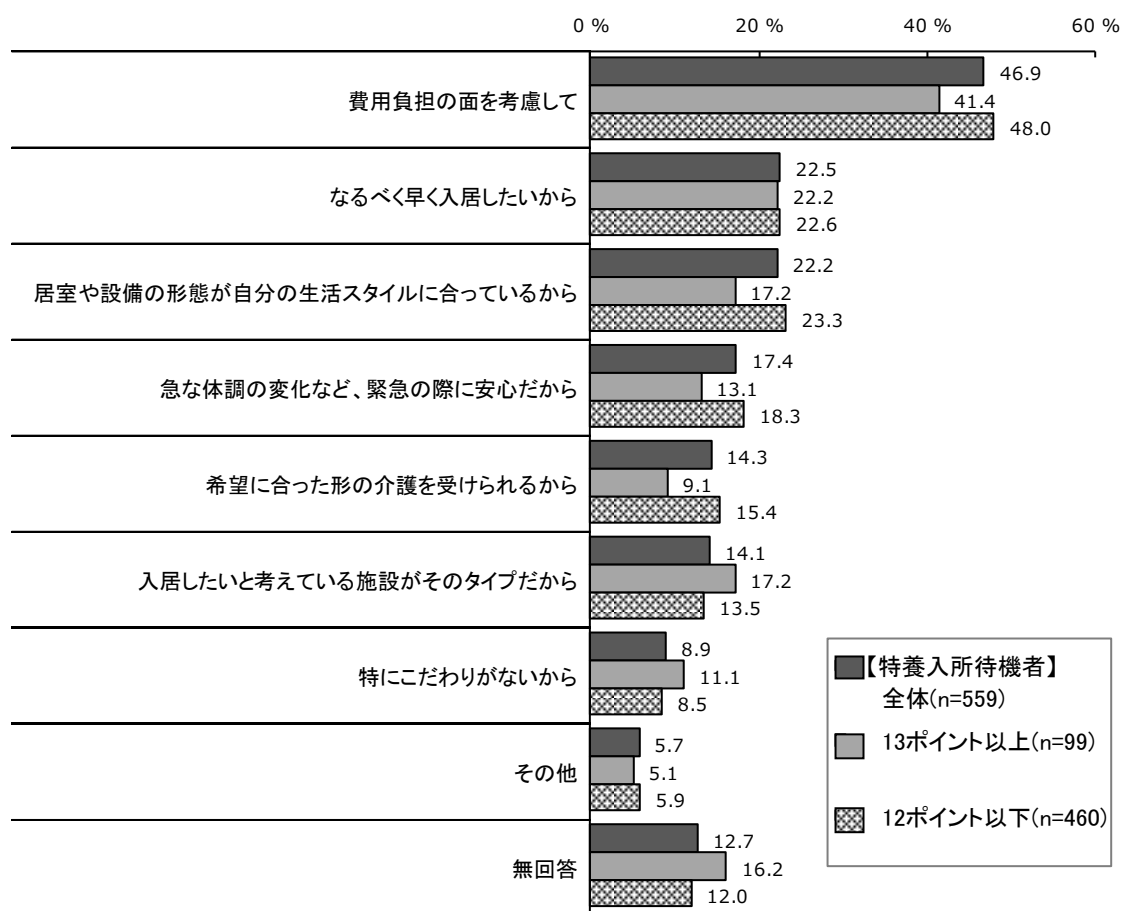




## ② 入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由

- 「費用負担の面を考慮して」が46.9%で最も高く、「なるべく早く入居したいから」(22.5%)、「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(22.2%)と続いている。

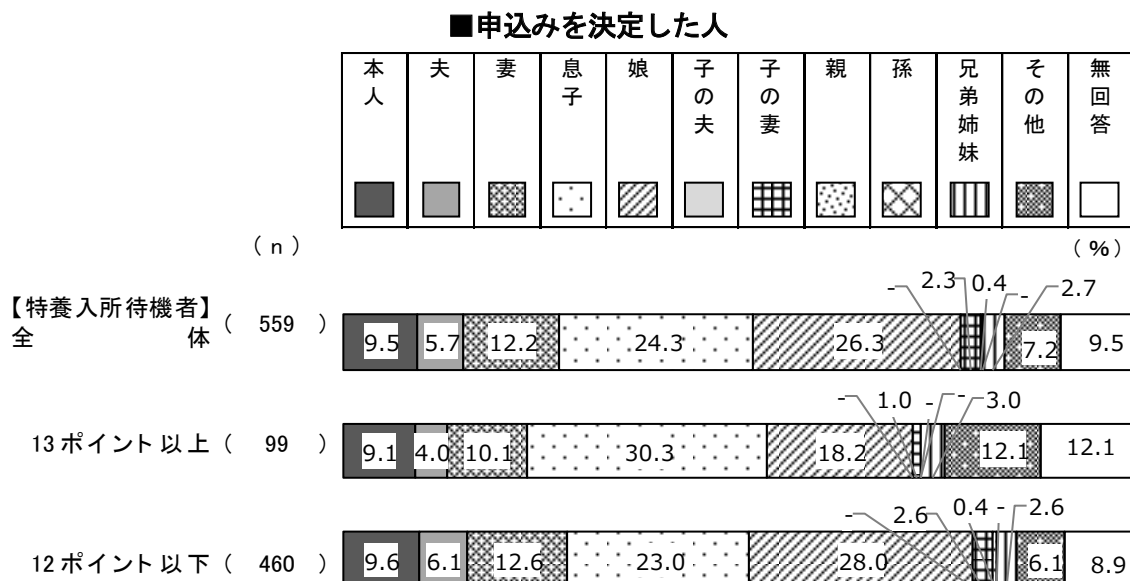
### ■入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由（複数回答）



## (5) 特別養護老人ホームの申込み状況

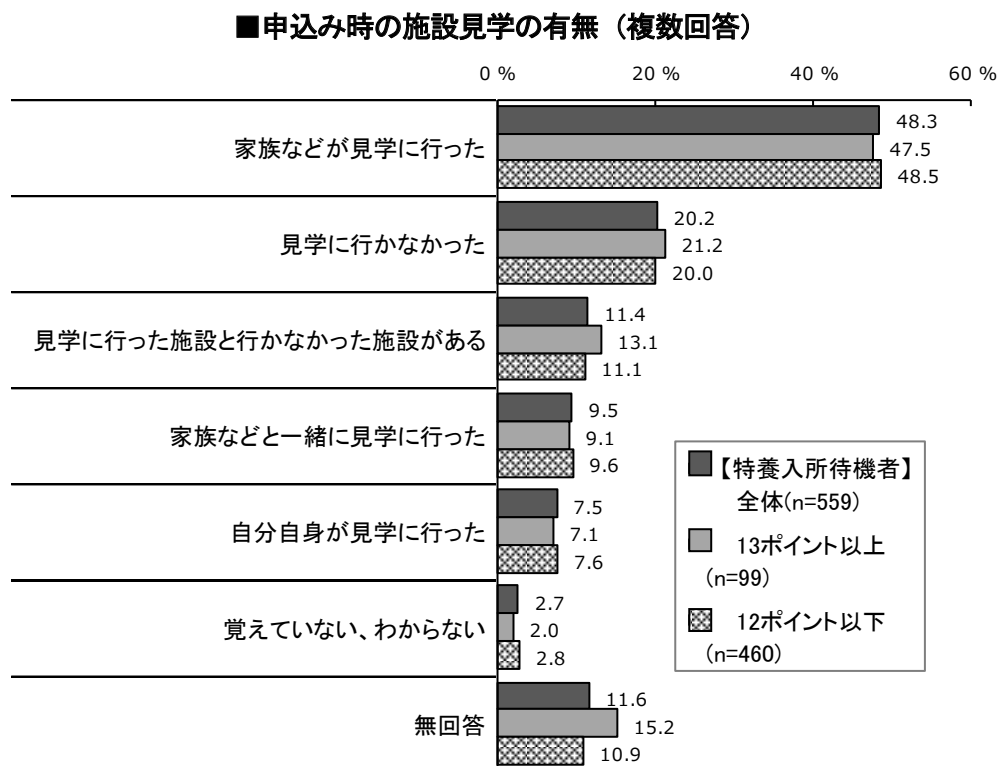
### ① 申込みを決定した人

- 「息子」「娘」がそれぞれ2割半ばで、両者を合わせた“子ども”が半数以上となっている。
- 「本人」は、約1割となっている。



### ② 申込み時の施設見学の有無

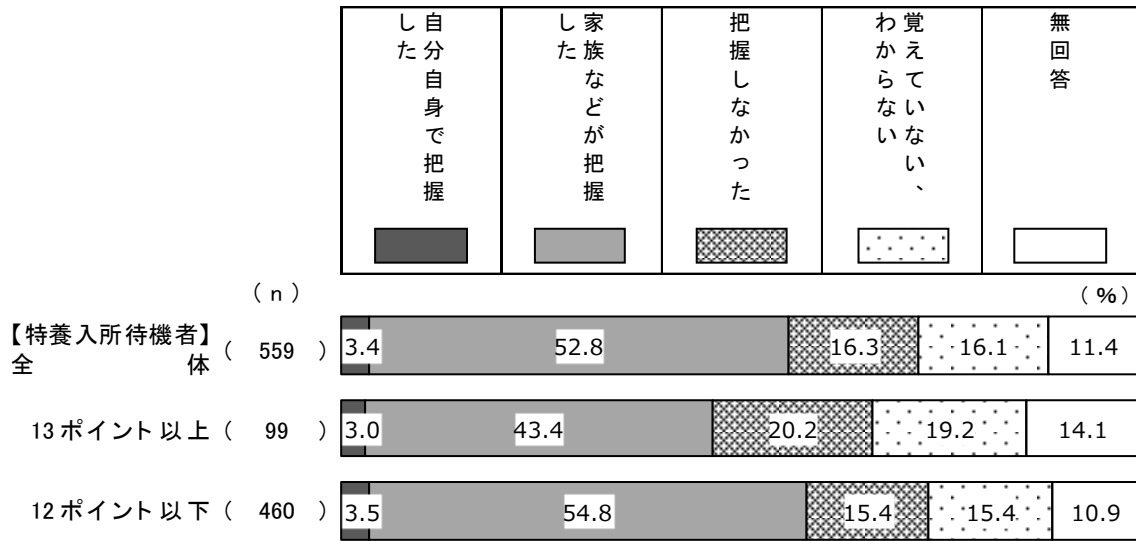
- 「家族などが見学に行った」が48.3%で最も高く、「見学に行かなかった」(20.2%)、「見学に行った施設と行かなかった施設がある」(11.4%)と続いている。



③ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握の有無

- 「家族などが把握した」が最も高く52.8%となっている。
- 「把握しなかった」は1割半ばとなっている。

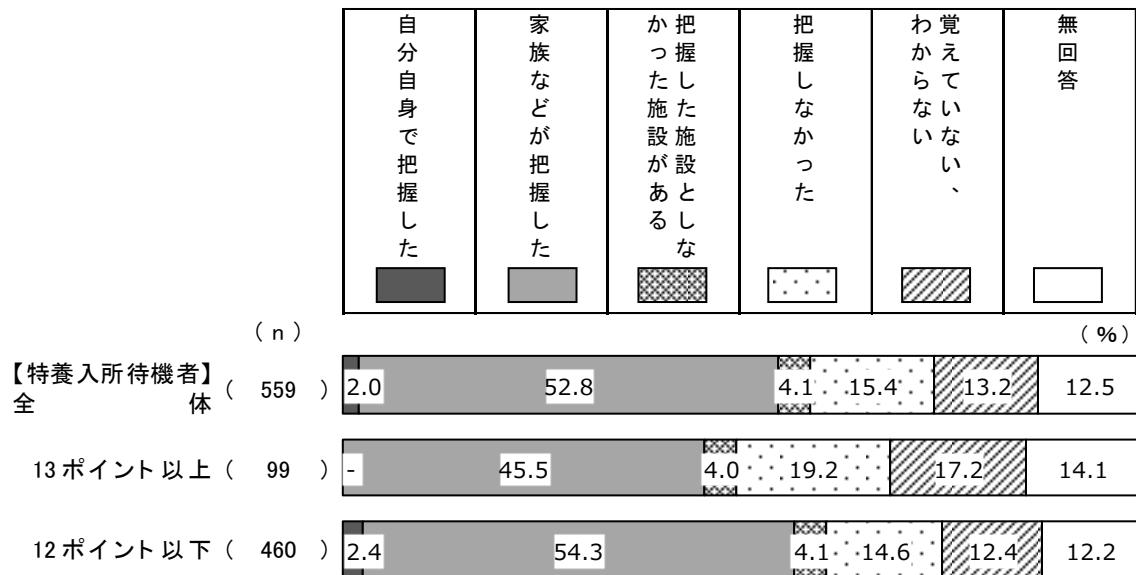
■ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握の有無



④ 医療行為への対応状況の把握の有無

- 「家族などが把握した」が最も高く52.8%となっている。
- 「把握しなかった」は1割半ばとなっている。

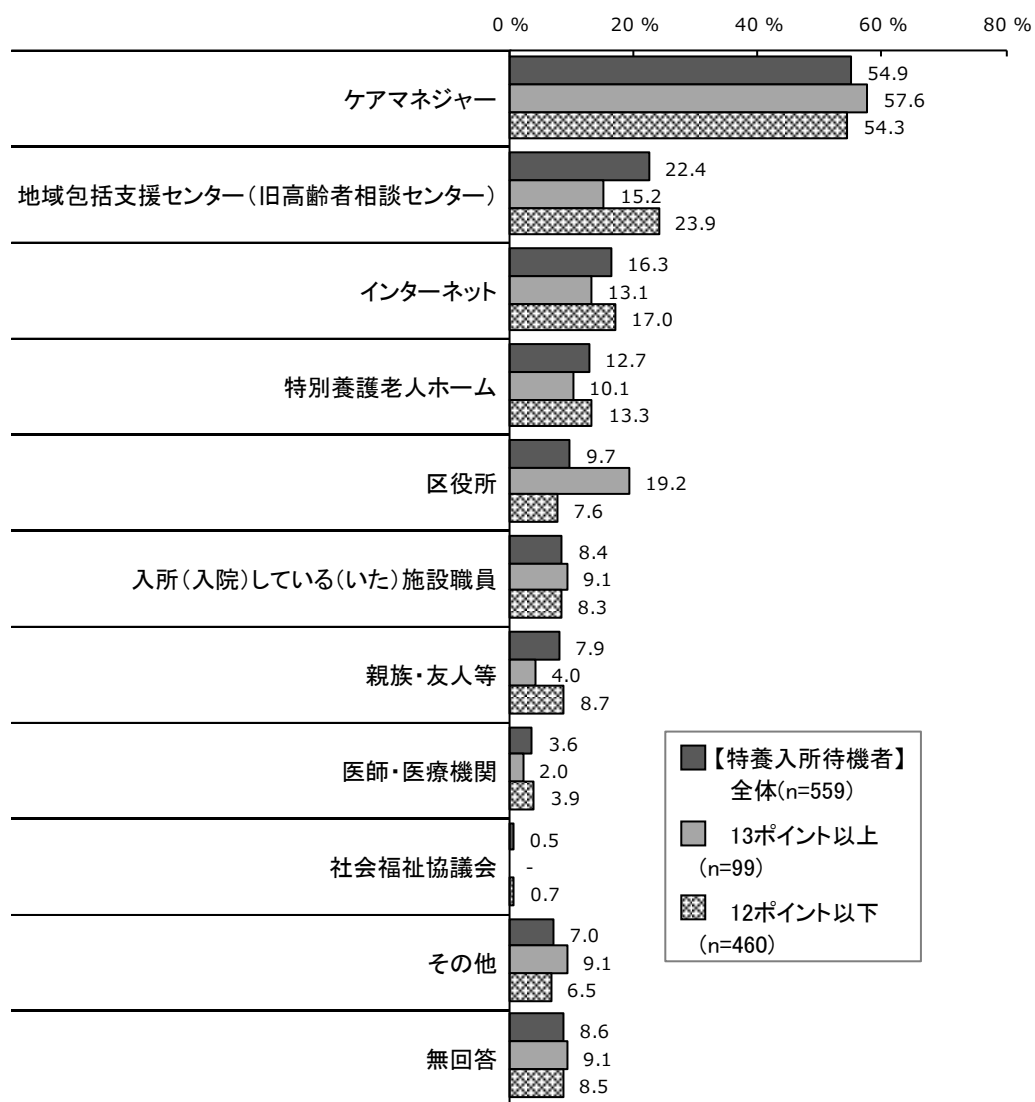
■ 医療行為への対応状況の把握の有無



⑤ 入所申込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路

○「ケアマネジャー」が54.9%で最も高く、「地域包括支援センター(旧高齢者相談センター)」(22.4%)、「インターネット」(16.3%)と続いている。

■入所申込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路(複数回答)

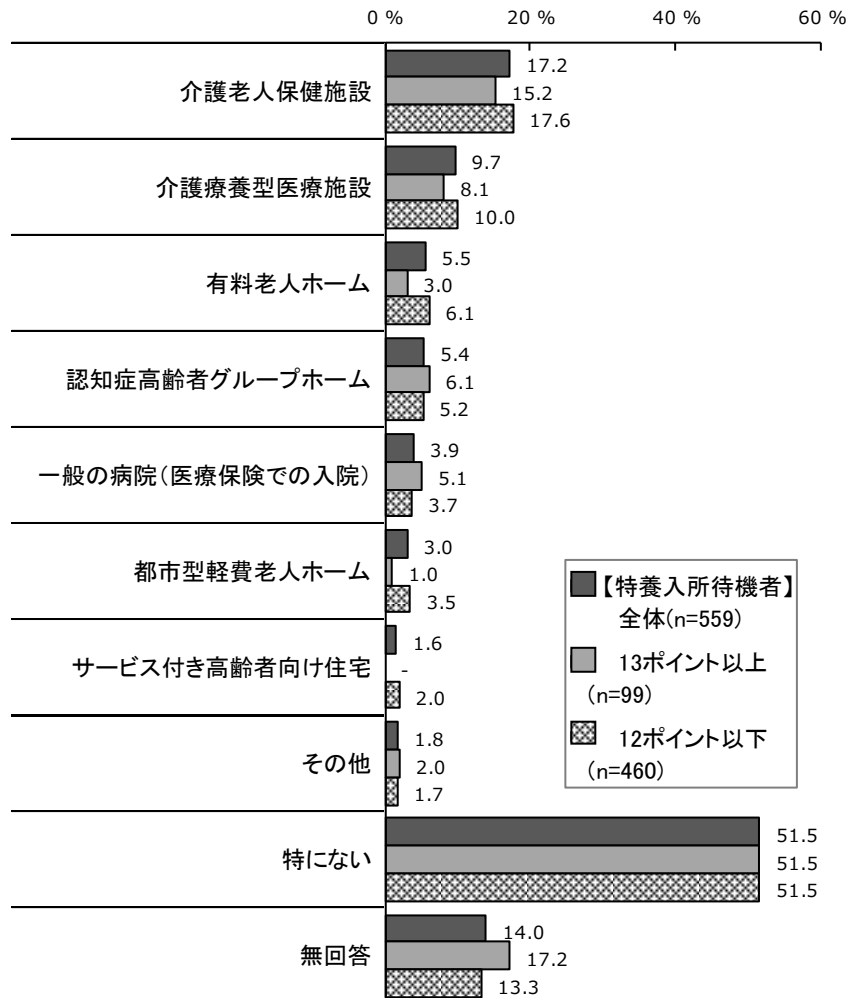


## (6) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

### ① 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

○「特にない」が最も高く5割超となっている。申込み先としては、待機者全体では「介護老人保健施設」が17.2%、「介護療養型医療施設」が9.7%となっている。

■特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況（複数回答）

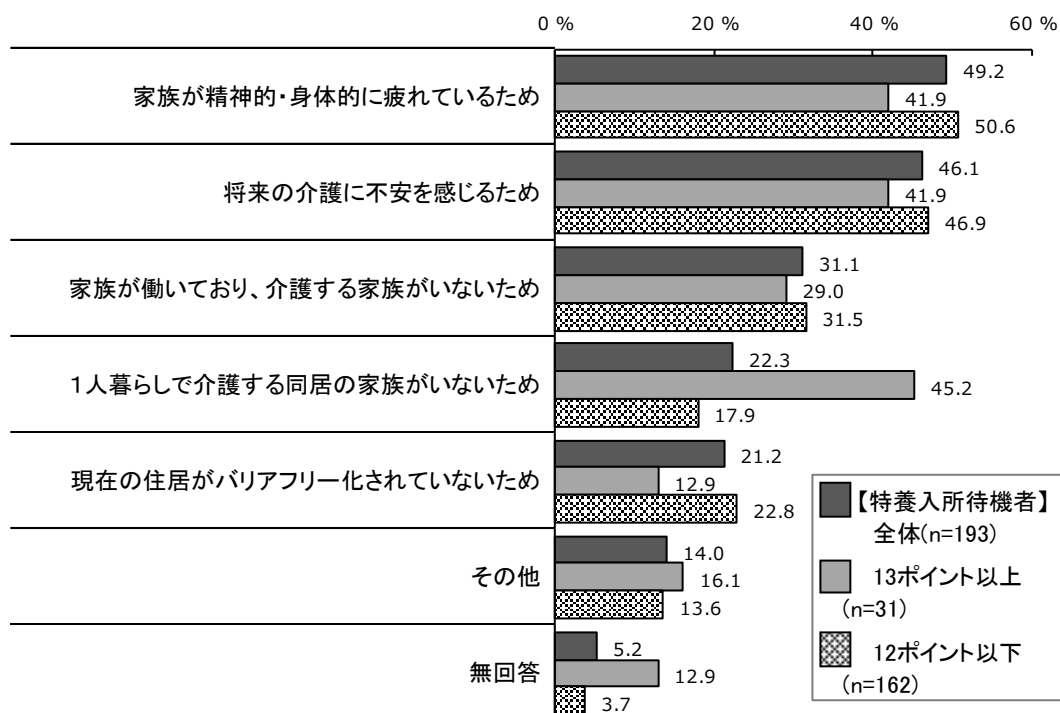


② 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由と特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

ア. 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で“特別養護老人ホーム以外に申込みをしている施設がある”と回答した人の特別養護老人ホーム以外の施設を利用したい理由は、「家族が精神的・身体的に疲れているため」(49.2%)、「将来の介護に不安を感じるため」(46.1%)が上位に挙げられている。

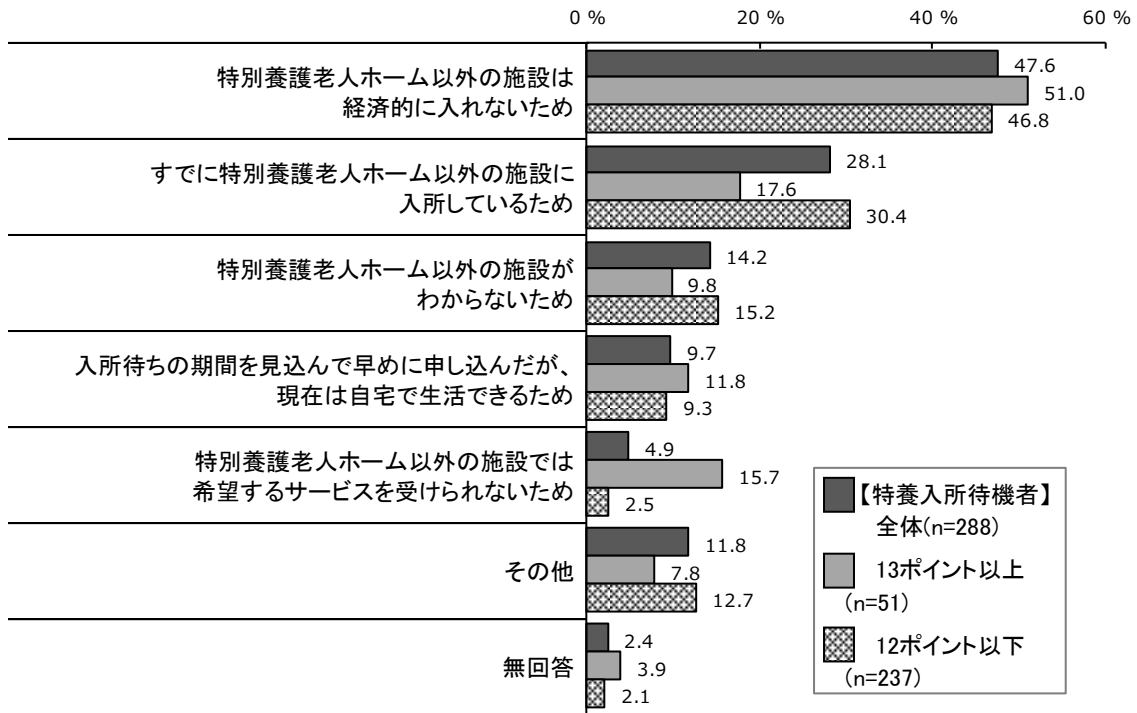
■特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由（複数回答）



### イ. 特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で「特にない」と回答した人の特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」が47.6%で最も高く、「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(28.1%)、「特別養護老人ホーム以外の施設がわからないため」(14.2%)と続いている。

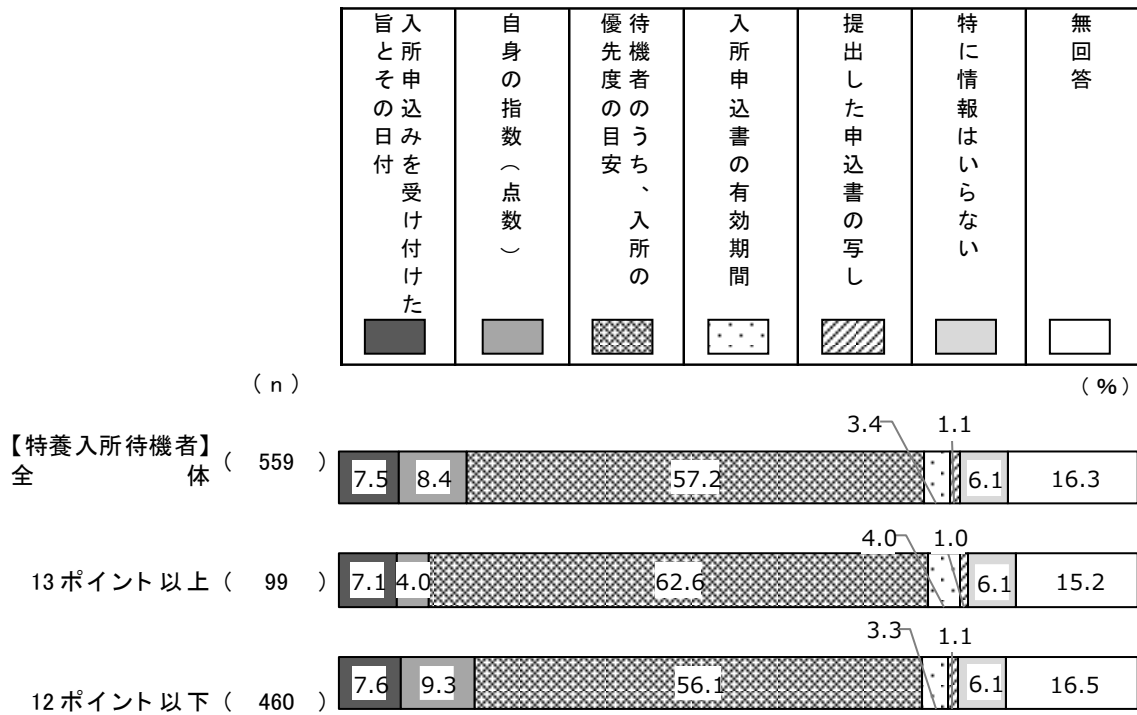
■特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由（複数回答）



### (7) 入所申込み後に欲しい情報（連絡）

○「待機者のうち、入所の優先度の目安」が最も高く 57.2%となっている。

■入所申込み後に欲しい情報（連絡）

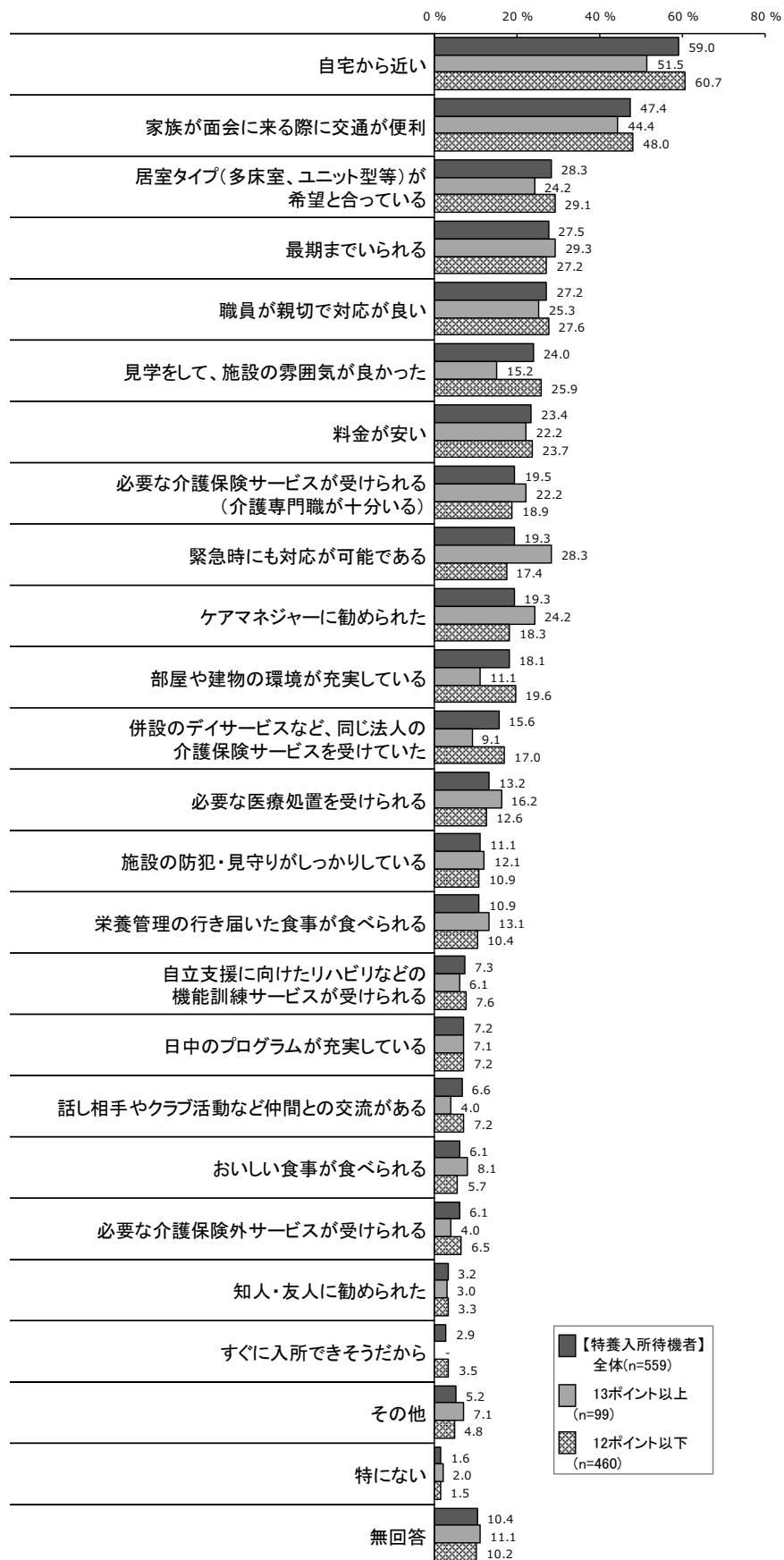




## (8) 入所申込みをした特別養護老人ホームを選択した理由

○「自宅から近い」が59.0%で最も高く、「家族が面会に来る際に交通が便利」(47.4%)と続いている。

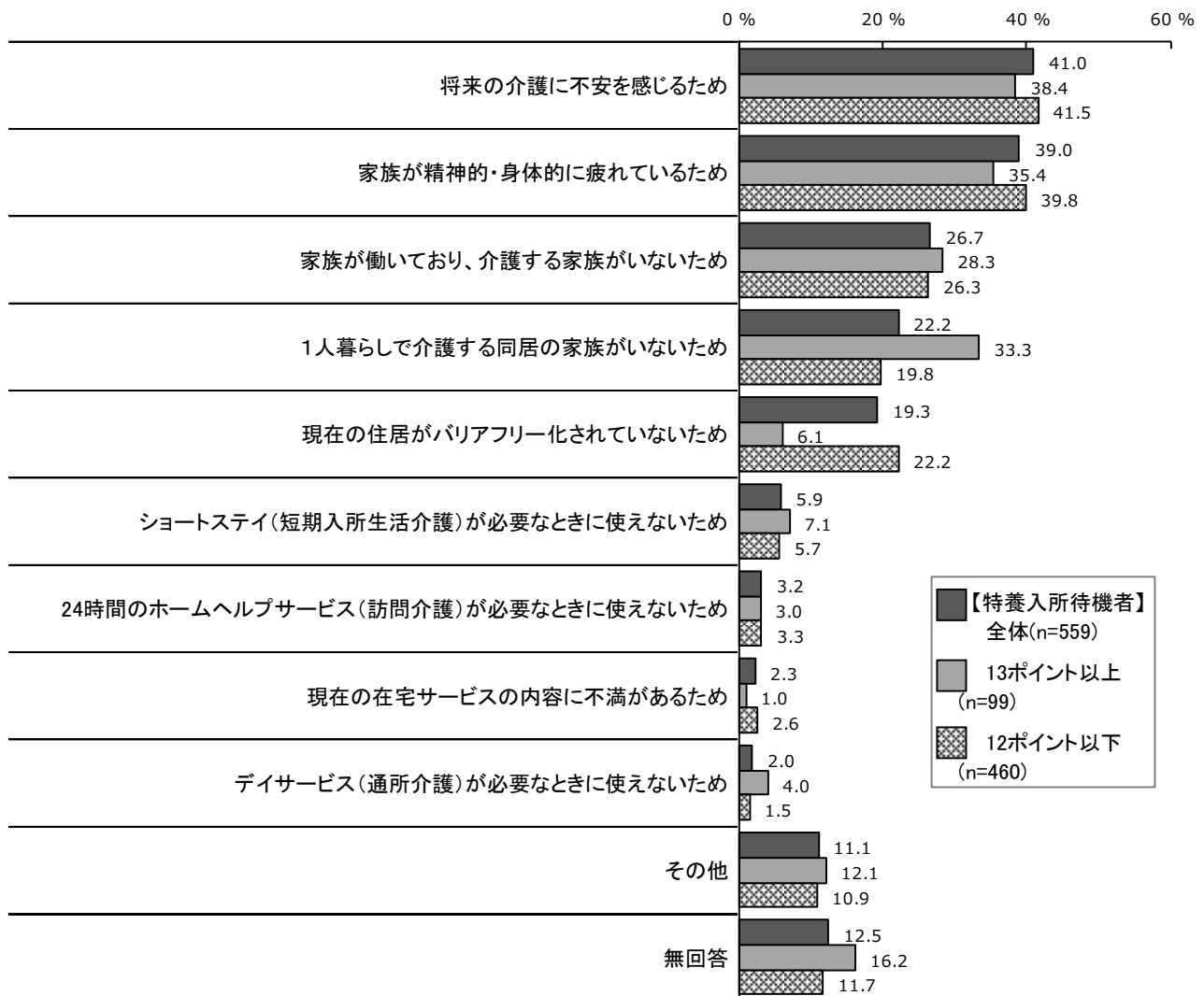
■入所申込みをした特別養護老人ホームを選択した理由(複数回答)



## (9) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由

○「将来の介護に不安を感じるため」が41.0%で最も高く、「家族が精神的・身体的に疲れているため」(39.0%)と続いている。

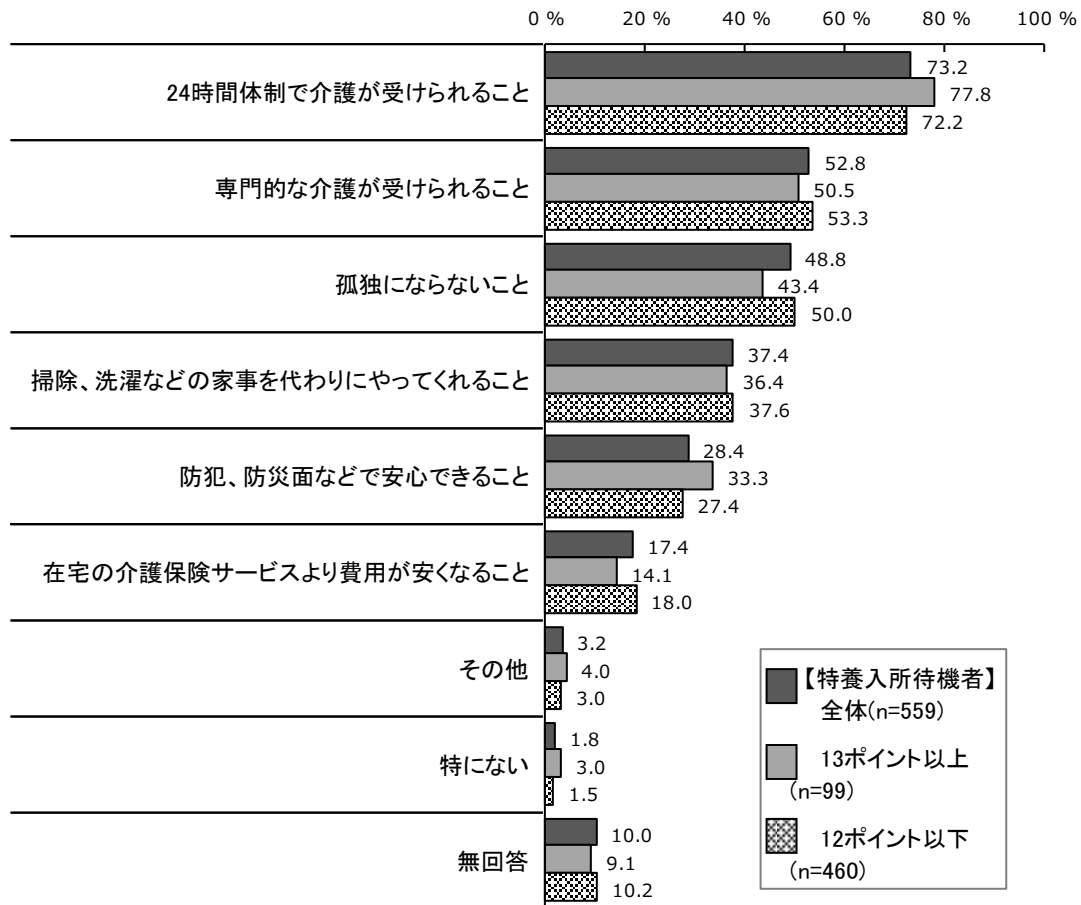
■特別養護老人ホームを申し込んだ理由(複数回答)



## (10) 特別養護老人ホームに期待すること

- 「24時間体制で介護が受けられること」が73.2%で最も高く、「専門的な介護が受けられること」(52.8%)、「孤独にならないこと」(48.8%)と続いている。

■特別養護老人ホームに期待すること（複数回答）



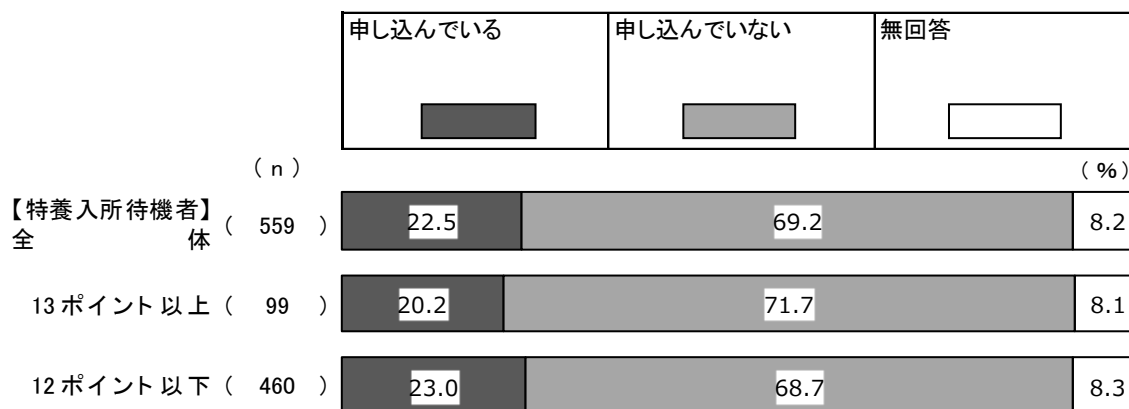
## (11) 区外の特別養護老人ホームの入所申込み状況

### ① 区外の特別養護老人ホームの入所申込みの状況

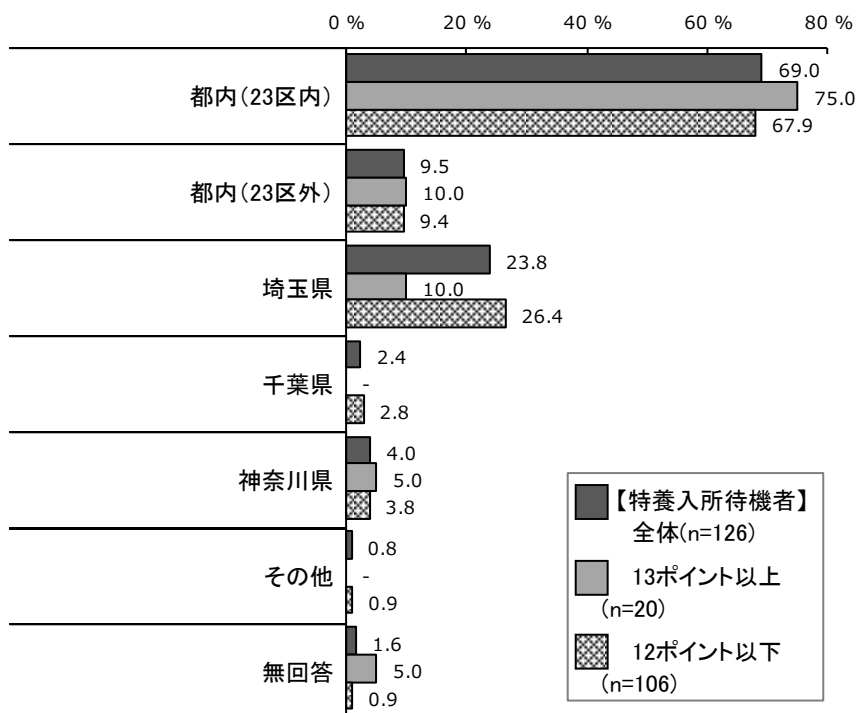
○区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」人は 22.5%、「申し込んでいない」人は 69.2%となっている。

○区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」と回答した人の入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所は、「都内（23区内）」が 69.0%で最も高く、次いで「埼玉県」が 23.8%となっている。

■区外の特別養護老人ホーム入所申込みの状況



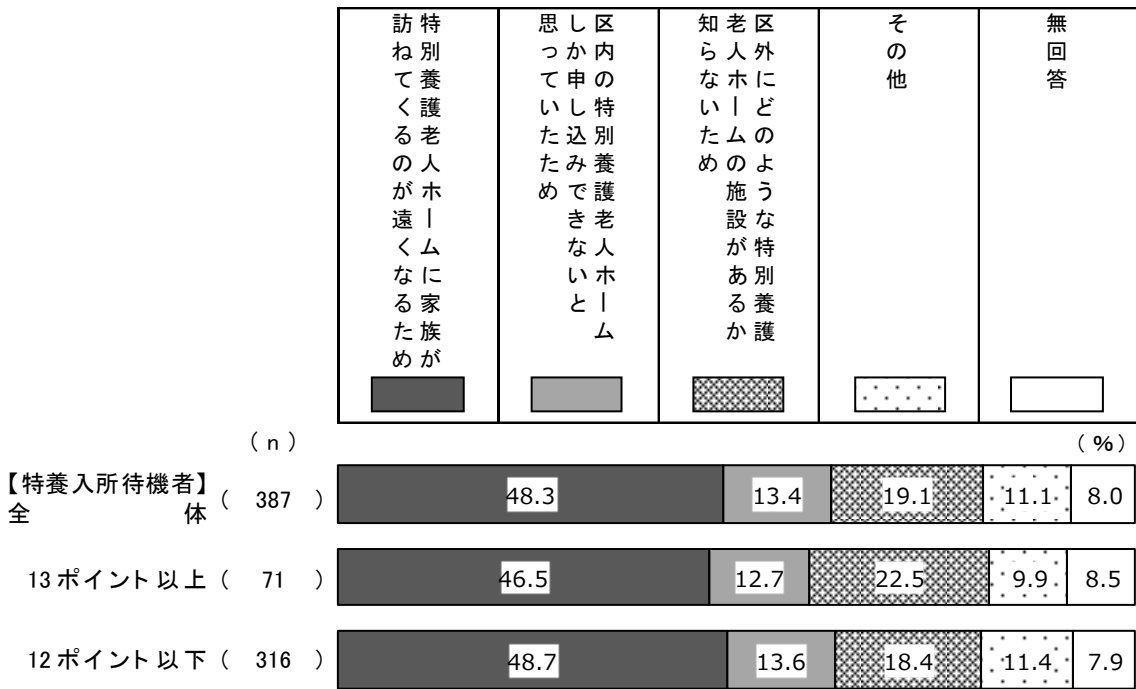
■申し込んでいる特別養護老人ホームの場所（複数回答）



② 区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由

○区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいない」と回答した人の申し込まない理由は、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」が48.3%で最も高い。「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」は19.1%となっている。

■区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由



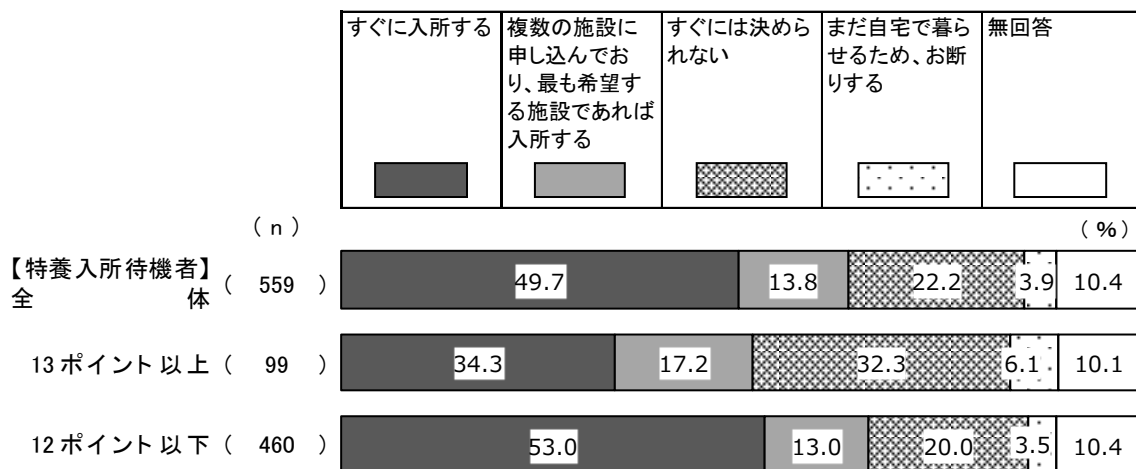
(12) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

① 連絡がきた場合の対応

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」が49.7%で最も高く、「複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する」(13.8%)とあわせ、入所に積極的な人が6割超となっている。

○「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」を合わせた“すぐに入所しない”は2割半ばとなっている。

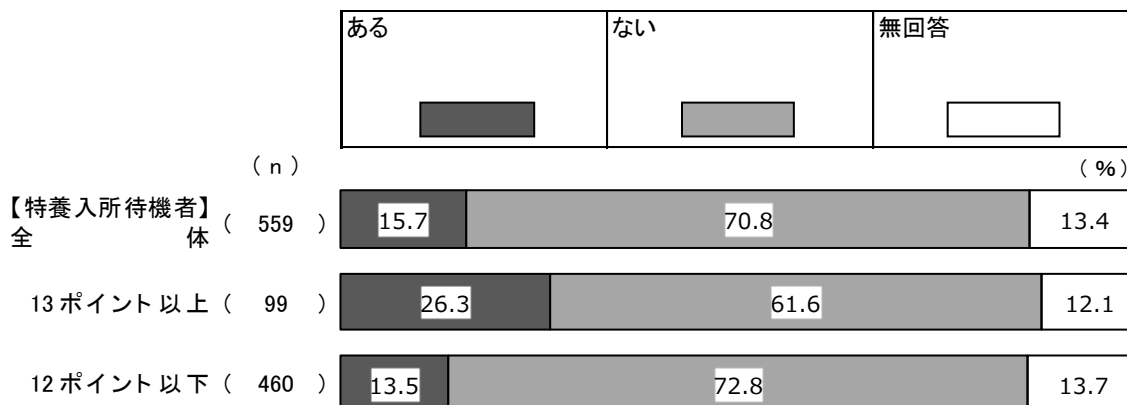
■連絡がきた場合の対応



## ② 入所案内の連絡を辞退した経験

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡があった際に断った経験が「ある」は15.7%、「ない」は70.8%となっている。

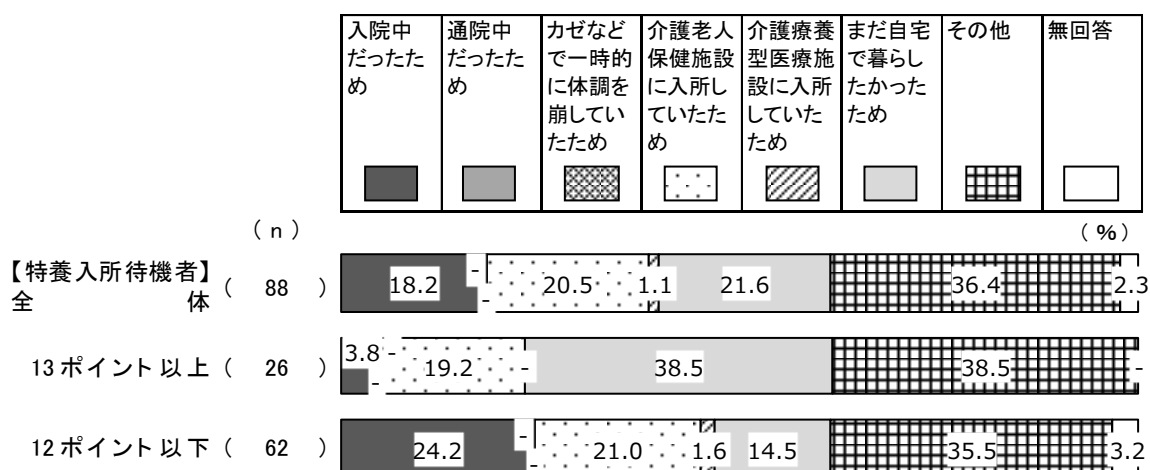
### ■入所案内の連絡を辞退した経験



## ③ 辞退した理由

○入所辞退の経験があると回答した人の辞退理由は、「まだ自宅で暮らしたかったため」が21.6%、「介護老人保健施設に入所していたため」が20.5%、「入院中だったため」が18.2%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値）。

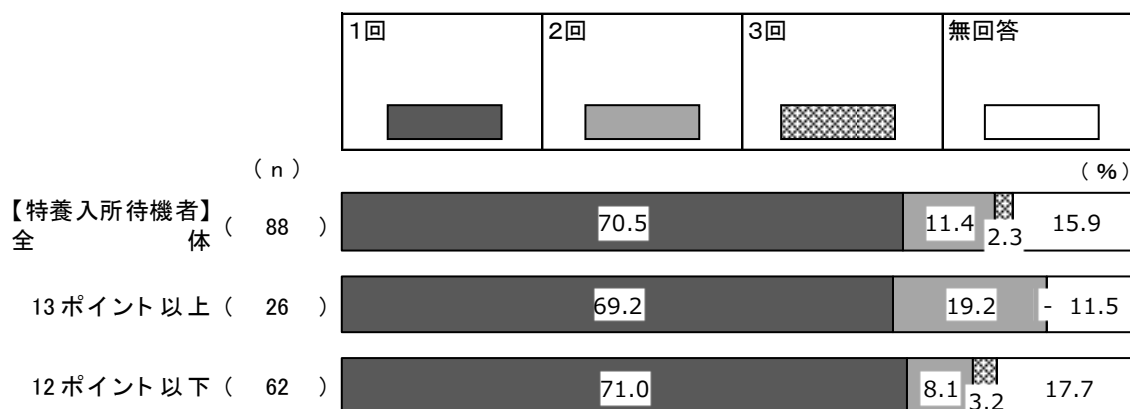
### ■辞退した理由



## ④ 辞退した回数

○入所辞退の経験があると回答した人の入所辞退の回数は、「1回」が70.5%、「2回」が11.4%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値）。

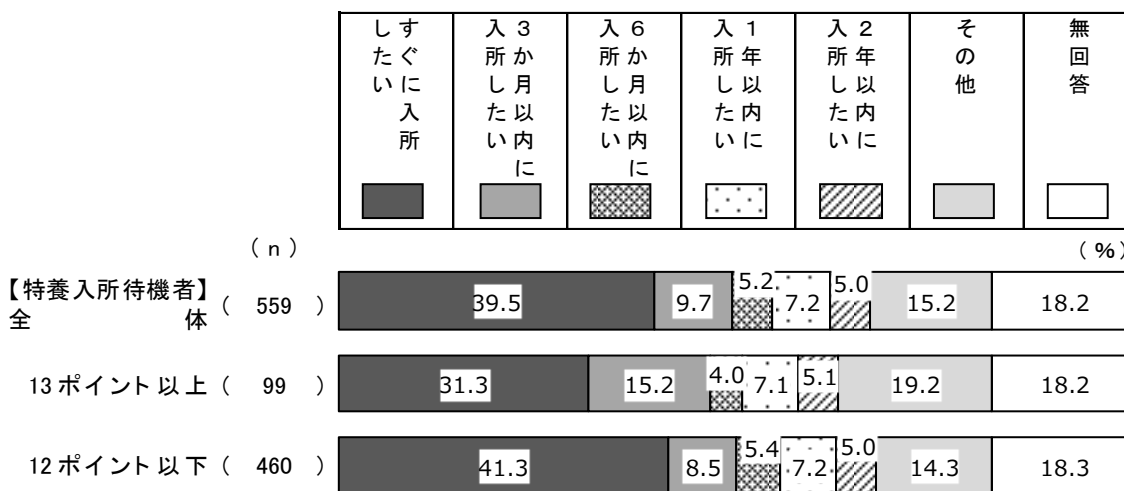
### ■辞退した回数



### ⑤ 入所の希望時期

○入所の希望時期は「すぐに入所したい」が39.5%で最も高い。

■入所の希望時期

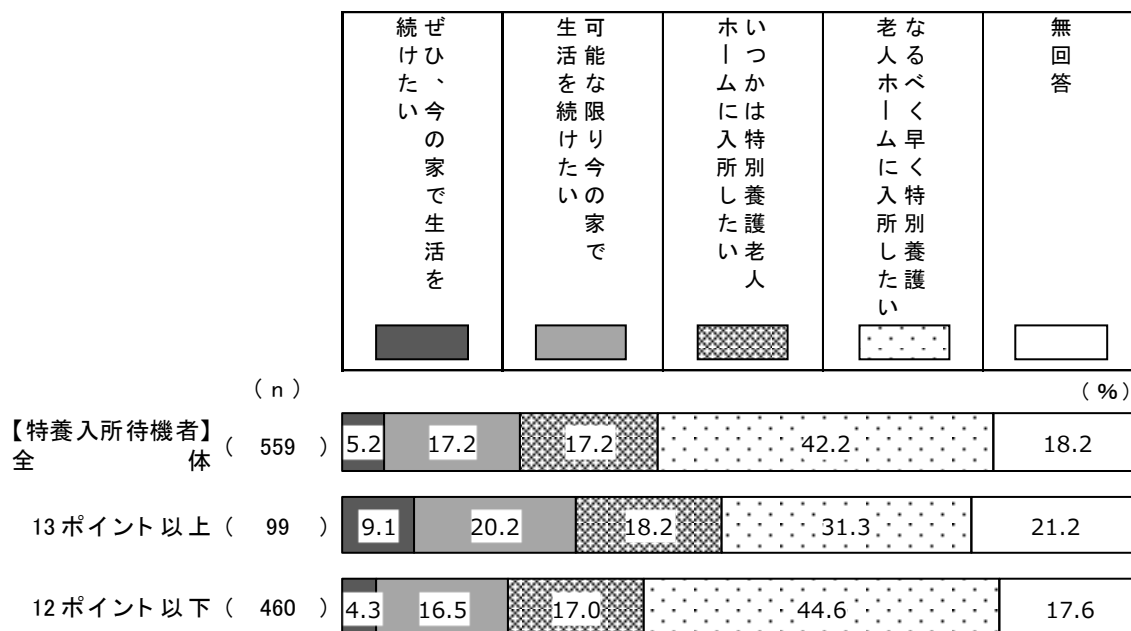


### (13) サービス等の充実による在宅生活の継続希望

#### ① 在宅生活の継続希望

○「ぜひ、今の家で生活を続けたい」「可能な限り今の家で生活を続けたい」「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」を合わせた“当分は在宅生活を継続する”は約4割で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」と同程度となっている。

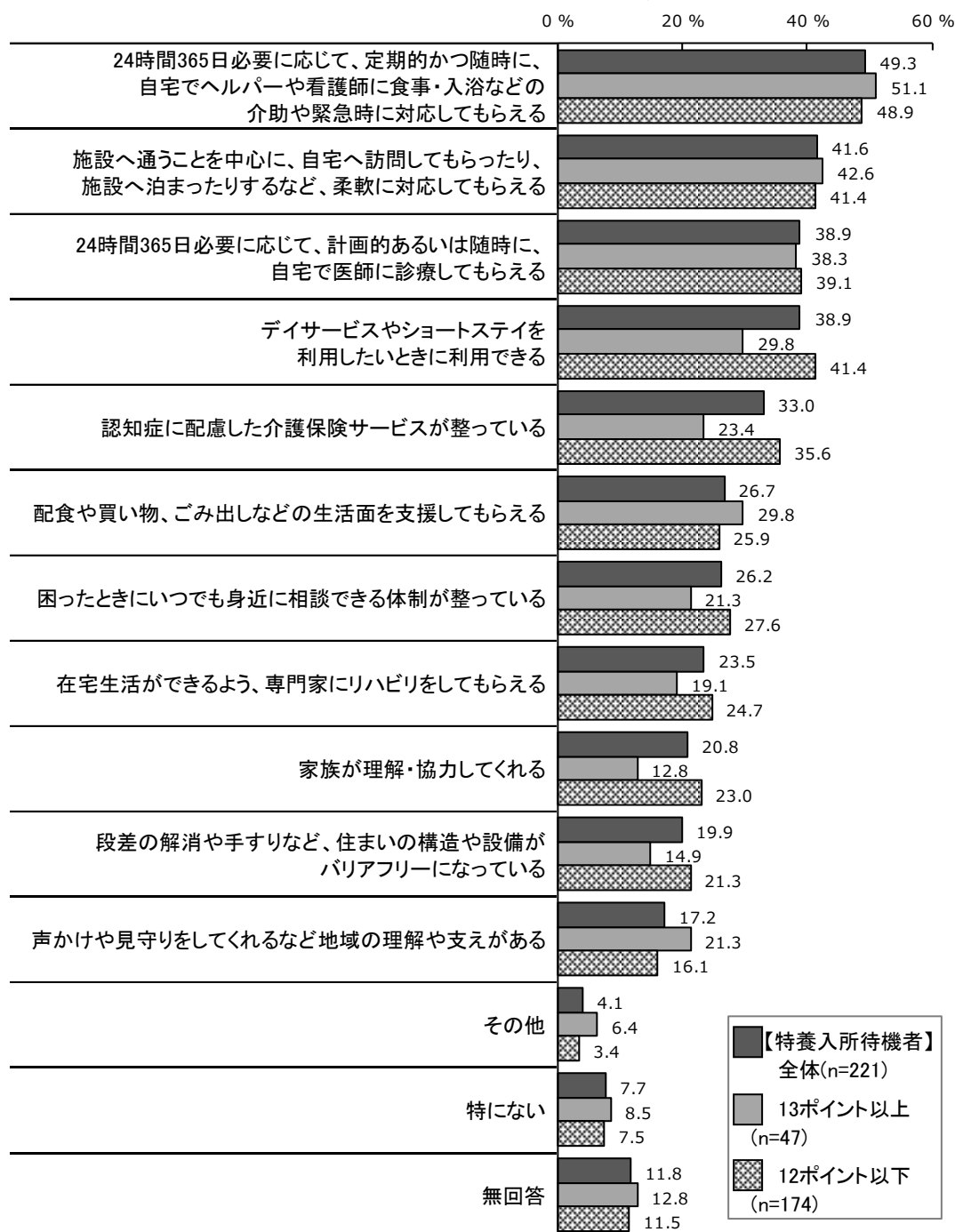
■在宅生活の継続希望



## ② 在宅生活を継続できる在宅サービス

- “当分は在宅生活を継続する”と回答した人の在宅生活を可能にすると思うサービスは、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」が49.3%で最も高く、「施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる」(41.6%)、「24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえる」(38.9%)、「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(38.9%)と続いている。

■在宅生活を継続できる在宅サービス（複数回答）



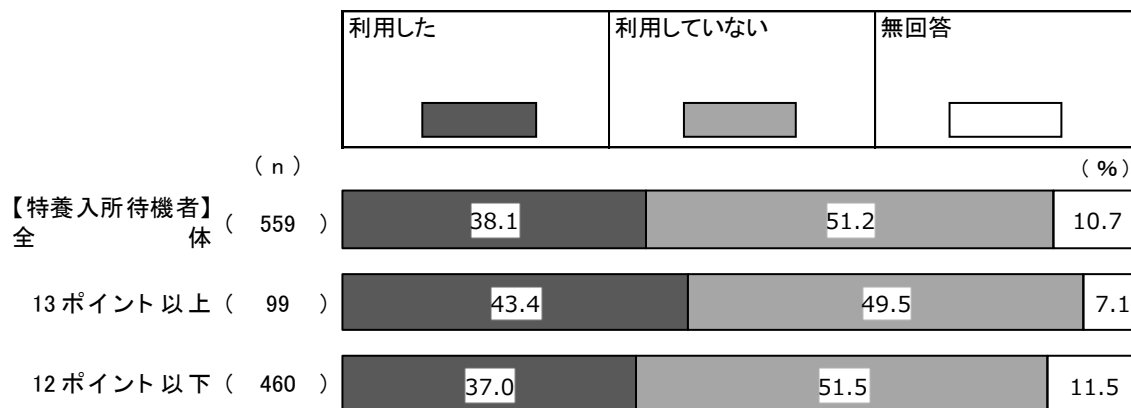


## (14) ショートステイの利用状況

### ① 過去1年間のショートステイの利用状況

○平成30年12月～令和元年11月の過去1年間にショートステイを「利用した」が38.1%、「利用していない」が51.2%となっている。

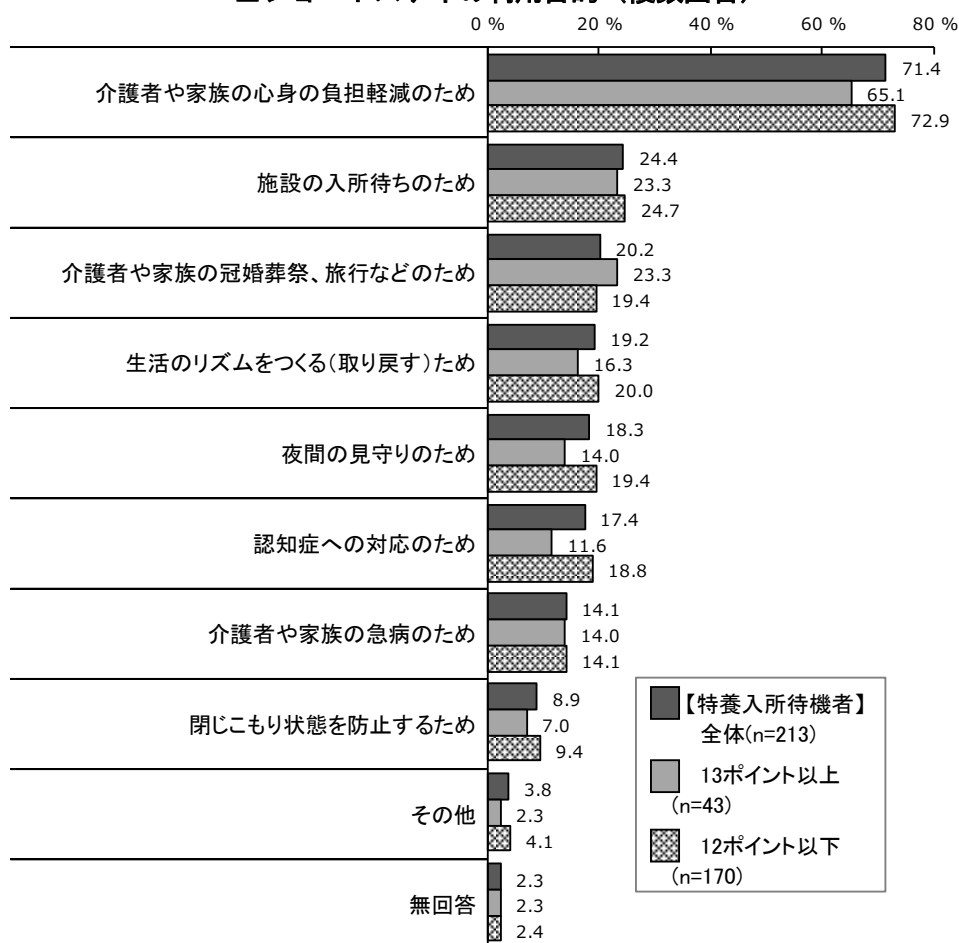
■過去1年間のショートステイの利用状況



### ② ショートステイの利用目的

○“過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の利用目的は、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」が71.4%で最も高い。

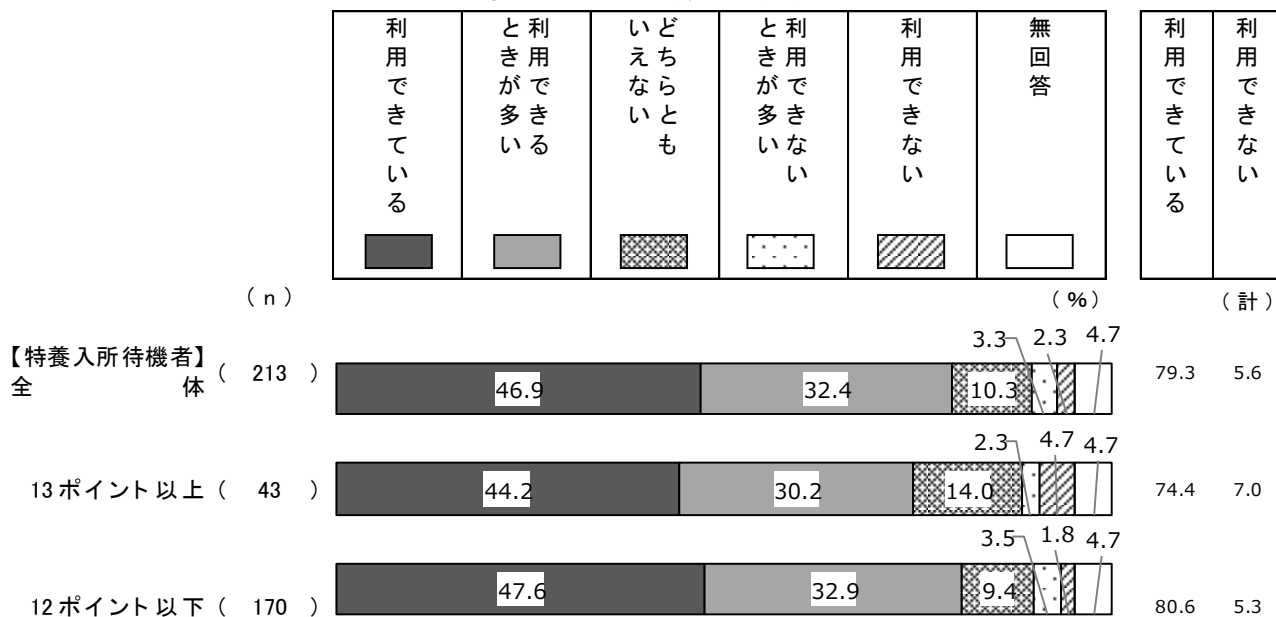
■ショートステイの利用目的（複数回答）



### ③ 希望している時期の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望している時期の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が79.3%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）を大きく上回っている。

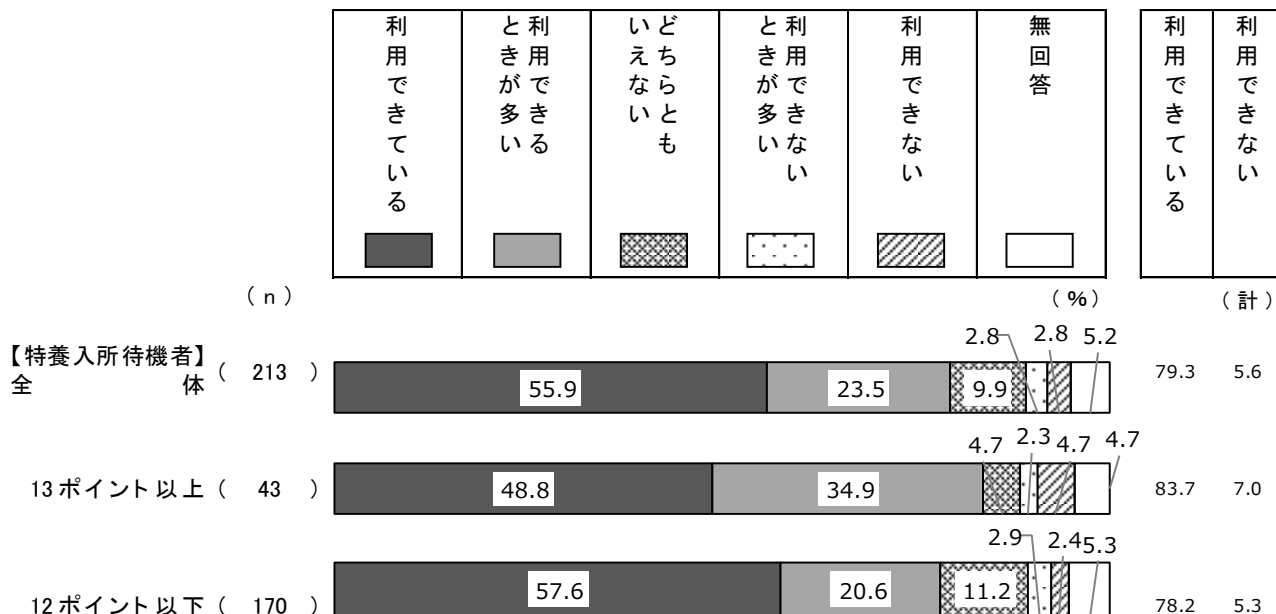
■希望している時期の利用状況



### ④ 希望施設の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望施設の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が79.3%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）を大きく上回っている。

■希望施設の利用状況

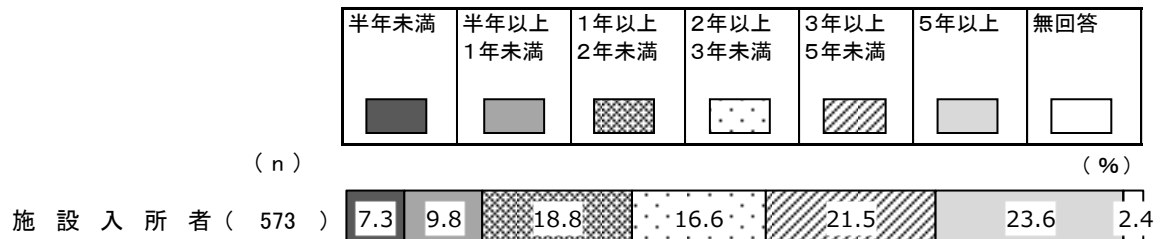


## 11 入所施設の状況

### (1) 入所期間

○現在の入所期間は、「5年以上」が23.6%で最も高く、「3年以上5年未満」(21.5%)を合わせた“3年以上”が4割半ばとなっている。

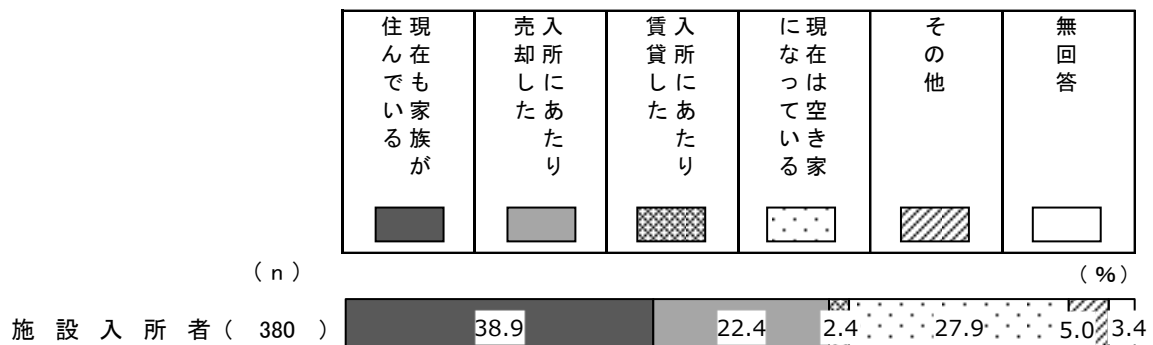
■入所期間



### (2) 入所前の住居の状況

○入所前の住居が「自分または家族などの持ち家」だった人の現在の住居の状況は、「現在も家族が住んでいる」が38.9%で最も高く、「現在は空き家になっている」(27.9%)、「入所にあたり売却した」(22.4%)と続いている。

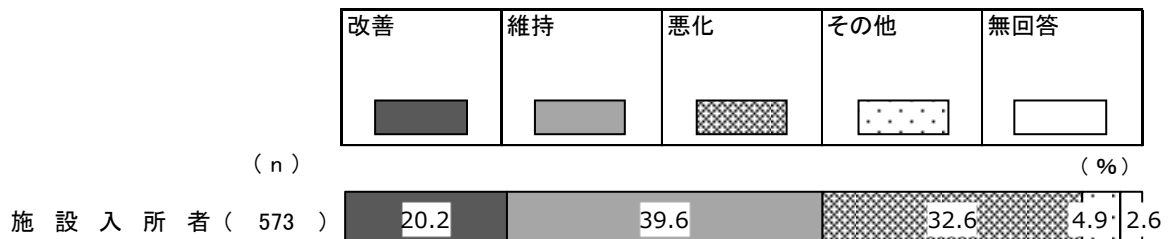
■入所前の住居の状況



### (3) 施設への入所前後での要介護度の変化

○施設への入所前後での要介護度の変化をみると、「改善」が20.2%、「維持」が39.6%、「悪化」が32.6%となっている。

■施設への入所前後での要介護度の変化

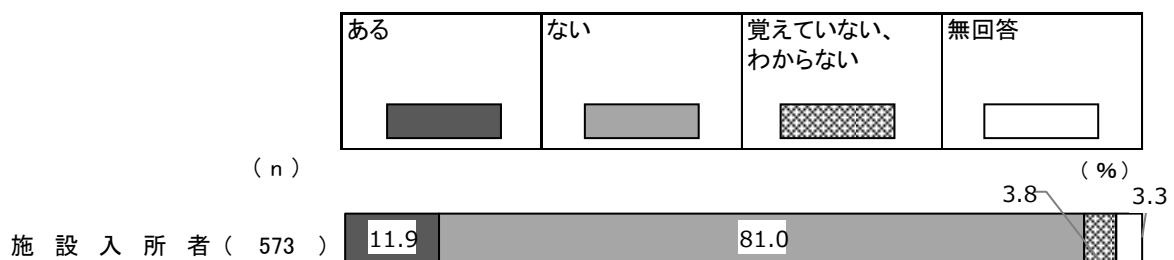


### (4) 施設入所者の特別養護老人ホームへの申込み状況

#### ① 申込み経験の有無

○特別養護老人ホームへの入所申込みの経験が「ある」は11.9%、「ない」が81.0%となっている。

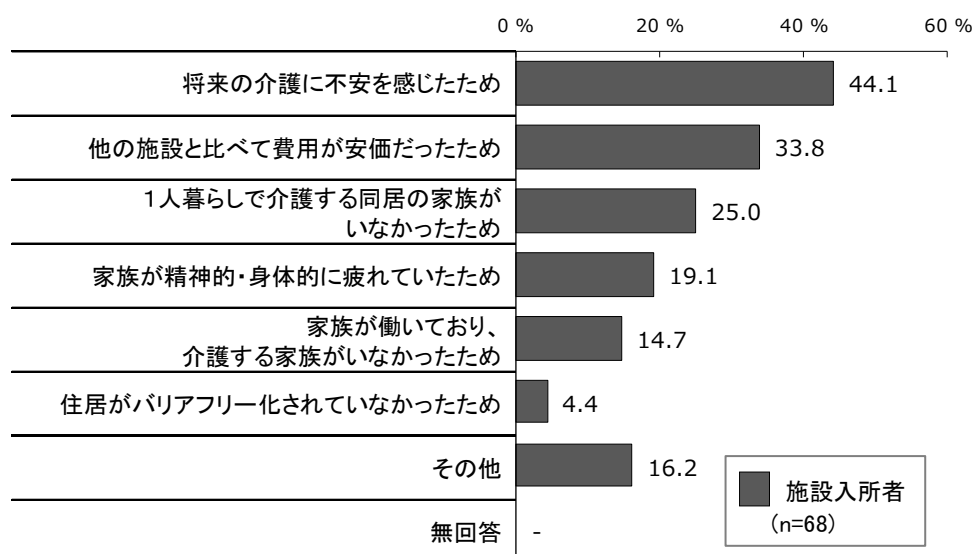
■申込み経験の有無



#### ② 申し込んだ理由

○特別養護老人ホームへの入所申込みの経験があると回答した人のその理由は、「将来の介護に不安を感じたため」が44.1%で最も高く、「他の施設と比べて費用が安価だったため」(33.8%)、「1人暮らしで介護する同居の家族がいなかったため」(25.0%)と続いている(ただし、サンプル数が少ないため参考値)。

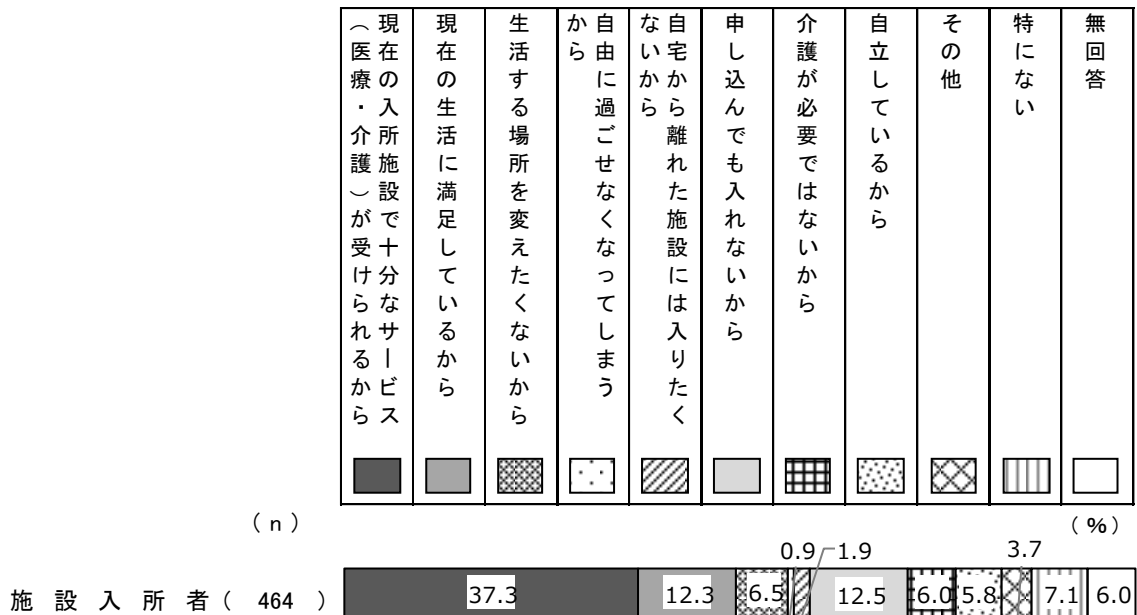
■申し込んだ理由 (複数回答)



### ③ 申し込んでいない理由

○特別養護老人ホームへの入所申込みの経験が「ない」と回答した人の理由は、「現在の入所施設で十分なサービス（医療・介護）が受けられるから」が37.3%で最も高く、「申し込んでも入れないから」（12.5%）、「現在の生活に満足しているから」（12.3%）と続いている。

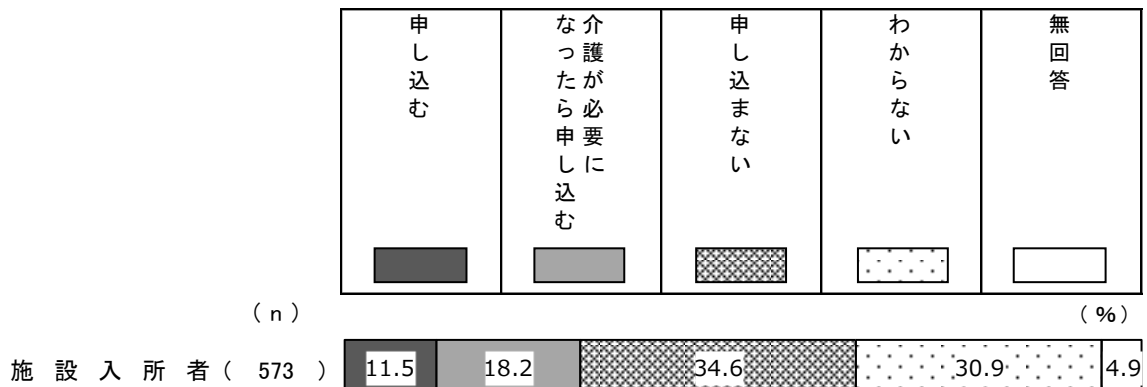
■申し込んでいない理由



### ④ 特別養護老人ホームへの今後の入所意向

○「申し込む」が11.5%、「申し込まない」が34.6%となっている。一方で、「わからない」は30.9%となっている。

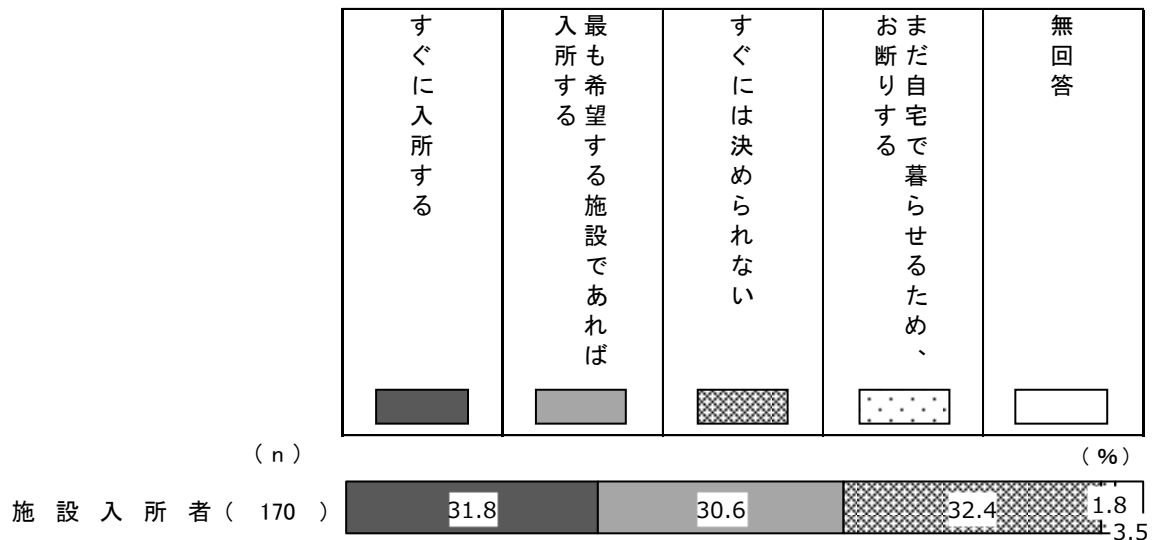
■特別養護老人ホームへの今後の入所意向



⑤ 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

- 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、“入所に積極的な人”（「すぐに入所する」と「最も希望する施設であれば入所する」の合計）は6割超となっている。
- 「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」を合わせた“すぐに入所しない”は3割半ばとなっている。

■連絡がきた場合の対応

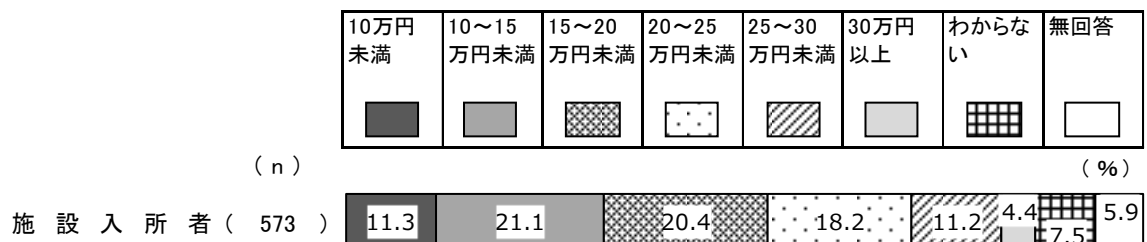


(5) 入所施設の状況

① 入所施設の1か月の利用料

- 「10万円未満」が11.3%、「10万円以上20万円未満」が4割超、「20万円以上」が3割超となっている。

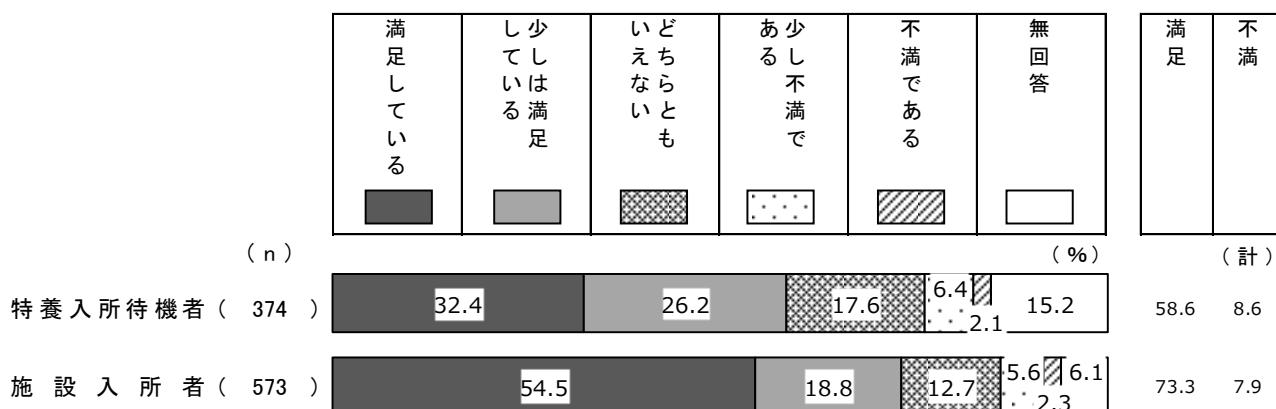
■入所施設の1か月の利用料



## ② 入所施設の満足度

○ “満足”（「満足している」と「少しは満足している」の合計）は、特養入所待機者で58.6%、施設入所者で73.3%と、“不満”（「不満である」と「少し不満である」の合計）を大きく上回っている。

■入所施設の満足度



※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

### 【特養入所待機者】

○現在の生活場所をみると、いずれの施設でも“満足”が“不満”を上回っている。

### ■入所施設の満足度<特養入所待機者：現在の生活場所別>

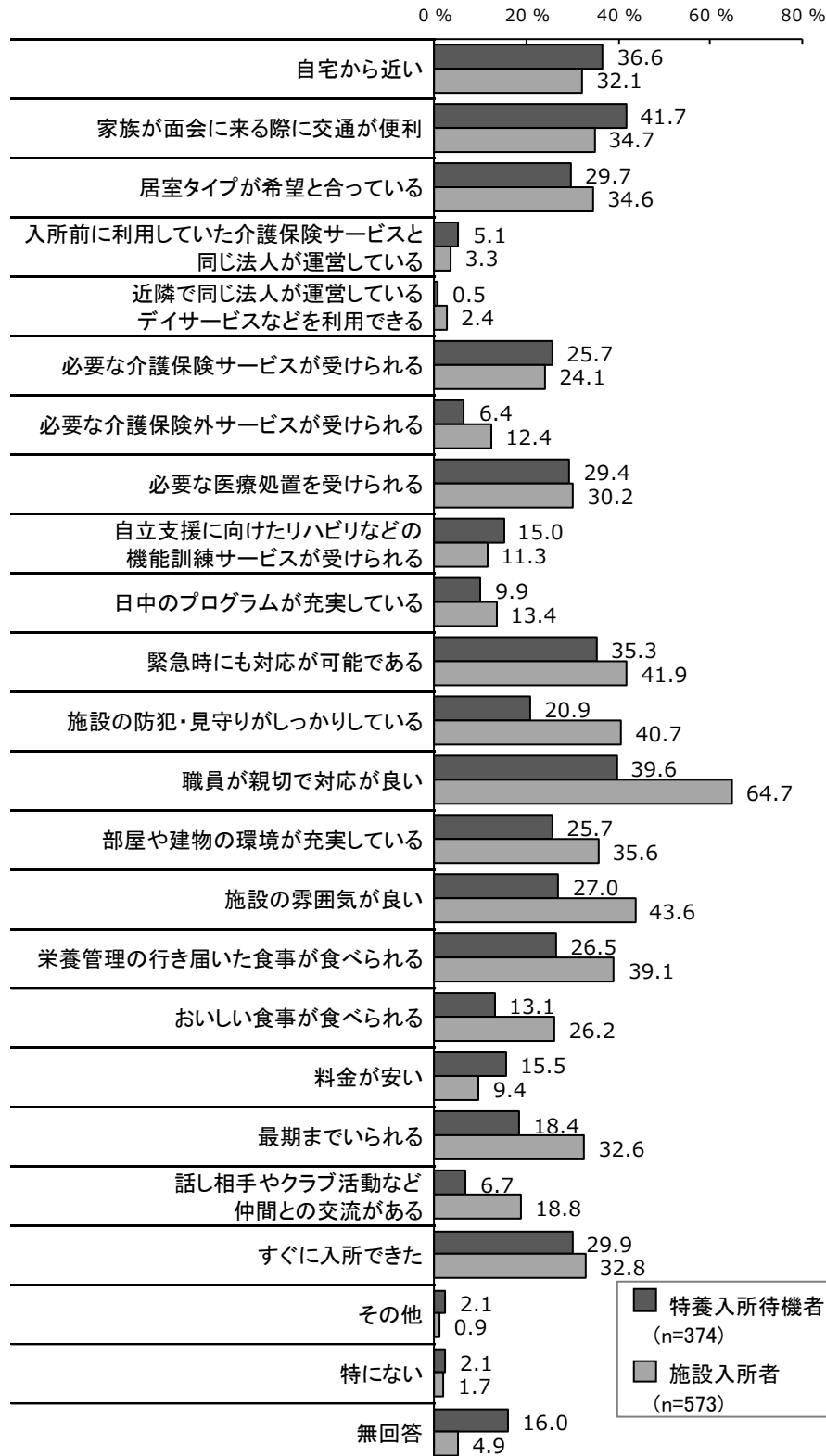
	n	満足している	少しは満足している	どちらでもない	少し不満である	不満である	無回答
特養入所待機者	374	32.4	26.2	17.6	6.4	2.1	15.2
老健・病院に入院中・介護療養型医療施設	206	32.5	25.7	16.5	4.9	2.4	18.0
認知症高齢者グループホーム	27	40.7	25.9	11.1	11.1	3.7	7.4
有料老人ホーム・都市型軽費老人ホーム・サ高住・その他	86	26.7	27.9	20.9	11.6	1.2	11.6
特別養護老人ホーム	55	36.4	25.5	20.0	1.8	1.8	14.5

※ 現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

### ③ 入所施設の満足な点

- 特養入所待機者では、「家族が面会に来る際に交通が便利」(41.7%)、「職員が親切で対応が良い」(39.6%)、「自宅から近い」(36.6%)、「緊急時にも対応が可能である」(35.3%)が上位に挙がっている。
- 施設入所者では、「職員が親切で対応が良い」が64.7%で最も高く、「施設の雰囲気が良い」(43.6%)、「緊急時にも対応が可能である」(41.9%)、「施設の防犯・見守りがしっかりしている」(40.7%)、「栄養管理の行き届いた食事が食べられる」(39.1%)と続いている。

■入所施設の満足な点（複数回答）



※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

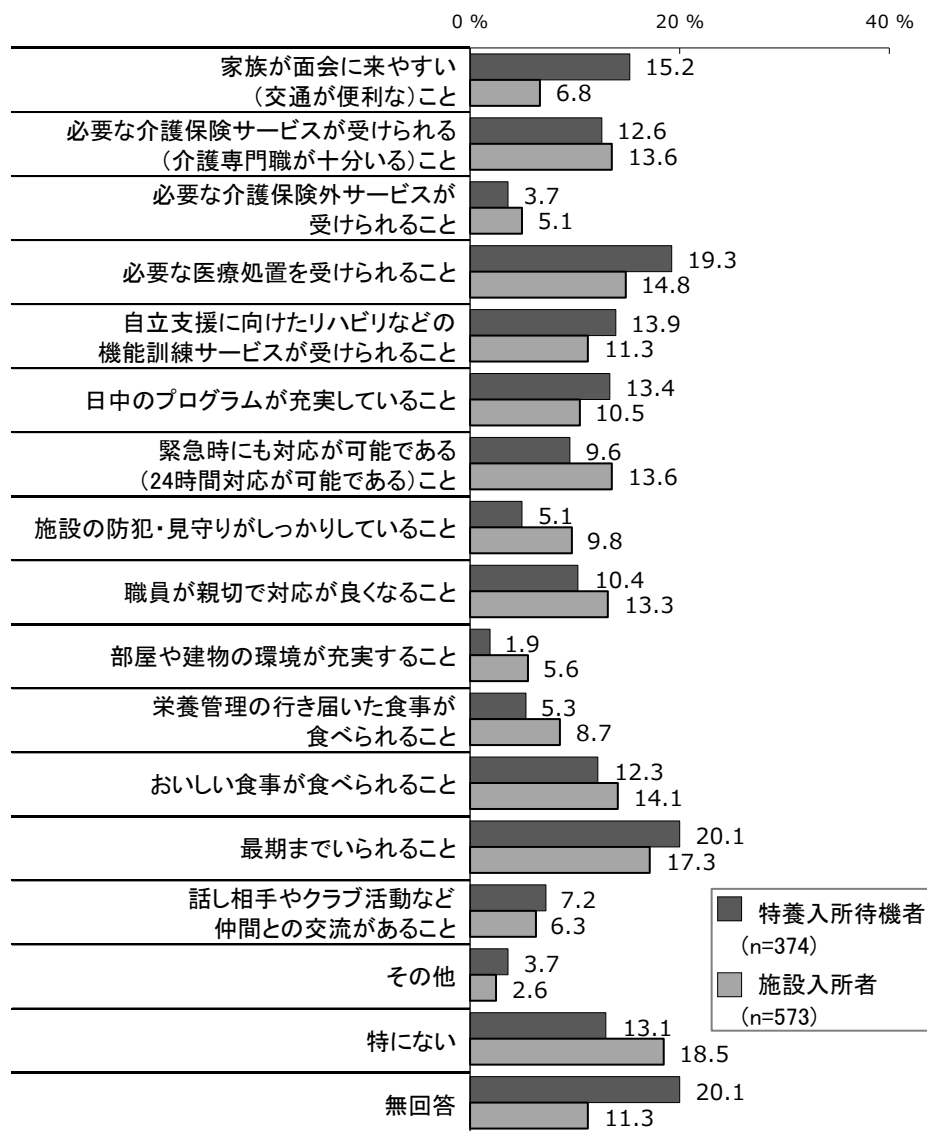


#### ④ 入所施設の今後の充実で期待すること

○特養入所待機者では、「最期までいられること」(20.1%)、「必要な医療処置を受けられること」(19.3%)が上位に挙がっている。

○施設入所者では、「最期までいられること」(17.3%)、「必要な医療処置を受けられること」(14.8%)が上位に挙がっている。また、「特にない」が2割近くとなっている。

■入所施設の今後の充実で期待すること (〇は3つまで)

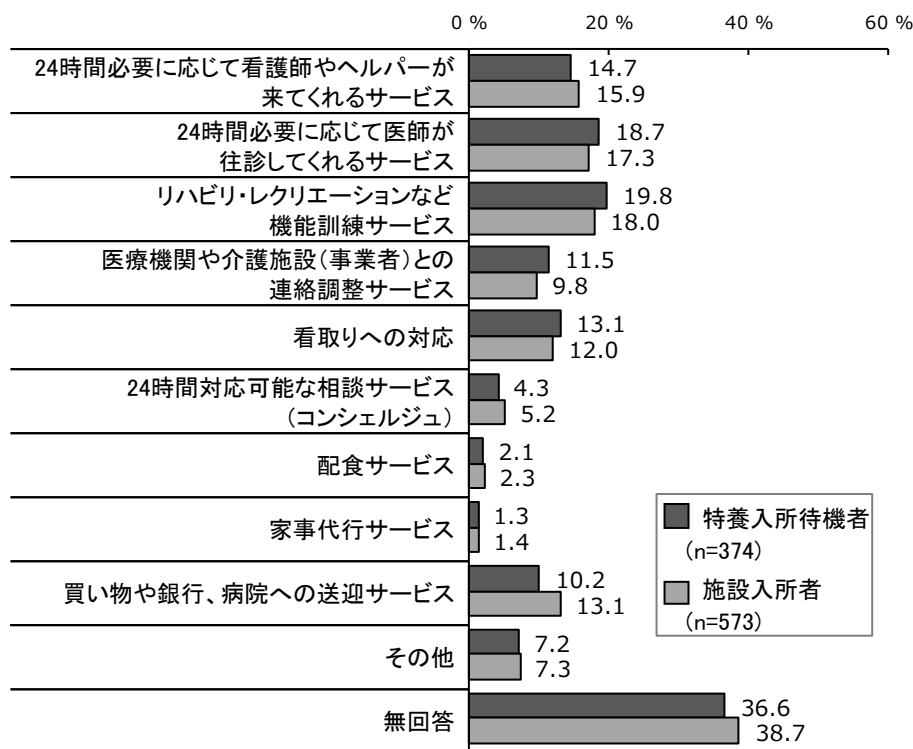


※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

### ⑤ 現在の入所施設にあるとよいサービス

- 特養入所待機者では、「リハビリ・レクリエーションなど機能訓練サービス」(19.8%)、「24時間必要に応じて医師が往診してくれるサービス」(18.7%)、「24時間必要に応じて看護師やヘルパーが来てくれるサービス」(14.7%)、「看取りへの対応」(13.1%)が上位に挙げられている。
- 施設入所者では、「リハビリ・レクリエーションなど機能訓練サービス」(18.0%)、「24時間必要に応じて医師が往診してくれるサービス」(17.3%)、「24時間必要に応じて看護師やヘルパーが来てくれるサービス」(15.9%)が上位に挙げられている。

■現在の入所施設にあるとよいサービス (〇は3つまで)

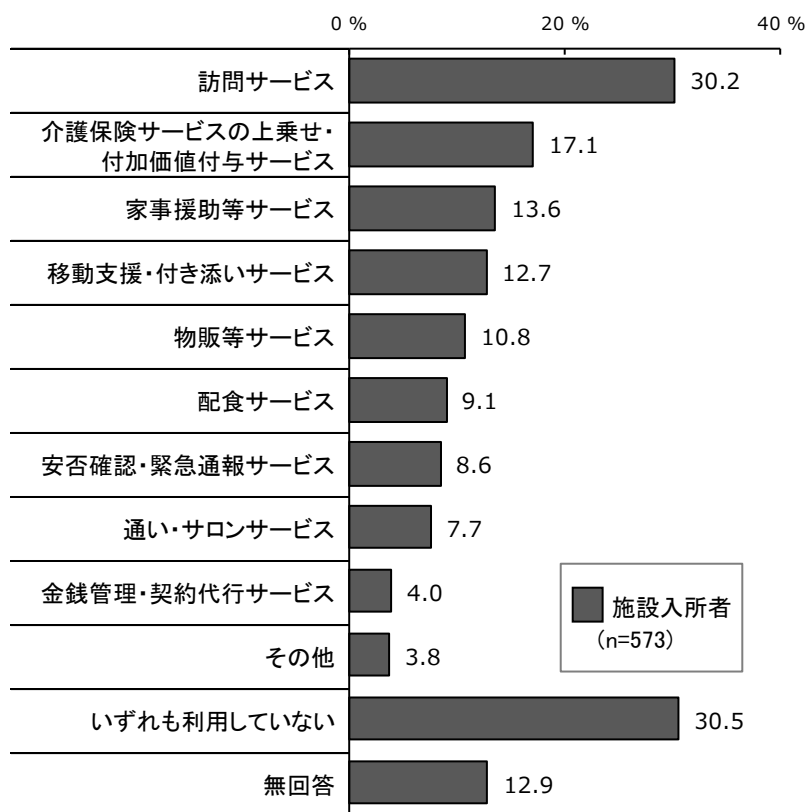


※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が自宅以外の方を対象に聞いた

### ⑥ 入所施設で利用している介護保険外サービス

- 「訪問サービス」が 30.2%で最も高く、「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」(17.1%)、「家事援助等サービス」(13.6%)、「移動支援・付き添いサービス」(12.7%)と続いている。
- 「いずれも利用していない」は約3割となっている。

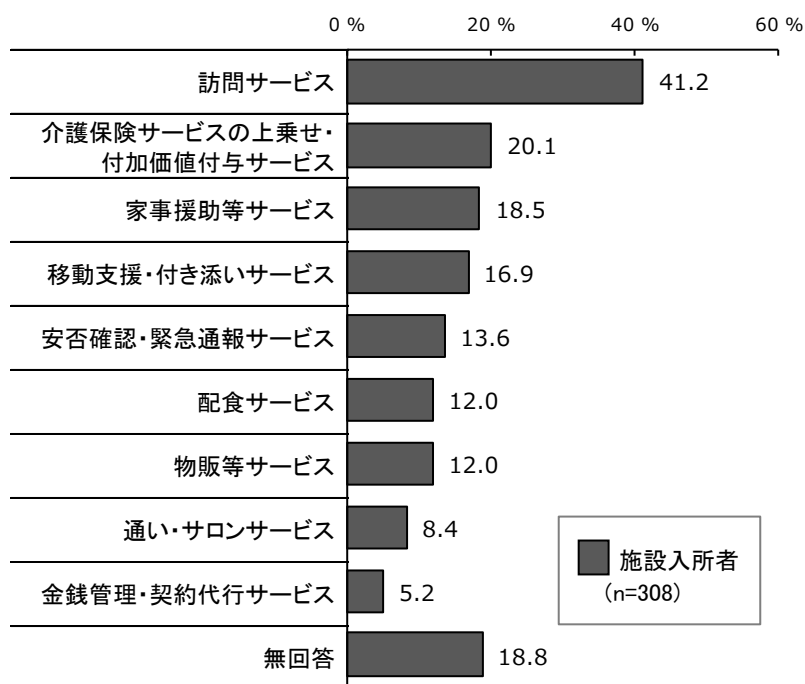
■入所施設で利用している介護保険外サービス（複数回答）



⑦ 満足している介護保険外サービスとその理由

○「訪問サービス」が 41.2%で最も高く、「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」(20.1%)、「家事援助等サービス」(18.5%)、「移動支援・付き添いサービス」(16.9%)と続いている。

■満足している介護保険外サービス（複数回答）



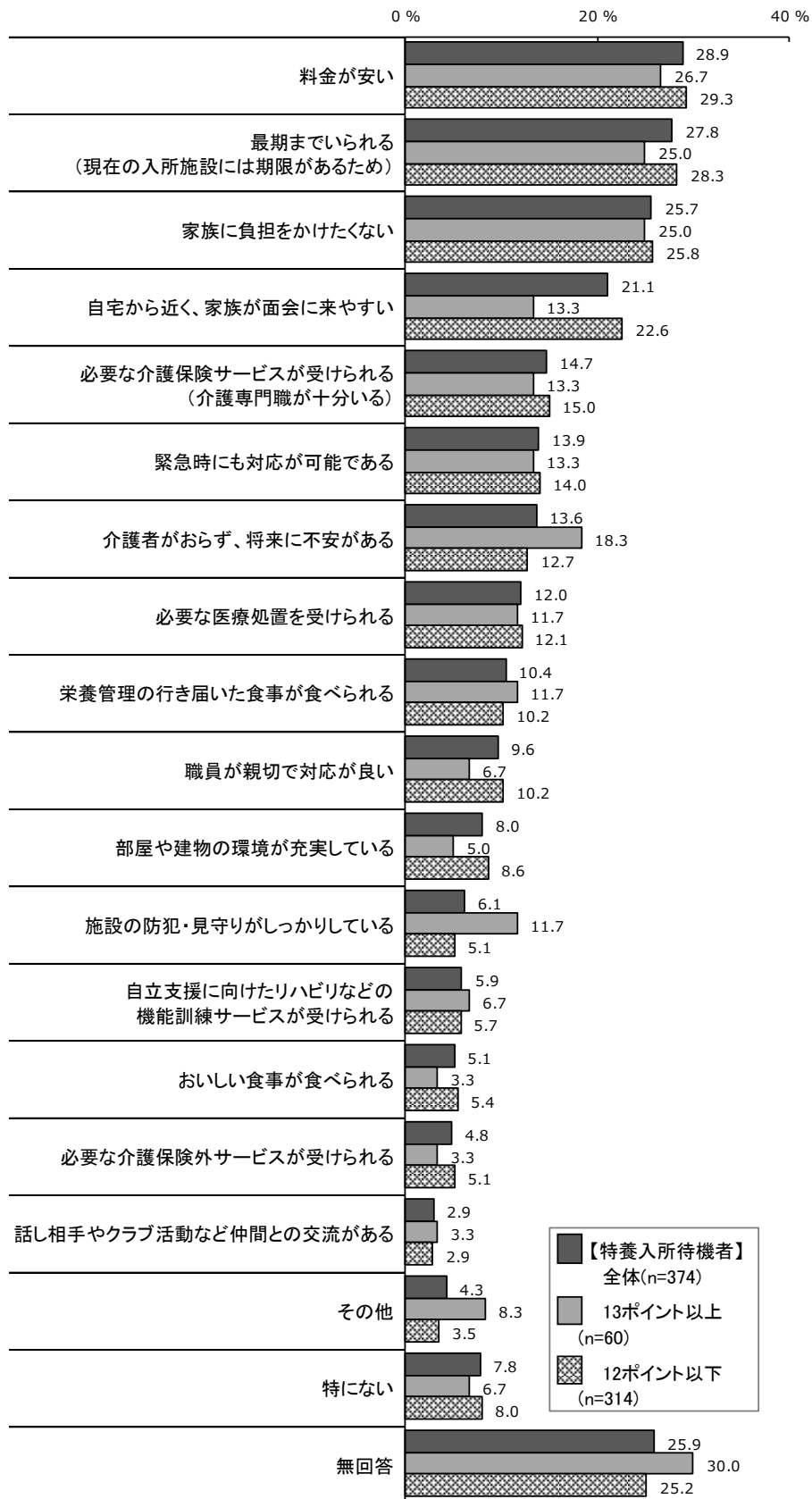
■利用している介護保険外サービス別の満足している理由（複数回答）

サービス	n	理由 (%)										
		利用回数や時間が希望に合う	技術的にしっかりしている	料金が安い	契約内容どおりのサービス提供である	サービスについての説明が十分である	不満や要望をしっかりと聞いてもらえる	担当者と気が合う	プライバシーへの配慮がしっかりしている	緊急時に対応してくれる	その他	無回答
介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス	62	29.0	27.4	6.5	41.9	8.1	16.1	19.4	6.5	19.4	1.6	12.9
家事援助等サービス	57	40.4	24.6	10.5	54.4	10.5	17.5	17.5	1.8	10.5	-	8.8
訪問サービス	127	48.0	26.0	27.6	22.0	7.9	5.5	10.2	1.6	5.5	3.1	8.7
配食サービス	37	27.0	13.5	16.2	48.6	8.1	18.9	8.1	5.4	2.7	2.7	13.5
物販等サービス	37	43.2	5.4	18.9	35.1	13.5	10.8	2.7	5.4	8.1	-	8.1
安否確認・緊急通報サービス	42	11.9	7.1	9.5	23.8	16.7	26.2	11.9	16.7	38.1	4.8	21.4
移動支援・付き添いサービス	52	32.7	19.2	11.5	28.8	13.5	11.5	17.3	7.7	36.5	3.8	13.5
通い・サロンサービス	26	30.8	11.5	15.4	46.2	7.7	15.4	11.5	3.8	7.7	11.5	11.5
金銭管理・契約代行サービス	16	18.8	12.5	-	25.0	31.3	31.3	18.8	25.0	12.5	-	12.5

### ⑧ 特別養護老人ホームに移りたい理由

○現在の生活場所が自宅以外の特別養護老人ホーム入所待機者の特別養護老人ホームに移りたい理由は、「料金が安い」(28.9%)、「最期までいられる(現在の入所施設には期限があるため)」(27.8%)、「家族に負担をかけたくない」(25.7%)、「自宅から近く、家族が面会に来やすい」(21.1%)が上位に挙げられている。

■特別養護老人ホームに移りたい理由(複数回答)

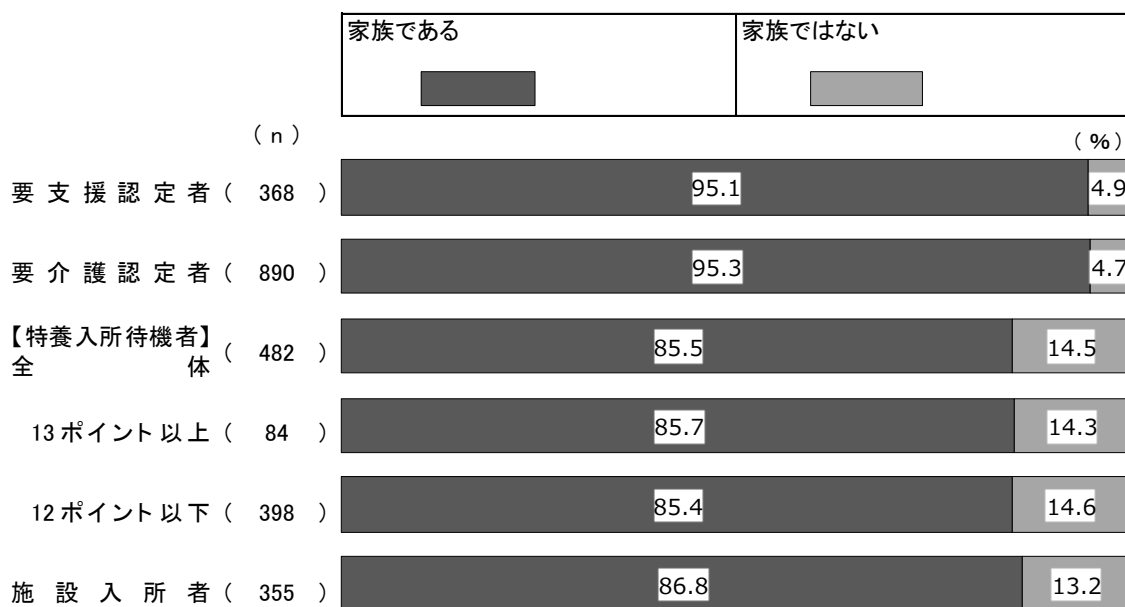


## 12 家族介護の状況

### (1) 主な介護者

○主な介護者が「家族である」と回答した人は、要支援認定者および要介護認定者では9割半ば、特養入所待機者および施設入所者では8割半ばとなっている。

■主な介護者



※ 無回答を除いて集計

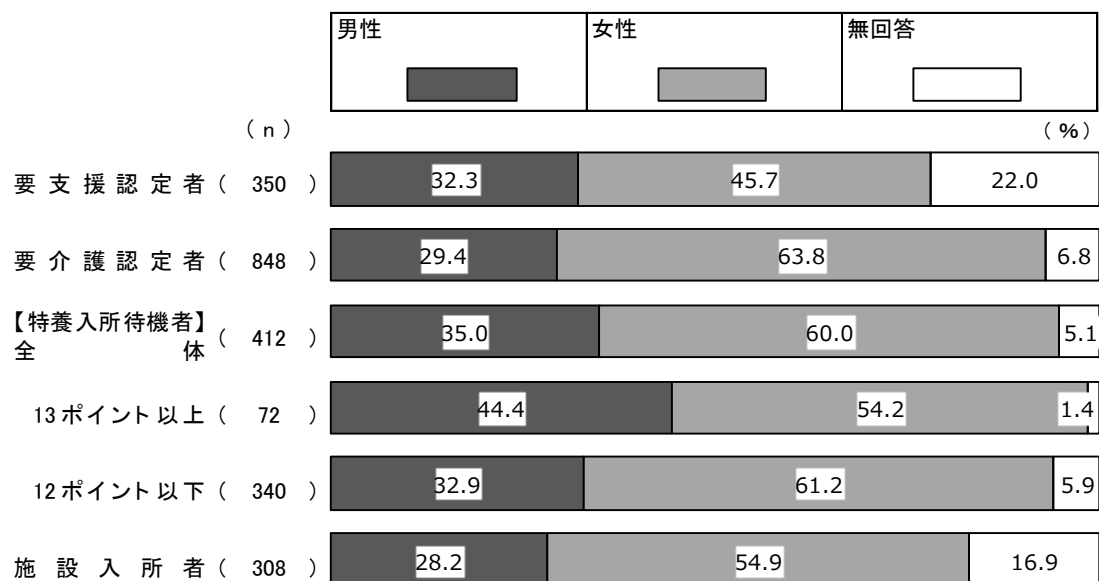
※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

### (2) 主な家族介護者の属性

#### ① 性別

○主な家族介護者の性別は、要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者ともに「女性」が「男性」を上回っている。

■性別

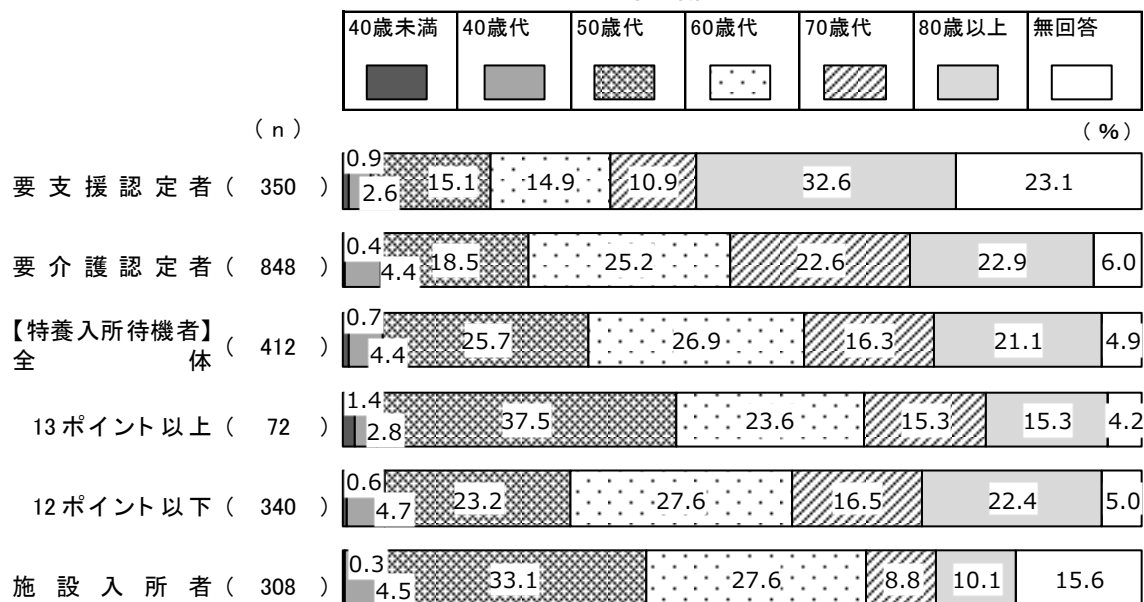


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

## ② 年齢

- 主な家族介護者の年齢は、要支援認定者では「80歳以上」が3割超となっている。
- 要介護認定者では「60歳代」が25.2%、「70歳代」と「80歳以上」がそれぞれ2割超となっている。
- 特養入所待機者および施設入所者では、「50歳代」と「60歳代」で半数以上となっている。

### ■年齢

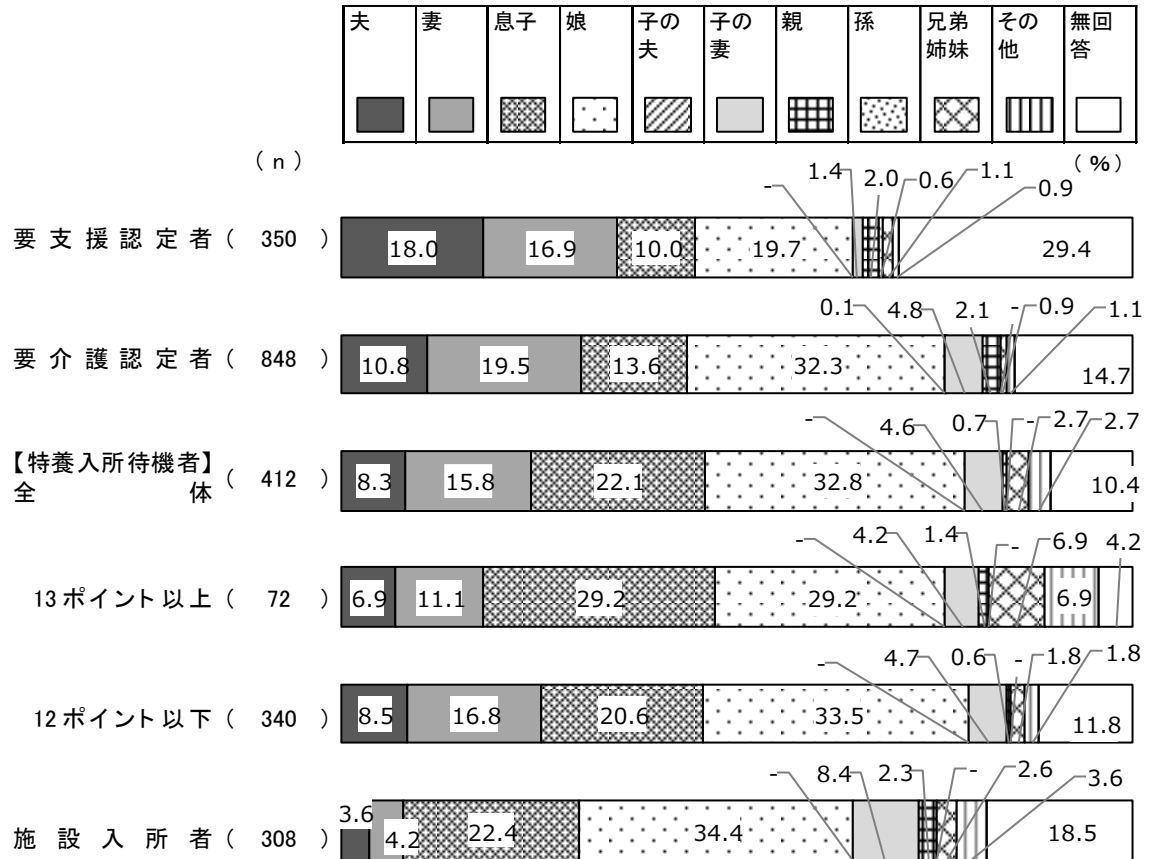


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

### ③ 続柄

- 主な家族介護者の続柄は、要支援認定者や要介護認定者では“配偶者”（「夫」と「妻」の合計）が3割超となっている。
- 特養入所待機者および施設入所者では、“子ども”（「息子」と「娘」の合計）が半数以上となっている。

■続柄



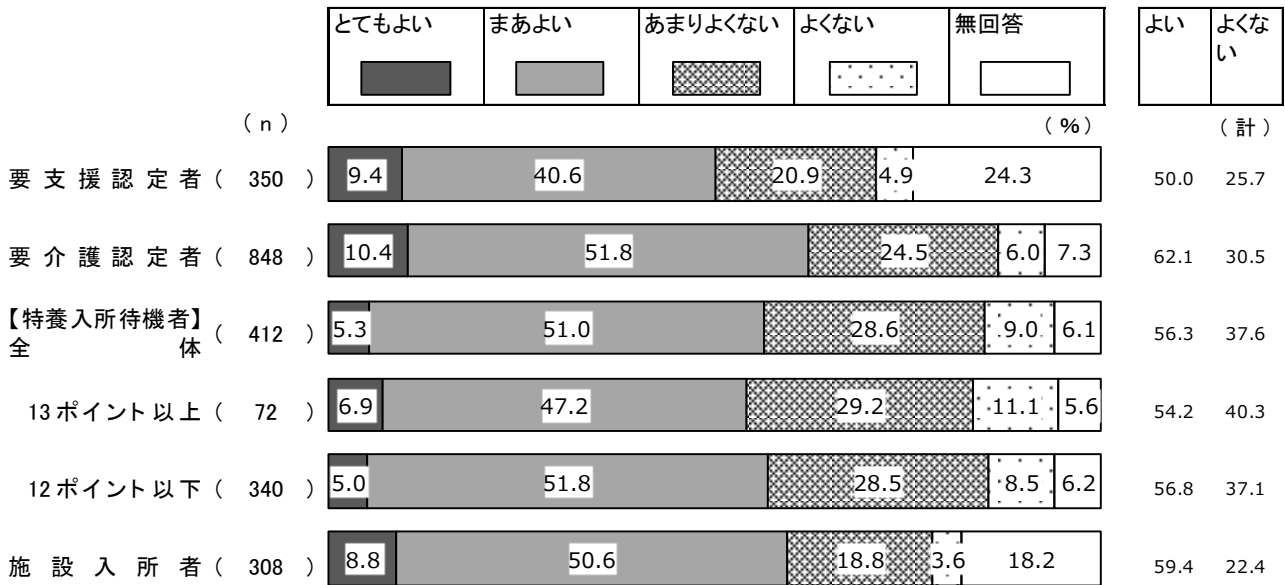
※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた



#### ④ 健康状態

○主な家族介護者の健康状態は、いずれの調査でも“よい”が“よくない”を上回っている。

##### ■健康状態



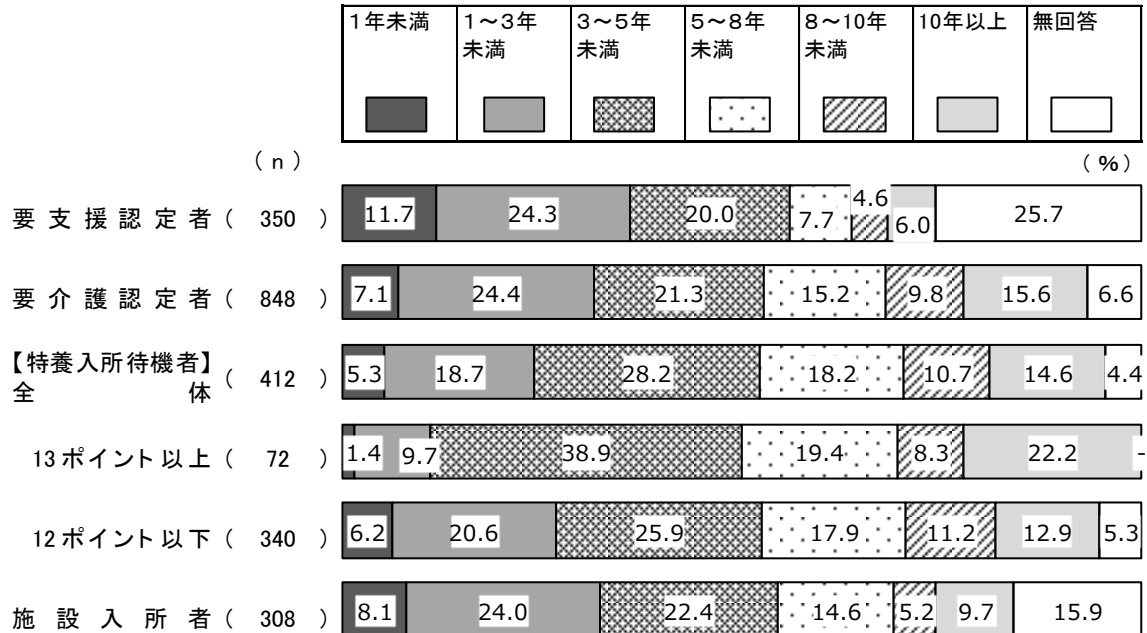
※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

#### (3) 介護期間

○主な家族介護者の介護期間は、いずれの調査でも“1～5年未満”が4割半ばとなっている。

○特養入所待機者のうち指数13ポイント以上では、「3～5年未満」が4割近く、「10年以上」が2割超となっている。

##### ■介護期間

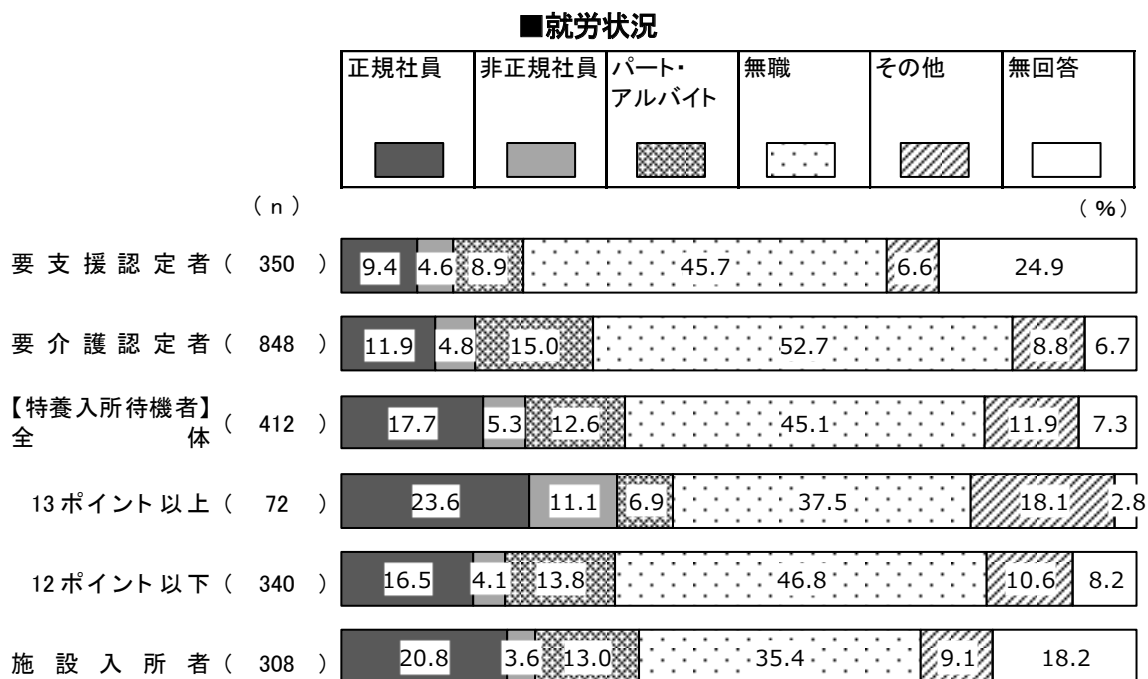


※ 施設入所者は、施設入所前の状況について聞いた

## (4) 介護者の就労状況

### ① 就労状況

○主な家族介護者の就労状況は、いずれの調査においても、「無職」が最も高いが、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者では就労している方が3割超となっている。

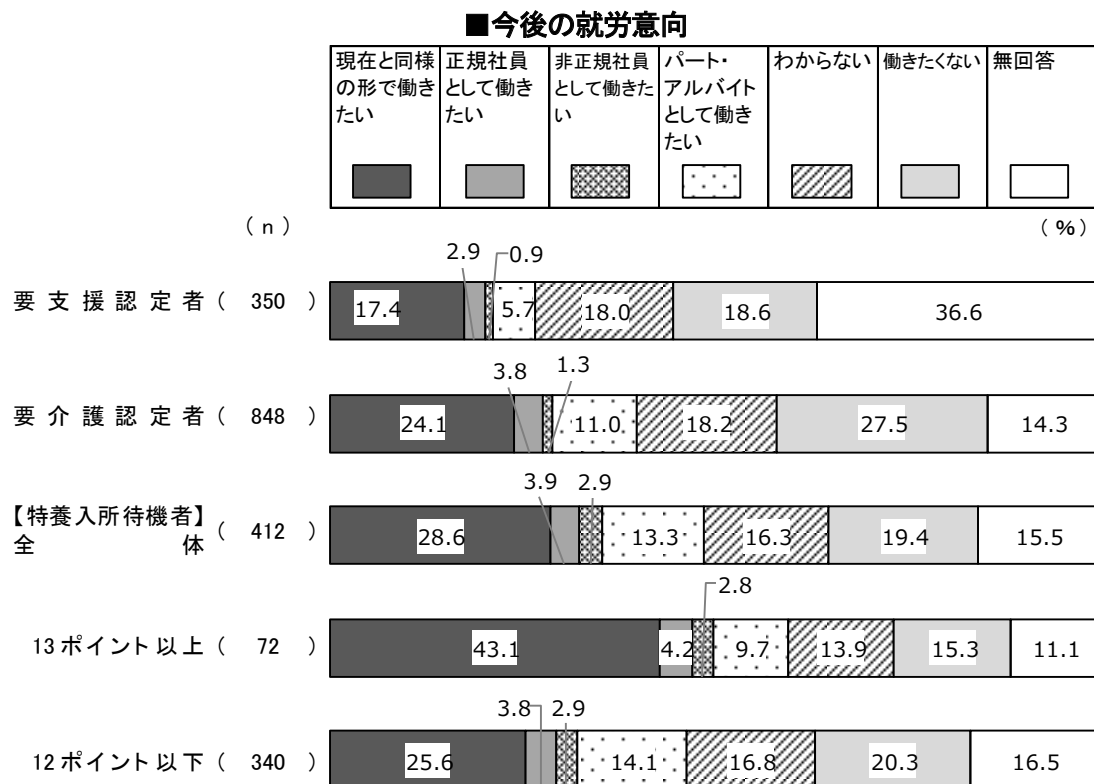


※ 施設入所者は、施設入所後の就労状況について聞いた

### ② 今後の就労意向

○主な家族介護者の就労意向は、要介護認定者では、「働きたくない」が27.5%で最も高く、「現在と同様の形で働きたい」が24.1%で続いている。

○特養入所待機者では、「現在と同様の形で働きたい」が28.6%で最も高く、「働きたくない」が19.4%で続いている。

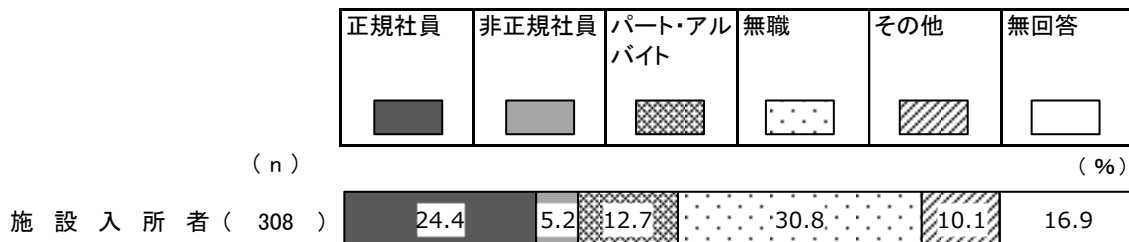


### ③ 施設への入所前後での就労状況の変化

○施設入所者の主な家族介護者の就労状況は、施設の入所前と比べて入所後に「正規社員」の割合が3.6ポイント減少し、「無職」の割合が4.6ポイント増加した。

#### ■施設への入所前後での就労状況の変化

【入所前】



【入所後】

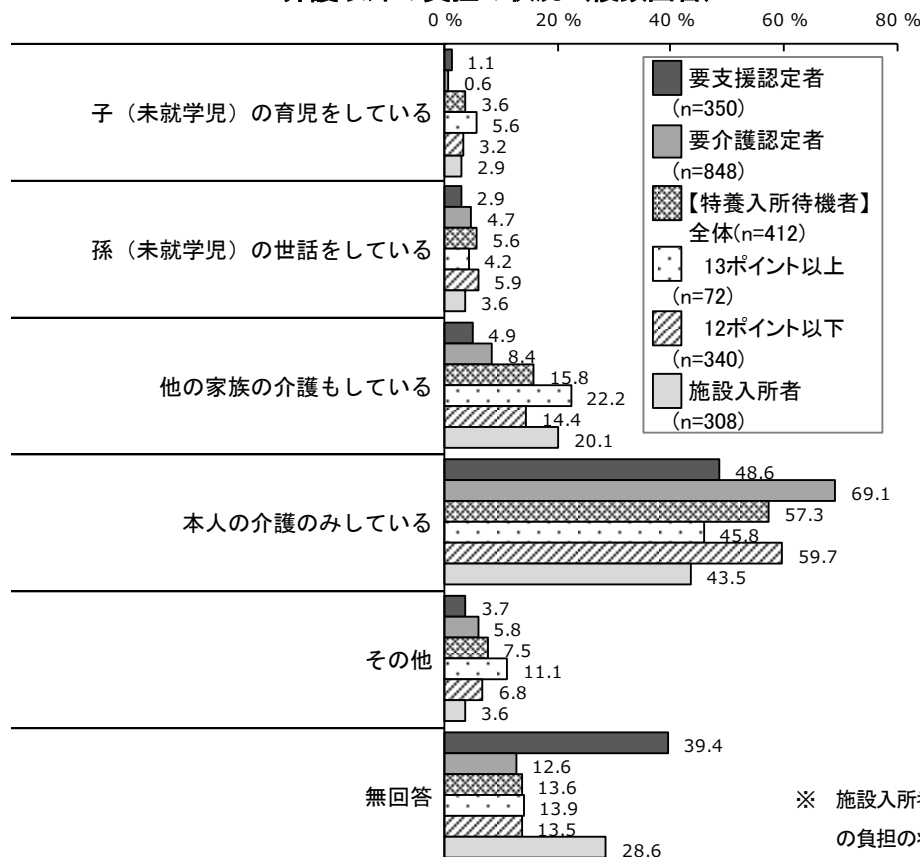


### (5) 介護以外の負担の状況

○主な家族介護者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査においても、「本人の介護のみしている」が最も高い。

○「他の家族の介護もしている」は、特養入所待機者全体で1割半ば、施設入所者で約2割であった。

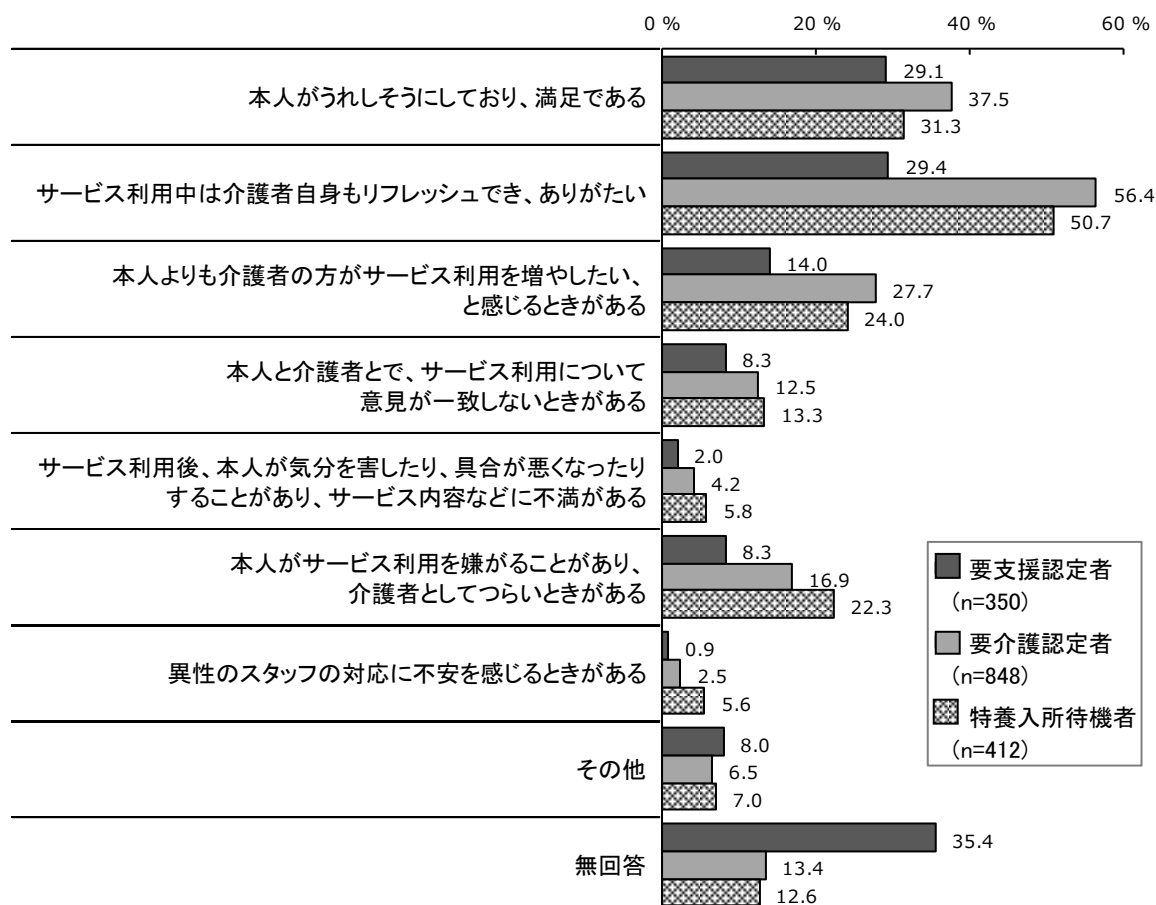
#### ■介護以外の負担の状況（複数回答）



## (6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

- 主な家族介護者の介護サービス利用時の感じ方は、要支援認定者では「本人がうれしそうにしており、満足である」「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が約3割で上位に挙げられている。
- 要介護認定者、特養入所待機者ともに「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が最も高い。次いで、「本人がうれしそうにしており、満足である」となっている。

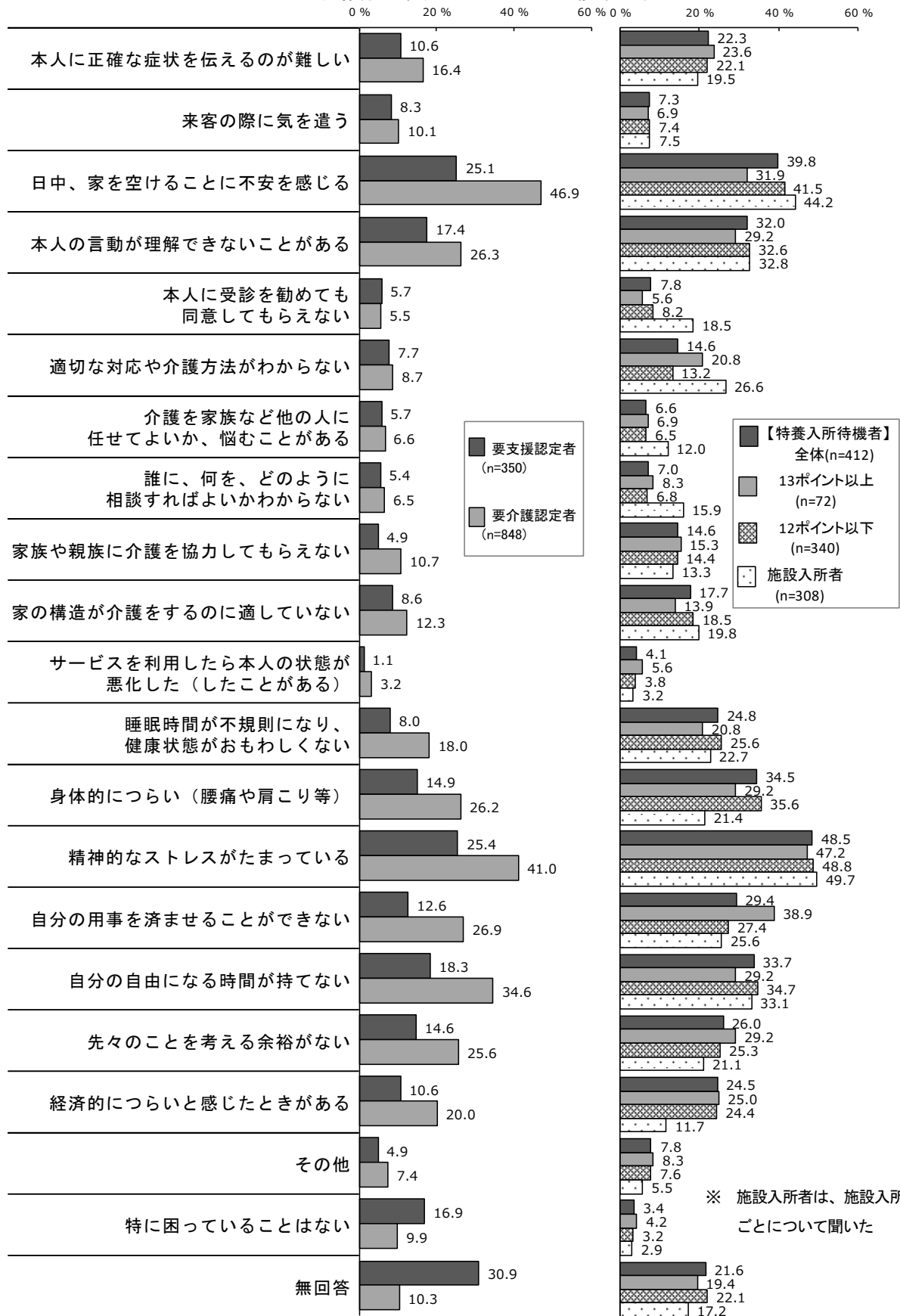
■介護サービス利用時の家族介護者の感じ方（複数回答）



## (7) 家族介護者の負担や困りごと

○主な家族介護者の負担や困りごとは、いずれの調査でも「日中、家を空けることに不安を感じる」と「精神的なストレスがたまっている」が上位に挙がっている。

■家族介護者の負担や困りごと（複数回答）

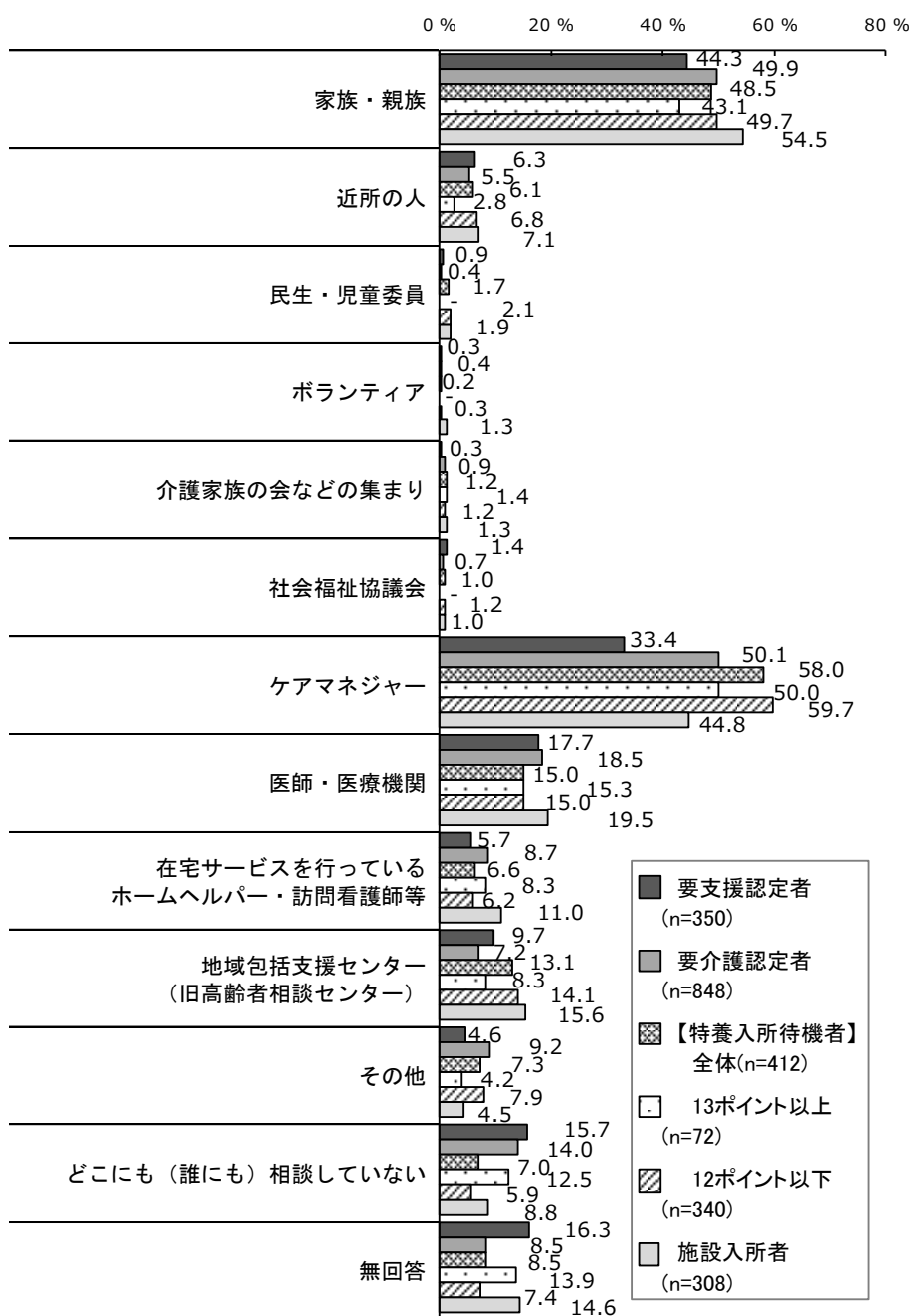


※ 施設入所者は、施設入所前の負担や困りごとについて聞いた

## (8) 介護をしていてつらい時の相談先

- 主な家族介護者のつらい時の相談先は、要支援認定者と施設入所者では「家族・親族」が最も高く（それぞれ 44.3%、54.5%）、次いで「ケアマネジャー」（それぞれ 33.4%、44.8%）となっている。
- 要介護認定者では、「ケアマネジャー」（50.1%）、「家族・親族」（49.9%）が上位に挙がっている。
- 特養入所待機者では、「ケアマネジャー」が最も高く 58.0%、「家族・親族」（48.5%）が続いている。
- 「地域包括支援センター」はいずれの調査でも 1割前後となっている。一方、「どこにも（誰にも）相談していない」と回答した人はいずれの調査でも 1割前後となっている。

■介護をしていてつらい時の相談先（複数回答）

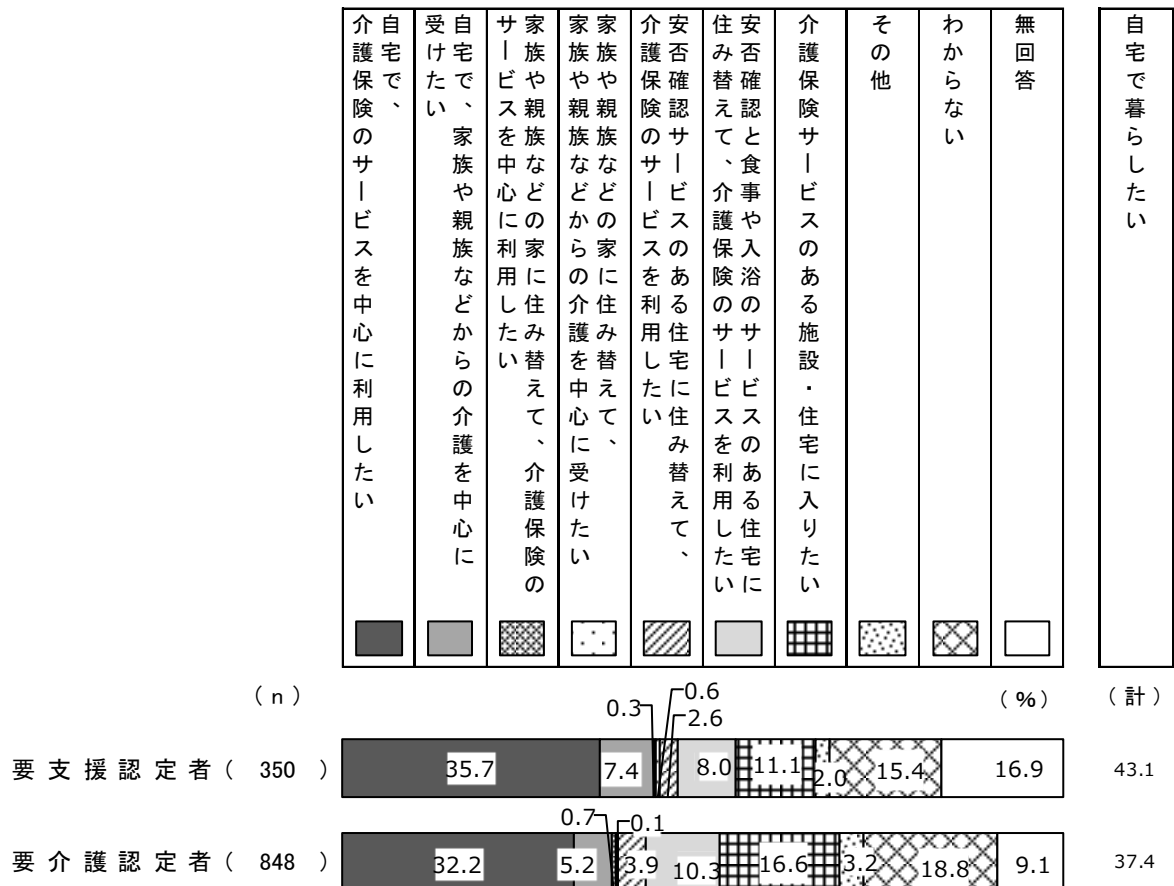


※ 施設入所者は、施設入所前の介護をしていてつらかったときの相談先について聞いた

### (9) 介護者が希望する自身の将来の姿

- 主な家族介護者が希望する自身の将来の姿は、要支援認定者、要介護認定者ともに「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く、それぞれ35.7%、32.2%となっている。要支援認定者では、“自宅で暮らしたい”は、4割超となっている。
- 一方、要介護認定者では「介護保険サービスのある施設・住宅に入りたい」の割合が要支援認定者よりも5ポイント以上高くなっている。

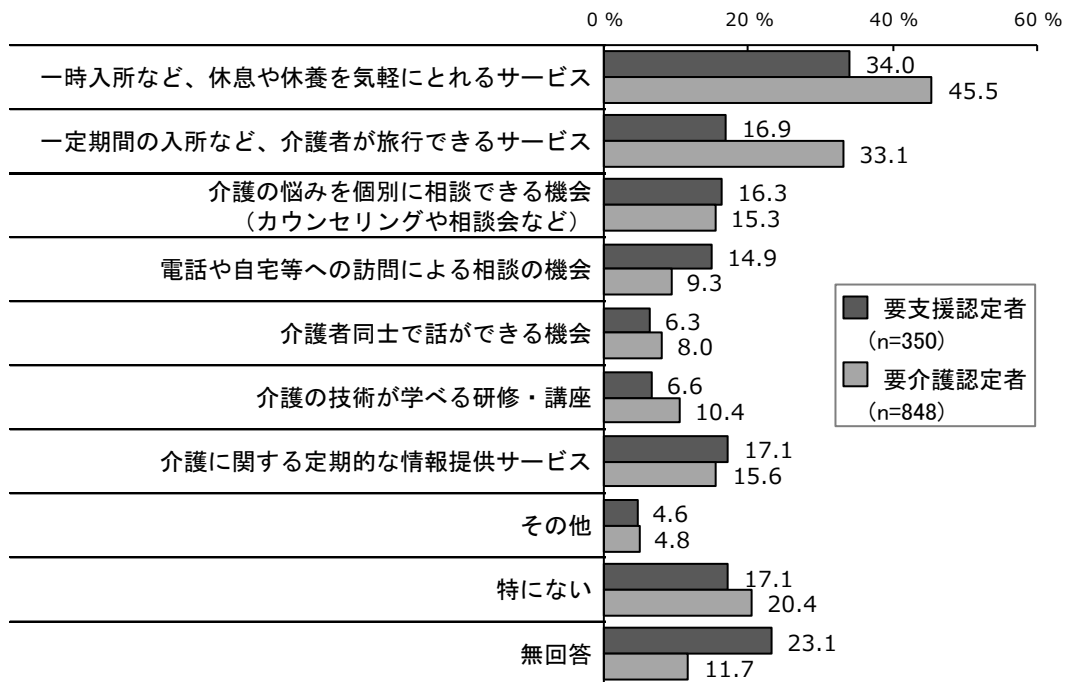
■介護者が希望する自身の将来の姿



## (10) 在宅介護を継続する上で介護者自身が受けたい支援

○在宅での介護を継続していくうえで、主な家族介護者自身が受けたい支援は、要支援認定者、要介護認定者ともに「一時入所など、休息や休養を気軽にとれるサービス」が最も高く、それぞれ34.0%、45.5%となっている。要介護認定者では、次いで「一定期間の入所など、介護者が旅行できるサービス」が33.1%と高くなっている。

■在宅介護を継続する上で介護者自身が受けたい支援（複数回答）

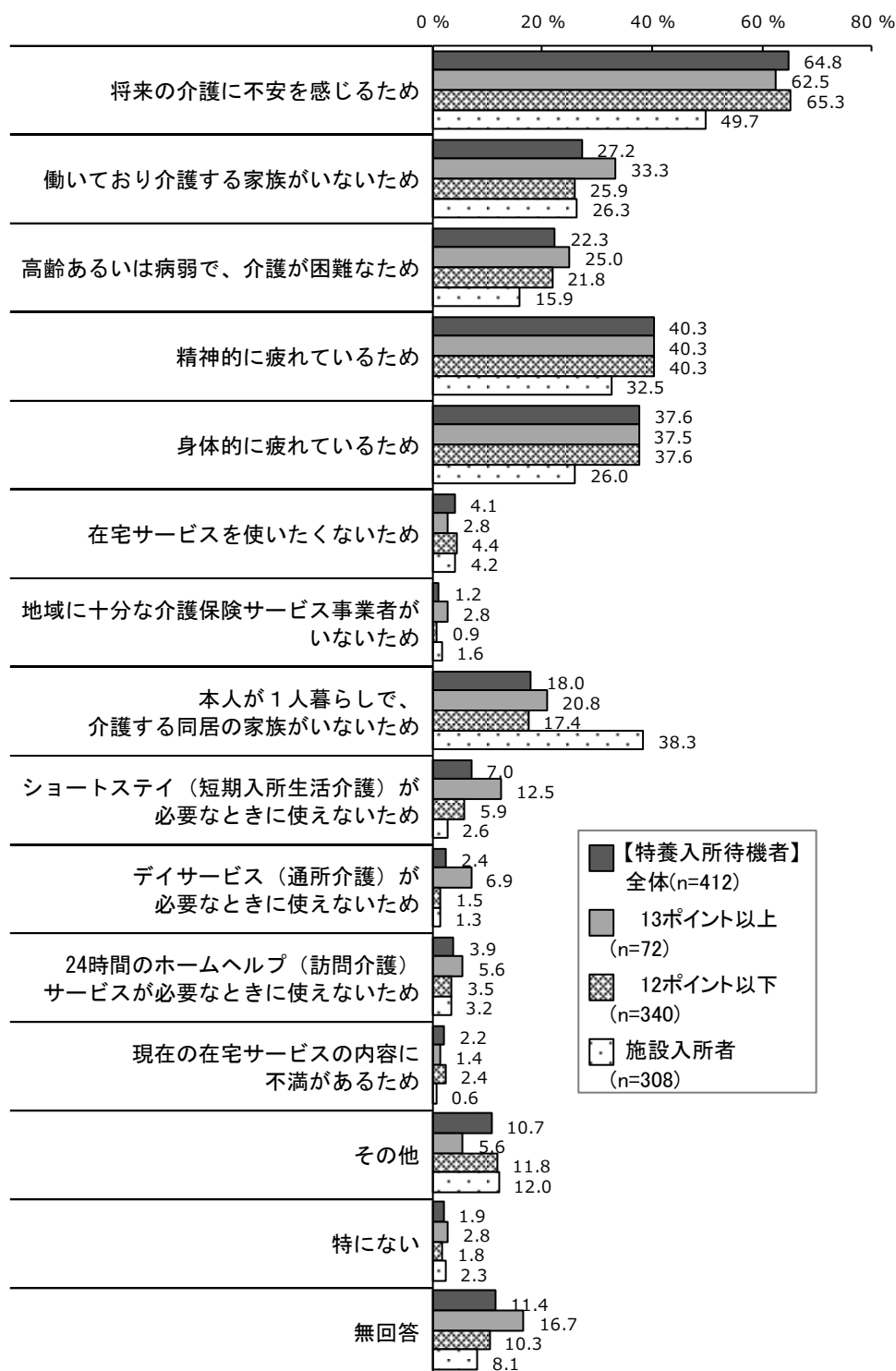




## (11) 施設に申し込んだ理由（主な家族介護者）

- 主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に申し込んだ理由は、いずれの調査においても、「将来の介護に不安を感じるため」が最も高く、特養入所待機者では6割超となっている。
- 特養入所待機者では、次いで「精神的に疲れているため」（40.3%）、「身体的に疲れているため」（37.6%）が上位に挙がっている。
- 施設入所者では、次いで「本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため」（38.3%）が上位に挙がっている。

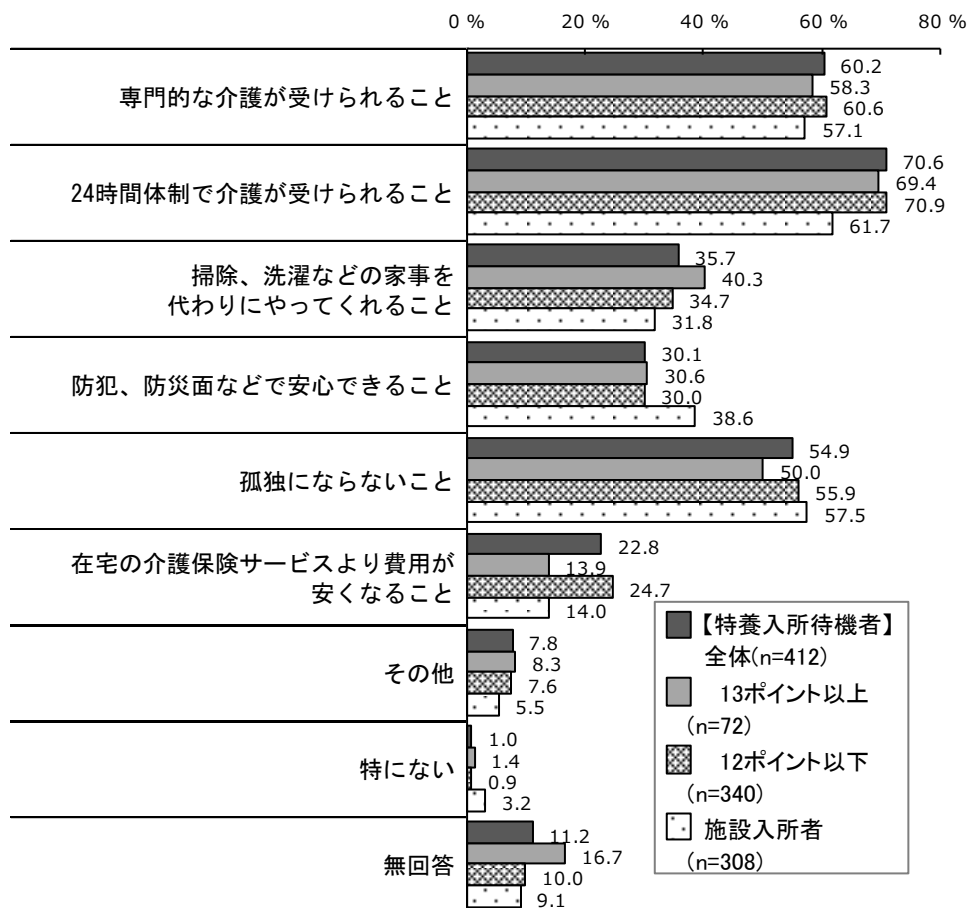
■施設に申し込んだ理由（複数回答）



## (12) 家族介護者が施設に期待すること

- 主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に期待することは、特養入所待機者では「24時間体制で介護が受けられること」が70.6%で最も高く、「専門的な介護が受けられること」（60.2%）、「孤独にならないこと」（54.9%）が上位に挙がっている。
- 施設入所者では、「24時間体制で介護が受けられること」（61.7%）、「孤独にならないこと」（57.5%）、「専門的な介護が受けられること」（57.1%）が上位に挙がっている。

■家族介護者が施設に期待すること（複数回答）



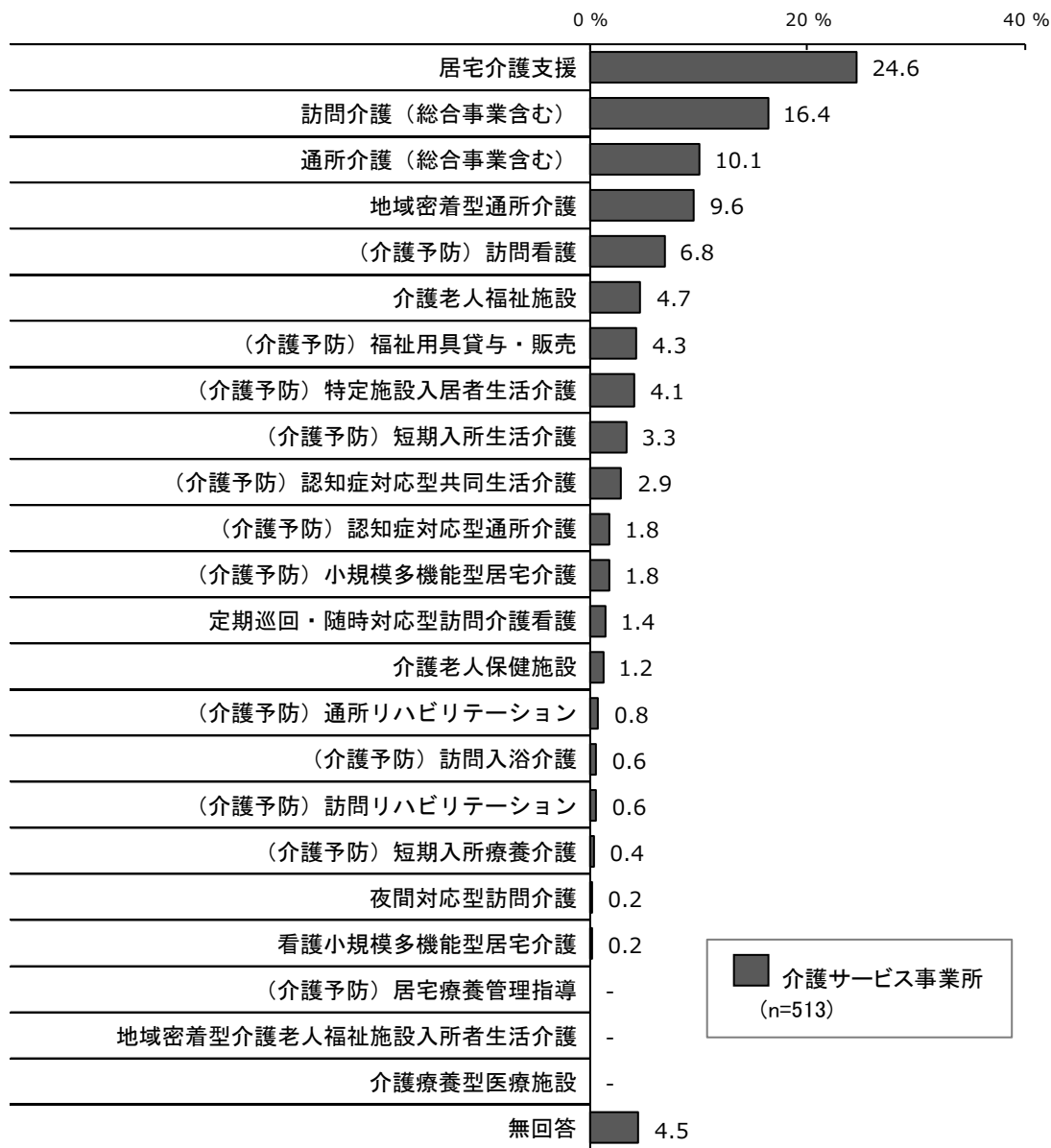
# 13 介護サービス事業所調査

## (1) 事業所の概要

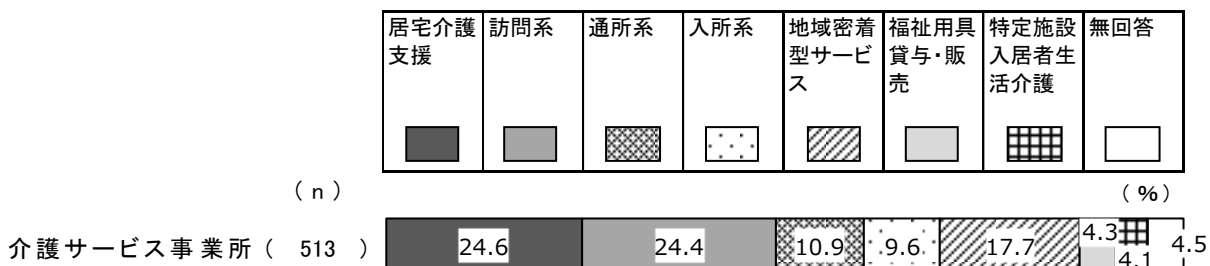
### ① 現在実施しているサービス

○「居宅介護支援」が24.6%で最も高く、「訪問介護（総合事業含む）」が16.4%、「通所介護（総合事業含む）」が10.1%と続いている。

■現在実施しているサービス



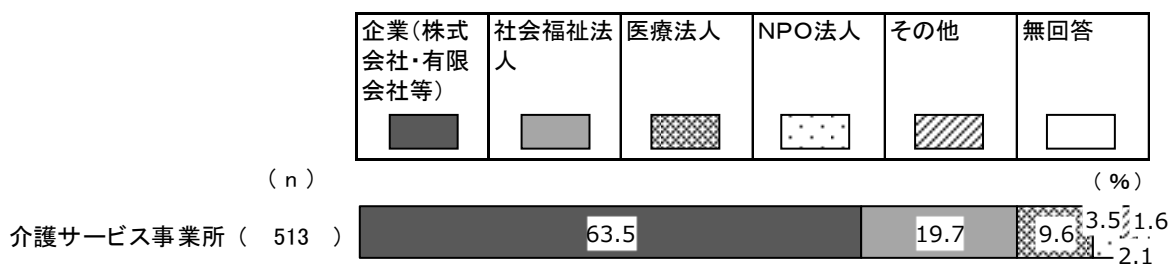
■現在実施しているサービス<まとめ>



## ② 運営主体

○「企業（株式会社・有限会社等）」が63.5%で最も高く、「社会福祉法人」（19.7%）、「医療法人」（9.6%）、「NPO法人」（3.5%）と続いている。

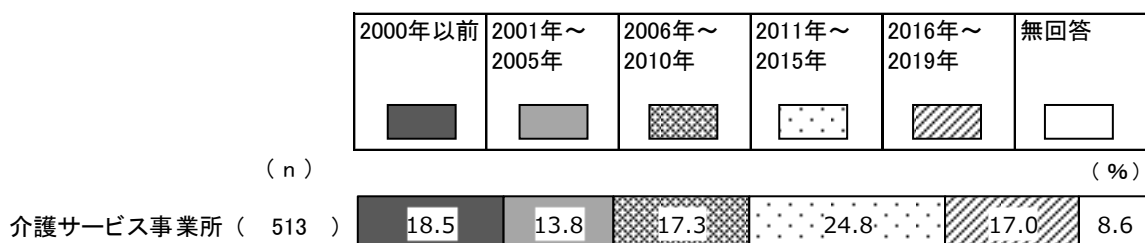
### ■運営主体



## ③ 開設時期

○「2000年以前」が18.5%、「2001年～2005年」が13.8%、「2006年～2010年」が17.3%、「2011年～2015年」が24.8%、「2016年～2019年」が17.0%で、“2011年以降”の開設が4割超となっている。

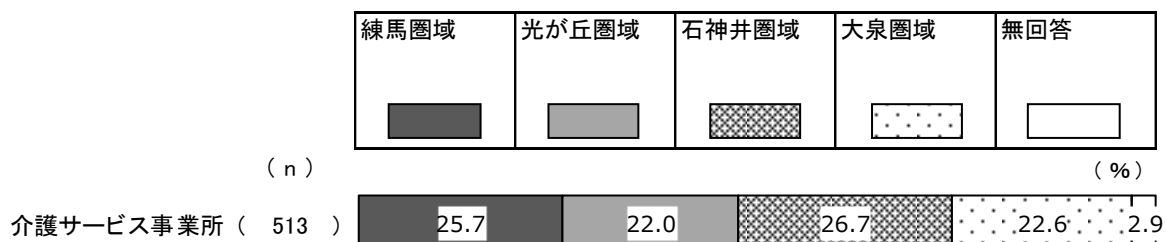
### ■開設時期



## ④ 日常生活圏域

○「練馬圏域」が25.7%、「光が丘圏域」が22.0%、「石神井圏域」が26.7%、「大泉圏域」が22.6%となっている。

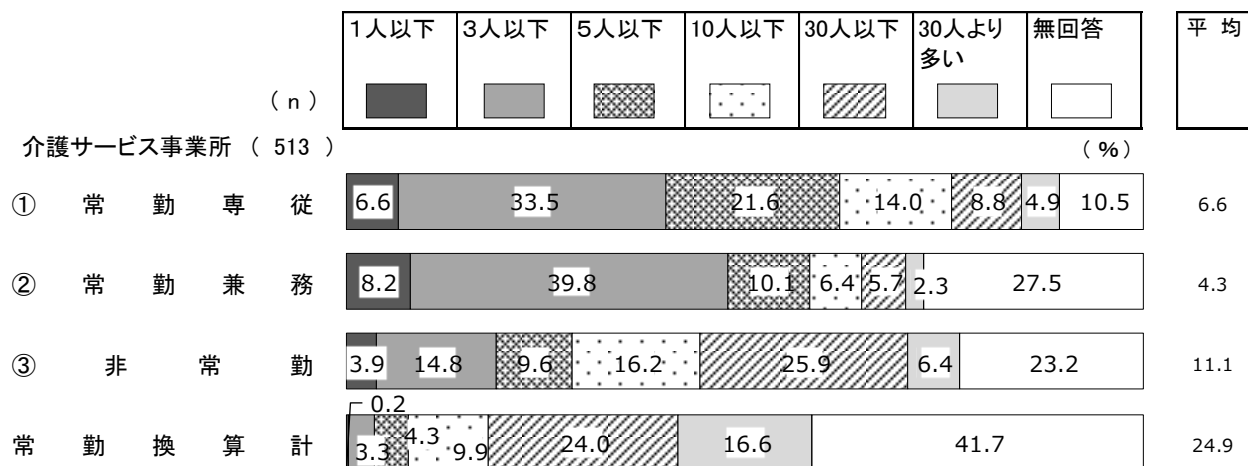
### ■日常生活圏域



## (2) 従業員数

- 平均は、常勤専従で6.6人、常勤兼務で4.3人、非常勤で11.1人となっている。常勤換算計の平均は24.9人となっている。
- 常勤専従は「3人以下」が33.5%で最も高く、「1人以下」「5人以下」と合わせて、“5人以下”が6割超となっている。
- 常勤兼務は「3人以下」が39.8%で最も高く、「1人以下」と合わせて、“3人以下”が半数近くとなっている。
- 非常勤は「30人以下」が25.9%で最も高く、「10人以下」（16.2%）、「3人以下」（14.8%）と続いている。

■従業員数

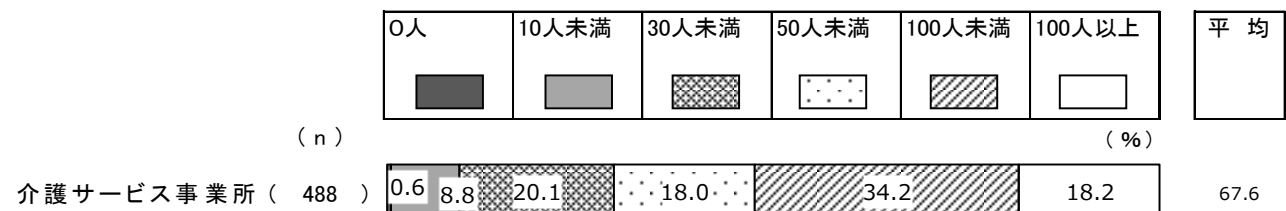


### (3) 利用者数

#### ① 要介護度別利用者数

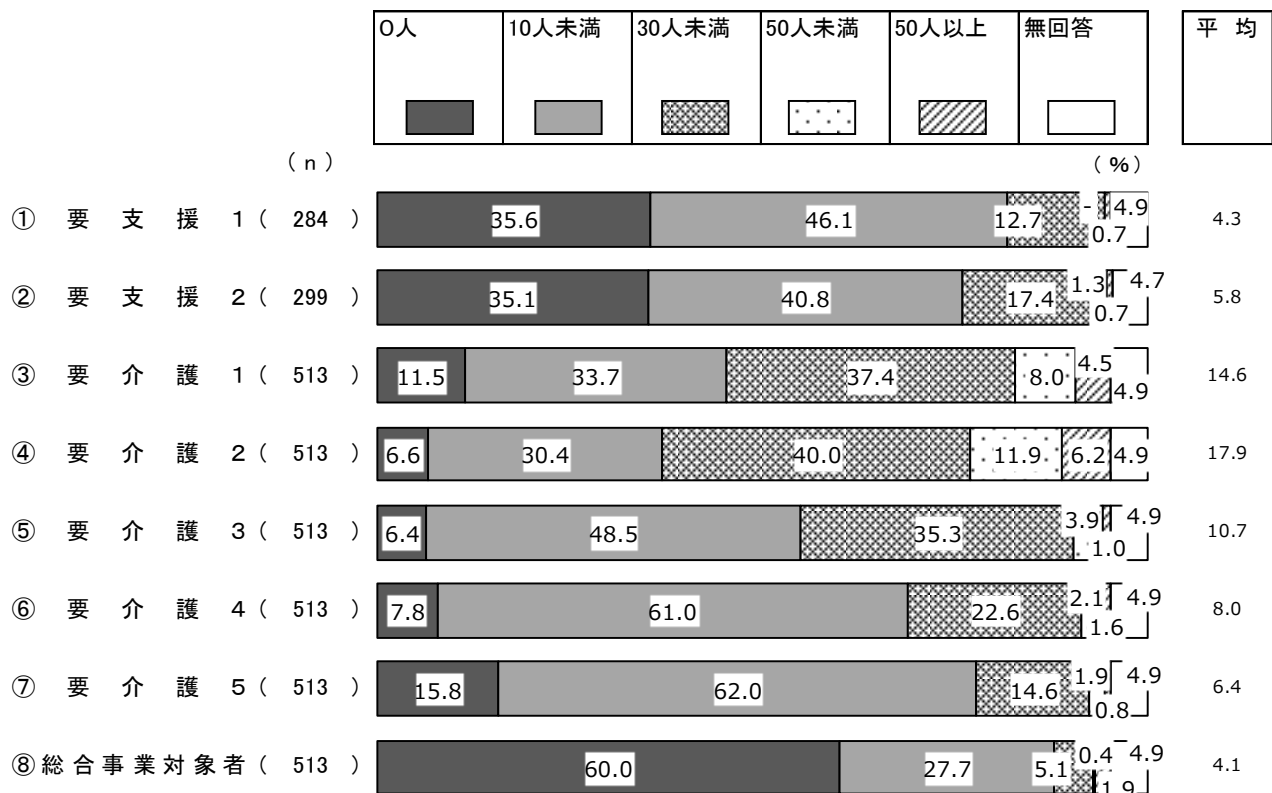
- 令和元年10月1日時点の利用者数（合計）は「100人未満」が34.2%で最も高く、「30人未満」（20.1%）、「100人以上」（18.2%）と続いている。平均は67.6人となっている。
- 要介護度別利用者数の平均は、要支援1で4.3人、要支援2で5.8人、要介護1で14.6人、要介護2で17.9人、要介護3で10.7人、要介護4で8.0人、要介護5で6.4人、総合事業対象者で4.1人となっている。

■利用者数<合計>



※ 無回答を除いて集計した

■利用者数<要介護度別>



※ 要支援1は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」「地域密着型通所介護」「看護小規模多機能型居宅介護」「(介護予防)認知症高齢者グループホーム」「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」を除いて集計した

※ 要支援2は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」「地域密着型通所介護」「看護小規模多機能型居宅介護」「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」を除いて集計した

## 【サービス種別】

○サービス種別にみると、利用者人数が“100 人未満”（「0 人」～「100 人未満」の合計）の事業所が多い（福祉用具貸与・販売を除く）。

## ■利用者数（合計）＜サービス種別＞

	n	(%)						平均
		0 人	10 人未満	30 人未満	50 人未満	100 人未満	100 人以上	
介護サービス事業所	488	0.6	8.8	20.1	18.0	34.2	18.2	67.6
居宅介護支援	119	0.8	5.0	15.1	16.0	34.5	28.6	78.9
訪問系	121	0.8	9.1	14.9	17.4	38.0	19.8	64.6
通所系	54	-	-	5.6	11.1	61.1	22.2	84.8
入所系	48	2.1	25.0	6.3	16.7	41.7	8.3	53.6
地域密着型サービス	85	-	10.6	54.1	24.7	9.4	1.2	27.6
福祉用具貸与・販売	18	-	-	16.7	5.6	33.3	44.4	177.2
特定施設入居者生活介護	20	-	-	-	55.0	35.0	10.0	61.7

※ 無回答を除いて集計した

## ② 要介護度の 1 年間の変化

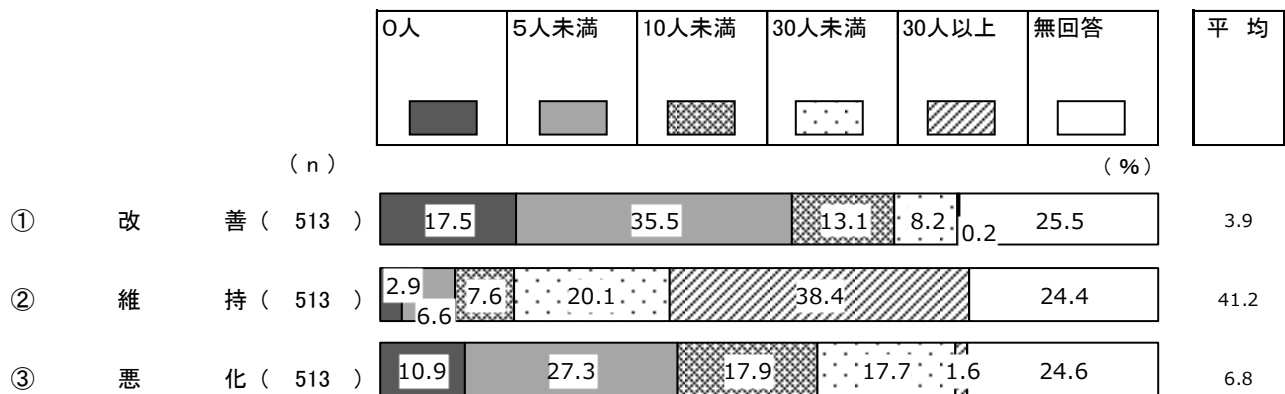
○改善は、「0 人」が 17.5%、「5 人未満」が 35.5%、「10 人未満」が 13.1%、「30 人未満」が 8.2%、「30 人以上」が 0.2%、平均は 3.9 人となっている。

○維持は、「0 人」が 2.9%、「5 人未満」が 6.6%、「10 人未満」が 7.6%、「30 人未満」が 20.1%、「30 人以上」が 38.4%、平均は 41.2 人となっている。

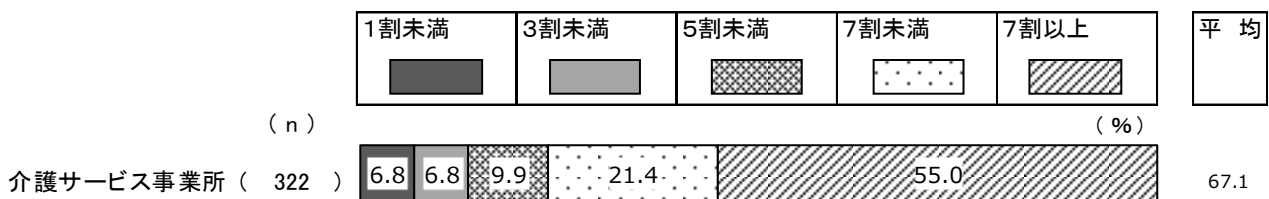
○悪化は、「0 人」が 10.9%、「5 人未満」が 27.3%、「10 人未満」が 17.9%、「30 人未満」が 17.7%、「30 人以上」が 1.6%、平均は 6.8 人となっている。

○各介護サービス事業所の利用者数に占める 1 年間の要介護度の改善・維持の状態をみると、改善・維持が「7 割以上」が 55.0%となっている。

## ■要介護度の 1 年間の変化



## ■利用者数に占める 1 年間の改善・維持の割合



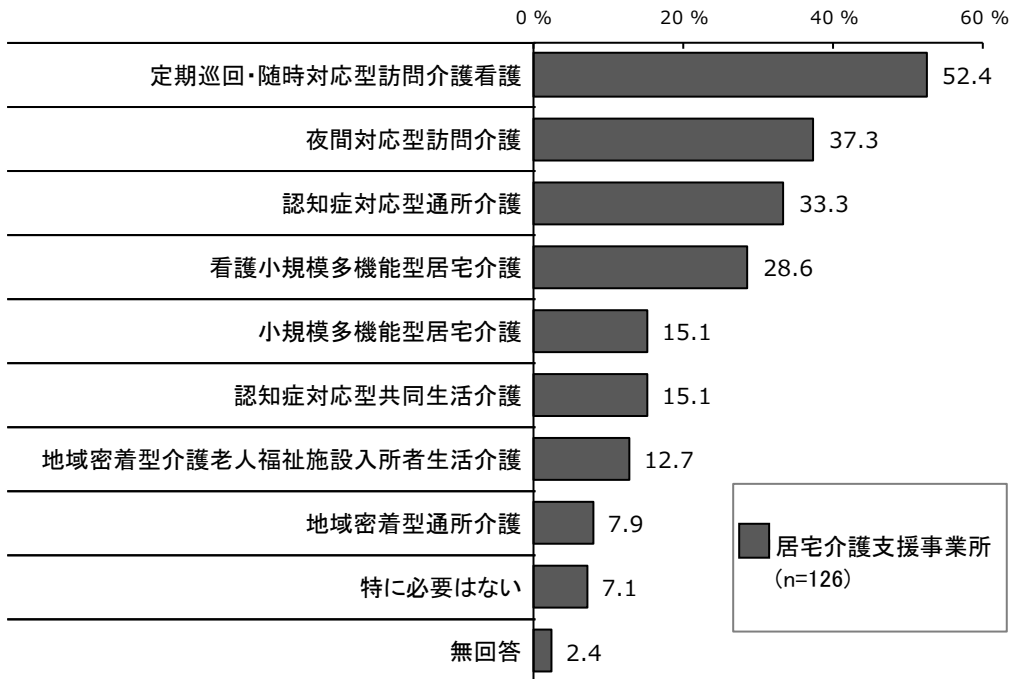
※ 利用者数の回答があった事業者を集計対象とし、「改善」「維持」の合計人数の利用者数に占める割合を示す

#### (4) 居宅介護支援事業所の考え

##### ① 今後整備が必要な地域密着型サービス

○「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が52.4%で最も高く、「夜間対応型訪問介護」(37.3%)、「認知症対応型通所介護」(33.3%)、「看護小規模多機能型居宅介護」(28.6%)、「小規模多機能型居宅介護」(15.1%)、「認知症対応型共同生活介護」(15.1%)と続いている。

■今後整備が必要な地域密着型サービス（複数回答）



##### 【圏域別】

○圏域別にみると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と回答した事業所は、『光が丘圏域』『石神井圏域』でそれぞれ19件、「看護小規模多機能型居宅介護」と回答した事業所は、『光が丘圏域』で14件、『石神井圏域』で12件となっている。

■今後整備が必要な地域密着型サービス（複数回答）＜圏域別＞

	n	(件)									
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	地域密着型通所介護	特に必要はない	無回答
居宅介護支援事業所	126	66	47	42	36	19	19	16	10	9	3
練馬圏域	28	15	13	9	6	5	6	3	2	2	0
光が丘圏域	32	19	12	11	14	7	2	5	3	3	0
石神井圏域	39	19	12	11	12	6	8	6	4	2	1
大泉圏域	23	12	10	9	4	0	3	2	0	2	1

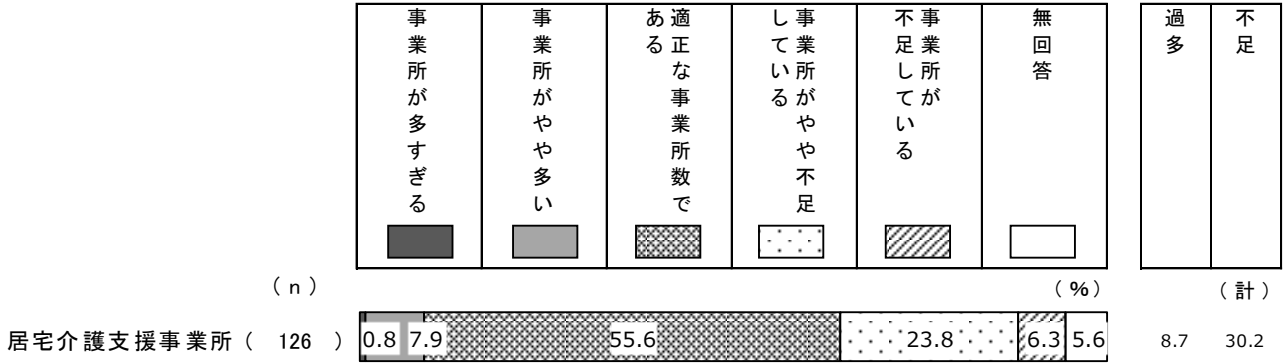


② 小規模多機能型居宅介護

ア. 小規模多機能型居宅介護の需給バランス

- 「適正な事業所数である」が最も高く 55.6%となっている。
- “不足”（「事業所が不足している」と「事業所がやや不足している」の合計）が約3割で、“過多”（「事業所が多すぎる」と「事業所がやや多い」）の1割近くを上回っている。

■小規模多機能型居宅介護の需給バランス



【圏域別】

- 圏域別にみると、いずれの圏域でも「適正な事業所数である」と回答した事業所が多い。

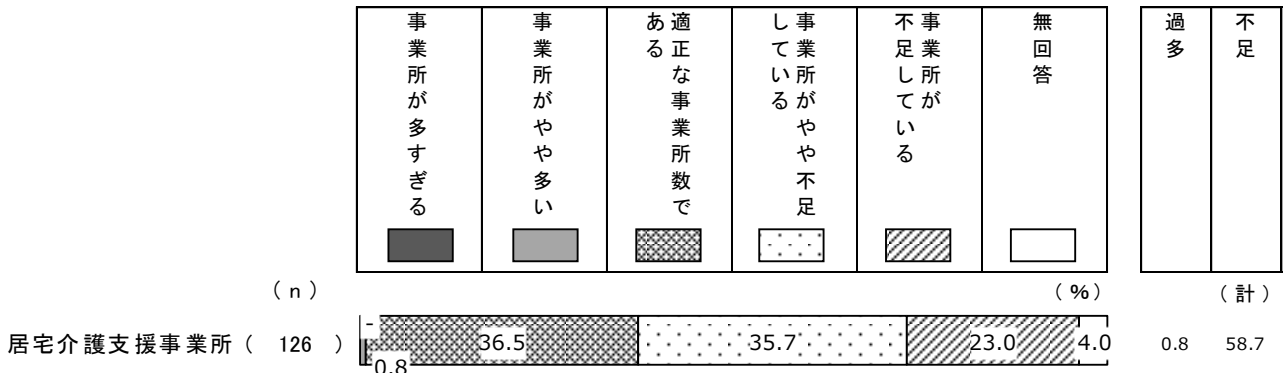
■小規模多機能型居宅介護の需給バランス<圏域別>

	n	(件)					(計)		
		事業所が多すぎる	事業所がやや多い	適正な事業所数である	事業所がやや不足している	事業所が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	126	1	10	70	30	8	7	11	38
練馬圏域	28	0	2	16	7	3	0	2	10
光が丘圏域	32	0	2	18	8	2	2	2	10
石神井圏域	39	1	3	21	10	1	3	4	11
大泉圏域	23	0	3	13	4	2	1	3	6

イ. 看護小規模多機能型居宅介護の需給バランス

- 「適正な事業所数である」（36.5%）と「事業所がやや不足している」（35.7%）で上位となっている。
- “不足”（「事業所が不足している」と「事業所がやや不足している」の合計）が6割近くとなっている。

■看護小規模多機能型居宅介護の需給バランス



**【圏域別】**

○圏域別にみると、“不足”と回答した事業所は、『石神井圏域』で24件となっている。

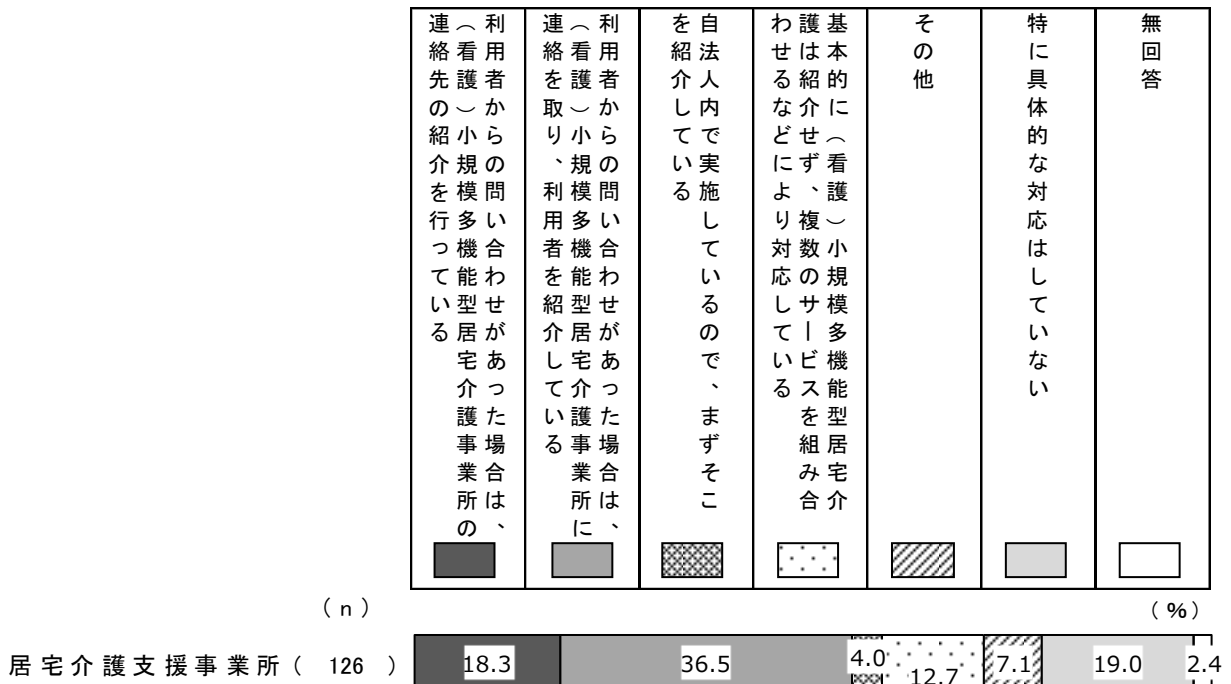
**■看護小規模多機能型居宅介護の需給バランス<圏域別>**

	n	(件)						(計)	
		事業所が多すぎる	事業所がやや多い	適正な事業所数である	やや事業所が不足している	事業所が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	126	-	1	46	45	29	5	1	74
練馬圏域	28	-	0	8	11	9	0	0	20
光が丘圏域	32	-	0	12	10	8	2	0	18
石神井圏域	39	-	1	12	16	8	2	1	24
大泉圏域	23	-	0	11	7	4	1	0	11

**ウ. (看護) 小規模多機能型居宅介護の対応状況**

○「利用者からの問い合わせがあった場合は、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している」が最も高く36.5%、「利用者からの問い合わせがあった場合は、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている」(18.3%)と続いている。「特に具体的な対応はしていない」は19.0%となっている。

**■(看護) 小規模多機能型居宅介護の対応状況**

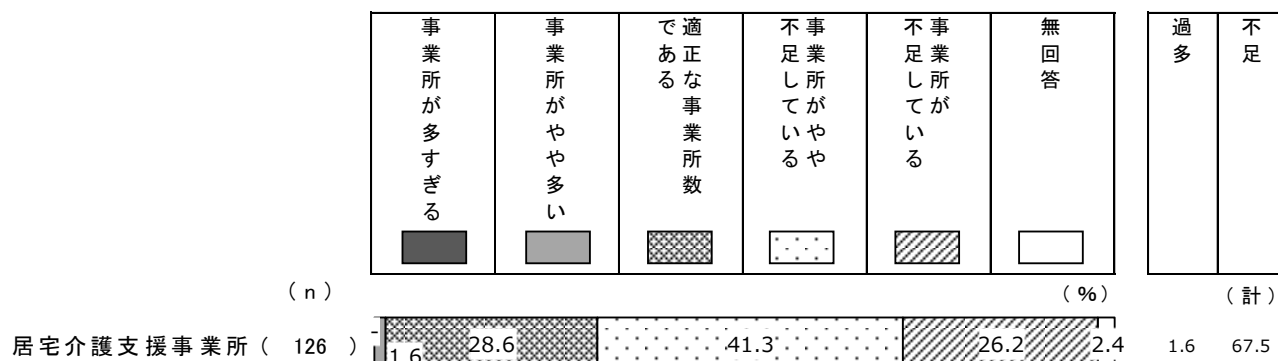


③ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

ア. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の需給バランス

- “不足” が67.5%と、“過多”を大きく上回っている。
- 「適正な事業所数である」は28.6%であった。

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護の需給バランス



【圏域別】

○圏域別にみると、“不足”と回答した事業所は、『石神井圏域』で27件となっている。

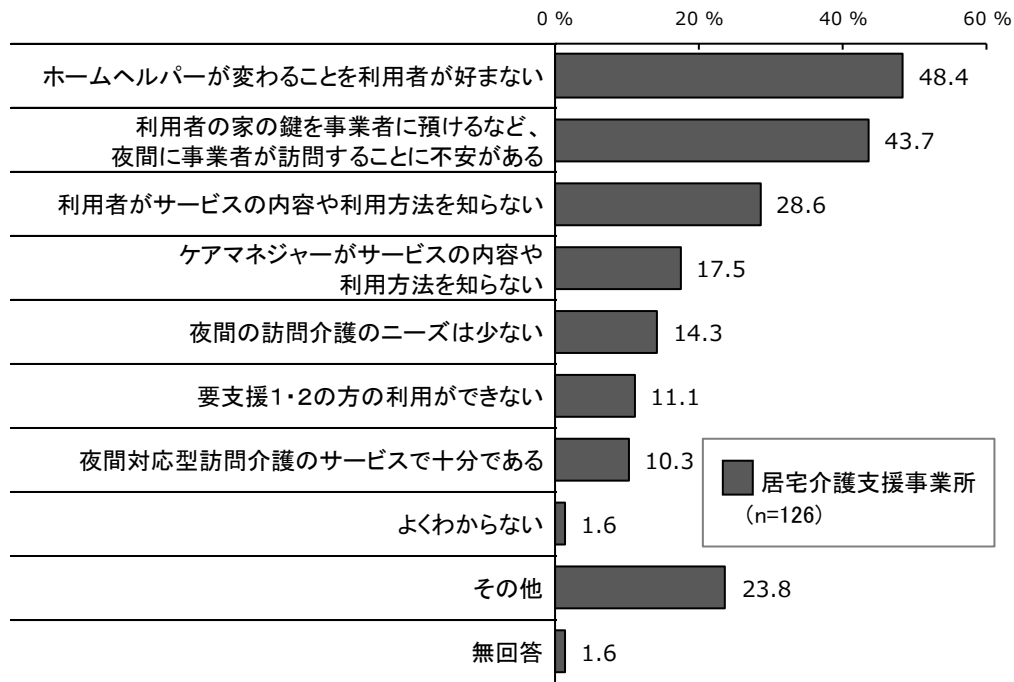
■定期巡回・随時対応型訪問介護看護の需給バランス<圏域別>

	n	(件)						(計)	
		施設が多すぎる	施設がやや多い	適正な施設数である	施設がやや不足している	施設が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	126	0	2	36	52	33	3	2	85
練馬圏域	28	0	0	9	8	11	0	0	19
光が丘圏域	32	0	1	12	15	4	0	1	19
石神井圏域	39	0	1	10	15	12	1	1	27
大泉圏域	23	0	0	2	13	6	2	0	19

**イ. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題**

○「ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない」が48.4%で最も高く、「利用者の家の鍵を事業者に預けるなど、夜間に事業者が訪問することに不安がある」(43.7%)、「利用者がサービスの内容や利用方法を知らない」(28.6%)と続いている。

**■定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題（複数回答）**



#### ④ ケアマネジャーの質の向上

##### ア. 区内のケアマネジャーの質についての感じ方

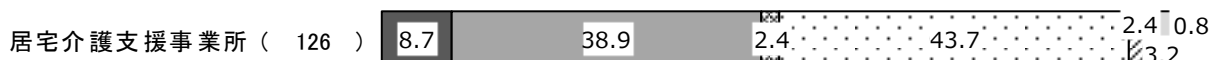
- 「個人による差が大きく、一概には言えない」が43.7%で最も高く、「概ね利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない」(38.9%)と続いている。
- 「利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない」は1割未満となっている。

##### ■区内のケアマネジャーの質についての感じ方

利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない	概ね利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない	利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない	個人による差が大きく、一概には言えない	その他	わからない	無回答

(n)

(%)



##### イ. 自立・軽度化に向けた課題

- 「利用者の意欲がない」と「介護保険サービスの支給限度額が低くなることを利用者が好まない」がともに29.4%、「自立・軽度化の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない」が26.2%となっている。

##### ■自立・軽度化に向けた課題

利用者の意欲がない	介護保険サービスの支給限度額が低くなることを利用者が好まない	自立・軽度化の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない	その他	無回答

(n)

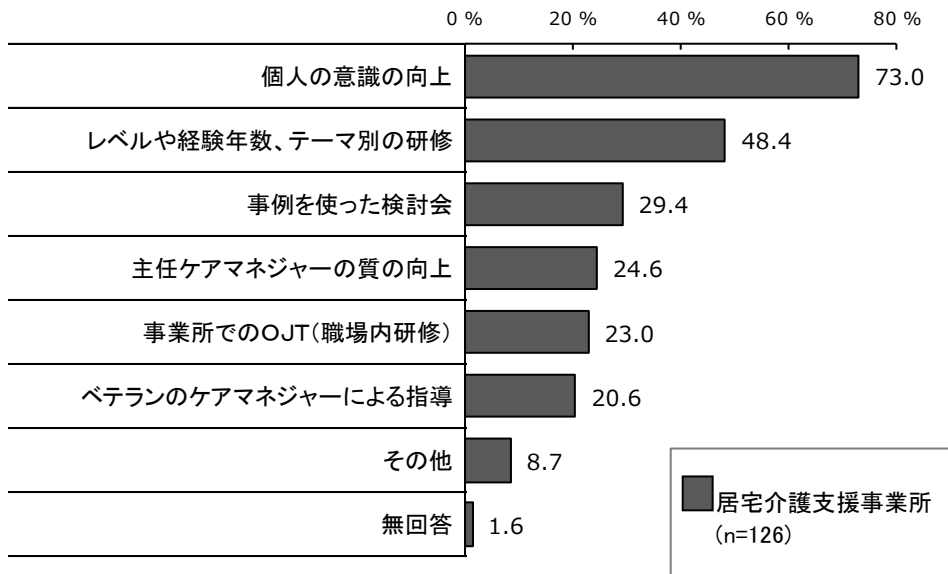
(%)



**ウ. ケアマネジャーの質の向上を図るために必要なこと**

○「個人の意識の向上」が73.0%で最も高く、「レベルや経験年数、テーマ別の研修」(48.4%)と続いている。

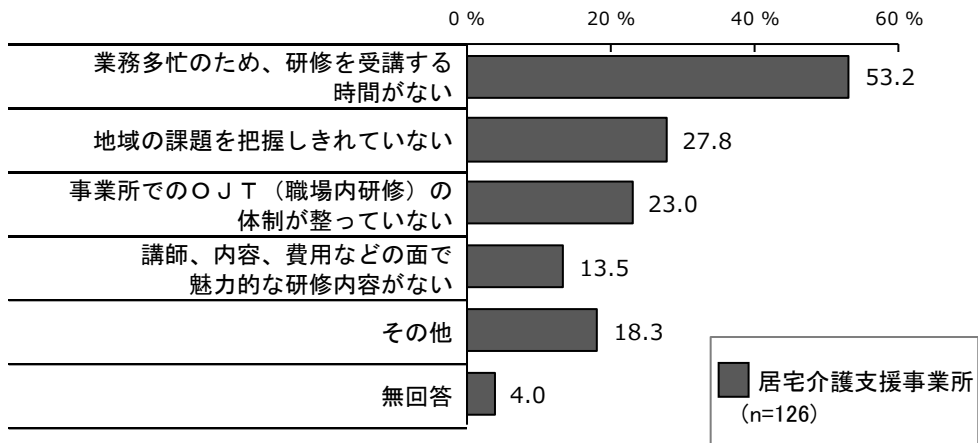
**■ケアマネジャーの質の向上を図るために必要なこと（複数回答）**



**エ. ケアマネジャーの質の向上における課題**

○「業務多忙のため、研修を受講する時間がない」が53.2%で最も高く、「地域の課題を把握しきれていない」(27.8%)、「事業所でのOJT(職場内研修)の体制が整っていない」(23.0%)と続いている。

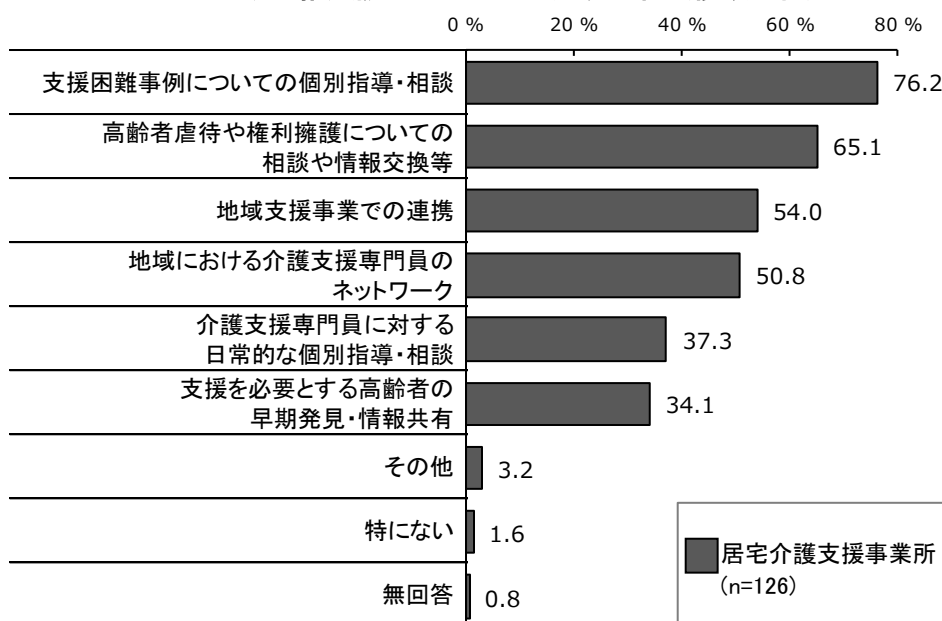
**■ケアマネジャーの質の向上における課題（複数回答）**



### ⑤ 地域包括支援センターとの連携内容

○「支援困難事例についての個別指導・相談」が76.2%で最も高く、「高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換等」（65.1%）、「地域支援事業での連携」（54.0%）、「地域における介護支援専門員のネットワーク」（50.8%）が上位に挙げられている。

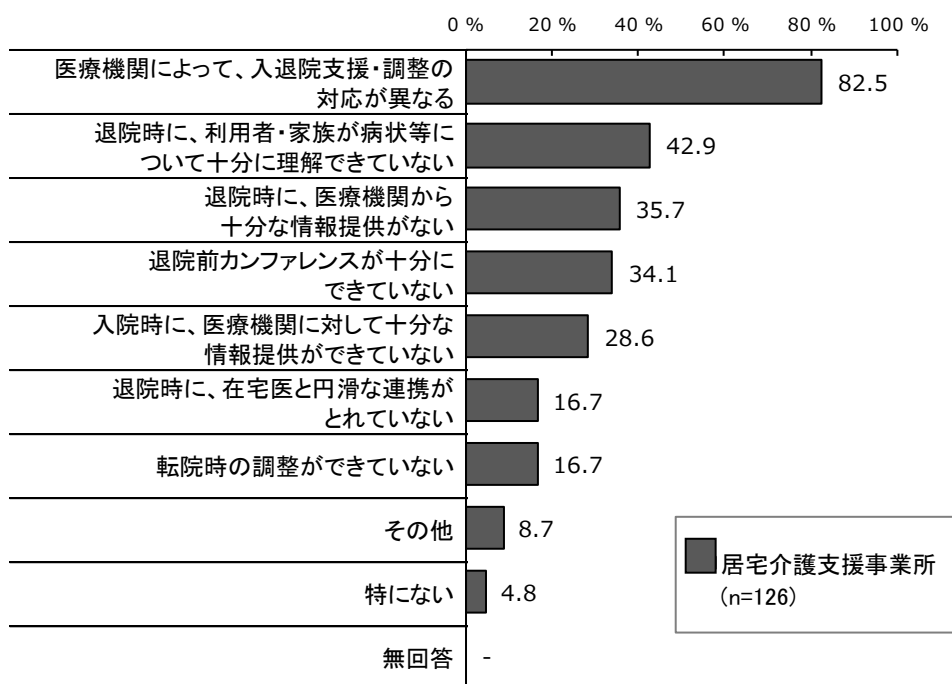
■地域包括支援センターとの連携内容（複数回答）



### ⑥ 医療機関との入退院支援・調整における課題

○「医療機関によって、入退院支援・調整の対応が異なる」が82.5%で最も高く、「退院時に、利用者・家族が病状等について十分に理解できていない」（42.9%）、「退院時に、医療機関から十分な情報提供がない」（35.7%）、「退院前カンファレンスが十分にできていない」（34.1%）と続いている。

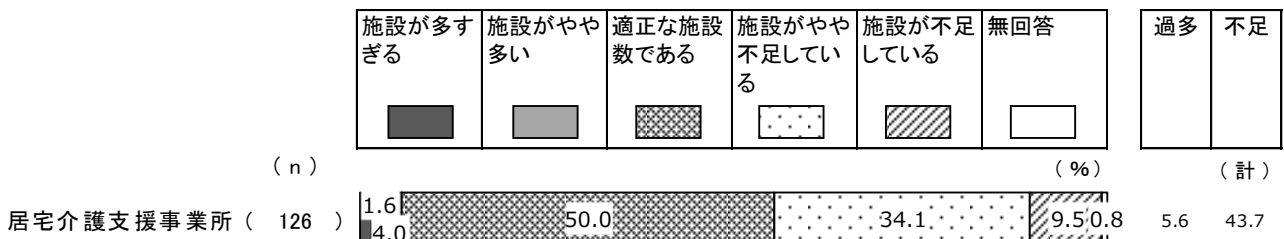
■医療機関との入退院支援・調整における課題（複数回答）



⑦ 認知症高齢者グループホームの需給バランス

- “不足” が4割超と“過多”を大きく上回っている。
- 「適正な施設数である」は50.0%となっている。

■ 認知症高齢者グループホームの需給バランス



【圏域別】

○ 圏域別にみると、“不足”と回答した事業所は、『石神井圏域』で19件となっている。

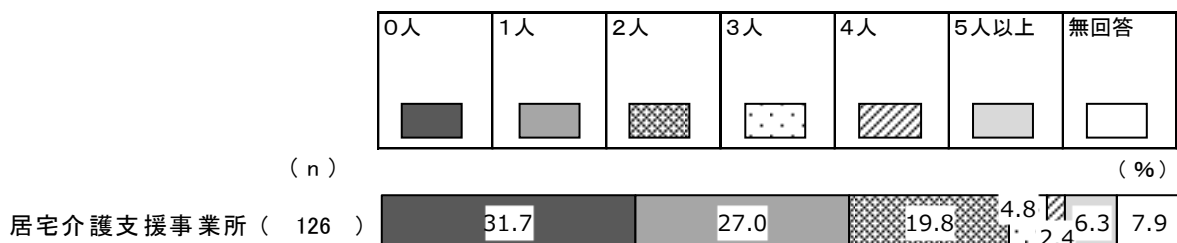
■ 認知症高齢者グループホームの需給バランス<圏域別>

	n	(件)						(計)	
		施設が多すぎる	施設がやや多い	適正な施設数である	施設がやや不足している	施設が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	126	2	5	63	43	12	1	7	55
練馬圏域	28	2	0	14	9	3	0	2	12
光が丘圏域	32	0	3	19	8	2	0	3	10
石神井圏域	39	0	2	18	15	4	0	2	19
大泉圏域	23	0	0	9	10	3	1	0	13

⑧ 認知症による徘徊行動のある人

○ 利用者のうち認知症による徘徊行動のある人は、「0人」が31.7%で最も多く、「1人」(27.0%)、「2人」(19.8%)と続いている。

■ 認知症による徘徊行動のある人

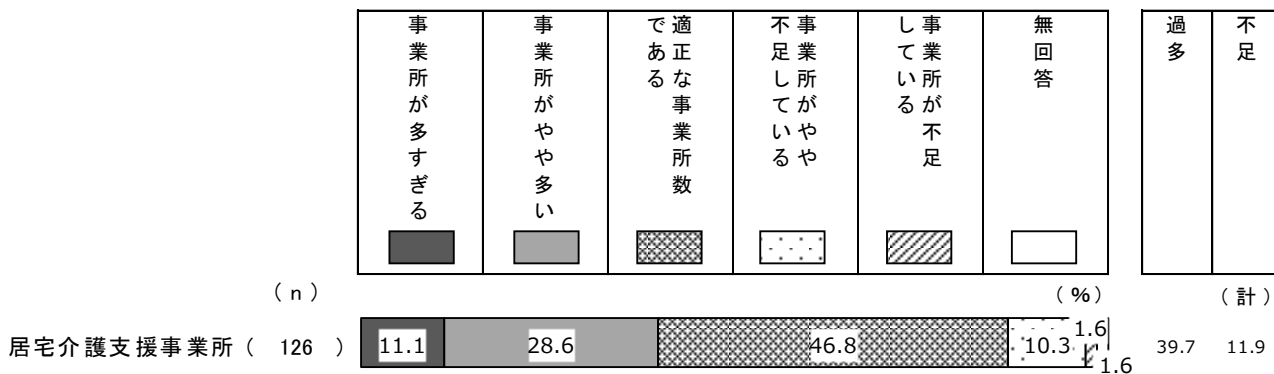




⑨ 訪問看護ステーションの需給バランス

- 「適正な事業所数である」は46.8%で最も高くなっている。
- “過多” が約4割で“不足”を上回っている。

■訪問看護ステーションの需給バランス



【圏域別】

○圏域別にみると、『石神井圏域』では「適正な事業所数である」あるいは“過多”と回答した事業所の合計は31件で、適正数以上とする事業所が約8割となっている。

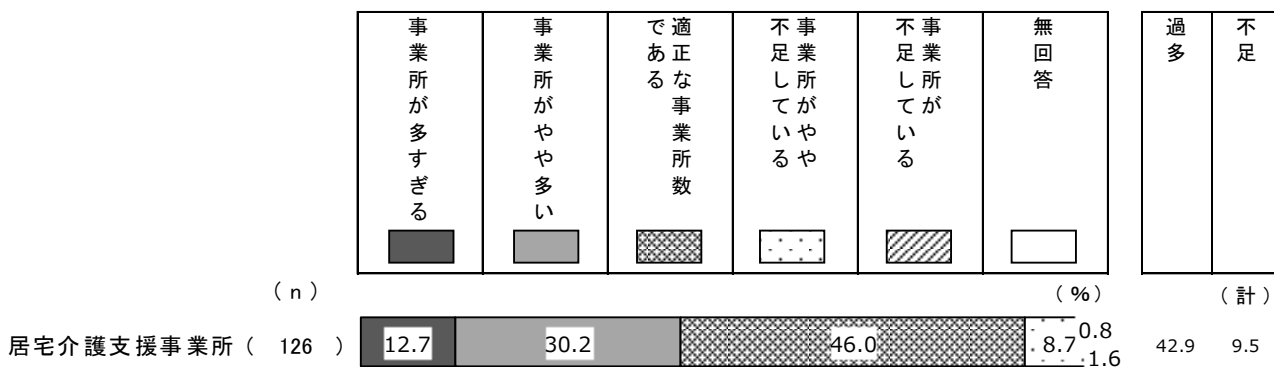
■訪問看護ステーションの需給バランス<圏域別>

	n	(件)						(計)	
		事業所が多すぎる	事業所がやや多い	適正な事業所数である	事業所がやや不足している	事業所が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	126	14	36	59	13	2	2	50	15
練馬圏域	28	5	11	9	2	0	1	16	2
光が丘圏域	32	2	9	18	3	0	0	11	3
石神井圏域	39	5	9	17	6	1	1	14	7
大泉圏域	23	2	5	13	2	1	0	7	3

⑩ 通所介護の需給バランス

- 「適正な事業所数である」は46.0%で最も高くなっている。
- “過多” が4割超と“不足”を上回っている。

■通所介護の需給バランス



**【圏域別】**

○圏域別にみると、『練馬圏域』では全ての事業所が「適正な事業所数である」あるいは“過多”と回答している。

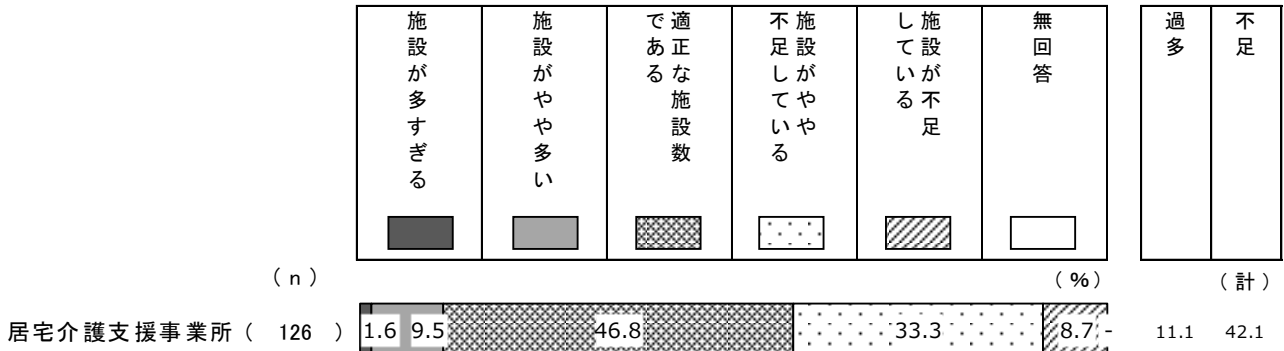
**■通所介護の需給バランス<圏域別>**

	n	(件)						(計)	
		事業所が多すぎる	事業所がやや多い	適正な事業所数である	やや不足している	事業所が不足している	無回答	過多	不足
居宅介護支援事業所	126	16	38	58	11	1	2	54	12
練馬圏域	28	7	7	14	0	0	0	14	0
光が丘圏域	32	5	12	12	3	0	0	17	3
石神井圏域	39	4	10	20	4	1	0	14	5
大泉圏域	23	0	7	10	4	0	2	7	4

**⑪ ショートステイの需給バランス**

- 「適正な施設数である」は46.8%で最も高くなっている。
- “不足”が4割超と“過多”を上回っている。

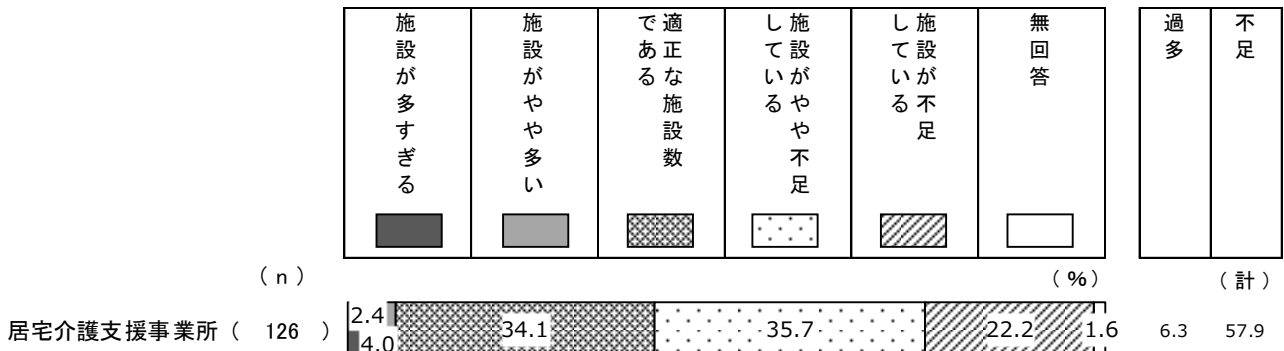
**■ショートステイの需給バランス**



**⑫ 都市型軽費老人ホームの需給バランス**

- 「施設がやや不足している」が35.7%で最も高くなっている。
- “不足”が約6割と“過多”を上回っている。

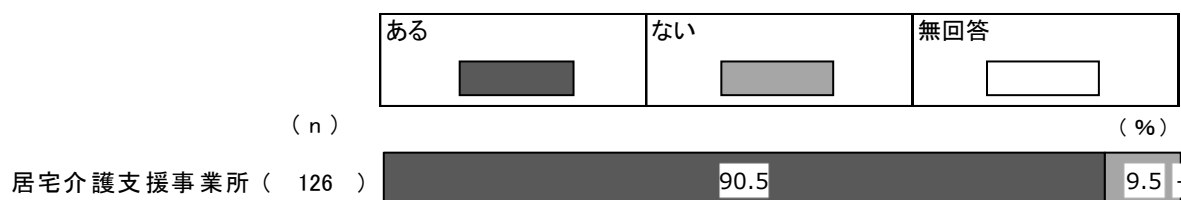
**■都市型軽費老人ホームの需給バランス**



⑬ 在宅看取りの経験

○在宅看取りの経験が「ある」が約9割となっている。

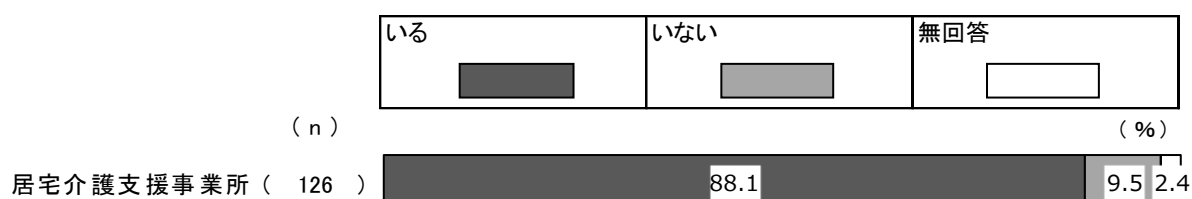
■在宅看取りの経験



⑭ 在宅看取りで連携できる複数医師の有無

○在宅看取りで連携できる医師が複数「いる」が88.1%、「いない」が9.5%であった。

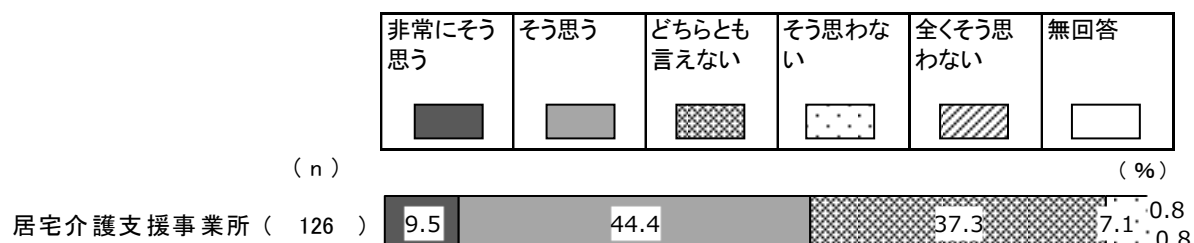
■在宅看取りで連携できる複数医師の有無



⑮ 在宅看取りの増加見込み

○在宅看取りを今後増やせるか見込みを聞いたところ、“そう思う”（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）が5割半ばで、“そう思わない”（「そう思わない」と「全くそう思わない」の合計）を上回っている。「どちらとも言えない」は37.3%であった。

■在宅看取りの増加見込み

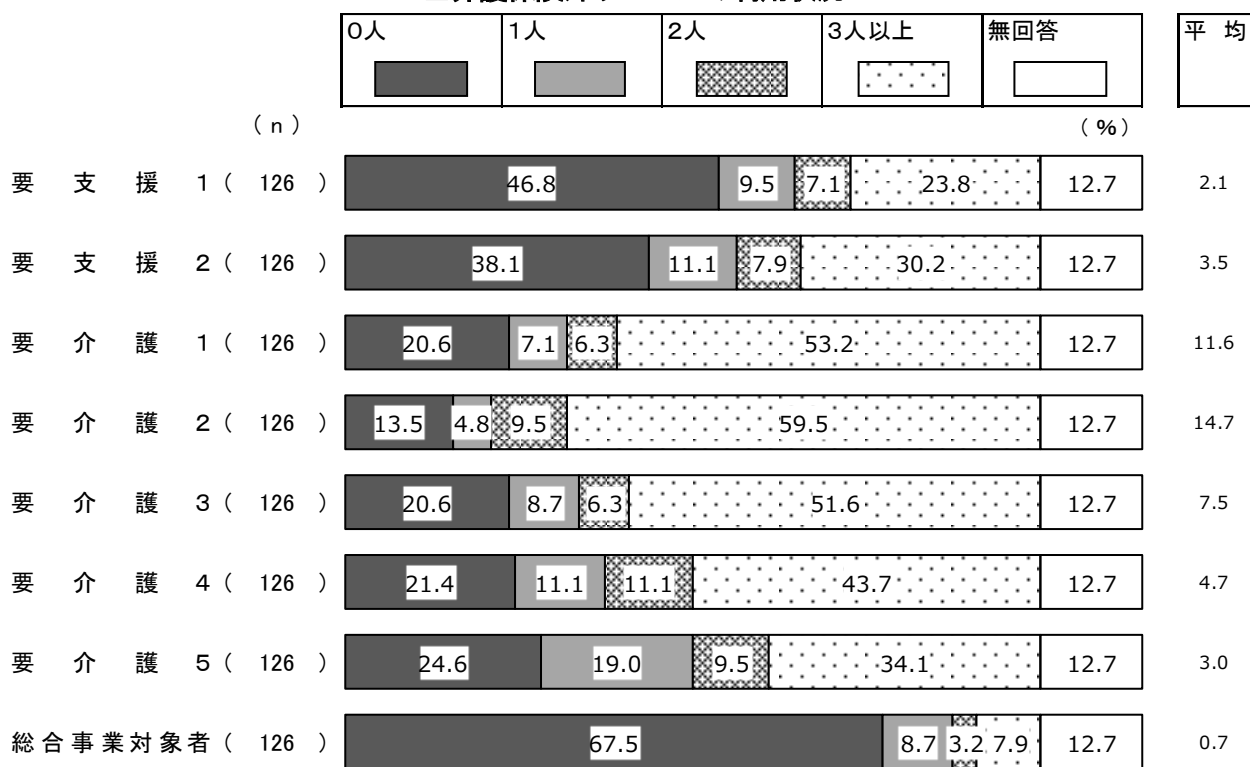


⑩ 介護保険外サービスの利用状況

○介護保険外サービスをケアプランに盛り込んでいない（利用者が「0人」）は、総合事業対象者で7割近く、要支援1で4割半ば、要支援2で4割近くとなっている。

○要介護1～3では、「3人以上」が半数を超えている。

■介護保険外サービスの利用状況

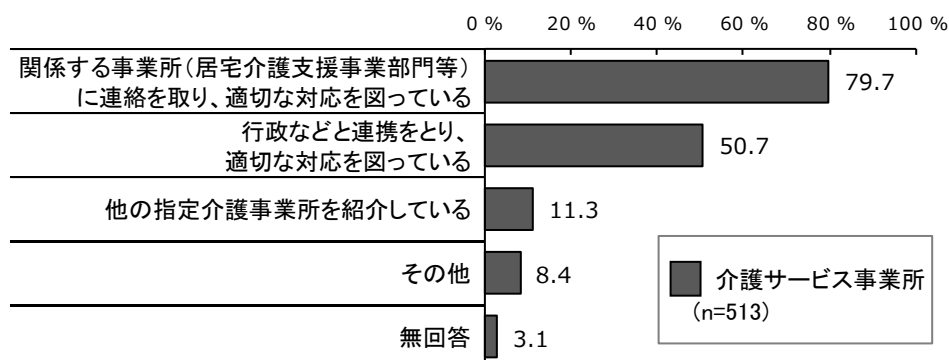


## (5) 苦情対応

### ① サービス提供困難時の対応

- 「関係する事業所（居宅介護支援事業部門等）に連絡を取り、適切な対応を図っている」が最も高く79.7%、「行政などと連携をとり、適切な対応を図っている」（50.7%）、「他の指定介護事業所を紹介している」（11.3%）と続いている。

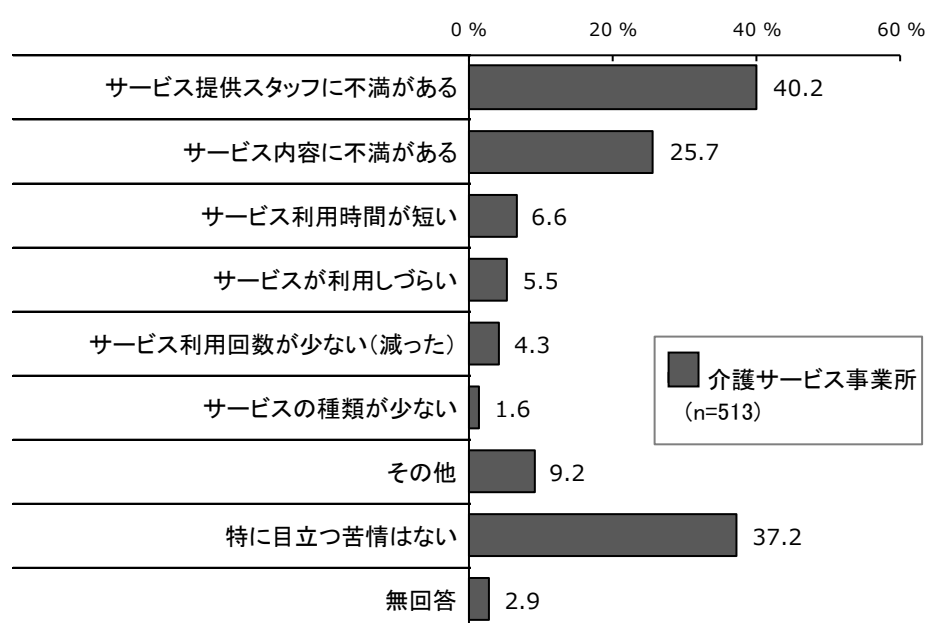
■サービス提供困難時の対応（複数回答）



### ② 利用者からの苦情内容

- 「サービス提供スタッフに不満がある」が40.2%で最も高く、「サービス内容に不満がある」(25.7%)と続いている。
- 「特に目立つ苦情はない」は37.2%となっている。

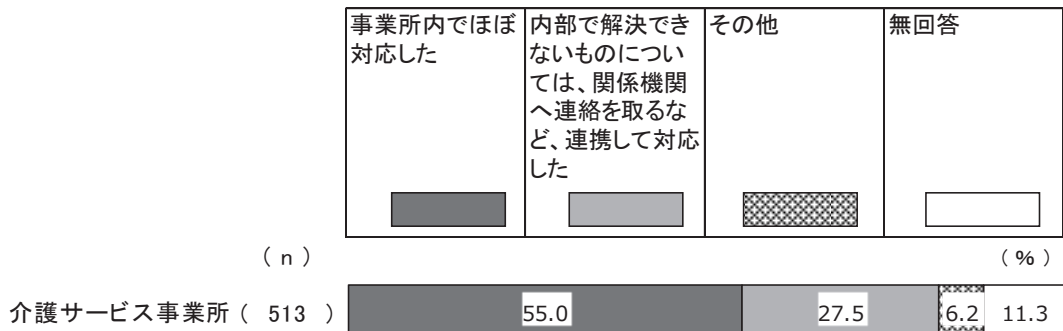
■利用者からの苦情内容（○は3つまで）



### ③ 寄せられた苦情の対応方法

○「事業所内でほぼ対応した」が55.0%、「内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した」が27.5%であった。

#### ■寄せられた苦情の対応方法



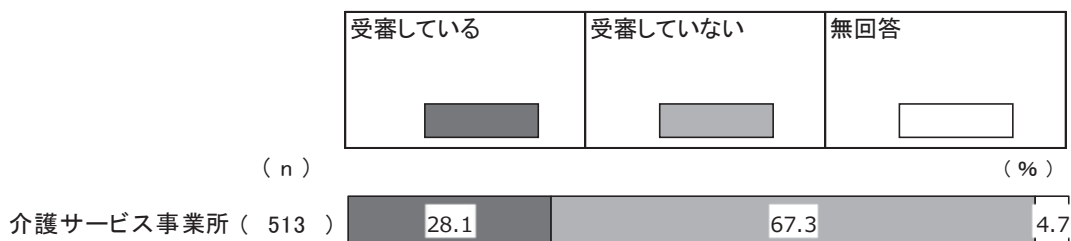
## (6) サービスの質の向上

### ① 第三者評価の受審状況と受審した評価方式

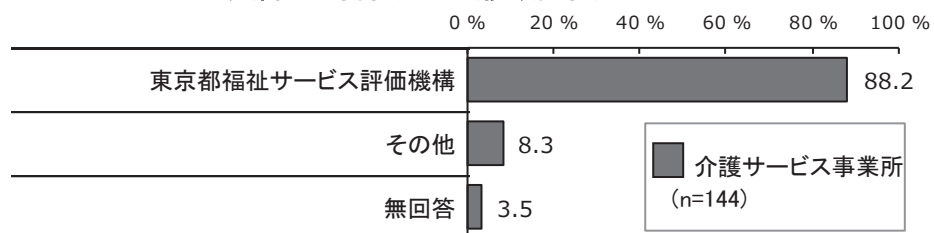
○「受審している」が28.1%、「受審していない」が67.3%となっている。

○受審した評価方式は、「東京都福祉サービス評価機構」が88.2%となっている。

#### ■第三者評価の受審状況



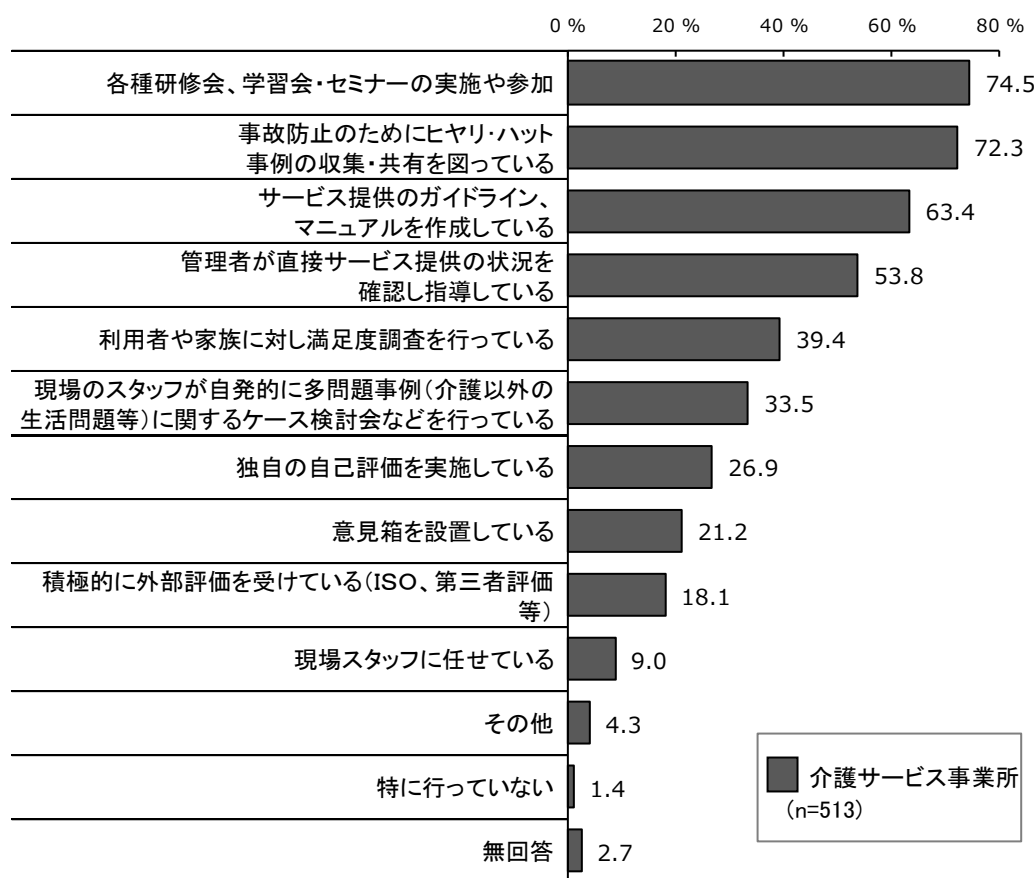
#### ■受審した評価方式 (複数回答)



## ② サービスの質の向上のための取組内容

○「各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加」が74.5%で最も高く、「事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている」(72.3%)、「サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している」(63.4%)と続いている。

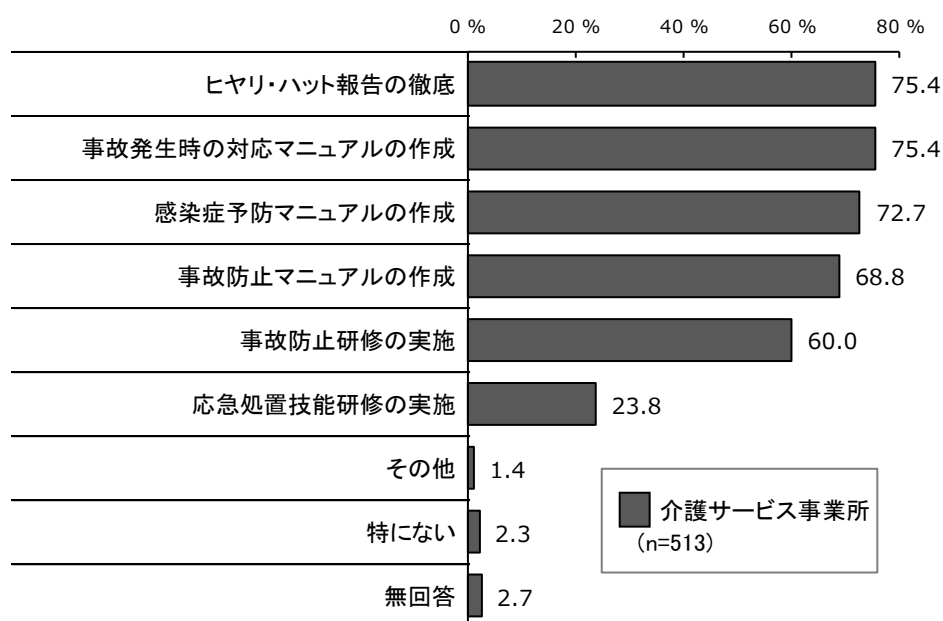
■サービスの質の向上のための取組内容（複数回答）



## ③ 事故防止のための取組内容

○「ヒヤリ・ハット報告の徹底」と「事故発生時の対応マニュアルの作成」が最も高く(ともに75.4%)、「感染症予防マニュアルの作成」(72.7%)、「事故防止マニュアルの作成」(68.8%)、「事故防止研修の実施」(60.0%)が上位に挙がっている。

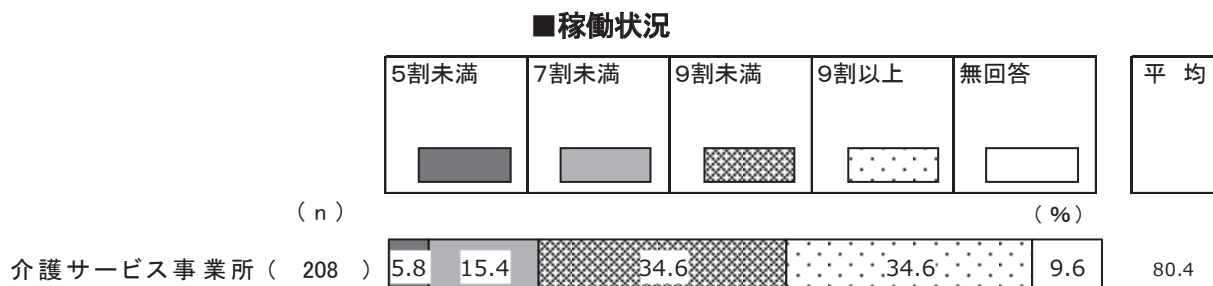
■事故防止のための取組内容（複数回答）



## (7) 事業所の運営

### ① 稼働状況

○稼働状況は、「9割以上」と「9割未満」がともに34.6%、「7割未満」が15.4%となっている。平均は80.4%であった。



※ 「通所介護（総合事業含む）」 「（介護予防）通所リハビリテーション」 「（介護予防）短期入所生活介護」 「（介護予防）短期入所療養介護」 「（介護予防）特定施設入居者生活介護」 「（介護予防）認知症対応型通所介護」 「地域密着型通所介護」 「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」 「看護小規模多機能型居宅介護」 「（介護予防）認知症高齢者グループホーム」 「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」 「介護老人福祉施設」 「介護老人保健施設」 「介護療養型医療施設」 を対象に集計した

### 【サービス種別】

○サービス種別にみると、『入所系』は「9割以上」が7割超となっている。

#### ■稼働状況<サービス種別>

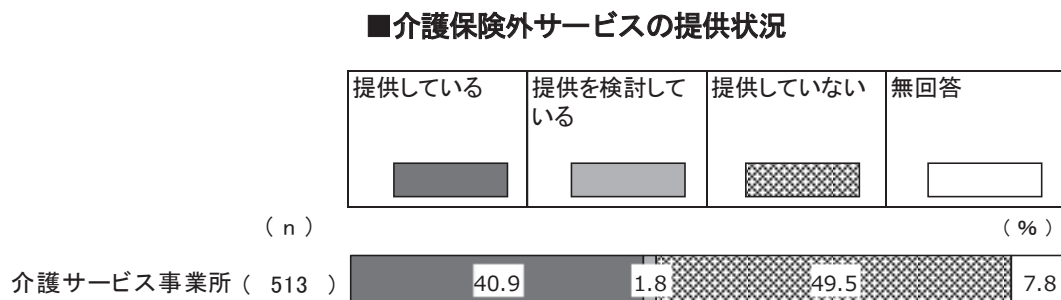
	n	稼働状況 (%)					平均
		5割未満	7割未満	9割未満	9割以上	無回答	
介護サービス事業所	208	5.8	15.4	34.6	34.6	9.6	80.4
通所系	56	5.4	21.4	46.4	14.3	12.5	75.1
入所系	49	6.1	-	14.3	73.5	6.1	89.3
地域密着型サービス	82	7.3	19.5	41.5	22.0	9.8	76.9
特定施設入居者生活介護	21	-	19.0	23.8	47.6	9.5	86.5

※ 「通所介護（総合事業含む）」 「（介護予防）通所リハビリテーション」 「（介護予防）短期入所生活介護」 「（介護予防）短期入所療養介護」 「（介護予防）特定施設入居者生活介護」 「（介護予防）認知症対応型通所介護」 「地域密着型通所介護」 「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」 「看護小規模多機能型居宅介護」 「（介護予防）認知症高齢者グループホーム」 「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」 「介護老人福祉施設」 「介護老人保健施設」 「介護療養型医療施設」 を対象に集計した

### ② 介護保険外サービスの提供状況

#### ア. 提供状況

○介護保険外サービスについて、「提供している」は40.9%、「提供を検討している」は1.8%、「提供していない」は49.5%となっている。

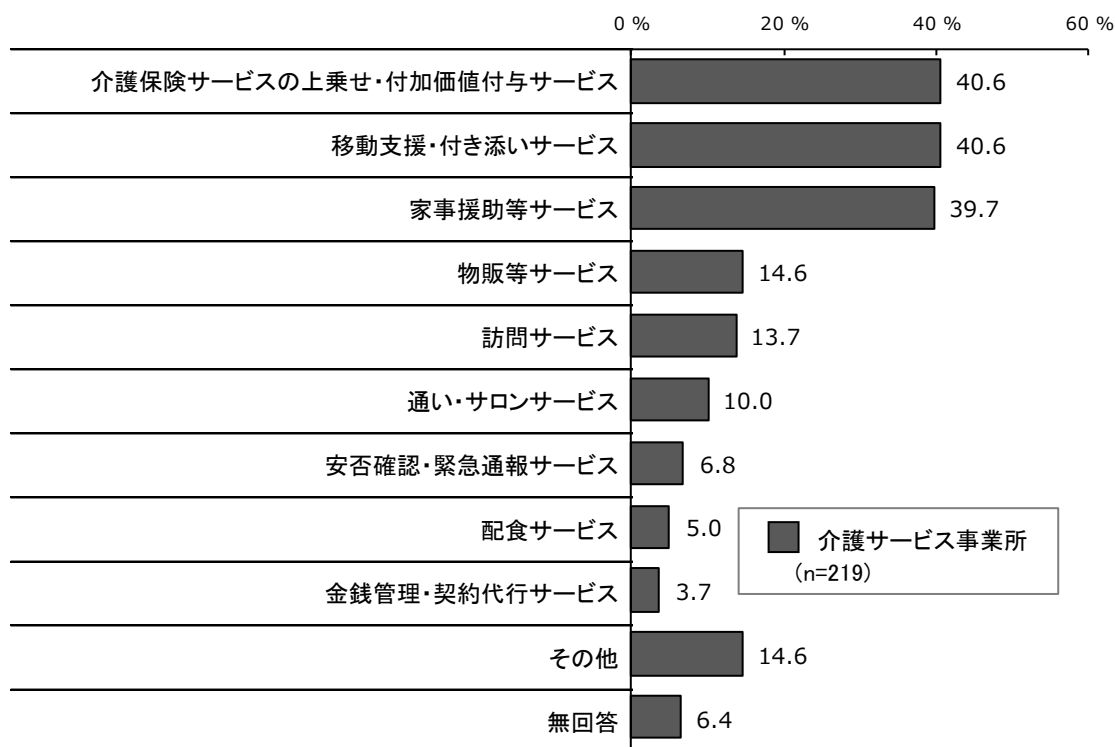




### イ. 提供または提供を検討しているサービス

○介護保険外サービスを「提供している」「提供を検討している」と回答した事業所が提供または提供を検討しているサービスは、「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」と「移動支援・付き添いサービス」（ともに40.6%）、「家事援助等サービス」（39.7%）が上位に挙げられている。

■提供または提供を検討しているサービス（複数回答）

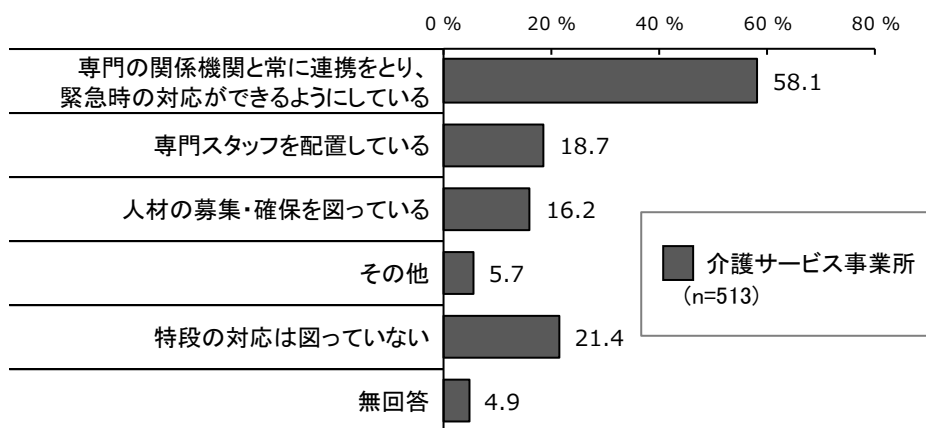


### ③ 要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応

○「専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている」が58.1%で最も高く、「専門スタッフを配置している」（18.7%）、「人材の募集・確保を図っている」（16.2%）と続いている。

○「特段の対応は図っていない」は21.4%となっている。

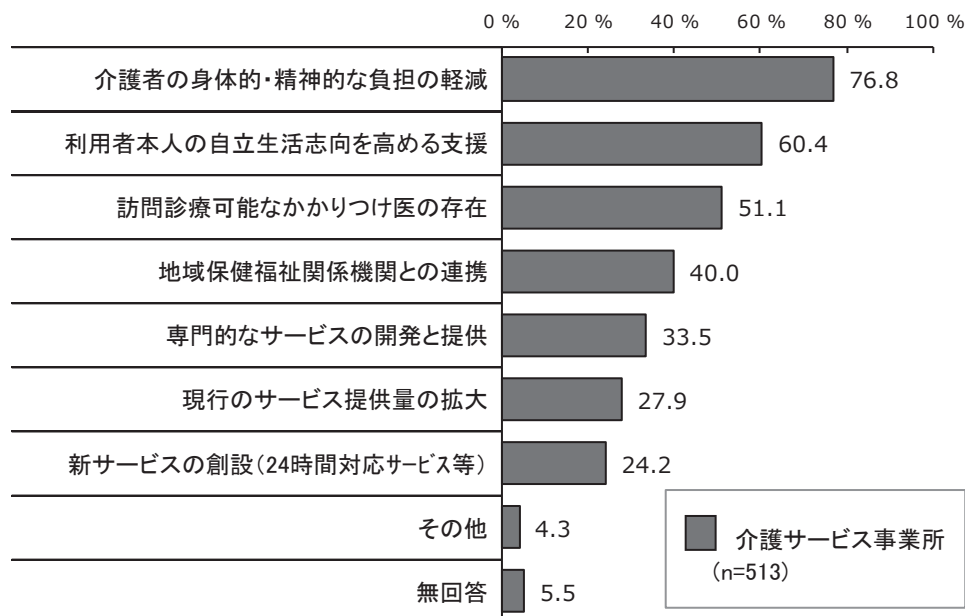
■要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応（複数回答）



#### ④ 要介護者が在宅生活を継続するための必要な条件

○「介護者の身体的・精神的な負担の軽減」が76.8%で最も高く、「利用者本人の自立生活志向を高める支援」(60.4%)、「訪問診療可能なかかりつけ医の存在」(51.1%)、「地域保健福祉関係機関との連携」(40.0%)と続いている。

■要介護者が在宅生活を継続するための必要な条件（複数回答）

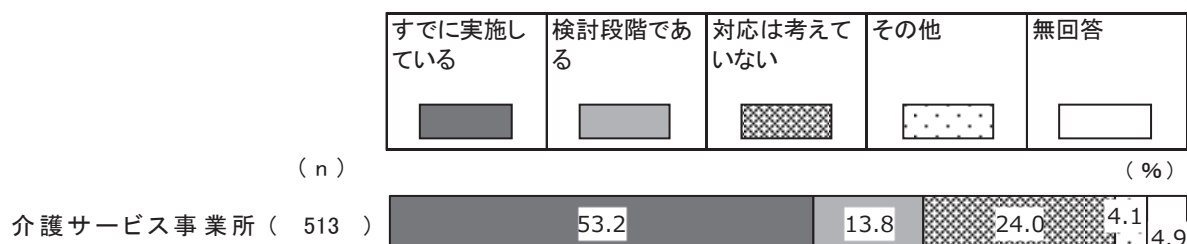


#### ⑤ 事業所におけるターミナルケアへの対応

##### ア. ターミナルケアへの対応状況

○「すでに実施している」は53.2%、「検討段階である」は13.8%となっている。  
○「対応は考えていない」は24.0%となっている。

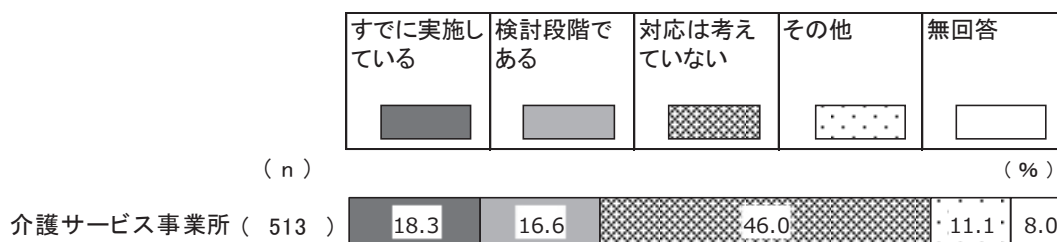
■ターミナルケアへの対応状況



##### イ. 介護職員によるたん吸引等の医療的ケアへの対応状況

○「すでに実施している」は18.3%、「検討段階である」は16.6%となっている。  
○「対応は考えていない」は46.0%となっている。

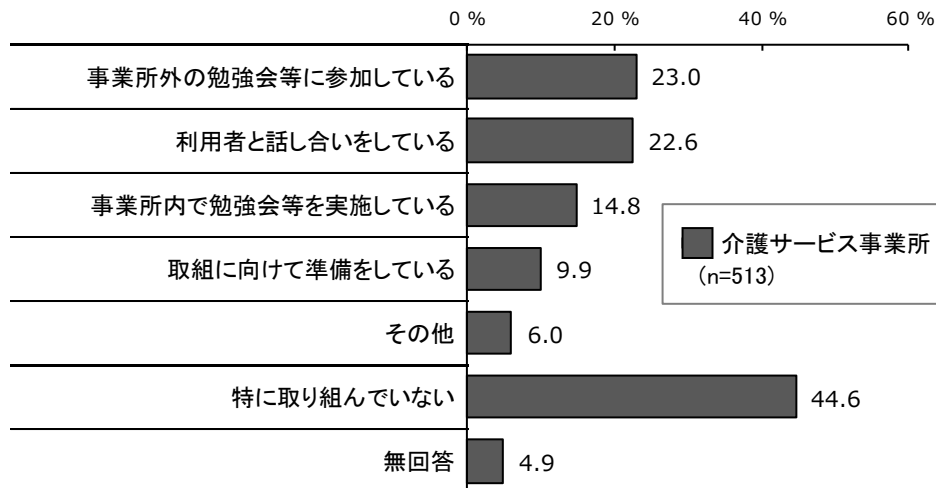
■介護職員によるたん吸引等の医療的ケアへの対応状況



## ⑥ ACPへの対応内容

- ACP（※）への対応内容としては、「事業所外の勉強会等に参加している」（23.0%）、「利用者と話し合いをしている」（22.6%）が上位に挙がっている。
- 「特に取り組んでいない」は44.6%となっている。

■ ACPへの対応内容（複数回答）



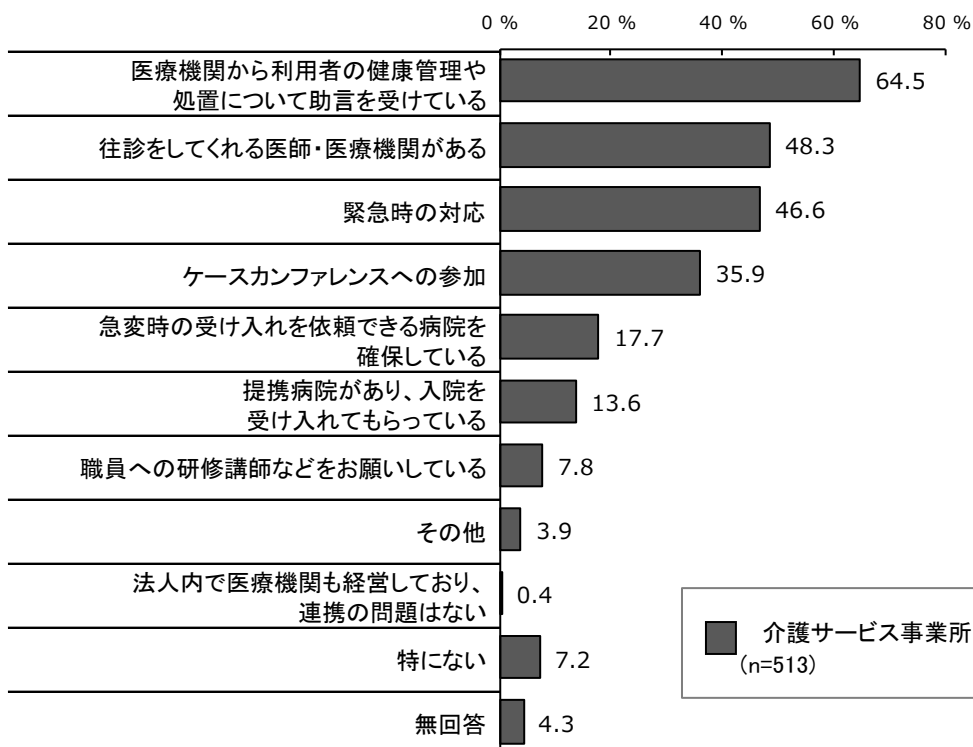
※ ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）とは、「自らが望む人生の最終段階の医療・介護について、前もって考え、家族や医療・介護スタッフ等と繰り返し話し合い共有すること」

## ⑦ 医療機関との連携

### ア. 医療機関との連携で取り組んでいること

- 「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が64.5%で最も高く、「往診をしてくれる医師・医療機関がある」（48.3%）、「緊急時の対応」（46.6%）、「ケースカンファレンスへの参加」（35.9%）と続いている。

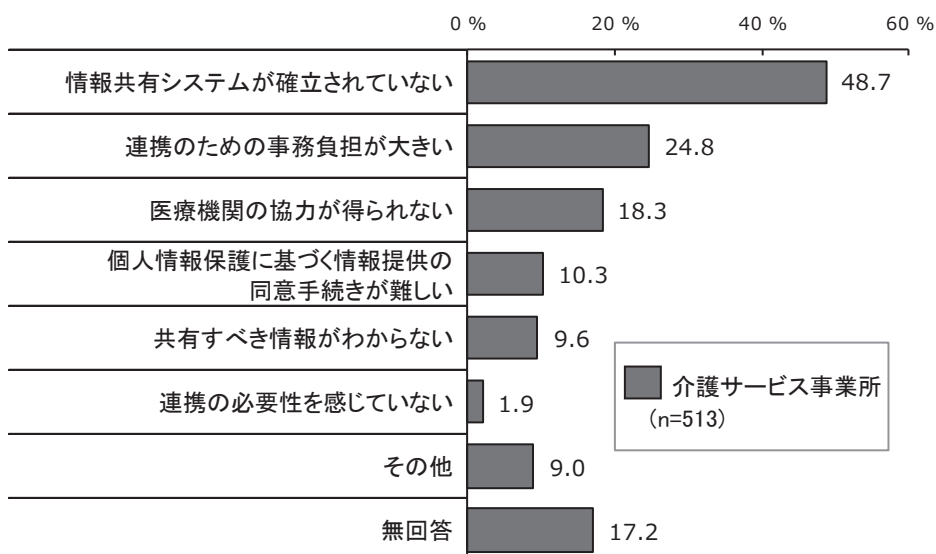
■ 医療機関との連携で取り組んでいること（複数回答）



### イ. 医療機関との連携を進める上での課題

- 「情報共有システムが確立されていない」が48.7%で最も高く、「連携のための事務負担が大きい」(24.8%)、「医療機関の協力が得られない」(18.3%)と続いている。
- 「連携の必要性を感じていない」は1.9%となっている。

■医療機関との連携を進める上での課題（複数回答）

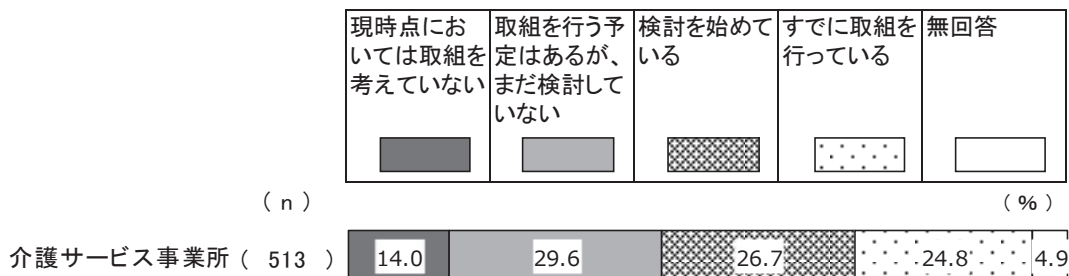


### ⑧ 大規模災害発生時における利用者の安否確認

#### ア. 大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組状況

- 「現時点においては取組を考えていない」は14.0%、「取組を行う予定はあるが、まだ検討していない」は29.6%、「検討を始めている」は26.7%、「すでに取組を行っている」は24.8%となっている。

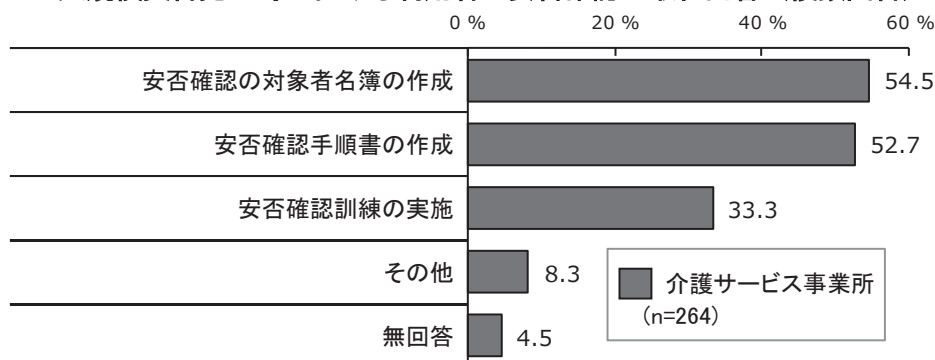
■大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組状況



#### イ. 大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組内容

- 「安否確認の対象者名簿の作成」(54.5%)、「安否確認手順書の作成」(52.7%)が上位に挙がっており、次いで「安否確認訓練の実施」(33.3%)となっている。

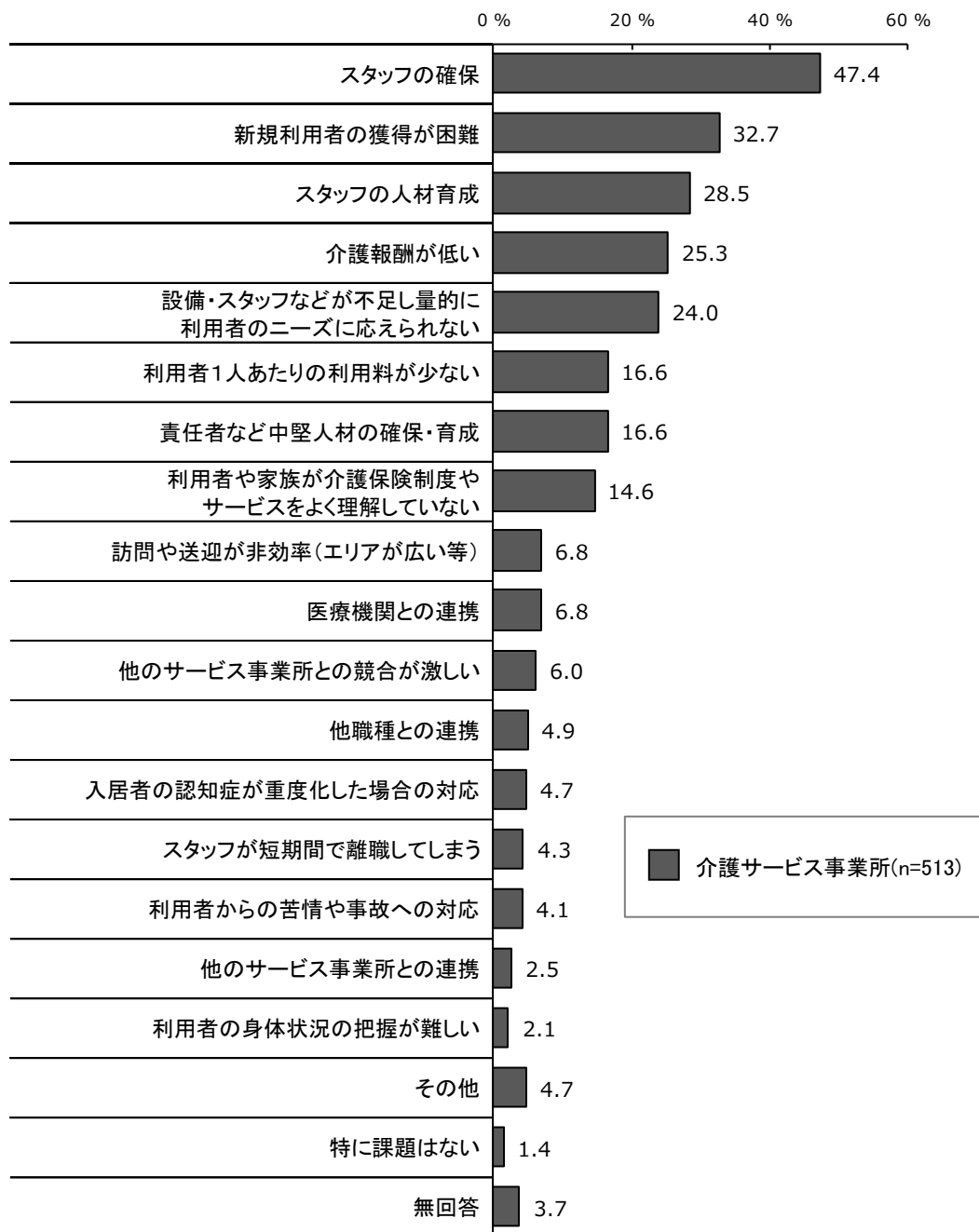
■大規模災害発生時における利用者の安否確認の取組内容（複数回答）



### ⑨ 事業を運営する上での課題

○「スタッフの確保」が47.4%で最も高く、「新規利用者の獲得が困難」(32.7%)、「スタッフの人材育成」(28.5%)、「介護報酬が低い」(25.3%)、「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない」(24.0%)と続いている。

■事業を運営する上での課題 (〇は3つまで)



## 【サービス種別】

○サービス種別にみると、「スタッフの確保」が『訪問系』で約6割、『入所系』で7割近くで全体と比べて高い。

### ■事業を運営する上での課題（○は3つまで）＜サービス種別＞

	(%)							
	介護サービス事業所	居宅介護支援	訪問系	通所系	入所系	地域密着型サービス	福祉用具貸与・販売	特定施設入居者生活介護
(n)	513	126	125	56	49	91	22	21
スタッフの確保	47.4	31.0	60.8	39.3	67.3	45.1	22.7	61.9
新規利用者の獲得が困難	32.7	23.0	30.4	37.5	30.6	38.5	54.5	33.3
スタッフの人材育成	28.5	21.4	28.0	28.6	51.0	29.7	4.5	28.6
介護報酬が低い	25.3	31.0	20.0	35.7	12.2	27.5	22.7	14.3
設備・スタッフなどが不足量的に利用者のニーズに応えられない	24.0	10.3	30.4	25.0	30.6	31.9	22.7	19.0
利用者1人あたりの利用料が少ない	16.6	15.9	11.2	21.4	14.3	19.8	40.9	4.8
責任者など中堅人材の確保・育成	16.6	16.7	24.0	10.7	16.3	14.3	4.5	14.3
利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない	14.6	20.6	19.2	8.9	4.1	8.8	22.7	19.0
訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)	6.8	2.4	6.4	12.5	-	14.3	-	4.8
医療機関との連携	6.8	10.3	3.2	7.1	10.2	6.6	4.5	4.8
他のサービス事業所との競合が激しい	6.0	3.2	5.6	7.1	6.1	4.4	31.8	4.8
他職種との連携	4.9	8.7	4.0	1.8	2.0	4.4	9.1	4.8
入居者の認知症が重度化した場合の対応	4.7	2.4	-	8.9	8.2	8.8	-	19.0
スタッフが短期間で離職してしまう	4.3	4.0	2.4	1.8	18.4	2.2	4.5	-
利用者からの苦情や事故への対応	4.1	2.4	4.8	7.1	4.1	2.2	4.5	14.3
他のサービス事業所との連携	2.5	5.6	3.2	-	-	2.2	-	-
利用者の身体状況の把握が難しい	2.1	1.6	1.6	-	6.1	1.1	9.1	4.8
その他	4.7	8.7	2.4	3.6	4.1	5.5	-	4.8
特に課題はない	1.4	2.4	0.8	-	-	1.1	4.5	4.8
無回答	3.7	7.9	3.2	1.8	2.0	1.1	4.5	4.8

### 【経年比較】

○平成 28 年度調査結果と比較すると概ね同様の結果となったが、「新規利用者の獲得が困難」のポイントが令和元年度調査では下がっている。

### ■事業を運営する上での課題（○は3つまで）＜経年比較＞

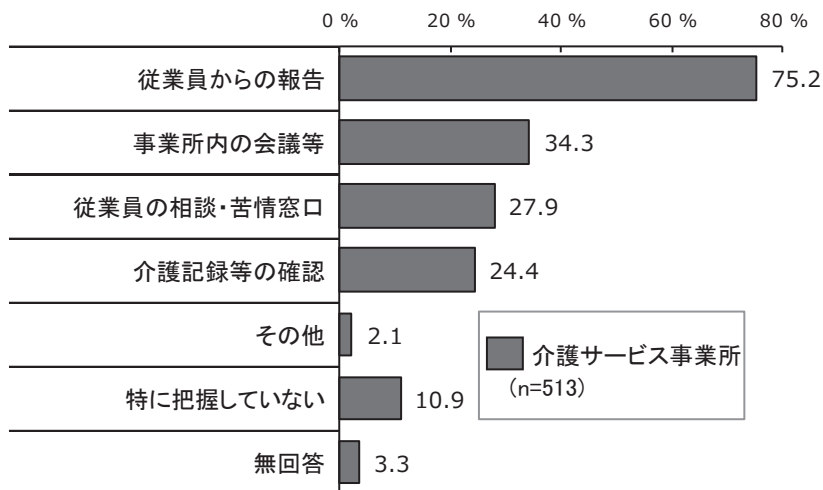
	(%)		
	令和元年度	平成 28年度	平成 25年度
(n)	513	599	656
スタッフの確保	47.4	50.8	42.2
新規利用者の獲得が困難	32.7	39.6	39.9
スタッフの人材育成	28.5	27.2	27.9
介護報酬が低い	25.3	23.0	22.1
設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない	24.0	24.5	20.1
利用者1人あたりの利用料が少ない	16.6	16.2	13.3
責任者など中堅人材の確保・育成	16.6	16.4	17.4
利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない	14.6	12.9	18.9
訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)	6.8	5.3	7.2
医療機関との連携	6.8	5.2	10.5
他のサービス事業所との競合が激しい	6.0	6.7	8.1
他職種との連携	4.9	3.2	4.7
入居者の認知症が重度化した場合の対応	4.7	5.8	7.6
スタッフが短期間で離職してしまう	4.3	5.7	4.4
利用者からの苦情や事故への対応	4.1	2.5	4.6
他のサービス事業所との連携	2.5	2.8	4.3
利用者の身体状況の把握が難しい	2.1	2.7	3.2
その他	4.7	3.5	2.4
特に課題はない	1.4	1.5	0.8
無回答	3.7	3.3	2.3

⑩ 従業員に対する利用者・家族等からのハラスメントに対する対応

ア. ハラスメントを把握する手段

- 「従業員からの報告」が75.2%で最も高く、次いで「事業所内の会議等」(34.3%)、「従業員の相談・苦情窓口」(27.9%)、「介護記録等の確認」(24.4%)となっている。
- 「特に把握していない」は10.9%であった。

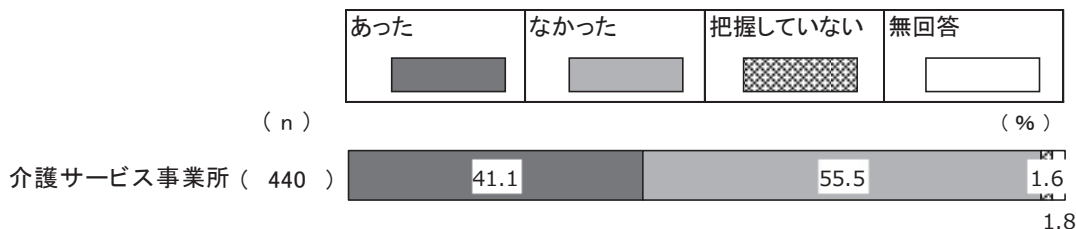
■ハラスメントを把握する手段



イ. 過去1年間のハラスメント相談・報告の有無

- 利用者・家族等からのハラスメントについて把握していると回答した事業所では、ハラスメントの相談・報告が「あった」は41.1%、「なかった」は55.5%となっている。「把握していない」は1.6%であった。

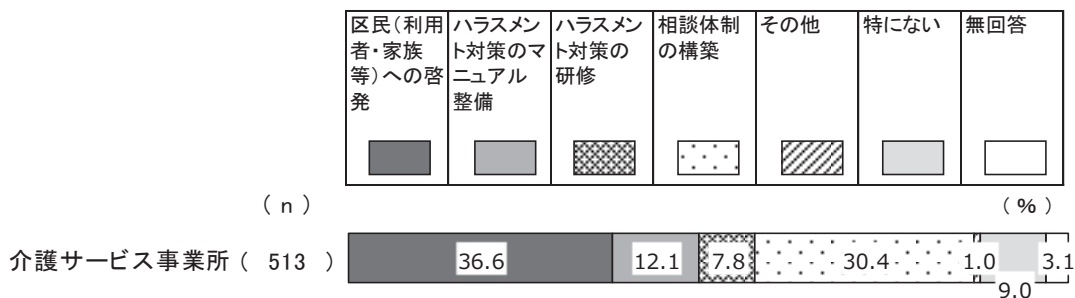
■過去1年間のハラスメント相談・報告の有無



ウ. ハラスメント対応で期待する区の支援

- 「区民(利用者・家族等)への啓発」が36.6%で最も高く、「相談体制の構築」(30.4%)、「ハラスメント対策のマニュアル整備」(12.1%)と続いている。

■ハラスメント対応で期待する区の支援



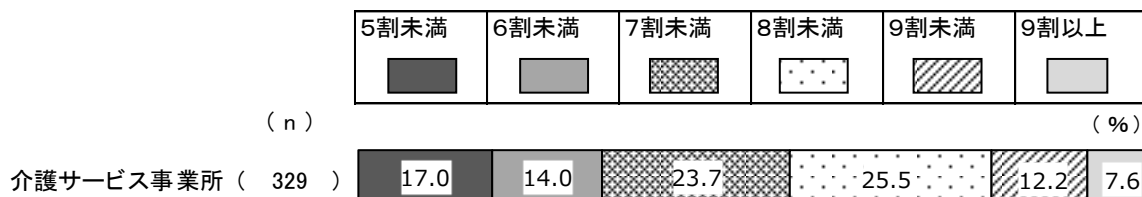


⑪ 介護事業収入に占める人件費等

ア. 介護事業収入に占める人件費の割合

○「8割未満」が25.5%で最も高く、「7割未満」(23.7%)、「5割未満」(17.0%)と続いている。「7割以上8割未満」が約半数を占めている。

■介護事業収入に占める人件費の割合

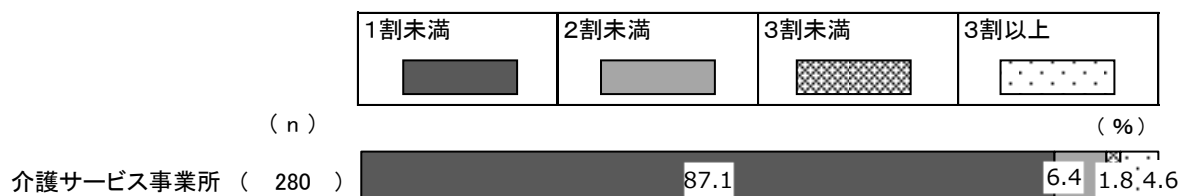


※ 無回答を除いて集計した

イ. 介護事業収入に占める派遣料金の割合

○「1割未満」が87.1%、「2割未満」が6.4%、「3割未満」が1.8%、「3割以上」が4.6%となっている。

■介護事業収入に占める派遣料金の割合



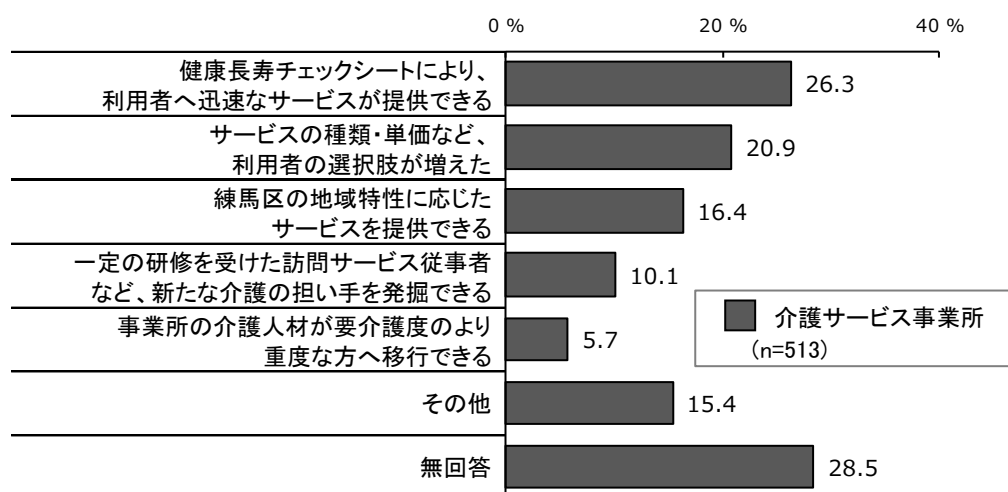
※ 無回答を除いて集計した

(8) 新しい総合事業

① 新しい総合事業の効果

○「健康長寿チェックシートにより、利用者へ迅速なサービスが提供できる」が26.3%で最も高く、「サービスの種類・単価など、利用者の選択肢が増えた」(20.9%)、「練馬区の地域特性に応じたサービスを提供できる」(16.4%)と続いている。

■新しい総合事業の効果 (複数回答)



## ② 今後、練馬区が充実を図っていくべき主な多様なサービス（自由回答）

### （家事代行・生活支援・買い物支援等）

- ・「ゴミをまとめて外に出す」「服薬の促しと確認をする」などピンポイントの利用が可能なサービス。
- ・通院の付き添いを、格安で行う人材。急に転倒して起きられない時、すぐ自宅に来てくれる人材。
- ・要介護から要支援になった利用者に対する生活のフォロー。
- ・要介護状態にならないために、早く介入できるシステムができれば良い。

### （運動・介護予防（生きがい・役割づくり）・社会参加、認知症予防）

- ・簡単になおかつ楽しく参加できるリハビリ。
- ・元気な高齢者が働ける場所が必要。人生 100 年時代なので、年寄り年寄りらしく隠居してしまうのではあまりに寂しい。
- ・家族を含めた認知症支援の更なる充実を希望する。
- ・自費で（低価格、短時間から利用できる）困った時にすぐ利用できる家事サービスがあると良い。
- ・ケアカフェや敬老館に行きたくても、交通の便が悪かったり距離があり行けない人も多く、閉じこもりがちになってしまうため送迎サービス（低料金）があると良い。

### （その他のサービス）

- ・介護ロボットなどの導入。
- ・高齢者が今の家で長く安全に生活ができるための環境整備。古い家や団地が多く、住宅改修やリフォームをしないと住めない物件、団地の取り壊しで引っ越しを余儀なくされる方もいるため、負担をかけないようなサポートを期待する。

### （多様なサービスの充実にあたって必要なこと）

- ・きめ細かいサービスのできる地域密着の公流の場が必要。
- ・傾聴、見守りサービス（数時間）が総合事業に組み込まれると、ヘルパーなどと組み合わせて在宅生活を安心して続けられると思う。
- ・まずは広報が必要。
- ・元気なうちから、予防についての意識を持ってもらう講習が必要。
- ・経済格差でサービスが利用できない状態をなくすことが必要。
- ・総合事業の算定が複雑なため、分かりやすい形になると良い。

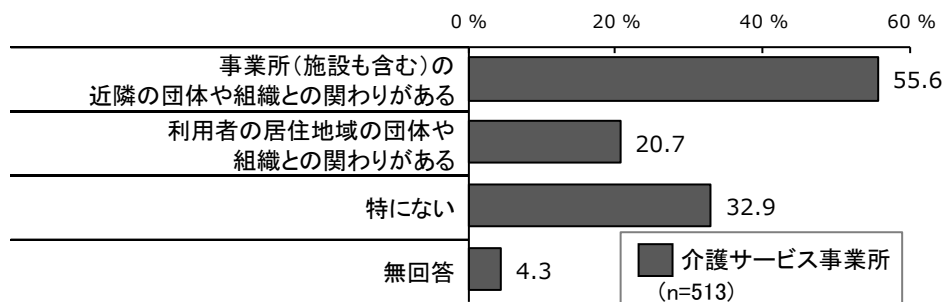
## (9) 地域との関わり

### ① 地域の各種団体や組織との関わり

#### ア. 地域の各種団体や組織との関わりの有無

- 「事業所（施設も含む）の近隣の団体や組織との関わりがある」が55.6%で最も高く、「利用者の居住地域の団体や組織との関わりがある」が20.7%となっている。
- 「特にない」は32.9%となっている。

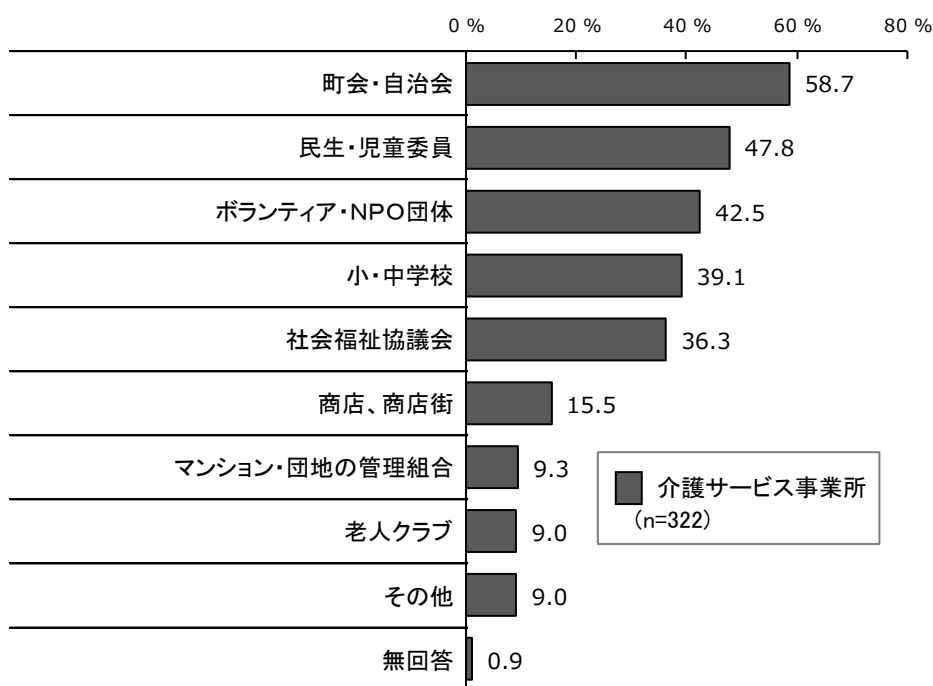
■地域の各種団体や組織との関わりの有無（複数回答）



#### イ. 関わりがある地域の各種団体や組織

- 地域の各種団体や組織との関わりがあると回答した事業所の関わりがある各種団体・組織は、「町会・自治会」が58.7%で最も高く、「民生・児童委員」(47.8%)、「ボランティア・NPO団体」(42.5%)、「小・中学校」(39.1%)、「社会福祉協議会」(36.3%)と続いている。

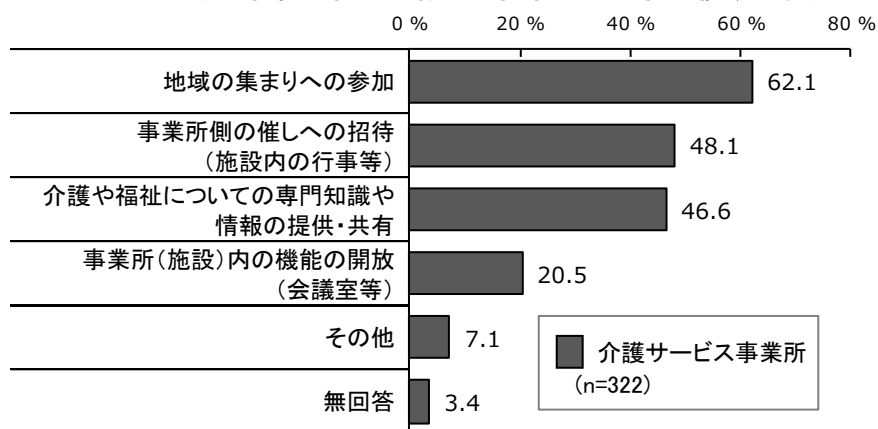
■関わりがある地域の各種団体や組織（複数回答）



### ウ. 地域の各種団体や組織との関わりの内容

○地域の各種団体や組織との関わりがあると回答した事業所の関わりの内容は、「地域の集まりへの参加」が62.1%で最も高く、「事業所側の催しへの招待（施設内の行事等）」（48.1%）、「介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有」（46.6%）と続いている。

■地域の各種団体や組織との関わりの内容（複数回答）



### ② ボランティアの受け入れ状況

#### ア. ボランティアの人数

○ボランティアの人数は、区全体で約3,400人、そのうち高齢者のボランティアは約1,600人となっている。

○『入所系』、『通所系』でのボランティアの活躍が進んでいる。

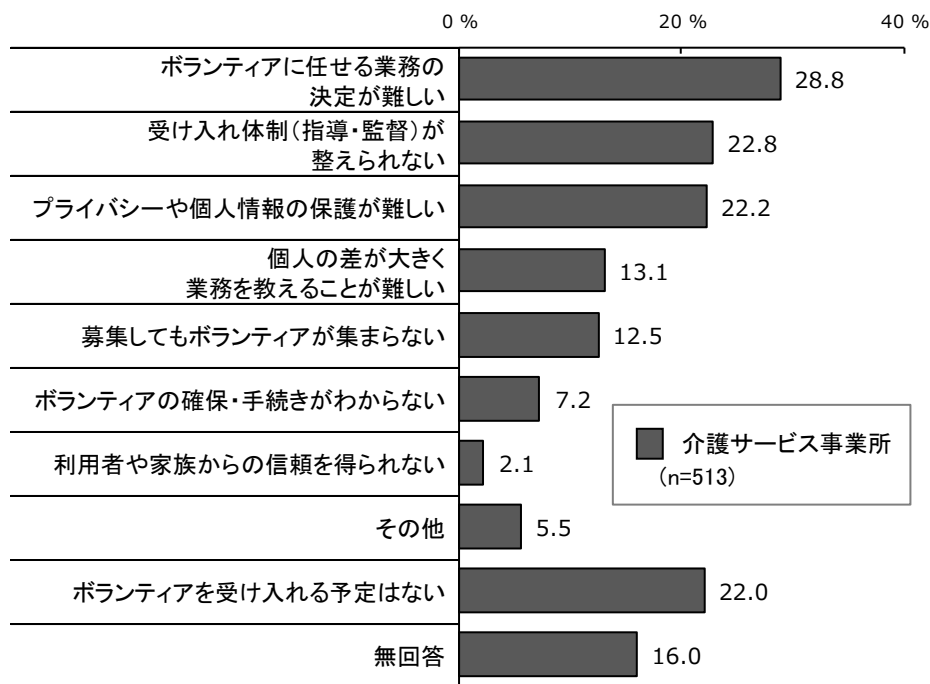
#### ■ボランティアの人数

	n	ボランティア人数(%)					実数(人)	
		0人	5人未満	10人未満	20人以上	無回答	合計	うち高齢者
介護サービス事業所	513	56.1	12.5	11.5	8.8	11.1	3,444	1,562
居宅介護支援	126	69.8	1.6	1.6	0.8	26.2	57	44
訪問系	125	88.0	1.6	-	2.4	8.0	141	109
通所系	56	21.4	32.1	17.9	23.2	5.4	1,196	311
入所系	49	8.2	12.2	42.9	30.6	6.1	1,076	741
地域密着型サービス	91	45.1	25.3	17.6	7.7	4.4	467	228
福祉用具貸与・販売	22	86.4	-	-	-	13.6	0	0
特定施設入居者生活介護	21	38.1	33.3	19.0	4.8	4.8	68	23

### イ. ボランティアを受け入れる際の課題

- 「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」が28.8%で最も高く、「受け入れ体制（指導・監督）が整えられない」（22.8%）、「プライバシーや個人情報の保護が難しい」（22.2%）と続いている。
- 「ボランティアを受け入れる予定はない」は22.0%となっている。

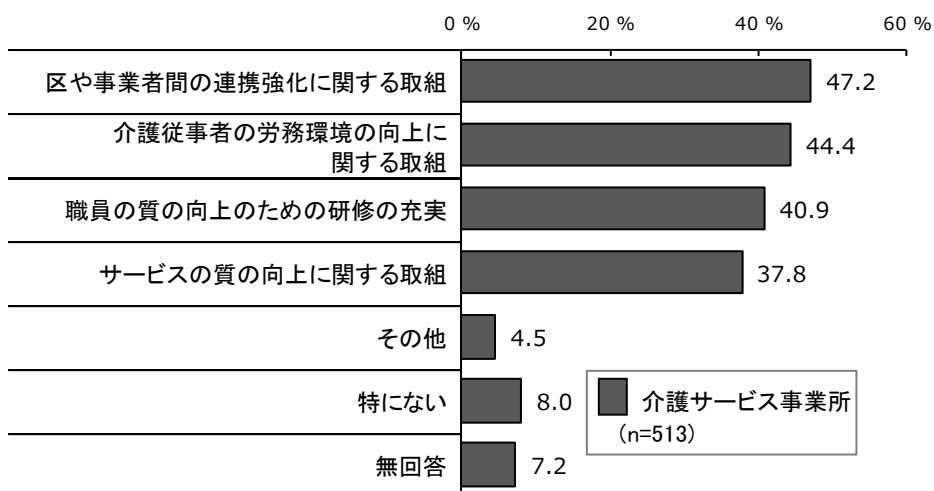
■ボランティアを受け入れる際の課題（○は3つまで）



### ③ 練馬区介護サービス事業者連絡協議会に期待すること

- 「区や事業者間の連携強化に関する取組」が47.2%で最も高く、「介護従事者の労務環境の向上に関する取組」（44.4%）、「職員の質の向上のための研修の充実」（40.9%）、「サービスの質の向上に関する取組」（37.8%）と続いている。

■練馬区介護サービス事業者連絡協議会に期待すること（複数回答）



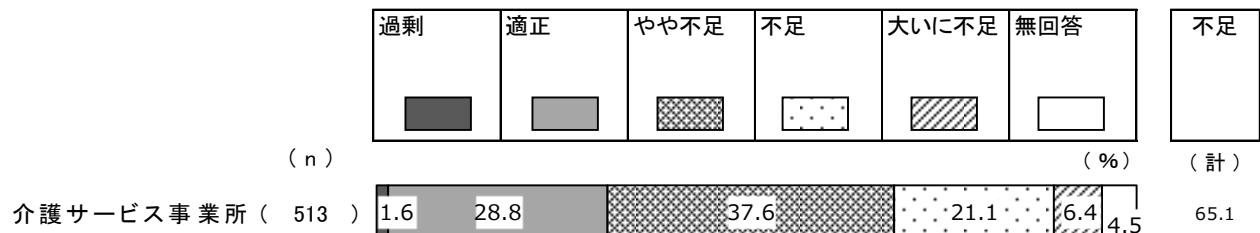
## (10) 人材の確保・育成

### ① 職員の過不足の状況

○職員の状況について、「やや不足」が37.6%で最も多く、「適正」(28.8%)、「不足」(21.1%)と続いている。

○“不足”（「やや不足」と「不足」と「大いに不足」の合計）は65.1%となっている。

#### ■職員の過不足の状況



### 【サービス種別】

○サービス種別に見ると、『訪問系』『入所系』は“不足”（「やや不足」「不足」「大いに不足」の合計）が8割前後となっている。

#### ■職員の過不足の状況<サービス種別>

サービス種別	n	(%)						(計)
		過剰	適正	やや不足	不足	大いに不足	無回答	
介護サービス事業所	513	1.6	28.8	37.6	21.1	6.4	4.5	65.1
居宅介護支援	126	0.8	37.3	24.6	16.7	7.1	13.5	48.4
訪問系	125	1.6	17.6	40.0	30.4	9.6	0.8	80.0
通所系	56	7.1	30.4	51.8	8.9	-	1.8	60.7
入所系	49	-	18.4	53.1	18.4	8.2	2.0	79.6
地域密着型サービス	91	1.1	38.5	30.8	23.1	6.6	-	60.4
福祉用具貸与・販売	22	-	45.5	31.8	9.1	-	13.6	40.9
特定施設入居者生活介護	21	-	14.3	57.1	23.8	4.8	-	85.7

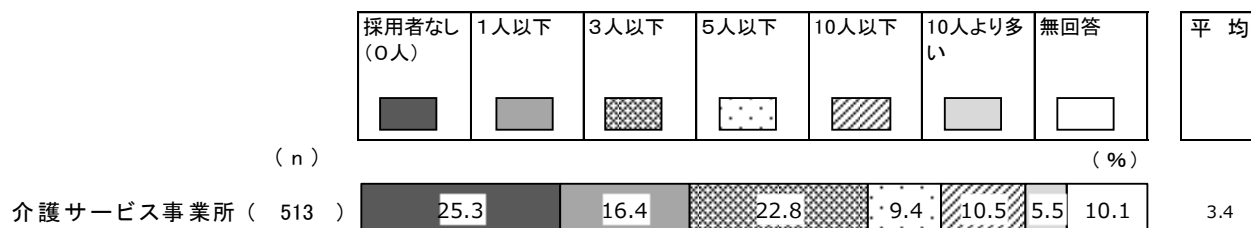
## ② 過去1年間の採用者数と離職者数

### ア. 採用者数

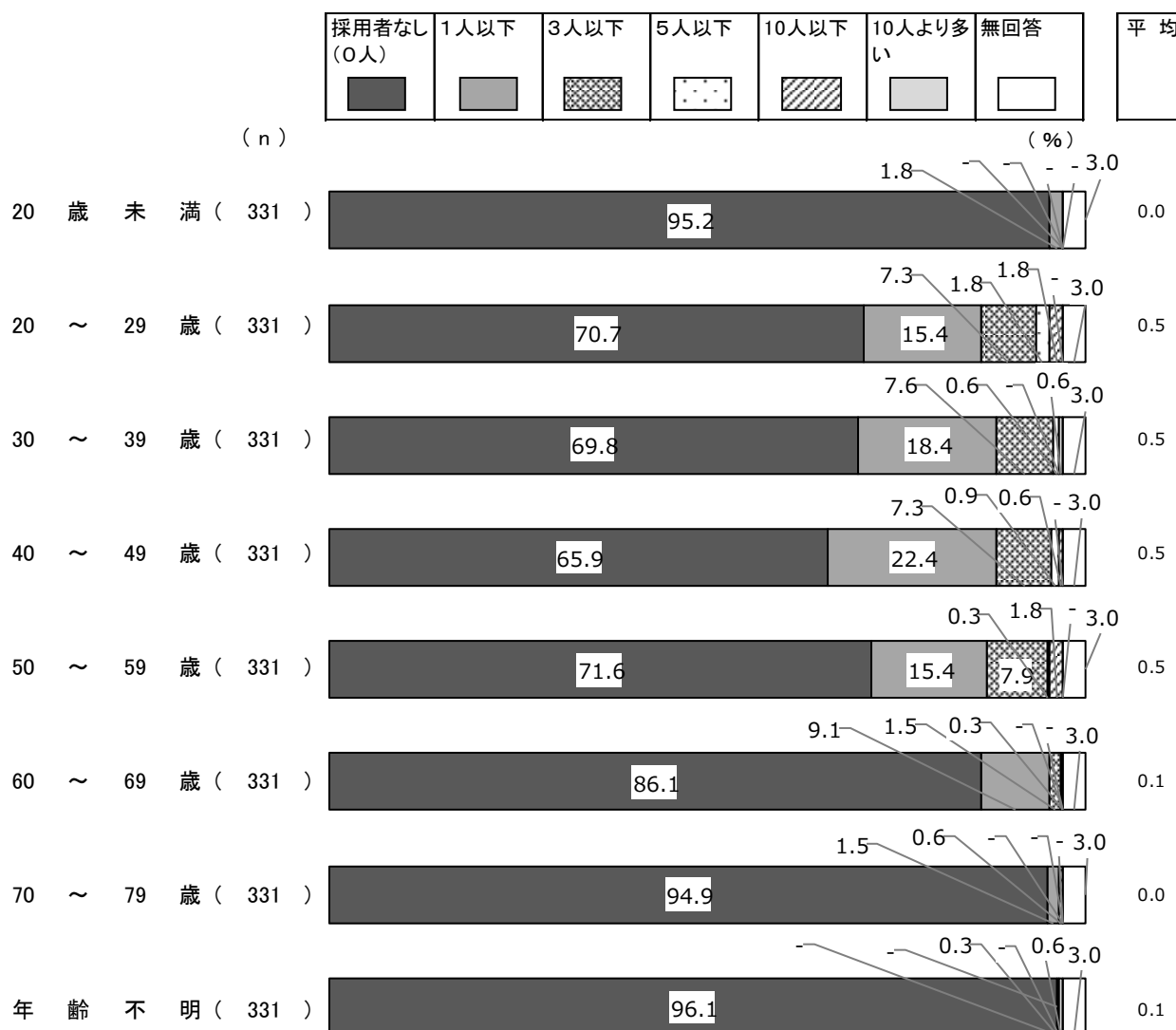
○過去1年間の採用者数は、「採用者なし（0人）」が25.3%で最も多く、「3人以下」（22.8%）、「1人以下」（16.4%）と続き、平均3.4人となっている。

○正規職員、非正規職員ともに40代の採用者がやや多い。

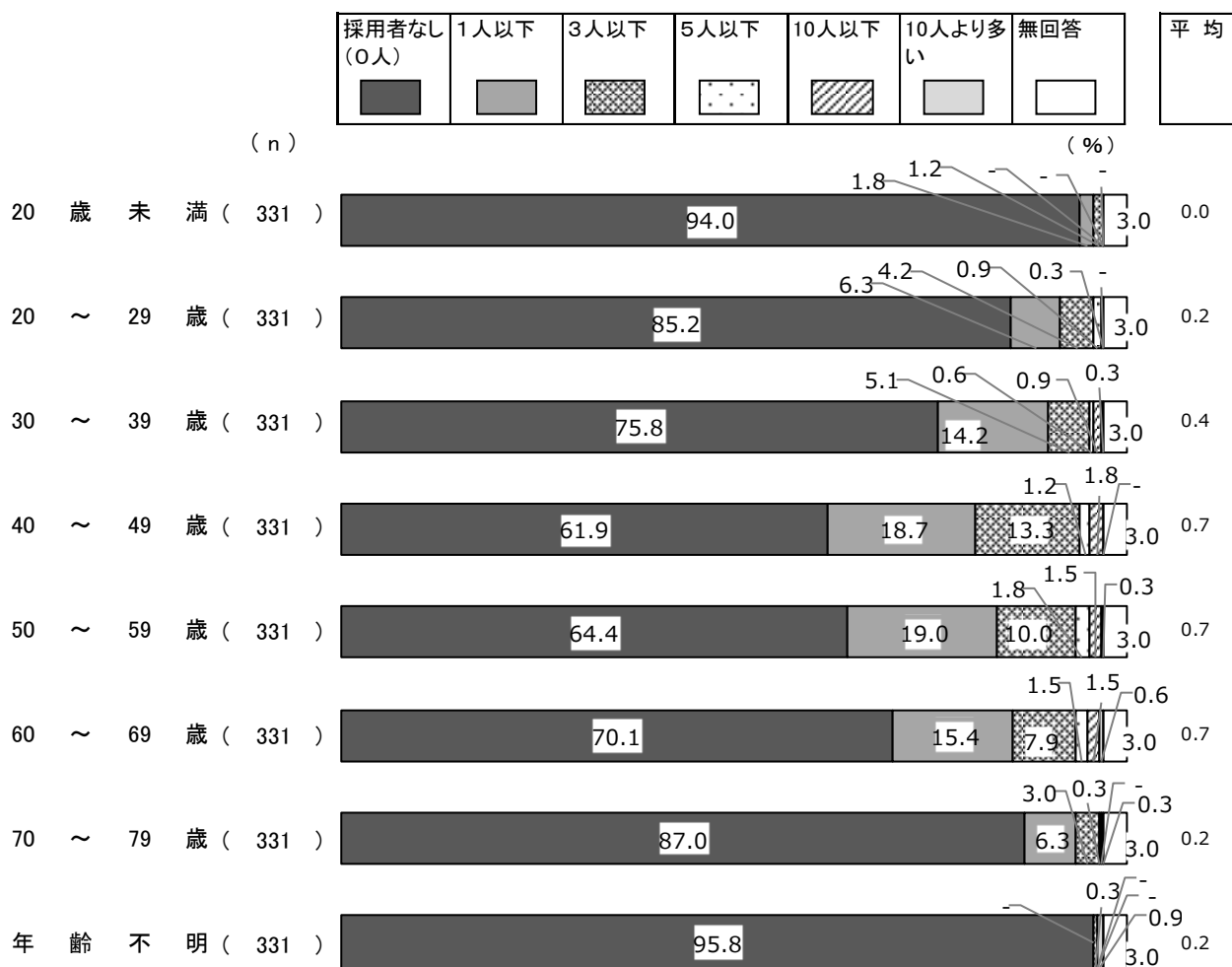
#### ■採用者数



#### ■採用者数<年齢別：正規職員>



■採用者数<年齢別：非正規職員>



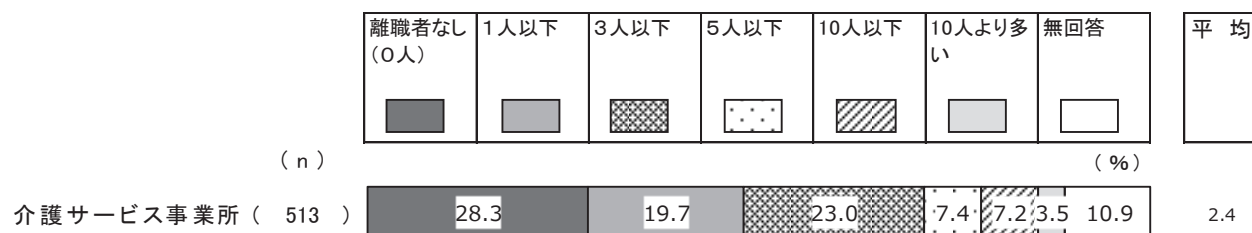


## イ. 離職者数

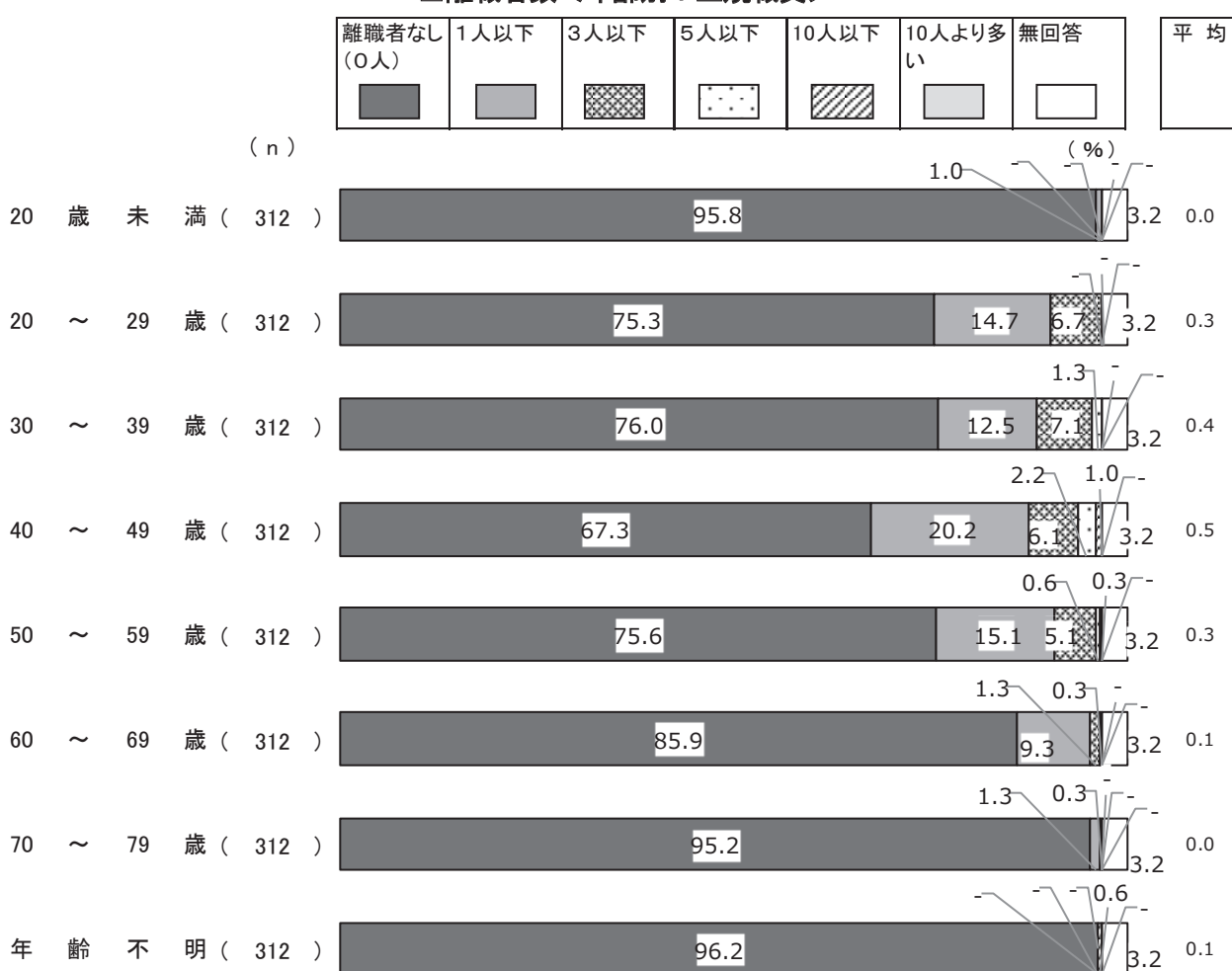
○過去1年間の離職者数は、「離職者なし(0人)」が28.3%で最も高く、「3人以下」(23.0%)、「1人以下」(19.7%)と続き、平均2.4人となっている。

○正規職員、非正規職員ともに40代の離職者がやや多い。

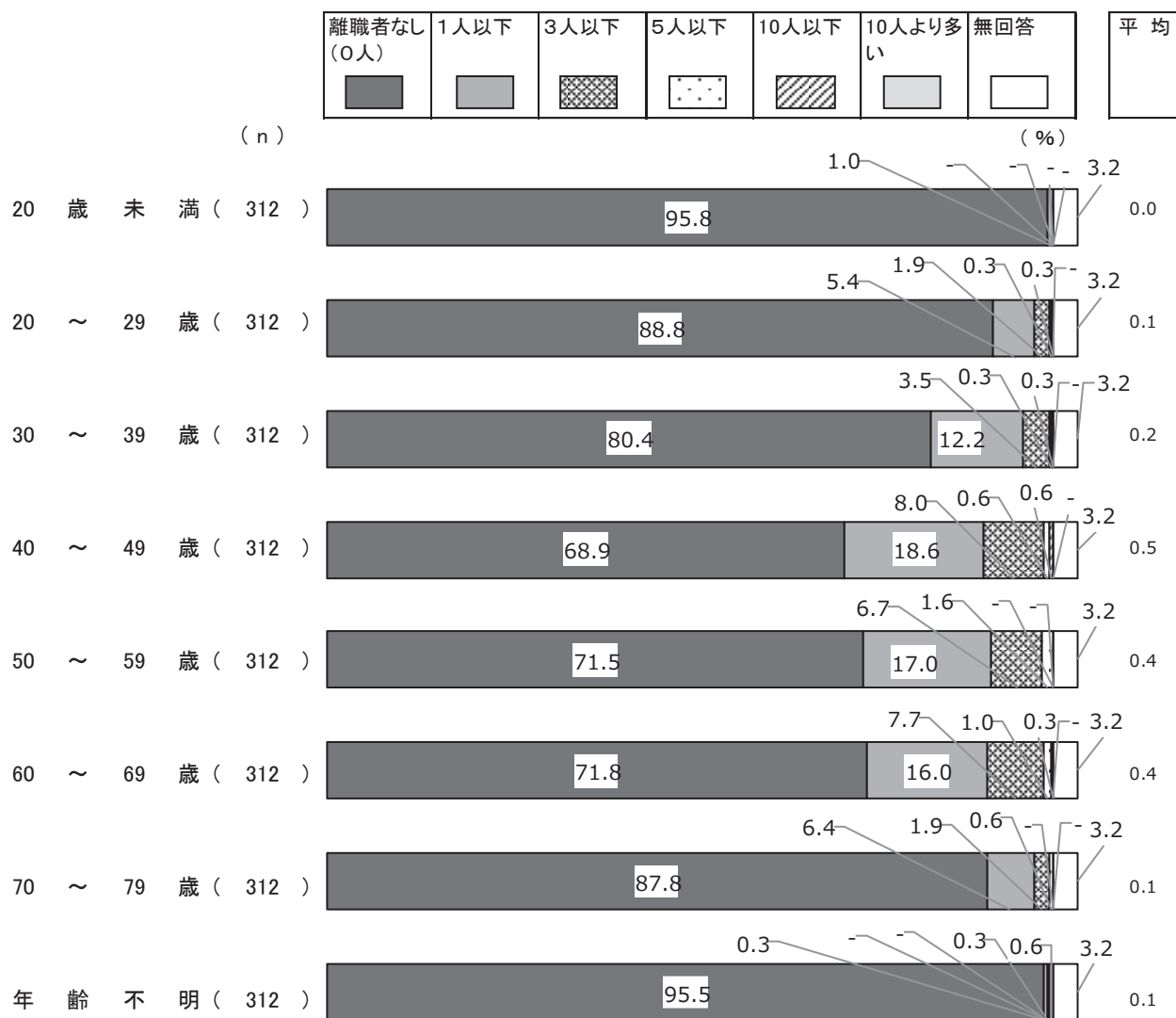
### ■離職者数



### ■離職者数<年齢別：正規職員>



■離職者数<年齢別：非正規職員>

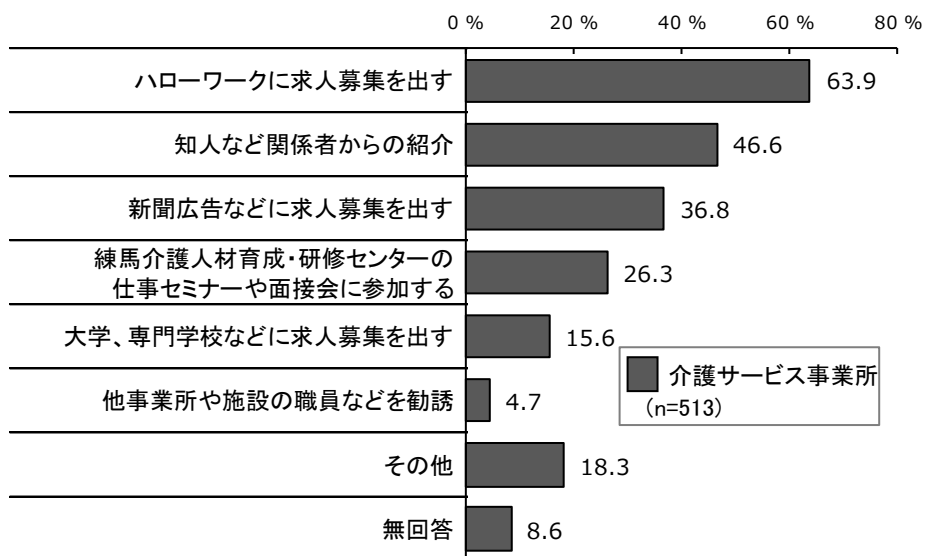


### ③ 介護人材の確保

#### ア. 介護人材の確保策

○「ハローワークに求人募集を出す」が63.9%で最も高く、「知人など関係者からの紹介」(46.6%)、「新聞広告などに求人募集を出す」(36.8%)、「練馬介護人材育成・研修センターの仕事セミナーや面接会に参加する」(26.3%)と続いている。

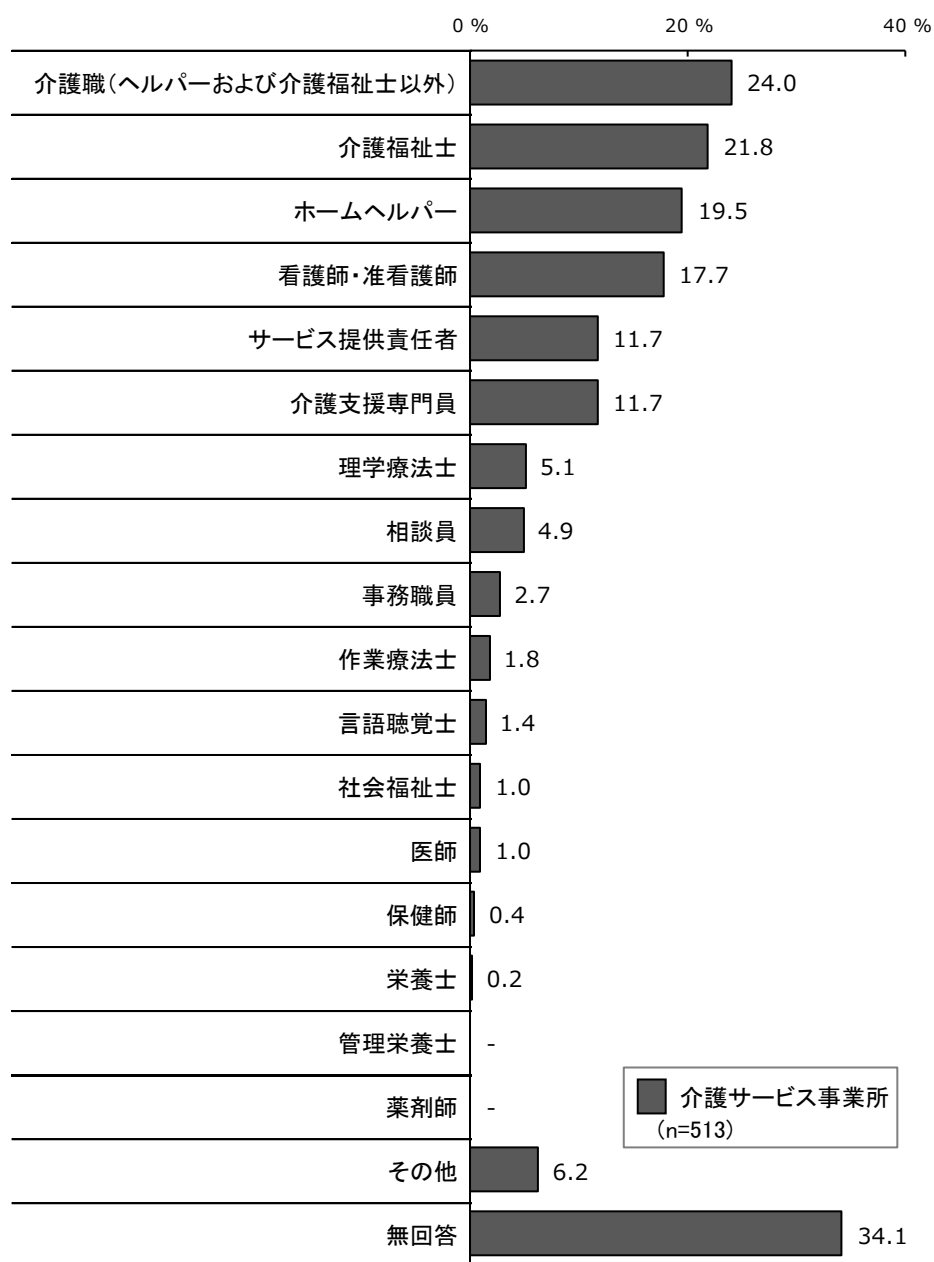
■介護人材の確保策（複数回答）



## イ. 特に確保の困難な職種

○「介護職（ヘルパーおよび介護福祉士以外）」が24.0%で最も高く、「介護福祉士」（21.8%）、「ホームヘルパー」（19.5%）、「看護師・准看護師」（17.7%）、「サービス提供責任者」（11.7%）、「介護支援専門員」（11.7%）と続いている。

■特に確保の困難な職種（複数回答）



## ウ. 特に確保の困難な職種の不足人数

○回答のあった事業所の特に確保の困難な職種の不足人数を合計すると、全体で「ホームヘルパー」が388人、「介護福祉士」が250人、「介護職（ヘルパーおよび介護福祉士以外）」が226.5人となっている。

### ■特に確保の困難な職種の不足人数

#### ○サービス提供責任者

	n	最大	合計
全体	60	3	72
居宅介護支援	16	3	23
訪問系	35	3	39
通所系	0	-	0
入所系	2	1	2
地域密着型サービス	5	3	6
福祉用具貸与・販売	1	1	1
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ○介護支援専門員

	n	最大	合計
全体	60	10	83
居宅介護支援	34	10	54
訪問系	7	2	8
通所系	1	1	1
入所系	2	2	3
地域密着型サービス	13	2	12
福祉用具貸与・販売	1	1	1
特定施設入居者生活介護	2	3	4

#### ○ホームヘルパー

	n	最大	合計
全体	100	30	388
居宅介護支援	13	10	72
訪問系	65	30	264
通所系	1	3	3
入所系	2	4	8
地域密着型サービス	12	10	27
福祉用具貸与・販売	1	3	3
特定施設入居者生活介護	4	3	5

#### ○介護職（ヘルパー/介護福祉士以外）

	n	最大	合計
全体	123	6	226.5
居宅介護支援	6	4	15
訪問系	10	5	28
通所系	23	4	34.5
入所系	29	5	58
地域密着型サービス	36	6	59
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	11	5	22

#### ○保健師

	n	最大	合計
全体	2	1	2
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	1	1	1
通所系	0	-	0
入所系	1	1	1
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ○看護師・准看護師

	n	最大	合計
全体	91	10	124.5
居宅介護支援	2	10	20
訪問系	21	3	29.5
通所系	15	2	12
入所系	26	2	36
地域密着型サービス	15	2	10
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	5	4	9

#### ○社会福祉士

	n	最大	合計
全体	5	1	4
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	0	-	0
通所系	3	1	2
入所系	1	1	1
地域密着型サービス	1	1	1
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ○介護福祉士

	n	最大	合計
全体	112	11	250
居宅介護支援	4	10	17
訪問系	12	5	37
通所系	19	3	22.5
入所系	29	6	70
地域密着型サービス	24	10	44
福祉用具貸与・販売	1	-	0
特定施設入居者生活介護	11	11	39

#### ○理学療法士

	n	最大	合計
全体	26	5	35
居宅介護支援	1	1	1
訪問系	5	3	7
通所系	11	3	13
入所系	2	3	4
地域密着型サービス	3	1	2
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	1	1	1

#### ○作業療法士

	n	最大	合計
全体	9	3	10
居宅介護支援	1	3	3
訪問系	5	1	4
通所系	1	1	1
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	1	1	1
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ○言語聴覚士

	n	最大	合計
全体	7	2	7
居宅介護支援	1	2	2
訪問系	4	1	4
通所系	1	-	0
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ○事務職員

	n	最大	合計
全体	14	1	13
居宅介護支援	1	1	1
訪問系	11	1	10
通所系	0	-	0
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	1	1	1
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	1	1	1

#### ○相談員

	n	最大	合計
全体	25	2	19
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	0	-	0
通所系	9	2	7
入所系	2	1	2
地域密着型サービス	11	1	7
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	2	1	2

#### ○医師

	n	最大	合計
全体	5	1	4
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	0	-	0
通所系	0	-	0
入所系	5	1	4
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ○栄養士

	n	最大	合計
全体	1	1	1
居宅介護支援	0	-	0
訪問系	0	-	0
通所系	1	1	1
入所系	0	-	0
地域密着型サービス	0	-	0
福祉用具貸与・販売	0	-	0
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ○その他

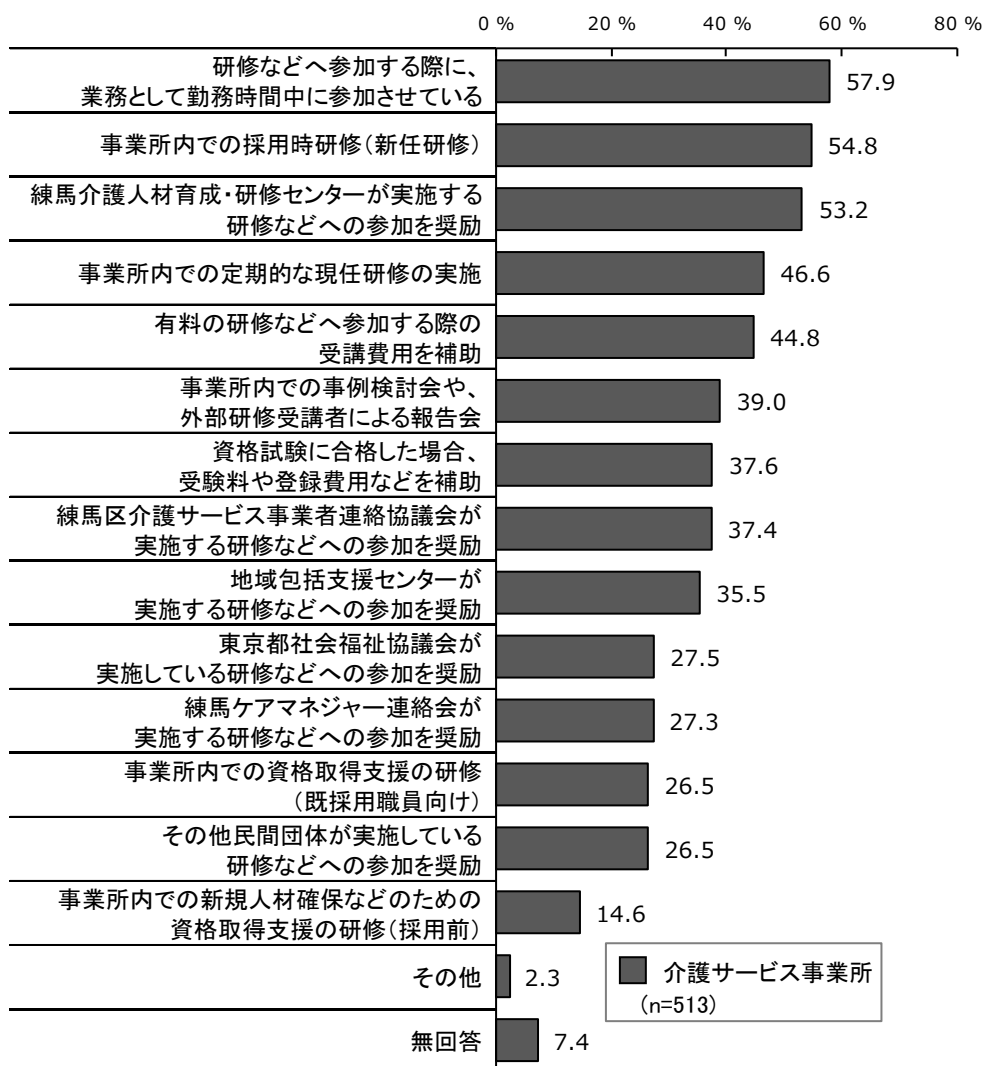
	n	最大	合計
全体	32	3	38
居宅介護支援	4	1	3
訪問系	0	-	0
通所系	11	3	17
入所系	2	1	2
地域密着型サービス	7	2	8
福祉用具貸与・販売	5	2	5
特定施設入居者生活介護	0	-	0

#### ④ 研修や資格取得支援の取組

##### ア. 研修や資格取得支援の取組状況

○「研修などへ参加する際に、業務として勤務時間中に参加させている」が57.9%で最も高く、「事業所内での採用時研修（新任研修）」（54.8%）、「練馬介護人材育成・研修センターが実施する研修などへの参加を奨励」（53.2%）、「事業所内での定期的な現任研修の実施」（46.6%）、「有料の研修などへ参加する際の受講費用を補助」（44.8%）と続いている。

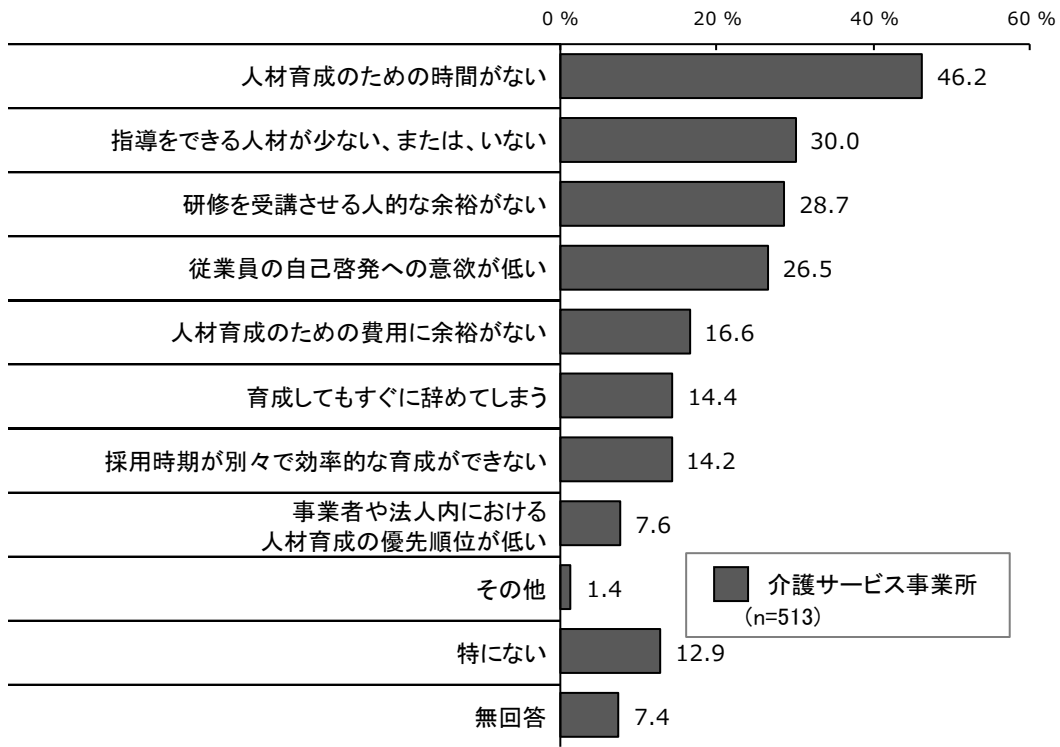
■ 研修や資格取得支援の取組状況（複数回答）



**イ. 従業員の研修・教育等で困っていること**

- 「人材育成のための時間がない」が46.2%で最も高く、「指導をできる人材が少ない、または、いない」(30.0%)、「研修を受講させる人的な余裕がない」(28.7%)、「従業員の自己啓発への意欲が低い」(26.5%)と続いている。
- 「特にない」は12.9%となっている。

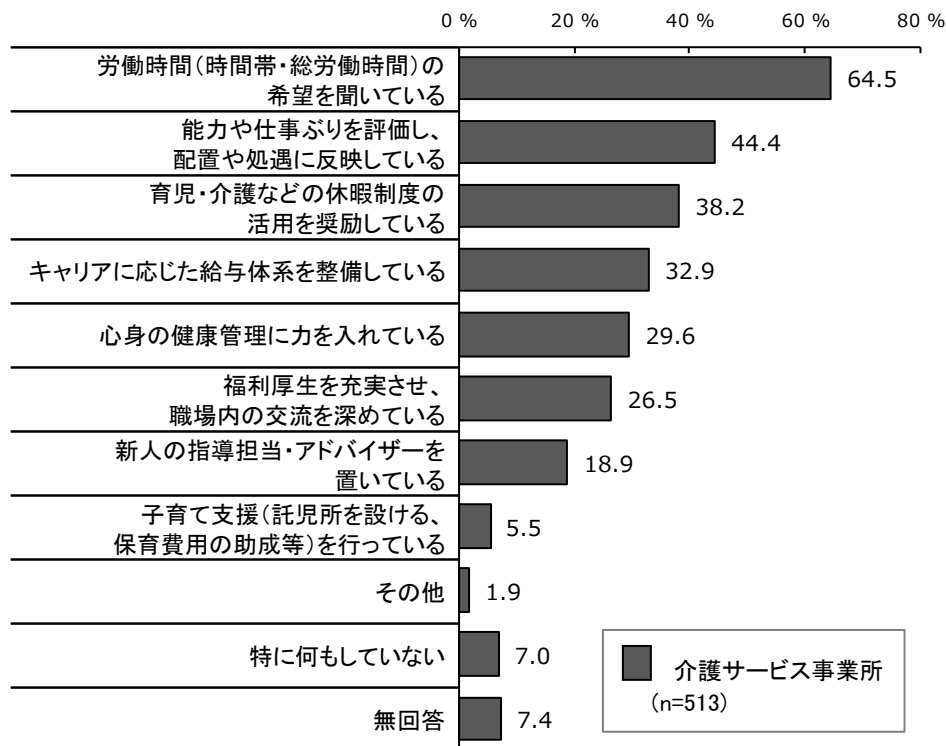
**■従業員の研修・教育等で困っていること（複数回答）**



### ⑤ 従業員の早期離職防止や定着促進のための取組状況

- 「労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている」が64.5%で最も高く、「能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している」（44.4%）、「育児・介護などの休暇制度の活用を奨励している」（38.2%）と続いている。
- 「特に何もしていない」は7.0%となっている。

■従業員の早期離職防止や定着促進のための取組状況（複数回答）



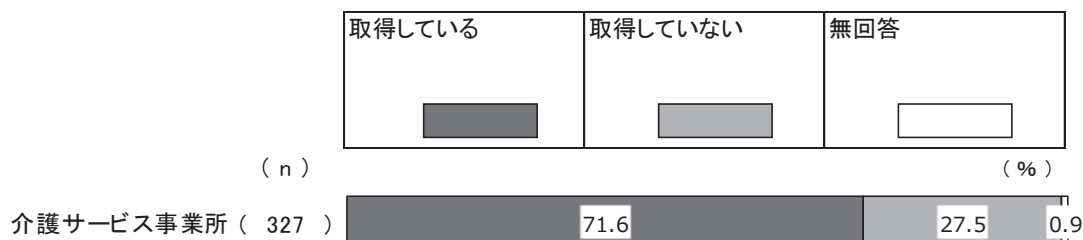


## ⑥ 特定処遇改善加算の取得状況

### ア. 特定処遇改善加算の取得状況

○「取得している」は71.6%、「取得していない」は27.5%となっている。

#### ■特定処遇改善加算の取得状況

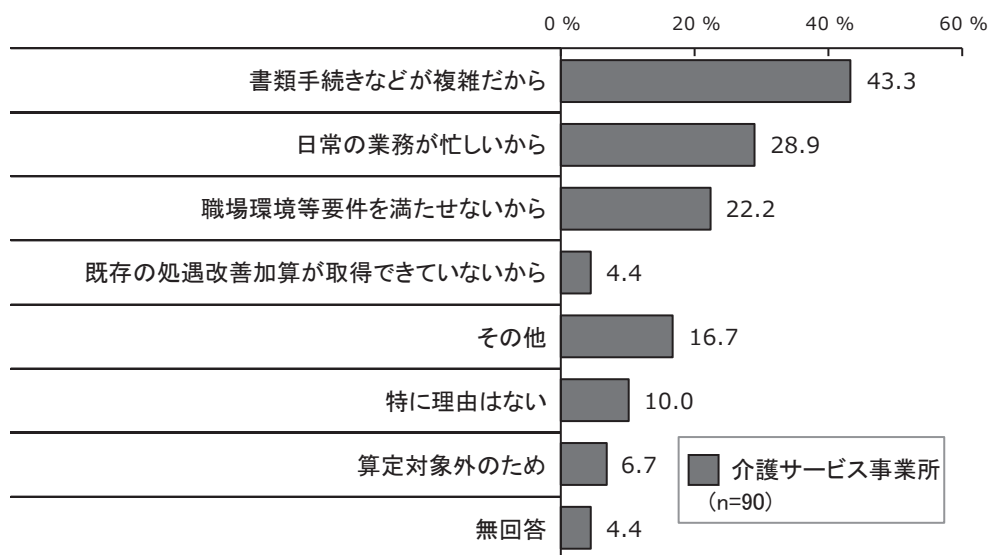


※ 「(介護予防)訪問看護」「(介護予防)訪問リハビリテーション」「(介護予防)福祉用具貸与」「(介護予防)福祉用具販売」「(介護予防)居宅療養管理指導」「居宅介護支援(介護予防支援)」を除外して集計した

### イ. 特定処遇改善加算を取得していない理由

○特定処遇改善加算を取得していないと回答した事業所のその理由は、「書類手続きなどが複雑だから」が43.3%で最も高く、「日常の業務が忙しいから」(28.9%)、「職場環境等要件を満たせないから」(22.2%)と続いている。

#### ■特定処遇改善加算を取得していない理由(複数回答)



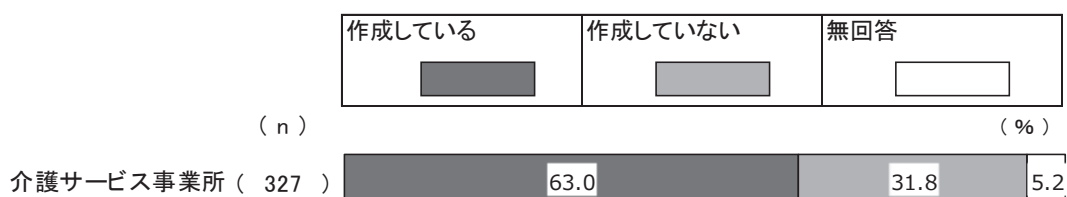
※ 「(介護予防)訪問看護」「(介護予防)訪問リハビリテーション」「(介護予防)福祉用具貸与」「(介護予防)福祉用具販売」「(介護予防)居宅療養管理指導」「居宅介護支援(介護予防支援)」を除外して集計した

⑦ キャリアパス（経験・能力に応じた職務・職位の経歴モデル）の作成

ア. キャリアパスの作成状況

○「作成している」が63.0%、「作成していない」が31.8%となっている。

■キャリアパスの作成状況

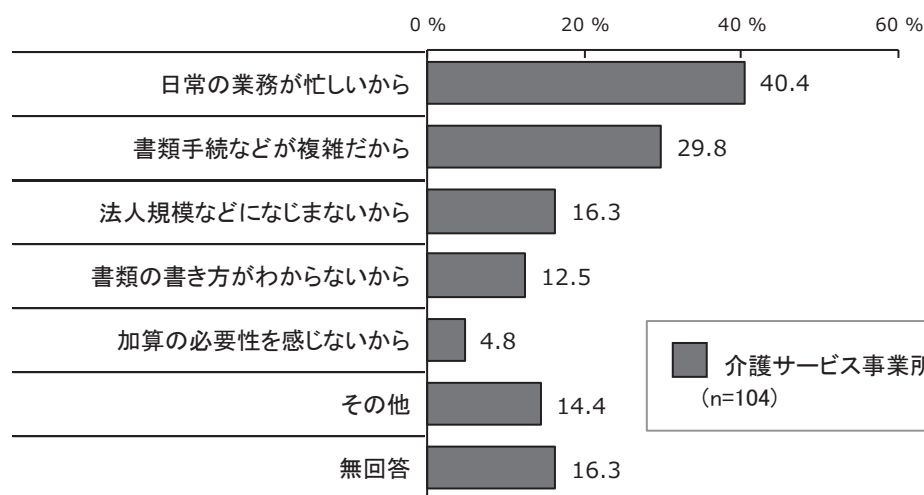


※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

イ. キャリアパスを作成していない理由

○キャリアパスを作成していないと回答した事業所のその理由は、「日常の業務が忙しいから」が最も高く40.4%、「書類手続などが複雑だから」（29.8%）と続いている。

■キャリアパスを作成していない理由（複数回答）



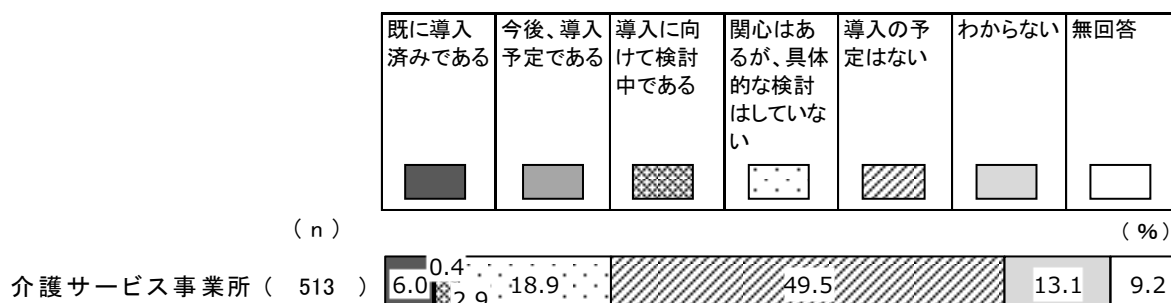
※ 「（介護予防）訪問看護」「（介護予防）訪問リハビリテーション」「（介護予防）福祉用具貸与」「（介護予防）福祉用具販売」「（介護予防）居宅療養管理指導」「居宅介護支援（介護予防支援）」を除外して集計した

### ⑧ 介護ロボット等の活用

#### ア. 介護ロボットの活用状況

- 「導入の予定はない」が49.5%で最も高くなっている。
- 「既に導入済みである」は6.0%、「今後、導入予定である」は0.4%となっている。

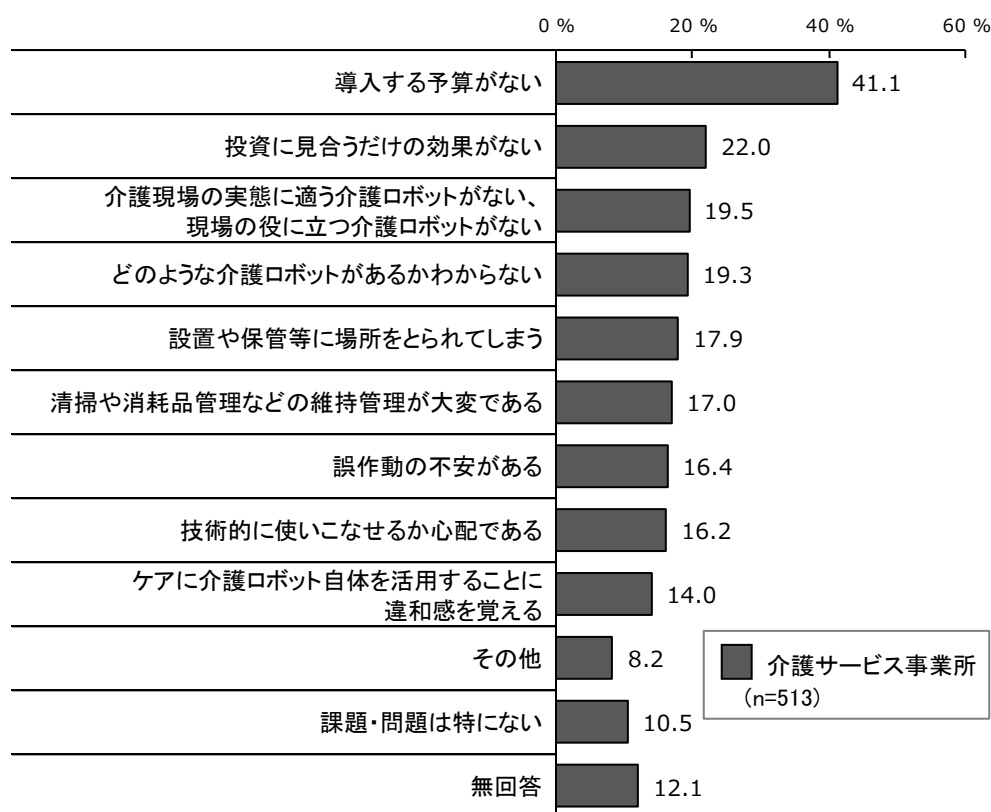
■介護ロボットの活用状況



#### イ. 介護ロボットなどの導入・利用に関する課題・問題

- 「導入する予算がない」が41.1%で最も高く、「投資に見合うだけの効果がない」(22.0%)、「介護現場の実態に適う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない」(19.5%)、「どのような介護ロボットがあるかわからない」(19.3%)が上位に挙がっている。

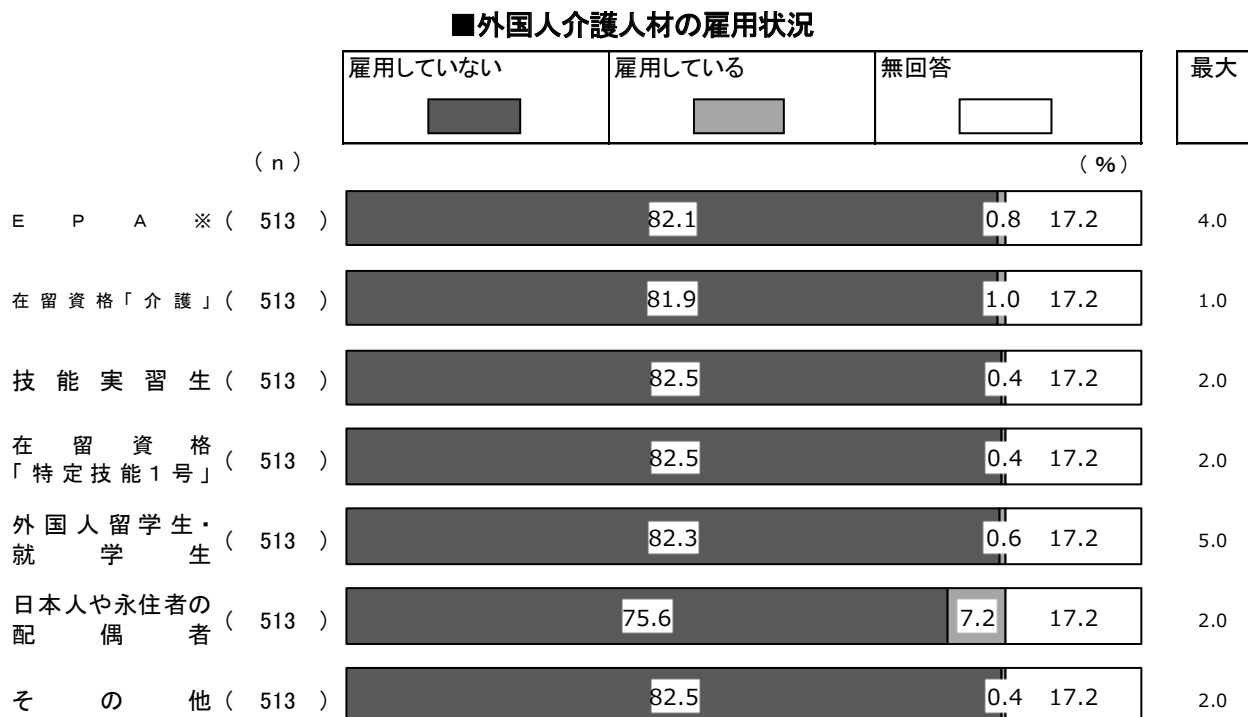
■介護ロボットなどの導入・利用に関する課題・問題 (複数回答)



### ⑨ 外国人介護人材の活用状況

#### ア. 外国人介護人材の雇用状況

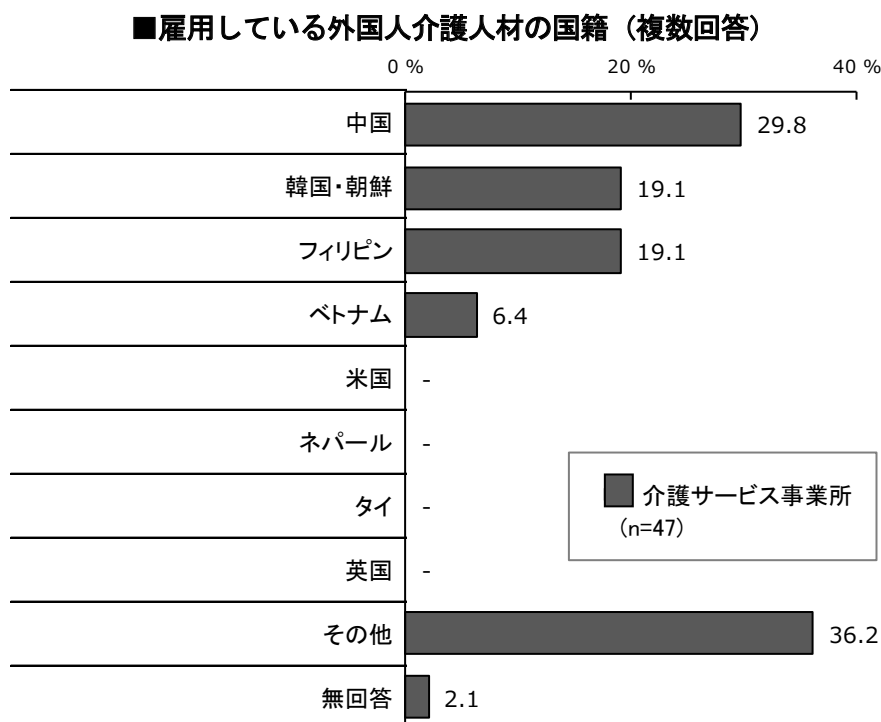
○いずれの在留資格の外国人についても「雇用している」事業所は1割未満となっている。「日本人や永住者の配偶者」は7.2%と他の在留資格と比べるとやや高い。



※ E P Aは、「E P Aに基づく外国人介護福祉士候補者、E P A資格取得者」を指す

#### イ. 雇用している外国人介護人材の国籍

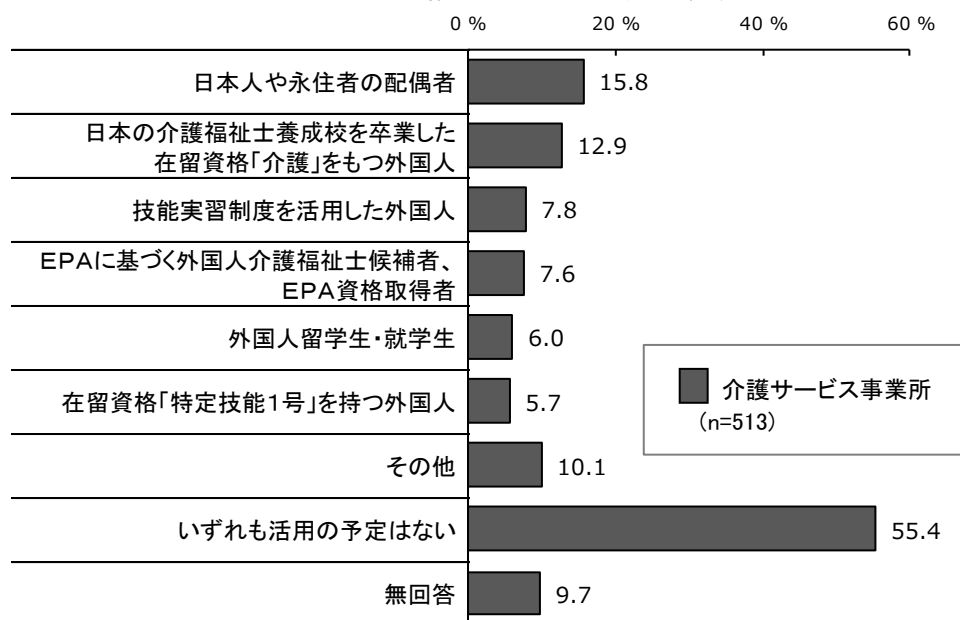
○外国人介護人材を1人でも雇用している事業所に外国人介護人材の国籍を聞いたところ、「中国」が29.8% (14件)、「韓国・朝鮮」と「フィリピン」が19.1% (9件)、「ベトナム」が6.4% (3件)となっている。



### ウ. 今後の外国人介護人材の活用予定

- 「日本人や永住者の配偶者」が15.8%で最も高く、「日本の介護福祉士養成校を卒業した在留資格「介護」をもつ外国人」(12.9%)、「技能実習制度を活用した外国人」(7.8%)、「EPAに基づく外国人介護福祉士候補者、EPA資格取得者」(7.6%)と続いている。
- 「いずれも活用の予定はない」は55.4%となっている。

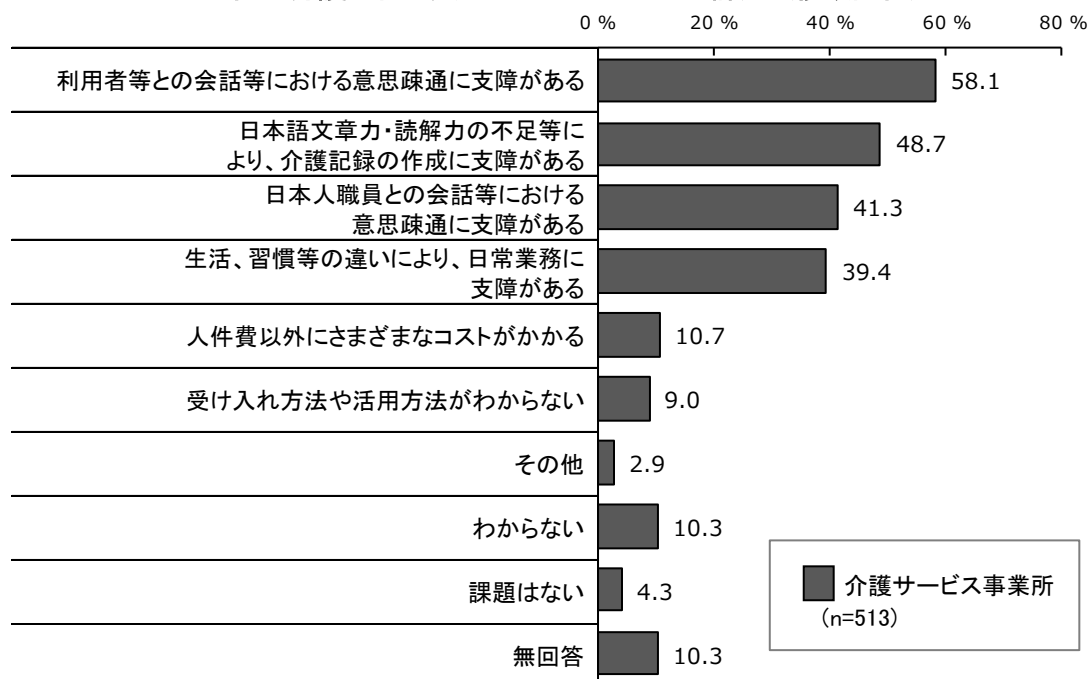
■今後の外国人介護人材の活用予定（複数回答）



### エ. 外国人介護人材の受け入れに当たっての課題

- 「利用者等との会話等における意思疎通に支障がある」が58.1%で最も高く、「日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある」(48.7%)、「日本人職員との会話等における意思疎通に支障がある」(41.3%)、「生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある」(39.4%)が上位に挙がっている。

■外国人介護人材の受け入れに当たっての課題（複数回答）

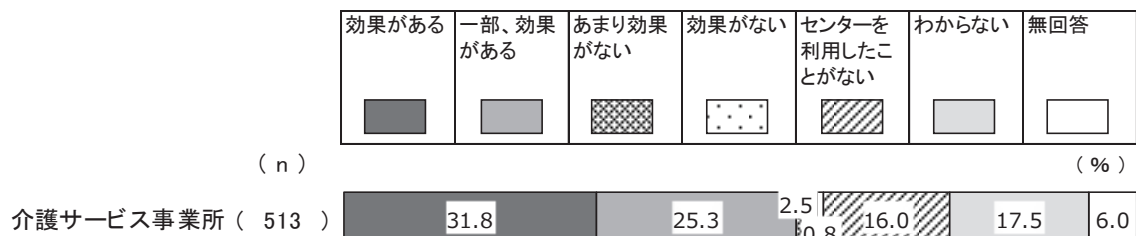


## ⑩ 練馬介護人材育成・研修センターの研修

### ア. 研修の効果

- 「効果がある」(31.8%)と「一部、効果がある」(25.3%)を合わせると、半数以上は効果を実感している。
- 「センターを利用したことがない」は16.0%となっている。

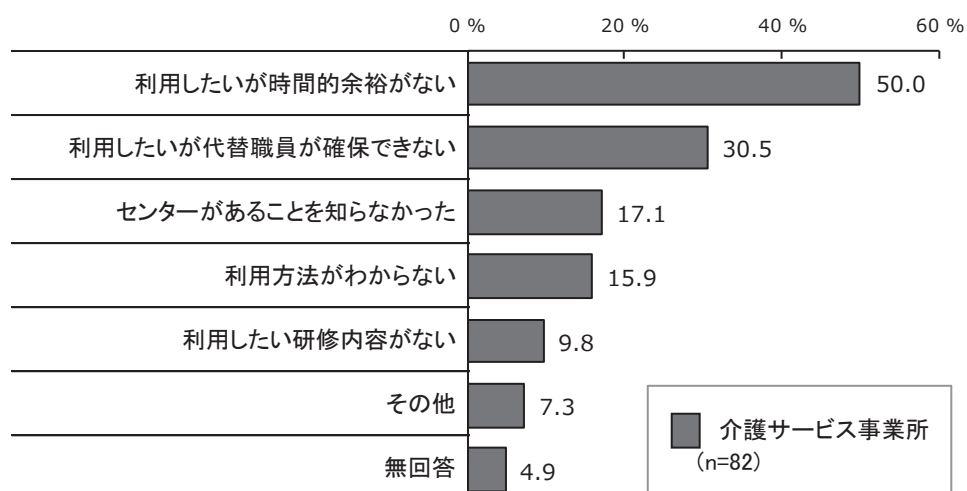
#### ■研修の効果



### イ. 利用したことのない理由

- 練馬介護人材育成・研修センターを利用したことのない理由は、「利用したいが時間的余裕がない」が50.0%で最も高く、「利用したいが代替職員が確保できない」(30.5%)、「センターがあることを知らなかった」(17.1%)、「利用方法がわからない」(15.9%)と続いている。

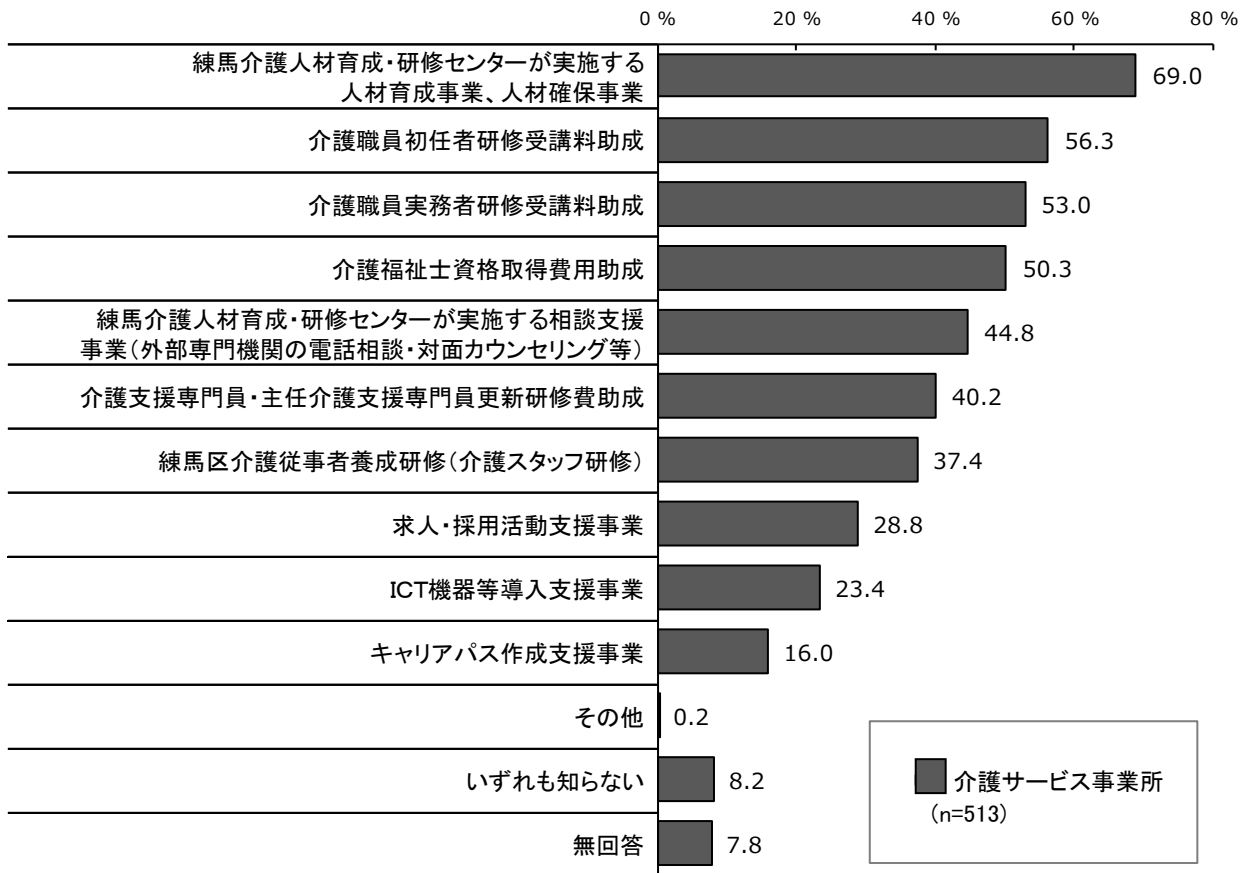
#### ■利用したことのない理由（複数回答）



### ⑪ 介護人材の確保・育成・定着支援に関する練馬区の事業の認知度

- 「練馬介護人材育成・研修センターが実施する人材育成事業、人材確保事業」が69.0%で最も高く、「介護職員初任者研修受講料助成」(56.3%)、「介護職員実務者研修受講料助成」(53.0%)、「介護福祉士資格取得費用助成」(50.3%)と続いている。
- 「いずれも知らない」は8.2%となっている。

■介護人材の確保・育成・定着支援に関する練馬区の事業の認知度（複数回答）



### ⑫ 介護人材の確保・育成・定着支援について、練馬区に取り組んでほしいこと

#### (研修・学びの場・人材育成)

- ・年に数回開催されている「介護スタッフ研修」を今後も継続してほしい。最近、実技が少ない。伝達研修として事業所で実施する上でも、最新の内容で提供してほしい。
- ・助成金を知らない人も多いため、もっとアピールした方がよい。

#### (職場環境の改善・地位向上)

- ・若者が介護職を目指さない現状が課題。「介護」を魅力的な職業と認識させるためには、そのような現場を作り、ありのままを知らせることが大切。
- ・経営者によるパワハラがなくなるように、制度を設けてほしい。

#### (処遇改善)

- ・勤続5年で報奨金など、介護は給与が安いというイメージを払拭してほしい。
- ・人材定着には賃金アップしかない。他業種と比べても賃金・賞与は明らかに少ない。

#### (人材不足の改善)

- ・区で独自に介護福祉士、社会福祉士を雇い、区内施設に一定期間出向して業務に就くようなシステムを作してほしい。
- ・人材を登録できるシステムとそれを利用した就労支援等。

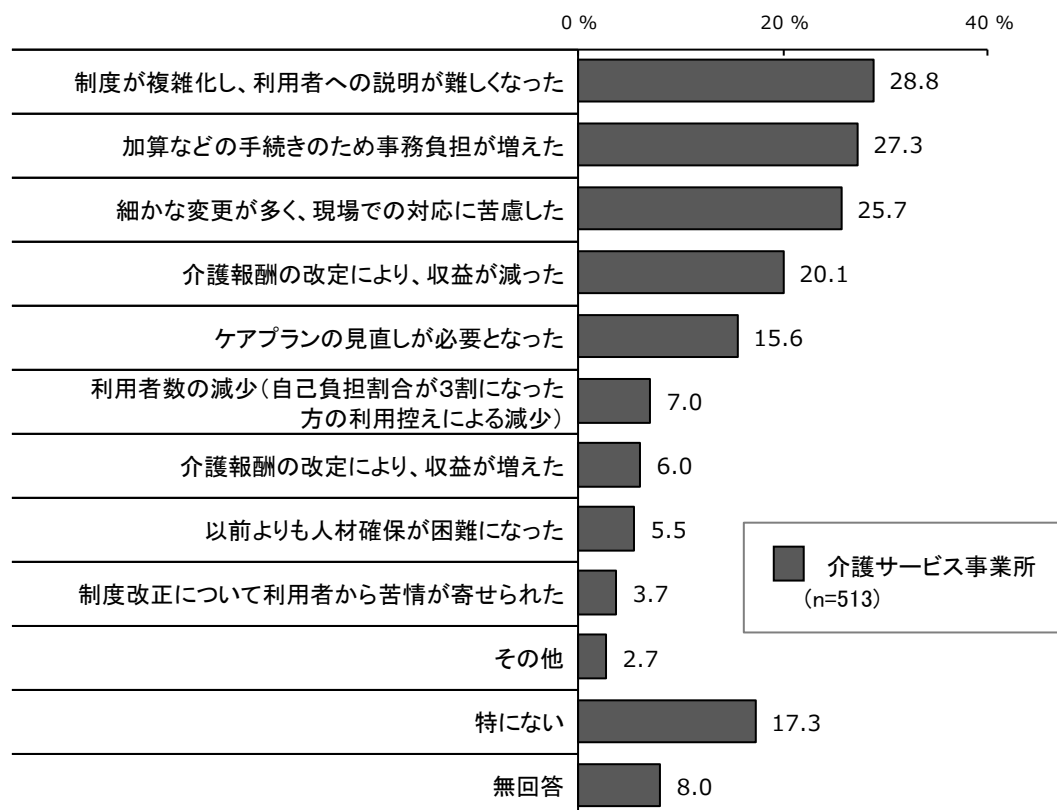
#### (その他)

- ・練馬区は施設も多いため競争が激しい。確保に苦労している。

## (11) 平成 30 年介護保険制度改正による影響

- 「制度が複雑化し、利用者への説明が難しくなった」(28.8%)、「加算などの手続きのため事務負担が増えた」(27.3%)、「細かな変更が多く、現場での対応に苦慮した」(25.7%)が上位に挙げられている。
- 「特にない」は17.3%となっている。

■平成 30 年介護保険制度改正による影響 (〇は3つまで)





## (12) 介護保険および高齢者保健福祉施策について、利用者から寄せられた主な意見（自由回答）

### （介護保険制度全般）

- ・介護保険制度がどんどん変わるためサービスが利用しにくくなった。説明してもらっても分かりにくい。
- ・介護保険制度の仕組みを理解されていない。重度の方は、単位数が足りない。
- ・利用者より、老後に困らないように自分で努力してきたのに3割負担で努力が報われない、保険料も高いとの意見が寄せられる。

### （区の施策）

- ・医療機関の特性等について、情報を得られるような窓口の充実を図ってほしい。
- ・特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の入所施設の数が多すぎる。利用者の確保、職員の確保ともに厳しい。
- ・福祉用具全般を見て触れる練馬区の施設はあるのか、よく聞かれる。
- ・院内介助の補助があれば、利用者の自費負担が減るので考えてほしい。

### （その他）

- ・質の高い介護職の育成について要望があった。
- ・利用者家族より、現場の職員をもっと増やし負担を軽くしてあげてほしいという意見があった。

## (13) 介護保険制度に対する主な要望・意見（自由回答）

### （介護保険制度全般）

- ・介護保険料の負担が大きくなっているので、介護保険を使っていない人には何らかの還付をしてほしいという意見要望がある。
- ・介護保険を本当に必要としている人と、そうではない人が同じ要介護度であったり、サービスであったりする。一人一人の審査がもう少し確だと良い。
- ・変更が多く、現場は振り回されている。週1回の生活援助だけで現状を維持できる利用者は多い。介護保険サービスの入り口を広くするような政策が必要。

### （事業所の運営が経営的に厳しい）

- ・サービスを利用し、効果があって介護度が下がると事業所としては減収となる。努力に見合う報酬がない。ターミナルも医師・看護のみの利用の場合は医療保険で、忙しい思いをしても収入がない。居宅管理者は主任ケアマネと言われても、年齢・体力的なこと更新をしない人もいるはずで、事業所閉鎖ということもある。
- ・納得できるサービス提供のためには、スタッフを多く勤務させる必要がある。人件費がかさみ、赤字になることもある。経営的には他の事業もしなければ余裕がない制度になっている。

### （情報提供）

- ・介護保険制度の変更の際、発表が遅く対応に苦慮することが多々ある。

### （その他）

- ・記録に追われ、お客様と関わりをもつ時間が減っている。
- ・事務処理量が増え続けている。ヘルパー不足が深刻になってきている。

Ⅱ

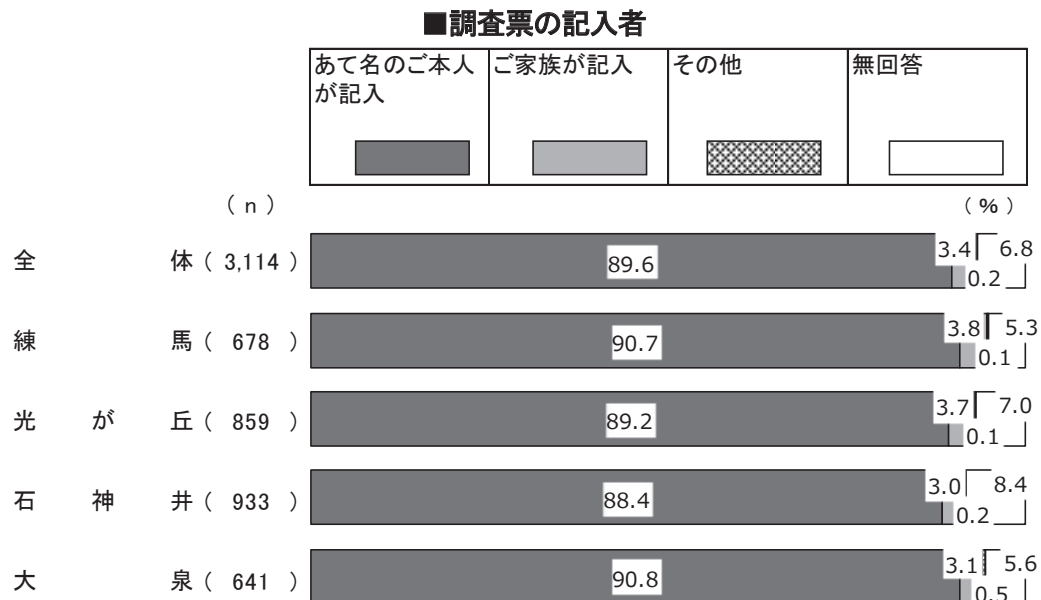
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査



# 1 回答者の基本属性

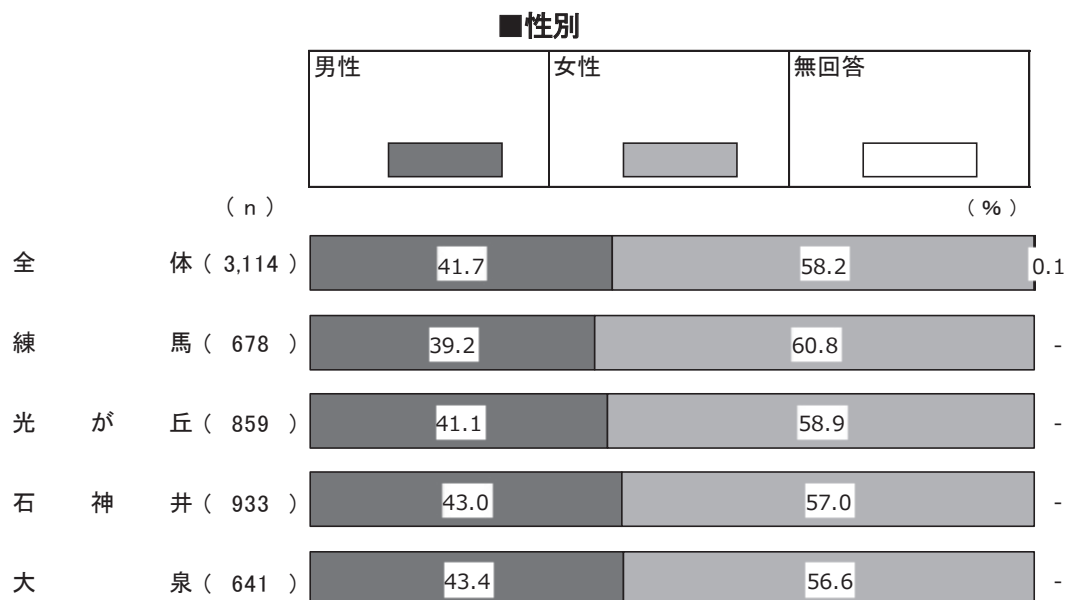
## (1) 調査票の記入者

- 調査票の記入者は、全体の約9割が「あて名のご本人が記入」であった。
- いずれの圏域でも、「あて名のご本人が記入」が9割前後を占めている。



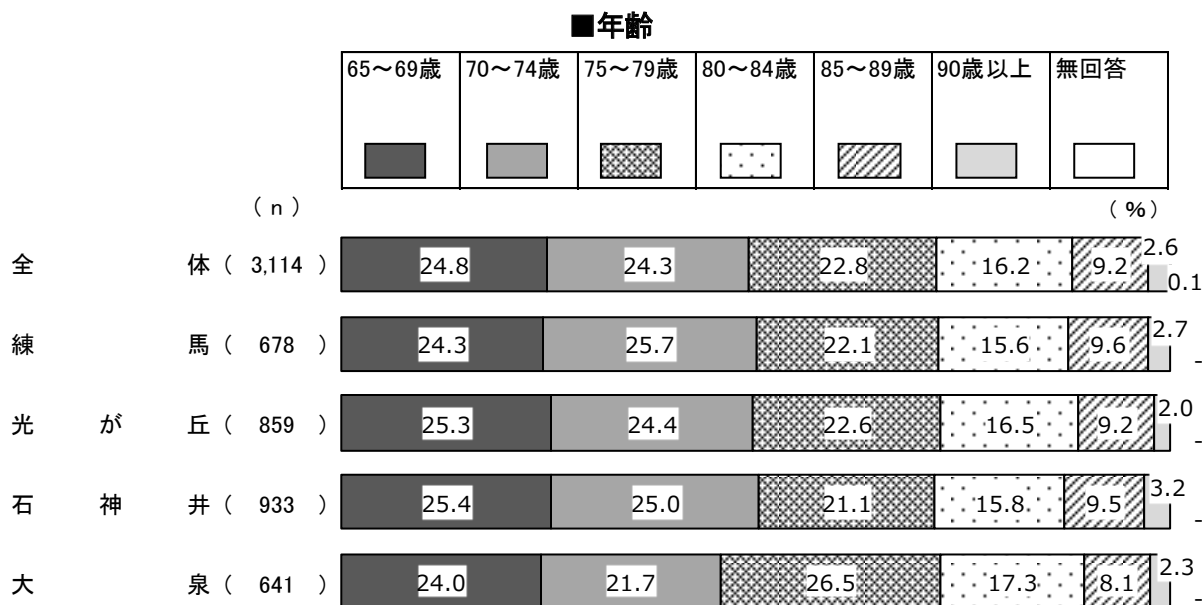
## (2) 性別

- 全体では、「男性」が41.7%、「女性」が58.2%であった。
- いずれの圏域でも、「男性」が4割前後、「女性」が6割前後であった。



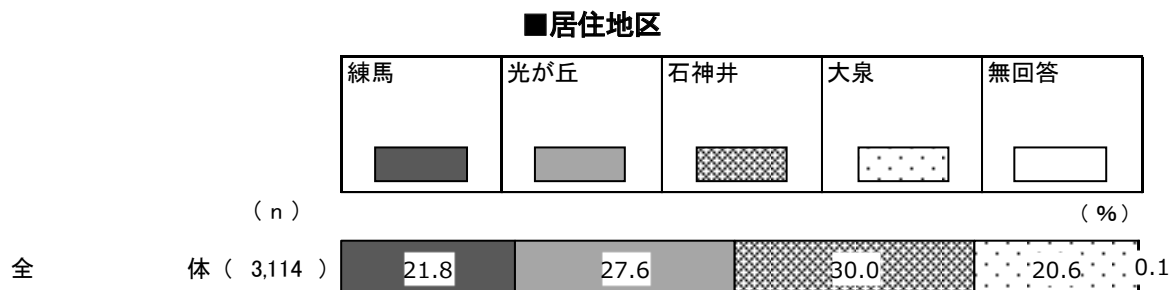
### (3) 年齢

- 全体では、“前期高齢者”（「65歳～69歳」と「70歳～74歳」の合計）と“後期高齢者”（「75歳～79歳」「80歳～84歳」「85～89歳」「90歳以上」の合計）がそれぞれ半数程度であった。
- 大泉圏域では、“後期高齢者”が全体と比べてやや高い。



### (4) 居住地区

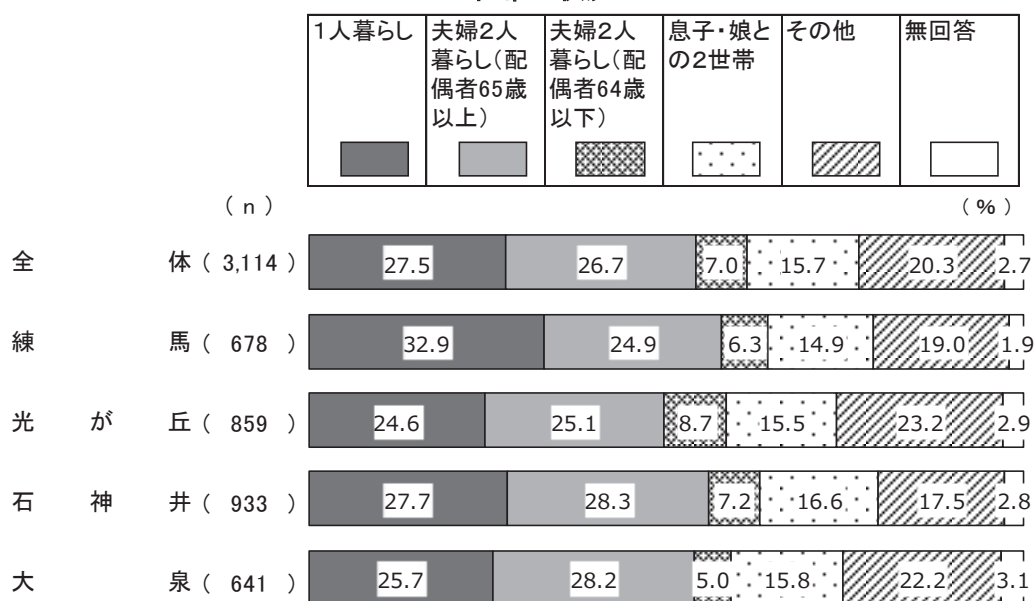
- 「練馬」が21.8%、「光が丘」が27.6%、「石神井」が30.0%、「大泉」が20.6%であった。



## (5) 世帯の状況

- 全体では、「1人暮らし」が27.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が7.0%、「息子・娘との2世帯」が15.7%であった。
- 練馬では、「1人暮らし」が全体と比べてやや高く32.9%となっている。「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が24.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.3%、「息子・娘との2世帯」が14.9%であった。
- 光が丘では、「1人暮らし」が24.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が25.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が8.7%、「息子・娘との2世帯」が15.5%であった。
- 石神井では、「1人暮らし」が27.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が28.3%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が7.2%、「息子・娘との2世帯」が16.6%であった。
- 大泉では、「1人暮らし」が25.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が28.2%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が5.0%、「息子・娘との2世帯」が15.8%であった。

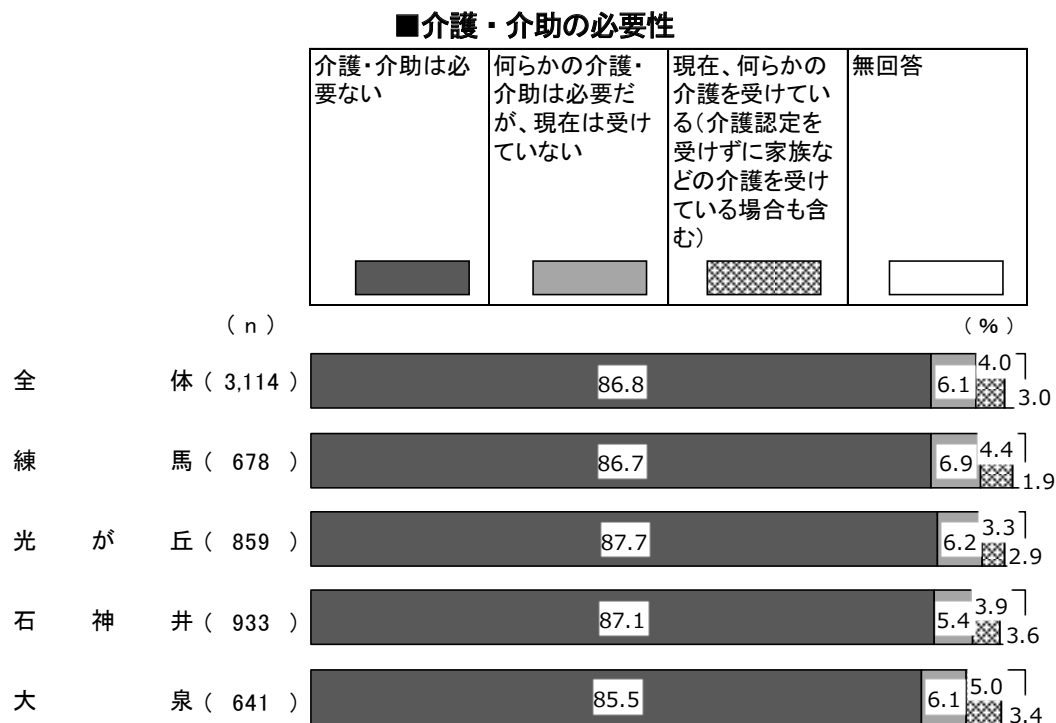
■世帯の状況



## (6) 介護・介助の必要性

○全体では、「介護・介助は必要ない」が8割半ば、「何らかの介護・介助が必要」（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の合計）は1割程度であった。

○いずれの圏域でも、全体と同様の傾向であった。



## (7) 住居形態

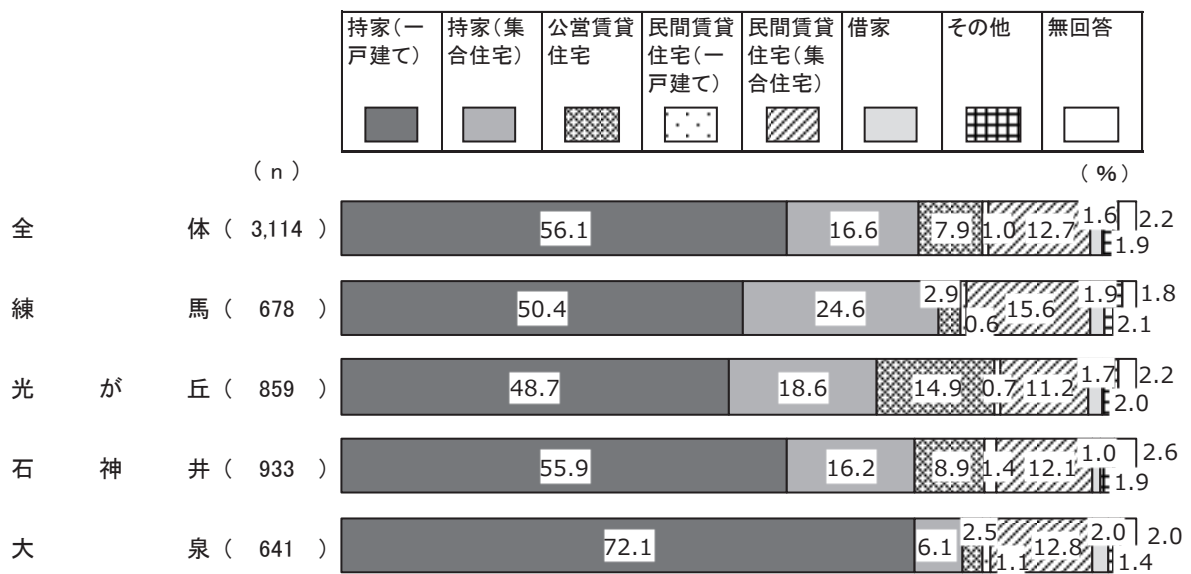
○全体では、「持家（一戸建て）」が 56.1%、「持家（集合住宅）」が 16.6%、「公営賃貸住宅」が 7.9%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が 1.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 12.7%、「借家」が 1.6%であった。

○練馬では、「持家（集合住宅）」が 2割半ばで全体と比べて高い。

○光が丘では、「公営賃貸住宅」が 1割半ばで全体と比べて高い。

○大泉では、「持家（一戸建て）」が 7割超で全体と比べて高い。

### ■住居形態

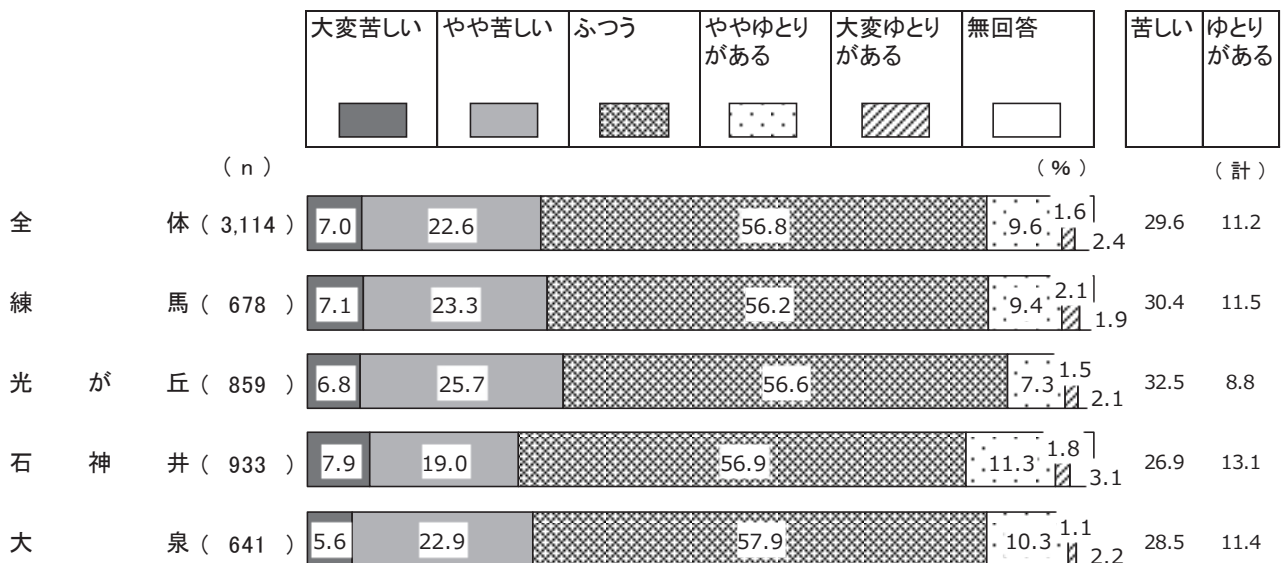


## (8) 暮らし向き

○全体では、「ふつう」が 56.8%で最も高く、「苦しい」（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）が約3割、「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計）が1割強であった。

○いずれの圏域でも、全体と同様の傾向であった。

### ■暮らし向き





## 2 日常生活の状況

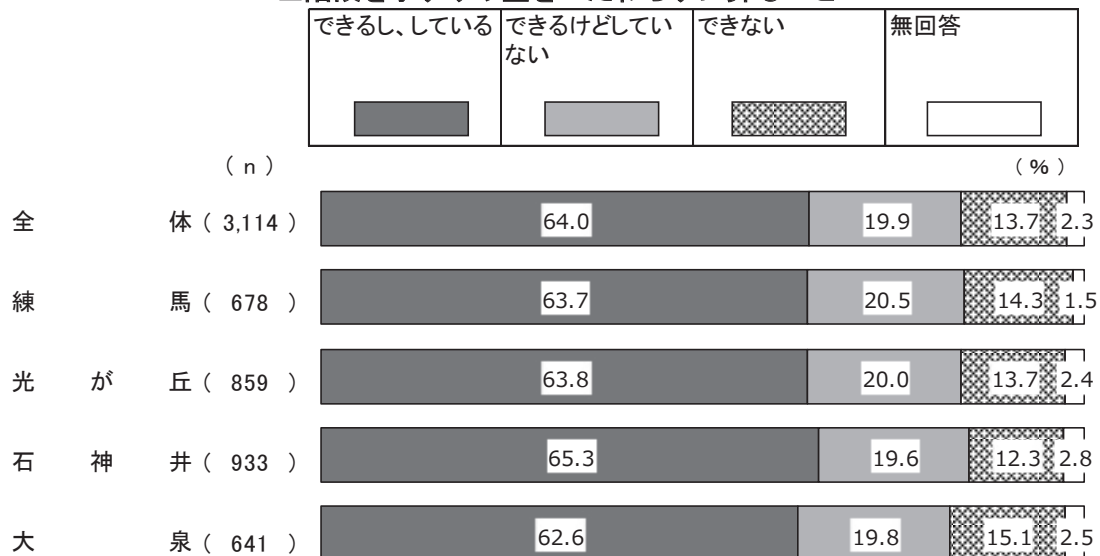
### (1) からだを動かすこと

#### ① 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること

○階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが“できる”（「できるし、している」と「できるけどしていない」の合計）と回答した人は、全体では8割超であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

#### ■階段を手すりや壁をつたわずに昇ること

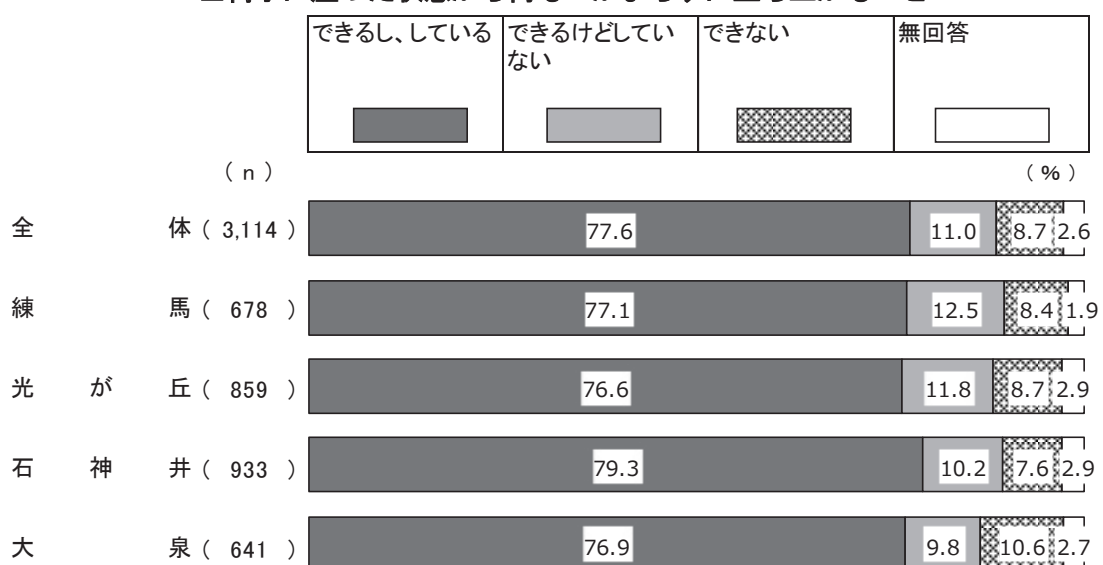


#### ② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが“できる”と回答した人は9割近くとなっている。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

#### ■椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること

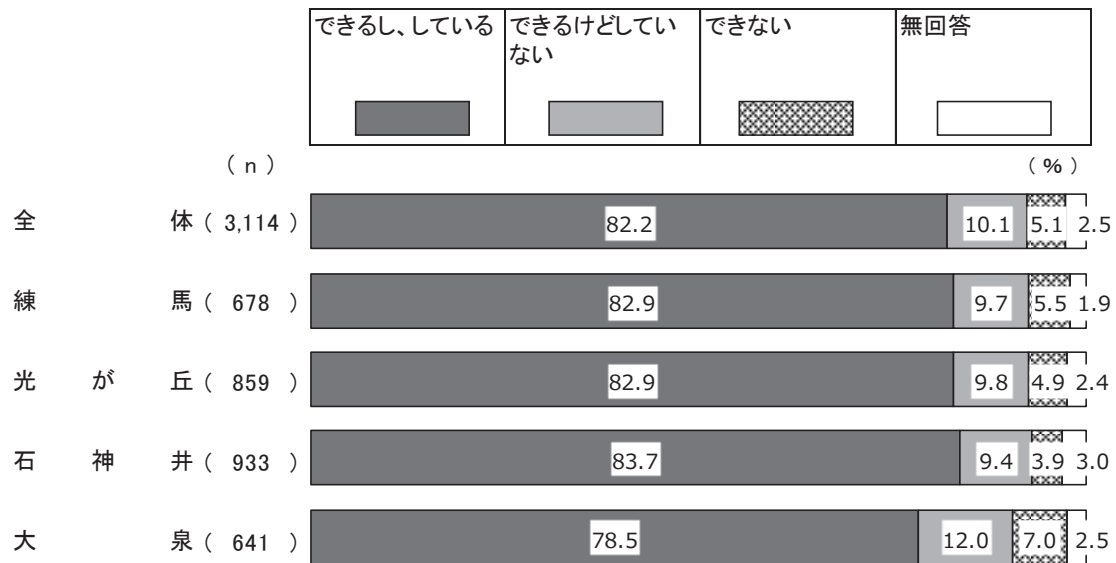


### ③ 15分続けて歩くこと

○15分続けて歩くことが“できる”と回答した人は、全体で9割超となっている。

○大泉では、「できるし、している」が78.5%で、全体と比べてやや低い。

■15分続けて歩くこと

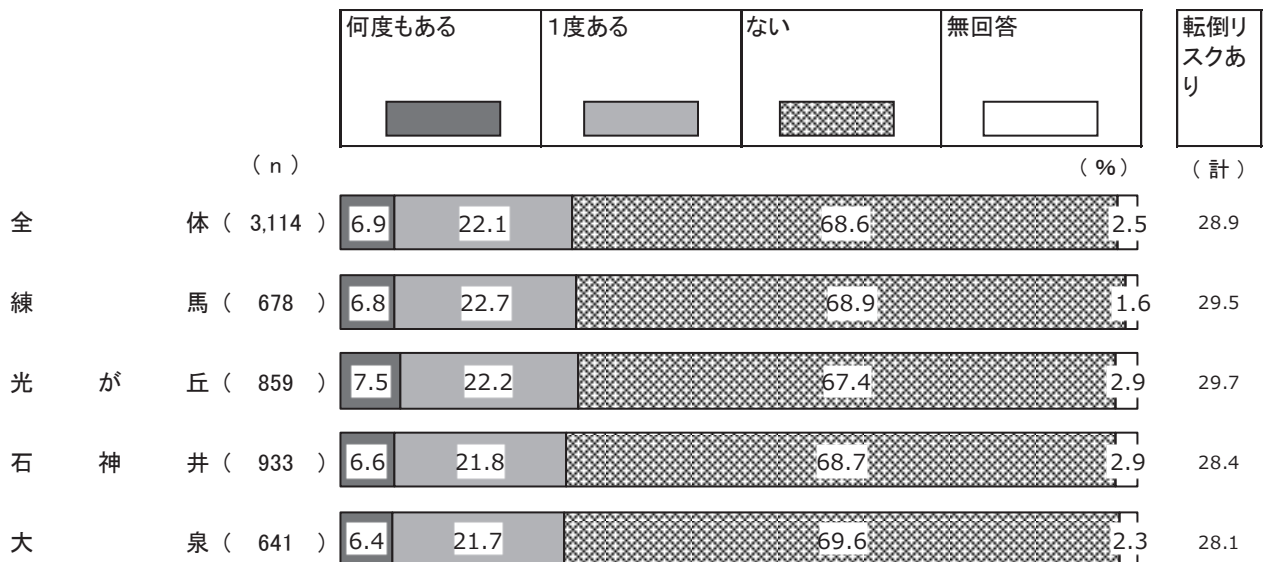


### ④ 過去1年間の転んだ経験

○転倒リスクがある人（過去1年間の転んだ経験が「何度もある」と「1度ある」の合計）は、全体で約3割となっている。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■過去1年間の転んだ経験

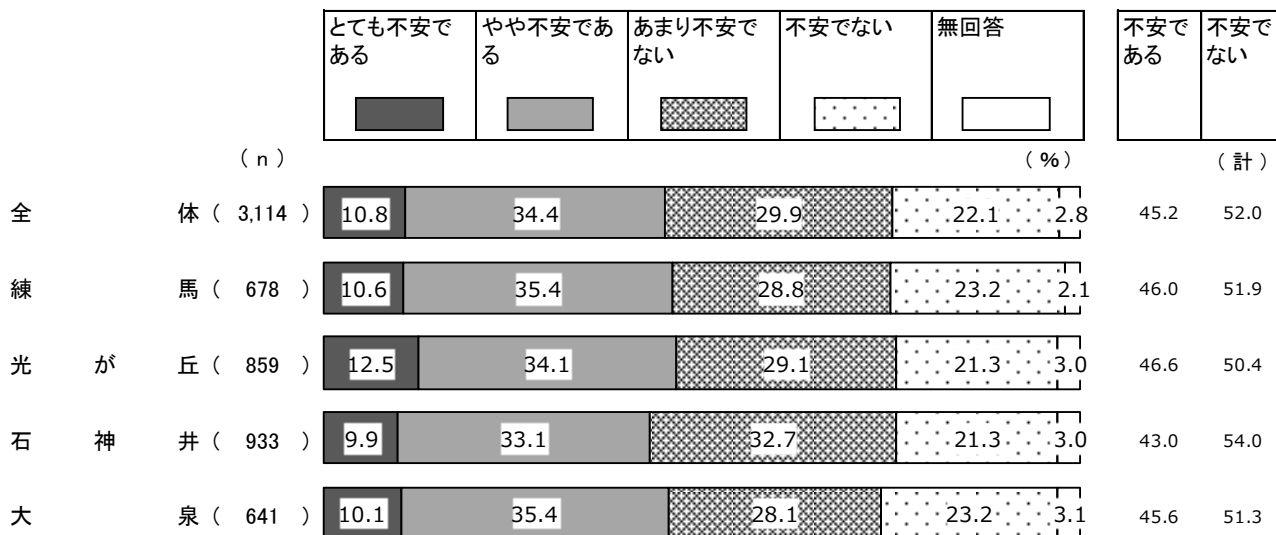


### ⑤ 転倒に対する不安

○転倒に対して“不安である”（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）と回答した人は、全体で45.2%となっている。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■転倒に対する不安

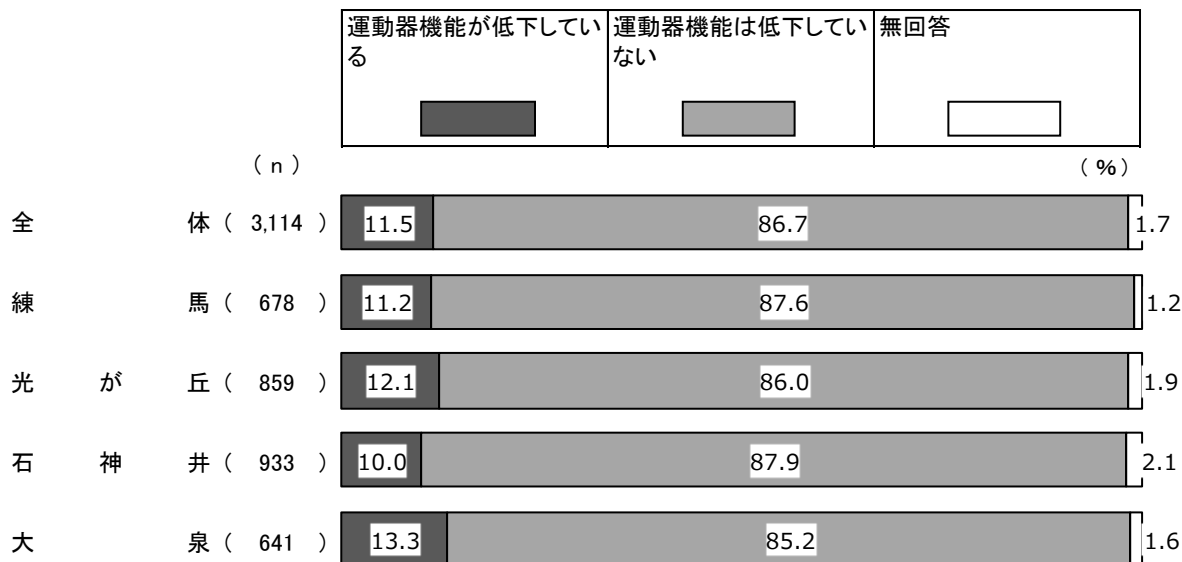


### ⑥ 運動器機能が低下している高齢者

○全体では、運動器機能が低下している人は、11.5%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■運動器機能が低下している高齢者



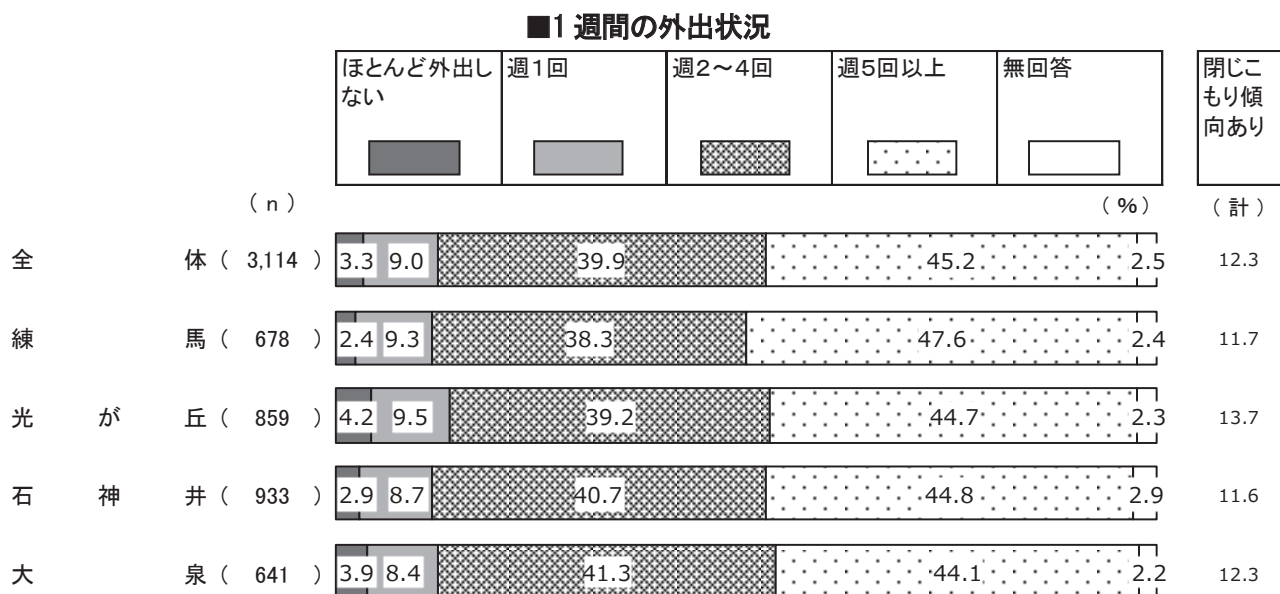
※ 下記の項目に3つ以上該当する場合に、「運動器機能が低下している高齢者」としている

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない
- ・15分続けて歩くことができない
- ・過去1年間に転んだ経験が、何度もある、あるいは、1度ある
- ・転倒に対して、とても不安である、あるいは、やや不安である

⑦ 1週間の外出状況

○閉じこもり傾向のある人（「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計）は、全体で12.3%となっている。

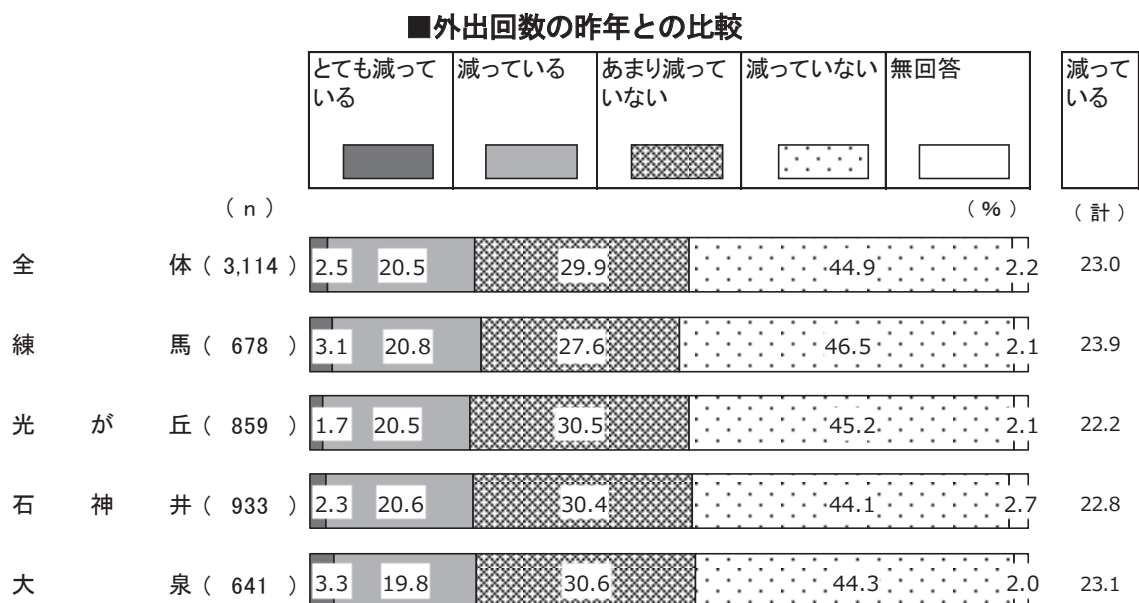
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



⑧ 外出回数の昨年との比較

○昨年と比べて外出の回数が“減っている”（「とても減っている」と「減っている」の合計）と回答した人は、全体で23.0%となっている。

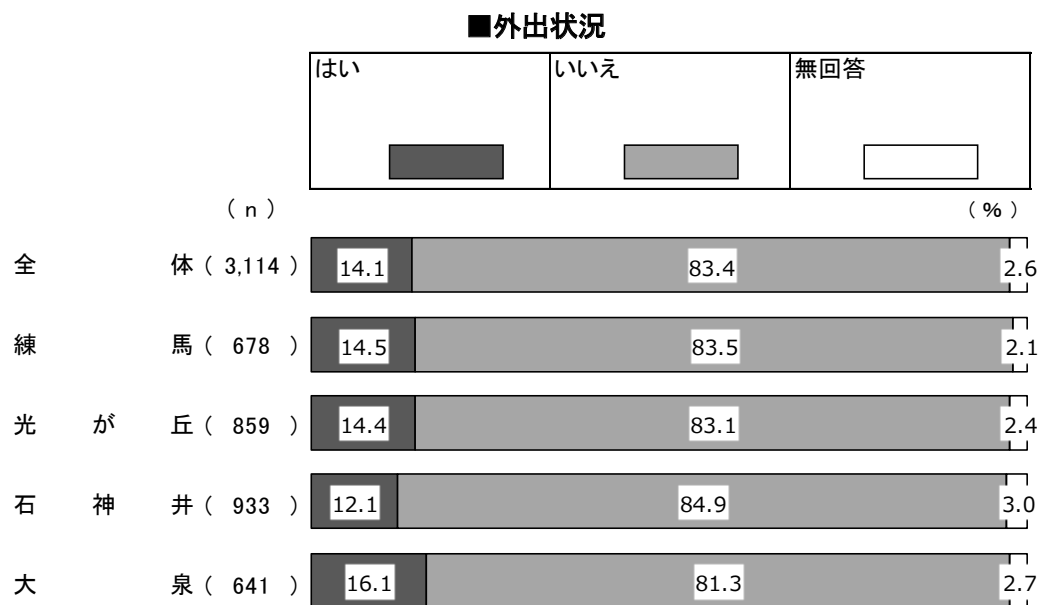
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### ⑨ 外出状況

○全体では、外出を控えている人（「はい」と回答した人）は14.1%であった。

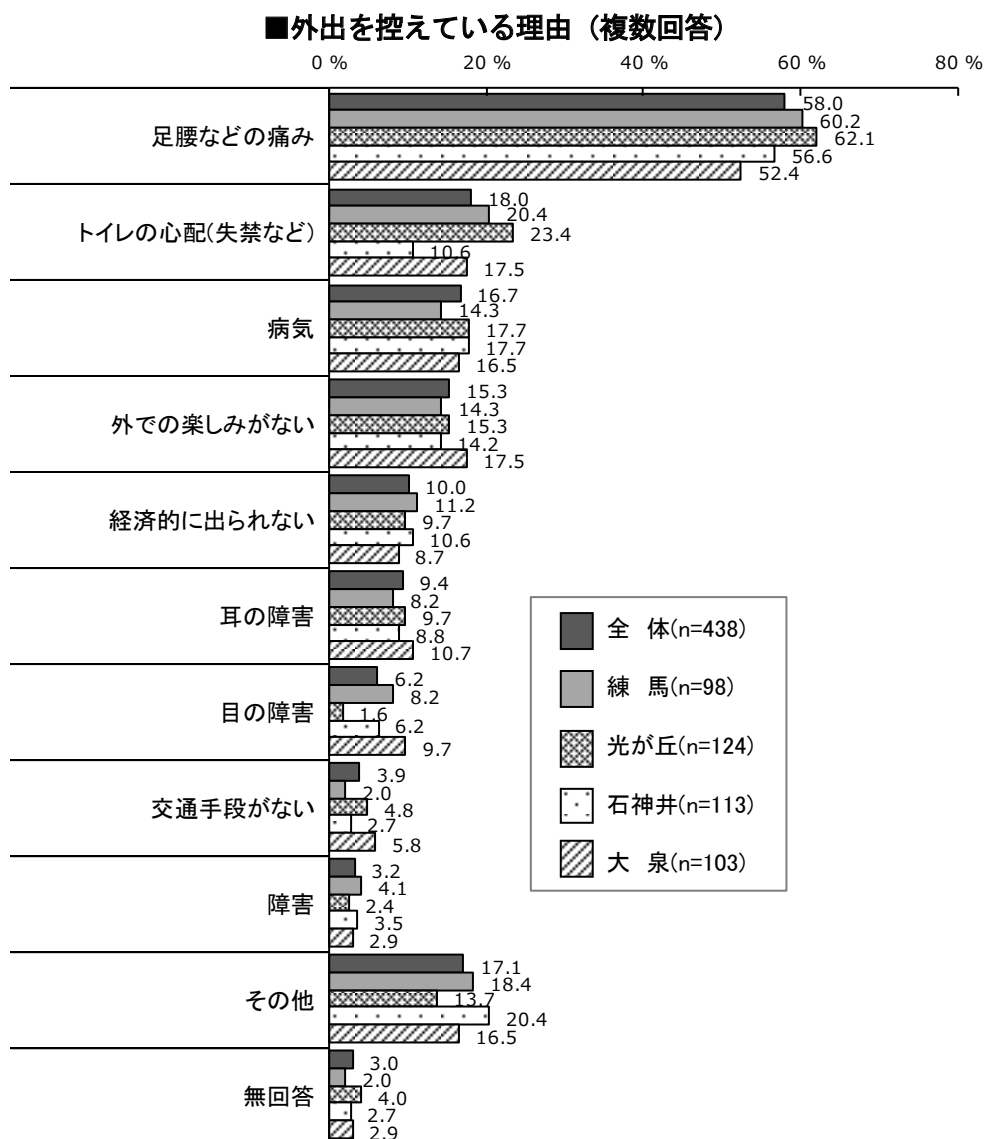
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### ⑩ 外出を控えている理由

○外出を控えている理由は、全体では「足腰などの痛み」が58.0%で最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」(18.0%)、「病気」(16.7%)、「外での楽しみがない」(15.3%)が上位に挙げられている。

○いずれの圏域でも「足腰などの痛み」が最も高くなっている。

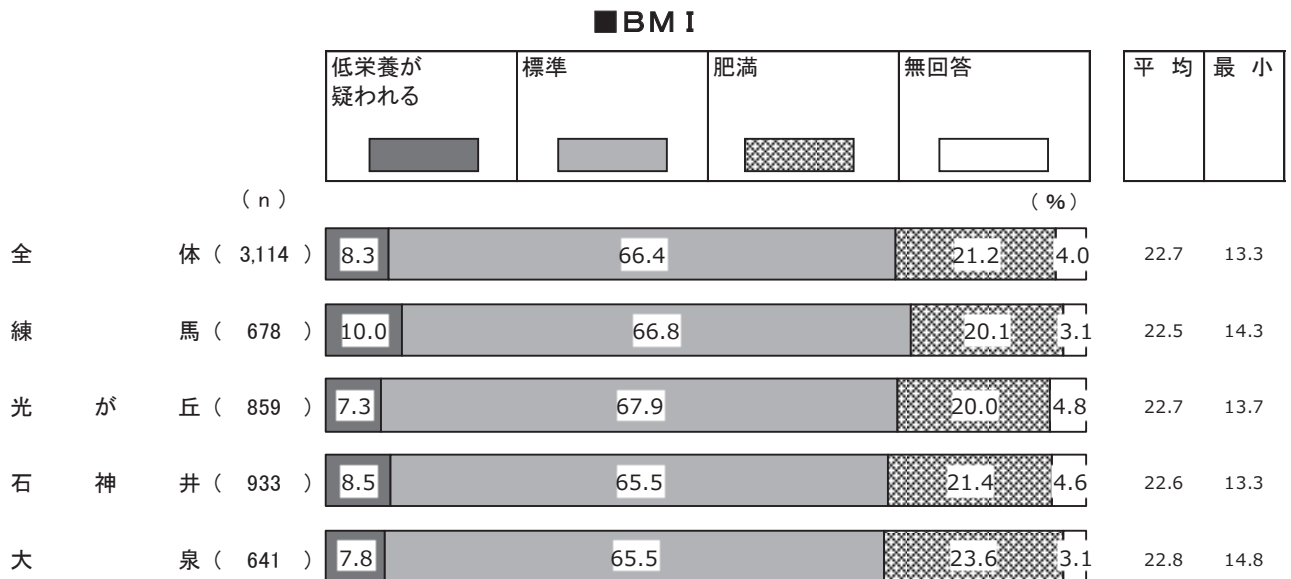


## (2) 食べること

### ① BMI (Body Mass Index (肥満指数) の略)

○全体では、「低栄養が疑われる」が8.3%、「標準」が66.4%、「肥満」が21.2%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

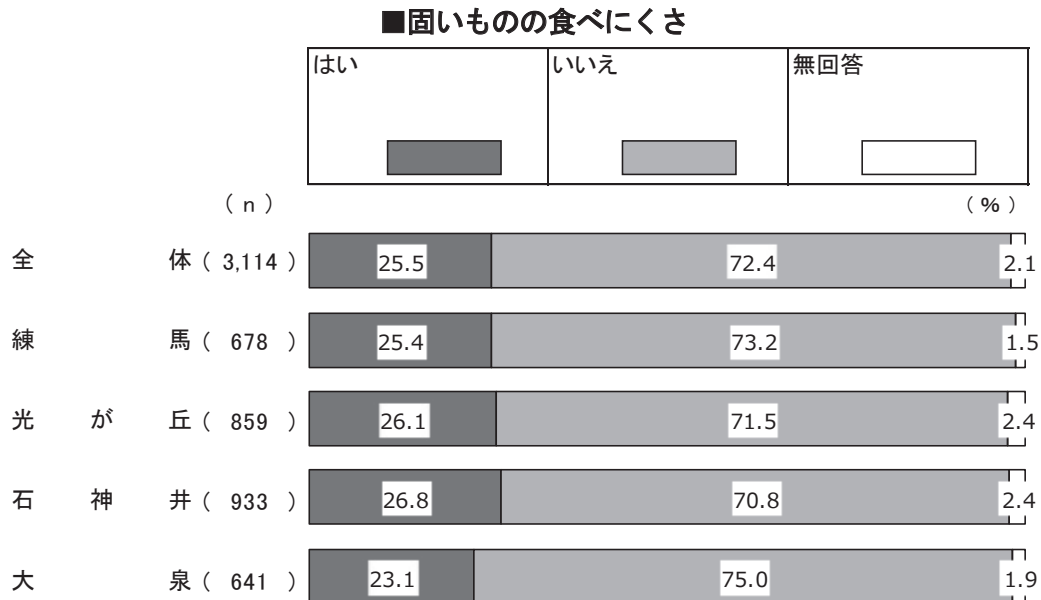


※ BMIとは、体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m)) で算出され、18.5未満の場合に低栄養が疑われる。18.5～25.0未満が標準、25.0以上が肥満気味とされる

### ② 固いものの食べにくさ

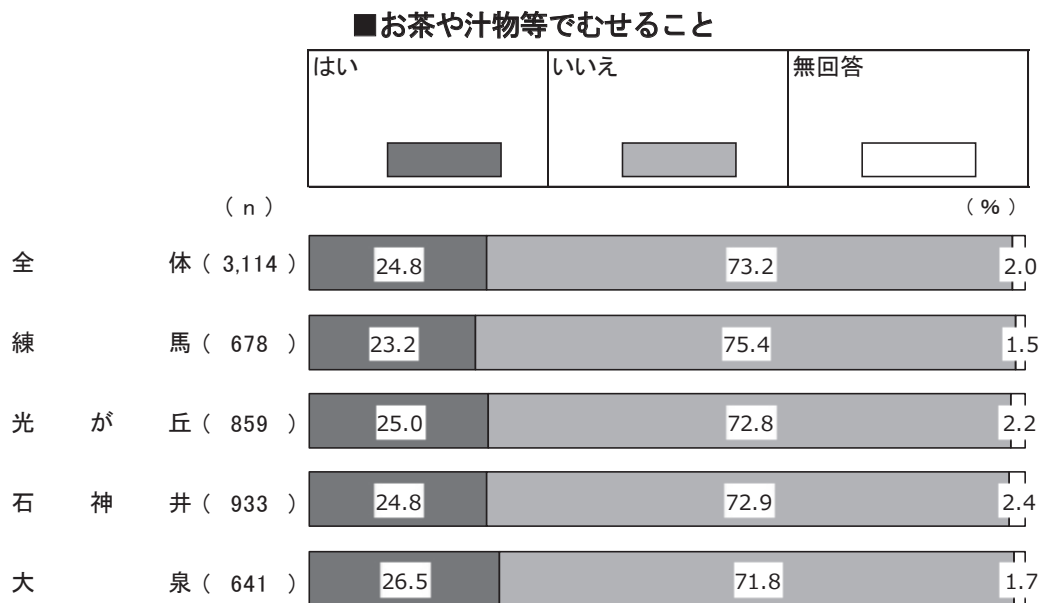
○全体では、咀嚼機能の低下が疑われる人(半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」と回答した人)は25.5%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



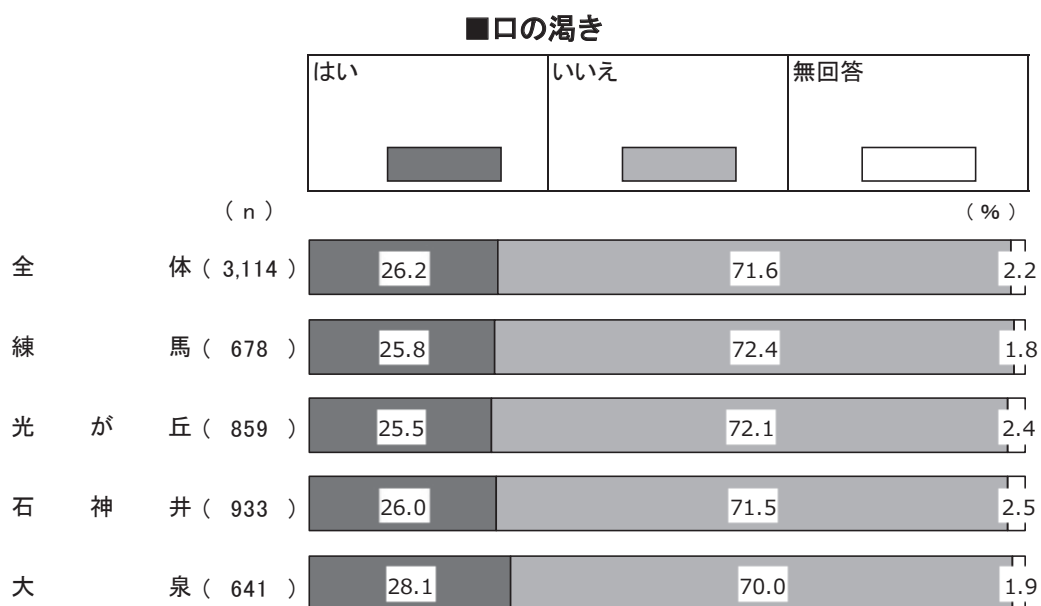
### ③ お茶や汁物等でむせること

○お茶や汁物等でむせることがある人（「はい」と回答した人）は、全体で24.8%であった。  
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### ④ 口の渇き

○口の渇きが気になる人（「はい」と回答した人）は全体で26.2%であった。  
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



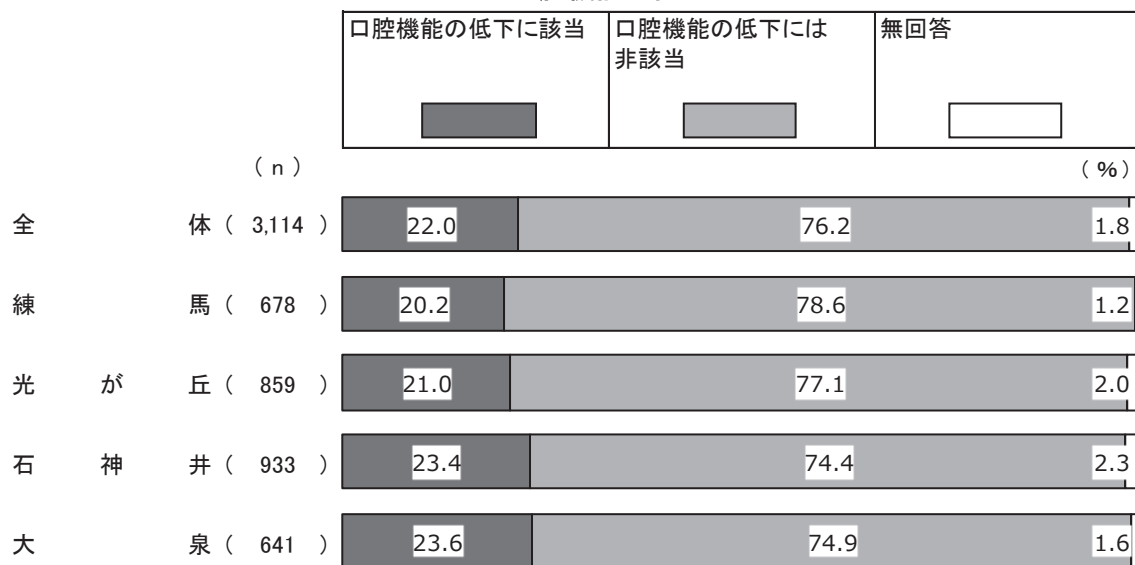


### ⑤ 口腔機能の低下

○全体では、口腔機能が低下している人は22.0%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■口腔機能の低下



※ 下記の項目に2つ以上該当する場合に、「口腔機能の低下に該当」としている

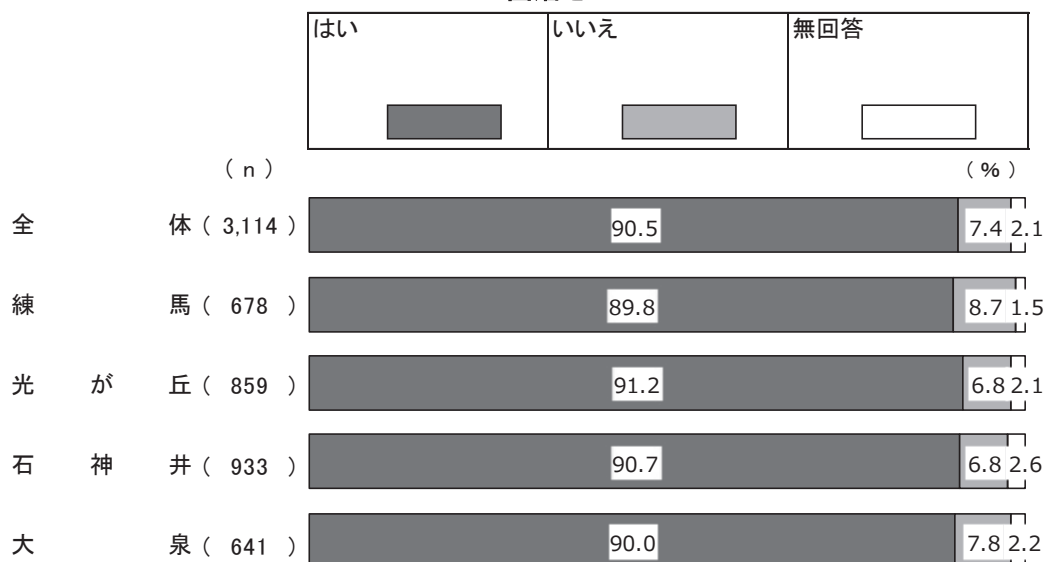
- ・半年前に比べて固いものが食べにくくなった
- ・お茶や汁物等でむせることがある
- ・口の渴きが気になる

### ⑥ 歯磨き

○歯磨きを毎日している人（「はい」と回答した人）は、全体で90.5%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

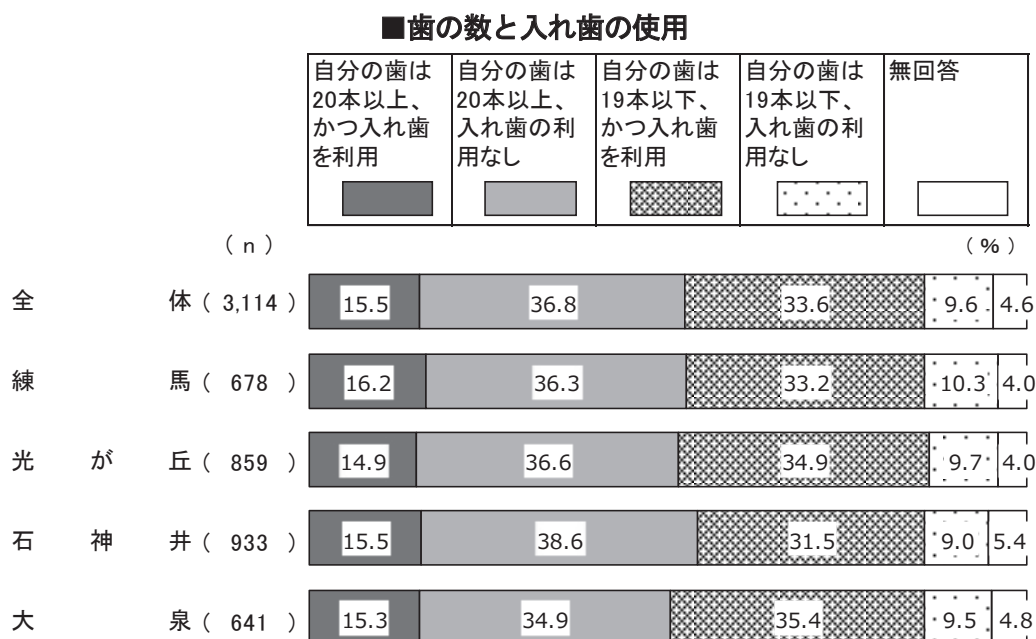
■歯磨き



### ⑦ 歯の数と入れ歯の使用

○全体では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.8%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.5%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.6%であった。

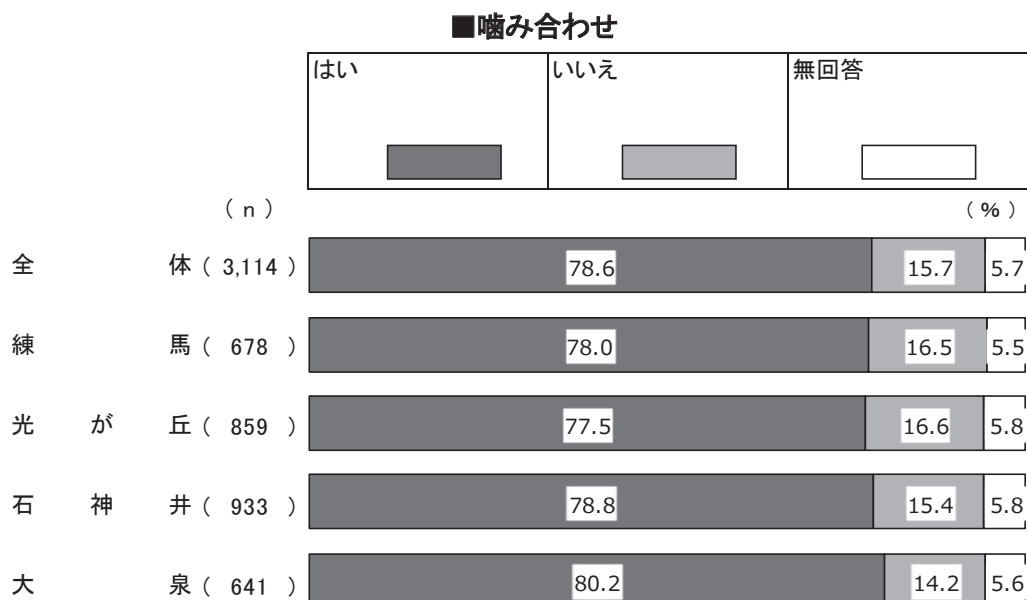
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### ⑧ 噛み合わせ

○噛み合わせが良い人（「はい」と回答した人）は全体で78.6%、噛み合わせが良くない人は15.7%であった。

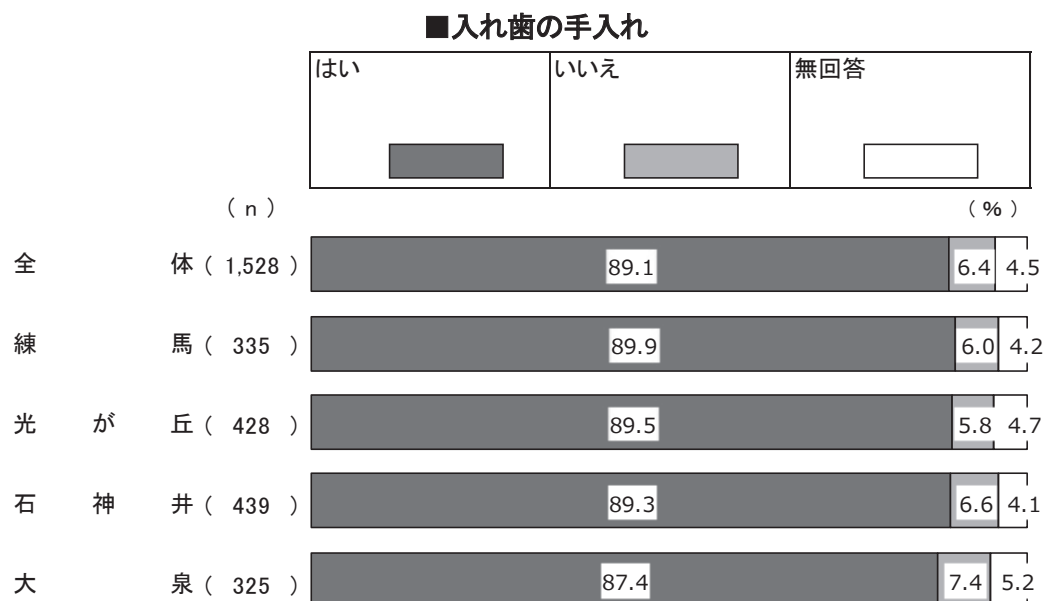
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### ⑨ 入れ歯の手入れ

○入れ歯の手入れを毎日している人（「はい」と回答した人）は全体で89.1%、毎日していない人は6.4%であった。

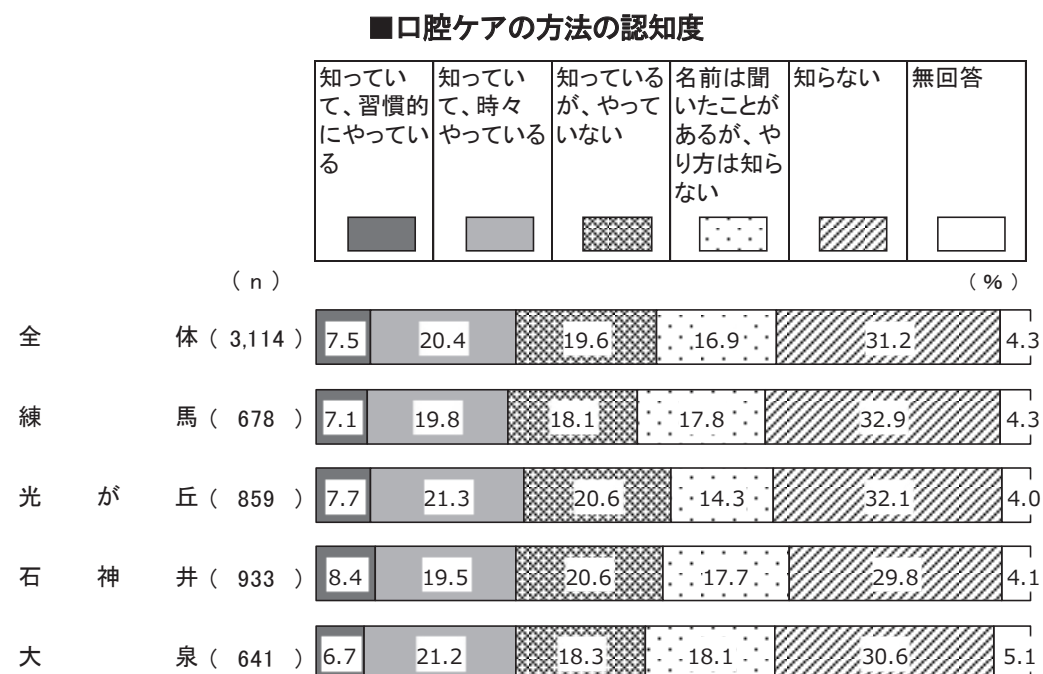
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### ⑩ 口腔ケアの方法の認知度

○口の体操・だ液腺マッサージなどの口腔ケアの方法について、「知っている、習慣的にやっている」が7.5%、「知っている、時々やっている」が20.4%、「知っているが、やっていない」が19.6%、「名前は聞いたことがあるが、やり方は知らない」が16.9%、「知らない」が31.2%であった。

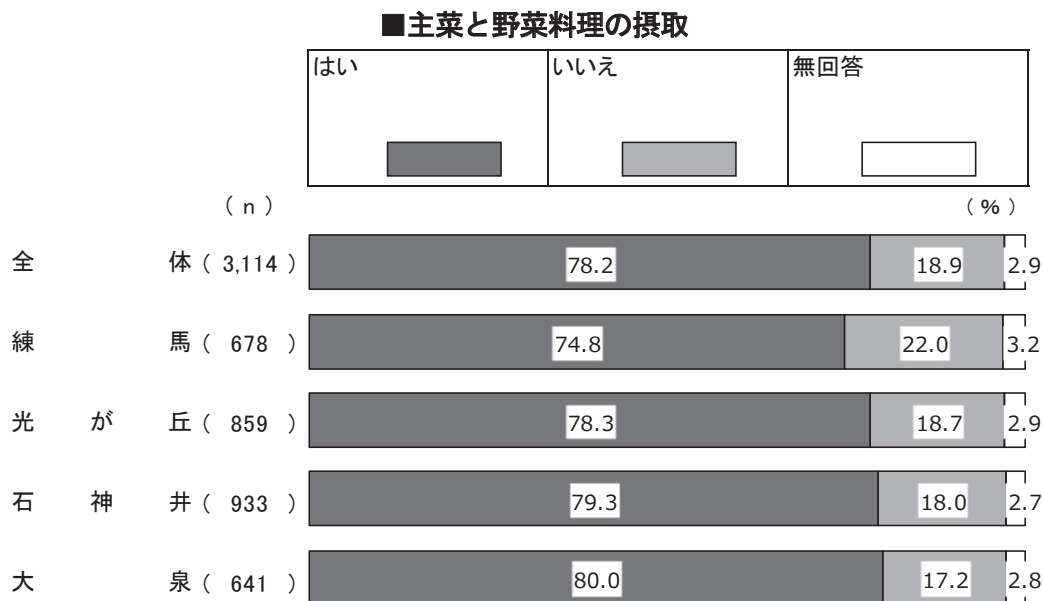
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



**⑪ 主菜と野菜料理の摂取**

○主菜と野菜料理を両方とも毎日2回以上食べている人（「はい」と回答した人）は全体で78.2%、食べていない人は18.9%であった。

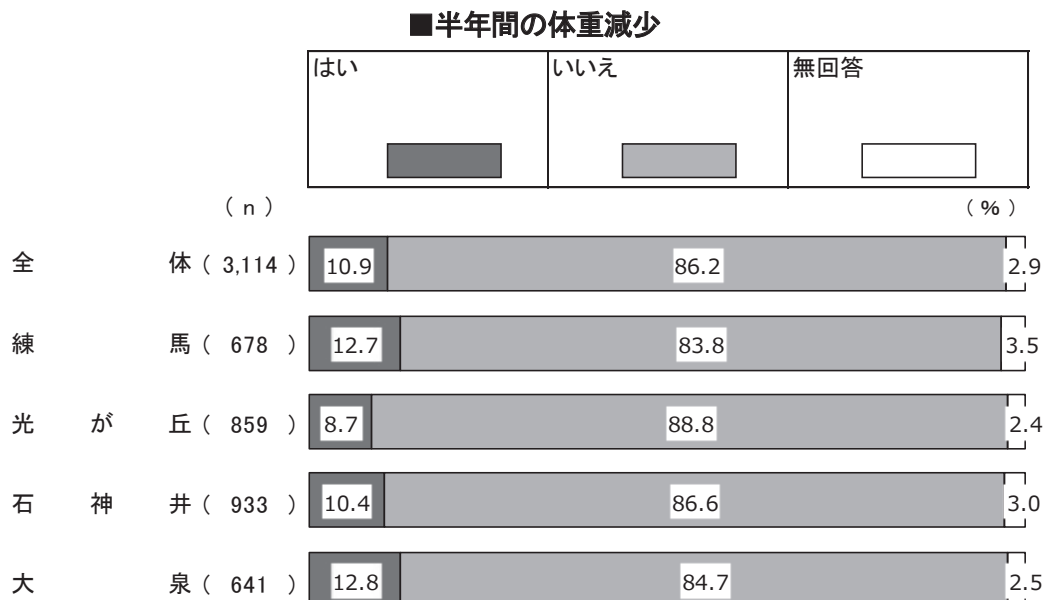
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



**⑫ 半年間の体重減少**

○半年間で2～3kg以上の体重減少があった人（「はい」と回答した人）は10.9%、体重減少がなかった人は86.2%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

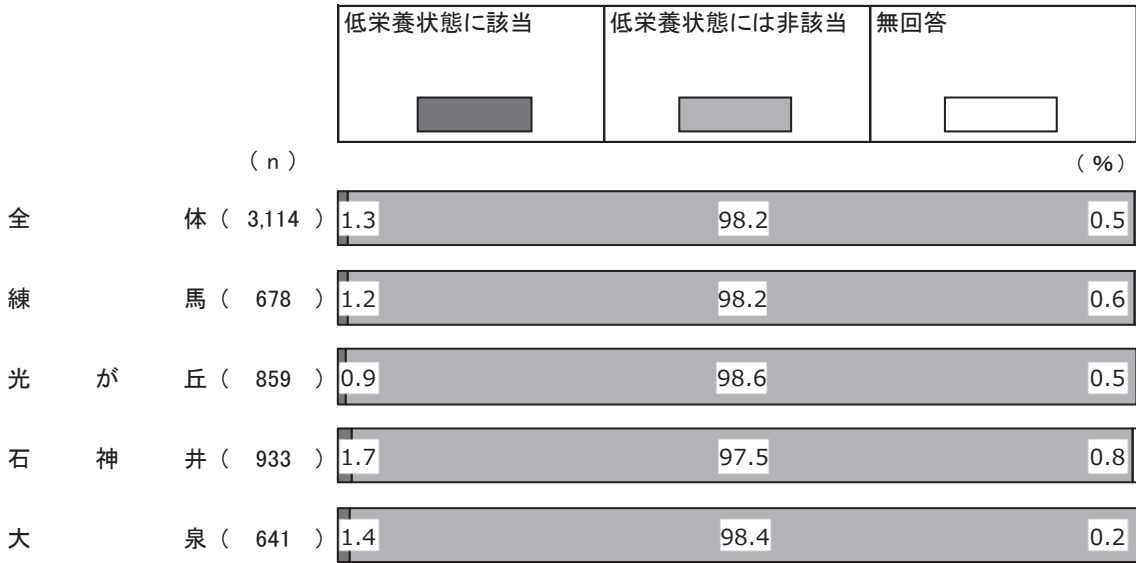


**⑬ 低栄養状態**

○全体では、低栄養状態の人は1.3%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

**■低栄養状態**



※ 下記の項目に該当する場合に、「低栄養状態に該当」としている

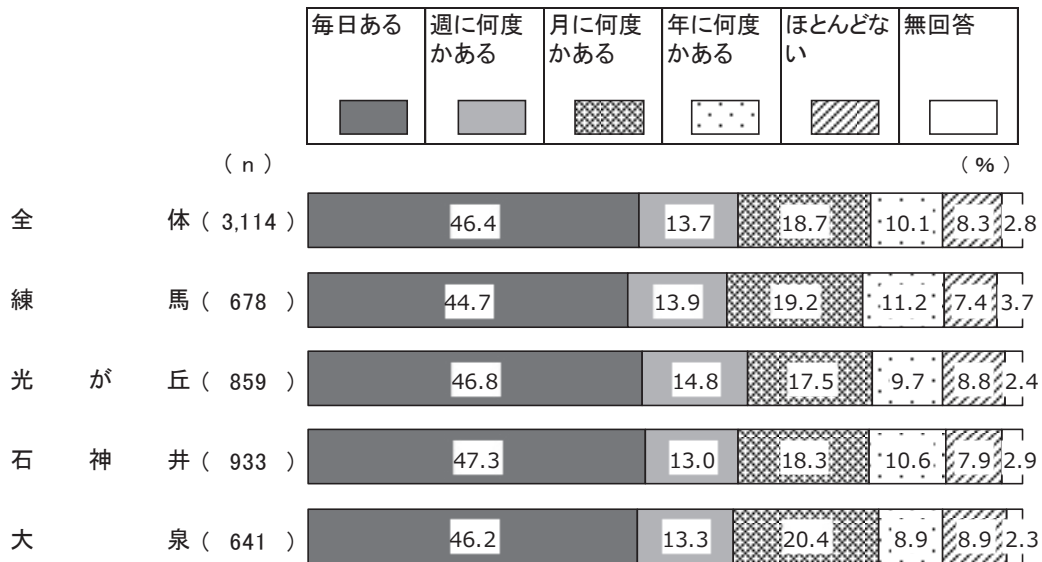
- ・身長・体重から算出されるBMIが18.5以下
- ・6か月間で2～3kg以上の体重減少があった

**⑭ 誰かと食事をとる機会**

○全体では、誰かと食事をとる機会が「毎日ある」が46.4%、「週に何度かある」が13.7%であった。「ほとんどない」は8.3%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

**■誰かと食事をとる機会**

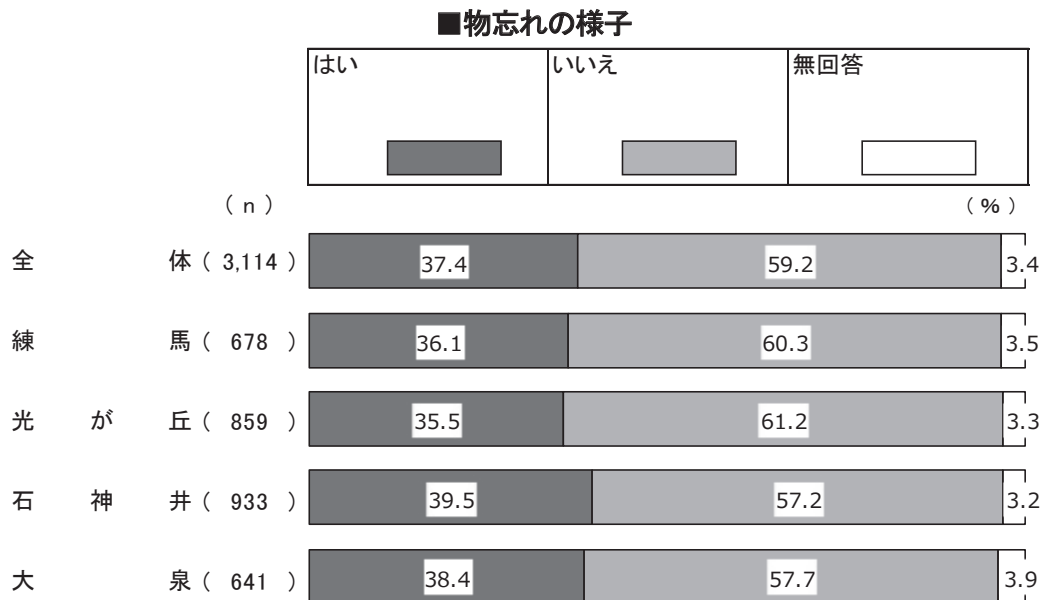


### (3) 毎日の生活

#### ① 物忘れの様子

○物忘れが多いと感じる人（「はい」と回答した人）は、全体では37.4%、多いと感じていない人は59.2%であった。

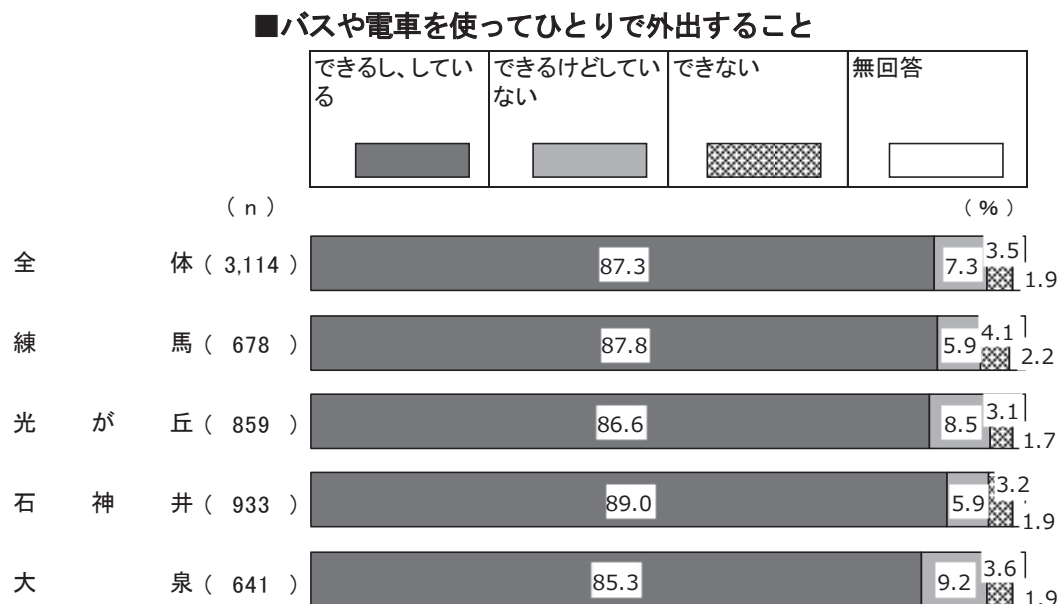
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



#### ② バスや電車を使ってひとりで外出すること

○全体では“できる”（「できるし、している」と「できるけどしていない」の合計）が94.6%、「できない」は3.5%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

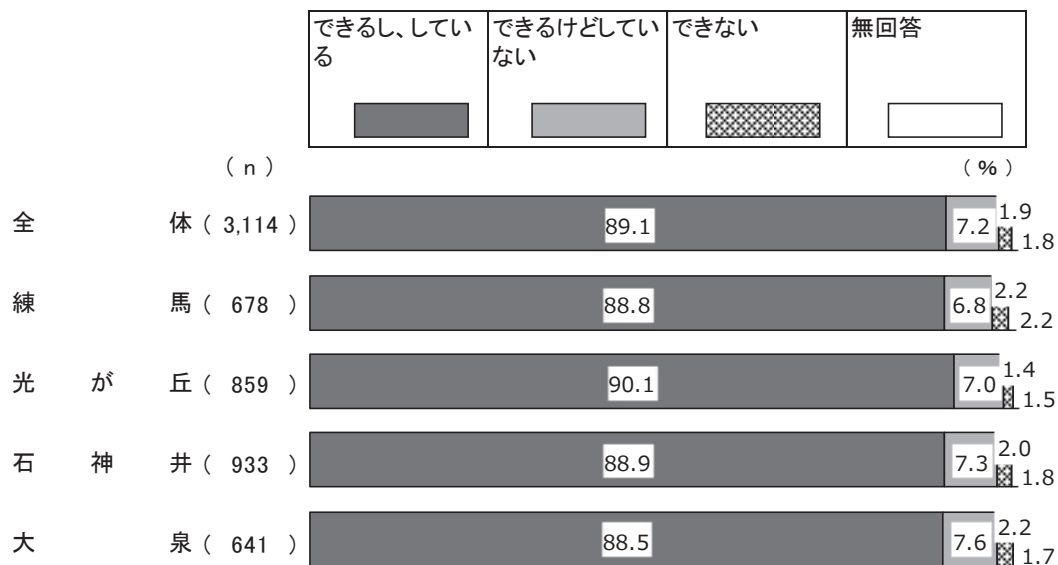


### ③ 自分で食品・日用品の買い物をする事

○全体では“できる”が96.3%で、「できない」が1.9%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

#### ■自分で食品・日用品の買い物をする事

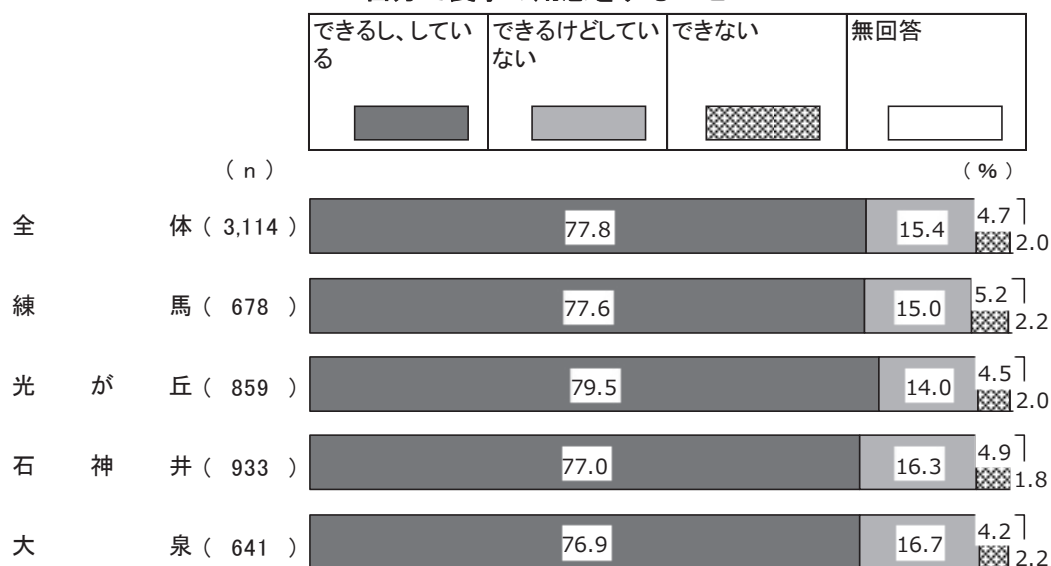


### ④ 自分で食事の用意をする事

○全体では“できる”が9割超で、「できない」は4.7%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

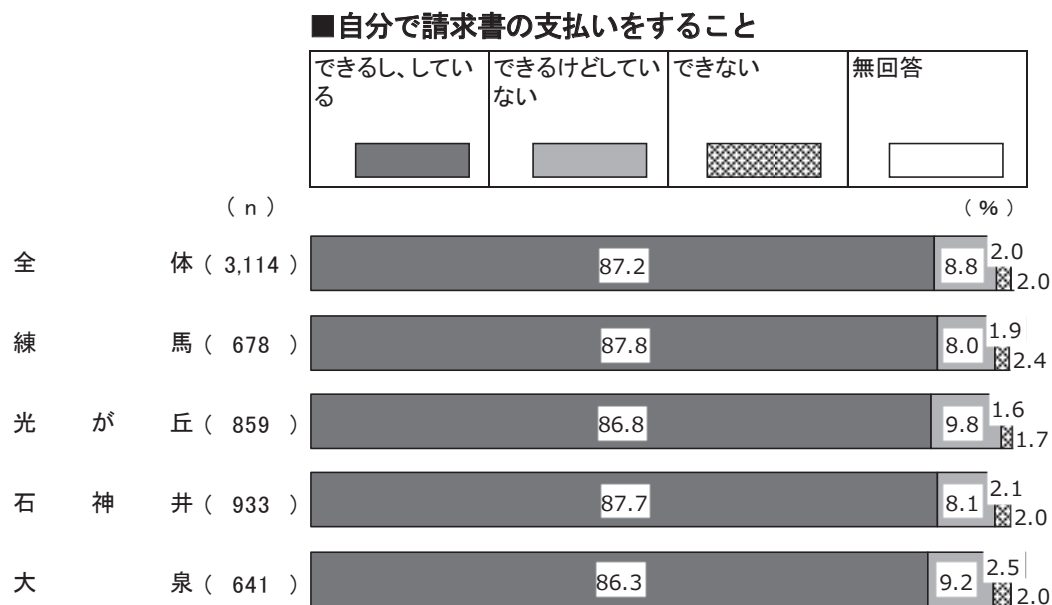
#### ■自分で食事の用意をする事



⑤ 自分で請求書の支払いをすること

○全体では“できる”が96.0%で、「できない」は2.0%であった。

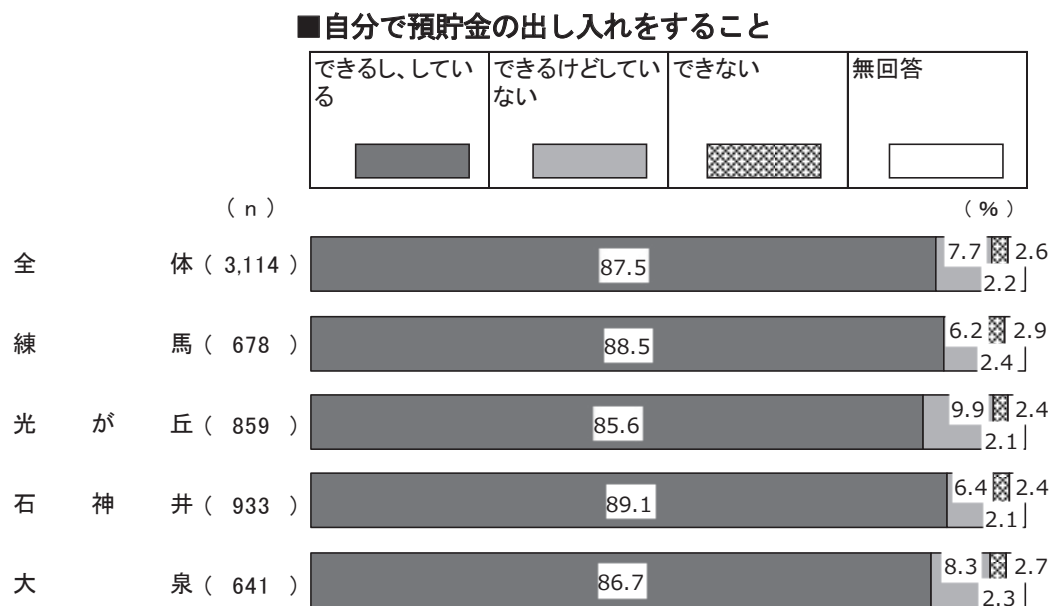
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



⑥ 自分で預貯金の出し入れをすること

○全体では“できる”が95.2%で、「できない」は2.2%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

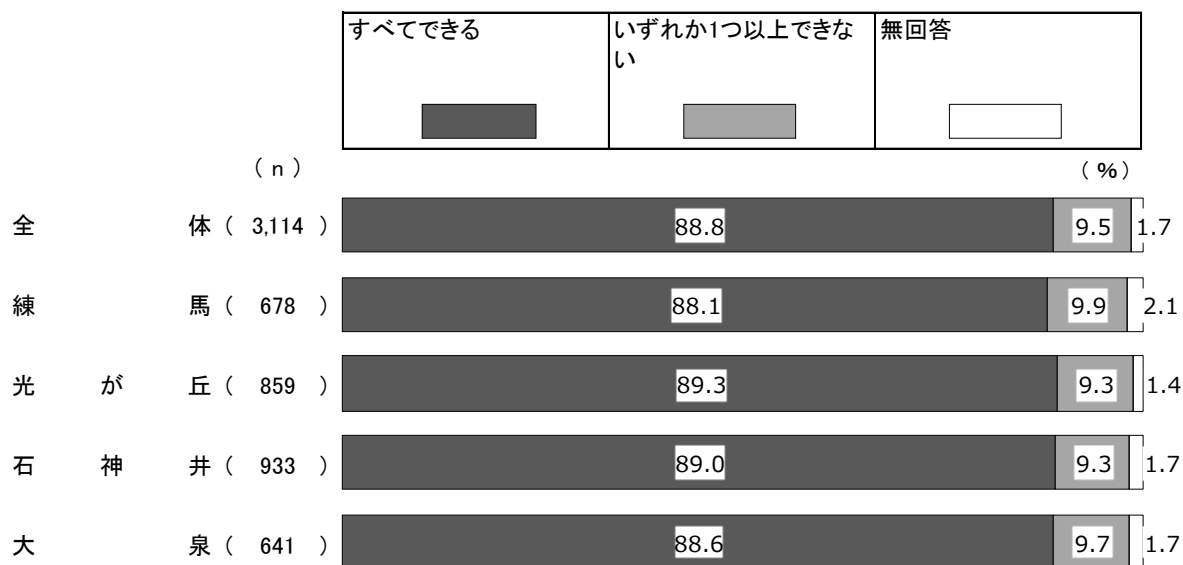




### ⑦ 日常生活の自立状況

○全体では、「すべてできる」が88.8%、「いずれか1つ以上できない」が9.5%であった。  
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■日常生活の自立状況

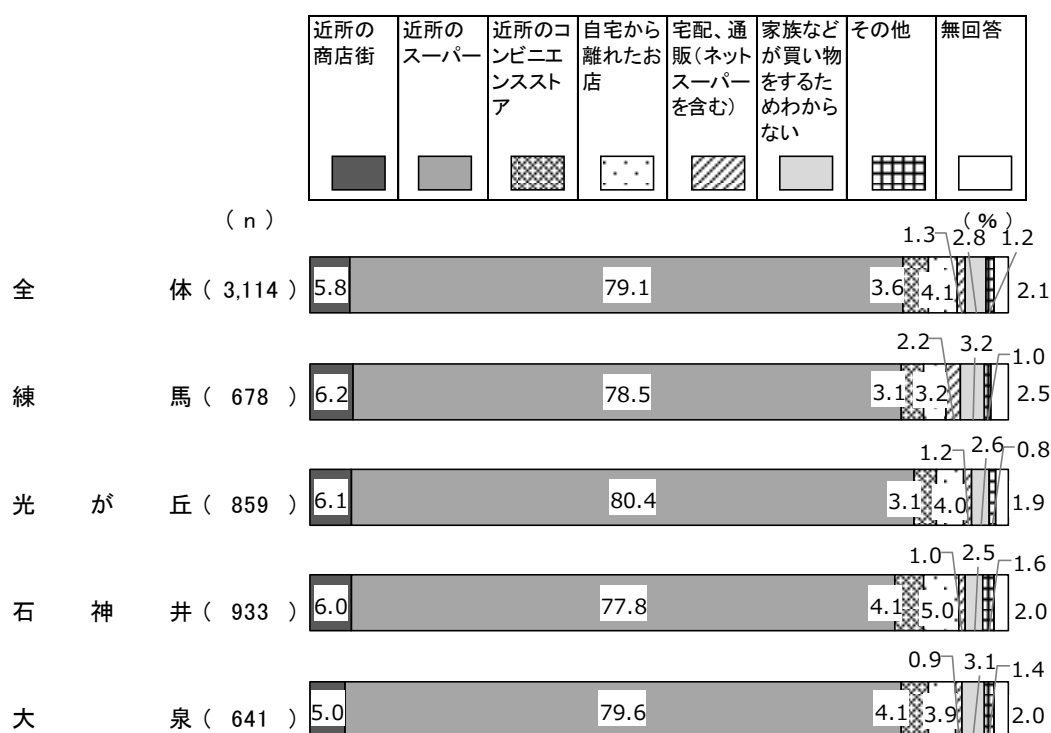


※ ②～⑥の5項目全てについて「できるし、している」あるいは「できるけどしていない」と回答した人を「すべてできる」、5項目のいずれかについて「できない」と回答した人を「いずれか1つ以上できない」に分類した

### ⑧ 食料品や日用品を買う場所

○全体では、「近所のスーパー」が79.1%で最も高い。  
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

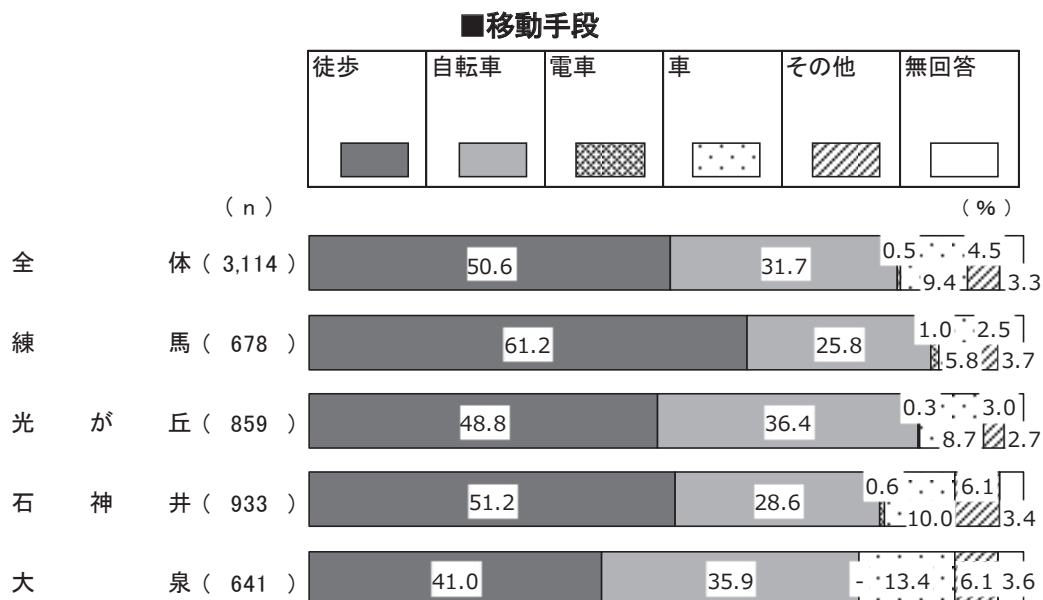
■食料品や日用品を買う場所



⑨ 日常の食料品を買う店舗までの移動手段と所要時間

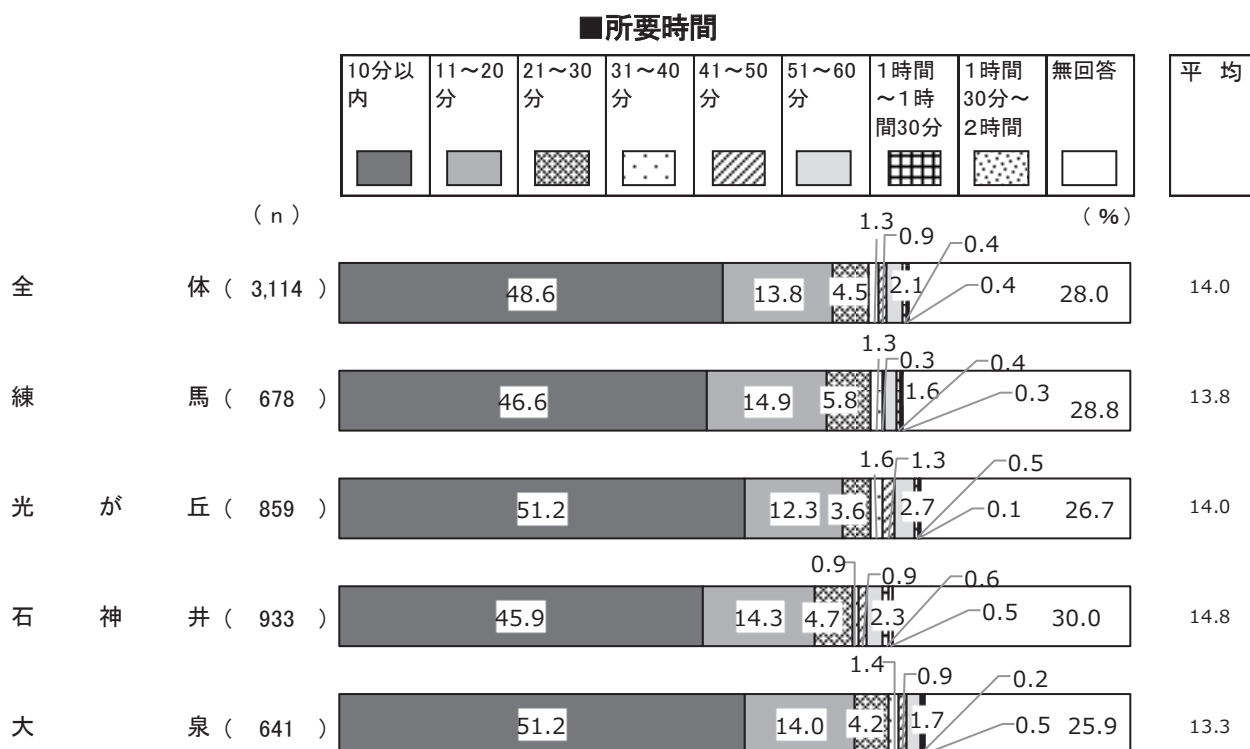
○全体では、「徒歩」が50.6%で最も高く、次いで「自転車」(31.7%)、「車」(9.4%)、「電車」(0.5%)となっている。

○練馬は「徒歩」が61.2%と全体と比べて高い。大泉は「徒歩」が約4割と全体と比べて低く、「車」が1割超でやや高い。



○所要時間は、全体では「10分以内」が48.6%で最も高く、「11～20分」が13.8%と、「20分以内」が6割超を占めている。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

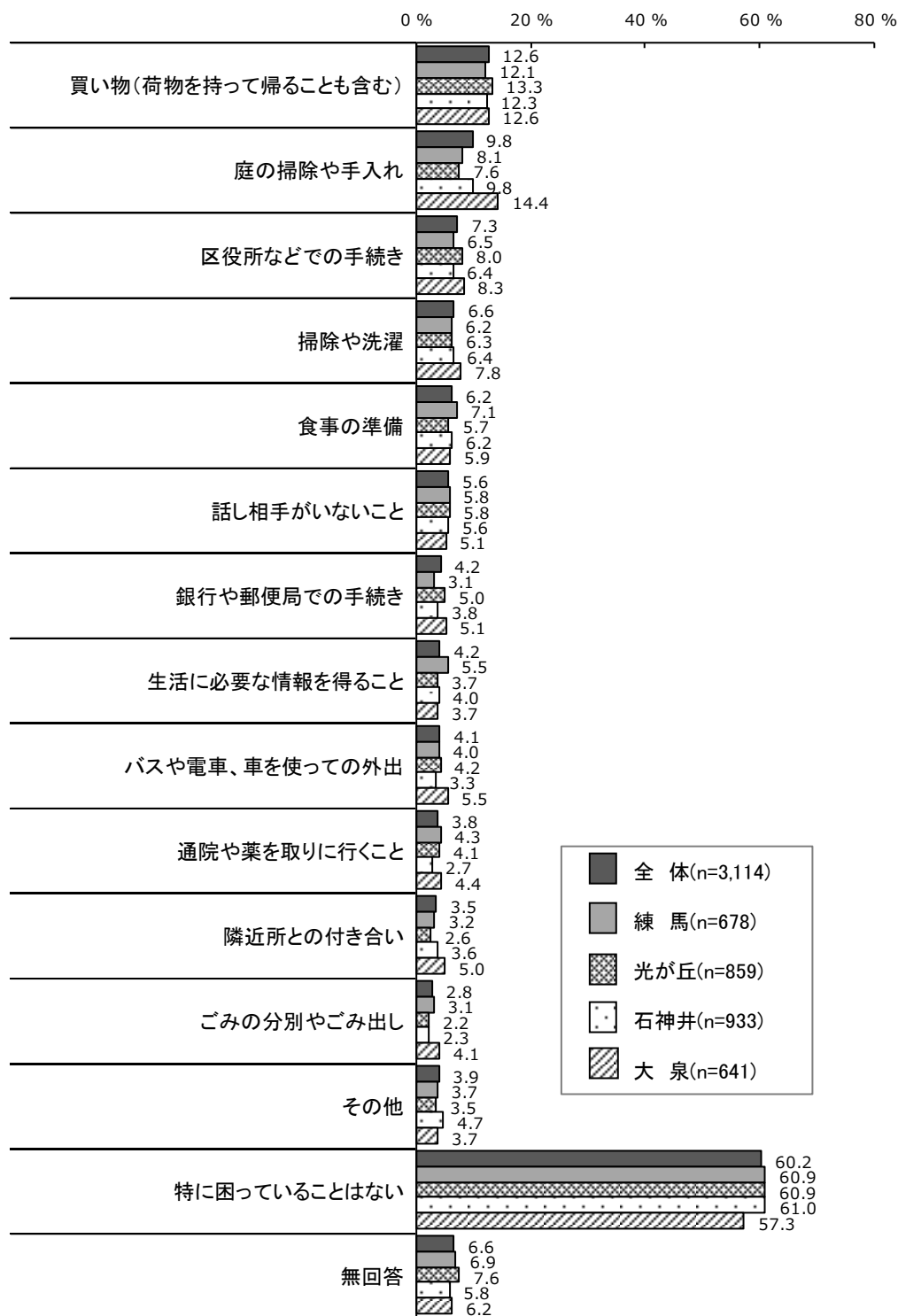


### ⑩ 日常生活の中での困りごと

○全体では、「特に困っていることはない」が約6割となっている。困りごととしては、「買い物（荷物を持って帰ることも含む）」が12.6%で最も高く、「庭の掃除や手入れ」（9.8%）、「区役所などでの手続き」（7.3%）と続いている。

○大泉では「庭の掃除や手入れ」が14.4%と全体と比べてやや高い。

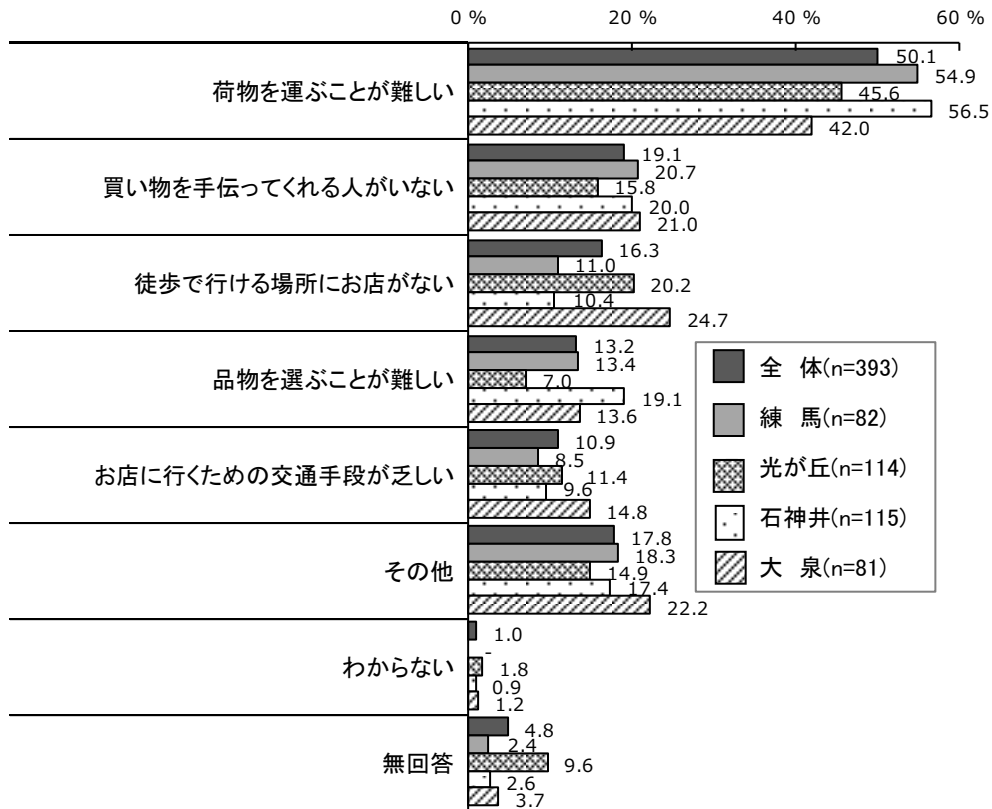
■日常生活の中での困りごと（複数回答）



### ⑪ 買い物での困りごと

○全体では、「荷物を運ぶことが難しい」が50.1%で最も高く、「買い物を手伝ってくれる人がいない」(19.1%)、「徒歩で行ける場所にお店がない」(16.3%)と続いている。  
○いずれの圏域でも、「荷物を運ぶことが難しい」が最も高い。

■買い物での困りごと（複数回答）



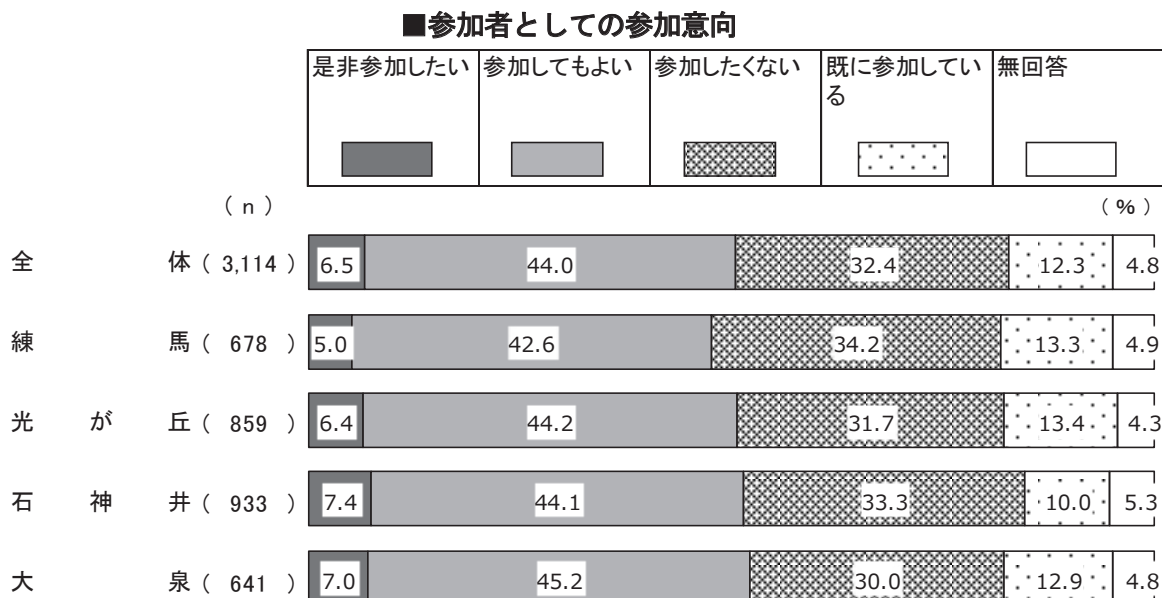
### 3 地域活動と地域のつながり

#### (1) 地域づくりの推進

##### ① 参加者としての参加意向

○全体では、「是非参加したい」が6.5%、「参加してもよい」が44.0%、「参加したくない」が32.4%であった。「既に参加している」は12.3%であった。

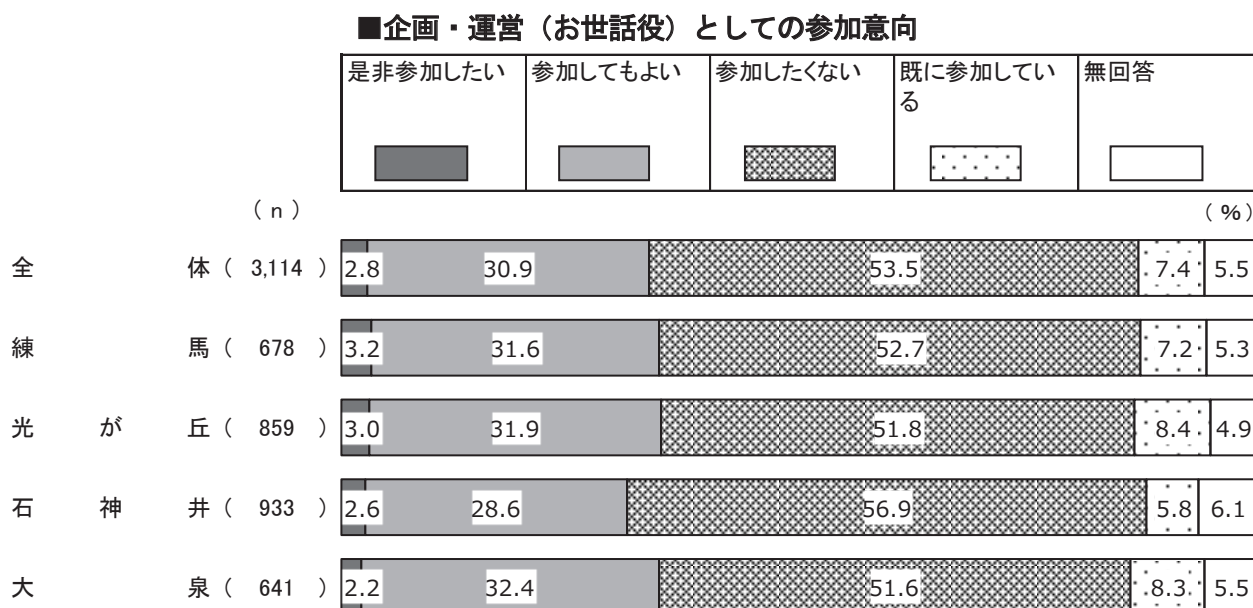
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



##### ② 企画・運営（お世話役）としての参加意向

○全体では、「是非参加したい」が2.8%、「参加してもよい」が30.9%、「参加したくない」が53.5%であった。「既に参加している」は7.4%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

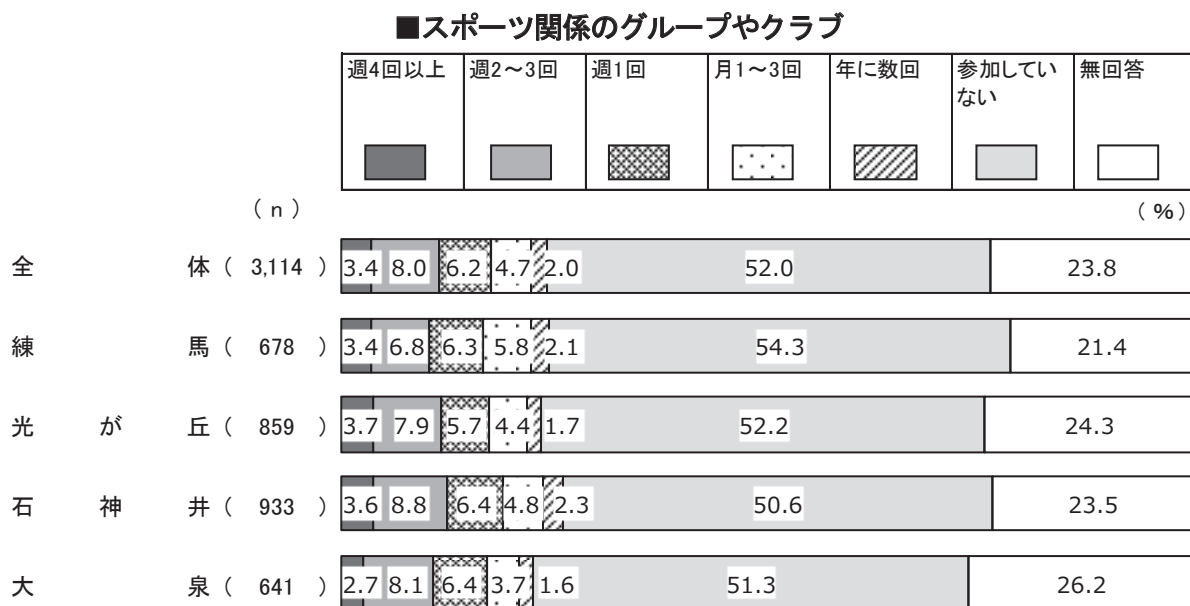
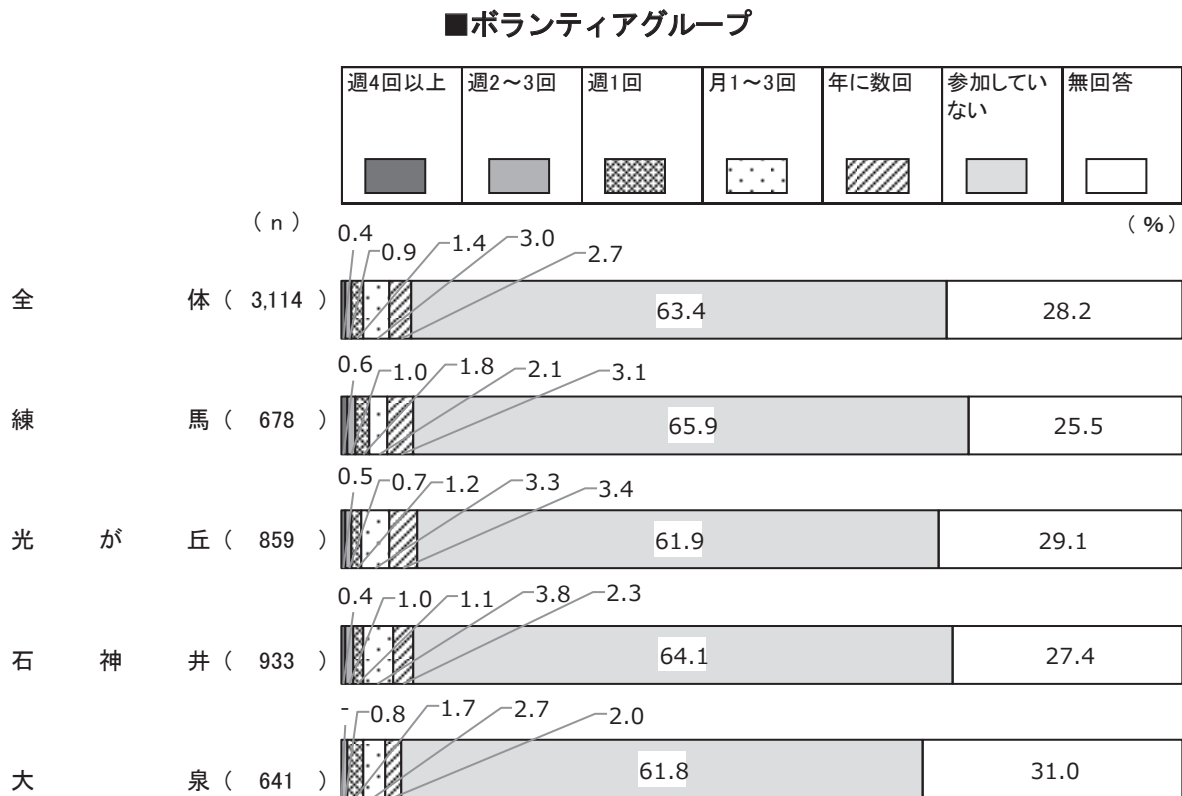


## (2) 地域活動への参加状況

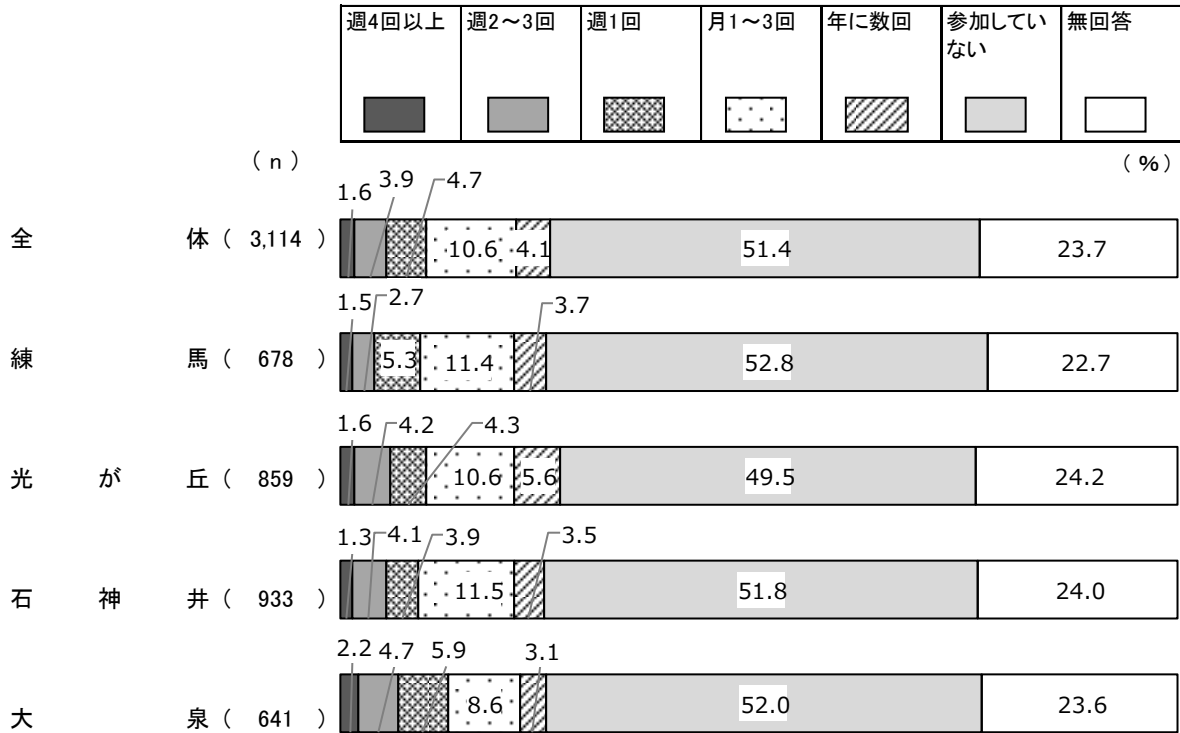
### ① 地域活動の参加頻度

○いずれの地域活動も「参加していない」が半数以上を占めている。

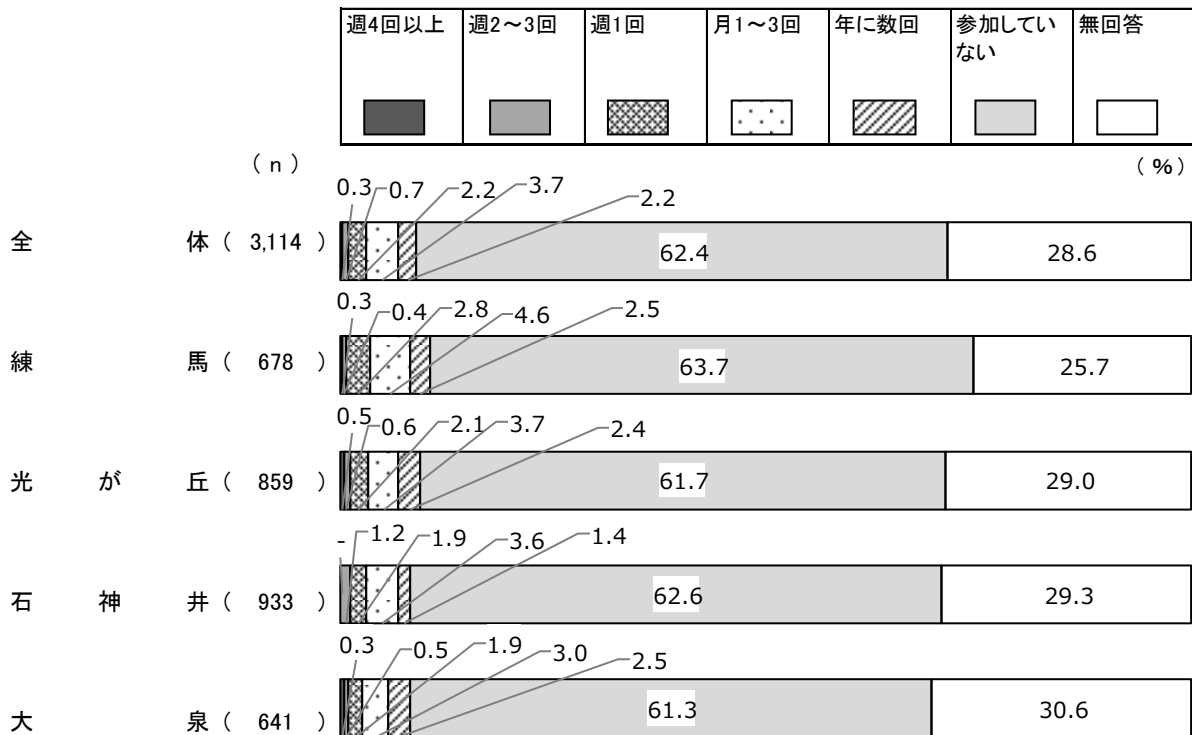
○スポーツ関係のグループやクラブと趣味関係のグループ、収入のある仕事は、“参加している”人が2割以上となっている。



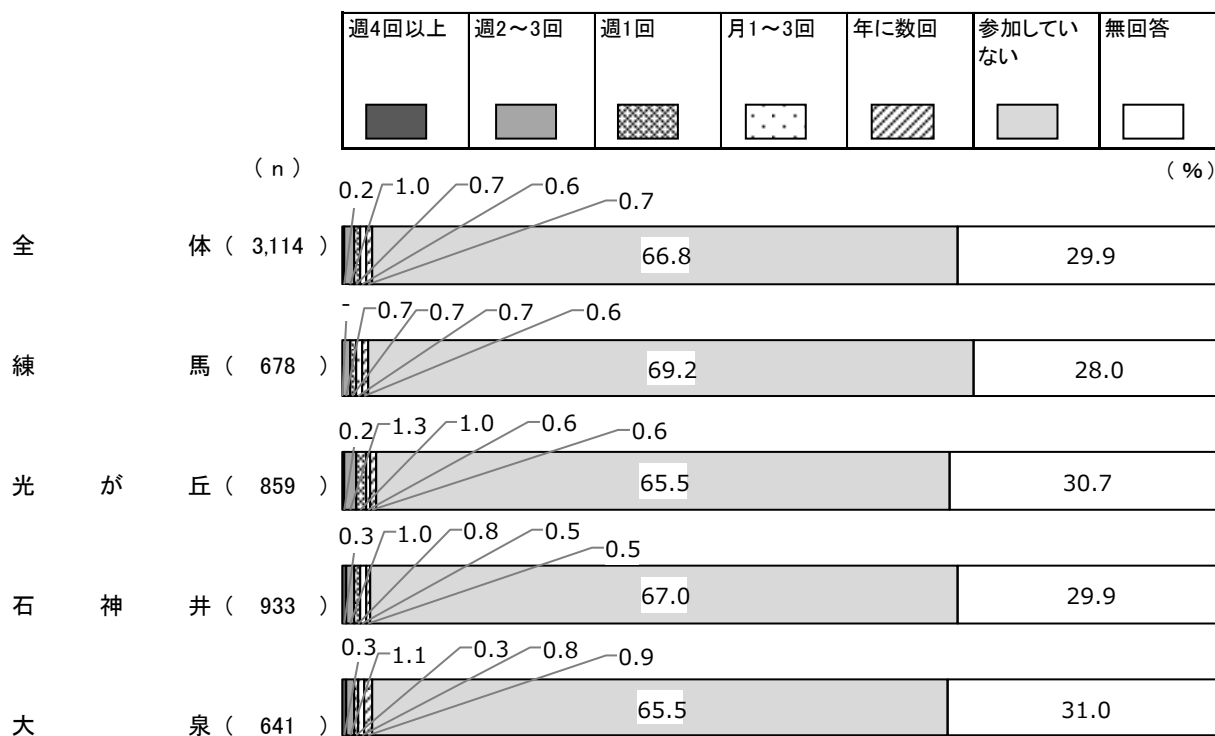
### ■趣味関係のグループ



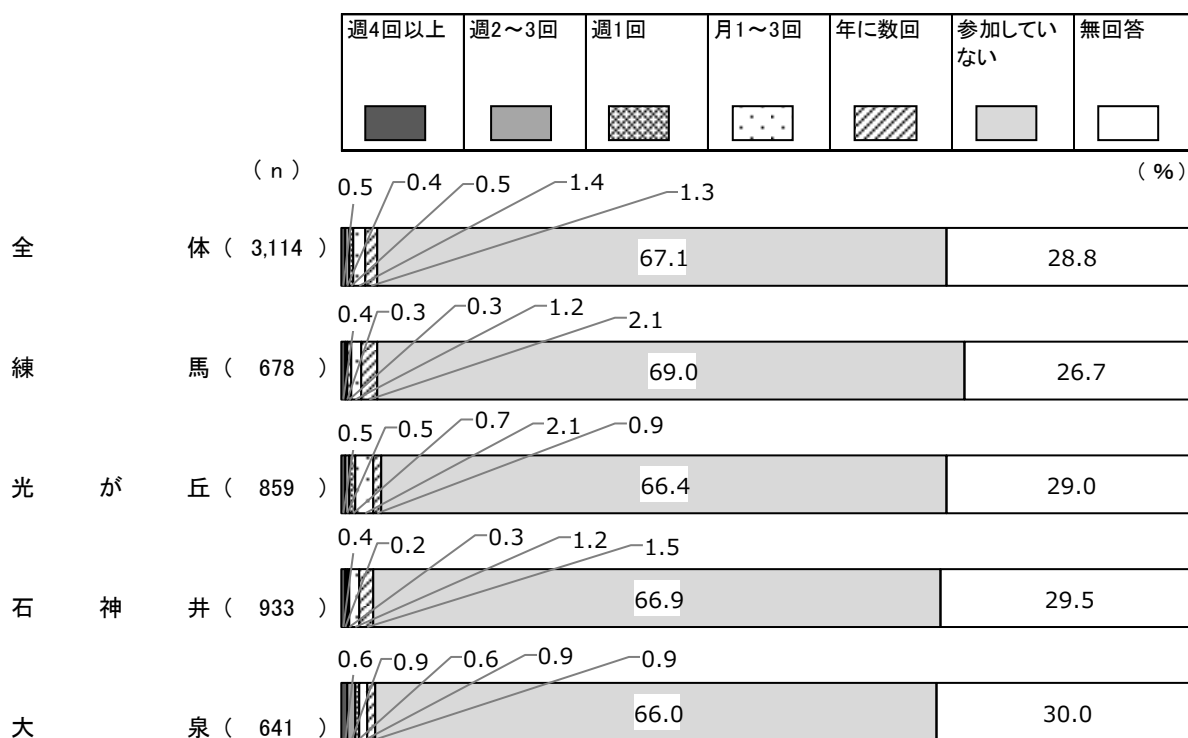
### ■学習・教養サークル



### ■介護予防のための通いの場

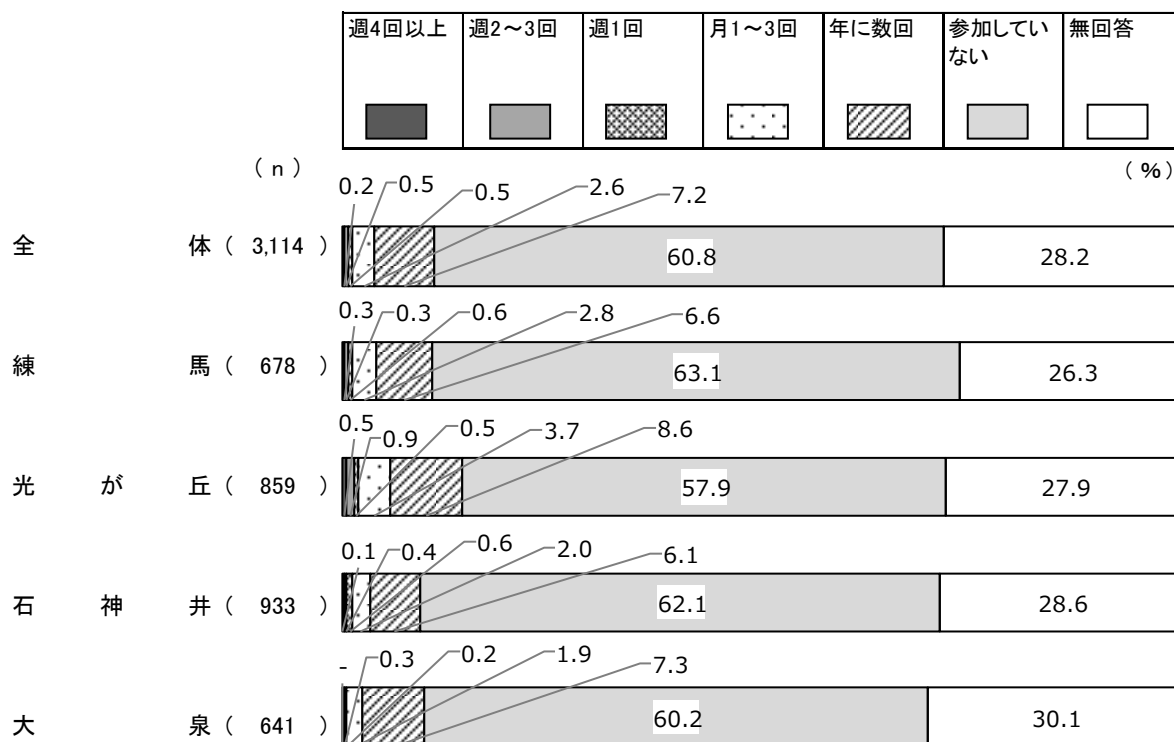


### ■老人クラブ

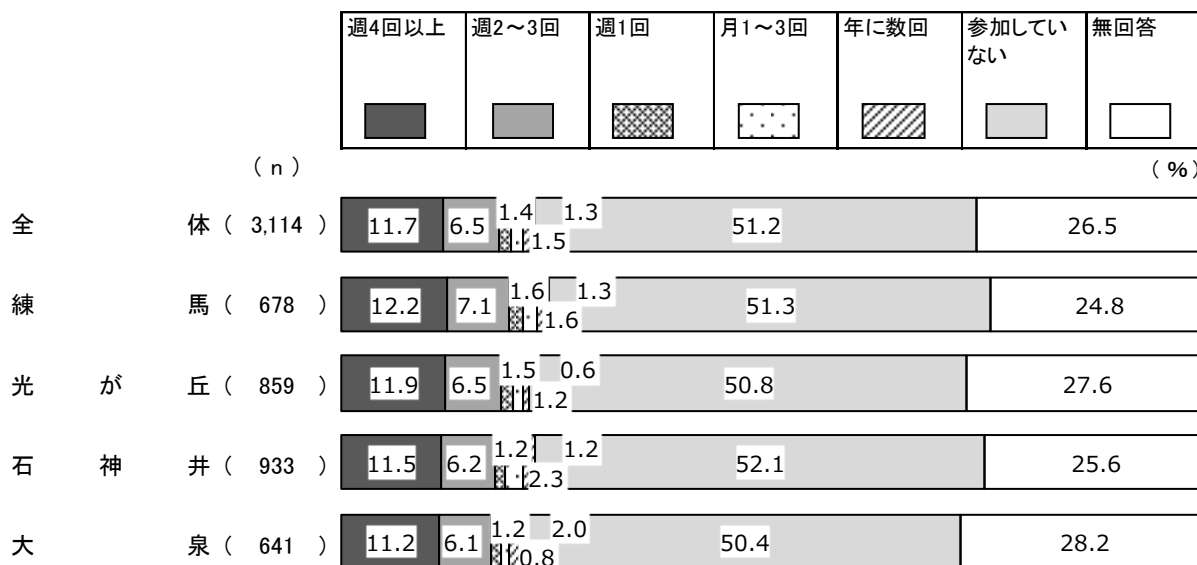




### ■町内会・自治会



### ■収入のある仕事

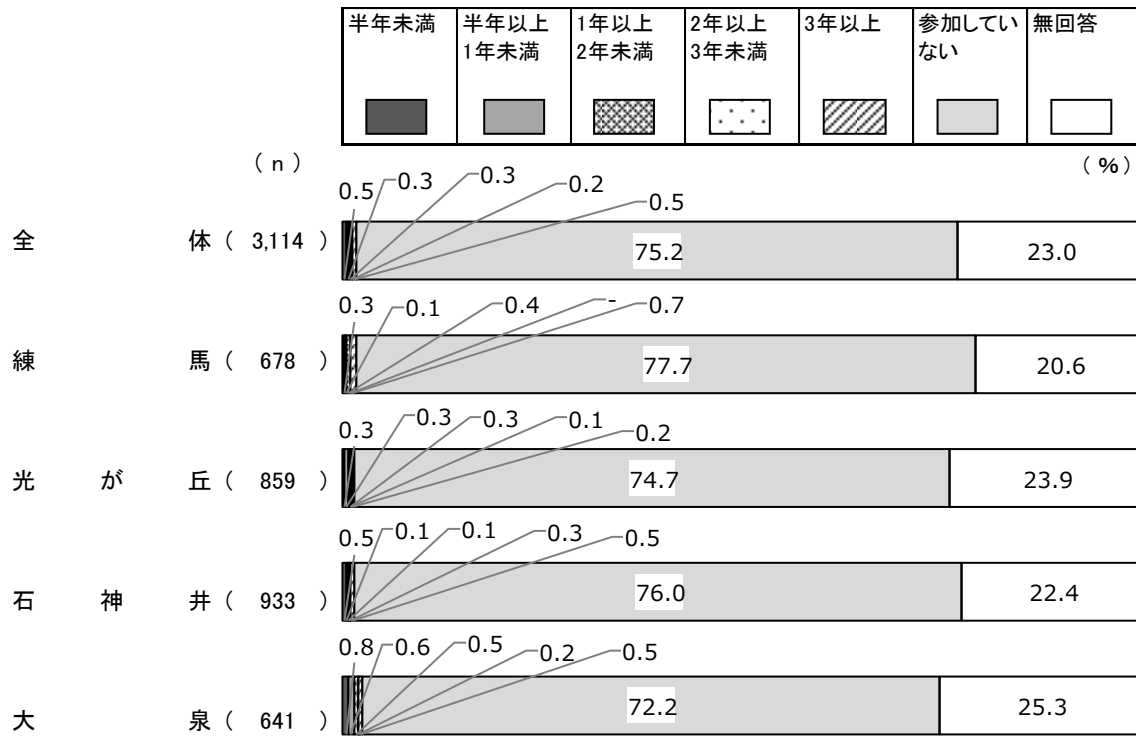


② 地域活動の参加期間

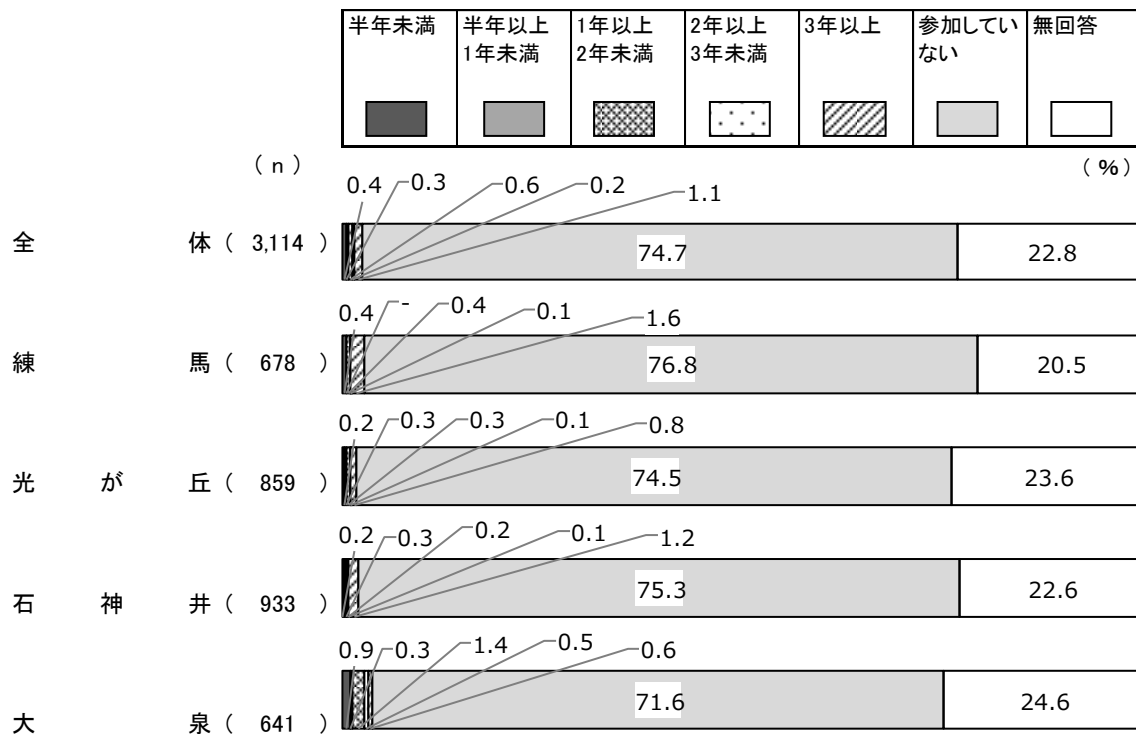
○いずれの地域活動も参加している人は5%未満となっている。

○いずれの圏域でも、全体と同様の傾向であった。

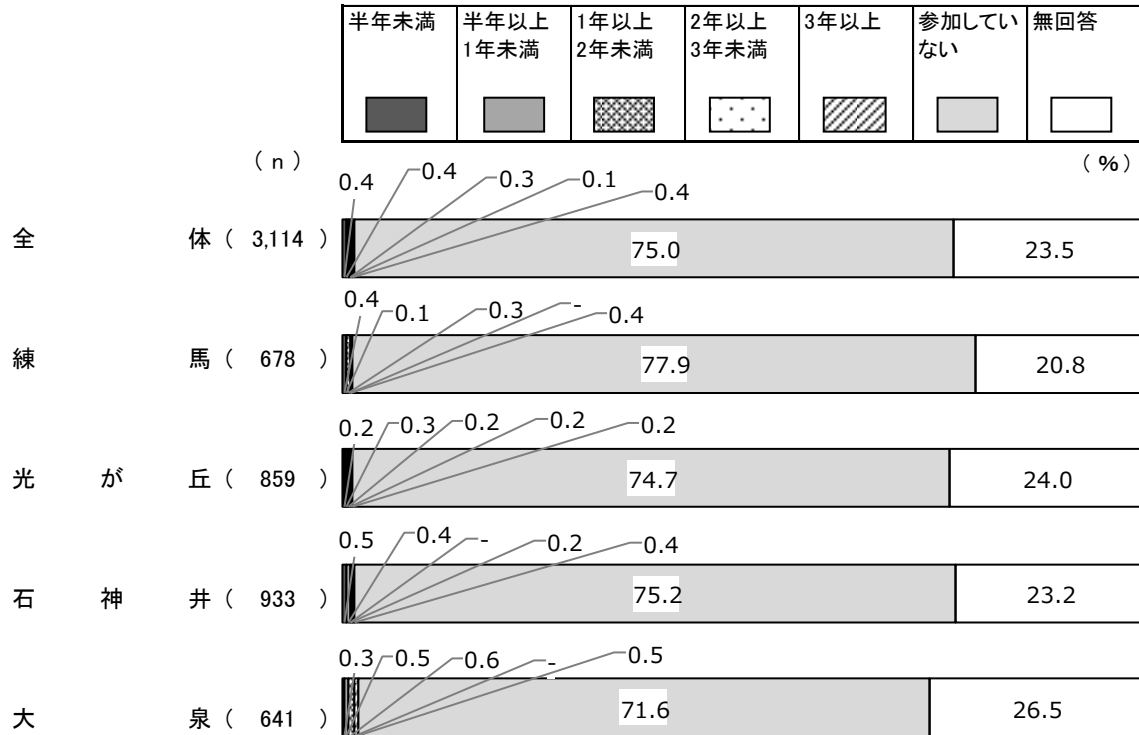
■街かどケアカフェ



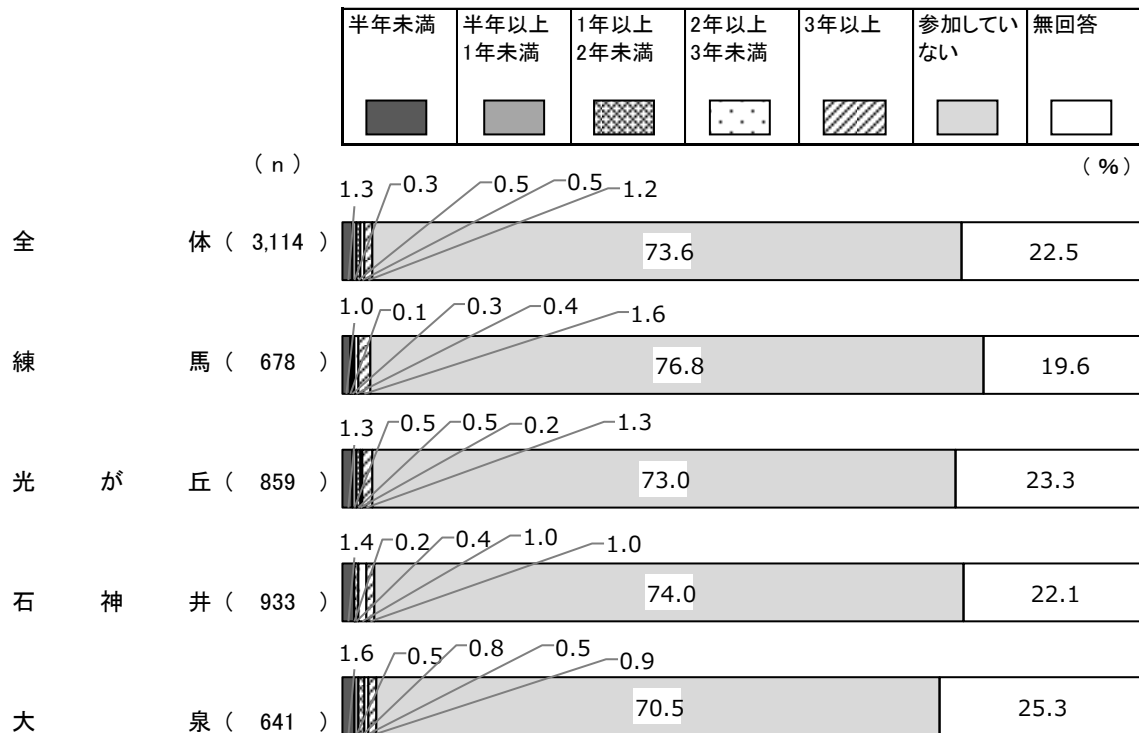
■はつらつシニアクラブ



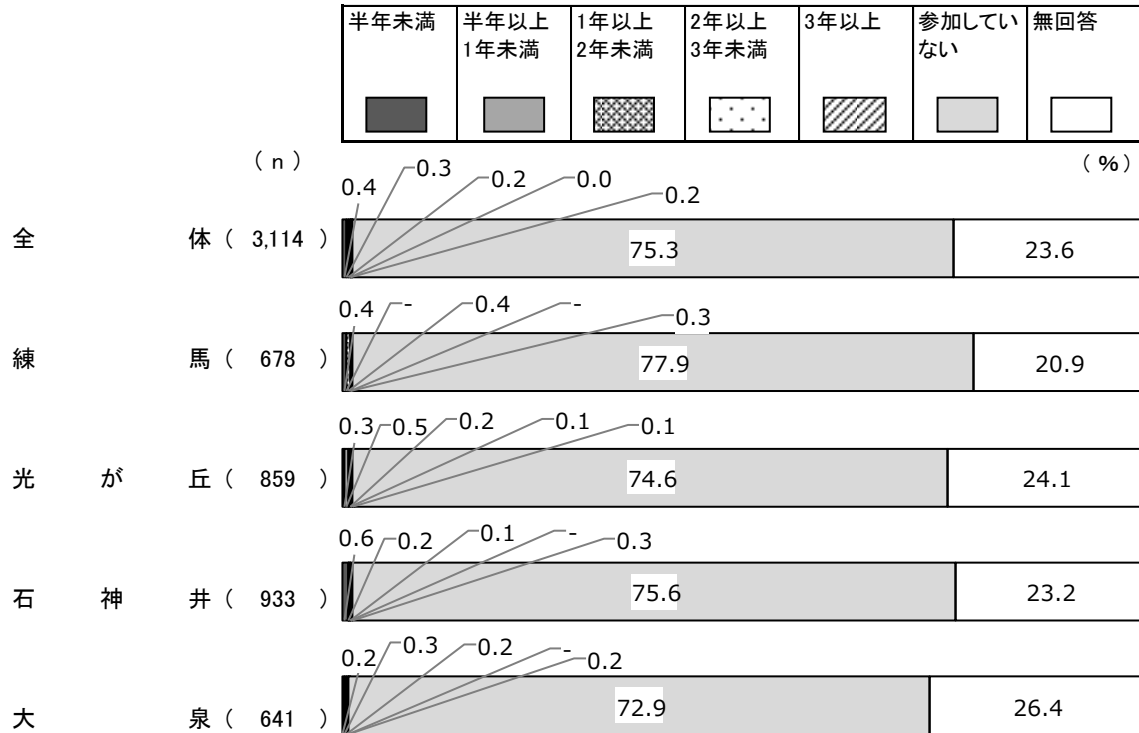
### ■脳活プログラム（認知症予防プログラム）



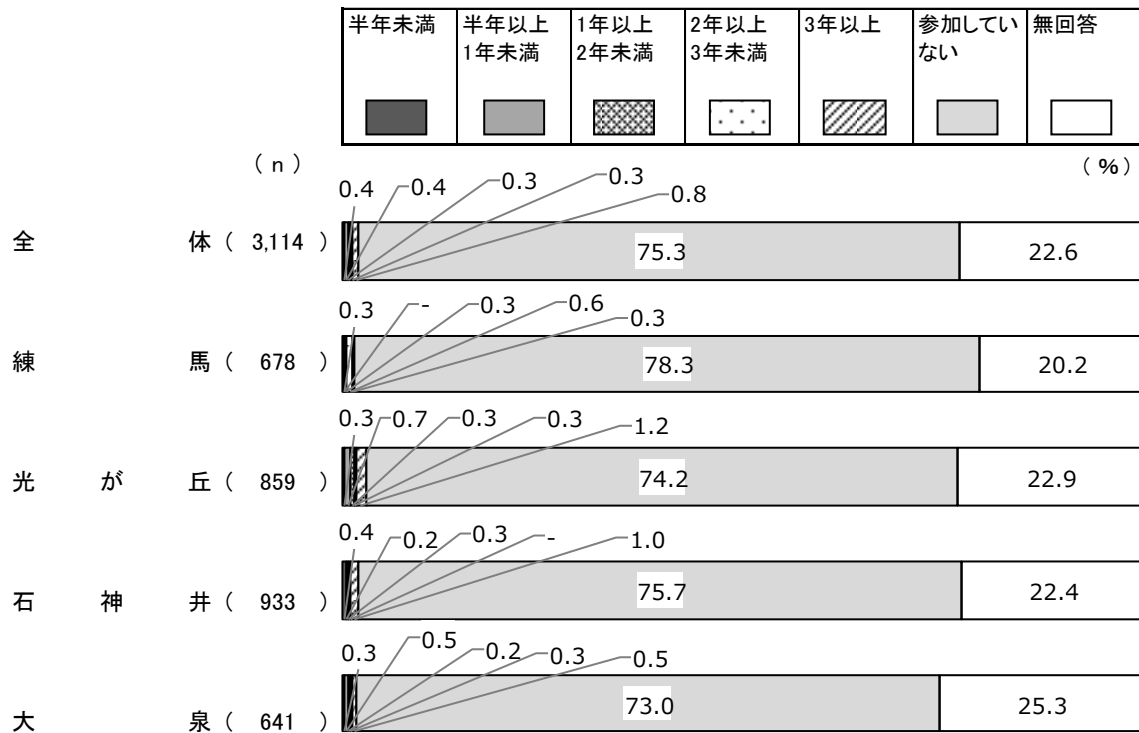
### ■足腰しゃっきりトレーニング教室



■わかわか かむかむ元気応援教室



■いきがいデイサービス

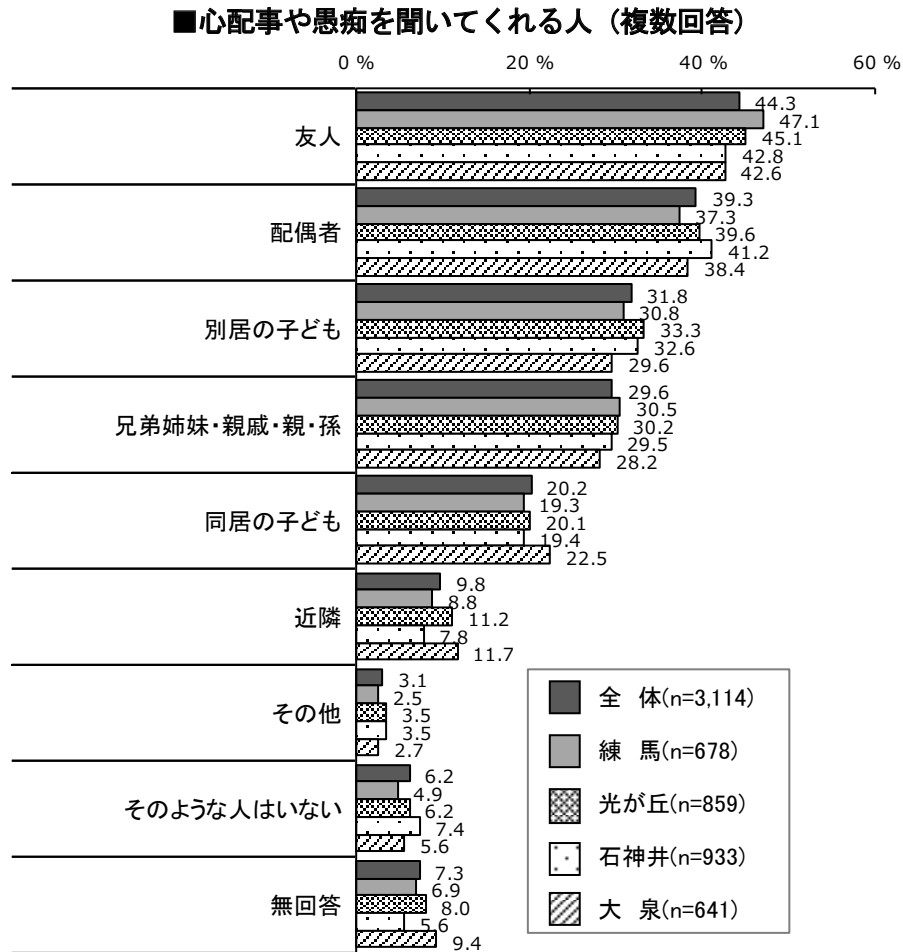


### (3) たすけあい

#### ① 心配事や愚痴を聞いてくれる人

○全体では「友人」が44.3%で最も高く、「配偶者」(39.3%)、「別居の子ども」(31.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(29.6%)と続いている。また「そのような人はいない」は6.2%となっている。

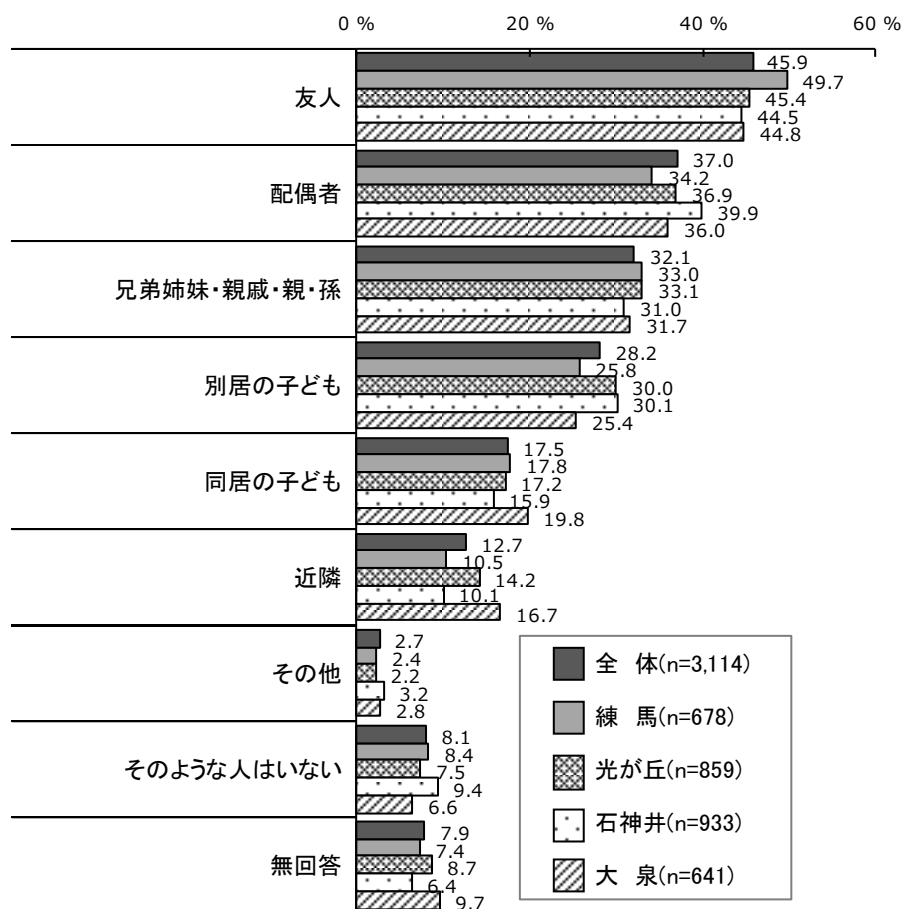
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



## ② 心配事や愚痴を聞いてあげる人

○全体では「友人」が45.9%で最も高く、「配偶者」(37.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(32.1%)、「別居の子ども」(28.2%)と続いている。また、「そのような人はいない」は8.1%となっている。  
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答）

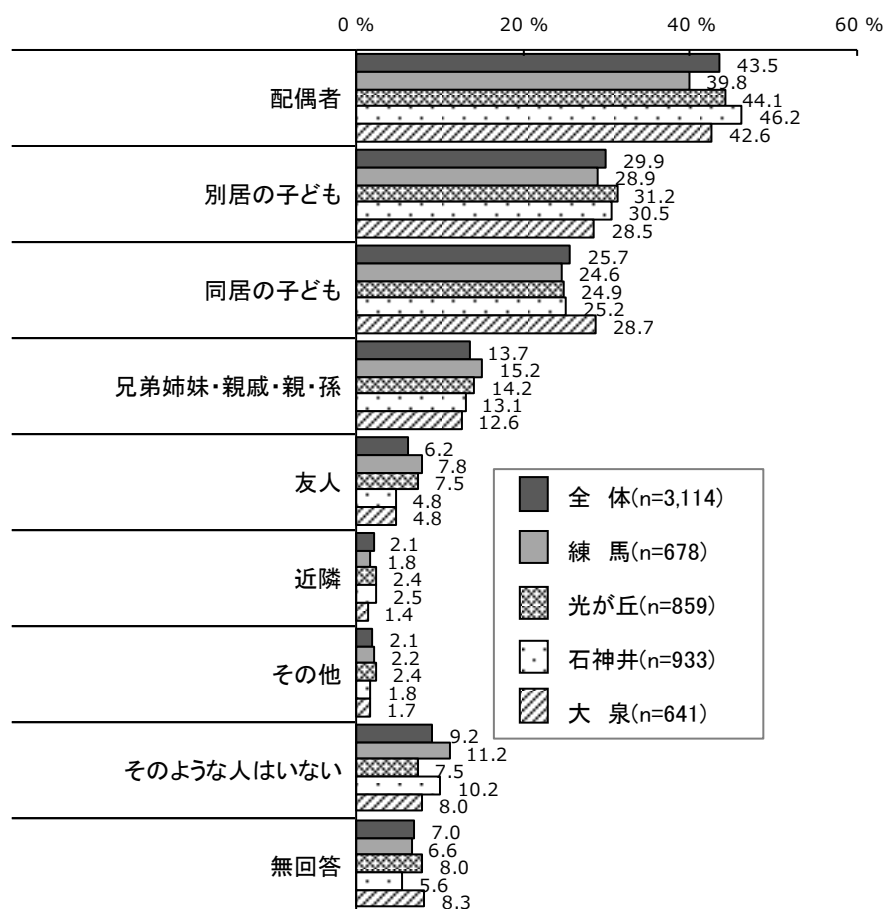


### ③ 看病や世話をしてくれる人

○全体では「配偶者」が43.5%で最も高く、「別居の子ども」(29.9%)、「同居の子ども」(25.7%)と続いている。また「そのような人はいない」は9.2%となっている。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

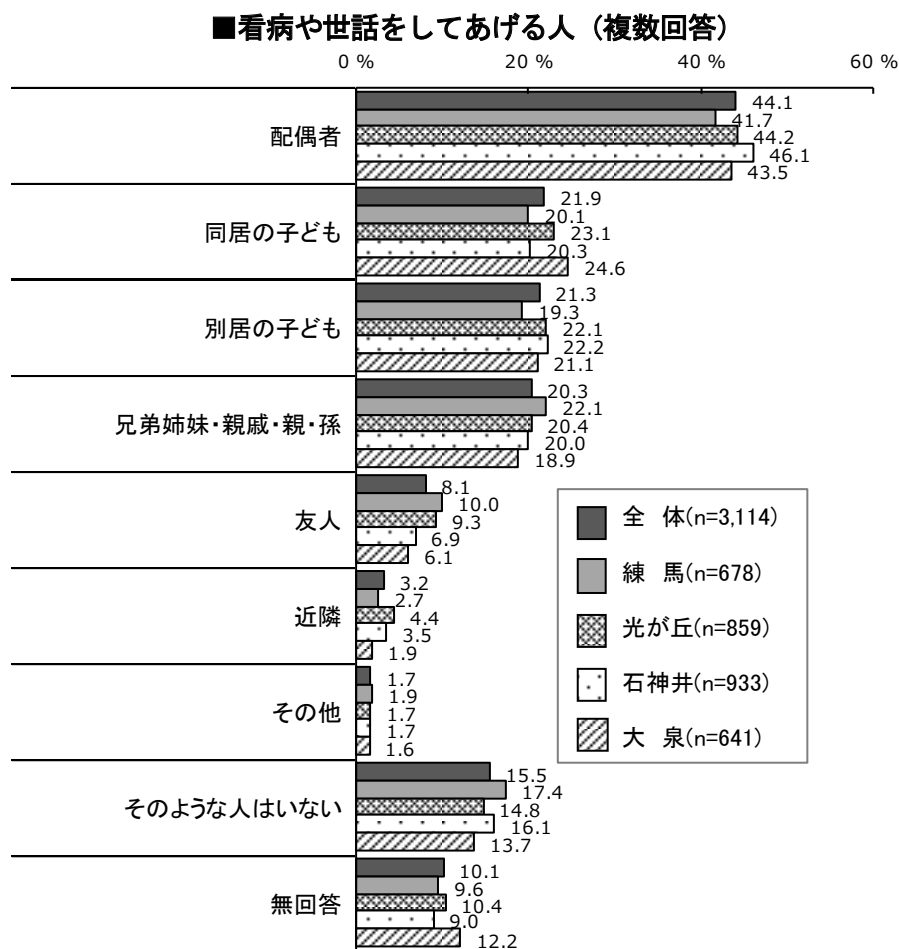
■看病や世話をしてくれる人（複数回答）



#### ④ 看病や世話をしあける人

○全体では「配偶者」が44.1%で最も高く、「同居の子ども」(21.9%)、「別居の子ども」(21.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.3%)と続いている。また「そのような人はいない」は15.5%となっている。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

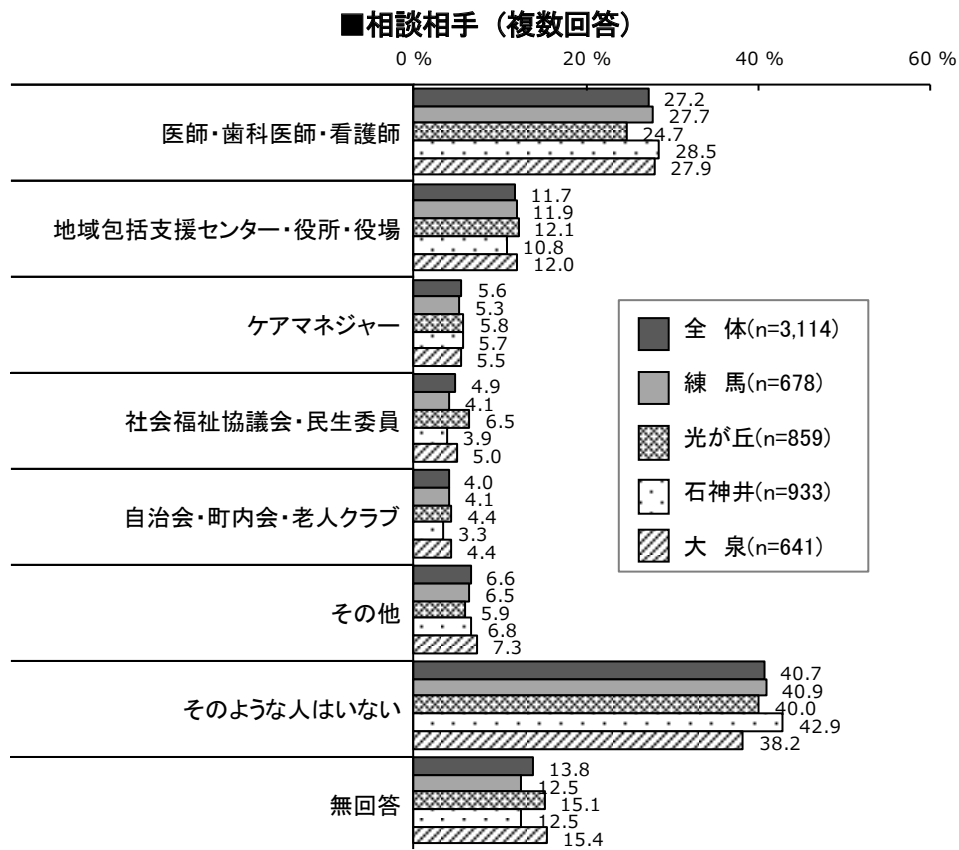




#### (4) 相談相手

○全体では、「医師・歯科医師・看護師」が27.2%で最も高く、「地域包括支援センター・役所・役場」(11.7%)、「ケアマネジャー」(5.6%)、「社会福祉協議会・民生委員」(4.9%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(4.0%)と続いている。また、「そのような人はいない」は40.7%となっている。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

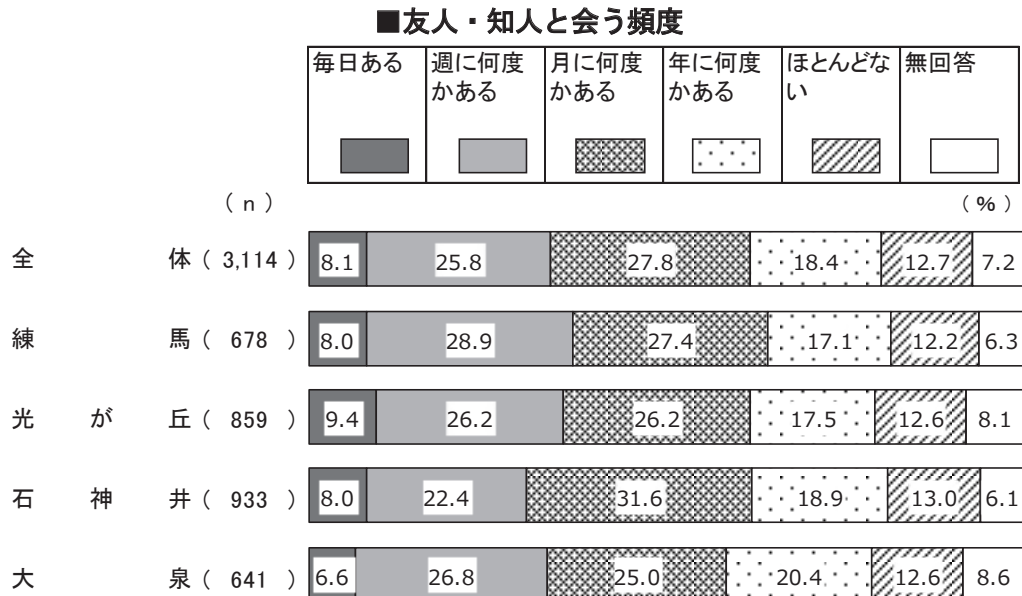


## (5) 友人・知人との交流

### ① 友人・知人と会う頻度

○全体では「毎日ある」が8.1%、「週に何度かある」が25.8%、「月に何度かある」が27.8%、「年に何度かある」が18.4%であった。「ほとんどない」は12.7%となっている。

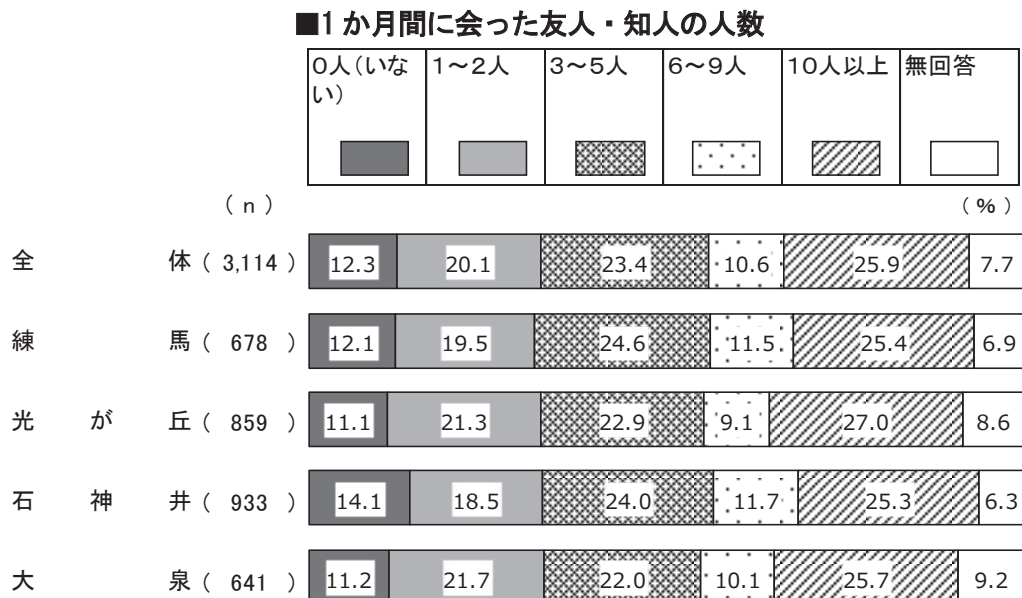
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### ② 1か月に会った友人・知人の人数

○全体では、「0人(いない)」が12.3%となっている。「1～2人」は20.1%、「3～5人」は23.4%、「6～9人」は10.6%、「10人以上」は25.9%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

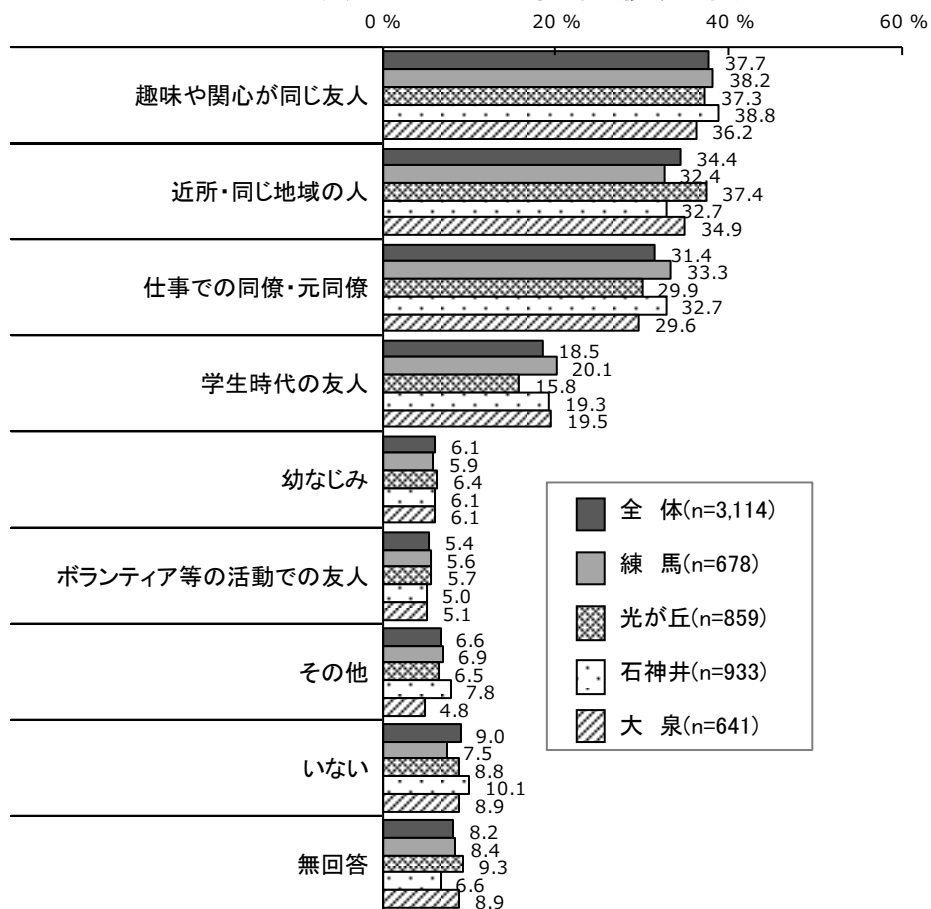


### ③ よく会う友人・知人との関係

○全体では、「趣味や関心が同じ友人」が37.7%で最も高く、「近所・同じ地域の人」(34.4%)、「仕事での同僚・元同僚」(31.4%)と続いている。また、「いない」は9.0%となっている。

○いずれの圏域でも、上位に挙がっている項目は同様であった。

■よく会う友人・知人との関係（複数回答）

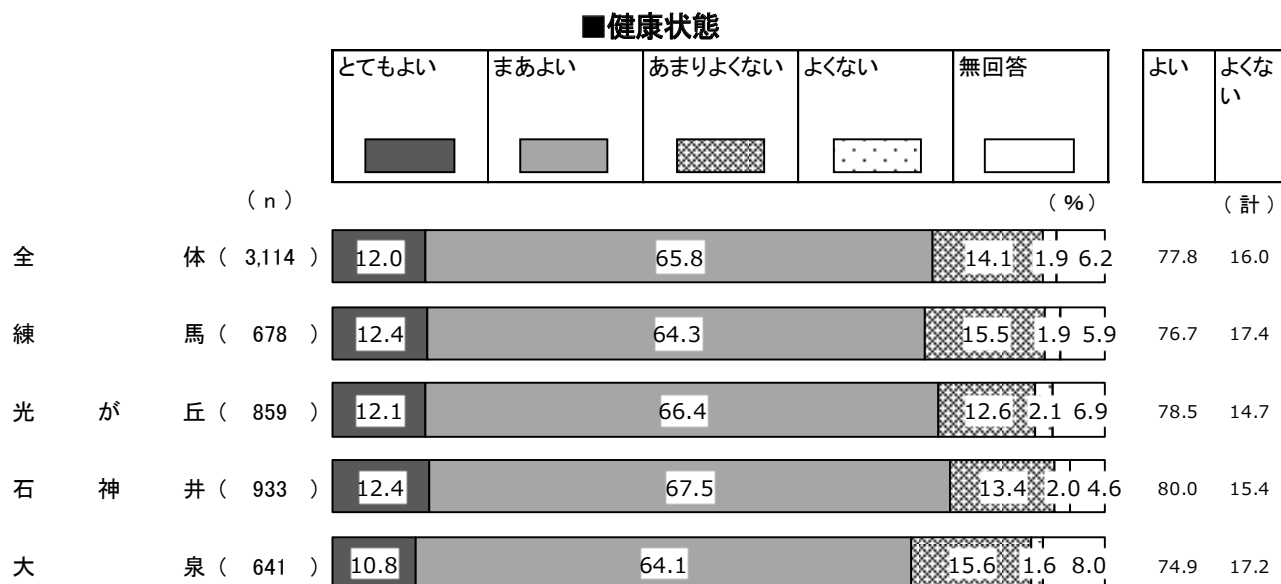


## 4 健康

### (1) 健康状態

○全体では、“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）が77.8%、“よくない”（「あまりよくない」と「よくない」の合計）が16.0%であった。

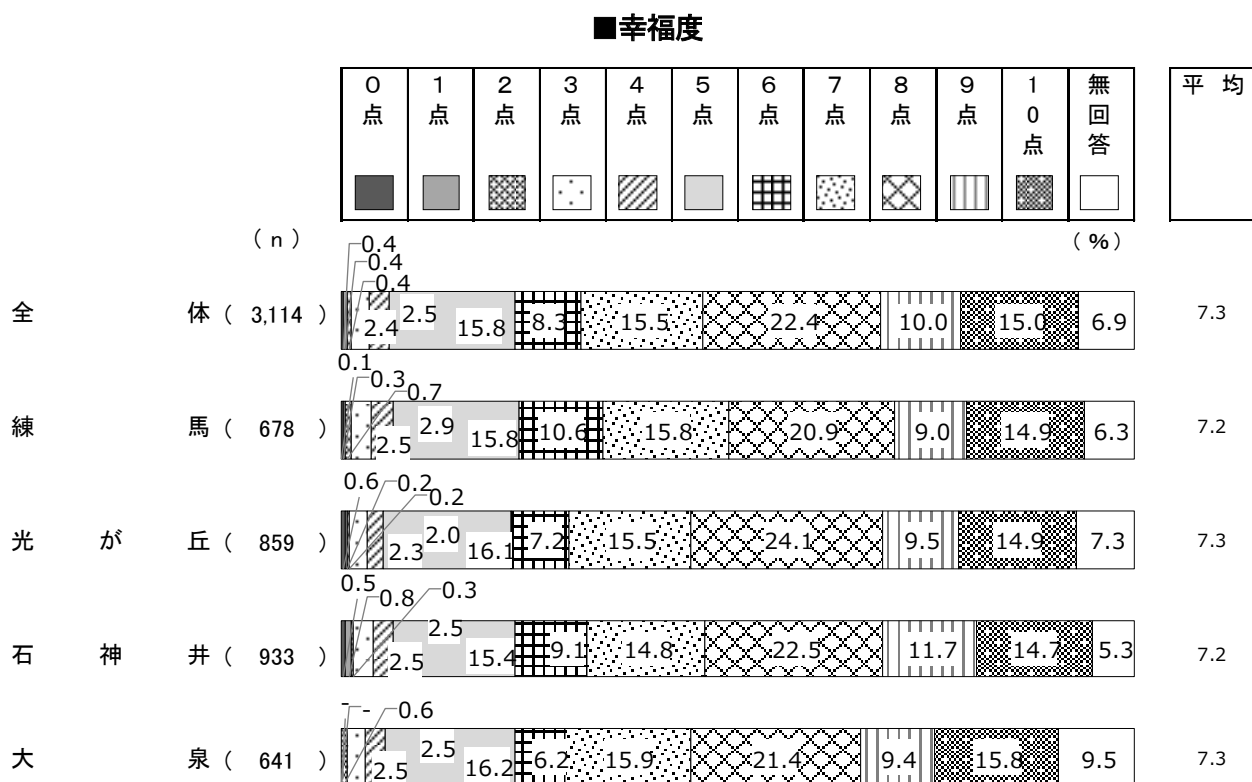
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### (2) 幸福度

○全体では「8点」が22.4%で最も高く、「5点」(15.8%)、「7点」(15.5%)、「10点」(15.0%)と続いている。平均は7.3点であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



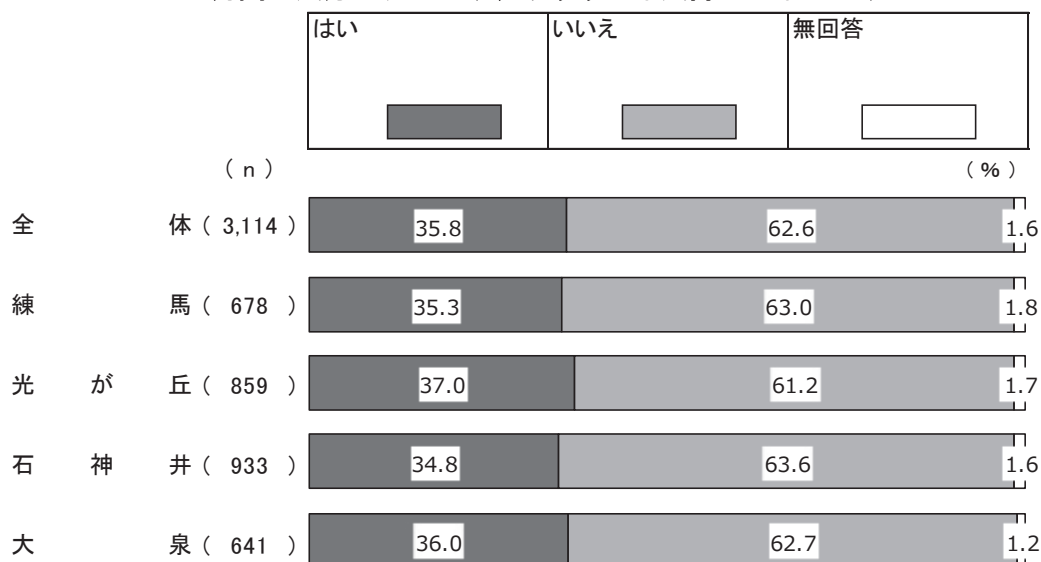
### (3) うつ傾向

#### ① この1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと

○1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになった人（「はい」と回答した人）は35.8%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■この1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと

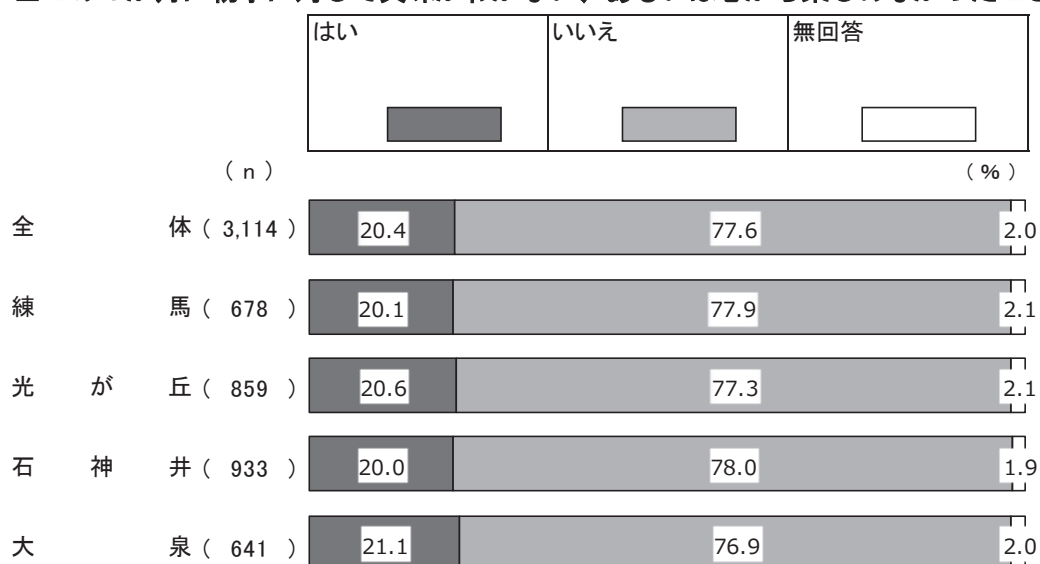


#### ② この1か月間に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと

○1か月で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあった人（「はい」と回答した人）は20.4%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

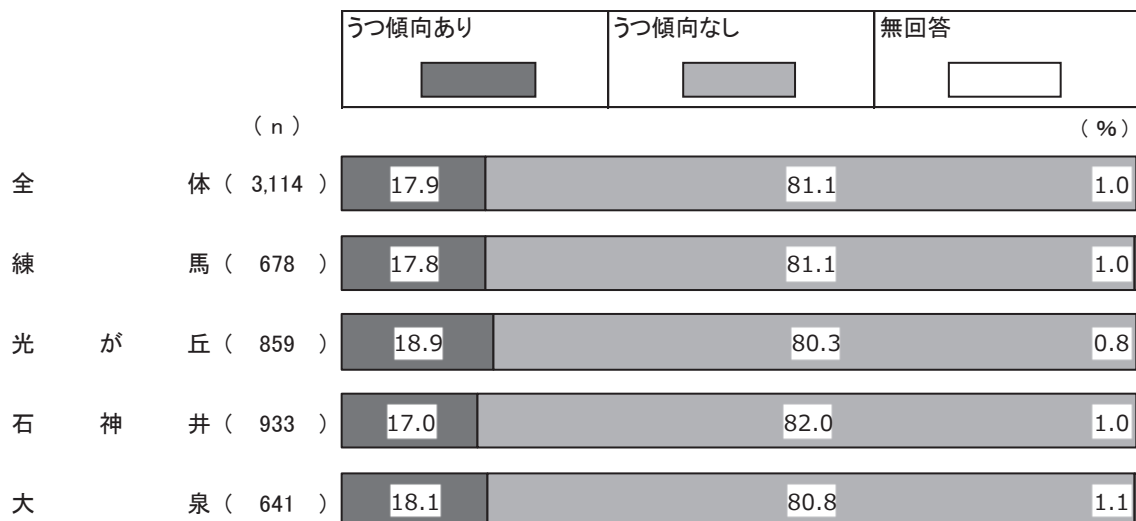
■この1か月に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと



### ③ うつ傾向の有無

○全体では、「うつ傾向あり」の人が17.9%、「うつ傾向なし」の人が81.1%であった。  
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

■うつ傾向の有無

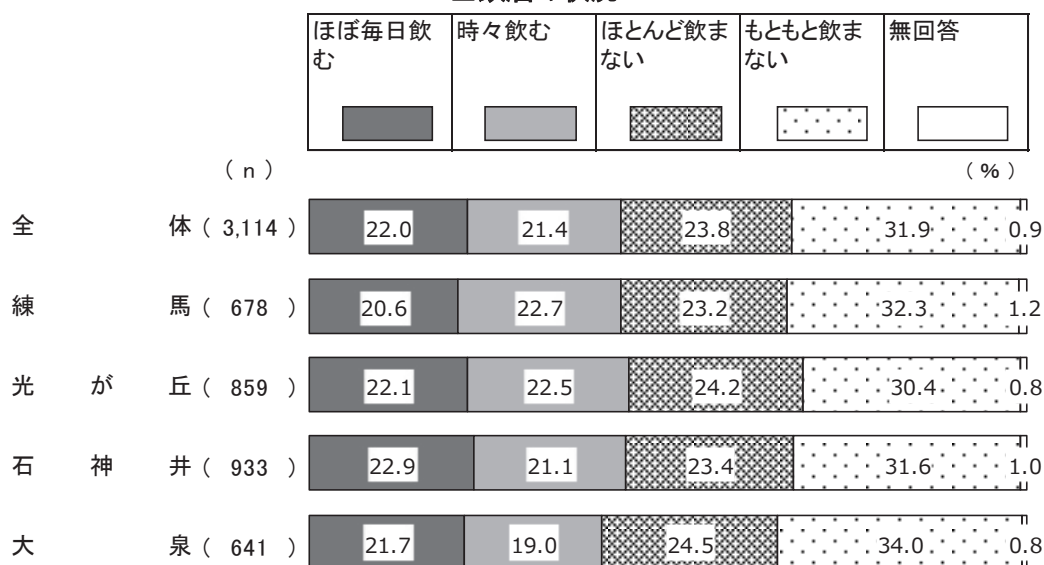


※ ①②のいずれか1つでも「はい」に該当した場合、うつ傾向ありとなる

### (4) 飲酒の状況

○「ほぼ毎日飲む」は22.0%、「時々飲む」は21.4%、「ほとんど飲まない」は23.8%であった。  
「もともと飲まない」は31.9%であった。  
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

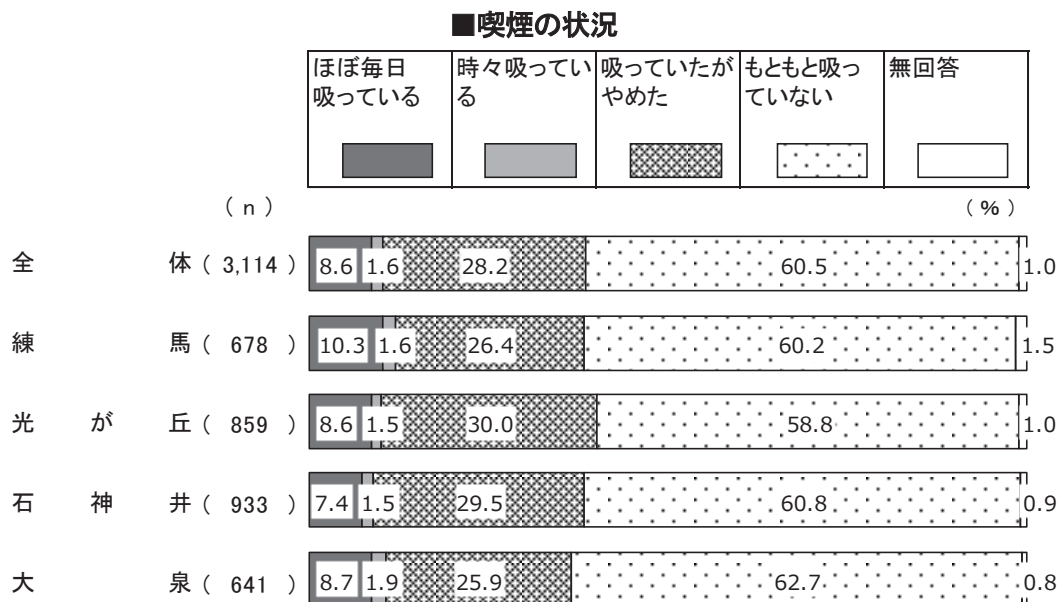
■飲酒の状況



## (5) 喫煙の状況

○「ほぼ毎日吸っている」は8.6%、「時々吸っている」は1.6%となっている。「吸っていたがやめた」は28.2%、「もともと吸っていない」は60.5%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。

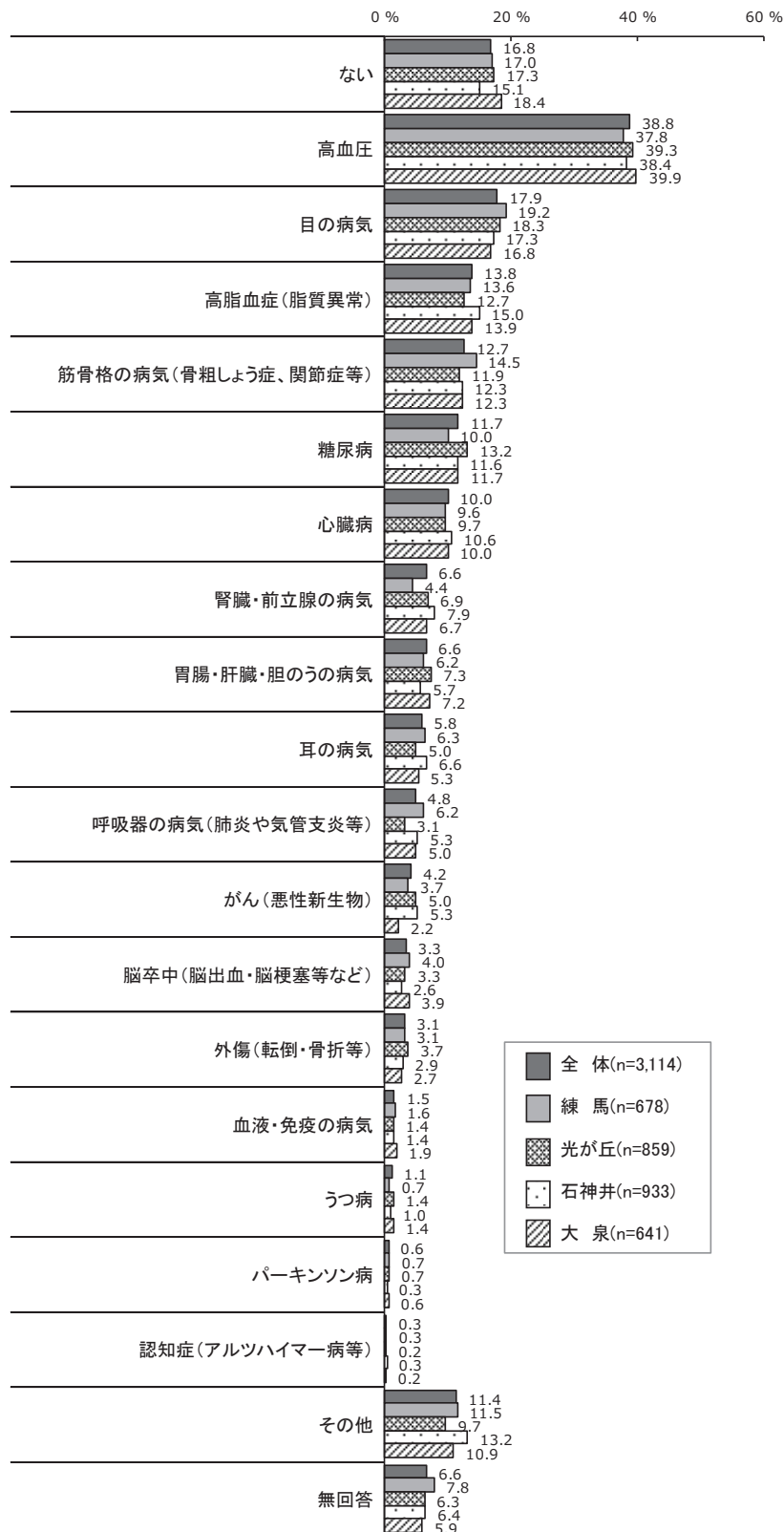


## (6) 現在治療中・後遺症のある病気

○全体では「高血圧」が38.8%で最も高く、「目の病気」(17.9%)、「高脂血症(脂質異常)」(13.8%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.7%)、「糖尿病」(11.7%)、「心臓病」(10.0%)と続いている。「ない」は16.8%であった。

○いずれの圏域でも上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向であった。

■現在治療中・後遺症のある病気(複数回答)



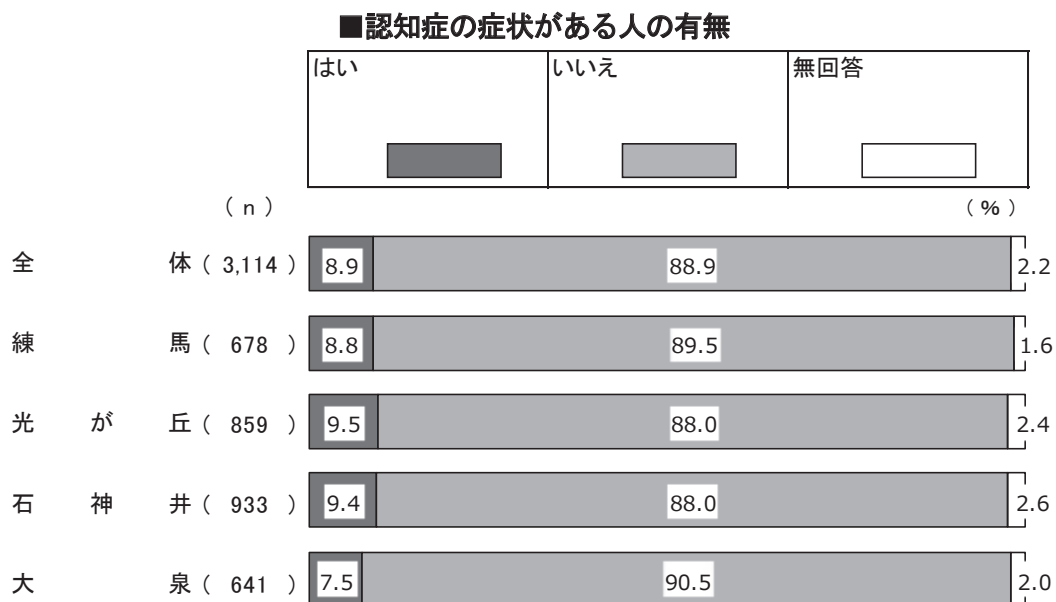


## 5 認知症の相談窓口

### (1) 認知症の症状がある人の有無

○認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいると回答した人（「はい」と回答した人）は8.9%、いないと回答した人（「いいえ」と回答した人）は88.9%であった。

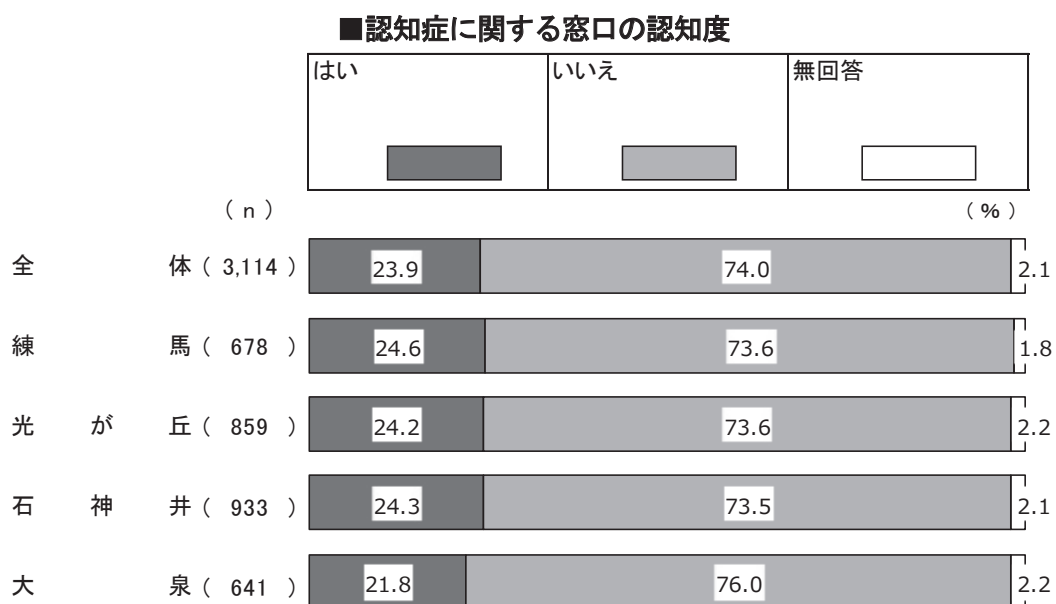
○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



### (2) 認知症に関する窓口の認知度

○認知症に関する相談窓口を知っている人（「はい」と回答した人）は23.9%、知らない人（「いいえ」と回答した人）は74.0%であった。

○いずれの圏域でも全体と同様の傾向であった。



Ⅲ

## 在宅介護実態調査



## Ⅲ-1. 調査概要

### 1 調査の目的

「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点から、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とし、以下の調査を実施した。

調査種別	調査の目的
A票	対象者の世帯類型、介護の頻度、介護のための離職の有無、施設等への入所・入居の検討状況等を把握する。
オプション項目	現在受けているサービス、3年後に希望するサービスを把握する。
B票	主な介護者の勤務形態、働き方の調整の状況、就労継続の可否に係る意識、在宅生活の継続に向けて不安を感じる介護等を把握する。

調査項目は『在宅介護実態調査』として国が示した内容に加え、区で独自にオプション項目を追加した。

### 2 調査方法

介護保険認定調査実施時に、介護保険認定調査員等が、調査対象者や調査に立ち会っている家族などに、聞き取り調査を行った。

### 3 調査対象

区内で在宅生活をしている、要支援・要介護認定の更新申請に伴う認定調査対象者とその家族で、「在宅介護実態調査」へのご協力の了解を得られた方。

### 4 調査期間

令和元年5月10日～令和元年11月28日

### 5 回収状況

対象者数	有効回答数（率）
600	600（100%）

### 6 報告書を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 報告書作成にあたり「厚生労働省老健局介護保険計画課 在宅介護実態調査集計分析ソフト 2018版」を用いてデータ集計・分析を行った。
- サービスの利用回数・組み合わせ等に着目した集計・分析に係る用語の定義は以下のとおりである。

＜サービスの利用の分析に用いた用語の定義＞

用語	定義	
未利用	・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、「未利用」として集計している。	
訪問系	・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計している。	
通所系	・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計している。	
短期系	・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計している。	
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計している。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計している。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計している。

＜サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義＞

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計している。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計している。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計している。

＜障害高齢者の日常生活自立度＞

用語	説明
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
	J 1 交通機関等を利用して外出する。
	J 2 隣近所へなら外出する。
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。
	A 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。
	A 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。
	B 1 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。
	B 2 介助により車いすに移乗する。
C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。
	C 1 自力で寝返りをうつ。
	C 2 自力では寝返りもうたない。

＜認知症高齢者の日常生活自立度＞

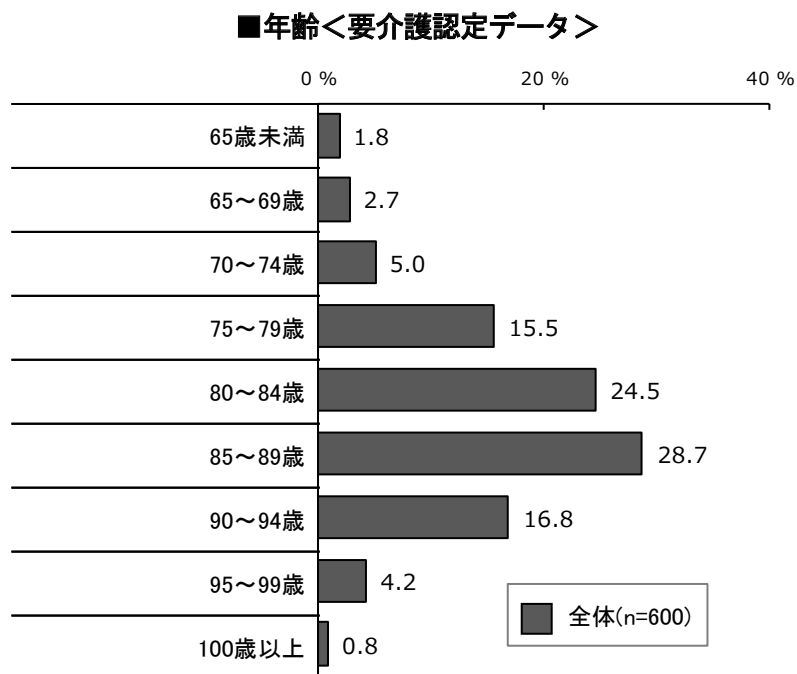
用語	説明
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
	II a 家庭外で上記IIの状態が見られる。
	II b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
	III a 日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
	III b 夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

## Ⅲ-2. 調査結果の詳細

### 1 本人の基本属性

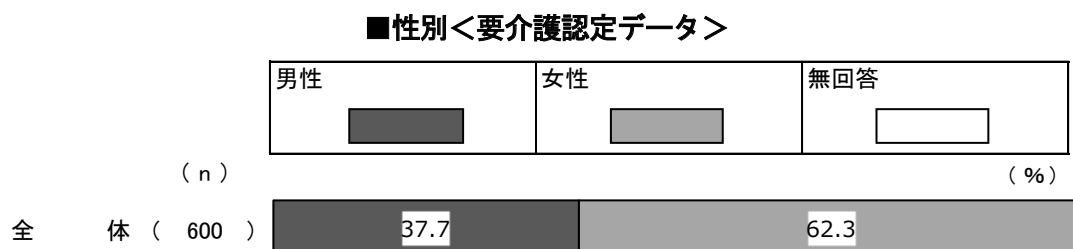
#### (1) 年齢

○調査対象者は、75歳以上の後期高齢者が90.5%、「65歳未満」が1.8%となっている。



#### (2) 性別

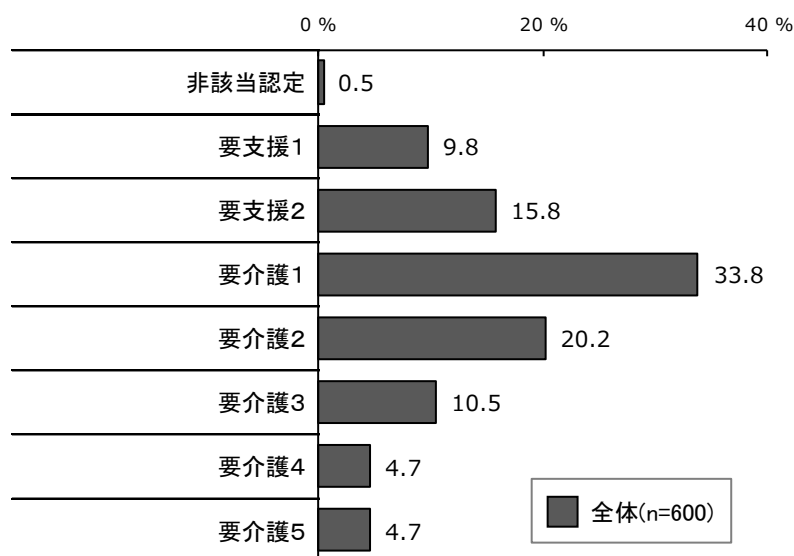
○「男性」が37.7%、「女性」が62.3%となっている。



### (3) 二次判定結果（要介護度）

○「要介護1」が33.8%、「要介護2」が20.2%となっている。「要支援1」と「要支援2」は合わせて25.7%、要介護3以上は19.8%となっている。

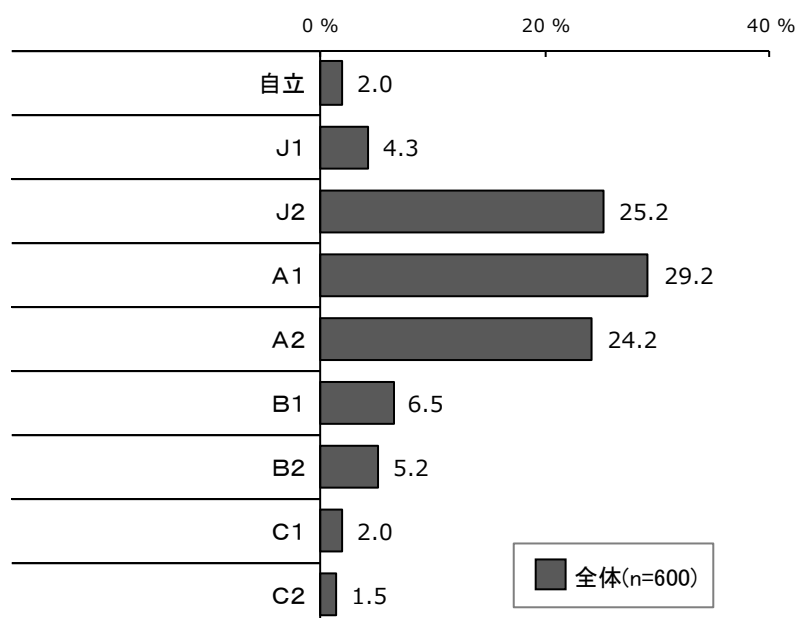
■二次判定結果（要介護度）＜要介護認定データ＞



### (4) 障害高齢者の日常生活自立度

○「A1」が29.2%、「J2」が25.2%、「A2」が24.2%となっている。BおよびCランクの合計は15.2%となっている。

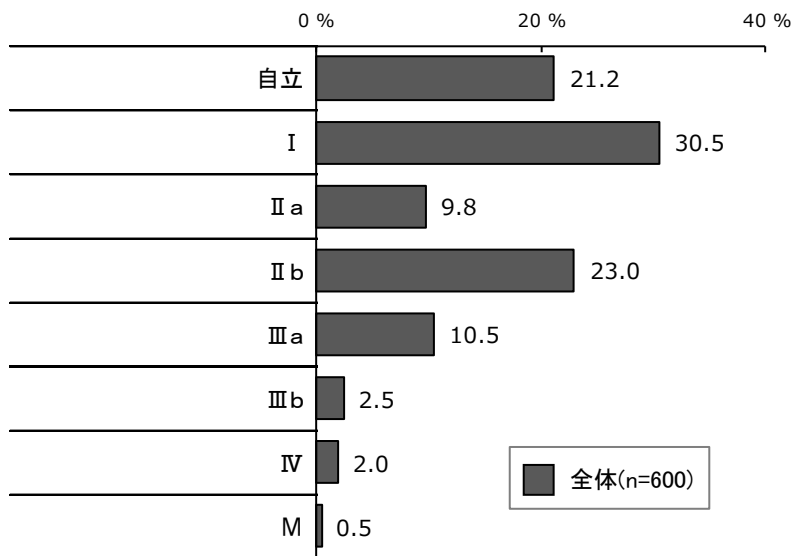
■障害高齢者の日常生活自立度＜要介護認定データ＞



### (5) 認知症高齢者の日常生活自立度

○「I」が30.5%と最も高く、「II b」が23.0%、「自立」が21.2%と続いている。また、認知症Ⅲ以上は、15.5%となっている。

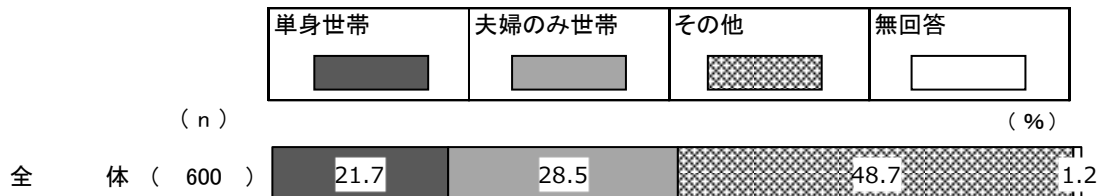
■認知症高齢者の日常生活自立度<要介護認定データ>



### (6) 世帯類型

○「単身世帯」が21.7%、「夫婦のみ世帯」が28.5%、「その他」が48.7%となっている。

■世帯類型



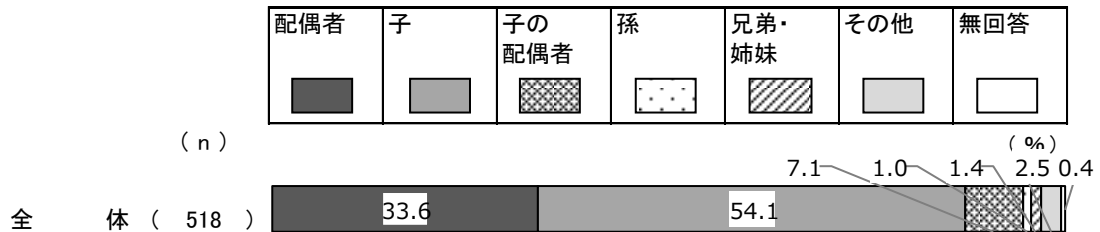


## 2 主な介護者の基本属性

### (1) 主な介護者の本人との続柄

○「子」が最も高く 54.1%、次いで「配偶者」が 33.6%となっている。

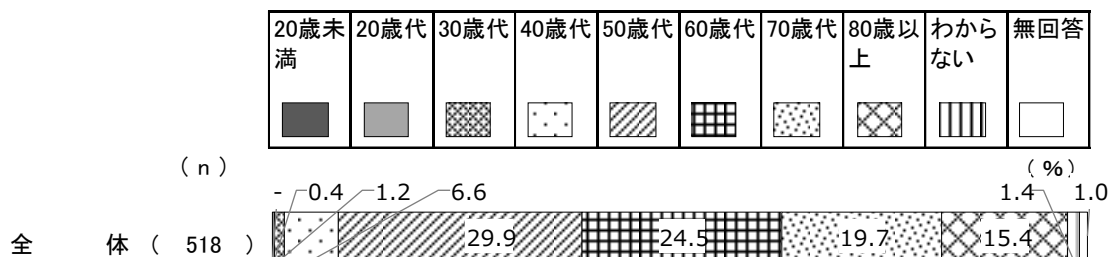
■主な介護者の本人との続柄



### (2) 主な介護者の年齢

○「50 歳代」と「60 歳代」を合わせると 54.4%で半数以上を占めている。70 歳代以上は 35.1%となっている。

■主な介護者の年齢



○本人の年齢が『70 歳代』では主な介護者は「70 歳代」が最も高く 40.8%、本人の年齢が『80 歳代』では「50 歳代」が最も高く 42.7%、本人の年齢が『90 歳以上』では「60 歳代」が最も高く 51.3%となっている。

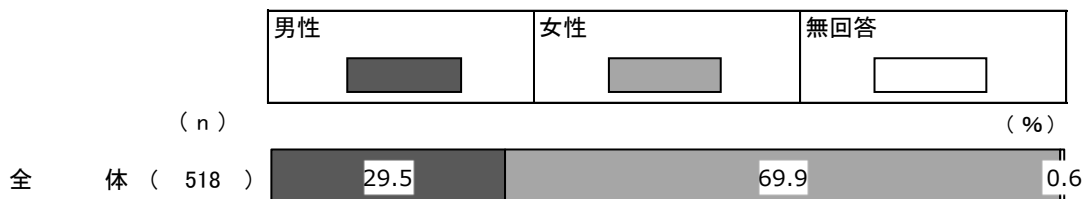
■主な介護者の年齢<本人の年齢別>

	n	本人の年齢別 (%)					
		40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
65歳未満	9	-	-	55.6	33.3	11.1	-
65~69歳	13	-	-	7.7	61.5	30.8	-
70歳代	98	5.1	17.3	17.3	9.2	40.8	10.2
80歳代	267	0.7	6.0	42.7	17.2	13.5	19.9
90歳以上	119	0.8	0.8	15.1	51.3	17.6	14.3

### (3) 主な介護者の性別

○「女性」が69.9%で、「男性」(29.5%)と比べて高くなっている。

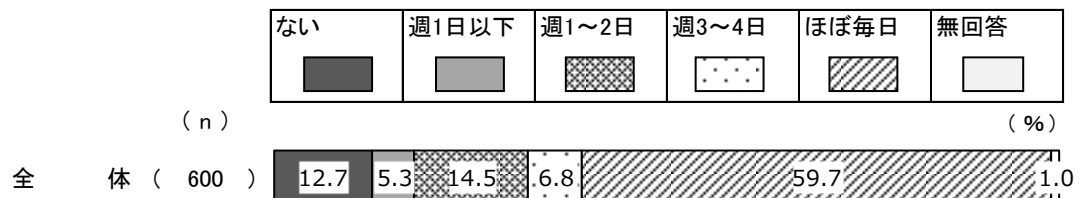
■主な介護者の性別



### (4) 主な介護者による介護の頻度

○「ほぼ毎日」が最も高く59.7%、次いで「週1～2日」が14.5%となっている。一方、「ない」と回答した割合は12.7%となっている。

■主な介護者による介護の頻度



○『単身世帯』では、家族による介護の頻度が「週1～2日」が33.8%、「ほぼ毎日」が24.6%となっている。

○『夫婦のみ世帯』『その他』世帯では、家族による介護の頻度が「ほぼ毎日」が最も高く、それぞれ56.0%、79.6%となっている。

■主な介護者による介護の頻度<世帯類型別>

	n	頻度 (%)				
		ない	週1日以下	週1～2日	週3～4日	ほぼ毎日
単身世帯	130	16.9	13.1	33.8	11.5	24.6
夫婦のみ世帯	168	14.3	4.8	15.5	9.5	56.0
その他	289	10.0	2.4	4.5	3.5	79.6

- 単身世帯をみると、『要支援1・2』から『要介護1・2』、『要介護3以上』と要介護度の重度化に伴い「ない」の割合が低くなっている。
- 夫婦のみ世帯をみると、『要支援1・2』から『要介護1・2』、『要介護3以上』と要介護度の重度化に伴い「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。
- その他世帯をみると、『要支援1・2』から『要介護1・2』、『要介護3以上』と要介護度の重度化に伴い「ない」の割合が低くなり、「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

**■世帯類型ごとの主な介護者による介護の頻度<要介護度別>**

**—単身世帯—**

(%)

	n	ない	週 1 日 以下	週 1 日 以下 2 日	週 3 日 以下 4 日	ほ ぼ 毎 日
要支援1・2	34	38.2	11.8	29.4	5.9	14.7
要介護1・2	84	9.5	14.3	36.9	13.1	26.2
要介護3以上	12	8.3	8.3	25.0	16.7	41.7

**—夫婦のみ世帯—**

(%)

	n	ない	週 1 日 以下	週 1 日 以下 2 日	週 3 日 以下 4 日	ほ ぼ 毎 日
要支援1・2	48	18.8	6.3	25.0	10.4	39.6
要介護1・2	85	11.8	4.7	14.1	7.1	62.4
要介護3以上	33	12.1	3.0	6.1	12.1	66.7

**—その他世帯—**

(%)

	n	ない	週 1 日 以下	週 1 日 以下 2 日	週 3 日 以下 4 日	ほ ぼ 毎 日
要支援1・2	67	23.9	1.5	10.4	7.5	56.7
要介護1・2	148	7.4	2.7	2.0	2.7	85.1
要介護3以上	73	2.7	2.7	4.1	1.4	89.0

- 『働いていない』では「ほぼ毎日」が74.3%と、『フルタイム勤務』（60.3%）と比べて高くなっている。

**■主な介護者による介護の頻度<勤務形態別>**

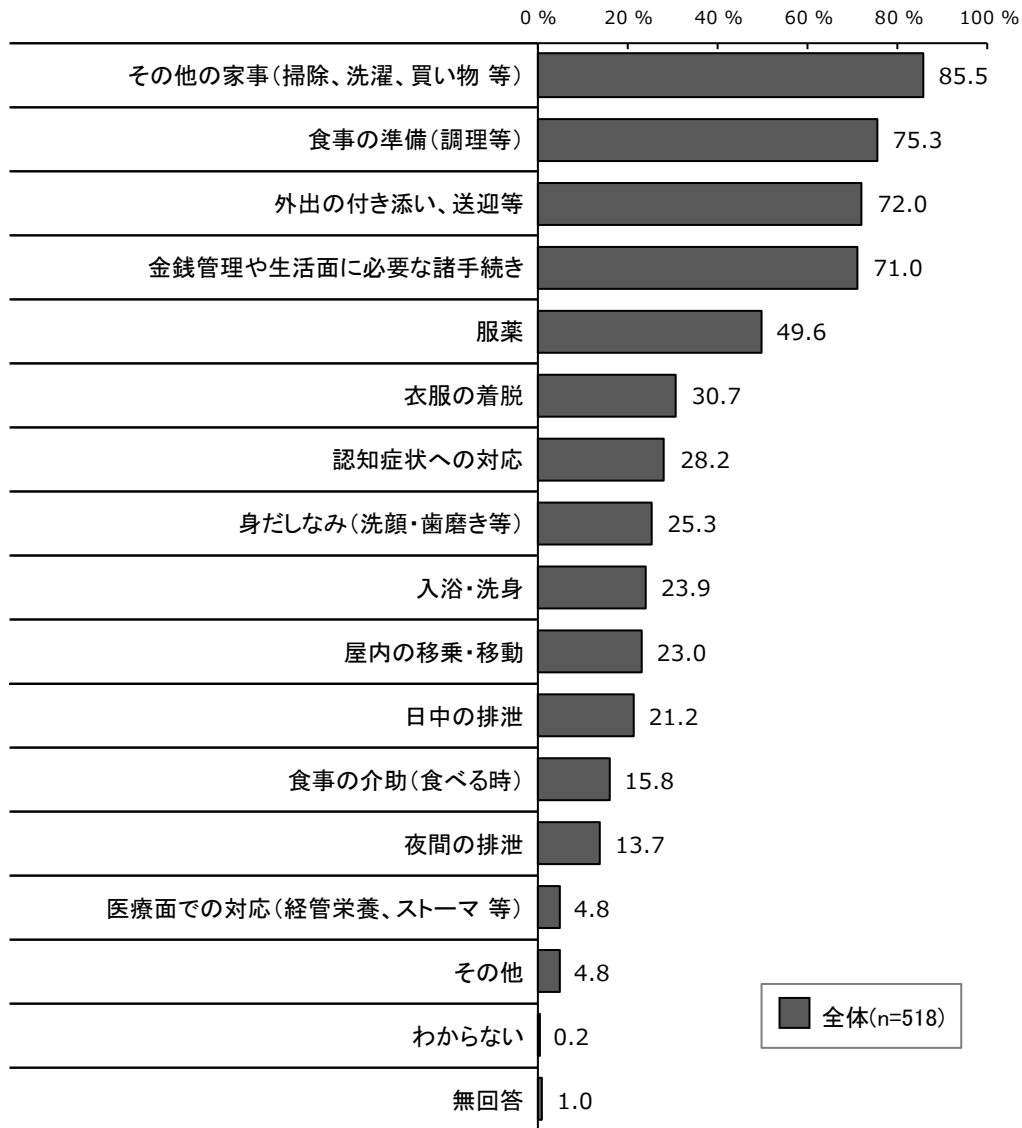
(%)

	n	ない	週 1 日 以下	週 1 日 以下 2 日	週 3 日 以下 4 日	ほ ぼ 毎 日
フルタイム勤務	121	-	7.4	23.1	9.1	60.3
パートタイム勤務	115	-	7.8	18.3	7.8	66.1
働いていない	261	-	4.2	13.8	7.7	74.3

## (5) 主な介護者が行っている介護等

○主な介護者の7割以上が、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「食事の準備（調理等）」  
「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を行っている。

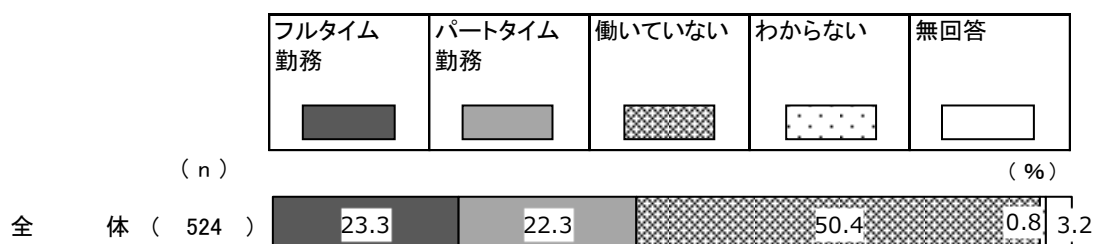
■主な介護者が行っている介護等（複数回答）



## (6) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の約半数は働いており、「フルタイム勤務」は23.3%、「パートタイム勤務」は22.3%となっている。

### ■主な介護者の勤務形態（単数回答）



○主な介護者の勤務形態が『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』『働いていない』ともに「要介護1」が最も高く、それぞれ37.7%、40.2%、34.7%となっている。

### ■二次判定結果＜要介護認定データ：勤務形態別＞

	n	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
フルタイム勤務	122	23.0	37.7	23.8	6.6	6.6	2.5
パートタイム勤務	117	19.7	40.2	17.1	14.5	4.3	4.3
働いていない	262	22.1	34.7	21.0	10.7	5.3	6.1

○主な介護者の勤務形態が『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』『働いていない』ともに障害高齢者の日常生活自立度「A」が最も高く、それぞれ59.0%、56.4%、55.3%となっている。

### ■障害高齢者の日常生活自立度＜勤務形態別＞

	n	自立	J	A	B	C
フルタイム勤務	122	2.5	27.0	59.0	11.5	-
パートタイム勤務	117	1.7	27.4	56.4	8.5	6.0
働いていない	264	1.5	23.5	55.3	14.8	4.9

○主な介護者の勤務形態が『フルタイム勤務』『働いていない』では、認知症高齢者の日常生活自立度「自立+I」が最も高く、それぞれ53.3%、54.5%となっている。

### ■認知症高齢者の日常生活自立度＜勤務形態別＞

	n	自立+I	II	III以上
フルタイム勤務	122	53.3	29.5	17.2
パートタイム勤務	117	37.6	47.9	14.5
働いていない	264	54.5	30.7	14.8

- 主な介護者の勤務形態が『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』では、「その他」の世帯が最も高く、それぞれ54.2%、58.1%となっている。
- 『働いていない』では「その他」の世帯と「夫婦のみ世帯」が高い。

■世帯類型<勤務形態別>

		(%)		
	n	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他
フルタイム勤務	118	30.5	15.3	54.2
パートタイム勤務	117	18.8	23.1	58.1
働いていない	263	16.7	36.5	46.8

- 主な介護者の年齢について、『フルタイム勤務』では「50歳代」が最も高く54.2%と半数以上を占めている。
- 『パートタイム勤務』では「50歳代」が41.1%、「60歳代」が33.0%で7割半ばを占めている。

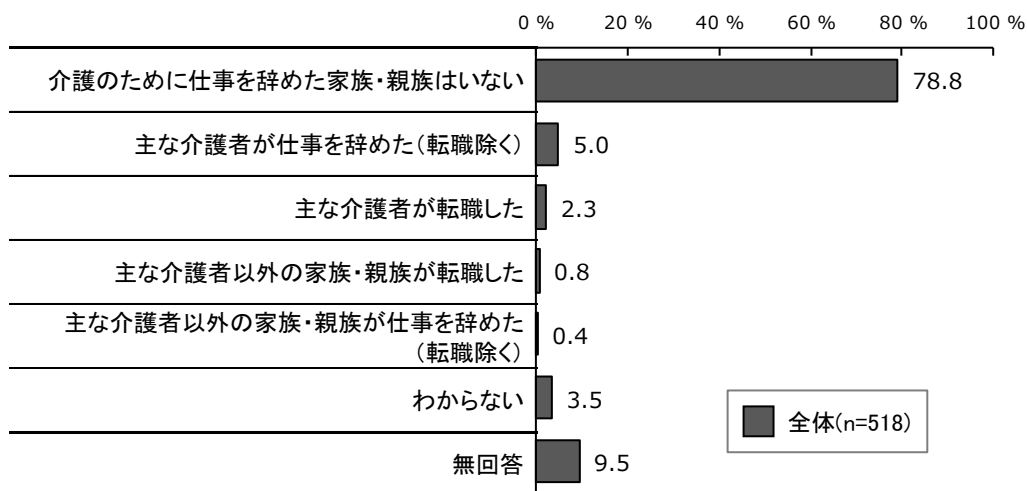
■主な介護者の年齢<勤務形態別>

		(%)					
	n	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
フルタイム勤務	118	3.4	16.9	54.2	19.5	4.2	1.7
パートタイム勤務	112	0.9	8.9	41.1	33.0	11.6	4.5
働いていない	257	1.2	1.6	16.7	23.3	30.7	26.5

(7) 介護のための離職の有無

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が78.8%で最も高い。

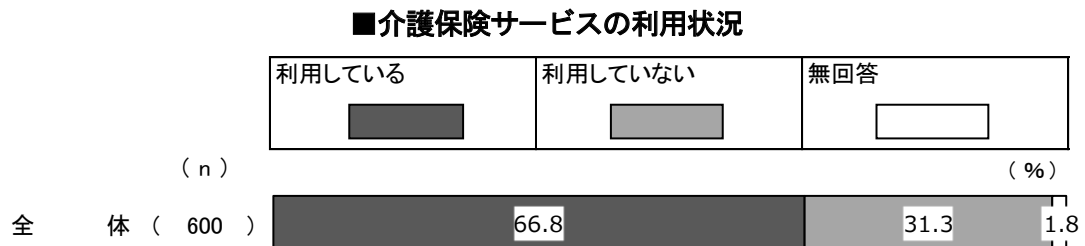
■介護のための離職の有無（複数回答）



### 3 サービスの利用状況

#### (1) 介護保険サービスの利用状況

○介護保険サービスを「利用している」が66.8%、「利用していない」が31.3%となっている。



○要介護度の重度化に伴い、介護保険サービスを「利用している」割合が高くなっている（「要支援1・2」は48.3%、「要介護1・2」は71.6%、「要介護3以上」は84.7%）。

#### ■介護保険サービスの利用状況<要介護度別>

(%)

	n	利用 して いる	利用 して い ない
要支援1・2	151	48.3	51.7
要介護1・2	317	71.6	28.4
要介護3以上	118	84.7	15.3

○世帯状況では、介護保険サービスの利用状況に差はみられない。

#### ■介護保険サービスの利用状況<世帯類型別>

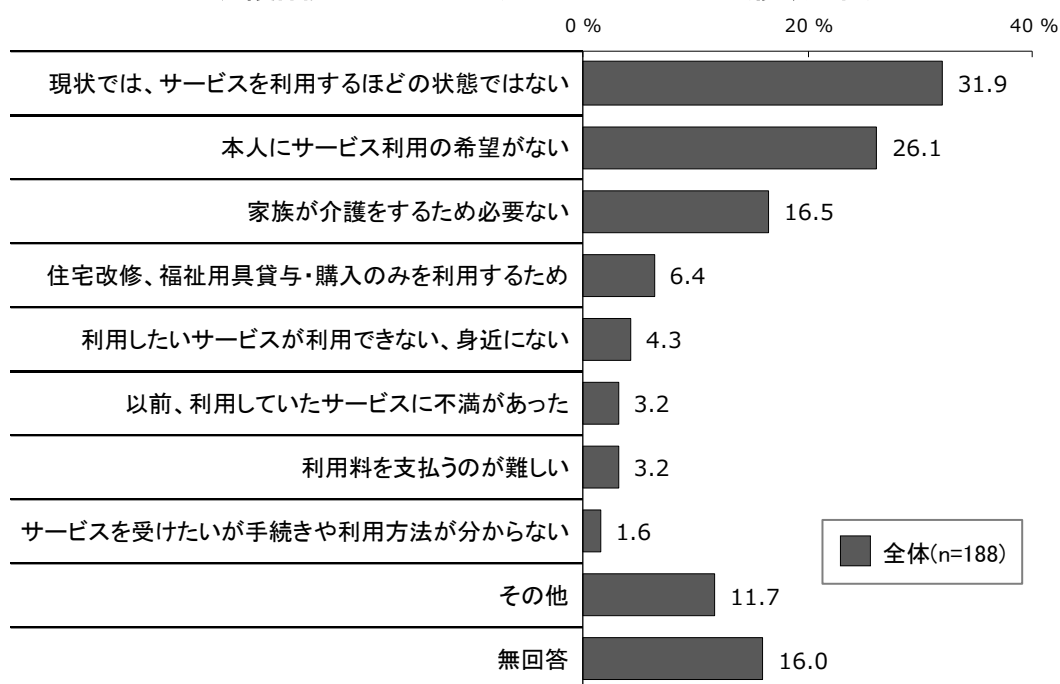
(%)

	n	利用 して いる	利用 して い ない
単身世帯	128	74.2	25.8
夫婦のみ世帯	168	63.7	36.3
その他	287	67.6	32.4

## (2) 介護保険サービスを利用していない理由

○「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(31.9%)、「本人にサービス利用の希望がない」(26.1%)が上位に挙がっている。

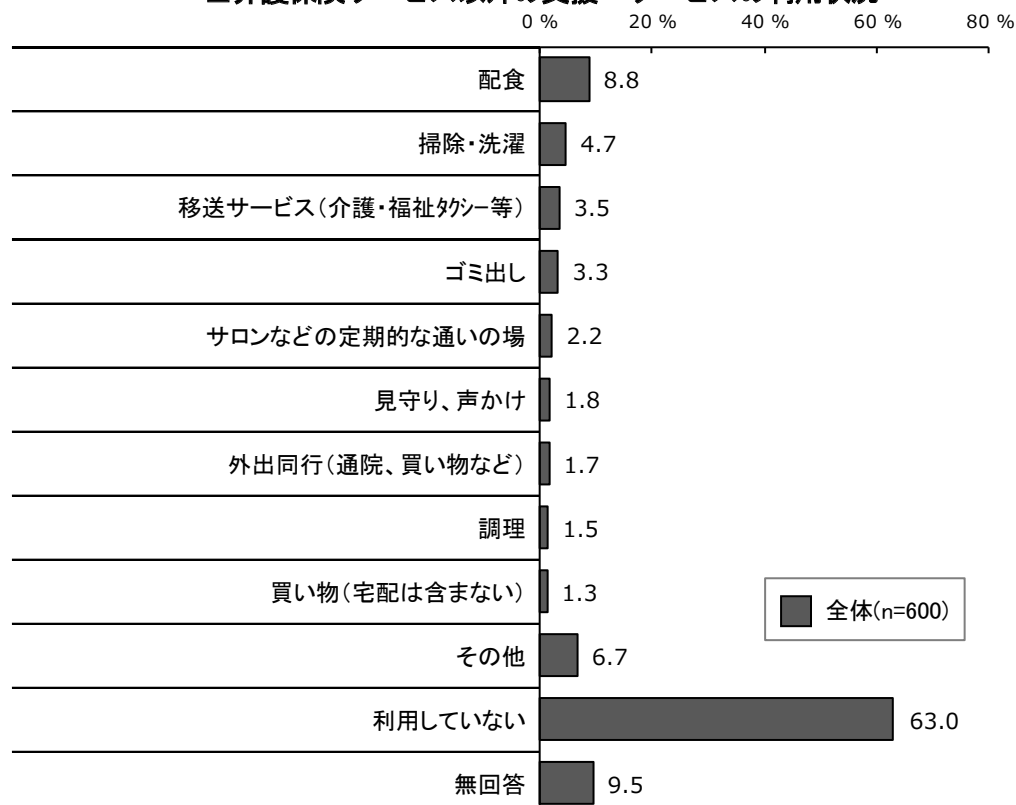
■介護保険サービスを利用していない理由(複数回答)



## (3) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況(複数回答)

○「利用していない」が63.0%と半数以上を占めている。利用している支援・サービスとしては、「配食」が8.8%、「掃除・洗濯」が4.7%となっている。

■介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況





○介護保険サービス利用状況別では、介護保険サービス以外の支援・サービスの利用に差はみられない。

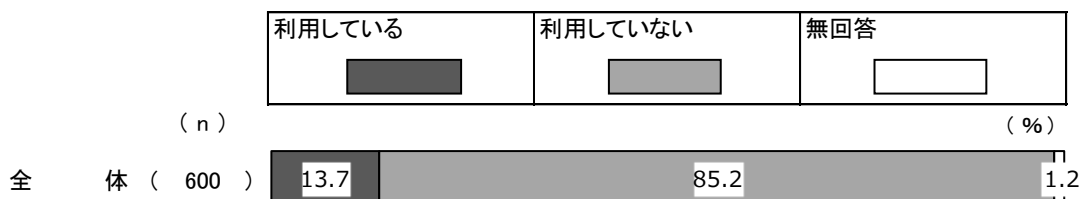
■介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（複数回答）＜介護保険サービス利用状況別＞

	n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	定期的な通いの場	サロンなどの場	その他	利用していない
介護保険サービスを利用している	361	10.2	1.7	4.7	1.9	5.3	1.4	4.4	1.9	2.5	8.6	67.3	
介護保険サービスを利用していない	174	8.6	1.7	5.7	0.6	0.6	2.3	2.9	2.3	2.3	5.2	74.7	

(4) 訪問診療の利用状況

○訪問診療を「利用している」が13.7%、「利用していない」が85.2%となっている。

■訪問診療の利用状況



○介護保険サービスの利用者は未利用者と比べて、訪問診療を「利用している」人が多い。

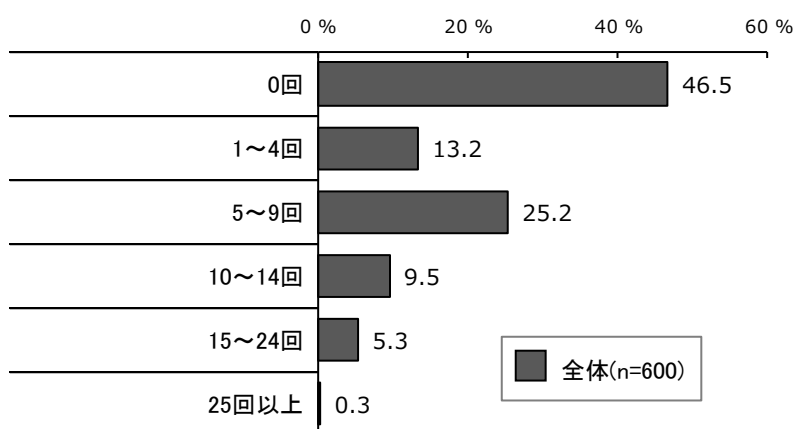
■訪問診療の利用状況＜介護保険サービス利用状況別＞

	n	利用している	利用していない
介護保険サービスを利用している	399	17.0	83.0
介護保険サービスを利用していない	185	7.6	92.4

## (5) 通所系サービスの利用回数

○「0回」が46.5%で約半数を占めている。「5～9回」が25.2%、「1～4回」が13.2%となっている。また、10回以上利用している割合は1割半ばとなっている。

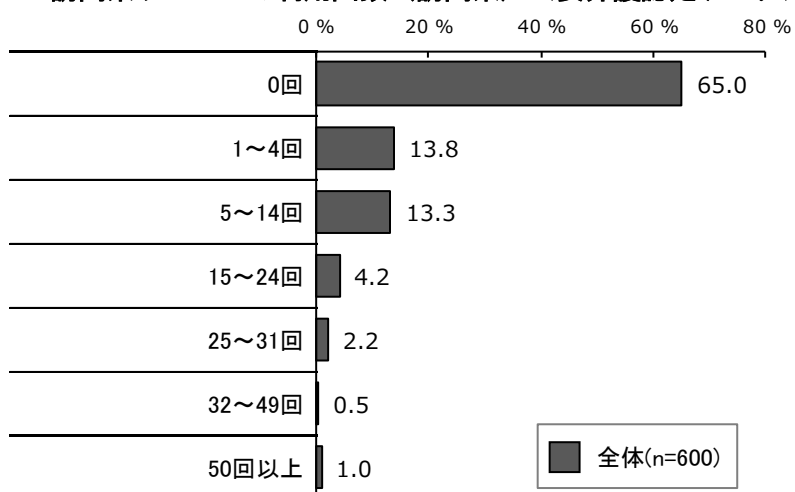
■通所系サービスの利用回数（通所系）＜要介護認定データ＞



## (6) 訪問系サービスの利用回数

○「0回」が65.0%で半数以上を占め、「1～4回」が13.8%、「5～14回」が13.3%となっている。

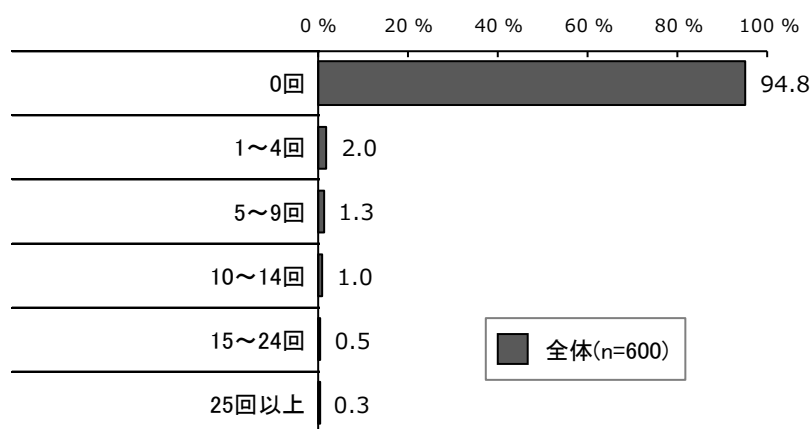
■訪問系サービスの利用回数（訪問系）＜要介護認定データ＞



## (7) 短期系サービスの利用回数

○「0回」が94.8%で最も高くなっている。

■短期系サービスの利用回数（短期系）＜要介護認定データ＞

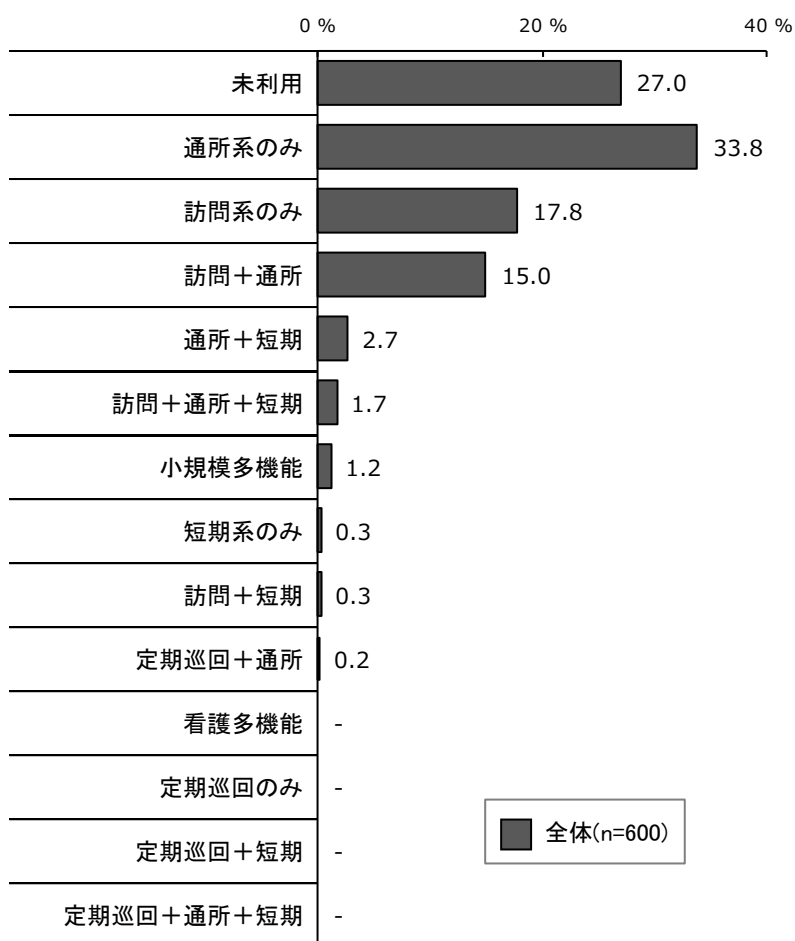


## (8) サービス利用の組み合わせ

○「通所系のみ」が33.8%、「訪問系のみ」が17.8%、「訪問+通所」が15.0%となっている。

○「未利用」は27.0%となっている。

■サービス利用の組み合わせ＜要介護認定データ＞



○要介護度の重度化に伴って「未利用」の割合が減少し、「訪問系を含む組み合わせ」の利用割合が高くなっている。

### ■サービス利用の組み合わせ<要介護度別>

(%)

	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系のみ
要支援1・2	154	46.8	16.2	7.1	29.9
要介護1・2	324	21.9	17.3	18.8	42.0
要介護3以上	119	14.3	21.0	31.9	32.8

○障害高齢者の日常生活自立度が『J』から『A』、『B』と低くなるのに伴い、「未利用」の割合が低くなり、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっている。

### ■サービス利用の組み合わせ<障害高齢者の日常生活自立度別>

(%)

	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系のみ
J	177	35.0	18.1	9.0	37.9
A	320	24.7	15.0	22.2	38.1
B	70	15.7	22.9	25.7	35.7
C	21	33.3	38.1	23.8	4.8

○認知症高齢者の日常生活自立度が低くなるのに伴い、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっている。

### ■サービス利用の組み合わせ<認知症高齢者の日常生活自立度別>

(%)

	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系のみ
自立+I	310	33.2	23.5	13.2	30.0
II	197	22.8	10.7	20.3	46.2
III以上	93	15.1	14.0	31.2	39.8

○『パートタイム勤務』『働いていない』については、「通所系・短期系のみ」が最も高く、それぞれ41.0%、40.2%となっている。

### ■サービス利用の組み合わせ<勤務形態別>

(%)

	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系のみ
フルタイム勤務	122	19.7	15.6	26.2	38.5
パートタイム勤務	117	23.9	10.3	24.8	41.0
働いていない	264	27.7	18.2	14.0	40.2

○単身世帯、夫婦のみ世帯、その他世帯ともに要介護度の重度化に伴い、サービスの「未利用」が低くなり、「訪問系を含む組み合わせ」が多くなる傾向がみられる（『要介護3以上』のサンプル数が少ないため参考値）。

■世帯類型ごとのサービス利用の組み合わせ<要介護度別>

—単身世帯—

					(%)
	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系の・み
要支援1・2	34	35.3	29.4	17.6	17.6
要介護1・2	84	11.9	23.8	35.7	28.6
要介護3以上	12	8.3	16.7	58.3	16.7

—夫婦のみ世帯—

					(%)
	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系の・み
要支援1・2	49	53.1	20.4	6.1	20.4
要介護1・2	87	31.0	14.9	14.9	39.1
要介護3以上	33	15.2	27.3	30.3	27.3

—その他世帯—

					(%)
	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系の・み
要支援1・2	69	49.3	4.3	2.9	43.5
要介護1・2	149	22.8	14.1	11.4	51.7
要介護3以上	73	15.1	19.2	28.8	37.0

○単身世帯、夫婦のみ世帯、その他世帯とも、認知症高齢者の日常生活自立度が『自立+ I』から『Ⅲ以上』と低くなるのに伴い、サービスの「未利用」の割合が低くなり、「訪問系を含む組み合わせ」が多くなる傾向がみられる（『Ⅲ以上』のサンプル数が少ないため参考値）。

■世帯類型ごとのサービス利用の組み合わせ<認知症高齢者の日常生活自立度>

—単身世帯—

					(%)
	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系の・み
自立+ I	62	24.2	33.9	22.6	19.4
Ⅱ	52	13.5	13.5	36.5	36.5
Ⅲ以上	16	6.3	25.0	62.5	6.3

—夫婦のみ世帯—

					(%)
	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系の・み
自立+ I	110	39.1	24.5	11.8	24.5
Ⅱ	43	30.2	9.3	16.3	44.2
Ⅲ以上	18	16.7	11.1	33.3	38.9

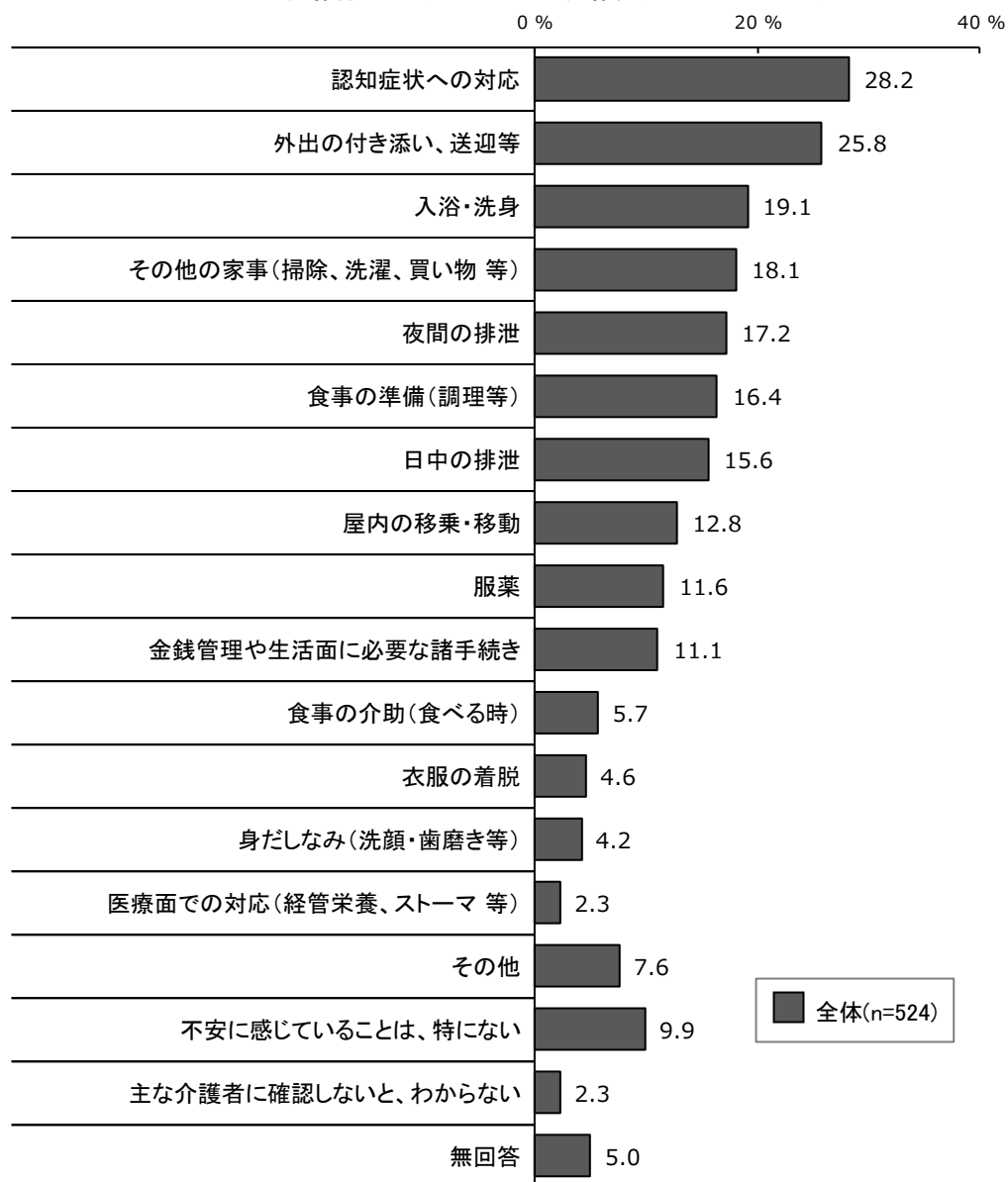
—その他世帯—

					(%)
	n	未利用	訪問系のみ	組訪問系を含む	短通所系の・み
自立+ I	135	33.3	17.0	10.4	39.3
Ⅱ	99	25.3	9.1	13.1	52.5
Ⅲ以上	58	17.2	10.3	22.4	50.0

## 4 主な介護者が不安に感じる介護

- 「認知症状への対応」(28.2%)、「外出の付き添い、送迎等」(25.8%)が上位に挙がっている。
- 「不安に感じていることは、特にない」は約1割にとどまっている。

■主な介護者が不安に感じる介護 (○は3つまで)



○『要支援1・2』では「外出の付き添い、送迎等」が最も高く34.0%、『要介護1・2』では「認知症状への対応」が最も高く35.1%、『要介護3以上』では「認知症状への対応」「日中の排泄」が最も高く、ともに30.6%となっている。

■主な介護者が不安に感じる介護（○は3つまで）＜要介護度別＞

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	医療面での対応 (経管)	食事の準備 (調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事 (掃除、 必要な諸手続き)	金銭管理や生活面に その他	不安に感じている ことは、特にな	しない、わからない 主な介護者に確認
	n																		
要支援1・2	106	6.6	11.3	3.8	17.0	-	1.9	11.3	34.0	9.4	15.1	3.8	18.9	25.5	8.5	7.5	16.0	5.7	
要介護1・2	282	14.5	19.1	4.6	23.8	4.3	3.5	14.5	28.0	14.5	35.1	1.4	18.1	20.9	13.5	6.4	8.2	1.8	
要介護3以上	108	30.6	22.2	12.0	13.0	9.3	11.1	12.0	17.6	9.3	30.6	3.7	13.9	8.3	10.2	13.0	11.1	0.9	

○障害高齢者の日常生活自立度『J』では、『A』、『B』と比べて「日中の排泄」が低く、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が高い。

■主な介護者が不安に感じる介護（○は3つまで）＜障害高齢者の日常生活自立度＞

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	医療面での対応 (経管)	食事の準備 (調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事 (掃除、 必要な諸手続き)	金銭管理や生活面に その他	不安に感じている ことは、特にな	しない、わからない 主な介護者に確認
	n																		
J	130	4.6	13.1	4.6	20.0	4.6	3.1	10.8	33.8	13.1	28.5	2.3	19.2	28.5	10.0	4.6	8.5	4.6	
A	276	18.8	19.6	5.1	19.2	2.2	5.1	12.7	26.8	11.2	32.2	1.8	18.5	18.1	12.0	8.7	10.5	2.2	
B	63	23.8	19.0	9.5	25.4	12.7	6.3	22.2	22.2	15.9	25.4	3.2	14.3	12.7	12.7	7.9	11.1	-	
C	21	33.3	28.6	9.5	19.0	9.5	9.5	14.3	9.5	9.5	4.8	-	-	-	9.5	23.8	19.0	-	

○認知症高齢者の日常生活自立度『Ⅱ』および『Ⅲ以上』では「認知症状への対応」が最も高く、それぞれ47.4%、50.0%となっている。『自立+Ⅰ』では「外出の付き添い、送迎等」が最も高く30.5%となっている。

■主な介護者が不安に感じる介護（○は3つまで）＜認知症高齢者の日常生活自立度別＞

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	医療面での対応 (経管)	食事の準備 (調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事 (掃除、 必要な諸手続き)	金銭管理や生活面に その他	不安に感じている ことは、特にな	しない、わからない 主な介護者に確認
	n																		
自立+Ⅰ	243	9.1	14.0	3.7	22.2	2.1	3.3	15.6	30.5	8.6	10.3	2.9	18.5	21.8	9.5	7.0	16.9	3.7	
Ⅱ	173	16.8	20.8	6.9	20.8	5.8	3.5	11.0	27.2	17.9	47.4	1.2	18.5	17.9	13.3	6.4	5.8	-	
Ⅲ以上	82	37.8	24.4	11.0	12.2	8.5	12.2	12.2	17.1	11.0	50.0	3.7	11.0	13.4	14.6	14.6	1.2	-	

- 『訪問系のみ』のサービス利用では、「日中の排泄」(21.7%)、「入浴・洗身」(21.7%)が上位に挙がっている。
- 『訪問系を含む組み合わせ』のサービス利用では、「日中の排泄」(32.4%)、「認知症状への対応」(27.0%)が上位に挙がっている。
- 『通所系・短期系のみ』のサービス利用では、「認知症状への対応」(47.1%)、「日中の排泄」「夜間の排泄」(ともに35.3%)、「外出の付き添い、送迎等」(32.4%)が上位に挙がっている。

■主な介護者が不安に感じる介護(○は3つまで) <サービス利用の組み合わせ別>—要介護3以上—

	n	日中の排泄	夜間の排泄	(食事の介助) (食べる時)	入浴・洗身	(身だしなみ) (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、 等)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に その他	不安に感じている こと、特にない	しない、わからない 主な介護者に確認
訪問系のみ	23	21.7	8.7	17.4	21.7	8.7	13.0	8.7	8.7	8.7	13.0	8.7	13.0	17.4	4.3	21.7	17.4	-	-	-	-
訪問系を含む組み合わせ	37	32.4	16.2	5.4	5.4	13.5	5.4	10.8	10.8	21.6	27.0	5.4	13.5	2.7	8.1	16.2	13.5	2.7	-	-	-
通所系・短期系のみ	34	35.3	35.3	17.6	14.7	5.9	11.8	17.6	32.4	-	47.1	-	14.7	11.8	14.7	5.9	-	-	-	-	-

- 『訪問系のみ』『訪問系を含む組み合わせ』『通所系・短期系のみ』のサービス利用とも、「認知症状への対応」が上位に挙がり、それぞれ33.3%、41.4%、60.0%となっている。

■主な介護者が不安に感じる介護(○は3つまで) <サービス利用の組み合わせ別>—認知症Ⅲ以上—

	n	日中の排泄	夜間の排泄	(食事の介助) (食べる時)	入浴・洗身	(身だしなみ) (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、 等)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に その他	不安に感じている こと、特にない	しない、わからない 主な介護者に確認	
訪問系のみ	12	25.0	8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	8.3	8.3	16.7	33.3	16.7	16.7	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-
訪問系を含む組み合わせ	29	41.4	20.7	3.4	13.8	13.8	6.9	13.8	13.8	10.3	41.4	3.4	6.9	13.8	10.3	20.7	-	-	-	-	-	-
通所系・短期系のみ	30	33.3	33.3	13.3	16.7	3.3	10.0	10.0	23.3	6.7	60.0	-	10.0	13.3	13.3	10.0	-	-	-	-	-	-

- 『訪問系0回』では、「認知症状への対応」(40.7%)が最も高く、『訪問系1~14回』では「日中の排泄」(37.9%)が、『訪問系15回以上』では「認知症状への対応」(24.0%)が上位に挙がっている。

■主な介護者が不安に感じる介護(○は3つまで) <サービス利用回数別>—訪問系、要介護3以上—

	n	日中の排泄	夜間の排泄	(食事の介助) (食べる時)	入浴・洗身	(身だしなみ) (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、 等)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に その他	不安に感じている こと、特にない	しない、わからない 主な介護者に確認
訪問系0回	54	33.3	29.6	16.7	13.0	7.4	13.0	14.8	24.1	3.7	40.7	-	14.8	7.4	13.0	7.4	5.6	-	-	-	-
訪問系1~14回	29	37.9	13.8	6.9	17.2	10.3	13.8	3.4	13.8	13.8	17.2	6.9	17.2	13.8	10.3	20.7	10.3	-	-	-	-
訪問系15回以上	25	16.0	16.0	8.0	8.0	12.0	4.0	16.0	8.0	16.0	24.0	8.0	8.0	4.0	4.0	16.0	24.0	4.0	-	-	-



- 『訪問系0回』『訪問系15回以上』では、「認知症状への対応」が高く、それぞれ58.7%、50.0%となっている。
- 『訪問系1～14回』では「日中の排泄」が41.7%と高くなっている。

■主な介護者が不安に感じる介護（○は3つまで）＜サービス利用回数別＞—訪問系、認知症Ⅲ以上—

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養、ストーマ (等)	医療面での対応 (経管)	食事の準備 (調理等)	洗濯、買い物 (等)	その他の家事 (掃除、 等)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に 関する	その他	不安に感じている ことは、特にな い	しない、わから ない	主な介護者に確認 できない
	n																						
訪問系0回	46	39.1	28.3	13.0	10.9	2.2	10.9	13.0	19.6	10.9	58.7	-	13.0	8.7	13.0	8.7	2.2	-	-	-	-	-	-
訪問系1～14回	24	41.7	16.7	8.3	16.7	12.5	20.8	12.5	12.5	12.5	33.3	8.3	12.5	20.8	16.7	20.8	-	-	-	-	-	-	-
訪問系15回以上	12	25.0	25.0	8.3	8.3	25.0	-	8.3	16.7	8.3	50.0	8.3	-	16.7	16.7	25.0	-	-	-	-	-	-	-

- 『通所系0回』では、「日中の排泄」(27.9%)、「認知症状への対応」(20.9%)が上位に挙がっている。
- 『通所系1～14回』『通所系15回以上』では、「認知症状への対応」(31.3%、52.9%)、「日中の排泄」(29.2%、41.2%)、「夜間の排泄」(27.1%、23.5%)が上位に挙がっている。

■主な介護者が不安に感じる介護（○は3つまで）＜サービス利用回数別＞—通所系、要介護3以上—

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養、ストーマ (等)	医療面での対応 (経管)	食事の準備 (調理等)	洗濯、買い物 (等)	その他の家事 (掃除、 等)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に 関する	その他	不安に感じている ことは、特にな い	しない、わから ない	主な介護者に確認 できない	
	n																							
通所系0回	43	27.9	16.3	14.0	18.6	7.0	14.0	9.3	9.3	4.7	20.9	4.7	14.0	9.3	7.0	16.3	18.6	-	-	-	-	-	-	-
通所系1～14回	48	29.2	27.1	10.4	10.4	10.4	6.3	14.6	25.0	12.5	31.3	4.2	12.5	6.3	12.5	8.3	8.3	2.1	-	-	-	-	-	-
通所系15回以上	17	41.2	23.5	11.8	5.9	11.8	17.6	11.8	17.6	11.8	52.9	-	17.6	11.8	11.8	17.6	-	-	-	-	-	-	-	-

- 『通所系0回』『通所系1～14回』『通所系15回以上』ともに、「認知症状への対応」が高く、それぞれ48.1%、45.0%、66.7%となっている。次いで「日中の排泄」が高く、それぞれ40.7%、37.5%、33.3%となっている。

■主な介護者が不安に感じる介護（○は3つまで）＜サービス利用回数別＞—通所系、認知症Ⅲ以上—

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養、ストーマ (等)	医療面での対応 (経管)	食事の準備 (調理等)	洗濯、買い物 (等)	その他の家事 (掃除、 等)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に 関する	その他	不安に感じている ことは、特にな い	しない、わから ない	主な介護者に確認 できない	
	n																							
通所系0回	27	40.7	14.8	18.5	3.7	7.4	18.5	14.8	11.1	14.8	48.1	7.4	18.5	11.1	18.5	14.8	3.7	-	-	-	-	-	-	-
通所系1～14回	40	37.5	32.5	7.5	20.0	10.0	7.5	15.0	20.0	7.5	45.0	2.5	5.0	15.0	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-
通所系15回以上	15	33.3	20.0	6.7	6.7	6.7	13.3	-	20.0	13.3	66.7	-	13.3	13.3	13.3	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-

○『短期系0回』『短期系1～9回』では、ともに「認知症状への対応」(28.1%、54.5%)  
「日中の排泄」(28.1%、27.3%)が上位に挙げられている。

○『短期系10回以上』では、「日中の排泄」(62.5%)、「夜間の排泄」(37.5%)が上位に挙げられている。

■主な介護者が不安を感じる介護(○は3つまで)＜サービス利用回数別＞—短期系、要介護3以上—

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、	服薬	認知症状への対応	栄養・医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に	その他	不安に感じている	こととは、特にない	しない、わからない	主な介護者に確認	
短期系0回	89	28.1	19.1	12.4	12.4	10.1	10.1	11.2	18.0	10.1	28.1	4.5	13.5	9.0	11.2	11.2	12.4	11.2	12.4	12.4	12.4	-	-	-
短期系1～9回	11	27.3	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	-	9.1	9.1	54.5	-	9.1	9.1	-	-	-	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
短期系10回以上	8	62.5	37.5	12.5	25.0	-	25.0	37.5	25.0	-	25.0	-	25.0	-	12.5	12.5	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-

○『短期系0回』では、「認知症状への対応」が46.3%、「日中の排泄」が35.8%と高くなっている。

○『短期系1～9回』では、「認知症状への対応」が80.0%、「日中の排泄」と「夜間の排泄」がともに40.0%と高くなっている。

■主な介護者が不安を感じる介護(○は3つまで)＜サービス利用回数別＞—短期系、認知症Ⅲ以上—

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、	服薬	認知症状への対応	栄養・医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に	その他	不安に感じている	こととは、特にない	しない、わからない	主な介護者に確認		
短期系0回	67	35.8	20.9	11.9	11.9	10.4	11.9	10.4	17.9	13.4	46.3	4.5	10.4	14.9	17.9	11.9	17.9	11.9	15.5	15.5	15.5	15.5	-	-	-
短期系1～9回	10	40.0	40.0	-	10.0	-	10.0	10.0	10.0	-	80.0	-	10.0	10.0	-	-	-	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
短期系10回以上	5	60.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	40.0	20.0	-	40.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

○『問題なく、続けていける』『問題はあるが、何とか続けていける』ともに、「認知症状への対応」が高く、それぞれ29.3%、44.0%となっている。

■主な介護者が不安を感じる介護(○は3つまで)＜就労継続見込み別＞  
—フルタイム勤務+パートタイム勤務—

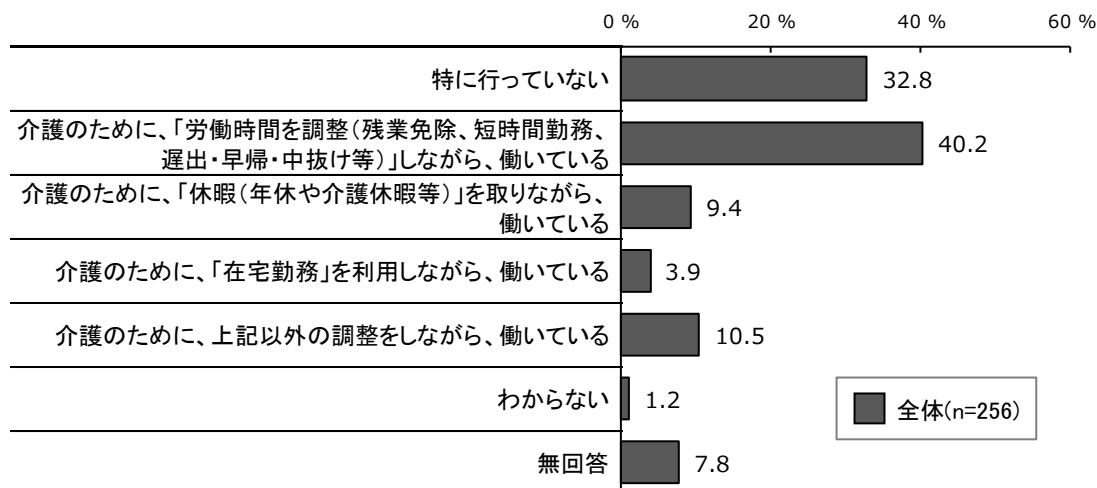
	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、	服薬	認知症状への対応	栄養・医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に	その他	不安に感じている	こととは、特にない	しない、わからない	主な介護者に確認		
問題なく、続けていける	58	10.3	10.3	5.2	19.0	-	3.4	13.8	24.1	17.2	29.3	-	17.2	6.9	19.0	3.4	19.0	3.4	20.7	20.7	20.7	20.7	-	-	-
問題はあるが、何とか続けていける	116	18.1	28.4	7.8	26.7	5.2	3.4	18.1	25.9	10.3	44.0	2.6	19.8	17.2	11.2	6.0	11.2	6.0	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
続けていくのは「難しい」	28	35.7	25.0	25.0	7.1	14.3	3.6	21.4	25.0	17.9	50.0	-	14.3	32.1	14.3	3.6	14.3	3.6	-	-	-	-	-	-	

## 5 主な介護者の働き方と就労継続見込み

### (1) 主な介護者の働き方の調整状況

- 「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が最も高く 40.2%となっている。
- 「特に行っていない」は、32.8%となっている。

■主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



- 『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』ともに、「特に行っていない」が3割以上となっている。
- 働き方の調整としては、『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』ともに、「介護のために、労働時間を調整しながら働いている」が高い。

■主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）＜勤務形態別＞

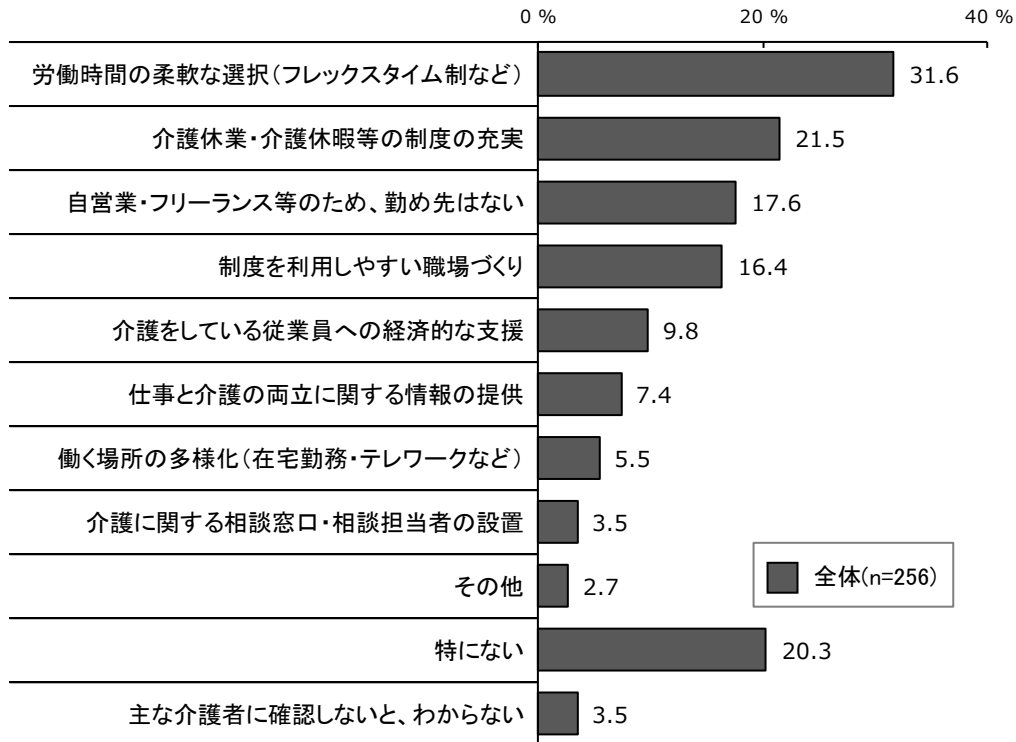
(%)

	n	特に行っていない	介護のために、労働時間を調整しながら働いている	介護のために、休暇を取りながら働いている	在宅勤務を利用しながら働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら働いている	わからない
フルタイム勤務	122	37.7	39.3	13.9	3.3	9.8	2.5
パートタイム勤務	114	33.3	48.2	6.1	5.3	13.2	-

## (2) 仕事と介護の両立に効果のある支援

- 「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が31.6%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（21.5%）となっている。
- 「特にない」は20.3%となっている。

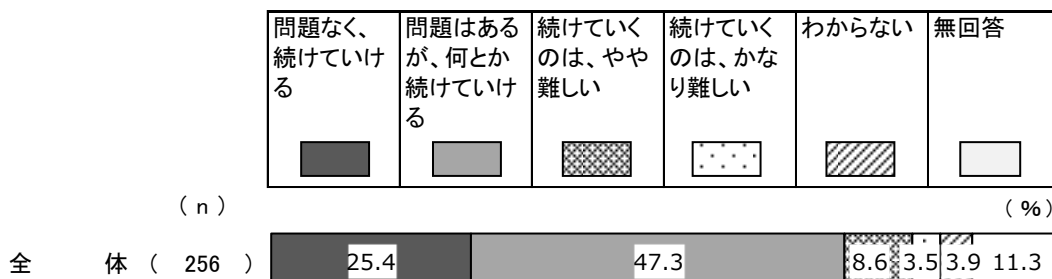
■仕事と介護の両立に効果のある支援（○は3つまで）



## (3) 主な介護者の就労継続の見込み

- 「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く47.3%となっている。
- 「問題なく、続けていける」は25.4%である一方で、働く上で何らかの問題を感じている主な介護者は約6割となっている（「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」の合計）。

■主な介護者の就労継続の見込み



- 就労継続見込みについては、『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』とも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ48.7%、58.2%となっている。
- 『フルタイム勤務』と『パートタイム勤務』の要介護度別の就労継続見込みについては、『要支援1～要介護1』『要介護2以上』ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ51.1%、56.7%となっている。
- 『フルタイム勤務』と『パートタイム勤務』の認知症高齢者の日常生活自立度別の就労継続見込みについては、『Ⅱ以上』では「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、56.2%となっている。

■主な介護者の就労継続の見込み<勤務形態別>

(%)

	n	続 問 け 題 て な い け 、 る	何 問 と 題 か は 続 あ け る が 、 い け る	や 続 け 難 し い の は 、	か 続 け 難 し い の は 、	わ か ら な い
フルタイム勤務	117	27.4	48.7	9.4	6.0	8.5
パートタイム勤務	110	30.0	58.2	10.0	1.8	-

■主な介護者（フルタイム勤務+パートタイム勤務）の就労継続の見込み<要介護度別>

(%)

	n	続 問 け 題 て な い け 、 る	何 問 と 題 か は 続 あ け る が 、 い け る	や 続 け 難 し い の は 、	か 続 け 難 し い の は 、	わ か ら な い
要支援1～要介護1	137	31.4	51.1	8.8	1.5	7.3
要介護2以上	90	24.4	56.7	11.1	7.8	-

■主な介護者（フルタイム勤務+パートタイム勤務）の就労継続の見込み<認知症高齢者の日常生活自立度別>

(%)

	n	続 問 け 題 て な い け 、 る	何 問 と 題 か は 続 あ け る が 、 い け る	や 続 け 難 し い の は 、	か 続 け 難 し い の は 、	わ か ら な い
自立+Ⅰ	106	35.8	50.0	5.7	0.9	7.5
Ⅱ以上	121	22.3	56.2	13.2	6.6	1.7

○要介護2以上の就労継続見込みについては、『訪問系利用あり』『訪問系利用なし』ともに「問題はあるが何とか続けていける」が高く、それぞれ54.8%、58.3%となっている。

**■本人が要介護2以上の主な介護者（フルタイム勤務+パートタイム勤務）の就労継続の見込み  
＜サービス利用の組み合わせ別＞**

(%)

	n	続 問 け 題 て な い く け 、 る	何 問 と 題 か は 続 あ け る て が い 、 け る	や 続 け 難 し い く の は 、	か 続 け 難 し い の は 、	わ か ら な い
訪問系利用あり	42	26.2	54.8	14.3	4.8	-
訪問系利用なし	48	22.9	58.3	8.3	10.4	-

○認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上においては、『訪問系利用あり』『訪問系利用なし』ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が高く、それぞれ53.3%、57.9%となっている。

**■本人が認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の主な介護者（フルタイム勤務+パートタイム勤務）の  
就労継続の見込み＜サービス利用の組み合わせ別＞**

(%)

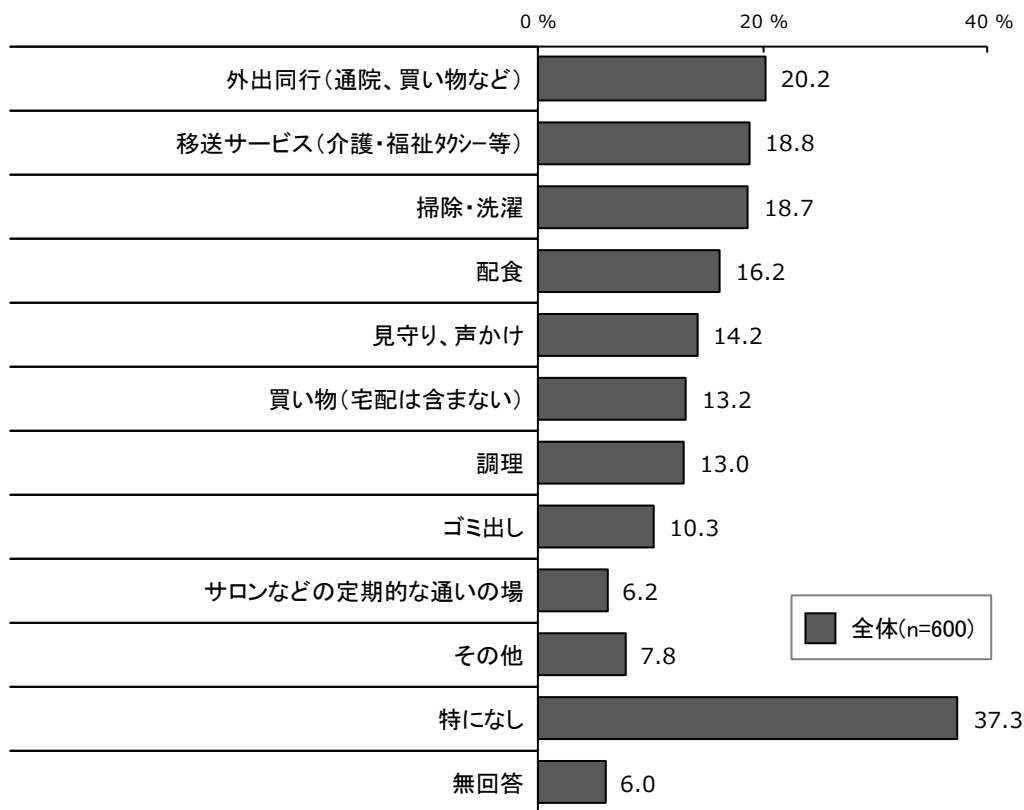
	n	続 問 け 題 て な い く け 、 る	何 問 と 題 か は 続 あ け る て が い 、 け る	や 続 け 難 し い く の は 、	か 続 け 難 し い の は 、	わ か ら な い
訪問系利用あり	45	22.2	53.3	15.6	8.9	-
訪問系利用なし	76	22.4	57.9	11.8	5.3	2.6

## 6 今後のサービス利用の意向

### (1) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

○在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスとしては、「外出同行(通院、買い物など)」(20.2%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(18.8%)、「掃除・洗濯」(18.7%)が上位に挙げられている。また、「特になし」が37.3%となっている。

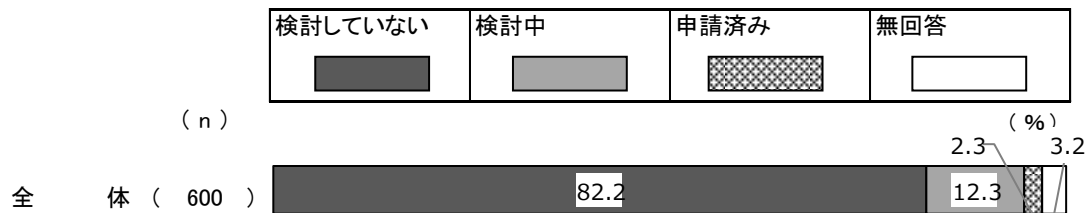
■在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(複数回答)



## (2) 施設等の検討状況

○施設等の検討状況は、「検討していない」が82.2%で最も高い。一方で、「検討中」または「申請済み」は合わせて1割半ばとなっている。

### ■施設等の検討状況



○要介護度別では、『要支援1・2』から『要介護3以上』と要介護度の重度化に伴い、施設等の入所を「検討していない」の割合が低くなり、「検討中」の割合が高くなっている。

○『要介護3以上』においても「検討していない」が67.9%と7割近くを占めている。

### ■施設等の検討状況<要介護度別>

	n	検討状況 (%)		
		検討していない	検討中	申請済み
要支援1・2	152	92.1	7.2	0.7
要介護1・2	314	87.3	11.8	1.0
要介護3以上	112	67.9	23.2	8.9

○世帯類型別では、『単身世帯』『夫婦のみ世帯』『その他』世帯ともに、施設等の入所を「検討していない」が最も高く8割を超えている。

### ■施設等の検討状況<世帯類型別>

	n	検討状況 (%)		
		検討していない	検討中	申請済み
単身世帯	127	81.1	18.1	0.8
夫婦のみ世帯	163	84.7	13.5	1.8
その他	285	87.4	9.1	3.5



○単身世帯、夫婦のみ世帯、その他世帯ともに、『要支援1・2』から『要介護1・2』、『要介護3以上』と要介護度の重度化に伴い、施設等の入所を「検討していない」の割合が低くなり、「検討中」の割合が高くなっている。

■世帯類型別の施設等の検討状況<要介護度別>

—単身世帯—

	n	検討していない	検討中	申請済み
要支援1・2	34	88.2	11.8	-
要介護1・2	81	82.7	16.0	1.2
要介護3以上	12	50.0	50.0	-

—夫婦のみ世帯—

	n	検討していない	検討中	申請済み
要支援1・2	48	87.5	10.4	2.1
要介護1・2	82	85.4	14.6	-
要介護3以上	31	77.4	16.1	6.5

—その他世帯—

	n	検討していない	検討中	申請済み
要支援1・2	68	97.1	2.9	-
要介護1・2	147	92.5	6.1	1.4
要介護3以上	69	66.7	21.7	11.6

○サービス利用の組み合わせ別では、要介護3以上をみると、施設等の入所を「検討していない」割合は、『訪問系のみ』のサービス利用者は95.8%で、『訪問系を含む組み合わせ』(62.2%)、『通所系・短期系のみ』(55.9%)と比べて高くなっている。

■本人が要介護3以上の施設等の検討状況<サービス利用の組み合わせ別>

	n	検討していない	検討中	申請済み
訪問系のみ	24	95.8	4.2	-
訪問系を含む組み合わせ	37	62.2	29.7	8.1
通所系・短期系のみ	34	55.9	26.5	17.6

■本人が要介護4以上の施設等の検討状況<サービス利用の組み合わせ別>

	n	検討していない	検討中	申請済み
訪問系のみ	14	100.0	-	-
訪問系を含む組み合わせ	16	62.5	25.0	12.5
通所系・短期系のみ	12	25.0	50.0	25.0

○認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上をみると、『訪問系のみ』『訪問系を含む組み合わせ』『通所系・短期系のみ』ともに、施設等の入所を「検討していない」が高く、それぞれ83.3%、59.3%、58.1%となっている。

○サービス利用の組み合わせ別では、「検討中」は『訪問系を含む組み合わせ』で33.3%と高く、「申請済み」は『通所系・短期系のみ』で19.4%と高くなっている。

**■本人が認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の施設等の検討状況<サービス利用の組み合わせ別>**

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
訪問系のみ	12	83.3	16.7	-
訪問系を含む組み合わせ	27	59.3	33.3	7.4
通所系・短期系のみ	31	58.1	22.6	19.4

○訪問系サービスの利用回数別では、『訪問系0回』は施設等の入所を「検討中」が31.6%で、『訪問系1～14回』（10.0%）、『訪問系15回以上』（20.0%）と比べて高くなっている。

**■本人が要介護3以上の施設等の検討状況<訪問系サービス利用回数別>**

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
訪問系0回	57	56.1	31.6	12.3
訪問系1～14回	30	80.0	10.0	10.0
訪問系15回以上	25	80.0	20.0	-

○認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上をみると、『訪問系0回』『訪問系1～14回』『訪問系15回以上』ともに、施設等の入所を「検討していない」が高く、それぞれ58.0%、65.2%、81.8%となっている。

○「検討中」は『訪問系0回』が高く30.0%となっている。

**■本人が認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の施設等の検討状況<訪問系サービス利用回数別>**

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
訪問系0回	50	58.0	30.0	12.0
訪問系1～14回	23	65.2	26.1	8.7
訪問系15回以上	11	81.8	18.2	-

- 通所系サービスの利用回数別では、要介護3以上をみると、『通所系0回』では、施設等の入所を「検討中」が21.3%、「検討していない」が76.6%となっている。
- 『通所系1～14回』では、「検討中」が20.0%、「検討していない」が70.0%となっている。

**■本人が要介護3以上の施設等の検討状況<通所系サービス利用回数別>**

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
通所系 0回	47	76.6	21.3	2.1
通所系 1～14回	50	70.0	20.0	10.0
通所系 15回以上	15	33.3	40.0	26.7

- 認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上をみると、『通所系0回』では、施設等の入所を「検討中」が33.3%、「検討していない」が66.7%となっている。
- 『通所系1～14回』では、「検討中」が22.0%、「検討していない」が68.3%となっている。

**■本人が認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の施設等の検討状況<通所系サービス利用回数別>**

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
通所系 0回	30	66.7	33.3	-
通所系 1～14回	41	68.3	22.0	9.8
通所系 15回以上	13	38.5	30.8	30.8

- 短期系サービスの利用回数別では、要介護3以上をみると、『短期系0回』では、施設等の入所を「検討中」が21.5%、「検討していない」が75.3%となっている。

**■本人が要介護3以上の施設等の検討状況<短期系サービス利用回数別>**

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
短期系 0回	93	75.3	21.5	3.2
短期系 1～9回	11	45.5	27.3	27.3
短期系 10回以上	8	12.5	37.5	50.0

○認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上をみると、『短期系0回』では、「検討中」が29.0%、「検討していない」が69.6%となっている。

■本人が認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の施設等の検討状況<短期系サービス利用回数別>

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
短期系0回	69	69.6	29.0	1.4
短期系1~9回	10	50.0	20.0	30.0
短期系10回以上	5	-	20.0	80.0

○勤務形態別では、『フルタイム勤務』『パートタイム勤務』『働いていない』ともに、施設等の入所を「検討していない」が高く、それぞれ78.3%、87.6%、86.0%であった。

■施設等の検討状況<勤務形態別>

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
フルタイム勤務	120	78.3	15.0	6.7
パートタイム勤務	113	87.6	10.6	1.8
働いていない	258	86.0	12.8	1.2

○就労継続見込みについて『問題なく、続けていける』では、施設等の入所を「検討していない」が高く、86.4%となっている。

■本人が要介護2以上で主な介護者がフルタイム勤務+パートタイム勤務の施設等の検討状況<就労継続見込み別>

(%)

	n	検討していない	検討中	申請済み
問題なく、続けていける	22	86.4	4.5	9.1
問題はあるが、何とか続けていける	50	68.0	20.0	12.0
続けていくのは「難しい」	14	57.1	42.9	-

○世帯類型別では、その他の世帯をみると、認知症高齢者の日常生活自立度が低くなるのに伴い、「検討していない」の割合が低くなり（「自立+Ⅰ」は95.5%、「Ⅱ」は87.8%、「Ⅲ以上」は66.0%）、「検討中」の割合が高くなっている（「自立+Ⅰ」は3.0%、「Ⅱ」は10.2%、「Ⅲ以上」は22.6%）。

■世帯類型別の施設等の検討状況<認知症高齢者の日常生活自立度別>

—単身世帯—

		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
自立+Ⅰ	62	90.3	8.1	1.6
Ⅱ	50	74.0	26.0	-
Ⅲ以上	15	66.7	33.3	-

—夫婦のみ世帯—

		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
自立+Ⅰ	107	89.7	9.3	0.9
Ⅱ	41	82.9	17.1	-
Ⅲ以上	15	53.3	33.3	13.3

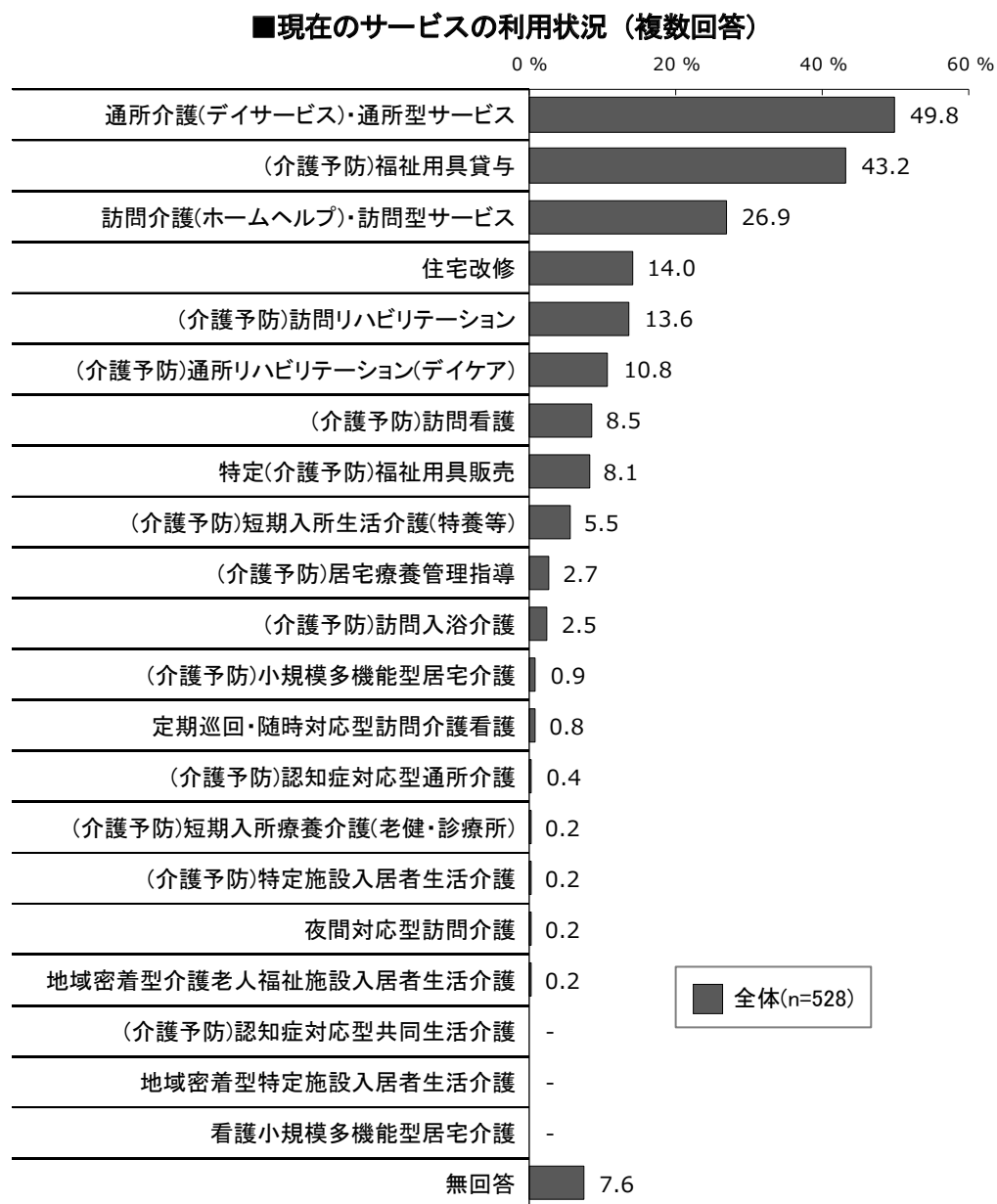
—その他の世帯—

		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
自立+Ⅰ	134	95.5	3.0	1.5
Ⅱ	98	87.8	10.2	2.0
Ⅲ以上	53	66.0	22.6	11.3

## 7 現在のサービスの利用状況と今後のサービス利用の意向

### (1) 現在のサービスの利用状況

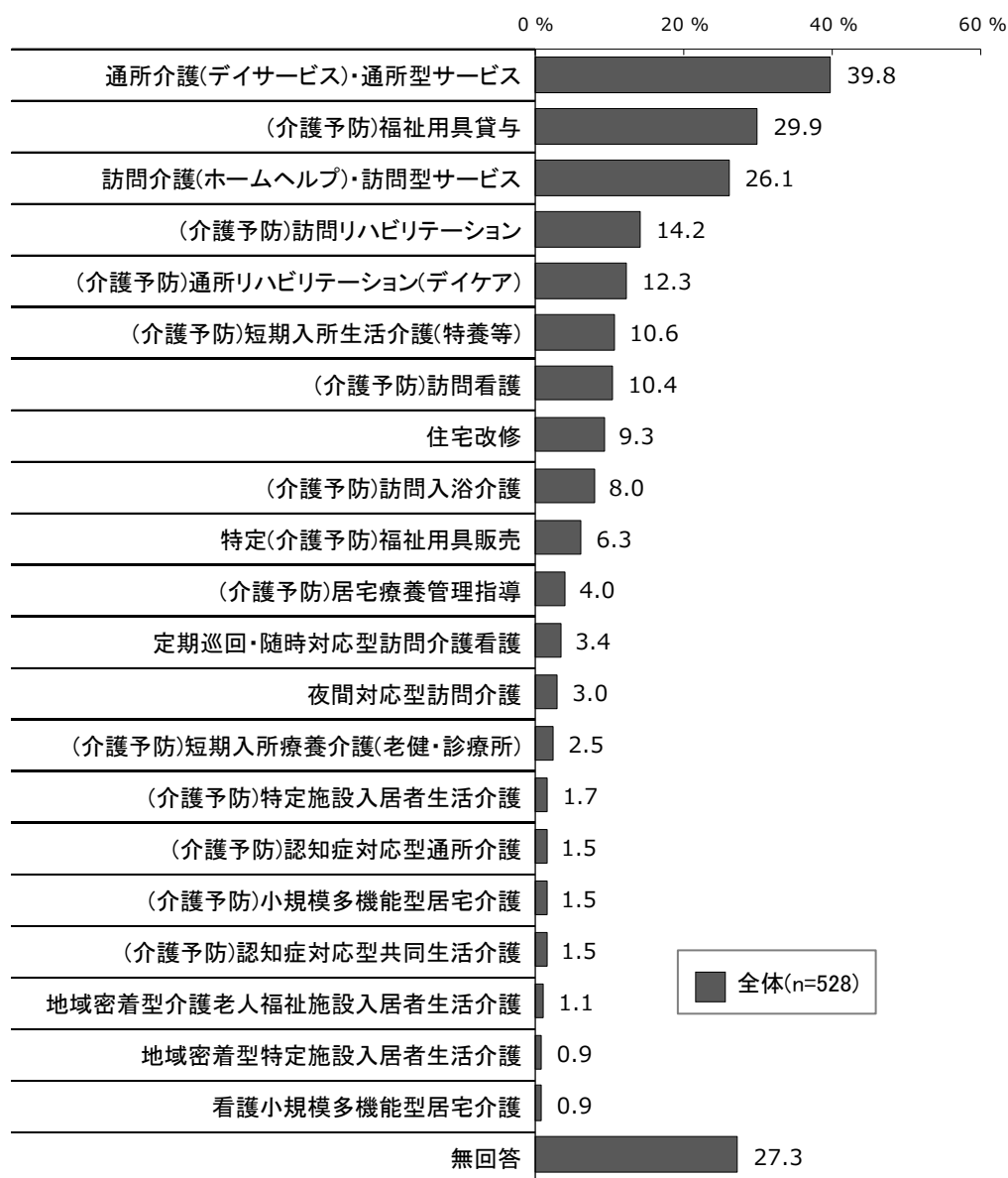
○「通所介護（デイサービス）・通所型サービス」が49.8%で最も高く、「（介護予防）福祉用具貸与」（43.2%）と続いている。



## (2) 3年後に利用したい在宅サービス

○「通所介護（デイサービス）・通所型サービス」が39.8%で最も高く、「（介護予防）福祉用具貸与」（29.9%）、「訪問介護（ホームヘルプ）・訪問型サービス」（26.1%）と続いている。

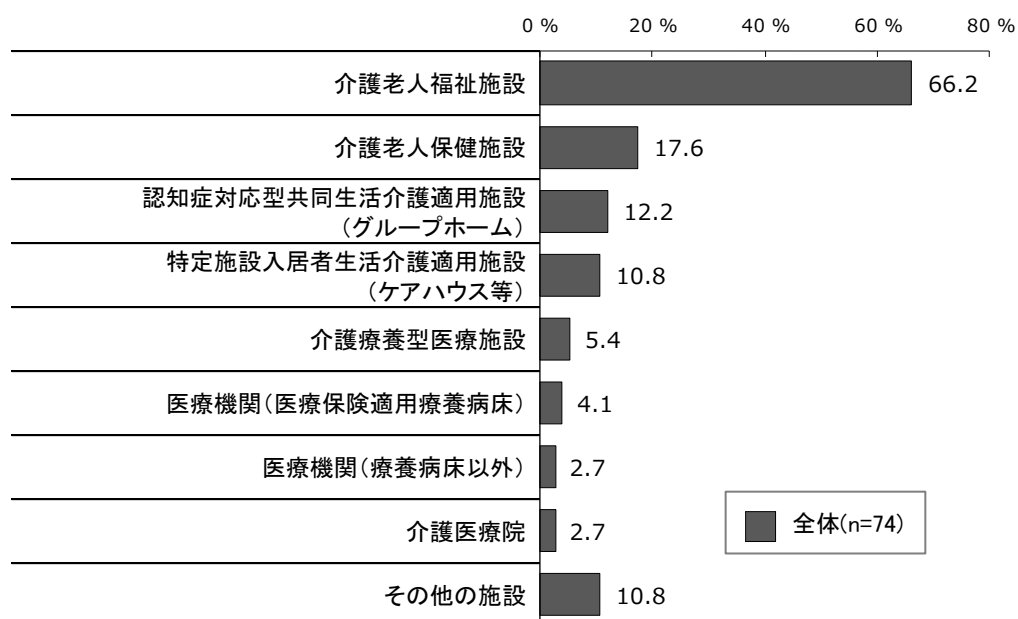
■ 3年後に利用したい在宅サービス（複数回答）



### (3) 3年後に利用したい施設サービス

○「介護老人福祉施設」が66.2%で最も高く、「介護老人保健施設」(17.6%)、「認知症対応型共同生活介護適用施設(グループホーム)」(12.2%)と続いている。

■ 3年後に利用したい施設サービス(複数回答)



※ 無回答を除いて集計





IV

施設整備調査



## IV-1. 調査概要

第8期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、区内に所在する介護保険施設等を対象に、施設の利用状況等の調査を実施した。

調査期間：令和2年1月10日～1月31日

調査時点：（利用状況） 令和元年12月

（下表1～5の施設：平成29年12月、平成30年12月の利用状況も調査）

（入退所状況）平成31年1月～令和元年12月

施設類型	施設数	回答数	回答率
1 特別養護老人ホーム	31 施設	31 施設	100.0%
2 ショートステイ	36 施設 (*1)	35 施設	97.2%
3 介護老人保健施設	14 施設	14 施設	100.0%
4 介護付き有料老人ホーム	61 施設	46 施設	75.4%
5 サービス付き高齢者向け住宅	16 施設 (*2)	13 施設	81.3%
6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6 施設	6 施設	100.0%
7 夜間対応型訪問介護	2 施設	2 施設	100.0%
8 地域密着型通所介護	113 施設	77 施設	68.1%
9 (介護予防) 認知症対応型通所介護	16 施設	16 施設	100.0%
10 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護・ 看護小規模多機能型居宅介護	19 施設	16 施設	84.2%
11 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護	34 施設	30 施設	88.2%

\*1：特別養護老人ホーム併設 31 施設、単独型 5 施設

\*2：特定施設入居者生活介護事業所 4 施設、その他 12 施設

※ 集計結果の表やグラフでの施設類型の名称は、以下の略称を使用している。

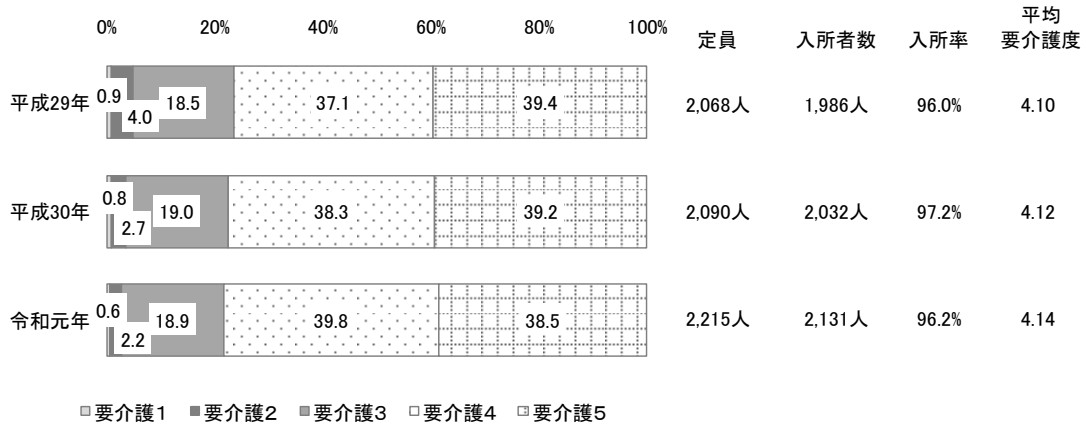
施設類型	略称
特別養護老人ホーム	特養
ショートステイ	ショート
介護老人保健施設	老健
介護付き有料老人ホーム	有料
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回
夜間対応型訪問介護	夜間対応訪問介護
地域密着型通所介護	密着通所
(介護予防) 認知症対応型通所介護	認知デイ
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	小多機
看護小規模多機能型居宅介護	看多機
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	GH

## IV-2. 調査結果の詳細

### 1 特別養護老人ホーム

#### (1) 要介護度別利用状況 (各年12月末現在)

○入所者のうち、要介護3以上の方の割合は、平成29年が95.0%、平成30年が96.5%、令和元年が97.2%となっている。



#### (2) 入所者の住所地 (令和元年12月末現在)

○入所者のうち、入所前の住所地が区内である方の割合は、96.8%となっている。

(人)

	圏域					練馬区計	22区	市	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉	無回答					
入所者	410	505	617	521	9	2,062	41	11	17	2,131
	19.2%	23.7%	29.0%	24.4%	0.4%	96.8%	1.9%	0.5%	0.8%	

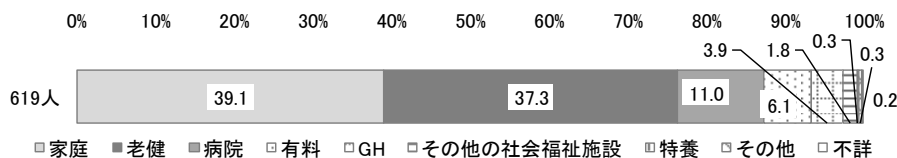
#### (3) 令和元年中の入退所状況

##### ①入退所

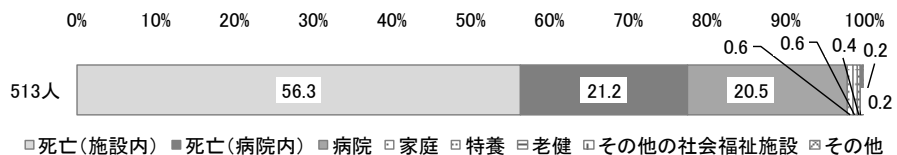
○令和元年中の入所者619人の入所前の生活場所は、「家庭」が39.1%、「老健」が37.3%、「病院」が11.0%となっている。

○退所後の行先(退所の理由)では、「死亡(施設内)」が最も高く56.3%となっており、次いで「死亡(病院内)」が21.2%となっている。

##### <入所>

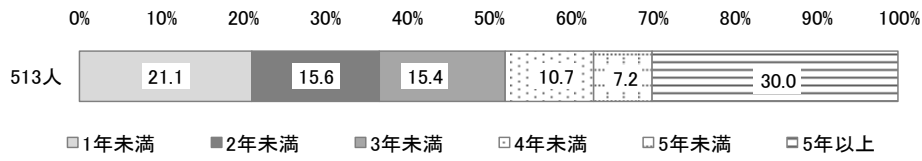


##### <退所>



## ②令和元年中の退所者の在り期間

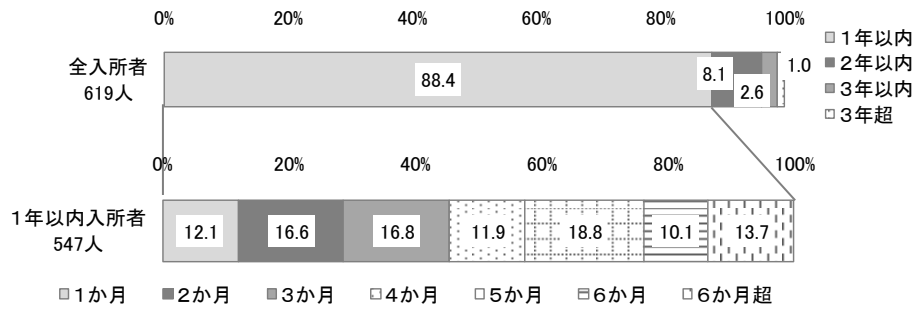
○令和元年中の退所者のうち、2割超は入所期間が1年未満となっている。



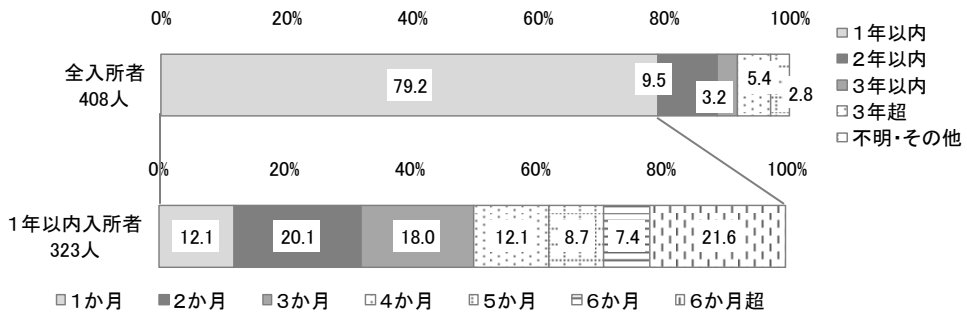
## (4) 特別養護老人ホームの直近1年間の入所者の待機期間

○令和元年中の入所者のうち、4割半ばの方が申込から約3か月以内に入所しており、1年以内に入所した方は9割近くとなっている。

【令和元年度】



【平成28年度】

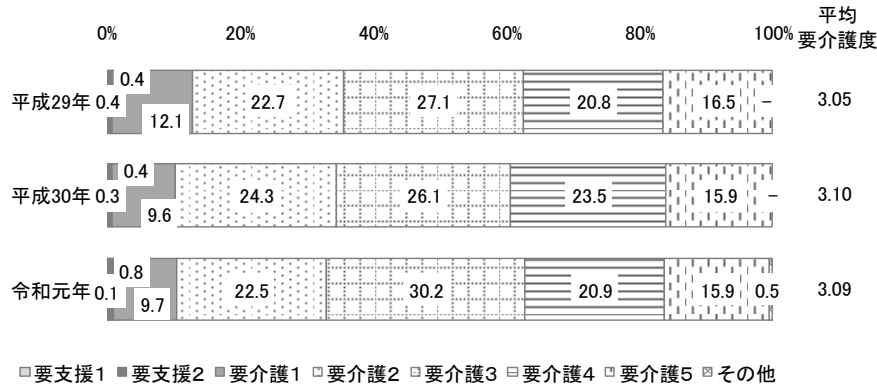


## 2 ショートステイ

### (1) 要介護度別利用状況 (各年12月実績)

#### ①利用人数

○利用者のほとんどは、要介護1から5の方であり、利用者の平均要介護度は、3.05～3.10となっている。



#### ②利用日数

○利用日数を利用者数で除した平均利用日数は、7.6～7.9日となっている。

(日)

年度	利用日数	利用者数	平均利用日数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
				平成29年12月	17	4	4.3	13	966	1,700	2,341	2,150
平成30年12月	15	3	5.0	19	629	1,931	2,417	2,338	1,294	0	8,643	
令和元年12月	3	1	3.0	21	728	1,835	2,947	2,196	1,516	100	9,346	
				9	114	265	355	246	187	6	1,183※	
				2.3	6.4	6.9	8.3	8.9	8.1	16.7	7.9	

### (2) 利用者の住所地 (令和元年12月実績)

○区民の方の利用割合は、94.1%となっている。

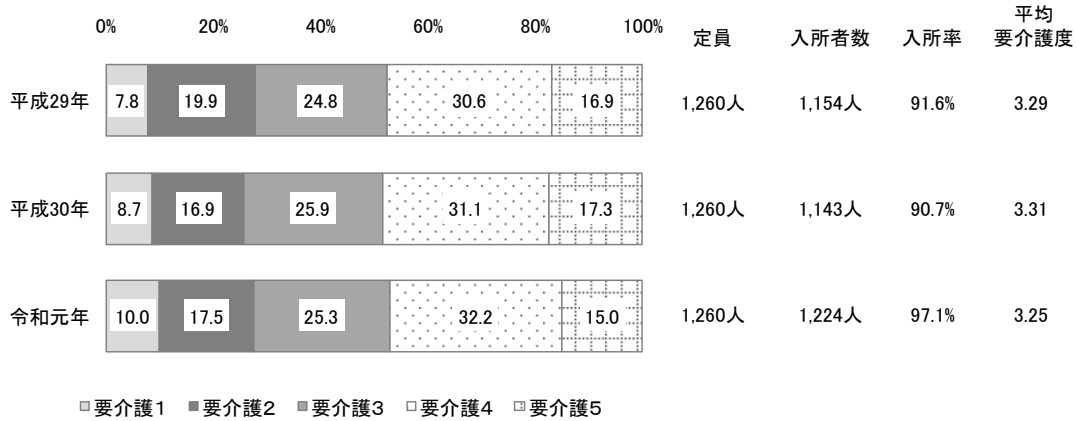
施設所在地	施設数	定員	圏域				練馬区計	都内(22区)	都内(その他)	都外・不明	計
			練馬	光が丘	石神井	大泉					
区内全域	34	336	199	238	291	318	1,046	28	25	12	1,111※
			17.9%	21.4%	26.2%	28.6%	94.1%	2.5%	2.3%	1.1%	
練馬圏域	3	18	65	7	4	0	76	2	0	1	79
			82.3%	8.9%	5.1%	0.0%	96.2%	2.5%	0.0%	1.3%	
光が丘圏域	10	106	99	213	40	19	371	17	0	2	390
			25.4%	54.6%	10.3%	4.9%	95.1%	4.4%	0.0%	0.5%	
石神井圏域	8	85	13	3	155	38	209	6	0	0	215
			6.0%	1.4%	72.1%	17.7%	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%	
大泉圏域	13	127	22	15	92	261	390	3	25	9	427
			5.2%	3.5%	21.5%	61.1%	91.3%	0.7%	5.9%	2.1%	

※ 未回答……1施設(56人)、不明(16人)

### 3 介護老人保健施設

#### (1) 要介護度別利用状況 (各年12月末現在)

- 入所者のうち、要介護3以上の方の割合は7割超となっており、平均要介護度は、3.25～3.31となっている。
- 定員に対する入所者の割合は9割以上となっている。



#### (2) 入所者の住所地 (令和元年12月末現在)

- 入所者のうち、入所前の住所地が区内である方の割合は67.7%となっている。

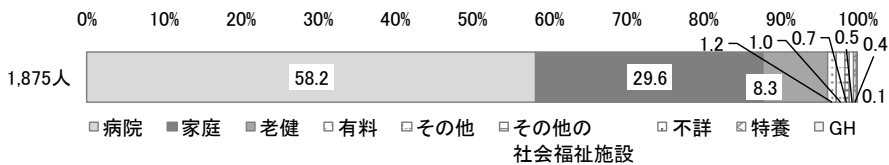
(人)

	圏域				練馬区計	都内 (22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入所者	204	260	180	185	829	253	59	83	1,224
	16.7%	21.2%	14.7%	15.1%	67.7%	20.7%	4.8%	6.8%	

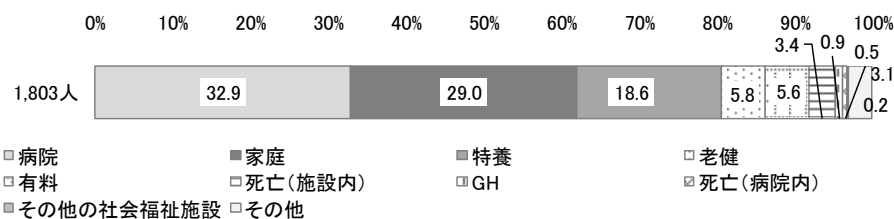
#### (3) 令和元年中の入退所状況

- 令和元年中の入所者 1,875 人の入所前の生活場所は、「病院」が 58.2%、「家庭」が 29.6%となっている。
- 退所後の行先 (退所の理由) では、「病院」が 32.9%、「家庭」が 29.0%となっており、「死亡」は施設・病院を合わせても 1割未満となっている。

##### <入所>



##### <退所>

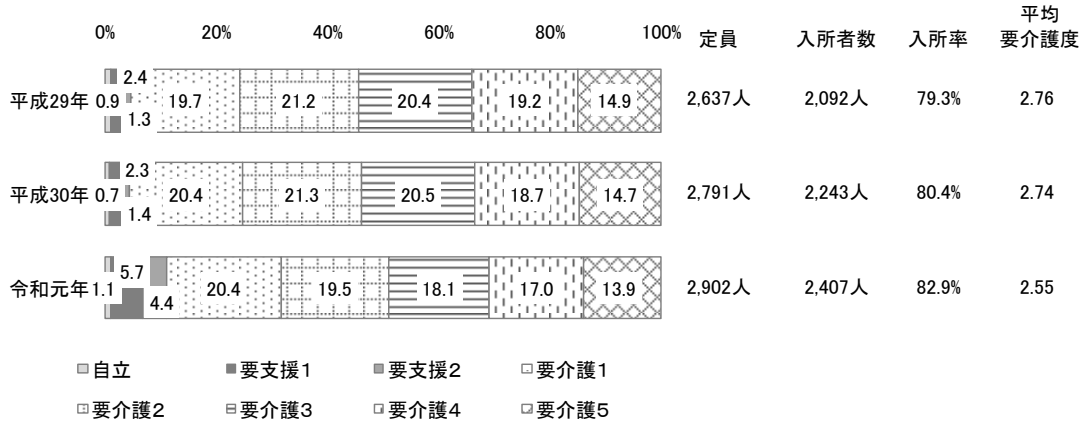




## 4 介護付き有料老人ホーム

### (1) 要介護度別利用状況 入居者数 (各年12月末現在)

○入居者のほぼすべてが要支援1～要介護5の方であり、また、要介護3以上の方の入居割合は5割前後となっている。平均要介護度は2.55～2.76となっている。



### (2) 利用可能タイプ別入居者数および平均要介護度 (各年12月末現在)

○介護専用型の平均要介護度は2.87となっている。

	施設数	定員数	入居者数	入居率	平均要介護度
計	46	2,902	2,407	82.9%	2.55
混合型(自立～要介護入所可)	19	1,100	909	82.6%	2.37
混合型(要支援・要介護入所可)	16	1,254	1,088	86.8%	2.57
介護専用型	11	548	410	74.8%	2.87

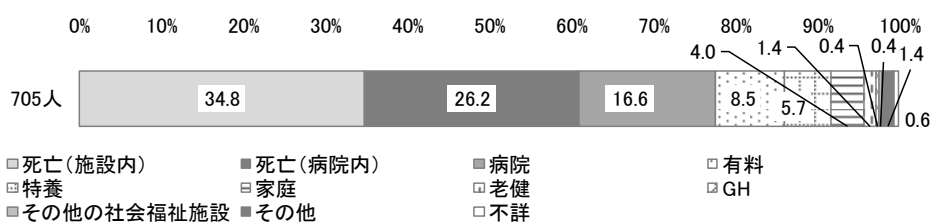
### (3) 入居者の前住所地 (各年12月末現在)

○入居者のうち、入居前の住所が区内である方の割合は約4割となっている。

	圏域					練馬区計	都内(22区)	都内(その他)	都外	不明	記入漏れ・誤記	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉	不明							
入居者	401	163	241	162	2	969	915	189	169	2	163	2,407
	16.7%	6.8%	10.0%	6.7%	0.1%	40.3%	38.0%	7.9%	7.0%	0.1%	6.8%	

### (4) 令和元年中の退所者数および行先

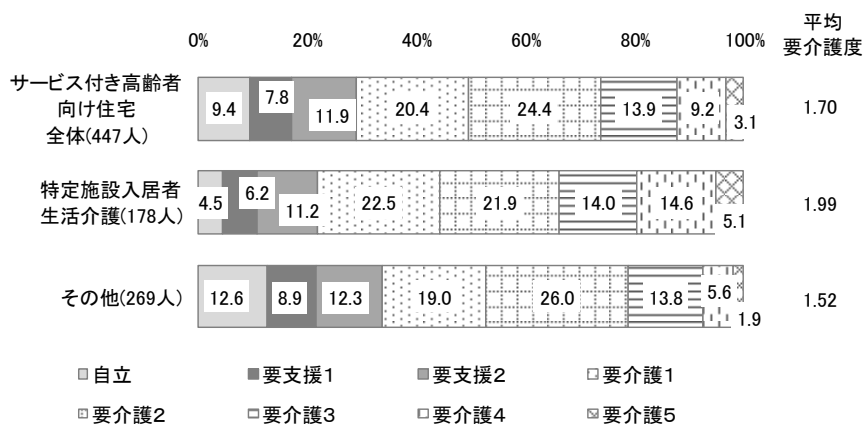
○退所後の行先(退所の理由)では、「死亡(施設内)」が最も高く34.8%となっており、次いで「死亡(病院内)」が26.2%となっている。



## 5 サービス付き高齢者向け住宅

### (1) 要介護度別利用状況（令和元年12月末現在）

○入居者の9割ほどが要支援1～要介護5の方であり、また、要介護3以上の方の入居割合は26.2%となっている。平均要介護度は1.70となっている。



### (2) 入居者の前住所地（令和元年12月末現在）

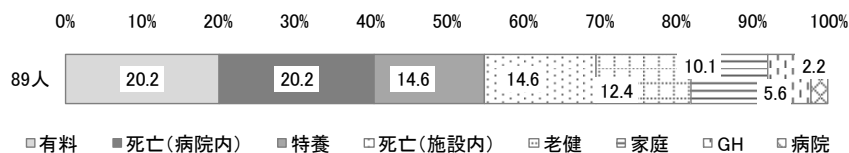
○入居者のうち、入居前の住所地が区内である方の割合は約5割となっている。

(人)

	圏域				練馬区計	都内 (22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
サービス付き高齢者向け住宅全体	65	71	40	36	212	121	51	63	447
	14.5%	15.9%	8.9%	8.1%	47.4%	27.1%	11.4%	14.1%	
特定施設入居者生活介護	31	35	7	6	79	67	29	24	199
	15.6%	17.6%	3.5%	3.0%	39.7%	33.7%	14.6%	12.1%	
その他	34	36	33	30	133	54	22	39	248
	13.7%	14.5%	13.3%	12.1%	53.6%	21.8%	8.9%	15.7%	

### (3) 令和元年中の退所者数および行先

○退所後の行先（退所の理由）では、「有料」、「死亡（病院内）」が最も高くそれぞれ20.2%となっている。



## 6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

### (1) 利用者数 (令和元年12月末時点)

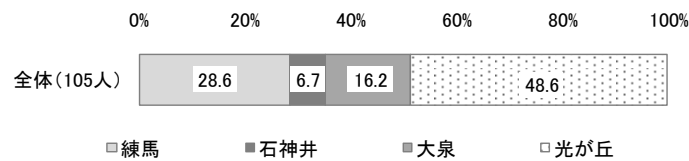
#### ① 契約者数

○契約者数は、「11～20人」が50.0%、「21～30人」が33.3%となっている。

(所)							
	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41人以上	無回答・不明	計
全体	0	3	2	0	1	0	6
	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	

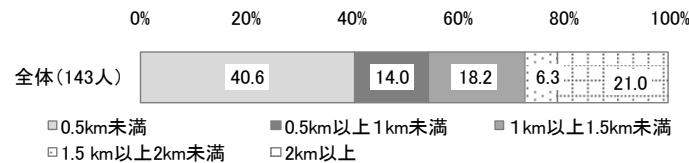
#### ② 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、光が丘圏域が48.6%と高くなっている。



#### ③ 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、練馬区全体では「0.5km未満」が40.6%、「2km以上」が21.0%となっている。



### (2) 利用者数について

○利用者数について、「適正数である」と感じている事業所が83.3%となっている。

(所)					
	適正数を上回っている	適正数を下回っている	適正数である	その他	計
全体	0	1	5	0	6
	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	

### (3) 利用待機者

○利用待機者は、「いない」が83.3%となっている。

(所)				
	いない	いる	その他	計
全体	5	1	0	6
	83.3%	16.7%	0.0%	

### (4) 看取りの実績 (年間)

○いずれの事業所でも看取りを行った実績がある。実績は、「3～4人」が50.0%となっている。

(所)							
	0人	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9人以上	計
全体	0	1	3	0	1	1	6
	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	

### (5) 地域密着型サービスの課題（複数回答）

○地域密着型サービスの課題は、「サービスの内容があまり知られていない」、「事業所の数が少ない」がそれぞれ26.7%となっている。

	サービスの内容があまり知られていない	利用者が限定される	事業所の数が多い	事業所の数が少ない	介護報酬・加算が少ない	各事業所間の連携	よくわからない	その他	計
全体	4 26.7%	1 6.7%	0 0.0%	4 26.7%	2 13.3%	3 20.0%	0 0.0%	1 6.7%	15

### (6) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、すべての事業所で「年間2回」となっている。

	0回	1回	2回	3回	4回以上	計
全体	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6

### (7) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○すべての事業所で「ケアマネジャー」、「行政職員」が参加している。

	民生委員・町会関係者	ケアマネジャー	利用者家族	行政職員	地域包括支援センター職員	その他	計
全体	3 50.0%	6 100.0%	0 0.0%	6 100.0%	5 83.3%	2 33.3%	6

※ 合計数は回答事業所数を記載

### (8) 施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）

○施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）は、83.3%が「ない」としている。

	ある	ない	その他	計
全体	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	6

### (9) 地域交流の取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることが「ある」のは4事業所で、「ない」と回答した事業所でも今後は取り組む予定が「ある」としている。

	ある	ない	計	「ない」と回答した事業所	(所)	ある	ない	その他	計
全体	4 80.0%	1 20.0%	5		全体	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1

### (10) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題について、すべての事業所が「地域交流を行うための人員配置ができない」と回答している。

	地域交流の方法がわからない	地域交流を行うための人員配置ができない	地域の情報が無い	地域交流の必要性を感じていない	その他	計
全体	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	6

※ 合計数は回答事業所数を記載

## 7 夜間対応型訪問介護

### (1) 利用者数 (令和元年12月末時点)

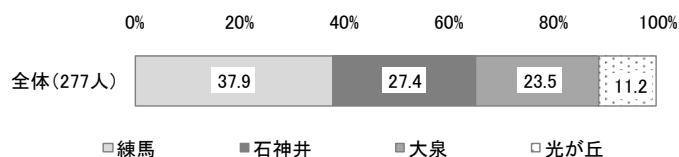
#### ① 契約者数

○契約者数は、「101～150人」「151～200人」がそれぞれ50.0%となっている。

(所)							
	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	201人以上	無回答・不明	計
全体	0	0	1	1	0	0	2
	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

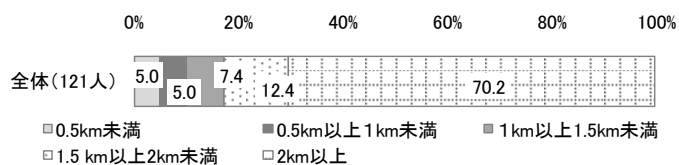
#### ② 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬圏域が37.9%と高くなっている。



#### ③ 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、「2km以上」が70.2%、「1.5km以上2km未満」が12.4%となっている。



### (2) 利用者数について

○利用者数について、すべての事業所が「適正数を下回っている」と回答している。

(所)					
	適正数を上回っている	適正数を下回っている	適正数である	その他	計
全体	0	2	0	0	2
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

### (3) 利用待機者

○利用待機者は、「いる」と「いない」がそれぞれ50.0%となっている。

(所)				
	いない	いる	その他	計
全体	1	1	0	2
	50.0%	50.0%	0.0%	

#### (4) 看取りの実績（年間）

○いずれの事業所でも看取りを行った実績がある。実績は、「3～4人」と「9人以上」がそれぞれ50.0%となっている。

		(所)						
		0人	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9人以上	計
全体		0	0	1	0	0	1	2
		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	

#### (5) 地域密着型サービスの課題（複数回答）

○地域密着型サービスの課題は、「各事業所間の連携」が100.0%となっている。

		(所)								
		サービスの 内容があまり 知られていない	利用者が 限定される	事業所の 数が多い	事業所の 数が少ない	介護報酬・加算 が少ない	各事業所間 の連携	よくわからない	その他	計
全体		1	1	0	0	1	2	0	0	2
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

※ 合計数は回答事業所数を記載

#### (6) 施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）

○施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）は、1事業所が「ない」と回答している。

		(所)			
		ある	ない	その他	計
全体		0	1	0	1
		0.0%	100.0%	0.0%	

#### (7) 地域交流の取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることが「ある」のは1事業所で、「ない」と回答した事業所は、今後は取り組む予定が「ない」としている。

		(所)			➔	(所)			
		ある	ない	計		ある	ない	その他	計
全体		1	1	2	「ない」と回答した事業所	0	1	0	1
		50.0%	50.0%			0.0%	100.0%	0.0%	

#### (8) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題について、すべての事業所が「地域交流を行うための人員配置ができない」と回答している。

		(所)					
		地域交流の方法が わからない	地域交流を行うための 人員配置ができない	地域の情報が ない	地域交流の 必要性を感じていない	その他	計
全体		0	2	0	0	0	2
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## 8 地域密着型通所介護

### (1) 利用者数（令和元年12月末時点）

#### ① 1日あたりの平均利用者数

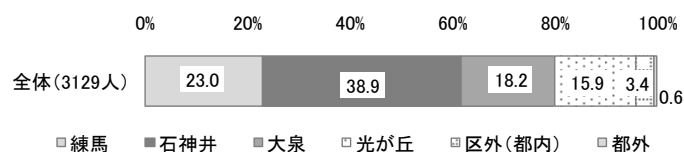
○1日あたりの平均利用者数は、「6～10人」が50.6%、「11～15人」が20.8%となっている。

	(所)						
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明他	計
平均利用者数	4	39	16	6	9	3	77
	5.2	50.6	20.8	7.8	11.7	3.9	

※ 小数での回答は小数点以下繰り上げとしている

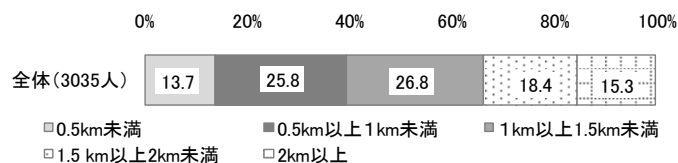
#### ② 圏域別

○利用者数を圏域別でみると、石神井圏域が38.9%と高くなっている。



#### ③ 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別でみると、「1km以上1.5km未満」が26.8%、「0.5km以上1km未満」が25.8%となっている。



### (2) 利用者数について

○利用者数について、全体をみると「適正数を下回っている」が71.4%となっている。

	(所)				
	適正数を上回っている	適正数を下回っている	適正数である	その他	計
練馬	0	12	4	0	16
	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	
石神井	1	22	9	0	32
	3.1%	68.8%	28.1%	0.0%	
大泉	0	10	4	1	15
	0.0%	66.7%	26.7%	6.7%	
光が丘	0	11	3	0	14
	0.0%	78.6%	21.4%	0.0%	
全体	1	55	20	1	77
	1.3%	71.4%	26.0%	1.3%	

### (3) 利用待機者

○利用待機者は、「いない」が81.8%となっている。

	(所)			
	いない	いる	その他	計
全体	63	12	2	77
	81.8%	15.6%	2.6%	

#### (4) 地域密着型サービスの課題（複数回答）

○地域密着型サービスの課題は、全体をみると「介護報酬・加算が少ない」が27.6%、「利用者が限定される」が23.1%となっている。

(所)

	サービスの 内容があまり 知られていない	利用者が 限定される	事業所の 数が多い	事業所の 数が少ない	介護報酬・加算 が少ない	各事業所間 の連携	よくわからない	その他	計
練馬	8	9	4	0	10	4	1	1	37
	21.6%	24.3%	10.8%	0.0%	27.0%	10.8%	2.7%	2.7%	
石神井	9	14	7	0	19	8	2	3	62
	14.5%	22.6%	11.3%	0.0%	30.6%	12.9%	3.2%	4.8%	
大泉	5	6	1	0	8	3	2	4	29
	17.2%	20.7%	3.4%	0.0%	27.6%	10.3%	6.9%	13.8%	
光が丘	7	7	1	0	6	5	1	1	28
	25.0%	25.0%	3.6%	0.0%	21.4%	17.9%	3.6%	3.6%	
全体	29	36	13	0	43	20	6	9	156
	18.6%	23.1%	8.3%	0.0%	27.6%	12.8%	3.8%	5.8%	

#### (5) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、「年間2回」が89.6%となっている。

(所)

	0回	1回	2回	3回	4回以上	無回答	計
全体	1	5	69	1	0	1	77
	1.3%	6.5%	89.6%	1.3%	0.0%	1.3%	

#### (6) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「利用者家族」が93.5%、「民生委員・町会関係者」が87.0%となっている。

(所)

	民生委員・ 町会関係者	ケアマネジャー	利用者家族	行政職員	地域包括支援 センター職員	その他	計
全体	67	57	72	50	54	15	77
	87.0%	74.0%	93.5%	64.9%	70.1%	19.5%	

※ 合計数は回答事業所数を記載

#### (7) 施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）

○施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）は、全体をみると「ない」が77.0%となっている。

(所)

	ある	ない	その他	計
練馬	5	11	0	16
	31.3%	68.8%	0.0%	
石神井	3	23	3	29
	10.3%	79.3%	10.3%	
大泉	1	12	2	15
	6.7%	80.0%	13.3%	
光が丘	2	11	1	14
	14.3%	78.6%	7.1%	
全体	11	57	6	74
	14.9%	77.0%	8.1%	



## (8) 地域交流の取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることが「ない」のは29事業所で、そのうち13事業所は  
 今後は取り組む予定が「ある」と回答している。

(所)				→ 「ない」と回答した事業所	(所)			
	ある	ない	計		ある	ない	その他	計
全体	46	29	75	全体	13	12	4	29
	61.3%	38.7%			44.8%	41.4%	13.8%	

## (9) 地域交流推進への課題 (複数回答)

○地域交流推進への課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」が48.5%、「地域交流の  
 方法がわからない」が23.2%となっている。

(所)						
	地域交流の方法が わからない	地域交流を行うための 人員配置ができない	地域の情報が ない	地域交流の 必要性を感じていない	その他	計
全体	23	48	16	2	10	99
	23.2%	48.5%	16.2%	2.0%	10.1%	

## 9 (介護予防) 認知症対応型通所介護

### (1) 利用者数 (令和元年12月末時点)

#### ① 1日あたりの平均利用者数

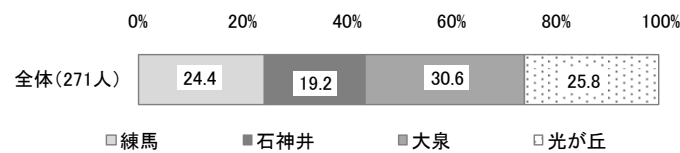
○1日あたりの平均利用者数は、「6～10人」が62.5%、「1～5人」が25.0%となっている。

(所)							
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明他	計
平均利用者数	4	10	1	0	0	1	16
	25.0%	62.5%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	

※ 小数での回答は小数点以下繰り上げとしている

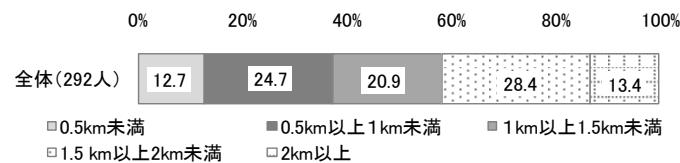
#### ② 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、大泉圏域が30.6%と高くなっている。



#### ③ 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、「1.5km以上2km未満」が28.4%、「0.5km以上1km未満」が24.7%となっている。



### (2) 利用者数について

○利用者数について、全体をみると「適正数を下回っている」が80.0%となっている。

(所)					
	適正数を上回っている	適正数を下回っている	適正数である	その他	計
練馬	0	2	1	0	3
	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	
石神井	0	3	0	0	3
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
大泉	1	2	1	0	4
	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
光が丘	0	5	0	0	5
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
全体	1	12	2	0	15
	6.7%	80.0%	13.3%	0.0%	

### (3) 利用待機者

○利用待機者が「いない」が75.0%となっている。

(所)				
	いない	いる	その他	計
全体	12	3	1	16
	75.0%	18.8%	6.3%	

#### (4) 地域密着型サービスの課題（複数回答）

○地域密着型サービスの課題は、全体をみると「サービスの内容があまり知られていない」が36.0%、「利用者が限定される」が24.0%となっている。

(所)

	サービスの 内容があまり 知られていない	利用者が 限定される	事業所の 数が多い	事業所の 数が少ない	介護報酬・加算 が少ない	各事業所間 の連携	よくわからない	その他	計
練馬	1	2	1	0	0	0	0	0	4
	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
石神井	2	1	0	0	1	1	0	1	6
	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	
大泉	2	1	0	0	1	0	0	1	5
	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
光が丘	4	2	2	0	1	1	0	0	10
	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
全体	9	6	3	0	3	2	0	2	25
	36.0%	24.0%	12.0%	0.0%	12.0%	8.0%	0.0%	8.0%	

#### (5) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、「年間2回」が81.3%となっている。

(所)

	0回	1回	2回	3回	4回以上	無回答	計
全体	1	1	13	0	0	1	16
	6.3%	6.3%	81.3%	0.0%	0.0%	6.3%	

#### (6) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「民生委員・町会関係者」、「利用者家族」がそれぞれ81.3%となっている。

(所)

	民生委員・ 町会関係者	ケアマネジャー	利用者家族	行政職員	地域包括支援 センター職員	その他	計
全体	13	9	13	11	12	5	16
	81.3%	56.3%	81.3%	68.8%	75.0%	31.3%	

※ 合計数は回答事業所数を記載

#### (7) 施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）

○施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）は、全体をみると「ある」が62.5%となっている。

(所)

	ある	ない	その他	計
練馬	2	1	0	3
	66.7%	33.3%	0.0%	
石神井	2	1	1	4
	50.0%	25.0%	25.0%	
大泉	3	1	0	4
	75.0%	25.0%	0.0%	
光が丘	3	1	1	5
	60.0%	20.0%	20.0%	
全体	10	4	2	16
	62.5%	25.0%	12.5%	

## (8) 地域交流の取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることが「ない」のは4事業所で、そのうち2事業所は今後は取り組む予定が「ある」と回答している。

(所)				(所)				
	ある	ない	計		ある	ない	その他	計
全体	12	4	16	「ない」と回答した事業所	2	1	1	4
	75.0%	25.0%			50.0%	25.0%	25.0%	

## (9) 地域交流推進への課題 (複数回答)

○地域交流推進への課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」が47.6%、「地域の情報が無い」が23.8%となっている。

(所)						
	地域交流の方法がわからない	地域交流を行うための人員配置ができない	地域の情報が無い	地域交流の必要性を感じていない	その他	計
全体	2	10	5	0	4	21
	9.5%	47.6%	23.8%	0.0%	19.0%	

## 10 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護

### (1) 利用者数 (令和元年12月末時点)

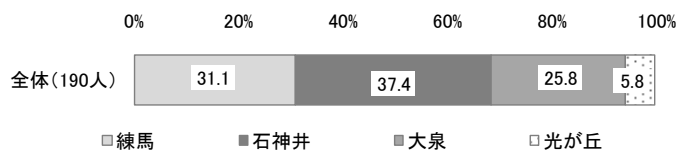
#### ① 登録者数

○登録者数は、「16～20人」が37.5%、「21人以上」が25.0%となっている。

		(所)					計
		1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明
全体		2	2	2	6	4	0
		12.5%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%

#### ② 圏域別

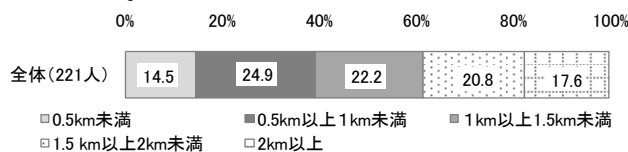
○利用者数を圏域別でみると、石神井圏域が37.4%と高くなっている。



#### ③ 事業所からの距離別

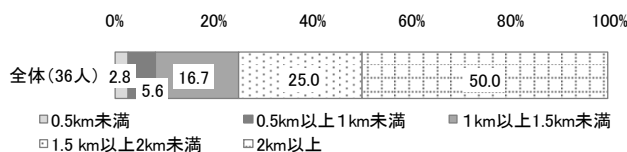
##### 【小規模多機能型居宅介護】

○利用者数を事業所からの距離別でみると、「0.5km以上1km未満」が24.9%、「1km以上1.5km未満」が22.2%となっている。



##### 【看護小規模多機能型居宅介護】

○利用者数を事業所からの距離別でみると、「2km以上」が50.0%、「1.5km以上2km未満」が25.0%となっている。



### (2) 利用者数について

○利用者数について全体をみると、「適正数を下回っている」が75.0%となっている。

		(所)				計
		適正数を上回っている	適正数を下回っている	適正数である	その他	
練馬		0	2	1	0	3
		0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	
石神井		0	5	2	0	7
		0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	
大泉		0	4	0	0	4
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
光が丘		0	1	1	0	2
		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
全体		0	12	4	0	16
		0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	

### (3) 利用待機者

○利用待機者は、「いない」が80.0%となっている。

(所)				
	いない	いる	その他	計
全体	12	3	0	15
	80.0%	20.0%	0.0%	

### (4) 看取りの実績（年間）

○看取りを行った実績がない事業所は81.3%となっている。看取りを行った実績のある事業所では、「1～2人」が12.5%、「3～4人」が6.3%となっている。

(所)							
	0人	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9人以上	計
全体	13	2	1	0	0	0	16
	81.3%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

### (5) 非常電源装置等の設置状況

○非常電源装置等を「設置している」のは5事業所で、「設置していない」「その他」と回答した10事業所のうち、今後は設置する予定が「ある」のは2事業所となっている。

(所)					「設置していない」等と回答した事業所	(所)				
	設置している	設置していない	その他	計		ある	ない	その他	計	
全体	5	8	2	15	全体	2	5	3	10	
	33.3%	53.3%	13.3%			20.0%	50.0%	30.0%		

### (6) 地域密着型サービスの課題（複数回答）

○地域密着型サービスの課題は、全体をみると「サービスの内容があまり知られていない」が37.8%、「各事業所間の連携」が13.5%となっている。

(所)									
	サービスの内容があまり知られていない	利用者が限定される	事業所の数が多い	事業所の数が少ない	介護報酬・加算が少ない	各事業所間の連携	よくわからない	その他	計
練馬	2	2	1	0	2	0	0	0	7
	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
石神井	7	1	1	1	1	2	0	2	15
	46.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	
大泉	3	1	1	0	0	1	0	2	8
	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	
光が丘	2	0	0	0	1	2	0	2	7
	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	
全体	14	4	3	1	4	5	0	6	37
	37.8%	10.8%	8.1%	2.7%	10.8%	13.5%	0.0%	16.2%	

### (7) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、すべての事業所で「年間5～6回」となっている。

(所)						
	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	計
全体	0	0	0	16	0	16
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

## (8) 運営推進会議の参加者 (複数回答)

○運営推進会議の参加者は、「利用者家族」が93.8%、「行政職員」が87.5%となっている。

(所)							
	民生委員・ 町会関係者	ケアマネジャー	利用者家族	行政職員	地域包括支援 センター職員	その他	計
全体	13 81.3%	13 81.3%	15 93.8%	14 87.5%	13 81.3%	6 37.5%	16

※ 合計数は回答事業所数を記載

## (9) 施設内に地域の方が気軽に集える場所 (多目的室等)

○施設内に地域の方が気軽に集える場所 (多目的室等) は、全体をみると60.0%が「ない」としている。

(所)				
	ある	ない	その他	計
練馬	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	3
石神井	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	6
大泉	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	4
光が丘	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2
全体	4 26.7%	9 60.0%	2 13.3%	15

## (10) 地域交流の取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることが「ある」のは11事業所で、「ない」と回答した事業所でも今後は取り組む予定が「ある」としている。

(所)				➔	(所)				
全体	ある	ない	計		全体	ある	ない	その他	計
全体	11 73.3%	4 26.7%	15	「ない」と回答した事業所	全体	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4

## (11) 地域交流推進への課題 (複数回答)

○地域交流推進への課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」が42.9%、「地域交流の方法がわからない」が14.3%となっている。

(所)						
	地域交流の方法が わからない	地域交流を行うための 人員配置ができない	地域の情報が ない	地域交流の 必要性を感じていない	その他	計
全体	3 14.3%	9 42.9%	2 9.5%	1 4.8%	6 28.6%	21

# 11 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

## (1) 利用者数 (令和元年12月末時点)

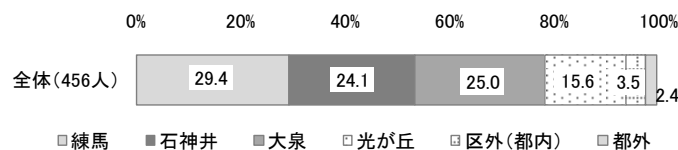
### ① 入居者数

○入居者数は、「16～20人」が63.3%、「6～10人」が20.0%となっている。

(所)							
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上	無回答・不明	計
全体	0	6	4	19	1	0	30
	0.0%	20.0%	13.3%	63.3%	3.3%	0.0%	

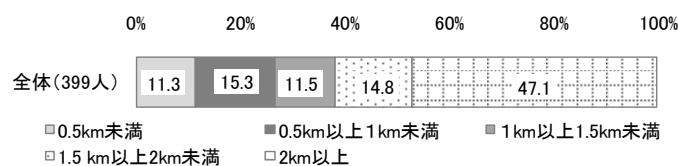
### ② 圏域別

○利用者数を圏域別で見ると、練馬圏域が29.4%と高くなっている。



### ③ 事業所からの距離別

○利用者数を事業所からの距離別で見ると、「2km以上」が47.1%、「0.5km以上1km未満」が15.3%となっている。



## (2) 利用者数について

○利用者数について、全体をみると「適正数である」が67.9%、「適正数を下回っている」が25.0%となっている。

(所)					
	適正数を上回っている	適正数を下回っている	適正数である	その他	計
練馬	0	2	4	0	6
	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
石神井	0	1	9	0	10
	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%	
大泉	1	3	4	1	9
	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	
光が丘	0	1	2	0	3
	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
全体	1	7	19	1	28
	3.6%	25.0%	67.9%	3.6%	

## (3) 利用待機者

○利用待機者は、「いる」が66.7%となっている。

(所)				
	いない	いる※	その他	計
全体	9	20	1	30
	30.0%	66.7%	3.3%	

※ 待機者数の平均 4.0人



#### (4) 退所者数

##### ①令和元年中の退所者数

○退所者数は、「3～4人」が42.3%、「1～2人」が34.6%となっている。

	0人	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9人以上	計
全体	1 3.8%	9 34.6%	11 42.3%	4 15.4%	1 3.8%	0 0.0%	26

##### ②令和元年中の退所者の行先

○退所者の行先は、「医療機関」が39.0%、「特養」「死亡」がそれぞれ24.4%となっている。

	家庭	特養	老健	有料	GH	その他 福祉施設	医療機関	死亡	その他	計
全体	3 3.7%	20 24.4%	0 0.0%	4 4.9%	2 2.4%	0 0.0%	32 39.0%	20 24.4%	1 1.2%	82

#### (5) 看取りの実績（年間）

○看取りを行った実績がない事業所は52.4%となっている。看取りを行った実績のある事業所では、「1～2人」が47.6%となっている。

	0人	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9人以上	計
全体	11 52.4%	10 47.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21

#### (6) 非常電源装置等の設置状況

○非常電源装置等を「設置している」のは10事業所で、「設置していない」「その他」と回答した16事業所のうち、今後設置する予定が「ある」のは1事業所となっている。

	設置 している	設置 していない	その他	計
全体	10 38.5%	14 53.8%	2 7.7%	26

「設置していない」等と  
回答した事業所

	ある	ない	その他	計
全体	1 6.7%	10 66.7%	4 26.7%	15

#### (7) 地域密着型サービスの課題（複数回答）

○地域密着型サービスの課題は、全体をみると「サービスの内容があまり知られていない」が29.3%、「介護報酬・加算が少ない」が20.7%となっている。

	サービスの 内容があまり 知られていない	利用者が 限定される	事業所の 数が多い	事業所の 数が少ない	介護報酬・加算 が少ない	各事業所間 の連携	よくわからない	その他	計
練馬	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	5 45.5%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	11
石神井	5 29.4%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	5 29.4%	0 0.0%	2 11.8%	17
大泉	7 36.8%	3 15.8%	0 0.0%	2 10.5%	3 15.8%	2 10.5%	0 0.0%	2 10.5%	19
光が丘	2 18.2%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	11
全体	17 29.3%	9 15.5%	2 3.4%	4 6.9%	12 20.7%	9 15.5%	0 0.0%	5 8.6%	58

## (8) 運営推進会議の開催状況（年間）

○運営推進会議の開催状況は、すべての事業所で「年間5～6回」となっている。

	0回	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	合計
全体	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%	0 0.0%	30

## (9) 運営推進会議の参加者（複数回答）

○運営推進会議の参加者は、「利用者家族」が93.3%、「行政職員」が90.0%となっている。

	民生委員・ 町会関係者	ケアマネジャー	利用者家族	行政職員	地域包括支援 センター職員	その他	計
全体	21 70.0%	16 53.3%	28 93.3%	27 90.0%	26 86.7%	9 30.0%	30

※ 合計数は回答事業所数を記載

## (10) 施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）

○施設内に地域の方が気軽に集える場所（多目的室等）については、全体をみると73.3%が「ない」としている。

	ある	ない	その他	計
練馬	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	6
石神井	3 30.0%	7 70.0%	0 0.0%	10
大泉	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%	10
光が丘	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4
全体	7 23.3%	22 73.3%	1 3.3%	30

## (11) 地域交流の取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることが「ある」のは23事業所で、「ない」と回答した7事業所のうち、今後は取り組む予定が「ある」のは3事業所となっている。

	ある	ない	計
全体	23 76.7%	7 23.3%	30

「ない」と回答した事業所

	ある	ない	その他	計
全体	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	6

## (12) 地域交流推進への課題（複数回答）

○地域交流推進への課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」が72.7%、「地域交流の方法がわからない」が9.1%となっている。

	地域交流の方法が わからない	地域交流を行うための 人員配置ができない	地域の情報が ない	地域交流の 必要性を感じていない	その他	計
全体	3 9.1%	24 72.7%	2 6.1%	0 0.0%	4 12.1%	33



V

參考資料



# 練馬区高齢者基礎調査

## ◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価および高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望などをお聞きするため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方々から2,500人、55～64歳の方々から800人を無作為に選り、調査票を送付させていただきます。

本調査で得られた情報につきましては、計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年11月 練馬区

## ◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人お一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月20日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご返送ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、㈱日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係  
 【調査実施・お問い合わせ先】 ㈱日本能率協会総合研究所 担当：川村、布施、政岡  
 電話：0120-304-603 (フリーダイヤル)  
 受付時間：月曜日～金曜日(平日) 10:00～17:00

記入日 令和 年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄：)
- 3 その他 ( )

## ◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和元年11月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰め記入)

1 男性   歳  
 2 女性   歳

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名  丁目   
 (記入例) 町名  光が丘  丁目

問3 家族構成をお教えください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) 4 子との2世帯
- 5 親との2世帯 6 親・子との3世帯
- 7 その他 ( )

問4 あなたの家の主たる生計者は誰ですか。(○は1つ)

- 1 あて名のご本人 2 配偶者 3 子
- 4 親 5 生活保護を受けている 6 その他 ( )

問5 あなたは、高齢者(65歳以上)の家族や親せき等の介護をしていますか。(○は1つ)

- 1 主たる介護者として、同居の家族等を介護している
- 2 主たる介護者ではないが、同居の家族等を介護している
- 3 主たる介護者として、別居の家族等を介護している
- 4 主たる介護者ではないが、別居の家族等を介護している
- 5 介護はしていない

問6 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 いない (→次ページの問7へ進む)

〔問6で、「1 いる」とお答えの方におたずねします。〕

問6-1 あなたは、ご自身の子どものもので、心配ごとが何かありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	子どもの仕事	2	子どもの家庭環境 (配偶者など家族との関係など)
3	子どもの経済状態	4	子どもの病気・障害
5	子どものひきこもり	6	子どもによる暴力・暴言
7	その他 ( )	8	特になし (→問7へ進む)

〔問6-1で、1～7(何らかの心配ごとがある)とお答えの方におたずねします。〕

問6-2 ご自身の子どもも心配ごとについて、周囲に相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	家族・親族	2	知人・友人
3	近所の人	4	警察
5	医療機関	6	保健相談所
7	地域包括支援センター (高齢者相談センター)	8	総合福祉事務所 (区役所)
9	その他 ( )	10	相談していません
11	相談先がわからない		

【問6-1で5を回答しなかった方は問7へ進んでください】

〔問6-1で、「5 子どものひきこもり」とお答えの方におたずねします。〕

問6-3 お子さんの年齢は何歳ですか。(○は1つ)

1	30歳未満	2	30歳代	3	40歳代
4	50歳代	5	60歳代	6	70歳以上

問6-4 お子さんがひきこもりの状態になってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

1	6か月未満	2	6か月以上～1年未満	3	1年以上～3年未満
4	3年以上～5年未満	5	5年以上～10年未満	6	10年以上

問6-5 お子さんがひきこもりの状態となったきっかけは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1	(小学生～大学生等時の) 不登校	2	就職できなかったこと
3	失業・退職したこと	4	家族等の介護のために離職したこと
5	健康上の問題	6	家族間の問題
7	事故・犯罪被害	8	その他 ( )

〔すべての方におたずねします。〕

問7 平日の昼間、ご自宅にあなた以外にどなたかいらっしゃいますか。(○は1つ)

1	いつも誰かがいる	2	誰かがいることが多い
3	自分一人のことが多い	4	いつも自分一人である

問8 地震などの災害などの被害時あるいは病気になる際の緊急連絡先はありますか。(○は1つ)

1	緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている
2	緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない
3	緊急連絡先は決めていない
4	緊急時に連絡できる家族・親族・友人はいる
5	わからない

問9 あなたの年取 (配偶者がいる場合はご夫婦を合わせた年取。年金を含む) はどのくらいですか。(○は1つ)

1	100万円未満	2	100～200万円未満
3	200～300万円未満	4	300～400万円未満
5	400～500万円未満	6	500～700万円未満
7	700～1,000万円未満	8	1,000万円以上
9	わからない		

問10 あなたの世帯では、次の金融資産を持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	預貯金	2	株式
3	投資信託	4	債権
5	金・銀	6	タンス預金 (現金)
7	負債 (借入金・住宅ローンなど)	8	いずれも保有していない

問11 あなたの世帯では、どのくらい預貯金がありますか。(○は1つ)

1	100万円未満	2	100～300万円未満
3	300～500万円未満	4	500～700万円未満
5	700～1,000万円未満	6	1,000～1,500万円未満
7	1,500～2,000万円未満	8	2,000～3,000万円未満
9	3,000万円以上	10	わからない

問12 現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。(○は1つ)

1	大変苦しい	2	やや苦しい	3	ふつう
4	ややゆとりがある	5	大変ゆとりがある		

◆住まいについて

問13 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1	持家 (一戸建て)	2	持家 (集合住宅)	3	公営賃貸住宅
4	民間賃貸住宅 (一戸建て)	5	民間賃貸住宅 (集合住宅)	6	借家
7	その他 ( )				

問 14 将来の住まいに関して、不安に感じていることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 高齢期の賃貸を断られる
- 2 高齢期の賃貸を断られる以外で転居先が決まらない
- 3 虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造
- 4 世話をしてくれる人の存在
- 5 家賃等を払い続けられない
- 6 住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる
- 7 その他 ( )
- 8 特にない

問 15 介護が必要になった場合にどのような暮らし方を希望しますか。(○は1つ)

- 1 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 2 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 3 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 4 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 5 安否確認サービスの有る住宅(シルバピア)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 6 安否確認と食事や入浴のサービスの有る住宅(サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 7 介護保険サービスの有る施設・住宅(特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム)に入りたい
- 8 その他 ( )
- 9 わからない

【高齢者向けの住宅・施設の用語説明一覧】

区分	施設などの名称	概要
住宅	①シルバピア	バリアフリー化され、緊急通報システムなどが備わっている単身の高齢者または高齢者のみの世帯を対象とした賃貸住宅
	②サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービスなどの付いた高齢者向けの賃貸住宅
施設	③都市型軽費老人ホーム	食事や安否確認のサービスが付いた、身体機能の低下などにより自立した生活に不安がある低所得の高齢者を対象とした施設
	④住宅型有料老人ホーム	食事などの日常生活上のサービスは付くが、介護保険サービスは別契約で外部の事業所を利用する有料老人ホーム
	⑤介護付き有料老人ホーム	介護保険サービスなどが付いた有料老人ホーム。介護が必要になっても、そのホームが提供する介護保険サービスなどを利用できる
	⑥特別養護老人ホーム	常時介護が必要で家庭での生活が困難な人が、介護や身の回りの世話を受けながら生活する施設
	⑦認知症対応型グループホーム	認知症高齢者が少人数で、家庭的な雰囲気のもとで介護や身の回りの世話を受けながら共同生活を送る住まい

◆外出状況について

問 16 あなたは、積極的に外出をされていますか。(○は1つ)

- 1 積極的に外出している 2 なるべく外出するようにしている
- 3 どちらともいえない 4 あまり外出しようとしていない
- 5 自宅に閉じこもりがちである

問 17 次の①～④で外出する頻度はどのくらいですか。

- ① 買い物 (○は1つ)
 

1 ほぼ毎日	2 週4～5日	3 週2～3日	4 週1日	5 週1日未満
--------	---------	---------	-------	---------
- ② 散歩 (○は1つ)
 

1 ほぼ毎日	2 週4～5日	3 週2～3日	4 週1日	5 週1日未満
--------	---------	---------	-------	---------
- ③ 家族・親せきや友人・知人の家 (○は1つ)
 

1 週3日以上	2 週1～2日	3 月1～2日	4 年数日	5 外出しない
---------	---------	---------	-------	---------
- ④ 図書館、体育館、プールなどの区立施設 (○は1つ)
 

1 週3日以上	2 週1～2日	3 月1～2日	4 年数日	5 外出しない
---------	---------	---------	-------	---------

問 18 問 17の①～④以外に、一週間に1回以上、外出する場所はありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 区役所や地域包括支援センター (旧高齢者相談センター)
- 2 フィットネス、スポーツジム等
- 3 銀行、郵便局などの金融機関
- 4 公園、遊歩道等
- 5 飲食店
- 6 映画館、美術館、博物館等
- 7 銭湯、スパ等
- 8 パチンコ、競馬関係施設等
- 9 お墓参り
- 10 一週間に1回以上の外出場所はない
- 11 その他 ( )

問 19 はつらつセンターや敬老館、街かどケアカフェ、地域集会施設(地区区民館・地域集会所)を利用していますか。(○は1つ)

- 1 利用している
- 2 名前は知っているが、利用したことはない
- 3 知らない



問 20 外出する際に利用する手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 徒歩	2 車いす
3 電動三輪車	4 自転車
5 バイク、スクーター	6 自分で運転する自動車
7 家族などの運転する自動車	8 バス
9 電車	10 タクシー
11 その他 ( )	12 わからない

問 21 現在、あなたは自動車運転免許(バイク含む)を持っていますか。(○は1つ)

1 持っている	}	(→次ページの問 22 へ進む)
2 持っていたが返納した		
3 もともと持っていない		

(問 21 で、「1. 持っている」とお答えの方におたずねします。)

問 21-1 外出の際に自分で自動車を運転する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日	2 週 2 ~ 3 回	3 週に 1 回
4 月に数回	5 年に数回	6 わからない

問 21-2 今後、自動車を運転することについて、どのように思っていますか。(○は1つ)

1 一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている
2 視力の低下などにより運転に支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている
3 公共交通機関のサービスレベルが上がれば、車の運転をやめようと思っている
4 年齢や身体的な支障の有無にかかわらず、車の運転を続けようと思っている
5 わからない

問 21-3 自動車運転免許を返納することになった場合に、心配なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 買い物に行けなくなる	2 通院できなくなる
3 趣味活動ができなくなる	4 仕事ができなくなる
5 家族や友人などと会えなくなる	6 外出機会が少なくなる
7 その他 ( )	8 特にない

(すべての方におたずねします。)

問 22 日中に、気軽に立ち寄って人と話をしたり、自由に過ごしたりできる場所がご自宅から徒歩 15 分圏内にありますか。(○は1つ)

1 徒歩 15 分圏内にある →(具体的な場所: )
2 徒歩 15 分圏外にならある →(具体的な場所: )
3 ない

問 23 外出をためらってしまうような問題点はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 自動車などの運転免許を持っていないこと
2 電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと
3 以前よりも歩くことが難しくなってきたこと (青信号の間に横断歩道を渡りきれない等)
4 道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと
5 ベンチや椅子など休める場所が少ないこと
6 トイレが少ないこと、使いにくいこと
7 けがや病気のことで
8 外出したい場所がないこと
9 外出する気力が起きないこと
10 人との関わりが面倒なこと
11 一緒に外出する人がいないこと
12 お金がないこと
13 その他 ( )
14 特に問題点はない

◆仕事や地域での活動について

問 24 あなたは、現在、収入のある仕事をしてますか。(○は1つ)

1	週5日以上、仕事をしている	2	週3～4日、仕事をしている
3	週1～2日、仕事をしている	4	1か月に1日程度、仕事をしている
5	不定期に仕事をしている	6	仕事はしていない(→問 24-3へ進む)

(問 24 で、1～5のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 24-1 何歳ぐらいまで働きたいですか。(1日2時間や週1～2日など、勤務時間が短いまたは勤務日数が少ない仕事を含みます。○は1つ)

1	65歳まで	2	66～70歳まで	3	71～75歳まで
4	76～80歳まで	5	ずっと働きたい	6	これ以上働きたくない

問 24-2 働きたいのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1	生活費を得るため	2	小遣いを得るため
3	将来への蓄え(預貯金)のため	4	生きがいを得るため
5	持っている技術や資格を活かすため	6	健康のため
7	何もしないといけないと追屈なため	8	その他( )

【問 25へ進んでください】

(問 24 で、「6 仕事はしていない」とお答えの方におたずねします。)

問 24-3 週に何日程度であれば働きたいですか。(1日2時間や週1～2日など、勤務時間が短いまたは勤務日数が少ない仕事を含みます。○は1つ)

1	週5日以上	2	週3～4日	3	週1～2日
4	1か月に1日程度	5	不定期	6	働きたくない(→問 25へ進む)

問 24-4 1日に何時間程度であれば働きたいですか。(○は1つ)

1	8時間以上	2	5～8時間未満	3	3～5時間未満
4	1～3時間程度	5	1時間以内		

(すべての方におたずねします。)

問 25 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑥それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2回～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6	6

(問 25 で、1つでも「6 参加していない」とお答えの方におたずねします。その他の方は、問 27 に進んでください。)

問 26 あなたは、どのようなきっかけがあれば、地域活動に取り組みますか。すでに参加している活動がある方は、地域活動を増やすきっかけについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1	紹介があれば活動したい
2	時間に余裕があれば活動したい
3	知り合いがいれば活動したい
4	関心・興味のあるテーマがあれば活動したい
5	活動する拠点となるような施設が身近なところがあれば活動したい
6	健康状態がよくなったら活動したい
7	すでに参加している活動があり、現在の活動で満足している
8	その他( )
9	活動したくない・関心がない(→問 27へ進む)

(問 26 で、1～8とお答えの方におたずねします。)

問 26-1 あなたは、今後、どのような分野で活動してみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1	ボランティアのグループ	2	NPO活動
3	スポーツ関係のグループやクラブ	4	趣味関係のグループ
5	学習・教養サークル	6	老人クラブ
7	町内会・自治会	8	その他( )
9	特にない		

【3～9とお答えの方は問 27へ進んでください】

(問 26-1 で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問 26-2 あなたは、どのくらいの頻度であればボランティアのグループ・NPO活動に参加したいですか。(○は1つ)

1	週4回以上	2	週2～3回	3	週1回
4	月1～3回	5	年に数回		

(すべての方におたずねします。)

問 27 地域活動をする上で今後必要なものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	敬老館・はつらつセンターなど活動する施設の充実
2	身近で気軽に集い、自主活動ができる場所
3	活動をする上での補助金の支給
4	リーダーやサポーターの養成
5	各種活動と参加者のマッチング
6	先進事例や成功事例の発信
7	その他( )
8	特にない

◆健康について

問28 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 とてもよい    2 まあよい    3 あまりよくない    4 よくない

問29 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をしてください)

- とても不幸  
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問30 あなたは、体力や健康を維持するためにやっている、運動やスポーツ(ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや散歩、軽い体操、介護予防のためのトレーニングなど目的をもった身体活動のすべてをいいます)はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 体操(太極拳・ヨガなど含む)  
2 ウォーキングまたはジョギング  
3 ダンス  
4 水泳(水中ウォーキング・水中エアロビクス含む)  
5 球技(ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等)  
6 機械や器具を使用した運動(トレーニング機器・ダンベル等)  
7 その他( )  
8 運動・スポーツはしていない (→問31へ進む)

(問30で、1~7とお答えの方におたずねします。)

問30-1 どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)

- 1 ほぼ毎日    2 週4~5日    3 週2~3日    4 週1日    5 週1日未満

(すべての方におたずねします。)

問31 現在のあなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 普通 (→問33へ進む)  
2 普通の声やずっと聞き取れる  
3 かなり大きな声なら何とか聞き取れる  
4 ほとんど聞こえない

(問31で、2~4のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問32 現在、補聴器を使用していますか。(○は1つ)

- 1 使用している  
2 持っているが使用していない (→問33へ進む)  
3 持っていない

(問32で、「3 持っていない」とお答えの方におたずねします。)  
問32-1 補聴器を持っていない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 補聴器は高額だから  
2 補聴器でどのくらい改善されるかわからないから  
3 補聴器を使用することがわずらわしいから  
4 耳が聞こえにくくなっていて、周りに知られたくないから  
5 その他( )

(すべての方におたずねします。)

問33 2019年夏に、暑さで体調に不調を感じたことはありましたか。(○は1つ)

- 1 不調は感じなかった  
2 不調を感じたが、医療機関を受診しなかった  
3 不調を感じ、医療機関を受診した(救急搬送含む)  
4 覚えていない

問34 熱中症の予防や対策として実践していることは何ですか。(それぞれ○は1つ)

- ① 水分摂取  
1 頻繁に行う    2 たまに行う    3 あまり行わない    4 行わない  
② 塩分摂取  
1 頻繁に行う    2 たまに行う    3 あまり行わない    4 行わない  
③ 涼しい服装を心がける  
1 頻繁に行う    2 たまに行う    3 あまり行わない    4 行わない  
④ 外出を控える  
1 頻繁に行う    2 たまに行う    3 あまり行わない    4 行わない  
⑤ クーラーの使用  
1 よく使う    2 たまに使う    3 あまり使わない    4 使わない    5 持っていない  
⑥ 扇風機の使用  
1 よく使う    2 たまに使う    3 あまり使わない    4 使わない    5 持っていない

◆介護予防について

問 35 あなたは、就労、運動・スポーツや地域行事・趣味サークルなどへの積極的な参加、栄養・口腔衛生教室、認知症予防教室への参加、食事の工夫などの介護予防につながる活動に意識して取り組んでいますか。(○は1つ)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | 意識して取り組んでいる            |
| 2 | 体力が落ちてきたら取り組みたい        |
| 3 | もう少し歳をとってから取り組みたい      |
| 4 | きっかけがあれば取り組みたい         |
| 5 | 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない |
| 6 | その他 ( )                |
| 7 | 興味・関心は特いない             |

【2～7とお答えの方は問 36 へ進んでください】

(問 35 で、「1 意識して取り組んでいる」とお答えの方におたずねします。)

問 35-1 実際に取り組んでみて、効果があると感じていますか。(○は1つ)

- |   |              |   |            |   |           |
|---|--------------|---|------------|---|-----------|
| 1 | 効果を感じている     | 2 | 少し効果を感じている | 3 | どちらともいえない |
| 4 | あまり効果を感じていない | 5 | 効果を感じていない  |   |           |

【問 37 へ進んでください】

(問 35 で、2～7のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 36 介護予防につながる活動に取り組んでいない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                       |
|----|-----------------------|
| 1  | 元気に過ごせているから           |
| 2  | 時間に余裕がないから            |
| 3  | 時間帯が希望に合わないから         |
| 4  | 開催場所が身近なところにはないから     |
| 5  | 人との関わりがわずらわしいから       |
| 6  | 一緒に参加する仲間がいないから       |
| 7  | 内容に興味が持てないから          |
| 8  | 参加しても効果がないと思うから       |
| 9  | 費用がかかるから              |
| 10 | 医療機関に通院していて取り組みが難しいから |
| 11 | 介護予防事業があることを知らないから    |
| 12 | 日時・場所などがわからないから       |
| 13 | その他 ( )               |

(すべての方におたずねします。)

問 37 あなたが参加したいと思う活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 体操 (太極拳・ヨガなど含む)                         |
| 2  | ウォーキングまたはジョギング                          |
| 3  | ダンス                                     |
| 4  | 水泳 (水中ウォーキング・水中エアロビクス含む)                |
| 5  | 球技 (ゴルフ・テニス・卓球・ゲートボール等)                 |
| 6  | 機械や器具を使用した運動 (トレーニング機器・ダンベル等)           |
| 7  | ちよつとした収入を得ることができる就労活動                   |
| 8  | 高齢者施設などでの掃除、洗濯などの補助的な作業の就労活動            |
| 9  | 仲間と話をしたり趣味の活動を行うサロンなどの場                 |
| 10 | 子育て中の親と交流を持ち、子育てをサポートするサロンなどの場          |
| 11 | 文化 (書道、俳句等) 芸術 (絵画、美術鑑賞等) を中心とした仲間と集まる場 |
| 12 | 囲碁、将棋、健康麻雀などを行うゲームの場                    |
| 13 | パソコンやインターネットなどの学習ができる場                  |
| 14 | 教養講座の受講などの学習活動                          |
| 15 | 区民農園・市民農園などでの農業を通じた活動                   |
| 16 | 見守りが必要な高齢者を訪問支援するボランティア活動               |
| 17 | 高齢者施設などでの楽器演奏、演劇、話し相手などのボランティア活動        |
| 18 | 高齢者の買い物支援や、庭木の手入れなどのちよつとしたボランティア活動      |
| 19 | 学校で子ども達の活動を支援するボランティア活動                 |
| 20 | 学校以外で子ども達に勉強や自分の趣味・特技を教えるボランティア活動       |
| 21 | 子育て中の親を支援するボランティア活動                     |
| 22 | 地域に住んでいる外国人の方を支援するボランティア活動              |
| 23 | 地域の生活環境の改善 (美化) を行うボランティア活動             |
| 24 | 災害に備えて防災会や避難拠点の運営などを支援するボランティア活動        |
| 25 | その他 ( )                                 |
| 26 | 特にない                                    |

問 38 介護予防に取り組みむために、どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                                  |
|----|----------------------------------|
| 1  | 効果のある介護予防の取組の紹介                  |
| 2  | 介護予防の取組を行うための場所の確保               |
| 3  | 介護予防の取組を教えてくれる講師の派遣              |
| 4  | 介護予防の取組に関する教材（DVD等）の貸し出し         |
| 5  | 地域の運動サークルなどの紹介                   |
| 6  | 自分の健康や介護予防の取組状況を管理できるツール（手帳等）の提供 |
| 7  | 歩いて通える範囲で参加できる介護予防の実施            |
| 8  | 介護予防に取り組み仲間づくりを目的とした講習会の実施       |
| 9  | 気軽に誰でも取り組める介護予防について専門職が行うアドバイス   |
| 10 | はつらつセンター、敬老館、地域集会所などの公共施設の活用支援   |
| 11 | シルバー人材センターなどを活用した就労支援            |
| 12 | 老人クラブや高齢者サークルなどの高齢者による団体への活動支援   |
| 13 | 高齢者によるボランティア活動を推進するための支援         |
| 14 | 定年退職者を対象とした地域活動を始めるための講習会の実施     |
| 15 | その他（                             |
| 16 | 特にない                             |

◆介護保険について

問 39 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなで支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい                    |
| 2 | 施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい |
| 3 | サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい                              |
| 4 | わからない   |

問 40 あなたは、日々の生活の中で介護保険料や健康保険料の負担についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 保険料が日々の暮らしを圧迫している        |
| 2 | 年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている |
| 3 | 適正である（この程度の額ならいい）と思う     |
| 4 | それほど負担とは感じない             |
| 5 | わからない                    |

◆医療について

問 41 あなたは、自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持っていますか。(それぞれ○は1つ)

- |   |          |   |    |   |     |   |       |
|---|----------|---|----|---|-----|---|-------|
| ① | かかりつけ医   | 1 | いる | 2 | いない | 3 | わからない |
| ② | かかりつけ歯科医 | 1 | いる | 2 | いない | 3 | わからない |
| ③ | かかりつけ薬局  | 1 | ある | 2 | ない  | 3 | わからない |

問 42 現在、病院・医院（診療所・クリニック）への受診はどのようにされていますか。(○は1つ)

- |   |                    |
|---|--------------------|
| 1 | 通院している             |
| 2 | 通院と往診の両方を利用している    |
| 3 | 訪問診療・往診を利用している     |
| 4 | 受診していない（→問 43 へ進む） |

(問 42 で、1～3のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 42-1 どのくらいの頻度で、病院・医院（診療所・クリニック）を受診していますか。(○は1つ)

- |   |            |   |       |   |       |
|---|------------|---|-------|---|-------|
| 1 | ほぼ毎日       | 2 | 週4～5日 | 3 | 週2～3日 |
| 4 | 週1日        | 5 | 月2～3回 | 6 | 月1回程度 |
| 7 | 2～3か月に1回程度 | 8 | その他（  |   |       |

(すべての方におたずねします。)

問 43 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いませんか。(○は1つ)

- |   |        |   |             |
|---|--------|---|-------------|
| 1 | そう思う   | } | (→問 44 へ進む) |
| 2 | そう思わない |   |             |
| 3 | わからない  |   |             |
| 4 | その他（   |   |             |

(問 43 で、「1 そう思う」とお答えの方におたずねします。)

問 43-1 あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)

- |   |        |   |             |
|---|--------|---|-------------|
| 1 | 難しいと思う | } | (→問 44 へ進む) |
| 2 | 可能だと思う |   |             |
| 3 | わからない  |   |             |
| 4 | その他（   |   |             |

(問 43 で「2 そう思わない」、問 43-1 で「1 難しいと思う」とお答えの方におたずねします。)

問 43-2 それはなぜですか。(○は3 つまで)

1	介護してくれる家族がいないから
2	介護してくれる家族などに負担をかけるから
3	急に病状が変わったときの対応が不安だから
4	在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから
5	療養できる居住環境 (部屋やトイレ等) が整っていないから
6	住診してくれる医師がいないから
7	地域の訪問看護・介護体制が整っていないから
8	経済的な負担が大きいから
9	特に理由はない
10	その他 ( )

(すべての方におたずねします。)

問 44 人生の最終段階における受ける受けない医療・介護、受けたくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。(○は1 つ)

1	詳しく話し合っている
2	一応話し合っている
3	ほとんど話し合っていない
4	話し合っていない

(→問 44-2 へ進む)

(問 44 で、1 または 2 とお答えの方におたずねします。)

問 44-1 話し合っている相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1	家族・親族	2	友人・知人	3	かかりつけ医・主治医
4	看護師	5	ケアマネジャー	6	ホームヘルパー
7	介護施設職員	8	その他 ( )		

【問 45 へ進んでください】

(問 44 で、3 または 4 とお答えの方におたずねします。)

問 44-2 話し合ったことがない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1	話し合いたくないから
2	話し合う必要性を感じないから
3	話し合うきっかけがなかったから
4	知識がないため、何を話し合っているかわからないから
5	その他 ( )

(すべての方におたずねします。)

問 45 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1 つ)

1	自宅
2	子供など親族の家
3	介護保険で利用できる施設 (特別養護老人ホーム等)
4	サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム・都市型軽費老人ホーム等の高齢者向け住宅
5	ホスピス (緩和ケア病棟)
6	5 以外の医療機関
7	その他 ( )
8	わからない

問 46 終末期および死後の手続き等で不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	死後の公共料金の解約や役所への届け出	2	遺品整理
3	金融機関への連絡	4	所有する不動産に関すること
5	葬儀に関すること	6	相続に関すること
7	お墓に関すること	8	その他 ( )
9	特にない		

◆たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問 47 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(○は3 つまで)

1	安否確認等	2	趣味など世間話の相手
3	介護などの相談相手	4	炊事・洗濯・掃除などの家事
5	ちょっとした買い物	6	子どもの預かり
7	外出の付添い	8	災害時の手助け
9	ごみ出し・雨戸の開け閉め	10	電球交換や簡単な大工仕事
11	その他 ( )	12	特にない

問 48 (高齢者のみならず) 地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(○は3 つまで)

1	安否確認等	2	趣味など世間話の相手
3	介護などの相談相手	4	炊事・洗濯・掃除などの家事
5	ちょっとした買い物	6	子どもの預かり
7	外出の付添い	8	災害時の手助け
9	ごみ出し・雨戸の開け閉め	10	電球交換や簡単な大工仕事
11	認知症の方を見かけたときの声かけ	12	その他 ( )
13	特にない		

問 49 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

1 名称も内容も知っている 2 名称は聞いたことがある 3 初めて聞いた

※成年後見制度：認知症や知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な方々を法律面や生活面で保護・支援する制度で、高齢者に代わって契約を行ったり、財産管理などをする

問 50 あなたやあなたの家族が、判断能力が十分でなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(○は1つ)

1 既に利用している  
2 利用してみたい  
3 制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない  
4 利用方法がわからないため、利用したくない  
5 家族などが支援してくれるため、利用したくない  
6 その他 ( )  
7 わからない

(→問 51へ進む)

(問 50 で、「1 既に利用している」とお答えの方におたずねします。)

問 50-1 あなたの後見人等(成年後見人、保佐人、補助人)はどのような職種・関係の方ですか。(○は1つ)

1 親族 2 弁護士 3 司法書士  
4 社会福祉士 5 法人 6 その他 ( )

問 50-2 どのようなことが理由で成年後見制度を利用することになりましたか。(○は1つ)

1 預貯金等の管理・解約  
2 不動産に関する手続き  
3 医療・介護サービス等の手続き  
4 相続の手続き  
5 保険金の手続き  
6 詐欺被害、親族による虐待等の権利侵害から守るため  
7 その他 ( )

問 50-3 成年後見制度を利用して、問 50-2 の課題や不安は解消しましたか。(○は1つ)

1 解消した 2 おおむね解消した  
3 あまり解消していない 4 解消していない

◆認知症と高齢者の虐待への対応について

(すべての方におたずねします。)

問 51 もし、あなたの周囲で高齢者への虐待がわかったら、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族 2 知人・友人  
3 警察 4 医療機関  
5 地域包括支援センター (旧高齢者相談センター) 6 総合福祉事務所 (区役所)  
7 その他 ( ) 8 わからない

問 52 あなたは、高齢者への虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 介護される側と介護する側の相互理解の促進  
2 地域における見守りやふだんからの声かけ  
3 気軽に相談できる窓口の充実  
4 介護に関する情報提供の充実  
5 認知症に関する理解の促進  
6 介護保険サービスの充実  
7 介護する家族同士の集い  
8 介護者がリフレッシュできる機会の充実  
9 経済的な支援  
10 その他 ( )

問 53 あなたやご家族が認知症ではないかと感じたとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族 2 知人・友人  
3 かかりつけ医 4 精神科などの専門医  
5 ケアマネジャー 6 介護家族の会などの集まり  
7 民生・児童委員 8 地域包括支援センター (旧高齢者相談センター)  
9 保健相談所 10 社会福祉協議会  
11 その他 ( ) 12 相談しない

問 54 あなたは、認知症に関わる施策として、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○は3つまで)

1	認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり
2	医療と介護保険サービスの連携による認知症の人を支える仕組みづくり
3	認知症について正しい知識を得るための講習会や情報提供
4	地域での見守りなど、日常的な支え合い
5	本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備
6	認知症高齢者グループホームの整備など、介護保険サービスの充実
7	介護している家族の負担の軽減
8	認知症予防についての講習会や情報提供
9	介護保険制度や成年後見制度、その他の利用できるサービスに関する情報提供
10	権利擁護センター「ほっとサポートねりま」からの支援
11	その他 ( )
12	特にない

問 55 認知症の兆候を早期に発見できる仕組みとして、どのようなものがあればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	認知症の診断に関する受診費用の助成
2	受診できる医療機関の情報
3	気軽に相談できる窓口
4	簡単に認知症の有無を確認できるチェックシートなどの配布
5	その他 ( )
6	わからない

問 56 区内で実施されている認知症の方や介護家族を支える取組について知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	認知症カフェ	2	認知症家族会
3	認知症サポーター	4	N-impro (ニンプロ)
5	介護なんでも電話相談	6	その他 ( )
7	いずれも知らない		

◆区の保健福祉施策について

問 57 あなたが日常生活で何が困ったことがあった時の相談先はどこですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	家族・親族	2	知人・友人
3	かかりつけ医	4	かかりつけ医以外の医療機関 (薬局等)
5	ケアマネジャー	6	介護家族の会などの集まり
7	民生・児童委員	8	地域包括支援センター (旧高齢者相談センター)
9	保健相談所	10	社会福祉協議会
11	その他 ( )	12	そのような相談先はない

問 58 あなたは老後を楽しく生きていくために必要なのはどのようなことだと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	仕事や家庭内での役割	2	家族の愛情
3	豊かな生活のためのお金	4	何でも相談できる友人・知人
5	打ち込むことのできる趣味や生きがい	6	自分や家族の健康
7	保健福祉などの社会的援助	8	隣近所の助け合い
9	奉仕活動などを通して得られる社会的満足感	10	その他 ( )
11	特にない		

問 59 あなたは、何歳以上が高齢者だと思いますか。(○は1つ)

1	60 歳以上	2	65 歳以上	3	70 歳以上
4	75 歳以上	5	80 歳以上	6	その他 ( )

問 60 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になること等)
2	生計 (経済的に苦しくなること等)
3	防犯・防災 (災害時の避難場所がわからない等)
4	住居 (老朽化、バリアフリーでない等)
5	家族・親族との関係 (連絡を取り合っていない等)
6	隣近所との関係 (困ったときに助け合える間柄でない等)
7	預貯金などの管理
8	1人暮らしになること
9	老後への漠然とした不安
10	その他 ( )
11	不安なことはない

問 61 あなたは、地域包括支援センター (旧高齢者相談センター) をご存知ですか。(○は1つ)

1	現在利用している	2	利用したことがある
3	名前は知っているが、利用したことはない	4	知らない





# 練馬区高齢者基礎調査

## ◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価および高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望などをお聞きするため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの要支援・要介護認定を受けているあるいは総合事業の対象となっている65歳以上の方々から5,000人を無作為に選び、調査票を送付させていただきます。

本調査で得られた情報につきましては、計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年11月 練馬区

## ◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人お一人の回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月20日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、練馬区協働総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係  
 【調査実施・問い合わせ先】 練馬区協働総合研究所 担当：川村、布施、政岡  
 電話：0120-304-603 (フリーダイヤル)  
 受付時間：月曜日～金曜日(平日) 10:00～17:00

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄： )
- 3 その他 ( )

## ◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和元年11月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1 男性				歳
2 女性				

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名		丁目
----	--	----

(記入例) 町名 **光が丘** 丁目 **3**

問3 家族構成をお教えください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- 4 子との2世帯
- 5 親との2世帯
- 6 親・子との3世帯
- 7 その他 ( )

問4 あなたの家の主たる生計者は誰ですか。(○は1つ)

- 1 あて名のご本人
- 2 配偶者
- 3 子
- 4 親
- 5 生活保護を受けている
- 6 その他 ( )

問5 あなたは、高齢者(65歳以上)の家族や親せき等の介護をしていますか。(○は1つ)

- 1 主たる介護者として、同居の家族等を介護している
  - 2 主たる介護者ではないが、同居の家族等を介護している
  - 3 主たる介護者として、別居の家族等を介護している
  - 4 主たる介護者ではないが、別居の家族等を介護している
  - 5 介護していない
- (→次ページの問6へ進む)

(問5で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問5-1 介護を受けている方は介護保険のサービスを利用していますか。(○は1つ)

- 1 利用している
- 2 利用していない
- 3 わからない



問13-2 どのようなことが理由で成年後見制度を利用することになりましたか。(○は1つ)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 預貯金等の管理・解約               |
| 2 | 不動産に関する手続き               |
| 3 | 医療・介護サービス等の手続き           |
| 4 | 相続の手続き                   |
| 5 | 保険金の手続き                  |
| 6 | 詐欺被害、親族による虐待等の権利侵害から守るため |
| 7 | その他 ( )                  |

問13-3 成年後見制度を利用して、問13-2の課題や不安は解消しましたか。(○は1つ)

- |   |            |
|---|------------|
| 1 | 解消した       |
| 2 | おおむね解消した   |
| 3 | あまり解消していない |
| 4 | 解消していない    |

◆住まいについて

(すべての方におたずねします。)

問14 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- |   |               |   |               |   |        |
|---|---------------|---|---------------|---|--------|
| 1 | 持家 (一戸建て)     | 2 | 持家 (集合住宅)     | 3 | 公営賃貸住宅 |
| 4 | 民間賃貸住宅 (一戸建て) | 5 | 民間賃貸住宅 (集合住宅) | 6 | 借家     |
| 7 | その他 ( )       |   |               |   |        |

問15 将来の住まいに関して、不安に感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 高齢期の賃貸を断られる             |
| 2 | 高齢期の賃貸を断られる以外で転居先が決まらない |
| 3 | 虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造 |
| 4 | 世話をしてくれる人の存在            |
| 5 | 家賃等を払い続けられない            |
| 6 | 住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる     |
| 7 | その他 ( )                 |
| 8 | 特にない                    |

問16 今後、あなたのお住まいの中で、心身の状況に合わせ、自宅での生活を営みやすくする目的で改修をしたいところはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                   |    |                 |
|----|-------------------|----|-----------------|
| 1  | 廊下・階段などに手すりをつけたい  | 2  | 玄関や室内の段差をなくしたい  |
| 3  | 床などを滑りにくくしたい      | 4  | 引き戸など開けやすい扉にしたい |
| 5  | 寝室の近くにトイレを作りたい    | 6  | 脱衣場やトイレに暖房を入れない |
| 7  | 台所・洗面所などを使いやすくしたい | 8  | 家具転倒防止器具をつけたい   |
| 9  | 浴室を使いやすくしたい       | 10 | その他 ( )         |
| 11 | 特に改修したいところはない     |    |                 |

問17 下記の高齢者向け住宅・施設で知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                    |   |               |
|---|--------------------|---|---------------|
| 1 | 有料老人ホーム            | 2 | サービス付き高齢者向け住宅 |
| 3 | 都市型軽費老人ホーム         | 4 | 特別養護老人ホーム     |
| 5 | 介護老人保健施設           | 6 | 認知症対応型グループホーム |
| 7 | 上記(1~6)で知っているものはない |   |               |

問18 介護が必要になった場合(介護がすでに必要な方についてはこれから)どのような暮らし方を希望しますか。(○は1つ)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい  |
| 2 | 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい  |
| 3 | 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい  |
| 4 | 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい  |
| 5 | 安否確認サービスの有る住宅(シルバークリア)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい                                    |
| 6 | 安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅(サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい |
| 7 | 介護保険サービスの有る施設・住宅(特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム)に入りたい                      |
| 8 | その他 ( )   |
| 9 | わからない   |

※各住宅・施設の用語説明は、次表をご覧ください。

【高齢者向けの住宅・施設の用語説明一覧】

区分	施設などの名称	概要
住宅	①シルバークリア	バリアフリー化され、緊急通報システムなどが備わっている単身の高齢者または高齢者のみの世帯を対象とした賃貸住宅
	②サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービスなどの付いた高齢者向けの賃貸住宅
施設	③都市型軽費老人ホーム	食事や安否確認のサービスが付いた、身体機能の低下などにより自立した生活に不安がある低所得の高齢者を対象とした施設
	④住宅型有料老人ホーム	食事などの日常生活上のサービスは付くが、介護保険サービスは別契約で外部の事業所を利用する有料老人ホーム
	⑤介護付き有料老人ホーム	介護保険サービスなどが付いた有料老人ホーム。介護が必要になっても、そのホームが提供する介護保険サービスなどを利用できる
	⑥特別養護老人ホーム	常時介護が必要で家庭での生活が困難な人が、介護や身の回りの世話を受けながら生活する施設
	⑦認知症対応型グループホーム	認知症高齢者が少人数で、家庭的な雰囲気のもとで介護や身の回りの世話を受けながら共同生活を送る住まい

◆外出状況や地域での活動について

問 19 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

① 買い物 (○は1つ)

1 ほぼ毎日 2 週4～5日 3 週2～3日 4 週1日 5 週1日未満

② 散歩 (○は1つ)

1 ほぼ毎日 2 週4～5日 3 週2～3日 4 週1日 5 週1日未満

問 20 外出をためらってしまうような問題はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自動車などの運転免許を持っていないこと
- 2 電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと
- 3 以前よりも歩くことが難しくなってきたこと (管信号の間に横断歩道を渡りきれない等)
- 4 道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと
- 5 ベンチや椅子など休める場所が少ないこと
- 6 トイレが少ないこと、使いにくいこと
- 7 けがや病気のこと
- 8 外出したい場所がないこと
- 9 外出する気が起きないこと
- 10 人との関わりが面倒なこと
- 11 一緒に外出する人がいないこと
- 12 お金がないこと
- 13 その他 ( )
- 14 特に問題点はない

問 21 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※① - ⑥それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回 ～3回	月1 回数	年に 参加して いない	
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6

◆健康について

問 22 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1 とてもよい 2 まあよい 3 あまりよくない 4 よくない

問 23 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をしてください)

とても不幸  
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点  
とても幸せ

問 24 1日の食事の回数は何回ですか。(○は1つ)

1 朝・昼・晩の3食 2 朝・晩の2食 3 朝・昼の2食  
4 昼・晩の2食 5 1食 6 その他 ( )

問 25 現在のあなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。(○は1つ)

1 普通 (→問 27へ進む) 2 普通の声やずっと聞き取れる  
3 かなり大きな声なら何とか聞き取れる 4 ほとんど聞こえない

(問 25 で、2～4のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 26 現在、補聴器を使用していますか。(○は1つ)

1 使用している } (→問 27へ進む)  
2 持っているが使用していない }  
3 持っていない

(問 26 で、「3 持っていない」とお答えの方におたずねします。)

問 26-1 補聴器を持っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 補聴器は高額だから  
2 補聴器でどのくらい改善されるかわからないから  
3 補聴器を使用することがわずらわしいから  
4 耳が聞こえにくくなっていることを周知から知られたいから  
5 その他 ( )

(すべての方におたずねします。)

問 27 2019年夏に、暑さで体調に不調を感じたことはありましたか。(○は1つ)

1 不調は感じなかった  
2 不調を感じたが、医療機関は受診しなかった  
3 不調を感じ、医療機関を受診した (救急搬送含む)  
4 覚えていない

問 28 熱中症の予防や対策として実践していることは何ですか。(それぞれ○は1つ)

- |              |         |         |           |        |          |
|--------------|---------|---------|-----------|--------|----------|
| ① 水分摂取       | 1 頻繁に行う | 2 たまに行う | 3 あまり行わない | 4 行わない |          |
| ② 塩分摂取       | 1 頻繁に行う | 2 たまに行う | 3 あまり行わない | 4 行わない |          |
| ③ 涼しい服装を心がける | 1 頻繁に行う | 2 たまに行う | 3 あまり行わない | 4 行わない |          |
| ④ 外出を控える     | 1 頻繁に行う | 2 たまに行う | 3 あまり行わない | 4 行わない |          |
| ⑤ クーラーの使用    | 1 よく使う  | 2 たまに使う | 3 あまり使わない | 4 使わない | 5 持っていない |
| ⑥ 扇風機の使用     | 1 よく使う  | 2 たまに使う | 3 あまり使わない | 4 使わない | 5 持っていない |

◆医療について

問 29 あなたは、自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持っていますか。(それぞれ○は1つ)

- |            |      |       |         |
|------------|------|-------|---------|
| ① かかりつけ医   | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ② かかりつけ歯科医 | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ③ かかりつけ薬局  | 1 ある | 2 ない  | 3 わからない |

問 30 現在、病院・医院(診療所・クリニック)への受診はどのようにされていますか。(○は1つ)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 通院している         | 2 通院と往診の両方を利用している     |
| 3 訪問診療・往診を利用している | 4 受診していない (→問 31 へ進む) |

(問 30 で、1～3のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 30-1 どのくらいの頻度で、病院・医院(診療所・クリニック)を受診していますか。(○は1つ)

- |              |         |         |
|--------------|---------|---------|
| 1 ほぼ毎日       | 2 週4～5日 | 3 週2～3日 |
| 4 週1日        | 5 月2～3回 | 6 月1回程度 |
| 7 2～3か月に1回程度 | 8 その他   |         |

(すべての方におたずねします。)

問 31 あなたは、要介護度が高くなったたり、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になったりした場合でも、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いませんか。(○は1つ)

- |                     |          |         |       |
|---------------------|----------|---------|-------|
| 1 そう思う              | 2 そう思わない | 3 わからない | 4 その他 |
| (→11 ページの 問 32 へ進む) |          |         |       |

(問 31 で、「1 そう思う」とお答えの方におたずねします。)

問 31-1 どのようなサービスや条件を整えば、介護が必要になっても今の家での生活を続けられると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1 24時間 365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる |
| 2 24時間 365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえ                     |
| 3 施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる            |
| 4 認知症に配慮した介護保険サービスが整っている                                       |
| 5 在宅生活ができるよう、専門家にリハビリをしてもらえる                                   |
| 6 デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる                                 |
| 7 段差の解消や手すりなど、住まいの構造や設備がバリアフリーになっている                           |
| 8 配食や買い物、ごみ出しなどの生活面を支援してもらえる                                   |
| 9 困ったときにいつでも身近に相談できる体制が整っている                                   |
| 10 声かけや見守りをしてくれるなど地域の理解や支えがある                                  |
| 11 家族が理解・協力してくれる   |
| 12 その他   |
| 13 特にない  |

問 31-2 あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)

- |          |   |             |
|----------|---|-------------|
| 1 難しいと思う | } | (→問 32 へ進む) |
| 2 可能だと思う |   |             |
| 3 わからない  |   |             |
| 4 その他    |   |             |

(問 31 で「2 そう思わない」、問 31-2 で「1 難しいと思う」とお答えの方におたずねします。)

問 31-3 それはなぜですか。(○は3つまで)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 介護してくれる家族がいらないから            |
| 2 介護してくれる家族などに負担をかけるから        |
| 3 急に病状が変わったときの対応が不安だから        |
| 4 在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから |
| 5 療養できる居住環境(部屋やトイレ等)が整っていないから |
| 6 住診してくれる医師がいらないから            |
| 7 地域の訪問看護・介護体制が整っていないから       |
| 8 経済的な負担が大きいから                |
| 9 特に理由はない                     |
| 10 その他                        |

(すべての方におたずねします。)

問 32 人生の最終段階における受ける医療・介護、受けたくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。(○は1つ)

1	詳しく話し合っている
2	一応話し合っている
3	ほとんど話し合っていない
4	話し合っていない

(→問 32-2へ進む)

(問 32で、1または2のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 32-1 話し合っている相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1	家族・親族	2	友人・知人	3	かかりつけ医・主治医
4	看護師	5	ケアマネジャー	6	ホームヘルパー
7	介護施設職員	8	その他 ( )		

【問 33へ進んでください】

(問 32で、3または4のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 32-2 話し合ったことがない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1	話し合いたくないから
2	話し合う必要性を感じないから
3	話し合うきっかけがなかったから
4	知識がないため、何を話し合っているかわからないから
5	その他 ( )

(すべての方におたずねします。)

問 33 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

1	自宅
2	子供など親族の家
3	介護保険で利用できる施設 (特別養護老人ホーム等)
4	サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム・都市型軽費老人ホーム等の高齢者向け住宅
5	ホスピス (緩和ケア病棟)
6	5以外の医療機関
7	その他 ( )
8	わからない

問 34 終末期および死後の手続き等で不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	死後の公共料金の解約や役所への届け出	2	遺品整理
3	金融機関への連絡	4	所有する不動産に関すること
5	葬儀に関すること	6	相続に関すること
7	お墓に関すること	8	その他 ( )
9	特になし		

## ◆介護保険について

問 35 あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1	要支援 1	2	要支援 2	3	要介護 1	4	要介護 2
5	要介護 3	6	要介護 4	7	要介護 5	8	総合事業対象者
9	わからない						

問 36 あなたが、介護保険の要介護認定 (総合事業対象者の方は健康長寿チェックシートによる判断) を申請した主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1	家事・調理、洗濯、掃除などが負担になってきたから
2	身の回りの行為が困難になってきたから
3	買い物や外出が負担になってきたから
4	通院などに手助けがほしくなってきたから
5	物忘れが進んだから
6	介護保険の施設入所を希望しているから
7	住宅改修または福祉用具購入を利用したいから
8	必要時にサービスを受けたいから
9	自分の要介護度を知りたかったから
10	医師、看護師から勧められたから
11	家族に勧められたから
12	友人・知人などに勧められたから
13	その他 ( )

問 37 あなたが、介護保険の要介護認定を申請した主な原因は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2	心臓病
3	がん (悪性新生物)	4	呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)
5	関節の病気 (リウマチ等)	6	認知症 (アルツハイマー病等)
7	パーキンソン病	8	糖尿病
9	視覚・聴覚障害	10	骨折・転倒
11	脊椎損傷	12	高齢による衰弱
13	その他 ( )	14	わからない

問 38 あなたが現在利用している介護保険サービスのうち、満足しているサービスとその理由を教えてください。介護保険サービスを利用していない場合は、「22 いずれも利用していない」を選択してください。

(あてはまるものすべてに○をつけ、その理由を下の欄の①～⑩から選び、記入してください)

A: 利用しているサービスのうち満足しているサービスすべてに○	B: 満足している理由を下の欄からあてはまるものすべてを選び記入
(記入例) ① 訪問介護	( ① ② ③ )
1 訪問介護	( )
2 訪問入浴介護	( )
3 訪問リハビリテーション	( )
4 訪問看護	( )
5 居宅療養管理指導	( )
6 通所介護 (地域密着型通所介護含む)	( )
7 通所リハビリテーション	( )
8 短期入所生活介護	( )
9 短期入所療養介護	( )
10 特定施設入居者生活介護	( )
11 福祉用具貸与・購入	( )
12 住宅改修	( )
13 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	( )
14 介護老人保健施設	( )
15 介護療養型医療施設	( )
16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	( )
17 夜間対応型訪問介護	( )
18 小規模多機能型居宅介護	( )
19 看護小規模多機能型居宅介護	( )
20 認知症対応型通所介護	( )
21 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	( )
22 いずれも利用していない (→問 40 へ進む)	( )

【満足している理由】

- ① 利用回数や時間が希望にあって
- ② 技術的にしっかりしている
- ③ 料金が安い (適切である)
- ④ 契約内容とおりのサービス提供である
- ⑤ サービスについての説明が十分である
- ⑥ 不満や要望をしっかりと聞いてもらえる
- ⑦ 担当者と気があう
- ⑧ プライバシーへの配慮がしっかりしている
- ⑨ 緊急時に対応してくれる
- ⑩ その他 ( )

問 39 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用していますか。(○は1つ)

- 1 自費負担を含めて限度額以上に利用している } (→問 41 へ進む)
- 2 ほとんど限度額いっぱい利用している
- 3 限度額まで利用していない (→問 39-1 へ進む)
- 4 わからない (→問 41 へ進む)

(問 39 で、「3 限度額まで利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問 39-1 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用中のサービスで間に合っているから
- 2 家族介護により、多く利用せずに済んでいるから
- 3 利用料の負担が大きくなるから
- 4 希望するサービスが利用できないから
- 5 他に利用したいサービスがないから
- 6 その他 ( )

【問 41 へ進んでください】

(問 38 で、「22 いずれも利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問 40 介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 病院や診療所に入院中
- 2 家族などの介護がある
- 3 自分で身の回りのことをするよう努力している
- 4 介護保険サービスを使うほど具合が悪くない
- 5 できるだけ他人の世話になりたくない
- 6 介護保険サービスの使い方がわからない
- 7 利用しようとしたが、事業者から断られた
- 8 使いたい介護保険サービスがない
- 9 近くに介護保険サービス事業者がない
- 10 他人が家に入ることには抵抗がある
- 11 介護保険サービスの料金が高い
- 12 介護保険外のサービスを使っている
- 13 介護保険制度に不満がある
- 14 その他 ( )

【問 44 へ進んでください】



(介護保険サービスを利用されている方におたずねします。)

問 41 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）に満足していますか。(○は1つ)

1	満足している	2	やや満足している	3	ふつう
4	やや不満である	5	不満である		

問 42 あなたは、ケアマネジャーについてどのように感じていますか。次の①～⑨について、あなたの気持ちをお答えください。(○はそれぞれの質問①～⑨に1つ)

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
① (介護予防) ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた	1	2	3
② 複数のサービス事業所を紹介し、選べるようにしてくれる	1	2	3
③ 介護保険以外の練馬区のサービスなどの情報も提供してくれる	1	2	3
④ サービス内容や利用料について、わかりやすく説明してくれる	1	2	3
⑤ 月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる	1	2	3
⑥ サービス事業者との間に入り、連絡や調整を行ってくれる	1	2	3
⑦ 自分の意向と異なる不要なサービスを勧められたことはない	1	2	3
⑧ ケアプラン以外の介護や生活全般についても相談に乗ってくれる	1	2	3
⑨ 家族や友人・知人にも、同じケアマネジャーをお薦めできる	1	2	3

問 43 あなたは、介護保険サービスを利用するようになって変わったことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	体が動くようになった
2	すぐに疲れを感じなくなった
3	筋肉や関節などの痛みが減った、感じなくなった
4	自分もやればできる、という自信がついた
5	食事が楽しくなった
6	一緒に参加する仲間ができた
7	人と接するのがおっくうでなくなった
8	その他( )
9	利用する以前と特にならなくなった点はない

(すべての方におたずねします。)

問 44 介護状態になっても、リハビリをはじめとした様々な介護保険サービスを利用することにより、心身の維持向上に努めることが大切です。要介護度が改善することについて、あなたはどのように考えていますか。(○は1つ)

1	改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい
2	改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安である
3	介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない
4	改善するとは思えない
5	その他( )
6	わからない

問 45 介護保険は、介護が必要になっても、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなが支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1	保険料が今より高くなって、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい
2	施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい
3	サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい
4	わからない

問 46 あなたは、日々の生活の中で介護保険料や健康保険料の負担についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1	保険料が日々の暮らしを圧迫している
2	年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている
3	適正である(この程度の額ならいい)と思う
4	それほど負担とは感じない
5	わからない

問 47 あなたは、介護保険サービスの利用料(食費や娯楽費など実費負担は除く)についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1	負担と感じる	2	多少負担と感じる	3	どちらともいえない
4	それほど負担とは感じない	5	負担とは感じない	6	わからない

◆認知症と高齢者の虐待への対応について

問 48 もし、あなたの周囲で高齢者への虐待がわかったら、どこに相談しますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 家族・親族                   |
| 2 | 知人・友人                   |
| 3 | 警察                      |
| 4 | 医療機関                    |
| 5 | 地域包括支援センター (旧高齢者相談センター) |
| 6 | 総合福祉事務所 (区役所)           |
| 7 | その他 ( )                 |
| 8 | わからない                   |

問 49 あなたは、高齢者への虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |    |                      |
|----|----------------------|
| 1  | 介護される側と介護する側の相互理解の促進 |
| 2  | 地域における見守りやふだんからの声かけ  |
| 3  | 気軽に相談できる窓口の充実        |
| 4  | 介護に関する情報提供の充実        |
| 5  | 認知症に関する理解の促進         |
| 6  | 介護保険サービスの充実          |
| 7  | 介護する家族同士の集い          |
| 8  | 介護者がリフレッシュできる機会の充実   |
| 9  | 経済的な支援               |
| 10 | その他 ( )              |

問 50 あなたやご家族が認知症ではないかと感じたとき、どこに相談しますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |    |                         |
|----|-------------------------|
| 1  | 家族・親族                   |
| 2  | 知人・友人                   |
| 3  | かかりつけ医                  |
| 4  | 精神科などの専門医               |
| 5  | ケアマネジャー                 |
| 6  | 介護家族の会などの集まり            |
| 7  | 民生・児童委員                 |
| 8  | 地域包括支援センター (旧高齢者相談センター) |
| 9  | 保健相談所                   |
| 10 | 社会福祉協議会                 |
| 11 | その他 ( )                 |
| 12 | 相談しない                   |

問 51 あなたは、認知症に関わる施策として、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○は3つまで)

- |    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 1  | 認知症の兆候を早期に見て発見できる仕組みづくり             |
| 2  | 医療と介護保険サービスの連携による認知症の人を支える仕組みづくり    |
| 3  | 認知症について正しい知識を得るための講習会や情報提供          |
| 4  | 地域での見守りなど、日常的な支え合い                  |
| 5  | 本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備         |
| 6  | 認知症高齢者グループホームの整備など、介護保険サービスの充実      |
| 7  | 介護している家族の負担の軽減                      |
| 8  | 認知症予防についての講習会や情報提供                  |
| 9  | 介護保険制度や成年後見制度、その他の利用できるサービスに関する情報提供 |
| 10 | 権利擁護センター「ほっとサポートねりま」からの支援           |
| 11 | その他 ( )                             |
| 12 | 特にない                                |

◆区の保健福祉施策について

問 52 あなたは老後を楽しく生きていくために必要なものはどのようなことだと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |    |                      |
|----|----------------------|
| 1  | 仕事や家庭内での役割           |
| 2  | 家族の愛情                |
| 3  | 豊かな生活のためのお金          |
| 4  | 何でも相談できる友人・知人        |
| 5  | 打ち込むことのできる趣味や生きがい    |
| 6  | 自分や家族の健康             |
| 7  | 保健福祉などの社会的援助         |
| 8  | 隣近所の助け合い             |
| 9  | 奉仕活動などを通して得られる社会的満足感 |
| 10 | その他 ( )              |
| 11 | 特にない                 |

問 53 あなたは、何歳以上が高齢者だと思いますか。(○は1つ)

- |   |        |   |        |   |         |
|---|--------|---|--------|---|---------|
| 1 | 60 歳以上 | 2 | 65 歳以上 | 3 | 70 歳以上  |
| 4 | 75 歳以上 | 5 | 80 歳以上 | 6 | その他 ( ) |

問 54 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                             |
|----|-----------------------------|
| 1  | 健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になること等) |
| 2  | 生計 (経済的に苦しくなること等)           |
| 3  | 防犯・防災 (災害時の避難場所がわからない等)     |
| 4  | 住居 (老朽化、バリアフリーでない等)         |
| 5  | 家族・親族との関係 (連絡を取り合っていない等)    |
| 6  | 隣近所との関係 (困ったときに助け合える間柄でない等) |
| 7  | 預貯金などの管理                    |
| 8  | 1人暮らしになること                  |
| 9  | 老後への漠然とした不安                 |
| 10 | その他 ( )                     |
| 11 | 不安なことはない                    |

問 55 あなたは、地域包括支援センター (旧高齢者相談センター) をご存知ですか。(○は1つ)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 現在利用している            |
| 2 | 利用したことがある           |
| 3 | 名前は知っているが、利用したことはない |
| 4 | 知らない                |

問 56 あなたは、地域包括支援センター (旧高齢者相談センター) にどのような役割を期待しますか。(○は3つまで)

- |    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| 1  | 要支援者などを対象に、適切な介護予防サービスの利用を促進する        |
| 2  | 個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる  |
| 3  | 高齢者の虐待防止・早期対応や権利擁護を図る                 |
| 4  | ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談                   |
| 5  | 地域の関係者が高齢者に関する地域課題などを検討するための地域ケア会議の充実 |
| 6  | 在宅医療・介護連携の推進                          |
| 7  | 認知症の早期発見・早期対応などの認知症施策の推進              |
| 8  | 地域の社会資源の把握・開発および社会資源と人的資源のマッチング体制の整備  |
| 9  | その他 ( )                               |
| 10 | わからない                                 |
| 11 | 特にない                                  |

問 57 あなたは、保健福祉や介護保険に関する知識・情報を何から得ていますか。(○は3つまで)

- |    |                             |
|----|-----------------------------|
| 1  | ねりま区報                       |
| 2  | 練馬区ホームページ                   |
| 3  | 地域包括支援センター (旧高齢者相談センター)     |
| 4  | 「わたしの便利帳」[高齢者の生活ガイド]など区の刊行物 |
| 5  | 高齢者向けホームページ「シニアナビ ねりま」      |
| 6  | 社会福祉協議会の相談窓口                |
| 7  | 回覧板・掲示板                     |
| 8  | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ               |
| 9  | インターネット                     |
| 10 | 家族・友人                       |
| 11 | 病院などの医療機関                   |
| 12 | その他 ( )                     |
| 13 | 特にない                        |

問 58 あなたは、高齢者のための施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。最も力を入れてほしいものを選んでください。(○は3つまで)

1	生きがいづくり・社会参加への支援
2	就労支援
3	健康管理・健康づくりへの支援
4	地域医療の充実
5	要介護状態にならないようにする介護予防・認知症予防の充実
6	公共的建物や道路、公園などのバリアフリー化
7	高齢者が住みやすい住宅への支援
8	寝たきり・要介護の高齢者に対するサービスの充実
9	地域におけるボランティア活動・組織の支援
10	特別養護老人ホームなどの介護施設の整備
11	認知症高齢者の支援
12	定期的な安否確認のための見守り
13	介護している家族への支援
14	防犯・防災対策
15	その他 ( )
16	わからない
17	特にない

問 59 高齢者保健福祉施策や介護保険について、ご意見やご要望がありましたら、下欄にご記入ください。


※次ページからの介護をしている方（介護者）へのアンケートにもご協力をお願いいたします。介護者がいない方は、ここで調査は終了です。  
ご協力ありがとうございます。12月20日（金）までに同封の返信用封筒で返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。  
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

ここからは介護をしている方（介護者）におたずねする質問です。

問 60 主に介護している方は、あて名のご本人のご家族ですか。(○は1つ)  
1 家族である (→問60-1へ進む)  
2 家族ではない →以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(問 60 で「1 家族である」とお答えの方におたずねします。)  
問 60-1 あて名のご本人を主に介護しているご家族の性別・年齢・続柄・健康状態について、あてはまるものをそれぞれに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性	
年齢 (○は1つ)	1 40歳未満	2 40歳代	3 50歳代
	4 60歳代	5 70歳代	6 80歳以上
続柄 (○は1つ) <small>*あて名ご本人からみた続柄でお答えください。</small>	1 夫	2 妻	3 息子
	4 娘	5 子の夫	6 子の妻
	7 親	8 孫	9 兄弟姉妹
	10 その他 ( )		
健康状態 (○は1つ)	1 とてもよい	2 まあよい	
	3 あまりよくない	4 よくない	

問 61 あて名のご本人の介護期間を教えてください。(○は1つ)  
1 1年未満 2 1～3年未満 3 3～5年未満  
4 5～8年未満 5 8～10年未満 6 10年以上

問 62 主に介護している方の就労状況を教えてください。(○は1つ)  
1 正規社員 2 非正規社員 3 パート・アルバイト  
4 無職 5 その他 ( )

問 63 主に介護している方の今後の就労意向を教えてください。(○は1つ)  
1 現在と同様の形で働きたい 2 正規社員として働きたい  
3 非正規社員として働きたい 4 パート・アルバイトとして働きたい  
5 わからない 6 働きたくない

問 64 主に介護をしている方は、あて名のご本人の介護以外に育児(自分の子どもや孫の世話)や他の家族の方の介護もされていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	子(未就学児)の育児をしている	2	孫(未就学児)の世話をしている
3	他の家族の介護もしている	4	本人の介護のみしている
5	その他 ( )		

問 65 あて名のご本人が介護保険サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのような感じですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人がうれしそうにしており、満足である
- 2 サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
- 3 本人よりも介護者の方がサービス利用を嫌やしたい、と感じるときがある
- 4 本人と介護者との、サービス利用について意見が一致しないときがある
- 5 サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容などに不満がある
- 6 本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者としてつらいときがある
- 7 異性のスタッフの対応に不安を感じるときがある
- 8 その他 ( )

問 66 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
- 2 来客の際に気を遣う
- 3 日中、家を空けることに不安を感じる
- 4 本人の言動が理解できないことがある
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
- 6 適切な対応や介護方法がわからない
- 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがある
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかかわからない
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえない
- 10 家の構造が介護をするのに適していない
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)
- 12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない
- 13 身体的につらい(腰痛や胃こり等)
- 14 精神的なストレスがたまっている
- 15 自分の用事を済ませることができない
- 16 自分の自由になる時間が持てない
- 17 先々のことを考える余裕がない
- 18 経済的につらいと感じたときがある
- 19 その他 ( )
- 20 特に困っていることはない

問 67 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 近所の人
- 3 民生・児童委員
- 4 ボランティア
- 5 介護家族の会などの集まり
- 6 社会福祉協議会
- 7 ケアマネジャー
- 8 医師・医療機関
- 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師等
- 10 地域包括支援センター(旧高齢者相談センター)
- 11 その他 ( )
- 12 どこにも(誰にも)相談していない

問 68 主に介護している方自身希望你们ご自身の将来の姿はどのようなものですか。(○は1つ)

- 1 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 2 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 3 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 4 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 5 安否確認サービスの有る住宅(シルバピア)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 6 安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅(サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 7 介護保険サービスの有る施設・住宅(特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム)に入りたい
- 8 その他 ( )
- 9 わからない

問 69 在宅での介護を継続していくうえで、介護者ご自身が受けたい支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 一時入所など、休息や休養を気軽にとれるサービス
- 2 一定期間の入所など、介護者が旅行できるサービス
- 3 介護の悩みを個別に相談できる機会(カウンセリングや相談会など)
- 4 電話や自宅等への訪問による相談の機会
- 5 介護者同士で話ができる機会
- 6 介護の技術が学べる研修・講座
- 7 介護に関する定期的な情報提供サービス
- 8 その他 ( )
- 9 特にない

ご協力ありがとうございました。12月20日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。  
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

# 練馬区高齢者基礎調査

## ◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。  
特別養護老人ホームに入所申し込みをされている皆さまには、待機期間が長期におよび、大変ご不便をおかけしています。

区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。  
この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、特別養護老人ホームの入所待機者の皆さまを対象に、生活場所や申し込みの理由、入所を希望する時期などの現在の状況およびニーズを把握させていただくために実施するものです。  
調査の対象者として、区内にお住まいの特別養護老人ホームの入所待機者の方全員を対象に、調査票を送付させていただきます。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用します。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力いただけますようお願いいたします。  
なお、調査のご回答内容により、待機の順番が変わることはありません。ご理解ください。  
令和元年11月 練馬区

## ◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人お一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ★ 対象者ご本人が不在や体調などの何らかの事情により回答できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1 入院・入所中で意思表示ができない	2 転居	3 その他
--------------------	------	-------

● ご記入いただいた調査票は、**12月20日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

● この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、練日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。  
調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係  
【調査実施・お問い合わせ先】 練日本能率協会総合研究所 担当：川村、布施、政岡  
電話：0120-304-603（フリーダイヤル）  
受付時間：月曜日～金曜日（平日）10：00～17：00

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1	あて名のご本人が記入
2	ご家族が記入（あて名のご本人からみ続柄：）
3	その他（）

## ◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和元年11月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別（○は1つ） ② 年齢（右詰めで記入）

1	男性			歳
2	女性			

問2 あなたの現在のお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名		丁目
----	--	----

（記入例）	【練馬区内の場合】 町名と丁目	光が丘	3	丁目
	【練馬区外の場合】 都道府県から	●●県●●市		丁目

問3 家族構成をお教えください。（○は1つ）

1	1人暮らし	2	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	4	子との2世帯
5	親との2世帯	6	親・子との3世帯
7	その他（）		

問4 あなたの家の主たる生計者は誰ですか。（○は1つ）

1	あて名のご本人	2	配偶者	3	子
4	親	5	生活保護を受けている	6	その他（）

問5 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。（○は1つ）

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

1	大変苦しい	2	やや苦しい
3	ふつう	4	ややゆとりがある
		5	大変ゆとりがある

問7 あなたの年収（配偶者がいる場合はご夫婦を合わせた年収。年金を含む）はどのくらいですか。（○は1つ）

1	100万円未満	2	100～200万円未満	3	200～300万円未満
4	300～400万円未満	5	400～500万円未満	6	500～700万円未満
7	700～1,000万円未満	8	1,000万円以上	9	わからない

問8 あなたの世帯では、次の金融資産を持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 預貯金	2 株式
3 投資信託	4 債権
5 金・銀	6 タンス預金(現金)
7 負債(借入金・住宅ローンなど)	8 いずれも保有していない

問9 あなたの世帯では、どのくらい預貯金がありますか。(○は1つ)

1 100万円未満	2 100～300万円未満	3 300～500万円未満
4 500～700万円未満	5 700～1,000万円未満	6 1,000～1,500万円未満
7 1,500～2,000万円未満	8 2,000～3,000万円未満	9 3,000万円以上
10 わからない		

問10 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つ)

1 自宅(家族などとの同居も含む)	2 介護老人保健施設
3 病院に入院中	4 介護療養型医療施設
5 認知症高齢者グループホーム	6 有料老人ホーム
7 都市型軽費老人ホーム	8 サービス付き高齢者向け住宅
9 特別養護老人ホーム	10 その他( )

[2～10とお答えの方は、問12へ進んでください]

(問10で、「1 自宅(家族などとの同居も含む)」とお答えの方におたずねします。)

問11 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1 持家(一戸建て)	2 持家(集合住宅)
3 公営賃貸住宅	4 民間賃貸住宅(一戸建て)
5 民間賃貸住宅(集合住宅)	6 借家
7 その他( )	

◆あなたの心身の状況について

(すべての方におたずねします。)

問12 あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1 要介護1	2 要介護2	3 要介護3
4 要介護4	5 要介護5	6 わからない

問13 あなたは、現在、次にあげるような医療器具を利用したり、医療処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 胃ろう・経管栄養	2 気管切開
3 インスリン注射	4 尿管カテーテル
5 人工肛門	6 在宅酸素
7 ペースメーカー	8 人工透析
9 たんの吸引	10 褥瘡(床ずれ)の処置
11 その他( )	12 あてはまるものはない

問14 医師から認知症と診断されたことがありますか。(○は1つ)

1 認知症専門医(物忘れ外来、老年内科、精神科、心療内科、神経内科等)に診断されたことがある
2 認知症専門医以外(かかりつけ医等)に診断されたことがある
3 医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある
4 診断されたことはない

◆特別養護老人ホーム入所申し込み状況について

問15 特別養護老人ホームの入所を最初に申し込んだのはいつですか。

西暦  年  月

問16 あなたが入所したい特別養護老人ホームは、どのタイプですか。(○は1つ)

1 多床室(2～4人部屋で、費用が安い)
2 従来型個室(共用のリビングを併設していない個室で、多床室に比べて費用が高い)
3 ユニット型個室(共用のリビングを併設している個室で、従来型個室に比べて費用が高い)
4 どちらでもよい

問17 問16のご回答の理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから
2 希望に合った形の介護を受けられるから
3 費用負担の面を考慮して
4 急な体調の変化など、緊急の際に安心だから
5 入居したいと考えている施設がそのタイプだから
6 なるべく早く入居したいから
7 特にこだわりがないから
8 その他( )

問18 特別養護老人ホームへの入所申し込みはどなたが決定しましたか。(○は1つ)

1 本人	2 夫	3 妻	4 息子
5 娘	6 子の夫	7 子の妻	8 親
9 孫	10 兄弟姉妹	11 その他( )	

問19 入所申し込みをした際に、施設見学はされましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 自分自身が見学に行った
2 家族などが見学に行った
3 家族などと一緒に見学に行った
4 見学に行った施設と行かなかった施設がある
5 見学に行かなかった
6 覚えていない、わからない

問 20 入所申し込みをした際に、「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」(入所順位の指  
数のつけ方が記載された表)は把握しましたか。(○は1つ)

- 1 自分自身で把握した      2 家族などが把握した  
3 把握しなかった      4 覚えていない、わからない

問 21 入所申し込みをした際に、医療行為への対応状況は把握しましたか。(○は1つ)

- 1 自分自身で把握した      2 家族などが把握した  
3 把握した施設としなかった施設がある      4 把握しなかった  
5 覚えていない、わからない

問 22 入所申し込みをした特別養護老人ホームの情報はどこで入手されましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 ケアマネジャー  
2 地域包括支援センター (旧高齢者相談センター)  
3 区役所  
4 入所 (入院) している (いた) 施設職員  
5 医師・医療機関  
6 社会福祉協議会  
7 親族・友人等  
8 インターネット  
9 特別養護老人ホーム  
10 その他 ( )

問 23 特別養護老人ホームへ入所申し込みをした後に、最も欲しい情報(連絡)はどれですか。  
(○は1つ)

- 1 入所申し込みを受け付けた旨とその日付  
2 自身の指数(点数)  
3 待機者のうち、入所の優先度の目安  
4 入所申込書の有効期間(※)  
5 提出した申込書の写し  
6 特に情報は知らない

※練馬区では、平成 26 年 10 月に入所指針の改定を行い、入所申込書に有効期間を設けました。有効  
期間は、入所申込書を提出した時の「要介護度の認定期間」と同じになります。

問 24 入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由は何か。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅から近い  
2 家族が面会に来る際に交通が便利  
3 居室タイプ(多床室、ユニット型等)が希望と合っている  
4 併設のデイサービスなど、同じ法人の介護保険サービスを受けていた  
5 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)  
6 必要な介護保険外サービスが受けられる  
7 必要な医療処置を受けられる  
8 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる  
9 日中のプログラムが充実している  
10 緊急時にも対応が可能である(24時間対応が可能である)  
11 施設の防犯・見守りがしっかりしている  
12 職員が親切で対応が良い  
13 部屋や建物の環境が充実している  
14 見学をして、施設の雰囲気良かった  
15 栄養管理の行き届いた食事が食べられる  
16 おいしい食事が食べられる  
17 料金が安い  
18 最期までいられる(現在の入所施設には期限があるため)  
19 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある  
20 ケアマネジャーに勧められた  
21 知人・友人に勧められた  
22 すぐに入所できそうだから  
23 その他 ( )  
24 特にない

問 25 あなたが特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため  
2 1人暮らしで介護する同居の家族がいないため  
3 家族が働いており、介護する家族がいないため  
4 家族が精神的・身体的に疲れているため  
5 現在の住居がバリアフリー化されていないため  
6 ショートステイ(短期入所生活介護)が必要なくきに使えないため  
7 デイサービス(通所介護)が必要なくきに使えないため  
8 24時間のホームヘルプサービス(訪問介護)が必要なくきに使えないため  
9 現在の在宅サービスの内容に不満があるため  
10 その他 ( )



問 26 あなたが特別養護老人ホームに期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 専門的な介護が受けられること           |
| 2 | 24 時間体制で介護が受けられること       |
| 3 | 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれらること |
| 4 | 防犯、防災面などで安心できること         |
| 5 | 孤独にならないこと                |
| 6 | 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること   |
| 7 | その他 ( )                  |
| 8 | 特にない                     |

問 27 あなたは、区外の特別養護老人ホームに申し込んでいますか。(○は1つ)

- |   |          |   |                     |
|---|----------|---|---------------------|
| 1 | 申し込んでいない | 2 | 申し込んでいない (→問 28へ進む) |
|---|----------|---|---------------------|

(問 27 で、「1 申し込んでいる」とお答えの方におたずねします。)

問 27-1 申し込んでいる特別養護老人ホームはどこにありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |            |   |            |   |         |
|---|------------|---|------------|---|---------|
| 1 | 都内 (23 区外) | 2 | 都内 (23 区外) | 3 | 埼玉県     |
| 4 | 千葉県        | 5 | 神奈川県       | 6 | その他 ( ) |

【問 29 へ進んでください】

(問 27 で、「2 申し込んでいない」とお答えの方におたずねします。)

問 28 区外の特別養護老人ホームに申し込まずに理由は何ですか。(○は1つ)

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 1 | 特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため     |
| 2 | 区内の特別養護老人ホームしか申し込みできないと思っていたため |
| 3 | 区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため |
| 4 | その他 ( )                        |

(すべての方におたずねします。)

問 29 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」という連絡がきた場合、あなたは入所しますか。(○は1つ)

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 1 | すぐに入所する                        |
| 2 | 複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する |
| 3 | すぐには決められない                     |
| 4 | まだ自宅で暮らせるため、お断りする              |

問 30 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」という連絡があった際に、断ったことはありますか。(○は1つ)

- |   |    |   |                |
|---|----|---|----------------|
| 1 | ある | 2 | ない (→問 33 へ進む) |
|---|----|---|----------------|

(問 30 で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問 31 どのような理由で入所の案内を断りましたか。(○は1つ)

- |   |                     |   |                   |
|---|---------------------|---|-------------------|
| 1 | 入院中だったため            | 2 | 通院中だったため          |
| 3 | カゼなどで一時的に体調を崩していたため | 4 | 介護老人保健施設に入所していたため |
| 5 | 介護療養型医療施設に入所していたため  | 6 | まだ自宅で暮らしたかったため    |
| 7 | その他 ( )             |   |                   |

問 32 入所の案内を断ったことは、何回ありますか。(右詰めで記入)

	回
--	---

(すべての方におたずねします。)

問 33 どのくらいの時期に入所を希望しますか。(○は1つ)

- |   |             |   |              |   |              |
|---|-------------|---|--------------|---|--------------|
| 1 | すぐに入所したい    | 2 | 3 か月以内に入所したい | 3 | 6 か月以内に入所したい |
| 4 | 1 年以内に入所したい | 5 | 2 年以内に入所したい  | 6 | その他 ( )      |

問 34 あなたが、現在特別養護老人ホーム以外に申し込みされている施設、もしくは、今後利用を検討している施設などがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                    |   |                  |
|---|--------------------|---|------------------|
| 1 | 介護老人保健施設           | 2 | 一般の病院 (医療保険での入院) |
| 3 | 介護療養型医療施設          | 4 | 認知症高齢者グループホーム    |
| 5 | 有料老人ホーム            | 6 | 都市型軽費老人ホーム       |
| 7 | サービス付き高齢者向け住宅      | 8 | その他 ( )          |
| 9 | 特にない (→問 34-2 へ進む) |   |                  |

(問 34 で、1～8 とお答えの方におたずねします。)

問 34-1 このような施設などを利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | 将来の介護に不安を感じるため         |
| 2 | 1 人暮らしで介護する同居の家族がいないため |
| 3 | 家族が働いており、介護する家族がいないため  |
| 4 | 家族が精神的・身体的に疲れているため     |
| 5 | 現在の住居がバリアフリー化されていないため  |
| 6 | その他 ( )                |

【問 35 へ進んでください】

(問 34 で、「9 特にない」とお答えの方におたずねします。)

問 34-2 このような施設などの申し込みをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため          |
| 2 | 特別養護老人ホーム以外の施設がわからないため              |
| 3 | 特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため           |
| 4 | 特別養護老人ホーム以外の施設では希望するサービスを受けられないため   |
| 5 | 入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだが、現在は自宅で生活できるため |
| 6 | その他 ( )                             |

(すべての方におたずねします。)

問 35 あなたが希望する在宅サービスの提供や制度の充実が見込めるのであれば、自宅での生活を希望しますか。(○は1つ)

- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| 1 | ぜひ、今の家で生活を続けたい                    |
| 2 | 可能な限り今の家で生活を続けたい                  |
| 3 | いつかは特別養護老人ホームに入所したい               |
| 4 | なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい (→問 36 へ進む) |

(問35で、1～3のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問35-1 どのような在宅サービスを利用すれば、今の家での生活を続けられると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる |
| 2  | 24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえらる                   |
| 3  | 施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる           |
| 4  | 認知症に配慮した介護保険サービスが整っている                                      |
| 5  | 在宅生活ができるよう、専門家にリハビリをしてもらえる                                  |
| 6  | デイサービスやショートステイを利用したとき利用できる                                  |
| 7  | 段差の解消や手すりなど、住まいの構造や設備がバリアフリーになっている                          |
| 8  | 配食や買い物、ごみ出しなどの生活面を支援してもらえる                                  |
| 9  | 困ったときにいつでも身近に相談できる体制が整っている                                  |
| 10 | 声かけや見守りをしてくれるなど地域の理解や支えがある                                  |
| 11 | 家族が理解・協力してくれる   |
| 12 | その他 ( )   |
| 13 | 特にない  |

### ◆介護について

(すべての方におたずねします。)

問36 以下の介護保険サービスのうち、現在利用しているサービスに○をつけてください。  
(あてはまるものすべてに○)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 訪問介護 (ホームヘルプサービス)                           |
| 2  | 訪問入浴介護                                      |
| 3  | 訪問リハビリテーション                                 |
| 4  | 訪問看護  |
| 5  | 居宅療養管理指導                                    |
| 6  | 通所介護 (デイサービス、地域密着型通所介護含む)                   |
| 7  | 通所リハビリテーション (デイケア)                          |
| 8  | 短期入所生活介護 (ショートステイ)                          |
| 9  | 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)                       |
| 10 | 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)                      |
| 11 | 福祉用具貸与・購入                                   |
| 12 | 住宅改修  |
| 13 | 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)                        |
| 14 | 介護老人保健施設                                    |
| 15 | 介護療養型医療施設                                   |
| 16 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (24時間対応の訪問サービス)            |
| 17 | 夜間対応型訪問介護                                   |
| 18 | 小規模多機能型居宅介護 (通い・訪問・泊まりなどを組み合わせたサービス)        |
| 19 | 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護に訪問看護を組み合わせたサービス) |
| 20 | 認知症対応型通所介護                                  |
| 21 | 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)                      |
| 22 | いずれも利用していない (→問39へ進む)                       |

〔問 36 で、1～21 とお答えの方におたずねします。〕

問 37 問 36 で○をつけたサービスのうち、満足しているサービスとその理由を教えてください。  
 (あてはまるものすべてに○をつけ、その理由を下の欄の①～⑩から選び、記入してください)

A：利用しているサービスのうち満足しているサービスすべてに○	B：満足している理由を下の欄からあてはまるものすべてを選び記入
(記入例) ① 訪問介護	( ① ② ③ )
1 訪問介護	( )
2 訪問入浴介護	( )
3 訪問リハビリテーション	( )
4 訪問看護	( )
5 居宅療養管理指導	( )
6 通所介護 (地域密着型通所介護含む)	( )
7 通所リハビリテーション	( )
8 短期入所生活介護	( )
9 短期入所療養介護	( )
10 特定施設入居者生活介護	( )
11 福祉用具貸与・購入	( )
12 住宅改修	( )
13 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	( )
14 介護老人保健施設	( )
15 介護療養型医療施設	( )
16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	( )
17 夜間対応型訪問介護	( )
18 小規模多機能型居宅介護	( )
19 看護小規模多機能型居宅介護	( )
20 認知症対応型通所介護	( )
21 認知症対応型共同生活介護	( )

【満足している理由】
①利用回数や時間が希望に合う
②技術的にしっくりしている
③料金が安い (適切である)
④契約内容どおりのサービス提供である
⑤サービスについての説明が十分である
⑥不満や要望をしっかりと聞いてもらえる
⑦担当者との気が合う
⑧プライバシーへの配慮がしっかりしている
⑨緊急時に対応してくれる
⑩その他 ( )

問 38 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用していますか。(○は1つ)

1 自費負担分を含めて限度額以上に利用している	} (→問 39 へ進む)
2 ほとんど限度額いっぱい利用している	
3 限度額まで利用していない	
4 わからない (→問 39 へ進む)	

(問 38 で、「3 限度額まで利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問 38-1 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 利用中のサービスで間に合っているから
2 家族介護により、多く利用せずに済んでいるから
3 利用料の負担が大きくなるから
4 希望するサービスが利用できないから
5 他に利用したいサービスがないから
6 その他 ( )

(すべての方におたずねします。)

問 39 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなが支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1 保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい
2 施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい
3 サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい
4 わからない

問 40 あなたは、日々の生活の中で介護保険料や健康保険料の負担についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 保険料が日々の暮らしを圧迫している
2 年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている
3 それほど負担とは感じない
4 適正である(この程度の額ならいい)と思う
5 わからない

問 41 あなたは、介護保険サービスの利用料 (食費や娯楽費などの実費負担は除く) についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 負担と感じる	2 多少負担と感じる	3 どちらともいえない
4 それほど負担とは感じない	5 負担とは感じない	6 わからない

問 42 人生の最終段階における受ける受ける医療・介護、受けたくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話合っていますか。(○は1つ)

1 詳しく話し合っている	}	(→問 42-2 へ進む)
2 一応話し合っている		
3 ほとんど話し合っていない		
4 話し合っていない		

(問 42 で、1 または 2 のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 42-1 話し合っている相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族	2 友人・知人	3 かかりつけ医・主治医
4 看護師	5 ケアマネジャー	6 ホームヘルパー
7 介護施設職員	8 その他 ( )	

【問 43 へ進んでください】

(問 42 で、3 または 4 のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 42-2 話し合ったことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 話し合いたくないから
2 話し合う必要性を感じないから
3 話し合うきっかけがなかったから
4 知識がないため、何を話し合っているかわからないから
5 その他 ( )

問 45 平成 30 年 12 月～令和元年 11 月の過去 1 年間にショートステイ(短期入所生活介護、もしくは短期入所療養介護)を利用しましたか。(○は1つ)

1 利用した	2 利用していない (→問 49 へ進む)
--------	-----------------------

(問 45 で、「1 利用した」とお答えの方におたずねします。)

問 46 ショートステイの利用目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護者や家族の心身の負担軽減のため
2 介護者や家族の冠婚葬祭、旅行などのため
3 介護者や家族の急病のため
4 認知症への対応のため
5 生活のリズムをつくる(取り戻す)ため
6 夜間の見守りのため
7 閉じこもり状態を防止するため
8 施設の入所待ちのため
9 その他 ( )

問 47 ショートステイは希望している時期に利用できていますか。(○は1つ)

1 利用できている	2 利用できるときが多い	3 どちらともいえない
4 利用できないときが多い	5 利用できない	

問 48 ショートステイは希望している施設を利用できていますか。(○は1つ)

1 利用できている	2 利用できるときが多い	3 どちらともいえない
4 利用できないときが多い	5 利用できない	

◆入所施設の利用状況について

(問 10 で 2～10 のいずれかにお答えの方(現在の生活場所が自宅以外の方)におたずねします。それ以外の方(現在の生活場所が自宅の方)は 17 ページの間 54 へお進みください。)

問 49 現在の入所施設の満足度を教えてください。(○は1つ)

1 満足している	2 少しは満足している	3 どちらともいえない
4 少し不満である	5 不満である	

問 44 終末期および死後の事務で不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 死後の公共料金の解約や役所への届け出	2 遺品整理
3 金融機関への連絡	4 所有する不動産
5 葬儀	6 相続
7 墓	8 その他 ( )
9 特になし	

問50 現在の入所施設の満足な点を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅から近い
- 2 家族が面会に来る際に交通が便利
- 3 居室タイプが希望と合っている
- 4 入所前に利用していた介護保険サービスと同じ法人が運営している
- 5 近隣で同じ法人が運営しているデイサービスなどを利用できる
- 6 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)
- 7 必要な介護保険外サービスが受けられる
- 8 必要な医療処置を受けられる
- 9 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる
- 10 日中のプログラムが充実している
- 11 緊急時にも対応が可能である(24時間対応が可能である)
- 12 施設の防犯・見守りがしっかりしている
- 13 職員が親切で対応が良い
- 14 部屋や建物の環境が充実している
- 15 施設の雰囲気が良い
- 16 栄養管理の行き届いた食事が食べられる
- 17 おいしい食事が食べられる
- 18 料金が安い
- 19 最期までいられる
- 20 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある
- 21 すぐに入所できた
- 22 その他( )
- 23 特にない

問51 現在の入所施設にあるとよいサービスは何ですか。(○は3つまで)

- 1 24時間必要に応じて看護師やヘルパーが来てくれるサービス
- 2 24時間必要に応じて医師が往診してくれるサービス
- 3 リハビリ・レクリエーションなど機能訓練サービス
- 4 医療機関や介護施設(事業者)との連絡調整サービス
- 5 看取りへの対応
- 6 24時間対応可能な相談サービス(コンシェルジュ)
- 7 配食サービス
- 8 家事代行サービス
- 9 買い物や銀行、病院への送迎サービス
- 10 その他( )

問52 現在の入所施設で今後さらに充実を期待することは何ですか。(○は3つまで)

- 1 家族が面会に来やすい(交通が便利)こと
- 2 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)こと
- 3 必要な介護保険外サービスが受けられること
- 4 必要な医療処置を受けられること
- 5 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられること
- 6 日中のプログラムが充実していること
- 7 緊急時にも対応が可能である(24時間対応が可能である)こと
- 8 施設の防犯・見守りがしっかりしていること
- 9 職員が親切で対応が良くなること
- 10 部屋や建物の環境が充実すること
- 11 栄養管理の行き届いた食事が食べられること
- 12 おいしい食事が食べられること
- 13 最期までいられること
- 14 話し相手やクラブ活動など仲間との交流があること
- 15 その他( )
- 16 特にない

問53 現在の入所施設から特別養護老人ホームに移りたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族に負担をかけたくない
- 2 介護者がおらず、将来に不安がある
- 3 自宅から近く、家族が面会に来やすい
- 4 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)
- 5 必要な介護保険外サービスが受けられる
- 6 必要な医療処置を受けられる
- 7 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる
- 8 緊急時にも対応が可能である(24時間対応が可能である)
- 9 施設の防犯・見守りがしっかりしている
- 10 職員が親切で対応が良い
- 11 部屋や建物の環境が充実している
- 12 栄養管理の行き届いた食事が食べられる
- 13 おいしい食事が食べられる
- 14 料金が安い
- 15 最期までいられる(現在の入所施設には期限があるため)
- 16 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある
- 17 その他( )
- 18 特にない



問 61 あて名のご本人が介護保険サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのように感じですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人がうれしそうにしており、満足である
- 2 サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
- 3 本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある
- 4 本人と介護者とで、サービス利用について意見が一致しないときがある
- 5 サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容などに不満がある
- 6 本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者としてつらいときがある
- 7 異性のスタッフの対応に不安を感じる時がある
- 8 その他 ( )

問 62 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
- 2 来客の際に気を遣う
- 3 日中、家を空けることに不安を感じる
- 4 本人の言動が理解できないことがある
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
- 6 適切な対応や介護方法がわからない
- 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがある
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえない
- 10 家の構造が介護をするのに適していない
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)
- 12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない
- 13 身体的につらい(腰痛や肩こり等)
- 14 精神的なストレスがたまっている
- 15 自分の用事を済ませることができない
- 16 自分の自由になる時間が持てない
- 17 先々のことを考える余裕がない
- 18 経済的につらいと感じたときがある
- 19 その他 ( )
- 20 特に困っていることはない

問 63 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 近所の人
- 3 民生・児童委員
- 4 ボランティア
- 5 介護家族の会などの集まり
- 6 社会福祉協議会
- 7 ケアマネジャー
- 8 医師・医療機関
- 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師等
- 10 地域包括支援センター(旧高齢者相談センター)
- 11 その他 ( )
- 12 どこにも(誰にも)相談していない

問 64 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何か。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 働いており介護する家族がいないため
- 3 高齢あるいは病弱で、介護が困難なため
- 4 精神的に疲れているため
- 5 身体的に疲れているため
- 6 在宅サービスを使いたくないため
- 7 地域に十分な介護保険サービス事業者がいないため
- 8 本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため
- 9 ショートステイ(短期入所生活介護)が必要なきに使用しないため
- 10 デイサービス(通所介護)が必要なきに使用しないため
- 11 24時間のホームヘルプ(訪問介護)サービスが必要なきに使用しないため
- 12 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 13 その他 ( )
- 14 特にない

問 65 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームに期待することは何か。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれること
- 4 防犯、防災面などで安心できること
- 5 孤独にならないこと
- 6 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること
- 7 その他 ( )
- 8 特にない

ご協力ありがとうございました。12月20日(金)までに同封の返信用封筒で返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。  
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

# 練馬区介護サービス事業所調査

## ◆ 調査へのご協力のお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、区内で介護保険サービスを提供されているすべての事業所を対象に、事業展開の現状と今後、介護保険制度の見直しなどに関するご意見・ご要望などをお聞きするため実施するものです。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用します。事業所が特定される形の公表や、他の目的での使用はいたしませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年 11 月 練馬区

## ◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票は、送付した封筒の宛名に記載されているサービス種別ごとに発送していただきます。複数の調査票をお届けした事業所においては、お手数ですが、サービス種別ごとに調査票を作成してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 特にことわりのない場合、令和元年 10 月 1 日時点の状況についてご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月20日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- この調査は、㈱日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
【調査委託元】練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係  
【調査実施・問い合わせ先】  
㈱日本能率協会総合研究所 社会政策研究部 担当：川村、布施、政岡  
電話：0120-304-603 受付時間：月曜～金曜（平日）10：00～17：00

## ◆ 機関・組織について

問 1 貴事業所が現在実施しているサービスは、つぎのどれですか。(○は1つ)

- |    |                      |
|----|----------------------|
| 1  | 居宅介護支援               |
| 2  | 訪問介護 (総合事業含む)        |
| 3  | 訪問入浴介護※              |
| 4  | 訪問看護※                |
| 5  | 訪問リハビリテーション※         |
| 6  | 居宅療養管理指導※            |
| 7  | 通所介護 (総合事業含む)        |
| 8  | 通所リハビリテーション※         |
| 9  | 短期入所生活介護※            |
| 10 | 短期入所療養介護※            |
| 11 | 福祉用具貸与・販売※           |
| 12 | 特定施設入居者生活介護※         |
| 13 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護     |
| 14 | 夜間対応型訪問介護            |
| 15 | 認知症対応型通所介護※          |
| 16 | 地域密着型通所介護            |
| 17 | 小規模多機能型居宅介護※         |
| 18 | 看護小規模多機能型居宅介護        |
| 19 | 認知症対応型共同生活介護※        |
| 20 | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 21 | 介護老人福祉施設             |
| 22 | 介護老人保健施設             |
| 23 | 介護療養型医療施設            |
- ※は、介護予防を含む

問 2 運営主体は、つぎのどれですか。(○は1つ)

- |   |                |   |         |   |      |
|---|----------------|---|---------|---|------|
| 1 | 企業(株式会社・有限会社等) | 2 | 社会福祉法人  | 3 | 医療法人 |
| 4 | NPO法人          | 5 | その他 ( ) |   |      |

問 3 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)

開設時期 西暦  年  月

問 4 貴事業所の住所地に該当する日常生活圏域は、つぎのどれですか。(○は1つ)

- |   |      |   |       |   |       |   |      |
|---|------|---|-------|---|-------|---|------|
| 1 | 練馬圏域 | 2 | 光が丘圏域 | 3 | 石神井圏域 | 4 | 大泉圏域 |
|---|------|---|-------|---|-------|---|------|



問 5 貴事業所の従業員数を教えてください。(法人の従業員数ではありません。)  
(具体的に記入。換算数は小数点第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上)

- ① 常勤専従・・・ 人  
 ② 常勤兼務・・・ 人 ⇒換算数 人  
 ③ 非常勤・・・ 人 ⇒換算数 人

※厚生労働省が実施する「介護サービス施設・事業所調査」で回答された各職種の従事者数のページのコピーを返信用封筒に同封いただくか、従事者数の合計(専務の数は除外)を上表の表に記入してください。調査票は、9月下旬～11月上旬にお手元にお手元が届く予定となっております。ただし、訪問介護、通所介護、居宅介護支援、介護予防支援の事業所については全事業所を調査対象としないため、調査票が届かない場合もあります。

※詳細は、厚生労働省ホームページをご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/soshiki/toukei/fukushikaiigochousa.html>

※雇用形態に関わらず、施設・事業所が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)のすべてを勤務する場合は「常勤」、勤務しない場合は「非常勤」としてください。

※常勤兼務には、「常勤専従」分は含めません。

※換算数は次の式により求められます。

$$\text{換算数} = \frac{\text{従事者の1週間の勤務延長時間(残業除く)}}{\text{当該施設・事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)}}$$

問 6～問 27 は、居宅介護支援事業所の方への質問です。居宅介護支援事業所以外の方は8ページの間28へ進んでください。

**居宅介護支援事業所の方にお聞きします。**

問 6 地域密着型サービスのうち、今後さらに整備が必要と思われるサービスはどれですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
 2 夜間対応型訪問介護  
 3 認知症対応型通所介護  
 4 地域密着型通所介護  
 5 小規模多機能型居宅介護  
 6 看護小規模多機能型居宅介護  
 7 認知症対応型共同生活介護  
 8 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護  
 9 特に必要はない

問 7 小規模多機能型居宅介護の利用者数(需要)に対する事業所数(供給)の関係について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 事業所が多すぎる 2 事業所がやや多い 3 適正な事業所数である  
 4 事業所がやや不足している 5 事業所が不足している

問 8 看護小規模多機能型居宅介護の利用者数(需要)に対する事業所数(供給)の関係について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 事業所が多すぎる 2 事業所がやや多い 3 適正な事業所数である  
 4 事業所がやや不足している 5 事業所が不足している

問 9 貴事業所では、(看護)小規模多機能型居宅介護には、どのように対応していますか。(○は1つ)

- 1 利用者からの問い合わせがあった場合は、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている  
 2 利用者からの問い合わせがあった場合は、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している  
 3 自法人内で実施しているので、まずそこを紹介している  
 4 基本的に(看護)小規模多機能型居宅介護は紹介せず、複数のサービスを組み合わせるなどにより対応している  
 5 その他( )  
 6 特に具体的な対応はしていない

問 10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者数(需要)に対する事業所数(供給)の関係について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 事業所が多すぎる 2 事業所がやや多い  
 3 適正な事業所数である 4 事業所がやや不足している  
 5 事業所が不足している

問 11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題は何だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用者がサービスの内容や利用方法を知らない  
 2 ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない  
 3 ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない  
 4 要支援1・2の方の利用がでない  
 5 夜間対応型訪問介護のサービスで十分である  
 6 夜間の訪問介護のニーズは少ない  
 7 利用者の家の鍵を事業所に預けるなど、夜間に事業者が訪問することに不安がある  
 8 よくわからない  
 9 その他( )

問 12 区内のケアマネジャーの質についてどのように感じていますか（貴事業所のケアマネジャーを含む）。（○は1つ）

1	利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができています
2	概ね利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができています
3	利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない
4	個人による差が大きく、一概には言えない
5	その他（
6	わからない）

問 13 自立・軽度化への取組について、どのような課題を感じていますか。（○は1つ）

1	利用者の意欲がない
2	介護保険サービスの支給限度額が低くなることを利用者が好まない
3	自立・軽度化の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない
4	その他（

問 14 ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思われることは何ですか。

1	レベルや経験年数、テーマ別の研修	2	事業所でのOJT（職場内研修）
3	ベテランのケアマネジャーによる指導	4	事例を使った検討会
5	個人の意識の向上	6	主任ケアマネジャーの質の向上
7	その他（		）

問 15 貴事業所のケアマネジャーの質の向上における課題は何ですか。

1	業務多忙のため、研修を受講する時間がない
2	講師、内容、費用などの面で魅力的な研修内容がない
3	事業所でのOJT（職場内研修）の体制が整っていない
4	地域の課題を把握しきれっていない
5	その他（

問 16 貴事業所では、地域包括支援センターとどのような連携をとっていますか。

1	地域支援事業での連携
2	介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談
3	地域における介護支援専門員のネットワーク
4	支援困難事例についての個別指導・相談
5	支援を必要とする高齢者の早期発見・情報共有
6	高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換等
7	その他（
8	特にならない）

問 17 医療機関との入退院支援・調整における課題を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1	医療機関によって、入退院支援・調整の対応が異なる
2	入院時に、医療機関に対して十分な情報提供ができていない
3	退院前カンファレンスが十分にできていない
4	退院時に、医療機関から十分な情報提供がない
5	退院時に、利用者・家族が病状等について十分に理解できていない
6	退院時に、在宅医と円滑な連携がとれていない
7	転院時の調整ができていない
8	その他（
9	特にならない）

問 18 認知症グループホームの利用者数（需要）に対する事業所数（供給）の関係について、どのように感じますか。（○は1つ）

1	施設が多すぎる	2	施設がやや多い
3	適正な施設数である	4	施設がやや不足している
5	施設が不足している		

問 19 令和元年10月1日時点の利用者数のうち、認知症による徘徊行動のある人は何人いますか。（具体的に記入）

利用者のうち認知症による徘徊行動のある人・・・  人

問 20 訪問看護ステーションの利用者数（需要）に対する事業所数（供給）の関係について、どのように感じますか。（○は1つ）

1	事業所が多すぎる	2	事業所がやや多い
3	適正な事業所数である	4	事業所がやや不足している
5	事業所が不足している		

問 21 通所介護（地域密着型通所介護を含む）の利用者数（需要）に対する事業所数（供給）の関係について、どのように感じますか。（○は1つ）

1	事業所が多すぎる	2	事業所がやや多い
3	適正な事業所数である	4	事業所がやや不足している
5	事業所が不足している		

問 22 ショートステイの利用者数（需要）に対する施設数（供給）の関係について、どのように感じますか。（○は1つ）

1	施設が多すぎる	2	施設がやや多い
3	適正な施設数である	4	施設がやや不足している
5	施設が不足している		

問 23 都市型軽費老人ホームの利用者数(需要)に対する施設数(供給)の関係について、どのように思われますか。(○は1つ)

1 施設が多すぎる	2 施設がやや多い
3 適正な施設数である	4 施設がやや不足している
5 施設が不足している	

問 24 在宅での看取りに関わった経験はありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

問 25 在宅での看取りにおいて、連携できる医師は複数いますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

問 26 今後、在宅での看取りのケースを増やしていけると思えますか。(○は1つ)

1 非常にそう思う	2 そう思う	3 どちらとも言えない
4 そう思わない	5 全くそう思わない	

問 26-1 前問を選んだ理由をご記入ください。


問 27 貴事業所で介護保険外サービスをケアプランに盛り込んでいる利用者(練馬区民以外も含む)は何人いますか。(要介護別に具体的に記入)

① 要支援1・・・	人	② 要支援2・・・	人
③ 要介護1・・・	人	④ 要介護2・・・	人
⑤ 要介護3・・・	人	⑥ 要介護4・・・	人
⑦ 要介護5・・・	人	⑧ 総合事業対象者・	人

**すべての事業所の方にお聞きします。**

問 28 令和元年10月1日時点の貴事業所の利用者数(練馬区民以外も含む)について、要介護度別に記入してください。(具体的に記入)

① 要支援1・・・	人	② 要支援2・・・	人
③ 要介護1・・・	人	④ 要介護2・・・	人
⑤ 要介護3・・・	人	⑥ 要介護4・・・	人
⑦ 要介護5・・・	人	⑧ 総合事業対象者・	人

問 29 上記の利用者は、平成30年10月1日時点と比較して、要介護度どのように変化していますか。

(例) 要介護3から要介護2へ変化した場合は「改善」として、人数を計算してください)			
① 改善・・・	人	② 維持・・・	人
③ 悪化・・・	人		

**◆苦情対応について**

問 30 サービス提供困難時(利用者からの過大な要求等)には、どのように対応していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 関係する事業所(居宅介護支援事業部等)に連絡を取り、適切な対応を図っている	
2 行政などと連携をとり、適切な対応を図っている	
3 他の指定介護事業所を紹介している	
4 その他( )	

問 31 直近1年間で、利用者からどのような苦情を受けましたか。(○は3つまで)

1 サービス利用時間が短い	2 サービス利用回数が少ない(減った)
3 サービスの種類が少ない	4 サービス内容に不満がある
5 サービスが利用しづらい	6 サービス提供スタッフに不満がある
7 その他( )	8 特に目立つ苦情はない

問 32 寄せられた苦情をどのように対応しましたか。(○は1つ)

1 事業所内ではほぼ対応した
2 内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した
3 その他( )

◆サービスの質の向上について

問 33 貴事業所では、サービスの第三者評価を受審していますか。つぎのうち、受審された種類をお答えください。

(○は1つ) (あてはまるものすべてに○)

1	受審している	➡ (受審した評価方式)	1	東京都福祉サービス評価機構
2	受審していない		2	その他 ( )

問 34 サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
2	事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている
3	利用者や家族に対し満足度調査を行っている
4	積極的に外部評価を受けている (ISO、第三者評価等)
5	独自の自己評価を実施している
6	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
7	現場のスタッフが自発的に多問題事例 (介護以外の生活問題等) に関するケース検討会などを行っている
8	現場スタッフに任せている
9	意見箱を設置している
10	各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加
11	その他 ( )
12	特に行っていない

問 35 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る事故 (例：転倒・誤嚥) について、貴事業所で事故防止や、同様の事故を繰り返さないために講じている取組はどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	事故防止マニュアルの作成	2	事故防止研修の実施
3	ヒヤリ・ハット報告の徹底	4	事故発生時の対応マニュアルの作成
5	応急処置技能研修の実施	6	感染症予防マニュアルの作成
7	その他 ( )	8	特にない

◆事業所運営について

問 36 令和元年 10 月 1 日時点の貴事業所の定員数と稼働状況についてお答えください。(具体的に記入。サービス種別によっては、定員を登録と読み替えてお答えください。時間帯によって利用者を入れ替えている場合は、合計の人数で記入してください。定員・登録とにもないサービス種別については定員数に「-」を記入してください。)

①定員数・・・ 人      ②定員数のうちの平均利用者数・・・ 人

問 37 貴事業所では、介護保険外サービスを提供していますか。(○は1つ)

1 提供している    2 提供を検討している    3 提供していない (-問 39へ進む)

(問 37 で1または2と回答した事業所におたずねします。)

問 38 つぎの介護保険外サービスのうち、貴事業所で提供あるいは提供を検討しているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	介護保険サービスの乗せ・付加価値付与サービス (支給限度基準額を超えて利用したサービス、介護保険サービスに付加価値をつけるサービス)
2	家事援助等サービス (掃除、洗濯、調理、買い物などの代行、ごみ出し、簡単な大工仕事、庭仕事、ベットの散歩等)
3	訪問サービス (訪問理美容サービス、訪問マッサージ、訪問趣味講座、訪問生活健康相談等)
4	配食サービス (調理した食事を居住地(自宅や施設等)まで配達するサービス)
5	物販等サービス (日常生活用品や食材の通信販売・移動販売又は貸与・お届け等)
6	安否確認・緊急通報サービス (定期訪問サービス、定期的な電話サービス、緊急通報・安否確認機器販売・貸与・設置)
7	移動支援・付き添いサービス (移送サービス、通院・入院・外出付き添い等)
8	通い・サロンサービス (喫茶・レストラン・会食サービス、生活健康講座・相談・指導サービス、趣味講座・レクリエーション等)
9	金銭管理・契約代行サービス (成年後見、葬儀対応、残存家財整理、身元保証支援、金銭管理に関わる支援等)
10	その他 ( )

(すべての事業所におたずねします。)

問 39 貴事業所では、要医療、認知症、障害などを有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	専門スタッフを配置している
2	専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている
3	人材の募集・確保を図っている
4	その他 ( )
5	特段の対応は図っていない

問 40 貴事業所では、要介護者が在宅生活を継続するためにどのような条件が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1	専門的なサービスの開発と提供	2	現行のサービス提供量の拡大
3	利用者本人の自立生活志向を高める支援	4	介護者の身体的・精神的な負担の軽減
5	地域保健福祉関係機関との連携	6	訪問診療可能なかかりつけ医の存在
7	新サービスの創設(24 時間対応サービス等)	8	その他 ( )

問 41 貴事業所では、ターミナルケアへの対応はどのようなようにお考えですか。(○は1つ)

1	すでに実施している	2	検討段階である
3	対応は考えていない	4	その他 ( )

問 42 貴事業所では、介護職員によるたんの吸引および経管栄養などの医療的ケアへの対応はどのようなにお考えですか。(○は1つ)

1	すでに実施している	2	検討段階である
3	対応は考えていない	4	その他 ( )

問 43 ACPについて、どのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	利用者と話し合いをしている	2	事業所内で勉強会等を実施している
3	事業所外の勉強会等に参加している	4	取組に向けて準備をしている
5	その他 ( )	6	特に取り組んでいない

※ ACP (人生会議) について

ACP (アドバンス・ケア・プランニング：人生会議) とは、「自らが望む人生の最終段階の医療・介護について、前もって考え、家族や医療・介護スタッフ等と繰り返し話し合い共有すること」です。

問 44 医療機関との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
2	住診をしてくれる医師・医療機関がある
3	急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している
4	提携病院があり、入院を受け入れてもらっている
5	職員への研修講師などをお願いしている
6	ケースカンファレンスへの参加
7	緊急時の対応
8	その他 ( )
9	法人内で医療機関も経営しており、連携の問題はない
10	特にない

問 45 医療機関との連携を進める上での課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	医療機関の協力が得られない
2	情報共有システムが確立されていない
3	共有すべき情報がわからない
4	連携のための事務負担が大きいの
5	連携の必要性を感じていない
6	個人情報保護に基づく情報提供の同意手続きが難しい
7	その他 ( )

問 46 地震や風水害などの大規模災害が発生した際の利用者の安否確認などについて、どのような取組を考えていますか。(○は1つ)

1	現時点においては取組を考えていない	} (→問 47 へ進む)
2	取組を行う予定はあるが、まだ検討していない	
3	検討を始めている	
4	すでに取組を行っている	

(問 46 で、3 または 4 とお答えの事業所におたずねします。)

問 46-1 取組の内容をお教えください。(あてはまるものすべてに○)

1	安否確認手順書の作成	2	安否確認の対象者名簿の作成
3	安否確認訓練の実施	4	その他 ( )

問 51 平成 30 年度 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)における介護事業収入に占める人件費 (労働保険、社会保険料を含む。)の割合と派遣料金の割合をそれぞれ概算の数値で回答してください。(整数で記入)

介護事業収入に占める人件費の割合  %  
 介護事業収入に占める派遣料金の割合  %

※外注費や派遣料金などの委託費は含めない

◆介護予防・日常生活支援総合事業について

問 52 練馬区では、平成 27 年 4 月から介護予防・日常生活支援総合事業に移行していましたが、どのような効果を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 健康長寿チェックシートにより、利用者へ迅速なサービスが提供できる
- 2 サービスの種類・単価など、利用者の選択肢が増えた
- 3 一定の研修を受けた訪問サービス従事者など、新たな介護の担い手を発掘できる
- 4 事業所の介護人材が要介護度のより重度な方へ移行できる
- 5 練馬区の地域特性に応じたサービスを提供できる
- 6 その他 ( )

問 53 多様なサービスの提供が新しい総合事業への移行の一つの目的ですが、今後、練馬区でより充実を図っていくべき多様なサービスはどのようなものだと思いますか。自由に記入ください。

.....  
 .....  
 .....  
 .....  
 .....

(すべての事業所におたずねします。)

問 47 事業を運営する上での課題は何ですか。(○は 3 つまで)

- 1 新規利用者の獲得が困難
- 2 利用者 1 人あたりの利用料が少ない
- 3 設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない
- 4 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない
- 5 利用者の身体状況の把握が難しい
- 6 利用者からの苦情や事故への対応
- 7 訪問や送迎が非効率 (エリアが広い等)
- 8 入居者の認知症が重度化した場合の対応
- 9 スタッフの確保
- 10 スタッフが短時間で離職してしまう
- 11 スタッフの人材育成
- 12 責任者など中堅人材の確保・育成
- 13 他のサービス事業所との競合が激しい
- 14 他職種との連携
- 15 他のサービス事業所との連携
- 16 医療機関との連携
- 17 介護報酬が低い
- 18 その他 ( )
- 19 特に課題はない

問 48 貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)の発生状況について、どのようにして把握していますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

- 1 従業員からの報告
- 2 従業員の相談・苦情窓口
- 3 介護記録等の確認
- 4 事業所内の会議等
- 5 その他 ( )
- 6 特に把握していない (→問 50 へ進む)

(問 48 で、1～5 のいずれかをお答えの事業所におたずねします。)

問 49 過去 1 年間に、貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)について、従業員等から相談や報告等はありませんか。(○は 1 つ)

- 1 あった
- 2 なかった
- 3 把握していない

(すべての事業所におたずねします。)

問 50 ハラスメントに対して、区に期待する支援は何ですか。(○は 1 つ)

- 1 区民(利用者・家族等)への啓発
- 2 ハラスメント対策のマニュアル整備
- 3 ハラスメント対策の研修
- 4 相談体制の構築
- 5 その他 ( )
- 6 特にない

◆地域との関わりについて

問 54 貴事業所では、地域の各種団体や組織（民生・児童委員、町会・自治会、地区社協等）との関わりはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 事業所（施設も含む）の近隣の団体や組織との関わりがある |
| 2 | 利用者の居住地域の団体や組織との関わりがある      |
| 3 | 特にない（→問 55 へ進む）             |

（問 54 で、1 または 2 とお答えの事業所におたずねします。）

問 54-1 それは、どのような団体・組織ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |               |   |               |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | 民生・児童委員       | 2 | 町会・自治会        |
| 3 | 小・中学校         | 4 | 老人クラブ         |
| 5 | 社会福祉協議会       | 6 | 商店、商店街        |
| 7 | ボランティア・NPO 団体 | 8 | マンション・団地の管理組合 |
| 9 | その他（          |   | ）             |

問 54-2 問 54-1 の団体・組織とは、どのように関わっていますか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有 |
| 2 | 地域の集まりへの参加              |
| 3 | 事業所側の催しへの招待（施設内の行事等）    |
| 4 | 事業所（施設）内の機能の開放（会議室等）    |
| 5 | その他（                    |
|   | ）                       |

（すべての事業所におたずねします。）

問 55 貴事業所で受け入れているボランティアの人数についておたずねします。直近 1 カ月間に受け入れたボランティア人数（延べ人数、短期/長期は問わない）をお答えください。（具体的に記入）

- ① ボランティア人数・・・・・・・・・・・・・・・・人
- ② ボランティア人数のうちの高齢者数・・・・人

問 56 貴事業所でボランティアを受け入れる際の課題は何ですか。（○は 3 つまで）

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | プライバシーや個人情報保護が難しい    |
| 2 | ボランティアに任せると業務の決定が難しい |
| 3 | 個人の差が大きく業務を教えることが難しい |
| 4 | 受け入れ体制（指導・監督）が整えられない |
| 5 | 利用者や家族からの信頼を得られない    |
| 6 | 募集してもボランティアが集まらない    |
| 7 | ボランティアの確保・手続きがわからない  |
| 8 | その他（                 |
| 9 | ボランティアを受け入れる予定はない    |

問 57 練馬区介護サービス事業者連絡協議会（区内介護サービス事業所で構成される団体）に期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | サービスの質の向上に関する取組     |
| 2 | 区や事業者間の連携強化に関する取組   |
| 3 | 介護従事者の労働環境の向上に関する取組 |
| 4 | 職員の質の向上のための研修の充実    |
| 5 | その他（                |
| 6 | 特にない                |

◆人材の確保・育成について

問 58 貴事業所の職員の過不足状況についておたずねします。(○は1つ)

1 過剰      2 適正      3 やや不足      4 不足      5 大いに不足

問 59 過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の介護職員の採用者数と離職者数を回答してください。介護職員とは、賃金の支払いを受けている方に限り、ボランティアの方は含みません。(数値を記入)

採用者数  人      離職者数  人

問 60 前問の採用者・離職者について、正規・非正規の別、年齢別に人数を回答してください。「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。(数値を記入)

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	人	人	人	人
20～29歳	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人
60～69歳	人	人	人	人
70～79歳	人	人	人	人
年齢不明	人	人	人	人

問 61 貴事業所では、介護人材の確保については、どのように取り組んでいますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 新聞広告などに求人募集を出す

2 ハローワークなどに求人募集を出す

3 練馬介護人材育成・研修センターの仕事セミナーや面接会に参加する

4 大学、専門学校などに求人募集を出す

5 知人など関係者からの紹介

6 他事業所や施設の職員などを勧誘

7 その他 (  )

問 62 貴事業所において、特に確保の困難な職種3つと、その不足数についておたずねします。(3つの職種を下欄に記入し、その職種の不足人数を具体的に記入)

1	サービス提供責任者	2	介護支援専門員
3	ホームヘルパー	4	介護職(ヘルパーおよび介護福祉士以外)
5	保健師	6	看護師・准看護師
7	社会福祉士	8	介護福祉士
9	理学療法士	10	作業療法士
11	言語聴覚士	12	管理栄養士
13	事務職員	14	相談員
15	医師	16	栄養士
17	薬剤師	18	その他 ( <input type="text"/> )

① (  ) 人      ② (  ) 人      ③ (  ) 人

(記入例) ① 1 ( 2 人 )      ② 3 ( 5 ) 人      ③ 4 ( 3 ) 人

問 63 貴事業所では、どのような研修や資格取得支援などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	事業所内での新規人材確保などのための資格取得支援の研修(採用前)
2	事業所内での採用時研修(新任研修)
3	事業所内での資格取得支援の研修(既採用職員向け)
4	事業所内での定期的な現任研修の実施
5	事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会
6	練馬介護人材育成・研修センターが実施する研修などへの参加を奨励
7	練馬ケアマネジャー連络会が実施する研修などへの参加を奨励
8	練馬区介護サービス事業者連絡協議会が実施する研修などへの参加を奨励
9	地域包括支援センターが実施する研修などへの参加を奨励
10	東京都社会福祉協議会が実施している研修などへの参加を奨励
11	その他民間団体が実施している研修などへの参加を奨励
12	研修などへ参加する際に、業務として勤務時間中に参加させている
13	有料の研修などへ参加する際の受講費用を補助
14	資格試験に合格した場合、受験料や登録費用などを補助
15	その他 ( <input type="text"/> )



問64 従業員の研修・教育などに関して困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                         |
|----|-------------------------|
| 1  | 人材育成のための時間がない           |
| 2  | 人材育成のための費用に余裕がない        |
| 3  | 従業員の自己啓発への意欲が低い         |
| 4  | 事業者や法人内における人材育成の優先順位が低い |
| 5  | 指導をできる人材が少ない、または、いない    |
| 6  | 採用時期が別々で効率的な育成ができない     |
| 7  | 育成してもすぐに辞めてしまう          |
| 8  | 研修を受講させる人的な余裕がない        |
| 9  | その他 ( )                 |
| 10 | 特になし                    |

問65 貴事業所では、従業員の早期離職防止や定着促進のためにどのような方策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                                 |
|----|---------------------------------|
| 1  | 労働時間 (時間帯・総労働時間) の希望を聞いている      |
| 2  | 育児・介護などの休暇制度の活用を奨励している          |
| 3  | 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映している          |
| 4  | 心身の健康管理に力を入れている                 |
| 5  | 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている          |
| 6  | キャリアに応じた給与体系を整備している             |
| 7  | 新人の指導担当・アドバイザーを置いている            |
| 8  | 子育て支援 (託児所を設ける、保育費用の助成等) を行っている |
| 9  | その他 ( )                         |
| 10 | 特に何もししていない                      |

問66 貴事業所では、令和元年10月に新設された特定処遇改善加算を取得していますか。(○は1つ)

- |   |         |
|---|---------|
| 1 | 取得している  |
| 2 | 取得していない |

【1とお答えの事業所は問67へ進んでください】

(問66で、「2 取得していない」とお答えの事業所におたずねします。)

問66-1 取得していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | 既存の処遇改善加算が取得できていないから |
| 2 | 職場環境等要件を満たせないから      |
| 3 | 書類手続きなどが複雑だから        |
| 4 | 日常の業務が忙しいから          |
| 5 | その他 ( )              |
| 6 | 特に理由はない              |
| 7 | 算定対象外のため             |

(すべての事業所におたずねします。)

問67 貴事業所はキャリアパスを作成していますか。(○は1つ)

- |   |         |
|---|---------|
| 1 | 作成している  |
| 2 | 作成していない |

(問67で、「2 作成していない」とお答えの事業所におたずねします。)

問67-1 作成していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 | 書類手続などが複雑だから   |
| 2 | 書類の書き方がわからないから |
| 3 | 日常の業務が忙しいから    |
| 4 | 加算の必要性を感じないから  |
| 5 | 法人規模などにならないから  |
| 6 | その他 ( )        |

(すべての事業所におたずねします。)

問68 貴事業所の介護ロボットの活用状況についておたずねします。(○は1つ)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 既に導入済みである           |
| 2 | 今後、導入予定である          |
| 3 | 導入に向けて検討中である        |
| 4 | 関心はあるが、具体的な検討はしていない |
| 5 | 導入の予定はない            |
| 6 | わからない               |

※ロボット：①情報を感じ(センサー系)、②判断し(知能・制御系)、③動作する(駆動系)、3つの要素技術を有する、知能化した機械システムを指す。ロボット技術が応用され利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器を介護ロボットという。

問69 介護ロボットなどの導入や利用についてどのような課題・問題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |                                      |
|----|--------------------------------------|
| 1  | 導入する予算がない                            |
| 2  | どのような介護ロボットがあるかわからない                 |
| 3  | ケアに介護ロボット自体を活用することに違和感を覚える           |
| 4  | 技術的に使いこなせるか心配である                     |
| 5  | 誤作動の不安がある                            |
| 6  | 設置や保管等に場所をとられてしまう                    |
| 7  | 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である                |
| 8  | 投資に見合うだけの効果がない                       |
| 9  | 介護現場の実態に合う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない |
| 10 | その他 ( )                              |
| 11 | 課題・問題は特になし                           |

問70 令和元年11月1日現在、貴事業所の外国人介護人材の人数を在留資格別に教えてください。正期・非正規等の雇用形態は問いません。また、日本に帰化された方は含みません。(数値を記入、いない場合は「0」と記入)

- |   |                               |   |
|---|-------------------------------|---|
| ① | EPAに基づく外国人介護福祉士候補者、EPA資格取得者   | 人 |
| ② | 日本の介護福祉士養成校を卒業した留資格「介護」をもつ外国人 | 人 |
| ③ | 技能実習制度を活用した外国人                | 人 |
| ④ | 在留資格「特定技能1号」を持つ外国人            | 人 |
| ⑤ | 外国人留学生・就学生                    | 人 |
| ⑥ | 日本人や永住者の配偶者                   | 人 |
| ⑦ | その他 ( )                       | 人 |



◆介護保険制度改正について

問 77 平成 30 年 4 月の介護保険制度改正による影響はありましたか。(○は3つまで)

- 1 ケアプランの見直しが必要となった
- 2 介護報酬の改定により、収益が増えた
- 3 介護報酬の改定により、収益が減った
- 4 制度が複雑化し、利用者への説明が難しくなった
- 5 細かな変更が多く、現場での対応に苦慮した
- 6 制度改正について利用者から苦情が寄せられた
- 7 以前よりも人材確保が困難になった
- 8 加算などの手続きのため事務負担が増えた
- 9 利用者数の減少（自己負担割合が3割になった方の利用控えによる減少）
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

問 78 練馬区の介護保険および高齢者保健福祉施策について、貴事業所の利用者から寄せられた意見がございましたら、自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問 79 介護保険制度に対する要望・ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。12月20日（金）までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。

# 練馬区高齢者基礎調査

## ◆ 調査へのご協力のお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、施設入所者の皆さまを対象に、生活場所や申し込みの理由、現在の状況およびニーズを把握させていただくために実施するものです。

調査の対象者として、区内の高齢者向け施設の入所者の方を対象に、調査票を送付させていただきます。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用します。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年 11 月 練馬区

## ◆ 調査票のご記入にあたって ◆

● 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。

● 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。

● 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

● 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人お一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。

★対象者ご本人が不在や体調などの何らかの事情により回答できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1 入院・入所中で意思表示ができない 2 転居 3 その他

● ご記入いただいた調査票は、**2020年1月10日(金)まで**に、同封の封筒に入れて施設の職員にお渡しください。

● この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、練日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。

調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】 練日本能率協会総合研究所 担当：川村、布施、政岡

電話：0120-304-603（フリーダイヤル）

受付時間：月曜日～金曜日（平日）10：00～17：00

記入日 令和 年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入（あて名のご本人からみられた続柄：）
- 3 その他（ ）

## ◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和元年11月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別（○は1つ） ② 年齢（右詰めで記入）

1 男性 2 女性

問2 あなたの現在のお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名 丁目

（記入例）【練馬区内の場合】 町名と丁目 光が丘 3 丁目  
【練馬区外の場合】 都道府県から ●●県●●市

問3 あなたが現在の施設に入所される前の家族構成をお教えてください。（○は1つ）

1 1人暮らし 2 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）  
3 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） 4 子との2世帯  
5 親との2世帯 6 親・子との3世帯  
7 その他（ ）

問4 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。（○は1つ）

1 いる 2 いない

問5 あなたの年収（配偶者がいる場合はご夫婦を合わせた年収。年金を含む）はどのくらいですか。（○は1つ）

1 100万円未満 2 100～200万円未満 3 200～300万円未満  
4 300～400万円未満 5 400～500万円未満 6 500～700万円未満  
7 700～1,000万円未満 8 1,000万円以上 9 わからない

問6 あなたの世帯では、次の金融資産を持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 預貯金 2 株式  
3 投資信託 4 債権  
5 金・銀 6 タンス預金（現金）  
7 負債（借入金・住宅ローンなど） 8 いずれも保有していない

問7 あなたの世帯では、どのくらい預貯金がありますか。(○は1つ)

1	100万円未満	2	100～300万円未満
3	300～500万円未満	4	500～700万円未満
5	700～1,000万円未満	6	1,000～1,500万円未満
7	1,500～2,000万円未満	8	2,000～3,000万円未満
9	3,000万円以上	10	わからない

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1	大変苦しい	2	やや苦しい
3	ふつう	4	ややゆとりがある
5	大変ゆとりがある		

問9 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つ)

1	認知症高齢者グループホーム	2	有料老人ホーム
3	サービス付き高齢者向け住宅	4	都市型軽費老人ホーム
5	その他 ( )		

問10 現在の施設に入所されてどれくらいですか。(○は1つ)

1	半年未満	2	半年以上1年未満
3	1年以上2年未満	4	2年以上3年未満
5	3年以上5年未満	6	5年以上

(施設への入所前のお住まいについておたずねします。)

問11 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1	持家 (一戸建て)	2	持家 (集合住宅)
3	公営賃貸住宅	4	民間賃貸住宅 (一戸建て)
5	民間賃貸住宅 (集合住宅)	6	借家
7	その他 ( )		

【3～7とお答えの方は問13へ進んでください】

(問11で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問12 入所前のお住まいはどうされましたか。(○は1つ)

1	現在も家族が住んでいる
2	入所にあたり売却した
3	入所にあたり賃貸した
4	現在は空き家になっている
5	その他 ( )

◆あなたの心身の状況について

問13 あなたの「現在」の要介護度は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1	要支援1	2	要支援2	3	要介護1	4	要介護2
5	要介護3	6	要介護4	7	要介護5	8	総合事業対象者
9	認定なし・非該当	10	わからない				

問14 あなたの「施設入所前」の要介護度は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1	要支援1	2	要支援2	3	要介護1	4	要介護2
5	要介護3	6	要介護4	7	要介護5	8	総合事業対象者
9	認定なし・非該当	10	わからない				

問15 あなたは、現在、次にあげるような医療器具を利用したり、医療処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	胃ろう・経管栄養	2	気管切開	3	インスリン注射
4	尿管カテーテル	5	人工肛門	6	在宅酸素
7	ペースメーカー	8	人工透析	9	たんの吸引
10	褥瘡(床ずれ)の処置	11	その他 ( )	12	あてはまるものはない

問16 医師から認知症と診断されたことがありますか。(○は1つ)

1	認知症専門医(物忘れ外来、老年内科、精神科、心療内科、神経内科等)に診断されたことがある
2	認知症専門医以外(かかりつけ医等)に診断されたことがある
3	医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある
4	診断されたことはない

◆特別養護老人ホームへの入所申し込み状況について

問17 あなたは、特別養護老人ホームに入所を申し込んだことがありますか。(○は1つ)

1	ある	2	ない (→問18へ進む)
3	覚えていない、わからない (→問19へ進む)		

(問17で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問17-1 特別養護老人ホームに申し込んでいた理由は何かですか。(あてはまるものすべてに○)

1	将来の介護に不安を感じたため
2	1人暮らしで介護する同居の家族がいなかったため
3	家族が働いており、介護する家族がいなかったため
4	家族が精神的・身体的に疲れていたので
5	住居がバリアフリー化されていかなかったため
6	他の施設と比べて費用が安価だったため
7	その他 ( )

【問19へ進んでください】

(問 17 で、「2 ない」とお答えの方におたずねします。)

問 18 特別養護老人ホームに入所を申し込んでいない理由(以前、申し込んだことがある方は、現在、申し込んでいない理由)は何ですか。(○は1つ)

1	現在の入所施設で十分なサービス(医療・介護)が受けられるから
2	現在の生活に満足しているから
3	生活する場所を変えたくないから
4	自由に過ごせなくなってしまうから
5	自宅から離れた施設には入りたくないから
6	申し込んでも入れないから
7	介護が必要ではないから
8	自立しているから
9	その他( )
10	特にない

(すべての方におたずねします。)

問 19 あなたは、今後、特別養護老人ホームに入所を申し込みますか。(○は1つ)

1	申し込む
2	介護が必要になったら申し込み
3	申し込まない
4	わからない

(問 19 で、1 または 2 のいずれかにお答えの方におたずねします。)

問 20 申し込んだ特別養護老人ホームから「入所できません」という連絡がきた場合、あなたは入所しますか。(○は1つ)

1	すぐに入所する
2	最も希望する施設であれば入所する*
3	すぐには決められない
4	まだ自宅で暮らせるため、お断りする

\*区内の特別養護老人ホームへの入所申込は複数の施設に申し込むことができます

### ◆介護について

(すべての方におたずねします。)

問 21 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなで支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものほどれですか。(○は1つ)

1	保険料が今より高くなって、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい
2	施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい
3	サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい
4	わからない

問 22 あなたは、日々の生活の中で介護保険料や健康保険料や健康保険料の負担についてのどのよう感じていますか。(○は1つ)

1	保険料が日々の暮らしを圧迫している
2	年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている
3	それほど負担とは感じない
4	適正である(この程度の額ならいい)と思う
5	わからない

問 23 あなたは、介護保険サービスの利用料(食費や娯楽費などの実費負担は除く)についてのどのよう感じていますか。(○は1つ)

1	負担と感じる	2	多少負担と感じる	3	どちらともいえない
4	それほど負担とは感じない	5	負担とは感じない	6	わからない

### ◆入所施設の状況について

問 24 現在、入所している施設の1か月の利用料(食費や娯楽費などの実費負担は除く)はいくらですか。(○は1つ)

1	10万円未満	2	10～15万円未満	3	15～20万円未満
4	20～25万円未満	5	25～30万円未満	6	30万円以上
7	わからない				

問 25 次のサービスのうち、現在の入所施設で利用している介護保険外サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス (支給限度基準額を超えて利用したサービス、介護保険サービスに付加価値をつけるサービス)
2	家事援助等サービス (掃除、洗濯、調理、買い物などの代行、ごみ出し、簡単な大工仕事、庭仕事・ペットの散歩等)
3	訪問サービス (訪問理美容サービス、訪問マッサージ、訪問趣味講座、訪問生活健康相談等)
4	配食サービス (調理した食事を居住施設まで配達するサービス)
5	物販等サービス (日常生活用品や食材の通信販売・移動販売又は貸与・お届け等)
6	安否確認・緊急通報サービス (定期訪問サービス、定期的な電話サービス、緊急通報・安否確認機器販売・貸与・設置)
7	移動支援・付き添いサービス (移送サービス、通院・入院・外出付き添い等)
8	通い・サロンサービス (喫茶・レストラン・会食サービス、生活健康講座・相談・指導サービス、趣味講座・レクリエーション等)
9	金銭管理・契約代行サービス (成年後見、葬儀対応、残存家財整理、身元保証支援、金銭管理に関わる支援等)
10	その他( )
11	いずれも利用していない

(→問 27へ進む)

(問25で、1～9とお答えの方におたずねします。)

問26 問25で○をつけたサービスのうち、満足しているサービスとその理由を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○をつけ、その理由を下の欄の①～⑩から選び、記入してください)

A: 利用しているサービスのうち満足しているサービス すべてに○	B: 満足している理由を下 の欄からあてはまるも のすべてを選び記入
(記入例) ② 家事援助等サービス	( ① ② ③ )
1 介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス	( )
2 家事援助等サービス	( )
3 訪問サービス	( )
4 配食サービス	( )
5 物販等サービス	( )
6 安否確認・緊急通報サービス	( )
7 移動支援・付き添いサービス	( )
8 通い・サロンサービス	( )
9 金銭管理・契約代行サービス	( )



【満足している理由】

- ①利用回数や時間が希望に合う
- ②技術的にしっかりしている
- ③料金が安い(適切である)
- ④契約内容とおりのサービス提供である
- ⑤サービスについての説明が十分である
- ⑥不満や要望をしっかりと聞いてもらえる
- ⑦担当者と気が合う
- ⑧プライバシーへの配慮がしっかりしている
- ⑨緊急時に対応してくれる
- ⑩その他( )

(すべての方におたずねします。)

問27 現在の入所施設の満足度を教えてください。(○は1つ)

1 満足している	2 少しは満足している
3 どちらともいえない	4 少し不満である
5 不満である	

問28 現在の入所施設の満足な点を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 自宅から近い	
2 家族が面会に来る際に交通が便利	
3 居室タイプが希望と合っている	
4 入所前に利用していた介護保険サービスと同じ法人が運営している	
5 近隣で同じ法人が運営しているデイサービスなどを利用できる	
6 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)	
7 必要な介護保険外サービスが受けられる	
8 必要な医療処置を受けられる	
9 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる	
10 日中のプログラムが充実している	
11 緊急時にも対応が可能である(24時間対応)	
12 施設の防犯・見守りがしっかりしている	
13 職員が親切で対応が良い	
14 部屋や建物の環境が充実している	
15 施設の雰囲気が良い	
16 栄養管理の行き届いた食事が食べられる	
17 おいしい食事が食べられる	
18 料金が安い	
19 最期までいられる	
20 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある	
21 すぐに入所できた	
22 その他( )	
23 特にない	

問29 現在の入所施設で今後さらに充実を期待することは何ですか。(○は3つまで)

1 家族が面会に来やすい(交通が便利)こと	
2 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる)こと	
3 必要な介護保険外サービスが受けられること	
4 必要な医療処置を受けられること	
5 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられること	
6 日中のプログラムが充実していること	
7 緊急時にも対応が可能である(24時間対応が可能である)こと	
8 施設の防犯・見守りがしっかりしていること	
9 職員が親切で対応が良くなること	
10 部屋や建物の環境が充実すること	
11 栄養管理の行き届いた食事が食べられること	
12 おいしい食事が食べられること	
13 最期までいられること	
14 話し相手やクラブ活動など仲間との交流があること	
15 その他( )	
16 特にない	

問 30 現在の入所施設にあるとよいサービスは何ですか。(○は3つまで)

- 1 24時間必要に応じて看護師やヘルパーが来てくれるサービス
- 2 24時間必要に応じて医師が往診してくれるサービス
- 3 リハビリ・レクリエーションなど機能訓練サービス
- 4 医療機関や介護施設(事業者)との連絡調整サービス
- 5 看取りへの対応
- 6 24時間対応可能な相談サービス(コンシェルジュ)
- 7 配食サービス
- 8 家事代行サービス
- 9 買い物や銀行、病院への送迎サービス
- 10 その他( )

◆区の施策・情報について

問 31 あなたは、保健福祉や介護保険に関する知識・情報を何から得ていますか。(○は3つまで)

- 1 ねりま区報
- 2 練馬区ホームページ
- 3 地域包括支援センター(旧高齢者相談センター)
- 4 「わたしの便利帳」「高齢者の生活ガイド」など区の刊行物
- 5 高齢者向けホームページ「シニアナビ ねりま」
- 6 社会福祉協議会の相談窓口
- 7 回覧板・掲示板
- 8 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
- 9 インターネット
- 10 家族・友人
- 11 病院などの医療機関
- 12 その他( )
- 13 特にない

問 32 高齢者保健福祉施策や介護保険について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

.....

.....

.....

※次ページからの入所前に介護をしていた方(介護者)へのアンケートにもご協力をお願いいたします。介護者がいない方は、ここで調査は終了です。

ご協力ありがとうございます。2020年1月10日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。

なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

ここからは入所前に介護をしていた方(介護者)におたずねする質問です。

問 33 主に介護していた方は、あて名のご本人のご家族ですか。(○は1つ)

- 1 家族である (→問33-1へ進む)
- 2 家族ではない →以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(問33で、「1 家族である」とお答えの方におたずねします。)

問 33-1 あて名のご本人を主に介護していたご家族の性別・年齢・続柄・健康状態について、あてはまるものにそれぞれ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性	
年齢 (○は1つ)	1 40歳未満	2 40歳代	3 50歳代
	4 60歳代	5 70歳代	6 80歳以上
続柄 (○は1つ) <small>*あて名ご本人からみた続柄でお答えください。</small>	1 夫	2 妻	3 息子
	4 娘	5 子の夫	6 子の妻
	7 親	8 孫	9 兄弟姉妹
	10 その他( )		
健康状態 (○は1つ)	1 とてもよい	2 まあよい	
	3 あまりよくない	4 よくない	

問 34 あて名のご本人の介護期間を教えてください。(○は1つ)

1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満
4 5～8年未満	5 8～10年未満	6 10年以上

問 35 主に介護していたご家族の方について、あて名のご本人の入所前と入所後の就業状況について教えてください。(○は1つずつ)

入所前 (○は1つ)	1 正規社員	2 非正規社員
	3 パート・アルバイト	4 無職
	5 その他( )	
入所後 (○は1つ)	1 正規社員	2 非正規社員
	3 パート・アルバイト	4 無職
	5 その他( )	

問 36 主に介護をしていた方は、あて名のご本人の介護以外に育児(自分の子どもや孫の世話)や他の家族の方の介護もされましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子(未就学児)の育児をしていた
- 2 孫(未就学児)の世話をしていた
- 3 他の家族の介護もしていた
- 4 本人の介護のみしていた
- 5 その他( )



問 37 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しかった
- 2 来客の際に気を遣った
- 3 日中、家を空けることに不安に感じていた
- 4 本人の言動が理解できないことがあった
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえないことがあった
- 6 適切な対応や介護方法がわからなかった
- 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがあった
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからなかった
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえなかった
- 10 家の構造が介護するのに適していないかった
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)
- 12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくなかった
- 13 身体的につらかった(腰痛や肩こり等)
- 14 精神的なストレスがたまっていた
- 15 自分の用事を済ませることができなかった
- 16 自分の自由になる時間が持てなかった
- 17 先々のことを考える余裕がなかった
- 18 経済的につらいと感じたときがあった
- 19 その他( )
- 20 特に困っていないかった

問 38 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 近所の人
- 3 民生・児童委員
- 4 ボランティア
- 5 介護家族の会などの集まり
- 6 社会福祉協議会
- 7 ケアマネジャー
- 8 医師・医療機関
- 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師等
- 10 地域包括支援センター(旧高齢者相談センター)
- 11 その他( )
- 12 どこにも(誰にも)相談しなかった

問 39 介護者ご自身の視点から、現在の入所施設を申し込んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 働いており介護する家族がいないため
- 3 高齢あるいは病弱で、介護が困難なため
- 4 精神的に疲れているため
- 5 身体的に疲れているため
- 6 在宅サービスを使いたくないため
- 7 地域に十分な介護保険サービス事業者がいないため
- 8 本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため
- 9 ショートステイ(短期入所生活介護)が必要なく使えないため
- 10 デイサービス(通所介護)が必要なく使えないため
- 11 24時間のホームヘルプ(訪問介護)サービスが必要なく使えないため
- 12 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 13 その他( )
- 14 特にない

問 40 介護者ご自身の視点から、入所施設に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれること
- 4 防犯、防災面などで安心できること
- 5 孤独にならないこと
- 6 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること
- 7 その他( )
- 8 特にない

ご協力ありがとうございました。2020年1月10日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

# 練馬区高齢者基礎調査

## ◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、厚生労働省の介護予防・日常生活圏域二一ス調査手法により実施するもので、効果的な介護予防政策の立案と効果評価および高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や健康状態などを聞き取るため実施するものです。

調査の対象者は、区内にお住まいの65歳以上の方から4,400人を無作為に選び、調査票を送付させていただきました。

本調査で得られた情報につきましては、性別・年代・居住地域等の情報を統計的に処理して分析を行い、計画策定と効果評価の目的で利用いたします。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形での公表はいたしません。なお、本調査で得られた統計データを厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年11月 練馬区

## ◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「いくつでも」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人お一人での回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月20日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

この調査は、㈱日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】  
練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係  
【調査実施・お問い合わせ先】 ㈱日本能率協会総合研究所 担当：川村、布施、政岡  
電話：0120-304-603（フリーダイヤル）  
受付時間：月曜日～金曜日（平日）10：00～17：00

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入（あて名のご本人からみ名称）
- 3 その他

## ◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和元年11月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ)	② 年齢 (右詰めで記入)
1 男性	2 女性
1 男性	2 女性

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名	丁目
(記入例) 町名	3 丁目
光が丘	3

問3 家族構成をお教えください。(○は1つ)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 1人暮らし              | 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) |
| 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) | 4 息子・娘との2世帯          |
| 5 その他                |                      |

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- 1 介護・介助は必要ない
- 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3 現在、何らかの介護を受けている  
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- |                 |                 |          |
|-----------------|-----------------|----------|
| 1 持家 (一戸建て)     | 2 持家 (集合住宅)     | 3 公営賃貸住宅 |
| 4 民間賃貸住宅 (一戸建て) | 5 民間賃貸住宅 (集合住宅) | 6 借家     |
| 7 その他           |                 |          |

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい    |
| 3 ふつう   | 4 ややゆとりがある |
|         | 5 大変ゆとりがある |

## ◆からだを動かすことについて

問7 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

- |             |              |        |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

問 8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 9 15分位続けて歩いていきますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 10 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1 何度もある 2 1度ある 3 ない

問 11 転倒に対する不安は大きいですが。(○は1つ)

1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

問 12 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上

問 13 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1 とても減っている 2 減っている 3 あまり減っていない 4 減っていない

問 14 外出を控えていますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

【問 14 で、「1 はい」(外出を控えている)の方のみ】

問 14-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

1 病気 2 障害 (脳卒中の後遺症など)

3 足腰などの痛み 4 トイレの心配 (失禁など)

5 耳の障害 (聞こえの問題など) 6 目の障害

7 外での楽しみがない 8 経済的に出られない

9 交通手段がない 10 その他 ( )

◆食べることについて

問 15 身長・体重 (右詰めで記入)

身長  cm 体重  kg

問 16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 17 お茶や汁等でもせることがありますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 18 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 19 歯磨き (人にやらしてもらった場合も含む) を毎日していますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 20 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。○は1つ)

1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし

3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問 21 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

【問 20 で、「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

問 22 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 23 口の体操・だ液腺マッサージなどの口腔ケアの方法を知っていますか。(○は1つ)

1 知っていて、定期的にやっている 2 知っていて、時々やっている

3 知っているが、やっていない 4 名前は聞いたことがあるが、やり方は知らない

5 知らない

問 24 主菜 (肉・魚・卵・大豆製品) と野菜料理を両方とも毎日2回以上は食べていますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 25 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 26 どなたかと食事をともにする機会はありますか。(○は1つ)

1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある

4 年に何度かある 5 ほとんどない

◆毎日の生活について

問 27 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問 28 バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 29 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 30 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 31 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問32 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問33 食料品や日用品の買い物は、どこでされることが最も多いですか。(○は1つ)

1 近所の商店街 2 近所のスーパー  
3 近所のコンビニエンスストア 4 自宅から離れたお店  
5 宅配、通販(ネットスーパーを含む) 6 家族などが買い物をするためわかららない  
7 その他( )

問34 日常の食料品を買う店舗までの主な移動手段は何ですか。(○は1つ)  
また、時間はどのくらいかかりますか。(数値を記入)

1 徒歩 2 自転車 3 電車 →所要時間 分  
4 車 5 その他( )

問35 日常生活の中でのお困りごとはありませんか。(いくつでも)

1 食事の準備 2 掃除や洗濯  
3 ごみの分別やごみ出し 4 庭の掃除や手入れ  
5 買い物(荷物を持って帰ることも含む) 6 バスや電車、車を使っての外出  
7 通院や薬を取りに行くこと 8 銀行や郵便局での手続き  
9 区役所などでの手続き 10 生活に必要な情報を得ること  
11 隣近所との付き合い 12 話し相手がいないこと  
13 その他( ) 14 特に困っていることはない

【問35で、「5. 買い物(荷物を持って帰ることも含む)」の方のみ】

問36 どのようなことに困っていますか。(いくつでも)

1 買い物を手伝ってくれる人がいない 2 徒歩で行ける場所にお店がない  
3 お店に行くための交通手段が乏しい 4 品物を選ぶことが難しい  
5 荷物を運ぶことが難しい 6 その他( )  
7 わからない

### ◆地域での活動について

問37 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している

問38 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している

問39 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※① - ⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2回~3回	週1回	月1回~3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場(※)	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

※ 街かどケアカフェ、いきがいデイサービスなど

問40 区や地域団体等で実施している次の事業や活動にどのくらいの期間、参加(利用)していますか。※① - ⑥それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	半年未満	半年以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	参加していない
① 街かどケアカフェ	1	2	3	4	5	6
② はつらつシニアクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 脳活プログラム(認知症予防プログラム)	1	2	3	4	5	6
④ 足腰しゃきりトレーニング教室	1	2	3	4	5	6
⑤ わかわかかむかむ元氣応援教室	1	2	3	4	5	6
⑥ いきがいデイサービス	1	2	3	4	5	6

### ◆たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問41 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・孫	5 近隣	6 友人
7 その他( )	8 そのような人はいない	

問42 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげてくれる人(いくつでも)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・孫	5 近隣	6 友人
7 その他( )	8 そのような人はいない	

問43 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他（ ）	8 そのような人はいない	

問44 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他（ ）	8 そのような人はいない	

問45 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

1 自治会・町内会・老人クラブ	2 社会福祉協議会・民生委員
3 ケアマネジャー	4 医師・歯科医師・看護師
5 地域包括支援センター・役所・役場	6 その他（ ）
7 そのような人はいない	

問46 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

1 毎日ある	2 週に何度かある	3 月に何度かある
4 年に何度かある	5 ほとんどない	

問47 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（○は1つ）

1 0人（いない）	2 1～2人	3 3～5人
4 6～9人	5 10人以上	

問48 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）

1 近所・同じ地域の人	2 幼なじみ
3 学生時代の友人	4 仕事での同僚・元同僚
5 趣味や関心が同じ友人	6 ボランティア等の活動での友人
7 その他（ ）	8 いらない

◆健康について

問49 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1 とてもよい	2 まあよい	3 あまりよくない	4 よくない
---------	--------	-----------	--------

問50 あなたは、現在のどの程度幸せですか。（○は1つ）  
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をしてください）

とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1点	9点
2点	8点
3点	7点
4点	6点
5点	5点
6点	4点
7点	3点
8点	2点
9点	1点

問51 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

問52 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

問53 お酒は飲みますか。（○は1つ）

1 ほぼ毎日飲む	2 時々飲む
3 ほとんど飲まない	4 もともと飲まない

問54 タバコは吸っていますか。（○は1つ）

1 ほぼ毎日吸っている	2 時々吸っている
3 吸っていたがやめた	4 もともと吸っていない

問55 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

1 ない	2 高血圧
3 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	4 心臓病
5 糖尿病	6 高脂血症（脂質異常）
7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9 腎臓・前立腺の病気	10 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11 外傷（転倒・骨折等）	12 がん（悪性新生物）
13 血液・免疫の病気	14 うつ病
15 認知症（アルツハイマー病等）	16 パーキンソン病
17 目の病気	18 耳の病気
19 その他（ ）	

◆認知症にかかる相談窓口の把握について

問56 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

問57 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

ご協力ありがとうございました。12月20日（金）までに同封の返信用封筒で  
ご返送ください。切手は不要ですので、そのまま投函ください。  
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。



★ 問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他
15. なし
16. わからない

★ 問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

★ 問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

● 問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

★ 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

● 問 2 で「2.」「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の

方に B 票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

## ★ サービス利用の状況

### 《現在受けているサービス》

**在宅利用** 認定調査を行った月のサービス利用回数を記入。  
(介護予防)福祉用具貸与は調査日時点の、特定(介護予防)福祉用具販売は過去 6 月の品目数を記入。

訪問介護(ホームヘルプ)訪問型サービス	月	回	介護予防短期入所生活介護(特養等)	月	日	夜間対応型訪問介護	月	日
介護予防訪問入浴介護	月	回	介護予防短期入所療養介護(老健・診療所)	月	日	(介護予防)認知症対応型通所介護	月	日
介護予防訪問看護	月	回	介護予防特定施設入居者生活介護	月	日	介護予防小規模多機能型居宅介護	月	日
介護予防訪問リハビリテーション	月	回	介護予防福祉用具貸与	品目	回	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	月	日
介護予防居宅療養管理指導	月	回	特定(介護予防)福祉用具販売	品目	回	地域密着型特定施設入居者生活介護	月	日
通所介護(デイサービス)・通所型サービス	月	回	住宅改修	あり	回	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	月	日
介護予防通所リハビリテーション(デイケア)	月	回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	月	回	看護小規模多機能型居宅介護	月	日

### 《3 年後に希望するサービス》

**在宅利用** 3 年後の1か月のサービス利用居込回数を記入。  
(介護予防)福祉用具貸与は調査日時点の、特定(介護予防)福祉用具販売は3 年後の当該月の過去 6 月の品目数を記入。

訪問介護(ホームヘルプ)訪問型サービス	月	回	介護予防短期入所生活介護(特養等)	月	日	夜間対応型訪問介護	月	日
介護予防訪問入浴介護	月	回	介護予防短期入所療養介護(老健・診療所)	月	日	(介護予防)認知症対応型通所介護	月	日
介護予防訪問看護	月	回	介護予防特定施設入居者生活介護	月	日	介護予防小規模多機能型居宅介護	月	日
介護予防訪問リハビリテーション	月	回	介護予防福祉用具貸与	品目	回	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	月	日
介護予防居宅療養管理指導	月	回	特定(介護予防)福祉用具販売	品目	回	地域密着型特定施設入居者生活介護	月	日
通所介護(デイサービス)・通所型サービス	月	回	住宅改修	あり	回	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	月	日
介護予防通所リハビリテーション(デイケア)	月	回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	月	回	看護小規模多機能型居宅介護	月	日

### 施設利用

- 介護老人福祉施設  介護老人保健施設  介護療養型医療施設  認知症対応型共同生活介護適用施設(グループホーム)
- 特定施設入居者生活介護適用施設(ケアハウス等)  医療機関(医療保険適用療養病床)  医療機関(療養病床以外)  介護医療院  その他の施設

## 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている } 問2～問5へ
2. パートタイムで働いている } 問5(裏面)へ
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

- 特に行っていない
- 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
- 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 制度を利用しやすい職場づくり
- 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
- 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 介護をしている従業員への経済的な支援
- その他
- 主に介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるかどうか(1つを選択)

- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- 日中の排泄
- 夜間の排泄
- 食事の介助(食べる時)
- 入浴・洗身
- 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
- 衣服の着脱
- 屋内の移乗・移動
- 外出の付き添い、送迎等
- 服薬
- 認知症状への対応

〔生活援助〕

- 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- 食事の準備(調理等)
- その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
- 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

- その他
- 不安に感じていることは、特にない
- 主な介護者に確認しないと、わからない



# 練馬区高齢者基礎調査等報告書

令和2年（2020年）3月 発行

編集・発行

練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課

〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目 12 番 1 号

電話：03-5984-4584（直通）



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

